

平成 20 年度
重点配分経費報告書

教員業務軽減・効率化に関する調査研究 (報告書)

平成 21 年 (2009 年) 3 月

研究代表者 青木 栄一

(国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部 研究員)

はじめに

本報告書は国立教育政策研究所の平成 20 年度重点配分経費の配分を受けて実施されたプロジェクト「教員業務軽減・効率化に関する調査研究」の成果をまとめたものです。

研究は以下のような体制で行いました。まず、教育政策評価・研究部に研究計画の立案、調査研究方法の企画を担う研究会を設置しました。この研究会はこのテーマですでに研究業績のある所内外の研究者・大学院生を中心に運営されました。研究会は年度中に 6 回開催され、研究計画の進捗状況の確認等の企画立案機能を果たしました。さらに所内外の専門家の講演会を行い、本研究の実施に当たり貴重な知見を提供していただきました。本研究の柱は教員勤務実態調査で得られたデータの再分析、訪問調査から構成されています。データの再分析は研究会メンバーの研究者・大学院生が行ったほか、その一部はベネッセ教育研究開発センター教育調査室に委託されました。大量のデータの再分析にあたっては技術的な困難も相当程度発生しましたが、それを克服し本報告書に成果を収録することができました。訪問調査は、佐賀県佐賀市内の複数の小中学校を対象に行いました。今回の訪問調査は同一自治体で異なる属性の学校を対象としました。これは地域の特徴を同一ものとするすることで、学校運営の特徴がどのように教員の業務に影響を与えているのかを考察するための研究戦略を反映したものです。集中的に訪問調査を実施することで学校の特徴と教員の仕事の在り方の関係について、一定の知見を得ることができたものと考えております。

本プロジェクトの実施にあたり、調査対象とさせていただいた佐賀市教育委員会および学校の皆様には、ご多忙中にもかかわらず多大なご協力を賜りました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

本報告書が今後の教員・学校の業務の軽減、効率化に関する議論の参考となるとともに、このテーマに興味関心を持つ皆様が教員・学校の仕事の在り方を検討する際の参考資料として活用していただけることを祈念しています。

平成 21 年 3 月 8 日

研究代表者 国立教育政策研究所

教育政策・評価研究部 研究員 青木 栄一

第一部 教員業務データの再分析と訪問調査

第1章	教員業務軽減・効率化のための分析課題	青木 栄一 ……………3
第2章	小学校・中学校の教員の残業時間に関する要因分析	樋口 健・鈴木 尚子 ……………9
第3章	学校ごとの残業時間に関する分析	樋口 健・鈴木 尚子 ……………47
第4章	残業時間と持帰り時間の関係に関する分析	樋口 健・鈴木 尚子 ……………65
第5章	教員業務（時間帯別行為者率）の期間別比較	川上 泰彦 ……………97
第6章	部活動顧問の活動日数および活動時間に関する分析	小入羽 秀敬 ……………209
第7章	小学校教諭の給食および昼休みに関する勤務実態分析	小入羽 秀敬 ……………231
第8章	教員・学校の業務の実態に関する訪問調査—佐賀市立小中学校の事例—	小入羽 秀敬 ……………245

第二部 研究会講演記録

第9章	教員の労働時間研究の到達点と課題	青木 栄一…………… 253
第10章	勤務実態調査のサンプリングに関連して	萩原 康仁……………263
第11章	時間帯別行為者率を用いた教員業務の集計結果と分析上の課題	川上 泰彦…………… 267
第12章	教員業務の研究動向および課題—社会学の立場に基づきながら—	居郷 至伸…………… 277
第13章	イギリスの動向—学校再編に伴う人材育成プログラム—	吉原 美那子…………… 283
第14章	教職調整額見直しをめぐる論議	小川 正人…………… 289

第一部

教員業務データの 再分析と訪問調査

第1節 本研究が目指すこと

本調査研究（以下本研究）は教員および学校の業務の実態を明らかにすることを目的とする。本調査はこれまでの研究で分析が十分でなかった点の詳細な分析をすることを主眼とする。周知の通り、平成18年度に文部科学省の委託調査「教職員の勤務実態に関する調査研究」の一環として「教員勤務実態調査」が行われた（委託先国立大学法人東京大学）。この調査により全国の小中学校教員の残業時間が40年ぶりに明らかになった。翌平成19年度には文部科学省の委託研究である新教育システム開発プログラムによるプロジェクト「教員の業務の多様化・複雑化に対応した業務量計測手法の開発と教職員配置制度の設計—教員と教員サポート職員による業務の適切な分担とアウトソーシングの可能性—」（委託先国立大学法人東京大学）として分析が引き継がれた。後述するように、このプロジェクトでは行為者率という分析概念を採用することで、残業時間にとどまらず教員の業務の全貌を俯瞰することに成功した。

平成18年度に実施された「教職員の勤務実態に関する調査研究」の背景には財政改革を前提とした教職員給与の在り方に関する議論が存在していた。当時の議論の焦点は教員の給与の優遇措置をめぐるものであり、特に教員の労働時間、残業時間のデータ収集を求める方向で推移していた。教員勤務実態調査の主な関心が教員の残業時間にあったことはそれを投影したものである。平成19年度の新教育システム開発プログラムの関心は教員の残業時間の測定から教員・学校の業務の全体像を把握することに拡張された。本研究はこのような調査研究の流れの延長船長に位置づけることが可能であり、問題関心は平成19年度の新教育システム開発プログラムを踏襲している。本研究代表者の青木は上記平成18年度、平成19年度の中心メンバ

ーとして活動に従事した経験を踏まえ、本研究を企画した¹。

平成18年度の「教職員の勤務実態に関する調査研究」以来、文部科学省をはじめとする中央政府における教員・学校の業務の在り方に関する議論には実証的な調査研究データが活用されるようになった。たとえば、第1に、中央教育審議会初等中等教育分科会では、「教職員給与のありかに関するワーキンググループ」が設置され、「教員勤務実態調査」の知見が紹介されるとともに、議論の参考資料として活用された。²第2に、中央教育審議会初等中等教育分科会（第46回）・教育課程部会（第3期39回）合同会議（平成19年1月26日）で教員勤務実態調査の集計が報告された。第3に、中央教育審議会教育制度分科会（第20回）・初等中等教育分科会（第50回）合同会議（平成19年2月25日）で教員勤務実態調査の集計が報告された。第4に、学校現場の負担軽減プロジェクトチーム（平成19年11月設置）では教員勤務実態調査、新教育システム開発プログラム研究の最新の実証的な知見が議論に重要な寄与をした。第5に、「学校の組織運営の在り方を踏まえた教職調整額の見直し等に関する検討会議（平成20年4月設置）」「学校・教職員の在り方及び教職調整額の見直し等に関する作業部会（平成20年11月設置）」では、教員勤務実態調査等の知見が議論の参考資料として活用された。文部科学省の議論の推移からは教員の残業時間の測定というきわめて具体的な問題関心から教員の仕事の在り方、学校のマネジメントの在り方へと問題

¹ この間の経緯や論点整理については青木2008を参照のこと。

² 教職員給与の在り方に関するワーキンググループ第9回（平成18年11月24日）、教職員給与の在り方に関するワーキンググループ第12回（平成18年12月26日）、教職員給与の在り方に関するワーキンググループ第14回（平成19年1月19日）、教職員給与の在り方に関するワーキンググループ第16回（平成19年2月22日）で教員勤務実態調査の集計速報が報告された。

関心が拡張されるとともに、全体的な観点からの議論へと発展したことが明らかである³。本研究の問題関心もこの政策動向と軌を一にしている。

第2節 関連調査の知見

ここで、過去二年の調査研究の知見の概要をまとめる。ここではそれぞれの調査研究の主たる問題関心に即した重要な知見のみ紹介するので、より詳しい分析結果については、それぞれの報告書を参照していただきたい（国立大学法人東京大学 2007、国立大学法人東京大学 2008）。

第1に平成18年度の教員勤務実態調査では、先述の通り、教員の残業時間の全国的動向を把握することに成功した。1日あたりの残業時間は勤務日と休日に分けて測定された。勤務日の残業時間は小学校で7月は1時間49分、8月は0時間21分、9月は1時間37分、10月は1時間43分、11月は1時間41分、12月は1時間36分であった。中学校については、7月で2時間26分、8月で0時間33分、9月で2時間11分、10月で2時間08分、11月で2時間08分、12月で2時間08分であった。8月の長期休業期間中には勤務日の残業時間がほとんどないものの、学期期間中には小学校で1日あたり1時間半強、中学校で1日あたり2時間強であることが判明したほか、学期末に当たる7月のような時期はいわゆる繁忙期となることも明らかとなった。

一方、休日の残業時間は小学校で7月は0時間28分、8月は0時間07分、9月は0時間16分、10月は0時間22分、11月は0時間21分、12月は0時間20分であった。中学校については7月で1時間50分、8月で0時間44分、9月で1時間29分、10月で1時間30分、11月で1時間27分、12月で1時間13分であった。休日の残業は小学校では多い時期でも30分に満たない一方、中学校では8月の長期休業期間を除き、1時間強

から2時間弱の範囲で残業が発生していることが判明した。

教員勤務実態調査ではこのほか、性別、年代別等の属性別の残業時間の実態を明らかにしたほか、残業時間を30分刻みで分類した上で、残業時間の分布を示した。なお、平成18年度の調査研究は、あくまで1日あたりの時間を測定しただけである。つまり1週間、1ヶ月あたりの時間は推定値となる。調査研究の段階ではこの推計は行っていない。かりに推計するとしたら1ヶ月を28日（4週間）とした場合、勤務日（20日）の残業時間、休日（8日）の残業時間について、それぞれの1日あたり残業時間と日数を掛け合わせるようになるだろう。ただし、年次有給休暇を考慮すると単純に20日を掛け合わせることは留意しなければならない。

平成19年度の新教育システム開発プログラム研究では、平成18年度の残業時間の測定から一歩踏み出し、教員の1日の仕事の全体像を把握することを目的とした。このために着目したのが生活時間調査で用いられる行為者率という概念である。1日の行為者率とは「1日のなかで当該業務に少なくとも30分以上従事した教員が全体に占める割合」のこととして定義される。行為者平均時間量とは「当該業務に従事した時間量の平均値」、全体平均時間量とは「当該業務に従事しなかった教員も含めた従事時間量の平均値」、時間帯別行為者率とは「24時間を30分刻みで区切った時間帯毎の行為者率」と定義づけられる。

この研究の知見としては、すでに述べた問題関心のとおり、1日の教員の業務を俯瞰することに成功したことがまずあげられる。すなわち、どのような業務がどのような時間帯あるいは時期に多く行われるのか、どのような属性・役職の教員がどのような業務を担っているのか、あるいはどのような時期にそうした業務を担っているのかが判明した。たとえば、第1に通常期と長期休業期間で勤務実態の異なる業務が存在することが実証的に裏付けられた。授業は通常期すなわち学期期間中に行為者率が高く、付随業務である授業準備、成績処理も同様の傾向となることが明

³ 小川正人の談話が参考になる（小川正人 2008a、小川正人 2008b、小川正人 2008c）。

らかとなった。第2に通常期において、時期によって勤務実態の異なる業務が存在することが明らかとなった。具体的には学校行事、部活動、成績処理、部活動、会議・打ち合わせはそれぞれいわゆる繁忙期が存在し、当該期間中にその業務が集中する。第3に、学校種によって勤務実態が異なる業務が存在することが析出された。授業、生徒指導(集団)、学習指導、授業準備、成績処理、会議・打ち合わせは学級担任制の小学校と教科担任制の中学校の違いが明瞭に反映する業務であることが示された。また役割別(職名、部活動顧問、学級担任)については次のことが明らかになった。まず職名別では教諭、教務主任、教頭・副校長、校長へと昇格するにともない、指導業務の割合が減少すると同時に管理業務の割合が上昇することが明らかになった。また、部活動の顧問をしているかどうかにより、残業時間の多寡が変わり、特に運動部の顧問が残業時間が長く多忙であることが明らかとなった。学級担任については、専科教員等の学級担任を担当していない教員に比較してより多忙であることが示された。

これらの知見はこれまで教育界ではいわば常識の範囲に属するものが多いことは確かである。しかしながら、2カ年にわたる調査研究の貢献はこの常識的な言説を実証的に裏付け、さらに再分析に耐えうるデータセットを構築したことにある。

第3節 本研究の課題

平成20年度の本研究の課題はこれらを踏まえて設定される。まず残業時間の再分析である。すでに残業時間には教員間で相当程度に差が存在することが明らかとなっている。そこで教員個々人の1日あたりの残業時間の長短を基準としてそれを4分位にわけ、残業時間の長いグループ(第1分位)と残業時間のみ時間グループ(第4分位)について個人の属性とのクロス分析を試みる。教員勤務実態調査において回答者である教員から個人質問票を得ているため、これとのクロス集計が可能である。具体的には担任学年、受け持

ち人数、教科(小学校の場合主として研究している教科)、主任類型(どのような主任を担当しているか)、年次有給休暇、通勤時間、子どもの年齢、要介護家族の状況である。これらの詳細な属性や個人の事情と残業時間の長短がどのような相関関係にあるのかを明らかにしていく。

ところで、これまで2カ年にわたる分析では学校単位のデータ分析を行ってこなかった。訪問調査では学校管理職(特に校長)のマネジメントが学校の業務に在り方に強く影響を与えることが明らかとなっていたものの、データ面での分析は行われなかった。そこで、平成20年度の研究にあたっては、この学校単位の分析に着手することとした。学校の属性が学校全体の残業の長短とどのような相関関係があるのかを分析する。そこでまず学校毎に所属教員の残業時間を集計し、学校単位の平均残業時間を算出した。これを先述した教員の残業時間の分析と同様に4分位に分け、第1分位(残業時間の長い学校)と第4分位(残業時間の短い学校)について、次のような属性情報とのクロス分析を行う。具体的な属性は自治体区分、設置者類型、児童生徒数、地域特性、へき地校指定状況、学校の状況(学校選択制の適用校かどうか、研究指定校、保護者の熱心度、PTA活発度、地域交流度、私立中学進学状況、運営困難学級の有無、不登校・外国籍児童生徒の実態)、パソコン活用度、出勤時刻管理、退勤時刻管理、学期制であり、これらと学校単位の残業時間の実態とのクロス集計を行う。

データの再分析とは別に訪問調査を行い、データの再分析を補完するための知見を得ることとする。この訪問調査は佐賀県佐賀市内の市立小中学校5校を対象とする。佐賀市を対象としたのは本研究のメンバーの一人が勤務する大学の所在地であり、市教育委員会からの全面的な協力を得られることが第1の理由である。第2の理由としては同一自治体内で複数の小中学校に調査を行うという今回の趣旨を実現するためには一定程度の自治体規模が必要だからであり、県庁所在市である佐賀市はその要件を満たすと判断でき

るからである。第3に調査経費の関係上、短期間で調査を効率的に実施する必要があり、自治体内の移動が容易であることも関係する。対象校の選定に当たり、小中学校数や学校規模のバランス、部活動や給食の実施状況に着目し、それらの比較が可能なように留意している。

第4節 本報告書の構成と各章の要旨

本報告書は二部構成となっている。第一部には本研究の2つの柱である再分析と訪問調査についての8つの論文あるいはデータが収録されている。第二部は研究会において行われた講演のうち本研究に密接に関係する6本の記録が収録されている。

第一部の各章の概要は次の通りである。

第1章（本章）「教員業務軽減・効率化のための分析課題」では平成18年度と平成19年度に実施された教員勤務実態調査等の知見が整理され、本調査が取り組むべき研究課題が示されている。

第2章「小学校・中学校の教員の残業時間に関する要因分析」は再分析データがまとめられている。主たる知見としては、教員によって長時間残業を行う教員と残業をあまり行わない教員が存在することがまず明らかとなった。平均残業時間により両者をグループに分け、どのような属性の違いがみられるかを分析した。その結果、長時間残業を行う教員は、男性、年齢が若い教員、高学年の担任、子どもがいない教員などであることが明らかになった。また、長時間残業を行う教員は年休もとることができない傾向があることも示された。

第3章「学校ごとの残業時間に関する分析」も再分析データが収録された章である。主な知見として、学校についても教員と同様、長時間残業を行う学校と残業をあまり行わない学校が存在することが示された。平均残業時間により類型化した上で、どのような学校の属性の違いがみられるかを分析した。その結果、長時間残業を行う学校は小学校では都市郊外の住宅地域が多いが、中学校では農林漁業地区が多いなどの違いがみられた。一方

で、小中学校で共通の特徴としては、研究校指定を受けているなどの傾向がみられた。一方、報告や点呼、目視などで管理職による退勤管理を行っている学校では、残業時間が短い傾向がみられた。

第4章「残業時間と持ち帰り時間の関係に関する分析」も再分析データを収録した章である。残業時間と持ち帰り時間の関係を把握する問題関心から分析が行われた。その結果、職階別、性別、年齢別のグループに分けて各期の分析を行ったが、残業時間と持ち帰り時間との間に明確な関係を見いだすことはできなかった。すなわち長時間の残業を行う教員がかならずしも長時間の持ち帰り仕事を行うわけではないことが示唆された。ただ、これは同時に長時間残業の教員が短時間しか持ち帰り時間をしないということも指摘できないことを意味する。

第5章「教員業務（時間帯別行為者率）の期間別比較」では平成19年度に明らかにした第5期（11月）の教員業務の一般的実態を踏まえて、その他の時期との比較を行った。具体的には長期休業期間中である第2期（8月）、学校行事や部活動の大会シーズンである第4期（10月）、学期末業務の集中する第6期（12月）の業務の特徴を教員の属性別に明らかにした。

第6章「部活動顧問の活動日数および活動時間に関する分析」では、部活動顧問の活動日数と時間の分析を行った。勤務日と休日において運動部の活動日数は文化部よりも多い一方で、両者の活動時間に大きな差はなく、活動時間が短い時期には顧問が他の業務に従事している可能性があることが明らかとなった。

第7章「小学校教諭の給食および昼休みに関する勤務実態分析」では、小学校教諭の給食から昼休みの勤務実態について分析し、低学年の担任の場合給食指導を中心とした業務に従事する傾向があり多忙であることを明らかにした。その一方で担任をしていない教員は休憩時間を比較的取得しやすい傾向にあることを明らかにした。

第8章「教員・学校の業務の実態に関する訪問調査—佐賀市立小中学校の事例—」では、

小学校の給食指導の実態のききとりをした。すなわち低学年の場合、学級担任が常に児童に気を配る必要があり中高学年よりも負担が大きい。一方、中学校の部活動では、大会前はほぼ毎日活動しておりきわめて多忙であるが、それ以外の時期には基本的に週1、2日部活動をしないことが可能となっている。

第二部の各章の概要は以下の通りである。

第9章「教員の労働時間研究の到達点と課題」では平成18年度以降急速に進展を遂げた教員の労働時間研究の到達点をまとめたうえで、研究すべき課題を整理している。第10章「勤務実態調査のサンプリングに関連して」では統計学におけるサンプリング理論を紹介し、学校単位で教員の勤務実態を調査する際のサンプリングの方法論をまとめている。第11章「時間帯別行為者率を用いた教員業務の集計結果と分析上の課題」では平成19年度の調査研究で新たに採用された行為者率という分析概念を用いた分析結果の概要が報告されるとともに、分析の際の留意点が指摘されている。第12章「教員業務の研究動向および課題—社会学の立場に基づきながら—」では社会学における教員業務に関する研究動向をレビューするとともに、訪問調査から得られた知見等が紹介されている。第13章「イギリスの動向—学校再編に伴う人材育成プログラム—」では教員をはじめとする多様な学校スタッフの雇用が推進されているイギリスの教育行政の最近の動向が紹介されている。最後に第14章「教職調整額見直しをめぐる論議」では、教員業務の在り方に関する各種検討会議のメンバーにより関連する政策論議がまとめられている。

【参考文献】

- 青木栄一 2008 「教員の仕事をどうデザインするか」『BERD』14号
- 小川正人 2008a 「インタビュー教員の勤務実態と教員給与のゆくえ 上・下」『月刊 Principal』10・11月号
- 小川正人 2008b 「インタビュー教職調整額は廃止し時間外手当化を」『内外教育』2008年10月3日
- 小川正人 2008c 「インタビュー教員の勤務

実態と教員給与の行方 上・下」『月刊・高校教育』10・11月号

国立大学法人東京大学 2007 『教員勤務実態調査（小・中学校）報告書』

国立大学法人東京大学 2008 『教員の業務の多様化・複雑化に対応した業務量計測手法の開発と教職員配置制度の設計—教員と教員サポート職員による業務の適切な分担とアウトソーシングの可能性—報告書（第1分冊・第2分冊）』

第2章 小学校・中学校の教員の残業時間に関する要因分析

樋口 健・鈴木 尚子

各期の各学校段階の教員（管理職含む）を4分位に分け、第1分位および第4分位をとりだし、それぞれ低残業群、高残業群とした。

例：第1期（通常期）・小学校の場合

	度数	パーセント	累積 パーセント	4分位
～1.035 (1時間02分以下)	889	25	25	第1分位 (・・・低残業群)
1.036～1.682 (1時間02分～1時間41分)	889	25	50	第2分位
1.683～2.462 (1時間41分～2時間28分)	889	25	75	第3分位
2.463～ (2時間28分以上)	889	25	100	第4分位 (・・・高残業群)
合計	3556	100		

【小学校の特徴】

全体の比率に比べ・・・

- 性別をみると、低残業群では女性が多く、高残業群では男性が多い。
- 年代比をみると、低残業群では41～50歳、51歳以上が多く、高残業群では30歳以下が多い。
- 職階比をみると、低残業群では養護教諭が多く、高残業群では教頭・副校長が多い。
- 担任学年比（教諭のみ）をみると、低残業群では小1、担任はしていない教諭が多く、高残業群では小5、小6が多い。
- 児童生徒数（教諭のみ）をみると、低残業群では0～15人、16～25人が多く、高残業群では26～35人、36～60人が多い。
- 研究教科（教諭のみ）をみると、それほど顕著な傾向はみられなかった。強いていえば、低残業群では音楽が多く、高残業群では体育が多い。
- 校務分掌（教諭のみ）をみると、それほど顕著な傾向はみられなかった。強いていえば、低残業群では学年主任が多く、高残業群では教務主任が多い。
- 年休取得状況（教諭のみ）をみると、低残業群では16～20日が多く、高残業群では3～5日、6～10日が多い。
- 通勤時間をみると、低残業群ではそれほど顕著な傾向はみられなかった。高残業群では1時間が多い。
- 子どもの状況をみると、低残業群では4～6歳、19歳以上など子どもがいることが多く、高残業群では子どもがいないことが多い。
- 介護家族の状況をみると、低残業群では自宅外に介護が必要な人がいることが多く、高残業群では介護を要する人がいないことが多い。

【中学校の特徴】

全体の比率に比べ・・・

- 性別をみると、低残業群では女性が多く、高残業群では男性が多い。
- 年代比をみると、低残業群では 51 歳以上が多く、高残業群では 30 歳以下、31～40 歳が多い。
- 職階比をみると、低残業群では養護教諭が多く、高残業群では教頭・副校長が多い。
- 担任学年比（教諭のみ）をみると、低残業群では担任はしていない教諭が多く、高残業群では中 2、中 3 が多い。
- 担当教科（教諭のみ）をみると、それほど顕著な傾向はみられなかった。強いていえば、低残業群では国語、外国語が多く、高残業群では数学、理科が多い。
- 部活動の顧問（教諭のみ）をみると、低残業群では文化部顧問、顧問をしていない教諭が多く、高残業群では運動部顧問が多い。
- 校務分掌（教諭のみ）をみると、それほど顕著な傾向はみられなかった。強いていえば、低残業群では担当していない教諭が多い。
- 年休取得状況（教諭のみ）をみると、低残業群では 11～15 日、16～20 日が多く、高残業群では 0～2 日、3～5 日が多い。
- 通勤時間をみると、それほど顕著な傾向はみられなかった。
- 子どもの状況をみると、低残業群では 13～18 歳、19 歳以上など子どもがいることが多い、高残業群では子どもがいないことが多い。
- 介護家族の状況をみると、低残業群では自宅外に介護が必要な人がいることが多い、高残業群では介護を要する人がいないことが多い。

小学校・第1期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.035)	高残業群(2.463～)	
性別	男性	24.7	47.0	34.3
	女性	69.1	48.0	60.1
	無回答・不明	6.2	4.9	5.5

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.035)	高残業群(2.463～)	
年代別	30歳以下	6.0	31.4	16.5
	31～40歳	18.7	17.1	17.5
	41～50歳	36.3	26.1	33.4
	51歳以上	33.0	20.7	26.9
	無回答・不明	6.1	4.7	5.6

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.035)	高残業群(2.463～)	
職名	校長	3.5	3.6	4.4
	教頭・副校長	0.1	14.1	4.5
	教諭	75.8	72.0	75.5
	講師	3.9	4.4	5.2
	養護教諭	9.7	0.7	4.3
	栄養教諭	0.1	0.2	0.1
	その他	0.0	0.0	0.1
	無回答・不明	6.9	5.1	5.8

表4 残業量別担任学年比(学級担任をしている教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.035)	高残業群(2.463～)	
学級担任の学年	小1	16.3	9.2	13.5
	小2	11.9	13.4	12.6
	小3	10.8	12.5	12.1
	小4	10.7	13.4	12.4
	小5	8.3	16.1	13.0
	小6	8.8	18.3	13.5
	それ以外	9.8	4.2	6.8
	担任はしていない	21.5	11.4	14.4
	無回答・不明	1.9	1.4	1.7

表5 残業量別担任学級の児童生徒数（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.035）	高残業群（2.463～）	
担任学級の児童 生徒数	1～15人	14.4	6.2	9.9
	16～25人	9.6	7.1	9.4
	26～35人	59.9	63.7	60.7
	36～40人	11.3	20.8	17.0
	無回答・不明	4.7	2.3	3.0

表6 残業量別研究教科（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.035）	高残業群（2.463～）	
主な研究教科	国語	26.6	23.0	28.4
	社会	2.7	5.2	4.7
	算数	28.3	25.6	25.5
	理科	4.2	5.3	4.8
	生活	2.1	1.6	1.5
	音楽	8.6	3.9	5.4
	図画工作	4.7	2.2	2.8
	家庭	1.2	1.6	1.1
	体育	4.0	10.5	6.2
	道徳	3.0	4.2	3.7
	特別活動	1.5	3.0	1.9
	総合的な学習の時間	2.2	4.1	3.2
	その他	3.9	4.1	3.7
無回答・不明	7.1	5.9	7.2	

表7 残業量別校務分掌比（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.035）	高残業群（2.463～）	
担当主任	担当していない	30.1	31.6	28.7
	教務主任	2.2	7.5	5.3
	生活・生徒指導主任	3.7	5.5	4.5
	進路指導主任	0.7	0.5	0.4
	保健主任	2.8	2.0	2.7
	研究主任	3.6	5.3	5.2
	庶務主任	1.0	0.2	0.5
	学年主任	24.3	20.0	25.5
	その他の主任	36.5	35.0	35.4

表 8 残業量別年休取得状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.035）	高残業群（2.463～）	
昨年度年休取得状況	0-2日	1.6	4.5	2.2
	3-5日	5.2	13.1	8.0
	6-10日	15.4	32.5	24.4
	11-15日	28.9	18.1	27.3
	16-20日	32.0	12.0	20.3
	28日以上	5.3	1.3	3.5
	昨年度の勤務が1年未満	3.3	9.7	5.5
	無回答・不明	8.2	8.8	8.9

表 9 残業量別通勤時間（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.035）	高残業群（2.463～）	
自宅から学校への通勤時間	15分以内	31.3	28.6	31.8
	30分	43.8	41.4	42.9
	45分	14.1	12.8	13.2
	1時間	7.1	13.3	8.5
	1時間半	2.4	3.0	2.7
	2時間	0.3	0.3	0.2
	それ以上	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	1.0	0.6	0.7

表 10 残業量別子ども状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.035）	高残業群（2.463～）	
一番下の子どもの年齢	0-3歳	9.6	7.3	8.8
	4-6歳	11.1	4.8	6.9
	7-12歳	17.1	8.1	15.0
	13-18歳	20.0	10.3	17.5
	19歳以上	24.5	11.9	19.5
	子どもはいない	15.6	54.8	30.1
	無回答・不明	2.1	2.7	2.3

表 11 残業量別介護家族の状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.035）	高残業群（2.463～）	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	7.9	3.3	5.7
	自宅外に介護が必要な人がいる	19.1	8.8	13.8
	介護を要する人はいない	70.9	86.1	78.3
	無回答・不明	2.1	1.9	2.2

小学校・第2期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.000)	高残業群(.501～)	
性別	男性	26.6	50.1	33.9
	女性	69.2	45.1	61.8
	無回答・不明	4.2	4.8	4.3

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.000)	高残業群(.501～)	
年代別	30歳以下	12.4	16.4	14.0
	31～40歳	18.5	15.9	18.4
	41～50歳	36.2	33.7	35.6
	51歳以上	28.3	29.0	27.4
	無回答・不明	4.5	5.1	4.5

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.000)	高残業群(.501～)	
職名	校長	1.8	8.8	4.5
	教頭・副校長	0.7	14.4	4.7
	教諭	82.3	66.6	76.7
	講師	4.7	1.7	4.3
	養護教諭	4.9	2.5	4.6
	栄養教諭	0.0	0.0	0.0
	その他	0.4	0.4	0.3
	無回答・不明	5.4	5.7	4.9

表4 残業量別担任学年比 (学級担任をしている教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.000)	高残業群(.501～)	
学級担任の学年	小1	17.4	11.7	14.1
	小2	13.0	9.8	12.7
	小3	13.3	12.2	12.2
	小4	12.1	9.3	12.0
	小5	10.1	17.4	12.7
	小6	8.7	20.0	13.5
	それ以外	8.8	3.1	6.8
	担任はしていない	14.2	15.0	14.2
	無回答・不明	2.5	1.5	1.7

表5 残業量別担任学級の児童生徒数（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.000)	高残業群(.501～)	
担任学級の児童生徒数	1～15人	14.8	6.4	11.2
	16～25人	11.8	7.3	10.5
	26～35人	55.0	65.2	59.3
	36～40人	15.2	19.7	16.5
	無回答・不明	3.2	1.3	2.5

表6 残業量別研究教科（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.000)	高残業群(.501～)	
主な研究教科	国語	30.7	32.6	30.9
	社会	3.3	5.9	4.6
	算数	24.9	24.4	24.3
	理科	3.6	5.4	4.4
	生活	2.5	2.0	2.4
	音楽	5.6	2.6	4.6
	図画工作	3.4	3.0	2.9
	家庭	1.0	0.6	0.9
	体育	4.7	8.0	6.2
	道徳	3.6	2.6	3.8
	特別活動	1.6	2.6	2.0
	総合的な学習の時間	2.7	2.8	3.1
	その他	4.3	2.8	3.9
	無回答・不明	8.0	4.8	6.1

表7 残業量別校務分掌比（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.000)	高残業群(.501～)	
担当主任	担当していない	30.0	25.0	28.3
	教務主任	2.8	10.9	5.5
	生活・生徒指導主任	3.9	5.9	5.0
	進路指導主任	0.2	0.9	0.4
	保健主任	3.1	2.2	2.8
	研究主任	4.7	6.1	5.4
	庶務主任	0.3	0.7	0.5
	学年主任	24.6	25.2	24.8
	その他の主任	32.4	36.5	34.6

表 8 残業量別年休取得状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.000）	高残業群（.501～）	
昨年度年休取得状況	0-2日	1.5	3.9	2.1
	3-5日	5.2	11.1	8.3
	6-10日	18.1	32.6	23.8
	11-15日	28.0	26.9	28.9
	16-20日	30.3	12.6	22.9
	28日以上	4.5	1.3	3.0
	昨年度の勤務が1年未満	6.3	4.6	5.2
	無回答・不明	6.1	7.0	5.9

表 9 残業量別通勤時間（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.000）	高残業群（.501～）	
自宅から学校への通勤時間	15分以内	30.7	29.6	30.8
	30分	42.8	41.3	43.6
	45分	13.8	16.9	13.6
	1時間	9.2	10.0	8.9
	1時間半	2.6	1.3	2.0
	2時間	0.1	0.0	0.1
	それ以上	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	0.8	0.9	1.0

表 10 残業量別子ども状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.000）	高残業群（.501～）	
一番下の子どもの年齢	0-3歳	8.3	9.4	8.4
	4-6歳	7.6	5.2	6.4
	7-12歳	17.0	14.8	15.9
	13-18歳	17.4	18.7	18.7
	19歳以上	22.0	13.5	18.7
	子どもはいない	25.5	36.1	29.2
	無回答・不明	2.3	2.2	2.7

表 11 残業量別介護家族の状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.000）	高残業群（.501～）	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	6.8	6.3	6.4
	自宅外に介護が必要な人がいる	15.9	11.1	14.8
	介護を要する人はいない	75.3	81.1	77.0
	無回答・不明	2.0	1.5	1.8

小学校・第3期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.890)	高残業群(2.234～)	
性別	男性	20.2	48.4	32.9
	女性	69.8	43.8	58.9
	無回答・不明	10.0	7.8	8.2

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.890)	高残業群(2.234～)	
年代別	30歳以下	4.9	26.7	13.2
	31～40歳	16.3	17.9	18.4
	41～50歳	35.4	28.9	33.3
	51歳以上	32.9	19.0	26.7
	無回答・不明	10.6	7.6	8.5

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.890)	高残業群(2.234～)	
職名	校長	3.0	3.4	4.4
	教頭・副校長	0.2	13.6	4.5
	教諭	72.5	70.3	73.2
	講師	5.3	3.3	4.6
	養護教諭	8.1	0.6	4.1
	栄養教諭	0.0	0.0	0.0
	その他	0.1	0.3	0.2
	無回答・不明	10.7	8.5	9.0

表4 残業量別担任学年比(学級担任をしている教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.890)	高残業群(2.234～)	
学級担任の学年	小1	14.4	10.6	13.9
	小2	14.4	11.6	12.9
	小3	11.7	11.9	12.2
	小4	9.9	14.1	12.5
	小5	9.1	17.2	12.9
	小6	9.1	18.4	13.3
	それ以外	10.1	3.6	7.3
	担任はしていない	20.5	12.4	14.7
	無回答・不明	0.6	0.2	0.3

表5 残業量別担任学級の児童生徒数（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.890)	高残業群(2.234～)	
担任学級の児童 生徒数	1～15人	15.3	5.1	10.7
	16～25人	10.1	8.1	11.2
	26～35人	56.0	68.2	58.8
	36～40人	14.3	16.8	16.3
	無回答・不明	4.2	1.7	3.0

表6 残業量別研究教科（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.890)	高残業群(2.234～)	
主な研究教科	国語	28.2	24.0	28.4
	社会	3.4	7.0	4.9
	算数	25.5	25.3	24.8
	理科	4.8	6.0	4.6
	生活	3.0	2.8	2.6
	音楽	6.7	3.1	4.6
	図画工作	3.4	2.2	3.4
	家庭	1.1	0.0	0.7
	体育	3.7	9.9	6.1
	道徳	1.9	2.5	2.4
	特別活動	1.9	3.0	2.1
	総合的な学習の時間	2.7	3.6	3.4
	その他	6.1	4.8	5.5
	無回答・不明	7.5	5.8	6.5

表7 残業量別校務分掌比（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.890)	高残業群(2.234～)	
担当主任	担当していない	30.4	28.8	27.5
	教務主任	3.5	9.6	5.3
	生活・生徒指導主任	4.3	5.3	5.5
	進路指導主任	0.2	0.8	0.3
	保健主任	3.5	1.3	2.7
	研究主任	5.6	6.5	5.4
	庶務主任	1.0	0.3	0.7
	学年主任	21.8	20.7	23.9
	その他の主任	35.4	35.4	37.1

表 8 残業量別年休取得状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.890）	高残業群（2.234～）	
昨年度年休取得状況	0-2 日	1.1	3.0	1.7
	3-5 日	3.0	14.1	7.6
	6-10 日	15.9	27.0	22.3
	11-15 日	25.3	25.2	30.0
	16-20 日	36.1	11.8	21.6
	28 日以上	6.7	1.7	3.7
	昨年度の勤務が1年未満	4.3	9.4	5.6
	無回答・不明	7.5	7.9	7.6

表 9 残業量別通勤時間（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.890）	高残業群（2.234～）	
自宅から学校への通勤時間	15 分以内	29.2	28.8	30.0
	30 分	44.6	41.9	44.3
	45 分	15.1	15.7	14.1
	1 時間	8.8	9.3	8.0
	1 時間半	1.3	2.6	2.3
	2 時間	0.3	0.3	0.2
	それ以上	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	0.8	1.3	1.0

表 10 残業量別子どもの状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.890）	高残業群（2.234～）	
一番下の子どもの年齢	0-3 歳	9.5	5.3	8.1
	4-6 歳	9.5	6.6	6.8
	7-12 歳	15.5	11.1	14.9
	13-18 歳	21.2	12.7	17.4
	19 歳以上	27.9	8.1	18.8
	子どもはいない	14.9	53.5	31.5
	無回答・不明	1.6	2.6	2.4

表 11 残業量別介護家族の状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.890）	高残業群（2.234～）	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	6.3	4.8	6.1
	自宅外に介護が必要な人がいる	18.1	10.1	14.2
	介護を要する人はいない	73.4	83.3	77.7
	無回答・不明	2.2	1.8	2.0

小学校・第4期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1,000)	高残業群(2,341～)	
性別	男性	23.1	51.3	33.4
	女性	67.5	41.8	58.7
	無回答・不明	9.4	7.0	8.0

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1,000)	高残業群(2,341～)	
年代別	30歳以下	6.0	24.5	13.9
	31～40歳	16.2	20.1	18.6
	41～50歳	38.3	28.3	33.8
	51歳以上	29.6	20.5	25.7
	無回答・不明	9.9	6.6	7.9

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1,000)	高残業群(2,341～)	
職名	校長	3.8	3.5	4.4
	教頭・副校長	0.5	13.2	4.5
	教諭	71.0	71.4	73.7
	講師	4.6	3.7	4.6
	養護教諭	9.7	0.8	4.2
	栄養教諭	0.5	0.0	0.1
	その他	0.1	0.1	0.2
	無回答・不明	9.9	7.2	8.1

表4 残業量別担任学年比(学級担任をしている教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1,000)	高残業群(2,341～)	
学級担任の学年	小1	13.0	11.8	14.1
	小2	14.0	10.3	12.9
	小3	14.1	13.3	11.7
	小4	11.1	12.3	11.9
	小5	8.3	15.7	12.5
	小6	6.6	18.0	13.3
	それ以外	13.0	2.5	7.3
	担任はしていない	18.1	15.3	14.8
	無回答・不明	1.8	0.7	1.6

表5 残業量別担任学級の児童生徒数（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1,000）	高残業群（2,341～）	
担任学級の児童 生徒数	1～15人	19.7	3.6	10.2
	16～25人	15.8	12.9	13.4
	26～35人	47.1	59.0	55.9
	36～40人	12.9	23.1	18.0
	無回答・不明	4.6	1.4	2.6

表6 残業量別研究教科（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1,000）	高残業群（2,341～）	
主な研究教科	国語	26.2	22.4	27.1
	社会	2.5	5.7	3.8
	算数	25.7	29.0	27.1
	理科	4.0	6.7	5.3
	生活	2.7	1.2	2.0
	音楽	6.5	2.9	4.6
	図画工作	4.5	3.4	3.3
	家庭	0.7	0.8	0.9
	体育	2.8	11.1	6.7
	道徳	2.7	4.0	3.2
	特別活動	2.0	1.9	2.1
	総合的な学習の時間	4.2	2.4	3.0
	その他	7.3	3.7	4.4
	無回答・不明	8.3	4.7	6.5

表7 残業量別校務分掌比（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1,000）	高残業群（2,341～）	
担当主任	担当していない	32.7	30.4	30.0
	教務主任	2.2	9.4	5.5
	生活・生徒指導主任	5.3	4.2	4.9
	進路指導主任	0.0	0.2	0.2
	保健主任	3.5	1.7	2.9
	研究主任	4.5	6.4	5.3
	庶務主任	0.5	0.5	0.4
	学年主任	21.9	17.7	23.2
	その他の主任	33.9	35.6	35.2

表 8 残業量別年休取得状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1,000）	高残業群（2,341～）	
昨年度年休取得状況	0-2日	1.3	4.7	2.1
	3-5日	3.5	12.3	7.0
	6-10日	16.1	34.1	25.0
	11-15日	31.6	24.1	29.7
	16-20日	30.2	10.3	20.7
	28日以上	4.7	2.2	2.7
	昨年度の勤務が1年未満	3.3	6.2	4.7
	無回答・不明	9.3	6.1	8.1

表 9 残業量別通勤時間（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1,000）	高残業群（2,341～）	
自宅から学校への通勤時間	15分以内	31.4	32.7	32.2
	30分	46.2	43.0	45.0
	45分	12.5	11.8	12.5
	1時間	6.3	8.8	7.1
	1時間半	2.2	2.4	2.1
	2時間	0.0	0.2	0.1
	それ以上	0.2	0.0	0.0
	無回答・不明	1.3	1.2	0.9

表 10 残業量別子どもの状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1,000）	高残業群（2,341～）	
一番下の子どもの年齢	0-3歳	8.8	7.9	8.6
	4-6歳	8.1	5.4	6.8
	7-12歳	17.6	12.1	14.9
	13-18歳	18.9	11.0	16.7
	19歳以上	28.2	8.6	18.7
	子どもはいない	15.4	52.3	31.9
	無回答・不明	2.8	2.7	2.4

表 11 残業量別介護家族の状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1,000）	高残業群（2,341～）	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	9.5	5.1	7.3
	自宅外に介護が必要な人がいる	17.6	9.9	14.4
	介護を要する人はいない	70.4	83.5	76.5
	無回答・不明	2.5	1.5	1.8

小学校・第5期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.907)	高残業群(2.296～)	
性別	男性	23.5	46.4	33.6
	女性	68.7	46.7	58.2
	無回答・不明	7.7	6.9	8.2

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.907)	高残業群(2.296～)	
年代別	30歳以下	6.1	29.3	14.7
	31～40歳	16.9	18.4	16.8
	41～50歳	34.8	25.2	32.3
	51歳以上	34.6	20.3	28.0
	無回答・不明	7.6	6.8	8.2

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.907)	高残業群(2.296～)	
職名	校長	2.6	4.2	4.3
	教頭・副校長	0.2	11.6	4.4
	教諭	73.6	71.2	73.0
	講師	6.4	5.3	5.0
	養護教諭	8.7	0.5	4.2
	栄養教諭	0.0	0.0	0.1
	その他	0.4	0.2	0.3
	無回答・不明	8.1	7.0	8.6

表4 残業量別担任学年比(学級担任をしている教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.907)	高残業群(2.296～)	
学級担任の学年	小1	13.1	9.4	13.1
	小2	15.0	13.2	13.0
	小3	9.9	13.0	11.9
	小4	12.7	14.5	12.1
	小5	9.1	15.9	12.8
	小6	7.3	16.8	13.0
	それ以外	9.5	3.6	7.3
	担任はしていない	20.0	12.1	14.5
	無回答・不明	3.4	1.5	2.2

表5 残業量別担任学級の児童生徒数（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.907)	高残業群(2.296～)	
担任学級の児童生徒数	1～15人	16.6	5.3	11.2
	16～25人	15.1	10.3	12.0
	26～35人	48.7	61.4	54.0
	36～40人	14.4	20.1	19.2
	無回答・不明	5.1	2.8	3.5

表6 残業量別研究教科（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.907)	高残業群(2.296～)	
主な研究教科	国語	29.3	26.8	27.9
	社会	2.0	5.6	4.1
	算数	23.1	25.7	24.8
	理科	5.5	7.4	5.8
	生活	3.1	2.7	2.7
	音楽	5.8	2.3	4.2
	図画工作	5.8	0.9	3.1
	家庭	0.9	0.0	0.8
	体育	3.4	10.0	6.4
	道徳	2.5	3.8	3.0
	特別活動	0.9	1.2	1.4
	総合的な学習の時間	4.1	3.6	3.7
	その他	8.9	4.8	7.1
	無回答・不明	4.7	5.1	4.9

表7 残業量別校務分掌比（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.907)	高残業群(2.296～)	
担当主任	担当していない	29.5	28.6	28.3
	教務主任	2.8	9.7	5.3
	生活・生徒指導主任	4.8	6.1	5.3
	進路指導主任	0.4	0.3	0.3
	保健主任	3.9	1.4	2.7
	研究主任	5.1	4.5	5.2
	庶務主任	0.7	0.3	0.4
	学年主任	23.2	20.1	24.8
	その他の主任	34.7	36.8	34.8

表 8 残業量別年休取得状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.907）	高残業群（2.296～）	
昨年度年休取得状況	0-2 日	1.3	4.1	2.2
	3-5 日	3.8	12.9	7.3
	6-10 日	17.1	30.4	24.8
	11-15 日	31.1	24.1	29.6
	16-20 日	29.9	6.8	19.9
	28 日以上	6.4	1.4	3.4
	昨年度の勤務が1年未満	2.8	12.0	5.2
	無回答・不明	7.6	8.5	7.6

表 9 残業量別通勤時間（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.907）	高残業群（2.296～）	
自宅から学校への通勤時間	15 分以内	34.0	35.7	33.8
	30 分	38.4	41.8	42.3
	45 分	14.3	11.3	13.3
	1 時間	9.2	8.2	7.6
	1 時間半	2.3	1.4	1.6
	2 時間	0.4	0.2	0.2
	それ以上	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	1.3	1.5	1.2

表 10 残業量別子どもの状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.907）	高残業群（2.296～）	
一番下の子ども年齢	0-3 歳	10.1	8.5	8.3
	4-6 歳	6.7	3.0	5.5
	7-12 歳	16.1	10.9	14.0
	13-18 歳	18.7	12.0	17.2
	19 歳以上	29.9	10.0	20.8
	子どもはいない	16.4	52.8	31.7
	無回答・不明	2.2	2.9	2.5

表 11 残業量別介護家族の状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.907）	高残業群（2.296～）	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	8.3	2.9	6.7
	自宅外に介護が必要な人がいる	17.4	7.7	13.2
	介護を要する人はいない	72.6	87.6	78.5
	無回答・不明	1.8	1.8	1.6

小学校・第6期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.846)	高残業群(2.177～)	
性別	男性	23.9	43.0	32.0
	女性	67.9	48.7	59.0
	無回答・不明	8.2	8.2	8.9

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.846)	高残業群(2.177～)	
年代別	30歳以下	5.6	26.4	13.3
	31～40歳	17.6	15.6	17.2
	41～50歳	37.7	26.8	33.2
	51歳以上	30.7	22.6	27.1
	無回答・不明	8.3	8.7	9.1

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.846)	高残業群(2.177～)	
職名	校長	2.8	3.8	4.3
	教頭・副校長	0.3	13.3	4.6
	教諭	73.5	69.6	72.9
	講師	4.4	3.9	4.4
	養護教諭	10.3	0.5	4.2
	栄養教諭	0.0	0.0	0.1
	その他	0.2	0.1	0.2
	無回答・不明	8.4	8.8	9.4

表4 残業量別担任学年比(学級担任をしている教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.846)	高残業群(2.177～)	
学級担任の学年	小1	14.7	12.1	13.9
	小2	13.4	12.8	12.9
	小3	12.1	13.9	12.9
	小4	10.6	13.5	12.1
	小5	7.1	15.0	11.7
	小6	8.5	16.2	13.3
	それ以外	10.1	4.4	7.0
	担任はしていない	20.5	11.0	14.3
	無回答・不明	3.0	1.1	1.9

表5 残業量別担任学級の児童生徒数（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.846)	高残業群(2.177～)	
担任学級の児童 生徒数	1～15人	18.7	6.2	11.3
	16～25人	13.1	8.3	12.1
	26～35人	46.6	62.8	54.9
	36～40人	16.3	19.8	18.4
	無回答・不明	5.2	2.8	3.4

表6 残業量別研究教科（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.846)	高残業群(2.177～)	
主な研究教科	国語	29.5	24.7	28.0
	社会	2.5	7.4	4.3
	算数	25.6	21.6	24.6
	理科	4.0	6.3	5.4
	生活	1.3	3.1	2.2
	音楽	5.8	3.8	4.7
	図画工作	4.3	2.7	3.3
	家庭	1.2	0.9	1.0
	体育	3.1	8.7	5.5
	道徳	2.8	4.6	3.5
	特別活動	2.1	2.0	1.6
	総合的な学習の時間	3.3	3.6	3.9
	その他	9.1	5.8	6.9
	無回答・不明	5.4	4.7	5.2

表7 残業量別校務分掌比（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.846)	高残業群(2.177～)	
担当主任	担当していない	36.3	33.9	31.8
	教務主任	2.8	8.5	5.5
	生活・生徒指導主任	3.3	5.5	5.1
	進路指導主任	0.3	0.2	0.2
	保健主任	3.1	2.2	3.2
	研究主任	3.9	4.7	4.9
	庶務主任	0.3	0.8	0.5
	学年主任	18.9	20.5	23.3
	その他の主任	33.5	34.0	33.3

表 8 残業量別年休取得状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.846)	高残業群(2.177～)	
昨年度年休取得状況	0-2日	1.0	5.2	2.7
	3-5日	4.3	12.9	7.6
	6-10日	20.1	31.3	25.1
	11-15日	29.9	20.2	28.3
	16-20日	28.6	9.9	19.5
	28日以上	5.5	1.3	3.5
	昨年度の勤務が1年未満	4.9	9.8	5.4
	無回答・不明	5.7	9.4	8.0

表 9 残業量別通勤時間（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.846)	高残業群(2.177～)	
自宅から学校への通勤時間	15分以内	27.8	29.0	29.5
	30分	47.9	45.0	46.7
	45分	14.3	13.4	13.2
	1時間	7.4	8.3	7.1
	1時間半	1.8	2.5	2.1
	2時間	0.1	0.6	0.2
	それ以上	0.1	0.0	0.0
	無回答・不明	0.4	1.1	1.2

表 10 残業量別子どもの状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.846)	高残業群(2.177～)	
一番下の子どもの年齢	0-3歳	8.5	6.5	7.7
	4-6歳	9.4	3.8	6.5
	7-12歳	18.3	10.4	15.2
	13-18歳	19.6	12.8	17.7
	19歳以上	25.7	12.9	20.0
	子どもはいない	17.3	51.7	30.7
	無回答・不明	1.2	2.0	2.3

表 11 残業量別介護家族の状況（教諭）（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.846)	高残業群(2.177～)	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	6.8	4.6	5.6
	自宅外に介護が必要な人がいる	15.3	10.6	13.8
	介護を要する人はいない	76.6	83.3	78.4
	無回答・不明	1.2	1.6	2.1

中学校・第1期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.500)	高残業群(3.251～)	
性別	男性	46.3	64.6	56.4
	女性	49.7	29.0	37.7
	無回答・不明	4.0	6.4	5.8

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.500)	高残業群(3.251～)	
年代別	30歳以下	5.4	24.7	13.3
	31～40歳	18.0	26.7	22.7
	41～50歳	39.4	31.6	36.5
	51歳以上	33.0	10.2	21.5
	無回答・不明	4.2	6.8	6.0

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.500)	高残業群(3.251～)	
職名	校長	5.9	0.6	3.9
	教頭・副校長	0.3	8.9	4.1
	教諭	76.9	77.0	76.7
	講師	4.9	6.2	5.3
	養護教諭	7.5	0.8	3.8
	栄養教諭	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	4.6	6.5	6.1

表4 残業量別担任学年比(教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.500)	高残業群(3.251～)	
学級担任の学年	中1	16.5	18.9	18.9
	中2	14.1	23.0	18.6
	中3	15.2	24.6	19.1
	それ以外	5.6	1.4	3.5
	担任はしていない	42.8	29.4	35.6
	無回答・不明	5.8	2.7	4.4

表5 残業量別担当教科（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.500）	高残業群（3.251～）	
主な担当教科	国語	15.7	13.4	13.4
	社会	10.3	11.8	11.7
	数学	13.4	17.4	15.7
	理科	10.1	14.1	11.8
	音楽	4.8	4.0	5.1
	美術	5.0	3.5	4.6
	保健体育	7.8	11.7	11.2
	技術・家庭	7.5	8.2	7.9
	外国語	16.3	13.7	13.7
	その他	5.6	0.7	2.5
	無回答・不明	3.5	1.5	2.3

表6 残業量別部活動の顧問（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.500）	高残業群（3.251～）	
部活動の顧問	運動部顧問	52.2	83.8	70.1
	文化部顧問	30.6	13.4	22.3
	顧問していない	16.2	2.2	6.8
	無回答・不明	1.0	0.5	0.8

表7 残業量別校務分掌比（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.500）	高残業群（3.251～）	
担当主任	担当していない	44.2	40.3	38.6
	教務主任	3.2	5.3	5.0
	生活・生徒指導主任	2.6	5.7	4.7
	進路指導主任	4.3	4.2	4.7
	保健主任	2.1	1.6	1.7
	研究主任	2.6	3.7	3.3
	庶務主任	0.7	0.2	0.4
	学年主任	9.2	12.4	13.1
	その他の主任	24.0	24.1	24.2

表 16 残業量別年休取得状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1,500）	高残業群（3,251～）	
昨年度年休取得状況	0-2日	1.6	14.2	6.7
	3-5日	9.8	30.6	19.4
	6-10日	22.0	28.0	28.7
	11-15日	25.5	10.6	18.7
	16-20日	24.8	3.9	11.5
	28日以上	6.2	0.4	3.0
	昨年度の勤務が1年未満	3.1	6.5	4.4
	無回答・不明	7.1	6.0	7.7

表 17 残業量別通勤時間（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1,500）	高残業群（3,251～）	
自宅から学校への通勤時間	15分以内	25.1	33.2	29.1
	30分	40.8	43.9	42.7
	45分	17.5	12.4	15.5
	1時間	12.0	7.8	9.2
	1時間半	3.7	2.0	2.5
	2時間	0.2	0.2	0.2
	それ以上	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	0.6	0.4	0.7

表 18 残業量別子どもの状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1,500）	高残業群（3,251～）	
一番下の子どもの年齢	0-3歳	10.5	11.6	11.6
	4-6歳	10.3	7.1	8.7
	7-12歳	18.9	13.4	17.6
	13-18歳	20.0	11.7	15.8
	19歳以上	18.7	5.0	12.0
	子どもはいない	19.7	47.8	31.6
	無回答・不明	1.9	3.5	2.7

表 19 残業量別介護家族の状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1,500）	高残業群（3,251～）	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	8.7	4.1	5.8
	自宅外に介護が必要な人がいる	17.0	8.0	13.0
	介護を要する人はいない	71.8	86.6	79.3
	無回答・不明	2.6	1.4	1.9

中学校・第2期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.071)	高残業群(.813～)	
性別	男性	44.1	69.6	56.1
	女性	50.2	25.3	38.5
	無回答・不明	5.7	5.1	5.5

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.071)	高残業群(.813～)	
年代別	30歳以下	9.6	16.0	13.5
	31～40歳	21.5	25.2	22.8
	41～50歳	36.2	35.1	36.6
	51歳以上	26.7	18.7	21.5
	無回答・不明	6.0	5.0	5.5

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.071)	高残業群(.813～)	
職名	校長	2.8	4.6	3.9
	教頭・副校長	1.3	9.5	4.0
	教諭	76.9	75.1	77.0
	講師	5.7	3.4	5.2
	養護教諭	6.6	1.5	3.7
	栄養教諭	0.1	0.0	0.0
	その他	0.3	0.1	0.1
	無回答・不明	6.3	5.8	6.0

表4 残業量別担任学年比(教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.071)	高残業群(.813～)	
学級担任の学年	中1	18.2	19.8	19.1
	中2	17.9	21.1	18.6
	中3	17.3	23.1	20.3
	それ以外	4.8	2.0	3.6
	担任はしていない	37.5	31.8	35.1
	無回答・不明	4.3	2.3	3.2

表5 残業量別担当教科（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.071)	高残業群(.813～)	
主な担当教科	国語	14.8	11.2	13.5
	社会	10.6	12.5	11.5
	数学	13.3	17.8	15.2
	理科	10.9	13.4	11.7
	音楽	4.8	4.8	5.4
	美術	8.0	2.5	5.2
	保健体育	9.4	14.8	11.5
	技術・家庭	8.2	6.6	8.0
	外国語	15.1	13.9	14.0
	その他	3.1	1.3	2.3
	無回答・不明	1.8	1.4	1.8

表6 残業量別部活動の顧問（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.071)	高残業群(.813～)	
部活動の顧問	運動部顧問	59.9	82.8	71.6
	文化部顧問	30.0	13.9	22.2
	顧問していない	9.7	2.5	5.9
	無回答・不明	0.5	0.8	0.4

表7 残業量別校務分掌比（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.071)	高残業群(.813～)	
担当主任	担当していない	45.2	37.7	40.1
	教務主任	3.5	6.8	4.9
	生活・生徒指導主任	2.9	6.7	4.5
	進路指導主任	4.2	4.2	4.6
	保健主任	2.0	2.0	1.8
	研究主任	2.7	3.8	3.6
	庶務主任	0.4	0.4	0.3
	学年主任	11.6	12.9	13.2
	その他の主任	22.2	23.6	22.8

表 16 残業量別年休取得状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.071）	高残業群（.813～）	
昨年度年休取得状況	0-2日	3.3	9.0	6.5
	3-5日	11.2	29.8	20.0
	6-10日	27.7	29.3	29.3
	11-15日	26.6	12.6	19.3
	16-20日	17.9	7.3	11.2
	28日以上	3.8	1.3	2.6
	昨年度の勤務が1年未満	3.7	3.9	4.0
	無回答・不明	5.6	6.9	7.0

表 17 残業量別通勤時間（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.071）	高残業群（.813～）	
自宅から学校への通勤時間	15分以内	28.6	33.4	30.5
	30分	43.0	42.9	43.9
	45分	14.5	12.7	13.4
	1時間	8.6	7.9	8.5
	1時間半	3.6	2.5	2.6
	2時間	1.0	0.0	0.4
	それ以上	0.1	0.0	0.1
	無回答・不明	0.7	0.5	0.6

表 18 残業量別子どもの状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.071）	高残業群（.813～）	
一番下の子どもの年齢	0-3歳	9.2	11.9	10.8
	4-6歳	10.4	7.6	7.9
	7-12歳	15.8	17.5	16.5
	13-18歳	17.7	14.2	16.2
	19歳以上	18.4	8.6	13.4
	子どもはいない	26.4	38.8	33.1
	無回答・不明	2.2	1.4	2.0

表 19 残業量別介護家族の状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～.071）	高残業群（.813～）	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	6.2	5.8	6.3
	自宅外に介護が必要な人がいる	14.3	8.8	12.6
	介護を要する人はいない	76.2	84.5	79.4
	無回答・不明	3.2	0.9	1.7

中学校・第3期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.376)	高残業群(2.890～)	
性別	男性	41.0	66.7	54.5
	女性	49.3	25.1	37.2
	無回答・不明	9.7	8.2	8.3

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.376)	高残業群(2.890～)	
年代別	30歳以下	4.8	22.4	12.5
	31～40歳	17.2	24.6	21.6
	41～50歳	38.1	31.4	37.0
	51歳以上	29.8	13.3	20.4
	無回答・不明	10.0	8.3	8.5

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.376)	高残業群(2.890～)	
職名	校長	4.7	2.1	3.8
	教頭・副校長	0.2	9.1	4.0
	教諭	70.8	74.2	74.9
	講師	5.0	5.2	4.7
	養護教諭	8.4	0.6	3.8
	栄養教諭	0.0	0.0	0.0
	その他	0.3	0.3	0.2
	無回答・不明	10.6	8.4	8.7

表4 残業量別担任学年比(教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.376)	高残業群(2.890～)	
学級担任の学年	中1	13.8	19.9	18.4
	中2	14.9	22.2	18.8
	中3	14.5	23.0	19.3
	それ以外	7.7	1.8	4.5
	担任はしていない	44.8	31.5	36.4
	無回答・不明	4.1	1.6	2.4

表5 残業量別担当教科（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.376)	高残業群(2.890～)	
主な担当教科	国語	15.8	13.0	13.5
	社会	9.9	13.3	12.0
	数学	12.2	18.5	15.1
	理科	9.9	11.8	12.1
	音楽	5.0	4.1	5.0
	美術	5.4	4.0	4.8
	保健体育	7.9	15.2	11.6
	技術・家庭	10.2	6.6	7.9
	外国語	15.0	11.5	13.8
	その他	4.0	1.0	2.1
	無回答・不明	4.7	1.1	2.2

表6 残業量別部活動の顧問（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.376)	高残業群(2.890～)	
部活動の顧問	運動部顧問	58.3	84.8	72.5
	文化部顧問	27.2	11.8	20.3
	顧問していない	13.2	2.3	6.4
	無回答・不明	1.3	1.1	0.9

表7 残業量別校務分掌比（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.376)	高残業群(2.890～)	
担当主任	担当していない	43.3	34.1	37.0
	教務主任	3.3	6.2	4.9
	生活・生徒指導主任	2.6	7.0	4.9
	進路指導主任	5.0	4.2	4.5
	保健主任	2.0	1.1	1.7
	研究主任	4.0	4.7	4.2
	庶務主任	0.6	0.4	0.3
	学年主任	12.5	13.3	13.8
	その他の主任	21.2	26.8	25.1

表 16 残業量別年休取得状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.376）	高残業群（2.890～）	
昨年度年休 取得状況	0-2日	1.6	11.6	6.3
	3-5日	9.5	28.4	18.7
	6-10日	25.2	29.3	29.2
	11-15日	26.8	14.0	22.3
	16-20日	23.1	3.8	11.4
	28日以上	4.6	1.6	2.2
	昨年度の勤務が1年未満	3.4	4.4	4.1
	無回答・不明	5.9	6.8	5.8

表 17 残業量別通勤時間（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.376）	高残業群（2.890～）	
自宅から学校 への通勤時間	15分以内	24.5	36.3	28.6
	30分	42.0	43.0	43.5
	45分	14.5	12.1	14.2
	1時間	13.5	6.4	9.5
	1時間半	4.2	1.2	3.2
	2時間	0.7	0.1	0.3
	それ以上	0.0	0.0	0.1
	無回答・不明	0.7	0.8	0.6

表 18 残業量別子ども状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.376）	高残業群（2.890～）	
一番下の子ども の年齢	0-3歳	12.3	13.2	11.6
	4-6歳	6.7	8.5	8.5
	7-12歳	17.6	15.2	17.4
	13-18歳	19.9	11.0	15.4
	19歳以上	19.8	4.8	11.8
	子どもはいない	20.6	45.3	32.7
	無回答・不明	3.0	2.1	2.5

表 19 残業量別介護家族の状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.376）	高残業群（2.890～）	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	7.9	3.7	5.8
	自宅外に介護が必要な人がいる	15.8	10.3	13.0
	介護を要する人はいない	74.8	84.8	79.9
	無回答・不明	1.6	1.2	1.3

中学校・第4期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.321)	高残業群(2.834～)	
性別	男性	38.6	63.6	53.4
	女性	49.9	28.7	38.0
	無回答・不明	11.4	7.8	8.7

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.321)	高残業群(2.834～)	
年代別	30歳以下	5.4	24.6	13.4
	31～40歳	14.6	24.9	19.3
	41～50歳	35.9	31.7	36.7
	51歳以上	32.9	11.0	21.8
	無回答・不明	11.2	7.9	8.8

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.321)	高残業群(2.834～)	
職名	校長	4.3	1.7	3.8
	教頭・副校長	0.6	8.9	4.0
	教諭	71.0	75.2	74.2
	講師	4.0	5.7	5.0
	養護教諭	7.9	0.4	3.6
	栄養教諭	0.1	0.0	0.1
	その他	0.3	0.2	0.4
	無回答・不明	11.8	7.8	9.0

表4 残業量別担任学年比(教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.321)	高残業群(2.834～)	
学級担任の学年	中1	18.4	20.5	19.2
	中2	15.4	24.8	20.0
	中3	14.7	23.0	19.9
	それ以外	6.8	1.6	3.3
	担任はしていない	40.1	27.3	34.2
	無回答・不明	4.6	2.7	3.4

表5 残業量別担当教科（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.321)	高残業群(2.834～)	
主な担当教科	国語	16.1	12.1	13.5
	社会	9.9	10.7	11.4
	数学	13.5	18.0	15.7
	理科	8.3	14.8	12.1
	音楽	5.2	4.5	5.1
	美術	5.3	3.7	4.5
	保健体育	10.4	12.5	11.7
	技術・家庭	9.6	8.4	8.2
	外国語	14.2	13.2	13.8
	その他	4.5	0.8	2.1
	無回答・不明	2.9	1.2	1.8

表6 残業量別部活動の顧問（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.321)	高残業群(2.834～)	
部活動の顧問	運動部顧問	50.8	83.7	70.7
	文化部顧問	29.5	14.1	20.9
	顧問していない	18.0	1.8	7.5
	無回答・不明	1.7	0.4	0.8

表7 残業量別校務分掌比（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.321)	高残業群(2.834～)	
担当主任	担当していない	40.4	33.5	36.0
	教務主任	2.6	6.4	4.8
	生活・生徒指導主任	2.7	5.9	4.5
	進路指導主任	4.5	3.9	4.4
	保健主任	2.7	1.6	2.3
	研究主任	2.7	3.5	3.6
	庶務主任	0.3		0.4
	学年主任	9.2	13.2	13.4
	その他の主任	26.5	28.7	26.0

表 16 残業量別年休取得状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.321）	高残業群（2.834～）	
昨年度年休 取得状況	0-2日	1.4	13.6	6.7
	3-5日	8.1	25.2	17.6
	6-10日	20.3	31.0	28.2
	11-15日	29.4	11.7	21.1
	16-20日	23.0	4.2	11.7
	28日以上	5.8	0.8	3.0
	昨年度の勤務が1年未満	5.6	6.0	4.8
	無回答・不明	6.5	7.5	6.9

表 17 残業量別通勤時間（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.321）	高残業群（2.834～）	
自宅から学校 への通勤時間	15分以内	22.4	33.1	28.9
	30分	42.3	43.9	44.2
	45分	17.3	12.0	13.4
	1時間	14.1	7.3	9.7
	1時間半	2.7	3.0	2.9
	2時間	0.7	0.0	0.2
	それ以上	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	0.4	0.7	0.6

表 18 残業量別子ども状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.321）	高残業群（2.834～）	
一番下の子ども の年齢	0-3歳	10.5	12.0	11.3
	4-6歳	7.9	7.6	7.7
	7-12歳	14.7	13.2	15.7
	13-18歳	20.4	10.2	17.1
	19歳以上	23.3	4.1	12.5
	子どもはいない	20.7	49.9	33.1
	無回答・不明	2.4	3.0	2.5

表 19 残業量別介護家族の状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.321）	高残業群（2.834～）	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	7.9	3.5	5.5
	自宅外に介護が必要な人がいる	18.0	9.3	13.0
	介護を要する人はいない	72.1	85.7	79.9
	無回答・不明	2.0	1.5	1.5

中学校・第5期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.297)	高残業群(2.818～)	
性別	男性	43.6	64.1	53.1
	女性	46.2	28.0	37.5
	無回答・不明	10.2	7.9	9.5

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.297)	高残業群(2.818～)	
年代別	30歳以下	5.7	26.3	14.7
	31～40歳	15.8	24.2	20.3
	41～50歳	37.1	29.4	35.2
	51歳以上	31.0	12.2	20.1
	無回答・不明	10.3	8.1	9.7

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.297)	高残業群(2.818～)	
職名	校長	5.2	2.0	3.7
	教頭・副校長	0.7	9.1	4.0
	教諭	69.8	72.9	72.8
	講師	5.4	6.9	5.9
	養護教諭	8.3	0.6	3.7
	栄養教諭	0.0	0.0	0.0
	その他	0.2	0.0	0.1
	無回答・不明	10.3	8.4	9.9

表4 残業量別担任学年比(教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.297)	高残業群(2.818～)	
学級担任の学年	中1	17.6	21.7	19.0
	中2	14.8	22.3	19.4
	中3	14.0	22.8	19.4
	それ以外	7.9	1.0	3.9
	担任はしていない	42.3	30.2	35.7
	無回答・不明	3.4	1.9	2.6

表5 残業量別担当教科（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.297)	高残業群(2.818～)	
主な担当教科	国語	14.9	13.2	13.8
	社会	9.2	12.3	11.5
	数学	14.2	15.6	15.7
	理科	10.9	15.7	12.4
	音楽	5.1	4.3	5.2
	美術	5.6	4.3	4.5
	保健体育	9.2	11.3	11.1
	技術・家庭	8.8	7.2	7.8
	外国語	14.9	14.8	13.9
	その他	5.6	0.8	3.1
	無回答・不明	1.6	0.8	0.9

表6 残業量別部活動の顧問 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.297)	高残業群(2.818～)	
部活動の顧問	運動部顧問	56.2	80.8	71.3
	文化部顧問	27.1	16.3	21.1
	顧問していない	15.6	2.6	7.0
	無回答・不明	1.0	0.3	0.5

表7 残業量別校務分掌比（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.297)	高残業群(2.818～)	
担当主任	担当していない	44.3	32.7	38.4
	教務主任	4.2	5.9	4.9
	生活・生徒指導主任	2.4	4.9	4.6
	進路指導主任	4.1	3.1	4.3
	保健主任	3.3	1.5	2.2
	研究主任	2.6	4.6	3.4
	庶務主任	0.4	0.3	0.5
	学年主任	9.6	13.9	12.9
	その他の主任	21.8	29.2	24.0

表 16 残業量別年休取得状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.297）	高残業群（2.818～）	
昨年度年休 取得状況	0-2日	2.9	12.2	6.4
	3-5日	10.2	25.5	18.4
	6-10日	20.3	31.5	29.9
	11-15日	26.3	13.7	20.0
	16-20日	23.9	3.9	11.5
	28日以上	5.1	0.8	2.4
	昨年度の勤務が1年未満	3.5	6.0	4.0
	無回答・不明	7.7	6.5	7.3

表 17 残業量別通勤時間（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.297）	高残業群（2.818～）	
自宅から学校 への通勤時間	15分以内	22.1	36.4	29.4
	30分	44.8	42.3	44.5
	45分	15.7	12.0	13.9
	1時間	11.8	5.5	8.5
	1時間半	3.9	2.8	2.7
	2時間	0.3	0.1	0.1
	それ以上	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	1.3	0.9	0.9

表 18 残業量別子ども状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.297）	高残業群（2.818～）	
一番下の子ども の年齢	0-3歳	11.1	12.7	11.5
	4-6歳	9.3	6.8	7.8
	7-12歳	20.6	12.8	16.9
	13-18歳	15.6	9.5	14.1
	19歳以上	20.3	5.5	12.0
	子どもはいない	20.3	49.9	35.1
	無回答・不明	2.8	2.8	2.6

表 19 残業量別介護家族の状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.297）	高残業群（2.818～）	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	5.9	4.1	5.2
	自宅外に介護が必要な人がいる	15.9	8.2	12.5
	介護を要する人はいない	76.1	86.6	80.9
	無回答・不明	2.1	1.1	1.5

中学校・第6期

表1 残業量別男女比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.291)	高残業群(2.867～)	
性別	男性	41.3	63.5	52.8
	女性	49.5	28.5	38.2
	無回答・不明	9.3	8.0	9.0

表2 残業量別年代比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.291)	高残業群(2.867～)	
年代別	30歳以下	4.8	22.9	12.8
	31～40歳	17.4	26.5	21.7
	41～50歳	36.7	31.6	35.8
	51歳以上	31.9	10.7	20.6
	無回答・不明	9.3	8.2	9.1

表3 残業量別職階比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.291)	高残業群(2.867～)	
職名	校長	5.3	1.0	3.5
	教頭・副校長	0.8	8.9	4.0
	教諭	68.8	74.9	73.0
	講師	5.3	6.1	6.0
	養護教諭	9.7	0.6	3.9
	栄養教諭	0.1	0.0	0.0
	その他	0.3	0.1	0.1
	無回答・不明	9.8	8.5	9.4

表4 残業量別担任学年比(教諭) (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.291)	高残業群(2.867～)	
学級担任の学年	中1	17.5	18.6	19.1
	中2	16.9	18.4	19.2
	中3	13.8	29.1	20.5
	それ以外	6.7	1.1	3.3
	担任はしていない	41.8	31.0	34.7
	無回答・不明	3.3	1.7	3.1

表5 残業量別担当教科（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.291)	高残業群(2.867～)	
主な担当教科	国語	16.4	12.0	13.6
	社会	9.7	10.5	11.4
	数学	13.2	17.8	15.4
	理科	10.1	13.9	12.3
	音楽	5.8	3.8	5.2
	美術	5.6	4.3	4.6
	保健体育	9.9	12.9	11.5
	技術・家庭	7.1	7.2	7.6
	外国語	14.3	15.7	14.3
	その他	5.1	1.3	3.0
	無回答・不明	2.8	0.6	1.2

表6 残業量別部活動の顧問 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.291)	高残業群(2.867～)	
部活動の顧問	運動部顧問	56.1	81.4	69.7
	文化部顧問	28.8	14.2	21.9
	顧問していない	13.5	3.8	7.4
	無回答・不明	1.7	0.6	1.0

表7 残業量別校務分掌比（教諭） (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.291)	高残業群(2.867～)	
担当主任	担当していない	45.0	36.7	37.8
	教務主任	2.5	4.1	4.5
	生活・生徒指導主任	3.3	6.3	4.6
	進路指導主任	4.0	6.3	4.6
	保健主任	3.1	1.7	1.9
	研究主任	2.8	4.2	3.7
	庶務主任	0.3	0.3	0.4
	学年主任	9.6	12.5	13.4
	その他の主任	20.0	25.8	23.5

表 16 残業量別年休取得状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.291）	高残業群（2.867～）	
昨年度年休取得状況	0-2日	2.4	13.5	7.2
	3-5日	10.8	27.2	19.1
	6-10日	21.8	29.2	28.5
	11-15日	28.2	14.0	21.2
	16-20日	20.0	3.4	10.2
	28日以上	6.0	0.6	2.7
	昨年度の勤務が1年未満	4.4	4.5	3.9
	無回答・不明	6.4	7.4	7.3

表 17 残業量別通勤時間（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.291）	高残業群（2.867～）	
自宅から学校への通勤時間	15分以内	22.2	34.9	27.5
	30分	43.1	43.4	44.2
	45分	16.9	10.7	14.1
	1時間	13.3	7.2	9.8
	1時間半	3.6	2.0	3.1
	2時間	0.0	0.5	0.2
	それ以上	0.1	0.0	0.0
	無回答・不明	0.7	1.3	1.0

表 18 残業量別子ども状況（教諭）

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.291）	高残業群（2.867～）	
一番下の子どもの年齢	0-3歳	11.3	12.6	12.1
	4-6歳	8.6	7.5	8.2
	7-12歳	19.3	14.7	17.5
	13-18歳	17.9	11.1	15.4
	19歳以上	21.8	5.9	12.1
	子どもはいない	18.8	44.7	32.0
	無回答・不明	2.4	3.4	2.8

表 19 残業量別介護家族の状況

（％）

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群（～1.291）	高残業群（2.867～）	
要介護家族	自宅に介護が必要な人がいる	9.6	3.6	5.9
	自宅外に介護が必要な人がいる	15.8	8.8	12.1
	介護を要する人はいない	72.2	85.6	79.9
	無回答・不明	2.4	2.0	2.2

第3章 学校ごとの残業時間に関する分析

樋口 健・鈴木 尚子

第1期～第6期（第2期を除く）の教員の残業時間の平均を学校ごとに算出。それを4分位に分け、第1分位および第4分位をとりだし、それぞれ低残業群、高残業群とした。両群の学校特性を比べた。第1期～第6期まで数値をまとめて分析を行った理由としては、小中別の学校サンプルが1期につき180校程度と少ないためである。第2期は夏季休業期にあたるため、サンプル数は少ないが、別途算出した。

第1期～第6期（第2期を除く）の小学校をみると、低残業群は第6期が多く、高残業群は第1期が多い。中学校をみると、低残業群は第5期が多く、高残業群は第1期が多い。

【小学校の特徴】

全体の比率に比べ・・・

- 自治体区分比をみると、それほど顕著な傾向はみられなかった。強いていえば、高残業群では政令市が多い。
- 児童生徒数をみると、低残業群では小規模校が多く、高残業群では中上規模が多い。
- 地域特性をみると、低残業群では農林漁業地区が多く、高残業群では都市郊外の住宅地域が多い。
- 研究指定校の有無をみると、低残業群では研究指定校ではない学校が多く、高残業群では研究指定校の学校が多い。
- パソコン活用の度合いをみると、低残業群ではまああてはまる学校が多く、高残業群ではあてはまる学校が多い。
- 退勤管理の方法をみると、低残業群では「報告や点呼、目視などで管理職による退勤管理」が多い。

【中学校の特徴】

全体の比率に比べ・・・

- 自治体区分比をみると、低残業群では政令市が多く、高残業群ではその他の都市が多い。
- 児童生徒数をみると、低残業群では小規模校が多く、高残業群ではそれほど顕著な傾向はみられなかった。
- 地域特性をみると、低残業群ではそれほど顕著な傾向はみられなかった。高残業群では農林漁業地区が多い。
- 研究指定校の有無をみると、低残業群では研究指定校ではない学校が多く、高残業群では研究指定校の学校が多い。
- パソコン活用の度合いをみると、低残業群ではまああてはまる学校が多く、高残業群ではあてはまる学校が多い。
- 退勤管理の方法をみると、低残業群では「報告や点呼、目視などで管理職による退勤管理」の学校が多く、高残業群では「何もやっていない」学校が多い。

第1期～第6期（第2期除く）・小学校

表1 残業量別期比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
期	第1期(7月通常期)	12.3	26.1	20.0
	第3期(9月通常期)	21.2	16.3	19.9
	第4期(10月通常期)	17.7	19.2	18.6
	第5期(11月通常期)	21.7	20.7	21.0
	第6期(12月通常期)	27.1	17.7	20.5

表2 残業量別自治体区分比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
自治体区分	政令市	13.8	18.7	14.9
	中核市	16.7	14.8	14.6
	特例市	2.5	2.0	1.8
	その他の都市	47.8	47.8	49.8
	特別区	1.0	4.9	3.9
	町村	17.7	11.3	14.1
	無回答・不明	0.5	0.5	0.9

表3 残業量別設置者比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
設置者	市	81.3	83.7	81.9
	区	1.0	4.9	3.9
	町	15.8	11.3	13.5
	村	2.0	0.0	0.6
	その他	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表4 残業量別児童生徒数比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
児童生徒数	小規模	32.7	18.3	25.0
	中下規模	23.8	26.7	25.0
	中上規模	22.8	28.2	25.2
	大規模	20.8	26.7	24.8

□学校を生徒数により四分位に分け、児童生徒数が最も少ない第一分位を小規模、第四分位を大規模とした。

表5 残業量別地域特性比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
地域特性	農林漁業地区	31.0	18.7	24.2
	工業地域	1.0	1.5	1.4
	都市郊外の住宅地域	47.3	50.2	47.8
	都市中心部の住宅地域	15.3	21.2	18.9
	都市中心部の商業地域	4.9	8.4	7.5
	無回答・不明	0.5	0.0	0.2

表6 残業量別へき地校指定比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
へき地校指定	2級地以下の指定を受けている	6.9	3.4	4.3
	3-5級地の指定を受けている	0.0	1.0	0.9
	受けていない	92.6	95.1	94.2
	無回答・不明	0.5	0.5	0.6

表7 残業量別学校選択制の有無比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
制学校の有無選択	あてはまる	5.9	11.3	8.1
	あてはまらない	92.6	86.2	89.8
	無回答・不明	1.5	2.5	2.1

表8 残業量別研究指定校の有無比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
校研究の有無指定	あてはまる	26.6	39.9	32.9
	あてはまらない	70.4	58.1	64.4
	無回答・不明	3.0	2.0	2.7

表9 残業量別保護者の教育熱心度度合い比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
保護者の教育熱心度度合い	あてはまる	14.8	14.8	16.3
	まああてはまる	61.6	60.6	63.3
	あまりあてはまらない	20.2	24.1	18.8
	まったくあてはまらない	0.5	0.0	0.2
	無回答・不明	3.0	0.5	1.4

表 10 残業量別 PTA 活動活発度合い比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
PTA活動 活発度合い	あてはまる	20.7	21.2	22.2
	まああてはまる	62.1	57.6	60.6
	あまりあてはまらない	14.3	21.2	16.0
	まったくあてはまらない	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	3.0	0.0	1.2

表 11 残業量別地域交流活発度合い比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
地域交流 活発度合い	あてはまる	24.6	19.2	23.1
	まああてはまる	58.6	59.1	58.7
	あまりあてはまらない	12.8	19.7	16.0
	まったくあてはまらない	0.0	0.0	0.1
	無回答・不明	3.9	2.0	2.1

表 12 残業量別私立中学進学の数割合比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
私立中学進学 の数割合	あてはまる	3.0	5.4	4.4
	まああてはまる	13.3	11.8	12.9
	あまりあてはまらない	47.8	49.8	48.6
	まったくあてはまらない	32.5	32.5	32.4
	無回答・不明	3.4	0.5	1.6

表 13 残業量別学級運営困難クラスの多さ比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
学級運営困難ク ラスの多さ	あてはまる	1.0	2.0	1.5
	まああてはまる	8.9	13.8	9.2
	あまりあてはまらない	36.9	36.9	39.7
	まったくあてはまらない	50.2	47.3	48.4
	無回答・不明	3.0	0.0	1.2

表 14 残業量別不登校の子どもの多さ比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
不登校の子 どもの多さ	あてはまる	0.5	2.5	1.5
	まああてはまる	8.9	8.4	8.8
	あまりあてはまらない	50.7	53.2	51.7
	まったくあてはまらない	36.5	35.0	36.5
	無回答・不明	3.4	1.0	1.5

表 15 残業量別外国籍の子供の多さ比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
外国籍の子供の多さ	あてはまる	2.0	2.0	2.1
	まああてはまる	7.4	12.8	9.7
	あまりあてはまらない	36.0	44.8	40.0
	まったくあてはまらない	51.7	39.9	47.1
	無回答・不明	3.0	0.5	1.1

表 16 残業量別パソコン活用の度合い比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
パソコン活用の度合い	あてはまる	56.2	66.5	62.7
	まああてはまる	37.9	30.5	33.0
	あまりあてはまらない	2.5	2.0	2.8
	まったくあてはまらない	0.0	0.5	0.2
	無回答・不明	3.4	0.5	1.2

表 17 残業量別出勤時刻の管理方法比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
出勤時刻の管理方法	何も行っていない	5.9	3.9	4.9
	報告や点呼、目視などで管理職による出勤管理	37.9	34.0	34.8
	出勤簿への押印などで出勤管理	50.7	55.2	54.2
	タイムカードなど出勤時刻記録	0.0	0.0	0.0
	その他	4.4	5.9	5.5
	無回答・不明	1.0	1.0	0.6

表 18 残業量別退勤時刻の管理方法比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
退勤時刻の管理方法	何も行っていない	15.8	19.7	18.4
	報告や点呼、目視などで管理職による退勤管理	72.4	59.1	66.1
	出勤簿への押印などで退勤管理	0.5	4.4	1.7
	タイムカードなど出勤時刻記録	0.0	0.0	0.0
	その他	11.3	15.3	13.0
	無回答・不明	0.0	1.5	0.7

表 19 残業量別学期制比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.18)	高残業群(2.01～)	
学期制	3学期制	82.3	71.4	78.0
	2学期制	17.7	28.1	21.5
	その他	0.0	0.5	0.5

第1期～第6期（第2期除く）・中学校

表1 残業量別期比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
期	第1期(7月通常期)	15.2	33.3	20.4
	第3期(9月通常期)	19.1	16.2	19.3
	第4期(10月通常期)	20.1	19.1	19.3
	第5期(11月通常期)	26.0	17.2	21.0
	第6期(12月通常期)	19.6	14.2	19.9

表2 残業量別自治体区分比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
自治体区分	政令市	23.5	5.4	14.4
	中核市	16.7	13.7	15.4
	特例市	2.5	2.5	2.6
	その他の都市	42.2	59.8	50.8
	特別区	6.4	1.5	3.4
	町村	8.3	15.2	12.4
	無回答・不明	0.5	2.0	1.0

表3 残業量別設置者比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
設置者	市	84.8	83.3	83.6
	区	6.9	1.5	3.6
	町	7.4	14.2	11.4
	村	1.0	1.0	1.0
	その他	0.0	0.0	0.2
	無回答・不明	0.0	0.0	0.1

表4 残業量別児童生徒数比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
児童生徒数	小規模	34.3	25.5	25.0
	中下規模	27.9	24.0	25.2
	中上規模	21.6	24.0	24.8
	大規模	16.2	26.5	25.0

□学校を生徒数により四分位に分け、児童生徒数が最も少ない第一分位を小規模、第四分位を大規模とした。

表5 残業量別地域特性比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
地域特性	農林漁業地区	27.9	32.8	25.2
	工業地域	1.0	1.0	1.5
	都市郊外の住宅地域	48.0	44.6	48.0
	都市中心部の住宅地域	15.7	14.7	16.1
	都市中心部の商業地域	7.4	6.9	8.4
	無回答・不明	0.0	0.0	0.9

表6 残業量別へき地校指定比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
へき地校指定	2級地以下の指定を受けている	5.9	5.4	3.7
	3-5級地の指定を受けている	0.5	0.5	0.6
	受けていない	92.6	93.6	95.2
	無回答・不明	1.0	0.5	0.5

表7 残業量別学校選択制の有無比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
制の有無 学校選択	あてはまる	13.7	9.3	11.4
	あてはまらない	82.4	87.7	85.2
	無回答・不明	3.9	2.9	3.3

表8 残業量別研究指定校の有無比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
校の有無 研究指定	あてはまる	28.9	37.7	32.2
	あてはまらない	68.6	60.8	65.2
	無回答・不明	2.5	1.5	2.6

表9 残業量別保護者の教育熱心度度合い比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
保護者の教育熱心度度合い	あてはまる	15.2	10.8	13.8
	まああてはまる	62.3	75.0	67.0
	あまりあてはまらない	19.6	13.2	17.3
	まったくあてはまらない	1.0	0.5	0.4
	無回答・不明	2.0	0.5	1.5

表 10 残業量別 PTA 活動活発度合い比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
PTA活動 活発度合い	あてはまる	13.7	8.8	11.6
	まああてはまる	66.2	71.1	66.4
	あまりあてはまらない	19.1	19.1	21.0
	まったくあてはまらない	0.0	0.0	0.1
	無回答・不明	1.0	1.0	0.9

表 11 残業量別地域交流活発度合い比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
地域交流 活発度合い	あてはまる	18.1	14.7	15.3
	まああてはまる	58.3	61.3	60.1
	あまりあてはまらない	20.6	21.6	22.3
	まったくあてはまらない	0.5	0.5	0.4
	無回答・不明	2.5	2.0	2.0

表 12 残業量別私立中学進学の数割合比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
私立中学進学 の数割合	あてはまる	7.8	2.5	5.5
	まああてはまる	23.5	9.3	17.2
	あまりあてはまらない	46.1	52.0	48.3
	まったくあてはまらない	21.1	35.8	27.7
	無回答・不明	1.5	0.5	1.2

表 13 残業量別学級運営困難クラスの多さ比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
学級運営困難ク ラスの多さ	あてはまる	1.5	1.0	1.2
	まああてはまる	5.4	4.4	5.3
	あまりあてはまらない	26.5	29.4	28.0
	まったくあてはまらない	66.2	65.2	64.9
	無回答・不明	0.5	0.0	0.5

表 14 残業量別不登校の子どもの多さ比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
不登校の子 どもの多さ	あてはまる	4.9	11.3	8.1
	まああてはまる	35.8	39.2	40.6
	あまりあてはまらない	41.2	40.7	40.8
	まったくあてはまらない	17.2	8.8	10.0
	無回答・不明	1.0	0.0	0.5

表 15 残業量別外国籍の子供の多さ比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
外国籍の子供の多さ	あてはまる	1.5	2.0	2.0
	まああてはまる	7.8	8.3	8.4
	あまりあてはまらない	38.2	36.3	37.3
	まったくあてはまらない	51.5	53.4	51.3
	無回答・不明	1.0	0.0	1.1

表 16 残業量別パソコン活用の度合い比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
パソコン活用の度合い	あてはまる	61.8	81.4	70.8
	まああてはまる	33.8	17.6	26.6
	あまりあてはまらない	3.9	1.0	2.0
	まったくあてはまらない	0.0	0.0	0.1
	無回答・不明	0.5	0.0	0.5

表 17 残業量別出勤時刻の管理方法比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
出勤時刻の管理方法	何も行っていない	5.9	6.9	5.9
	報告や点呼、目視などで管理職による出勤管理	51.0	36.3	45.4
	出勤簿への押印などで出勤管理	41.2	51.0	43.4
	タイムカードなど出勤時刻記録	0.0	0.5	0.2
	その他	2.0	5.4	4.9
	無回答・不明	0.0	0.0	0.1

表 18 残業量別退勤時刻の管理方法比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
退勤時刻の管理方法	何も行っていない	16.7	28.4	22.8
	報告や点呼、目視などで管理職による退勤管理	77.9	59.8	69.4
	出勤簿への押印などで退勤管理	2.0	1.5	1.2
	タイムカードなど退勤時刻記録	0.0	0.5	0.2
	その他	2.5	8.8	5.4
	無回答・不明	1.0	1.0	1.0

表 19 残業量別学期制比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～1.73)	高残業群(2.60～)	
学期制	3学期制	76.0	74.0	76.1
	2学期制	24.0	25.5	23.7
	その他	0.0	0.5	0.1

第2期・小学校

表1 残業量別自治体区分比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
自治体区分	政令市	19.0	19.0	14.3
	中核市	9.5	14.3	12.5
	特例市	0.0	2.4	1.8
	その他の都市	50.0	47.6	54.8
	特別区	4.8	4.8	4.2
	町村	16.7	9.5	11.3
	無回答・不明	0.0	2.4	1.2

表2 残業量別設置者比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
設置者	市	78.6	85.7	84.5
	区	4.8	4.8	4.2
	町	16.7	9.5	10.7
	村	0.0	0.0	0.6
	その他	0.0	0.0	0.0

表3 残業量別児童生徒数比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
児童生徒数	小規模(<= 238.00)	35.7	11.9	25.6
	中下規模(239.00 - 436.50)	21.4	31.0	24.4
	中上規模(436.51 - 619.00)	33.3	26.2	25.6
	大規模(620.00+)	9.5	31.0	24.4

表4 残業量別地域特性比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
地域特性	農林漁業地区	31.0	23.8	26.8
	工業地域	7.1	4.8	3.6
	都市郊外の住宅地域	28.6	52.4	43.5
	都市中心部の住宅地域	28.6	16.7	22.6
	都市中心部の商業地域	4.8	2.4	3.6
	無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表5 残業量別へき地校指定比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
へき地校指定	2級地以下の指定を受けている	4.8	0.0	3.0
	3-5級地の指定を受けている	0.0	0.0	0.6
	受けていない	95.2	100.0	95.8
	無回答・不明	0.0	0.0	0.6

表6 残業量別学校選択制の有無比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
制の有無	あてはまる	2.4	11.9	8.9
	あてはまらない	97.6	88.1	89.9
	無回答・不明	0.0	0.0	1.2

表7 残業量別研究指定校の有無比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
校の有無	あてはまる	11.9	42.9	30.4
	あてはまらない	88.1	47.6	65.5
	無回答・不明	0.0	9.5	4.2

表8 残業量別保護者の教育熱心度度合い比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
保護者の教育熱心度度合い	あてはまる	9.5	9.5	12.5
	まああてはまる	66.7	69.0	69.6
	あまりあてはまらない	23.8	19.0	17.3
	まったくあてはまらない	0.0	2.4	0.6
	無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表9 残業量別PTA活動活発度度合い比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
PTA活動活発度度合い	あてはまる	14.3	28.6	19.0
	まああてはまる	59.5	54.8	63.1
	あまりあてはまらない	26.2	14.3	16.7
	まったくあてはまらない	0.0	2.4	1.2
	無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表 10 残業量別地域交流活発度合い比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
活発度合い 地域交流	あてはまる	11.9	26.2	22.0
	まああてはまる	73.8	59.5	61.3
	あまりあてはまらない	14.3	11.9	13.1
	まったくあてはまらない	0.0	2.4	0.6
	無回答・不明	0.0	0.0	3.0

表 11 残業量別私立中学進学の数割合

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
私立中学進学 の数割合	あてはまる	0.0	4.8	3.0
	まああてはまる	7.1	9.5	11.3
	あまりあてはまらない	54.8	52.4	51.8
	まったくあてはまらない	38.1	33.3	33.9
	無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表 12 残業量別学級運営困難クラスの多さ比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
学級運営困難 クラスの多さ	あてはまる	2.4	4.8	2.4
	まああてはまる	11.9	11.9	8.3
	あまりあてはまらない	14.3	35.7	27.4
	まったくあてはまらない	71.4	47.6	61.9
	無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表 13 残業量別不登校の子どもの多さ比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
不登校の 子どもの多さ	あてはまる	0.0	2.4	0.6
	まああてはまる	9.5	2.4	6.5
	あまりあてはまらない	42.9	57.1	44.0
	まったくあてはまらない	47.6	38.1	48.8
	無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表 14 残業量別外国籍の子供の多さ比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
外国籍の 子供の多さ	あてはまる	2.4	4.8	3.0
	まああてはまる	2.4	11.9	8.9
	あまりあてはまらない	35.7	33.3	36.3
	まったくあてはまらない	57.1	47.6	50.6
	無回答・不明	2.4	2.4	1.2

表 15 残業量別パソコン活用の度合い比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
パソコン 活用の 度 合 い	あてはまる	64.3	69.0	64.9
	まああてはまる	33.3	28.6	33.9
	あまりあてはまらない	0.0	2.4	0.6
	まったくあてはまらない	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	2.4	0.0	0.6

表 16 残業量別出勤時刻の管理方法比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
出勤時刻 の 管 理 方 法	何も行っていない	2.4	0.0	3.0
	報告や点呼、目視などで管理職による出勤管理	45.2	26.2	33.9
	出勤簿への押印などで出勤管理	50.0	66.7	57.1
	タイムカードなど退勤時刻記録	0.0	0.0	0.0
	その他	2.4	4.8	4.2
	無回答・不明	0.0	2.4	1.8

表 17 残業量別退勤時刻の管理方法比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
退勤時刻 の 管 理 方 法	何も行っていない	9.5	16.7	16.7
	報告や点呼、目視などで管理職による退勤管理	83.3	64.3	66.1
	出勤簿への押印などで退勤管理	0.0	0.0	2.4
	タイムカードなど退勤時刻記録	0.0	0.0	0.6
	その他	7.1	16.7	12.5
	無回答・不明	0.0	2.4	1.8

表 18 残業量別学期制比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.14)	高残業群(.42～)	
学期制	3学期制	76.2	73.8	73.2
	2学期制	23.8	23.8	25.6
	その他	0.0	2.4	0.6
	無回答・不明	0.0	0.0	0.6

第2期・中学校

表1 残業量別自治体区分比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
自治体区分	政令市	11.9	7.1	7.6
	中核市	14.3	11.9	18.7
	特例市	0.0	4.8	1.2
	その他の都市	50.0	54.8	50.9
	特別区	2.4	2.4	2.9
	町村	19.0	16.7	17.0
	無回答・不明	2.4	2.4	1.8

表2 残業量別設置者比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
設置者	市	76.2	81.0	79.5
	区	2.4	2.4	2.9
	町	14.3	11.9	14.0
	村	4.8	2.4	2.3
	その他	2.4	2.4	1.2

表3 残業量別児童生徒数比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
児童生徒数	小規模(≤280)	28.6	16.7	25.1
	中下規模(281 - 435)	26.2	31.0	25.1
	中上規模(436 - 570)	21.4	28.6	25.1
	大規模(571+)	23.8	23.8	24.6

表4 残業量別地域特性比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
地域特性	農林漁業地区	31.0	19.0	25.7
	工業地域	0.0	2.4	1.2
	都市郊外の住宅地域	47.6	45.2	47.4
	都市中心部の住宅地域	16.7	16.7	16.4
	都市中心部の商業地域	4.8	14.3	8.2
	無回答・不明	0.0	2.4	1.2

表5 残業量別へき地校指定比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
へき地校指定	2級地以下の指定を受けている	4.8	2.4	3.5
	3-5級地の指定を受けている	0.0	2.4	1.2
	受けていない	92.9	92.9	93.6
	無回答・不明	2.4	2.4	1.8

表6 残業量別学校選択制の有無比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
制の有無	あてはまる	9.5	11.9	11.1
	あてはまらない	83.3	85.7	84.8
	無回答・不明	7.1	2.4	4.1

表7 残業量別研究指定校の有無比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
校の有無	あてはまる	35.7	38.1	36.8
	あてはまらない	64.3	61.9	63.2
	無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表8 残業量別保護者の教育熱心度度合い比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
保護者の教育熱心度度合い	あてはまる	21.4	14.3	15.2
	まああてはまる	64.3	66.7	69.6
	あまりあてはまらない	14.3	19.0	15.2
	まったくあてはまらない	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表9 残業量別PTA活動活発度度合い比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
PTA活動活発度度合い	あてはまる	14.3	21.4	14.6
	まああてはまる	57.1	66.7	63.2
	あまりあてはまらない	26.2	11.9	21.1
	まったくあてはまらない	2.4	0.0	1.2
	無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表 10 残業量別地域交流活発度合い比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体	
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)		
活 発 度 合 い	地 域 交 流	あてはまる	11.9	16.7	12.3
		まああてはまる	64.3	64.3	61.4
		あまりあてはまらない	21.4	19.0	24.6
		まったくあてはまらない	0.0	0.0	0.0
		無回答・不明	2.4	0.0	1.8

表 11 残業量別私立中学進学の数合い比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体	
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)		
私 立 中 学 進 学 の 数 合 い		あてはまる	7.1	2.4	3.5
		まああてはまる	26.2	16.7	21.6
		あまりあてはまらない	35.7	57.1	48.5
		まったくあてはまらない	31.0	23.8	25.7
		無回答・不明	0.0	0.0	0.6

表 12 残業量別学級運営困難クラスの多さ比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体	
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)		
学 級 運 営 困 難 ク ラ ス の 多 さ		あてはまる	0.0	0.0	0.6
		まああてはまる	11.9	2.4	7.0
		あまりあてはまらない	23.8	35.7	29.2
		まったくあてはまらない	61.9	61.9	62.6
		無回答・不明	2.4	0.0	0.6

表 13 残業量別不登校の子どもの多さ比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体	
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)		
不 登 校 の 子 ど も の 多 さ		あてはまる	9.5	16.7	9.4
		まああてはまる	35.7	42.9	43.3
		あまりあてはまらない	45.2	28.6	37.4
		まったくあてはまらない	9.5	11.9	9.9
		無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表 14 残業量別外国籍の子供の多さ比 (％)

		勤務日・残業時間長短		全体	
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)		
外 国 籍 の 子 供 の 多 さ		あてはまる	2.4	7.1	3.5
		まああてはまる	9.5	16.7	12.9
		あまりあてはまらない	28.6	31.0	33.9
		まったくあてはまらない	59.5	45.2	49.7
		無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表 15 残業量別パソコン活用の度合い比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
パソコン 活用の 度 合 い	あてはまる	66.7	66.7	67.3
	まああてはまる	31.0	28.6	29.8
	あまりあてはまらない	2.4	4.8	2.9
	まったくあてはまらない	0.0	0.0	0.0
	無回答・不明	0.0	0.0	0.0

表 16 残業量別出勤時刻の管理方法比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
出勤時刻 の 管理 方 法	何も行っていない	7.1	0.0	3.5
	報告や点呼、目視などで管理職による出勤管理	47.6	42.9	50.3
	出勤簿への押印などで出勤管理	40.5	52.4	42.1
	タイムカードなど退勤時刻記録	0.0	0.0	0.0
	その他	4.8	4.8	2.9
	無回答・不明	0.0	0.0	1.2

表 17 残業量別退勤時刻の管理方法比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
退勤時刻 の 管理 方 法	何も行っていない	19.0	9.5	16.4
	報告や点呼、目視などで管理職による退勤管理	73.8	73.8	76.6
	出勤簿への押印などで退勤管理	2.4	0.0	1.2
	タイムカードなど退勤時刻記録	0.0	0.0	0.0
	その他	4.8	14.3	5.3
	無回答・不明	0.0	2.4	0.6

表 18 残業量別学期制比

(%)

		勤務日・残業時間長短		全体
		低残業群(～.37)	高残業群(.70～)	
学期制	3学期制	64.3	73.8	71.9
	2学期制	33.3	21.4	24.6
	その他	0.0	2.4	1.2
	無回答・不明	2.4	2.4	2.3

第4章 残業時間と持帰り時間の関係に関する分析

樋口 健・鈴木 尚子

勤務日・残業時間と勤務日・持帰り時間の相関を、校長、教頭・副校長、教諭、男性教諭、女性教諭、30歳以下教諭、31～40歳教諭、41～50歳教諭、51歳教諭の各グループに分けて分析した（各期の小・中学校）。

【グラフの説明】

図表中の直線は、Yを勤務日・持帰り時間、Xを勤務日の残業時間（zangyo_workday2）とした場合の、回帰直線である。zangyo_workday2の係数が正の値の場合は、正の相関が、負の値の場合は負の相関ということになる。R2乗は決定係数を表し0～1の間をとる。1に近いほうが、相関が強いといえる。

【結果】

全体的に決定係数が低い。残業時間量と持帰り時間量には非常に相関が低く、持帰り時間量は残業時間量ではほとんど説明されえないといえる。

相関係数に着目してみると、第2期は小学校、中学校すべてのグループにおいて残業を行う教員は、持帰り業務も行うという関係（正の相関）が弱いながらもみられる。しかし、この時期のみについていえることであり、他の時期では一概にいえない。

51歳以上の教諭についてもすべての時期（小学校第1期は除く）において、同様にこのような傾向がみられる。

小学校と中学校の傾向の違いも見られた。小学校では、教諭、男性教諭、30歳以下教諭、31～40歳教諭は負の相関（残業を行う教員は、持帰り業務も行わないという関係）を示すのに対し、中学校ではどちらかといえば負の相関（残業を行う教員は、持帰り業務も行わないという関係）を示すのは30歳以下教諭、31～40歳教諭のみである。

第1期

【小学校】

図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
（第1期・小学校・校長）

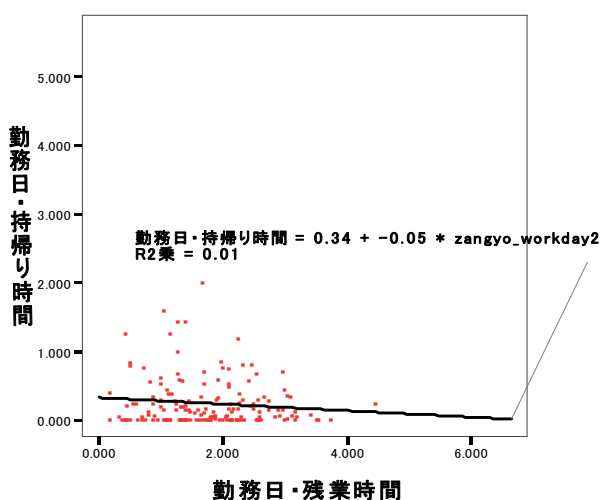


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
（第1期・小学校・教頭／副校長）

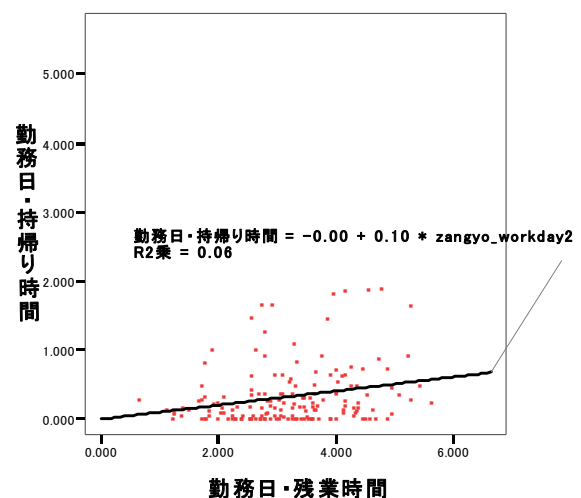


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・小学校・教諭)

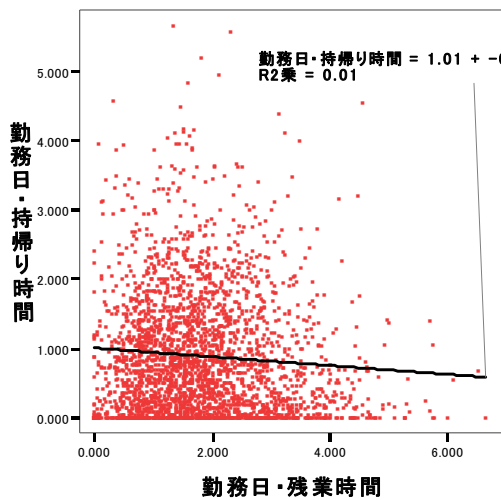


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・小学校・女性教諭)

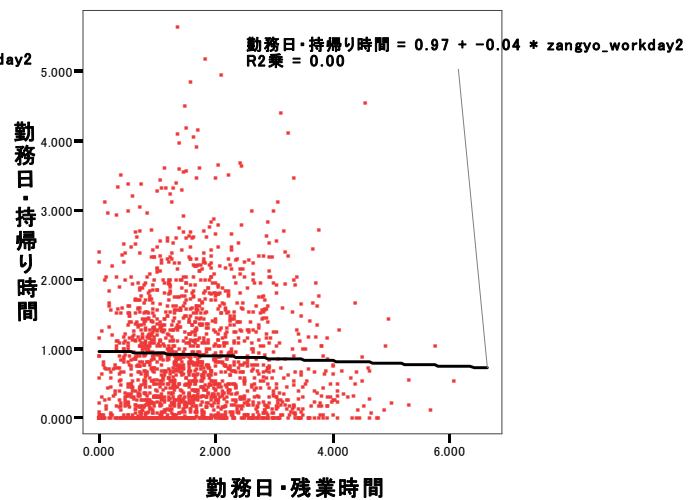


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・小学校・男性教諭)

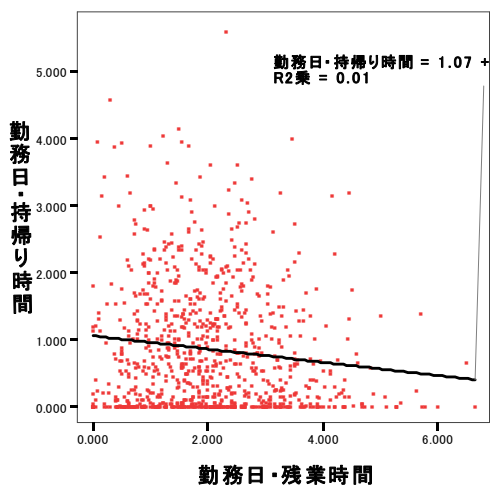


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・小学校・30歳以下教諭)

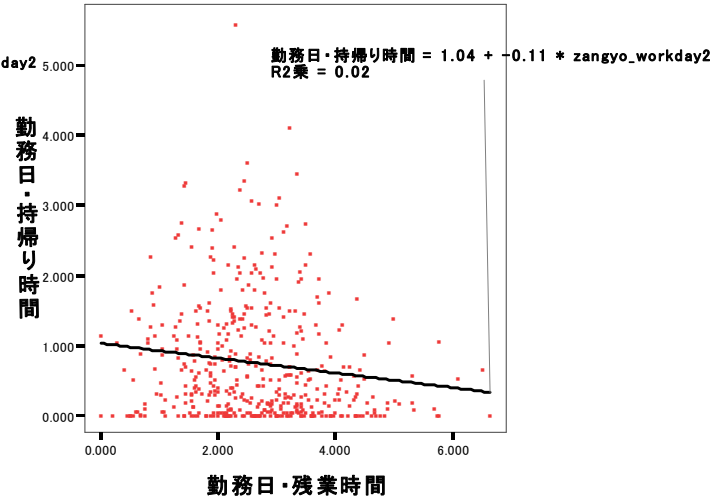


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・小学校・31～40歳教諭)

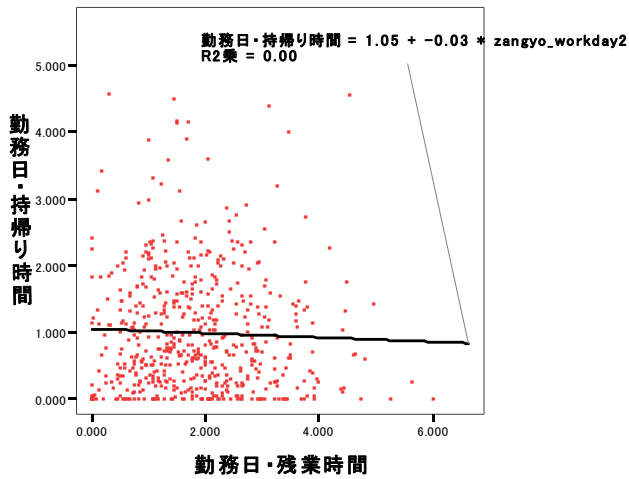


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・小学校・51歳以上教諭)

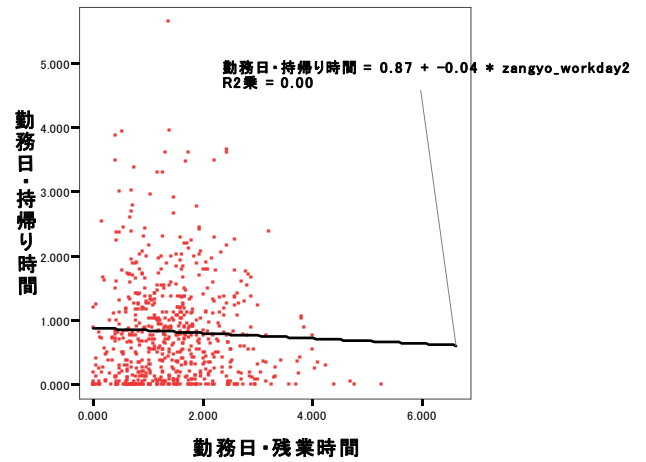


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・小学校・41～50歳教諭)

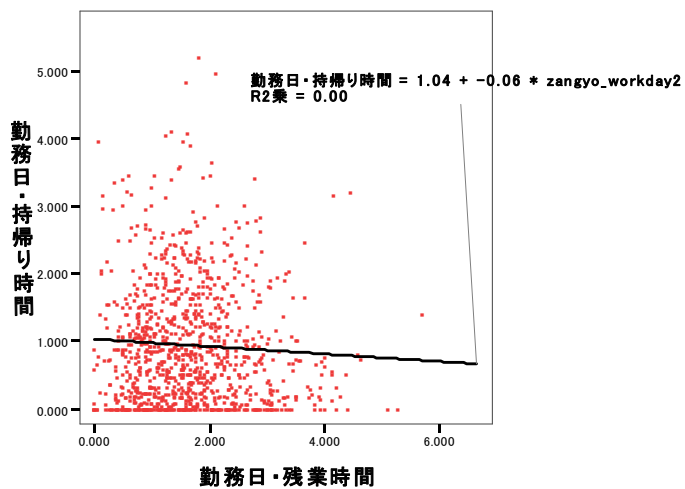


図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・小学校・校長)

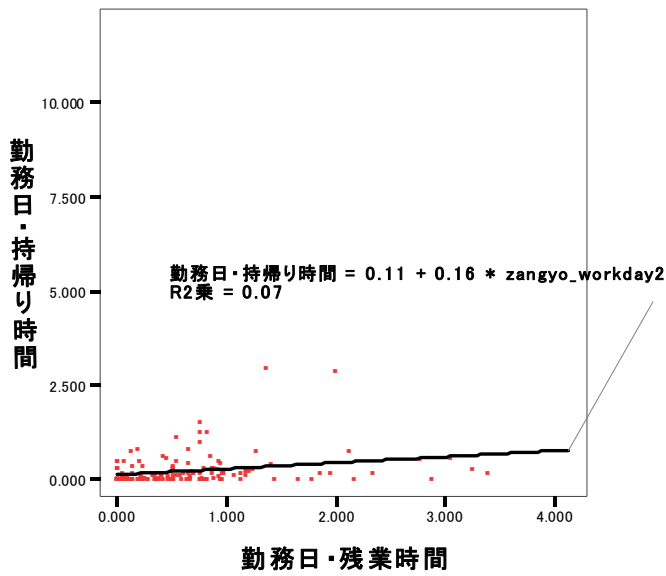


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・小学校・教諭)

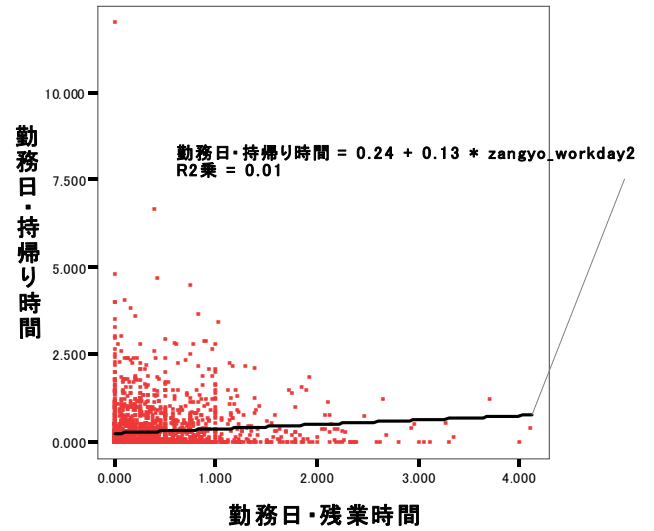


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・小学校・教頭/副校長)

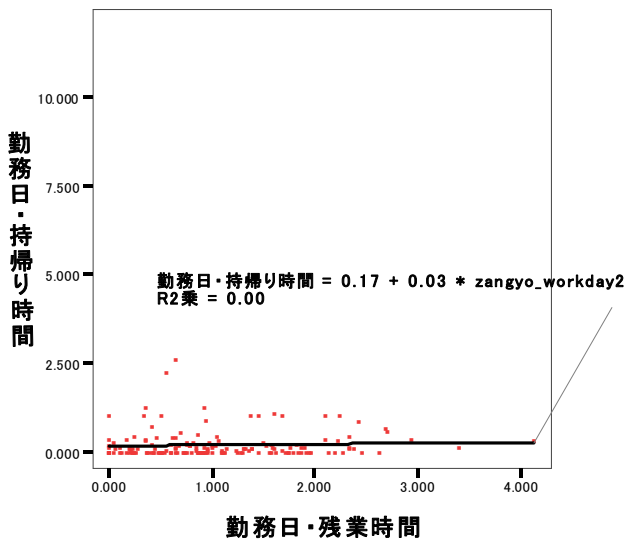


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・小学校・男性教諭)

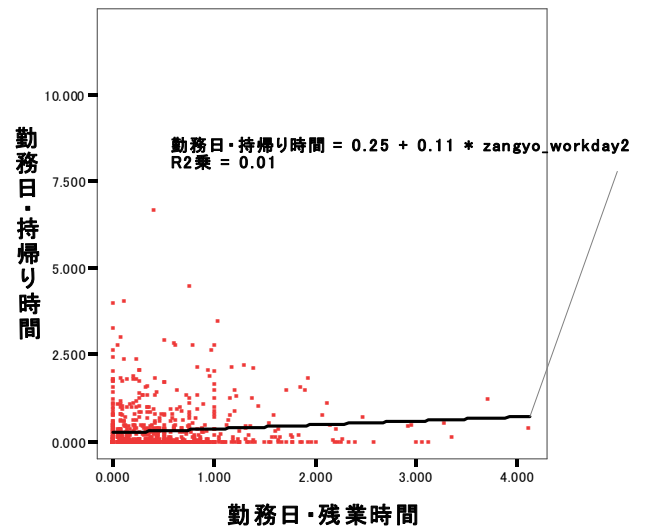


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
第2期・小学校・女性教諭)

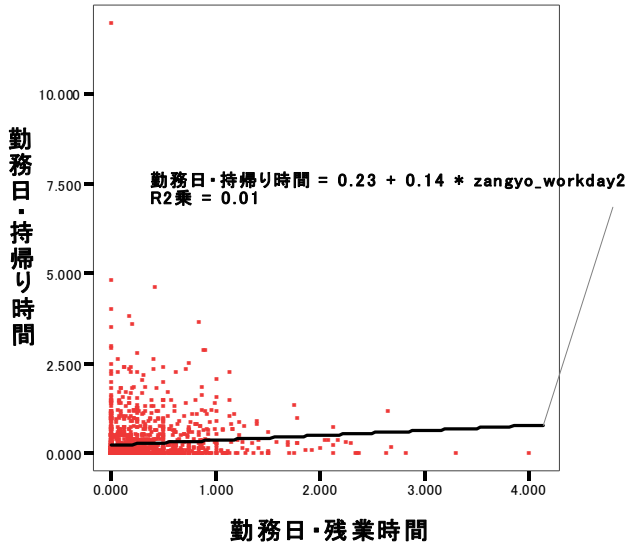


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・小学校・31～40歳教諭)

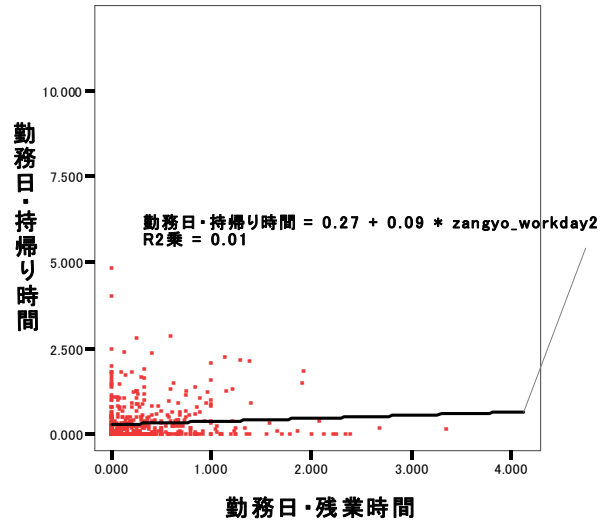


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・小学校・30歳以下教諭)

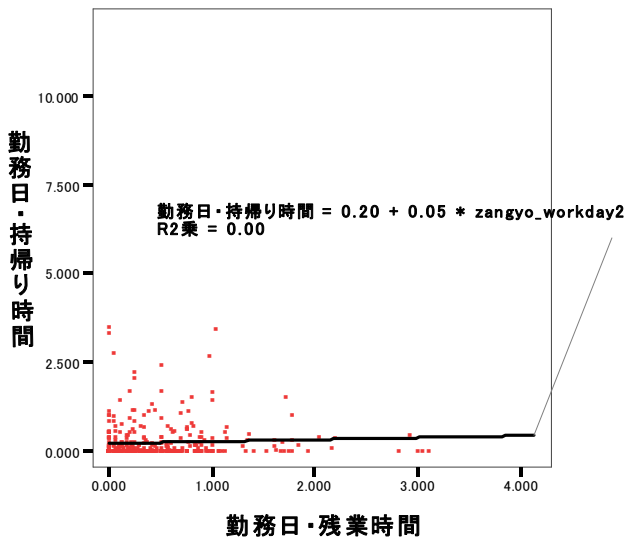


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・小学校・41～50歳教諭)

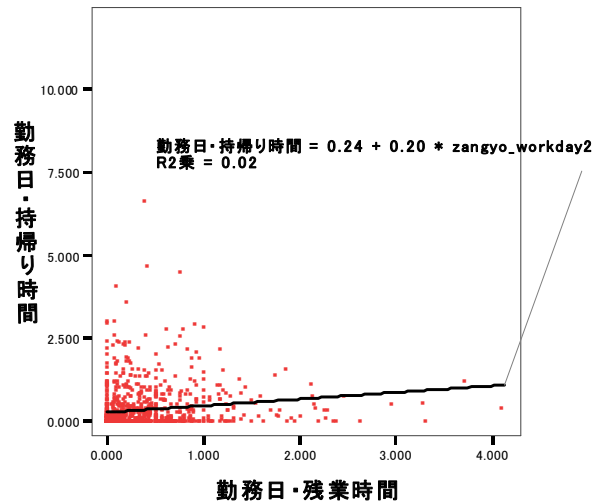
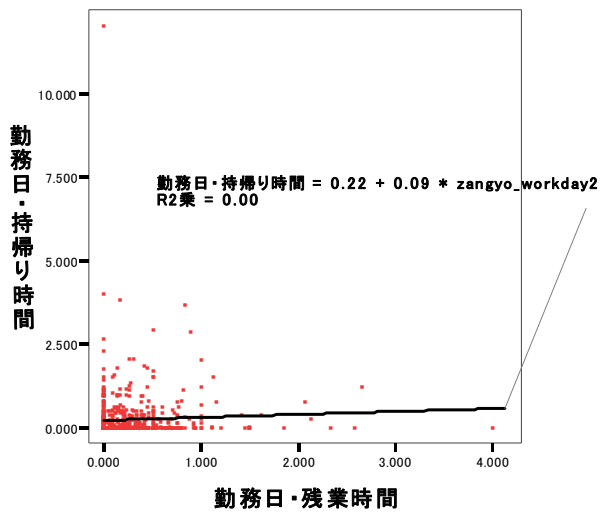


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・小学校・51歳以上教諭)



第3期・小学校

図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・小学校・校長)

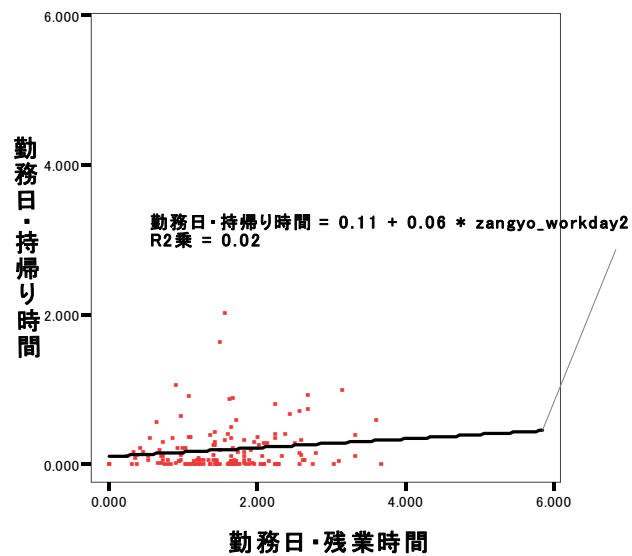


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・小学校・教頭／副校長)

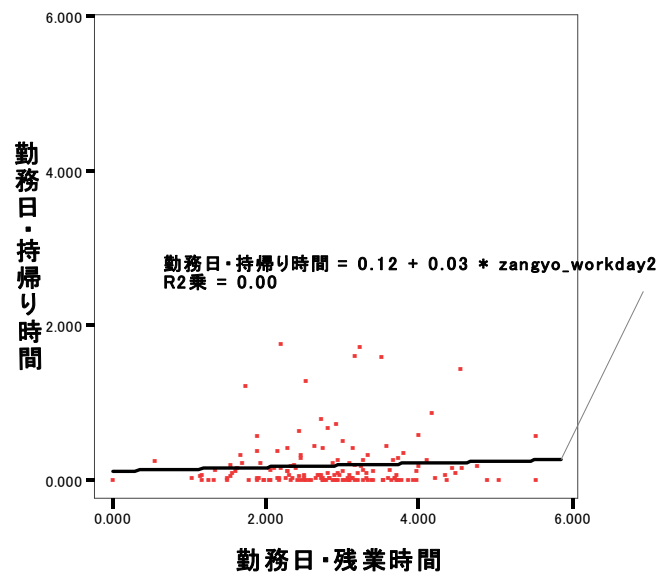


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・小学校・教諭)

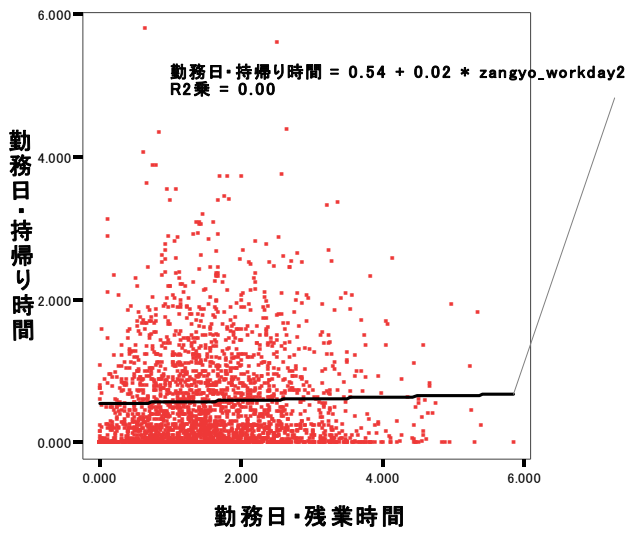


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・小学校・女性教諭)

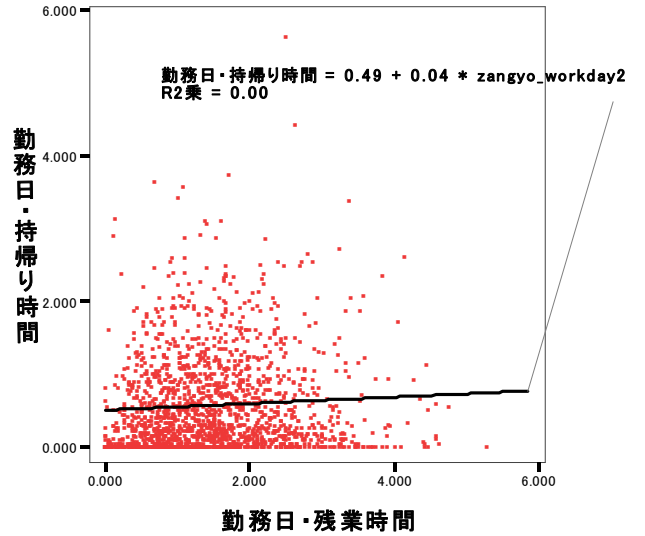


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・小学校・男性教諭)

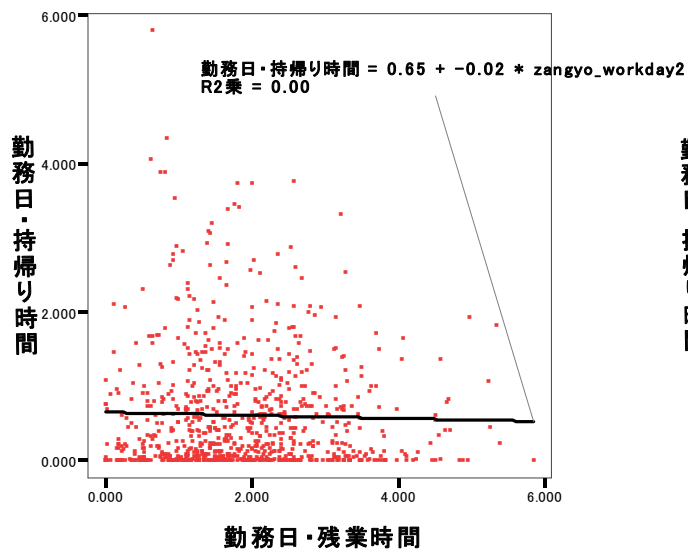


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関 (第3期・小学校・30歳以下教諭)

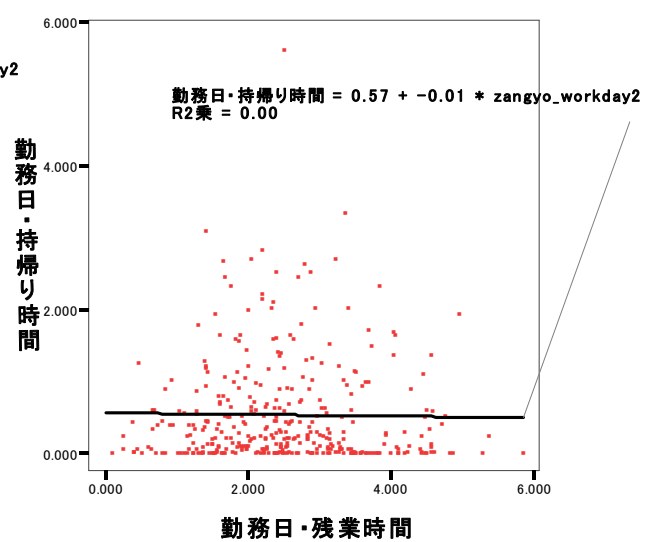


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・小学校・31～40歳教諭)

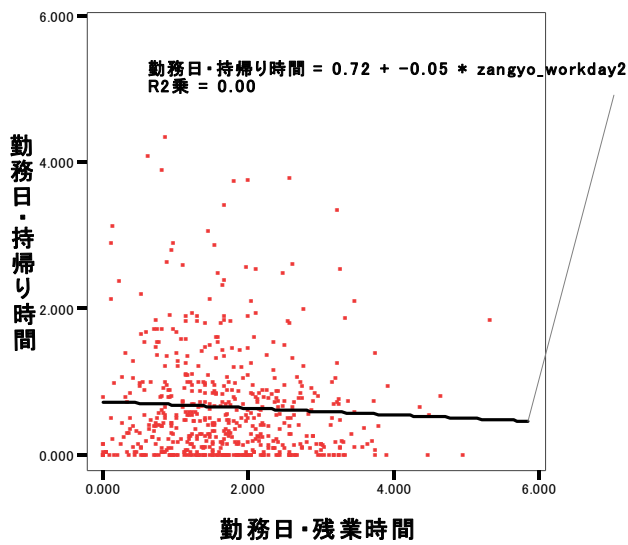


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・小学校・51歳以上教諭)

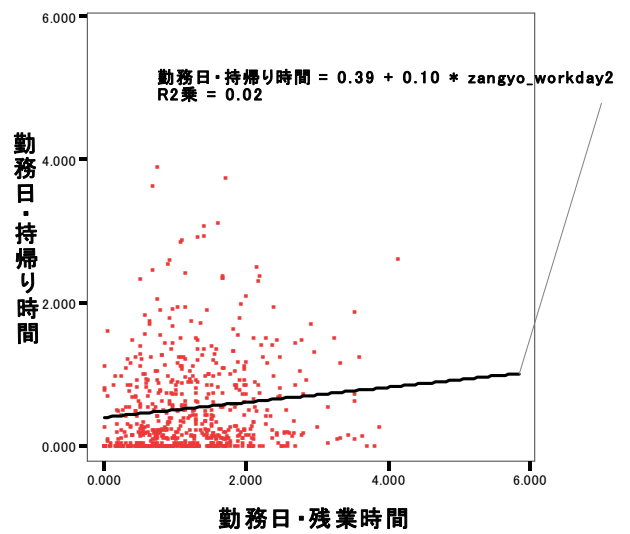


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・小学校・41～50歳教諭)

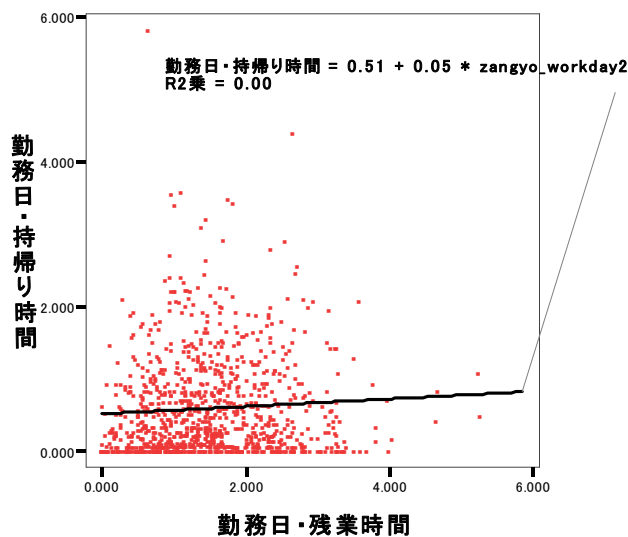


図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・小学校・校長)

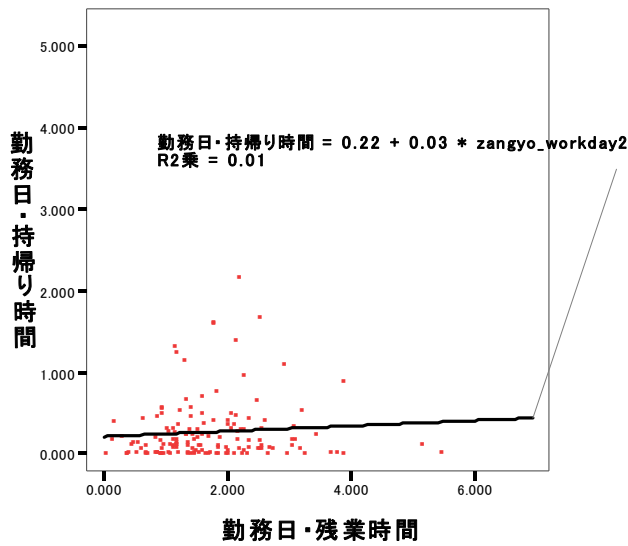


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・小学校・教諭)

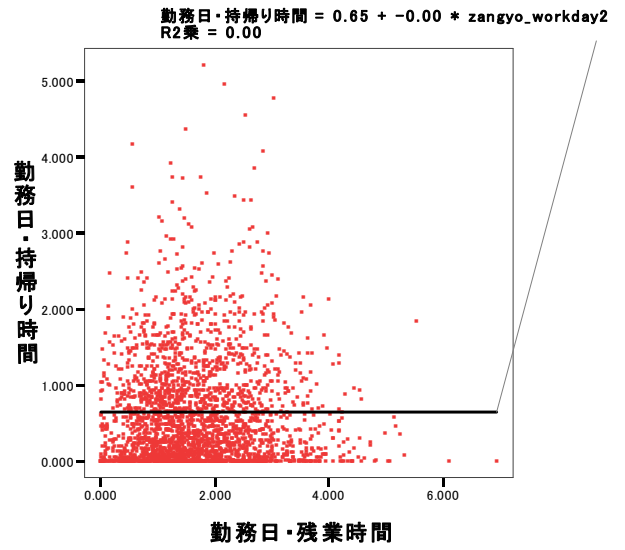


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・小学校・教頭/副校長)

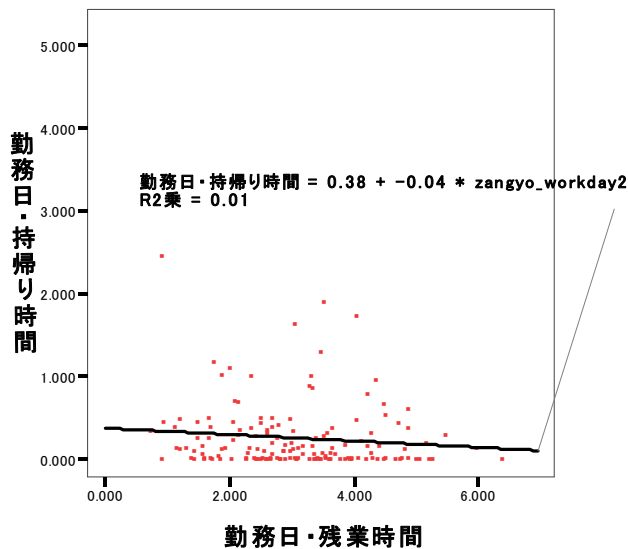


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・小学校・男性教諭)

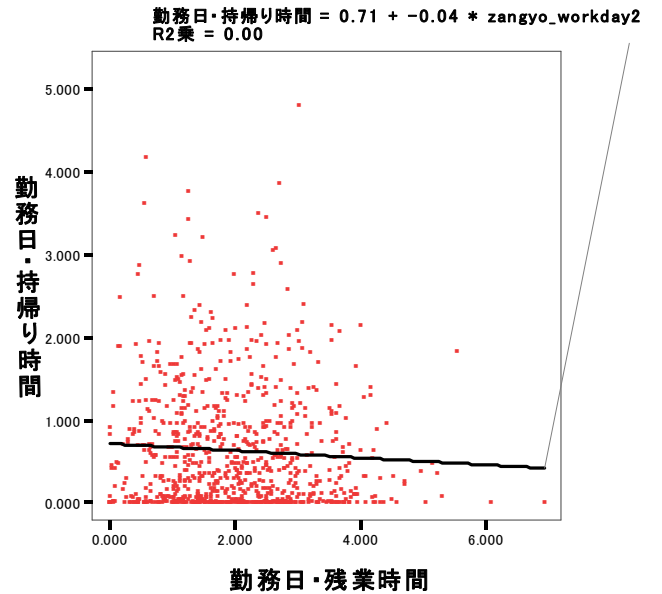


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・小学校・女性教諭)

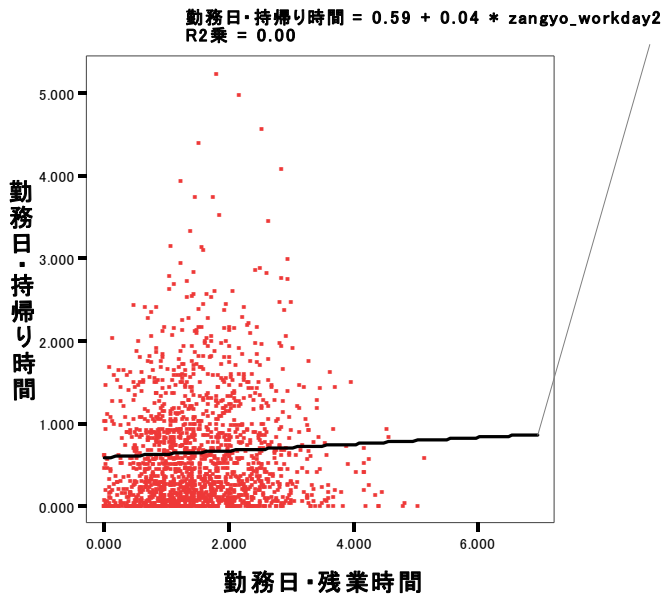


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・小学校・31～40歳教諭)

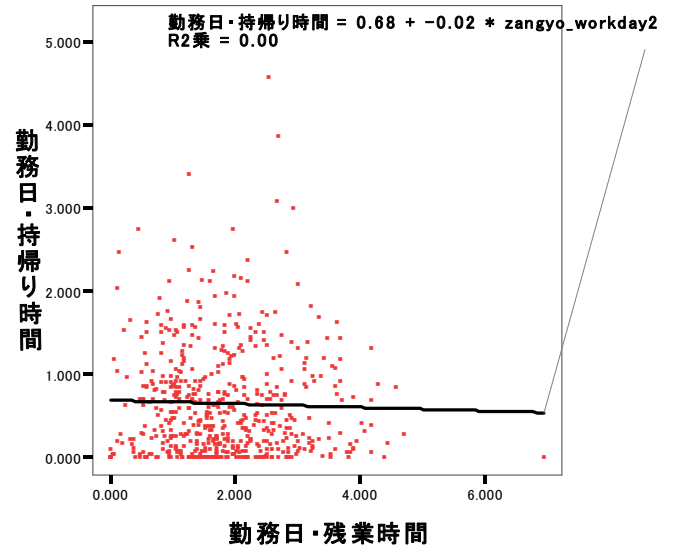


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・小学校・30歳以下教諭)

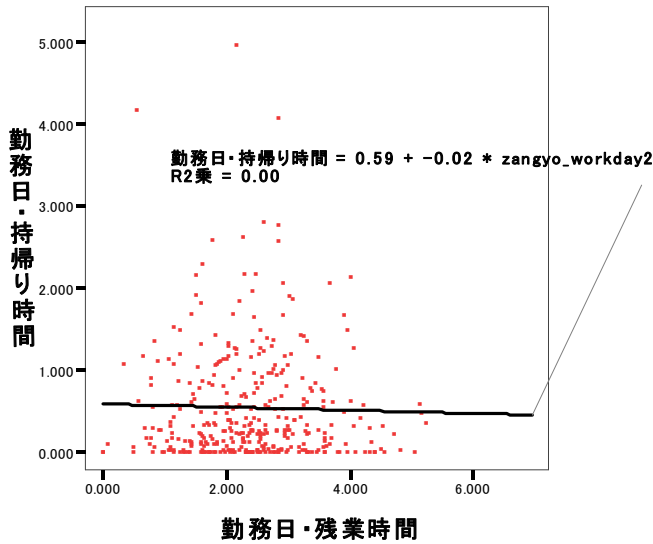


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・小学校・41～50歳教諭)

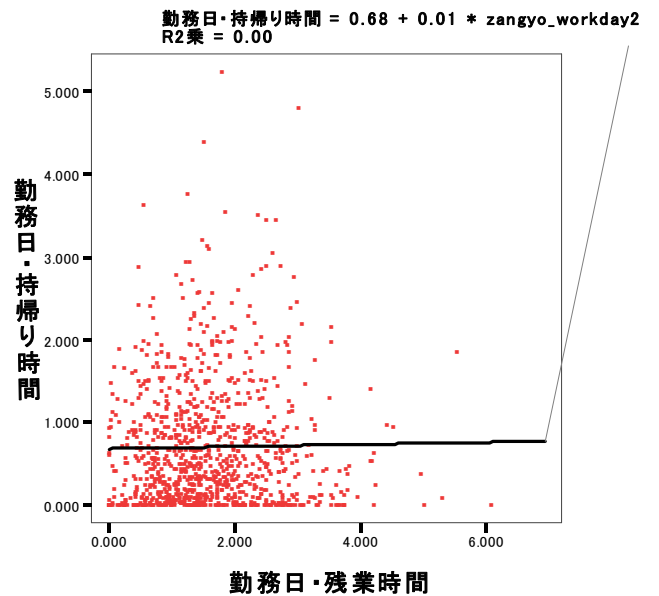


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・小学校・51歳以上教諭)

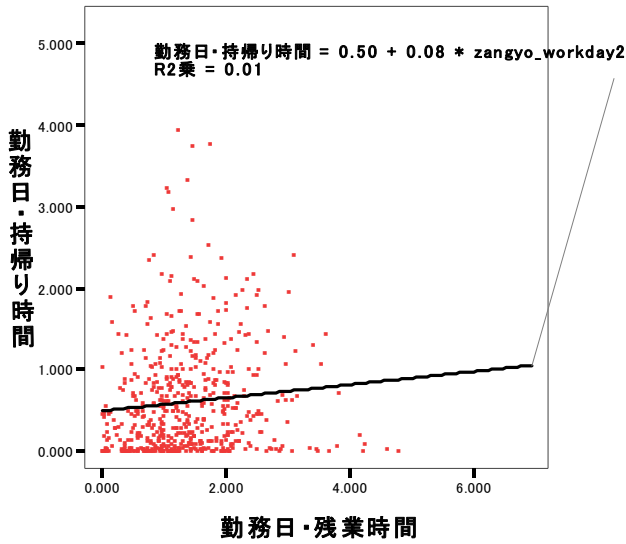


図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・小学校・校長)

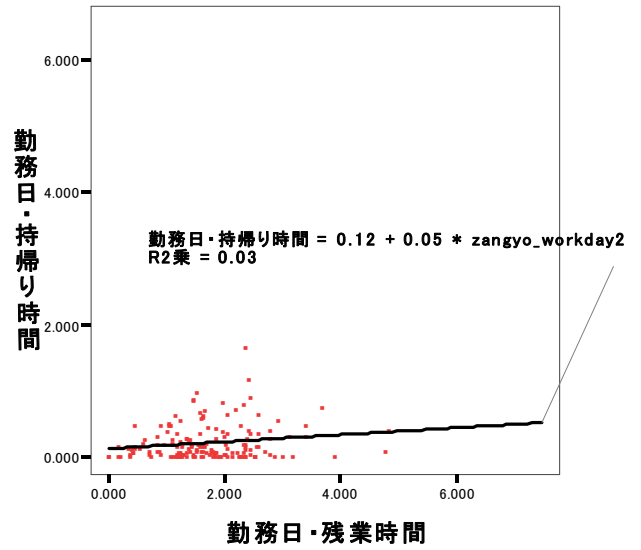


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・小学校・教頭/副校長)

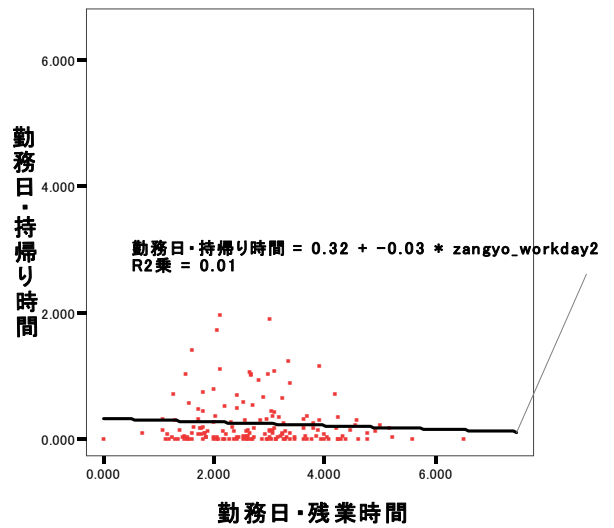


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・小学校・教諭)

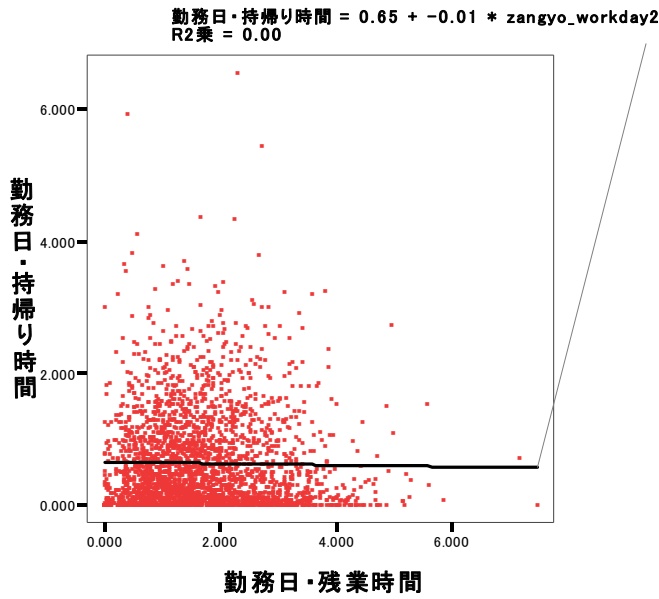


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・小学校・女性教諭)

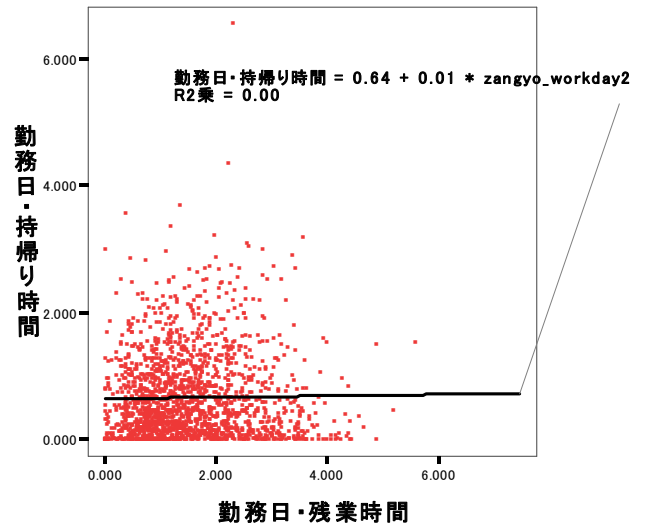


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・小学校・男性教諭)

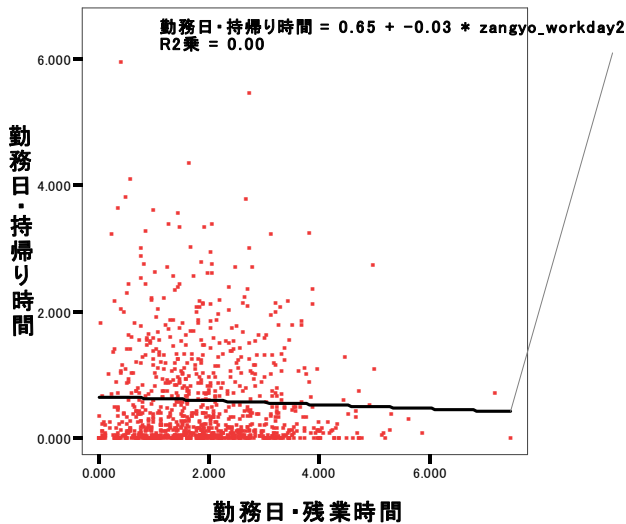


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・小学校・30歳以下教諭)

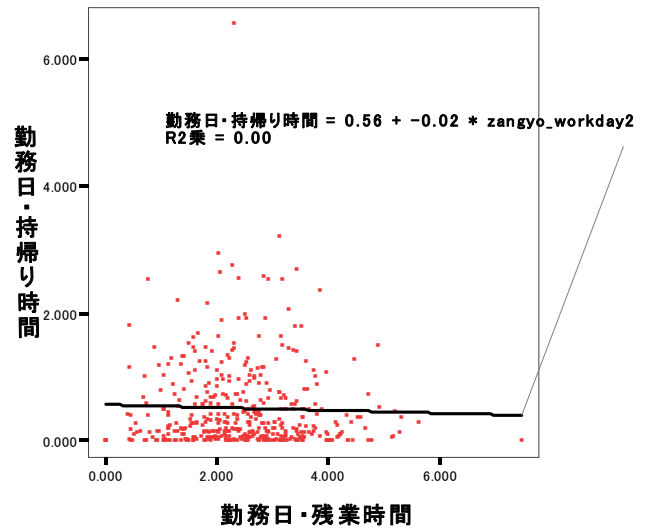


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・小学校・31～40歳教諭)

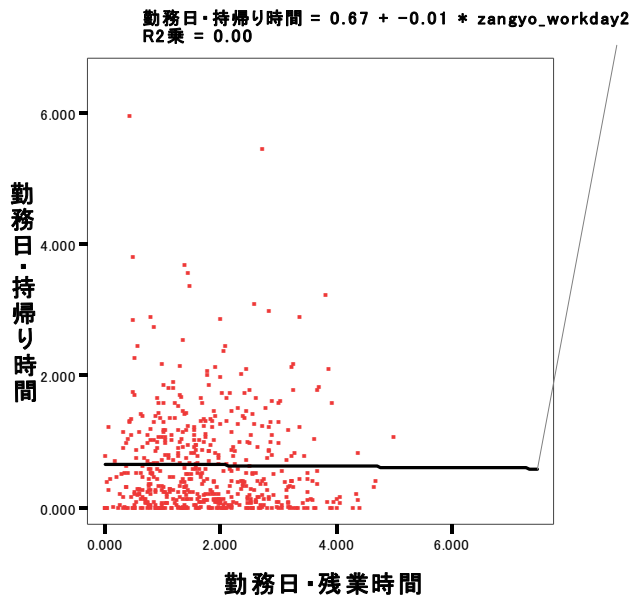


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・小学校・51歳以上教諭)

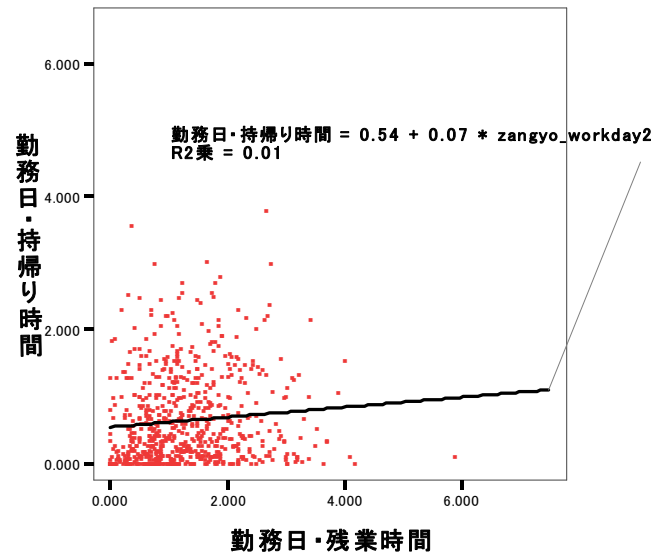


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・小学校・41～50歳教諭)

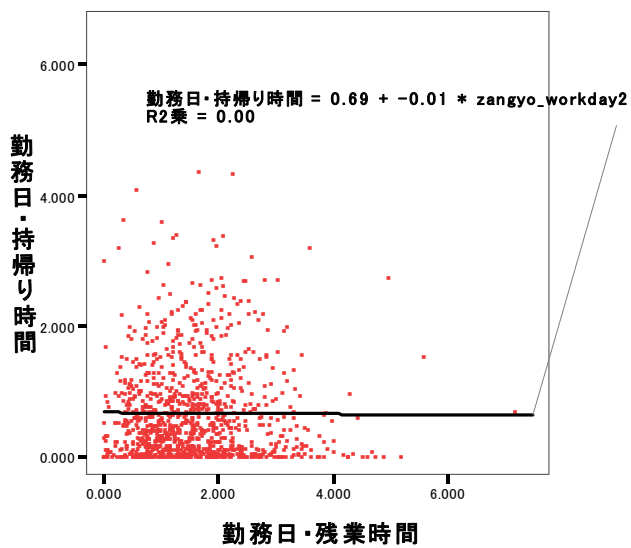


図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・小学校・校長)

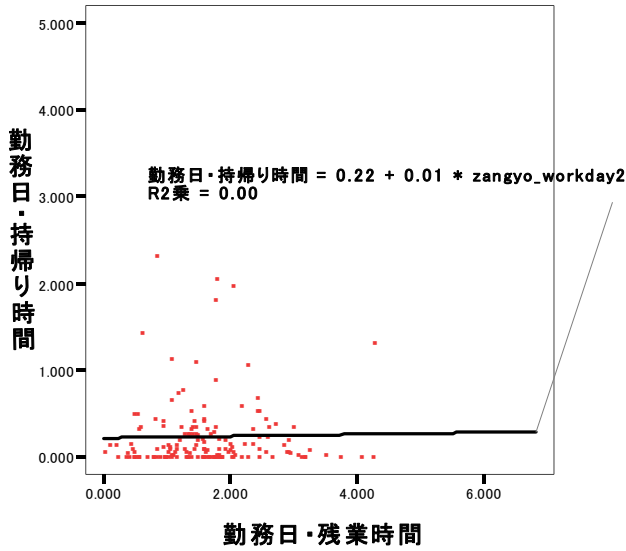


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・小学校・教諭)

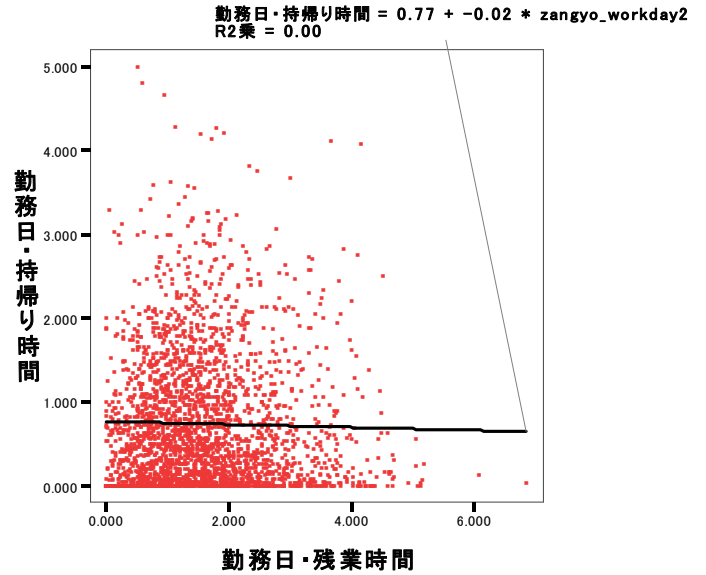


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・小学校・教頭/副校長)

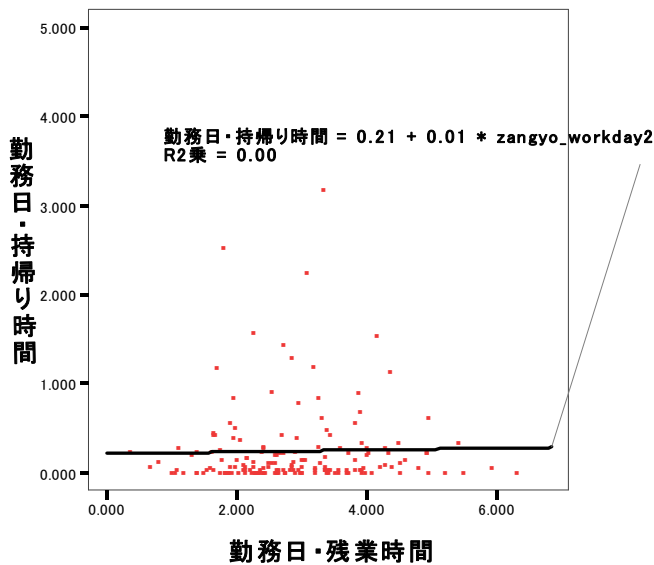


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・小学校・男性教諭)

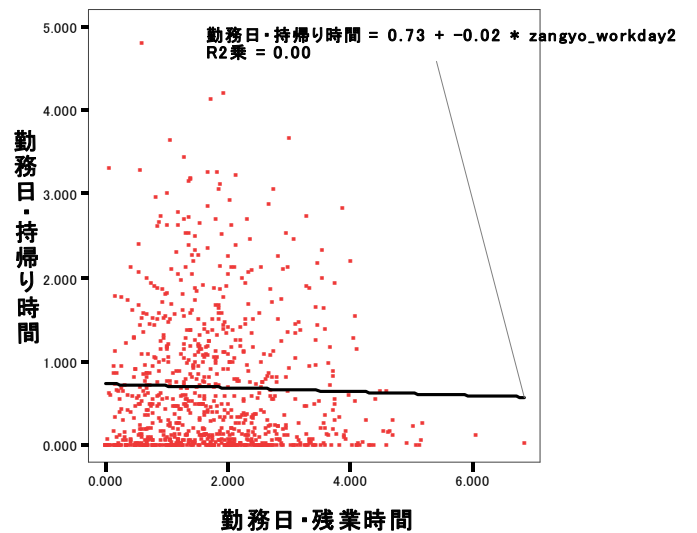


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・小学校・女性教諭)

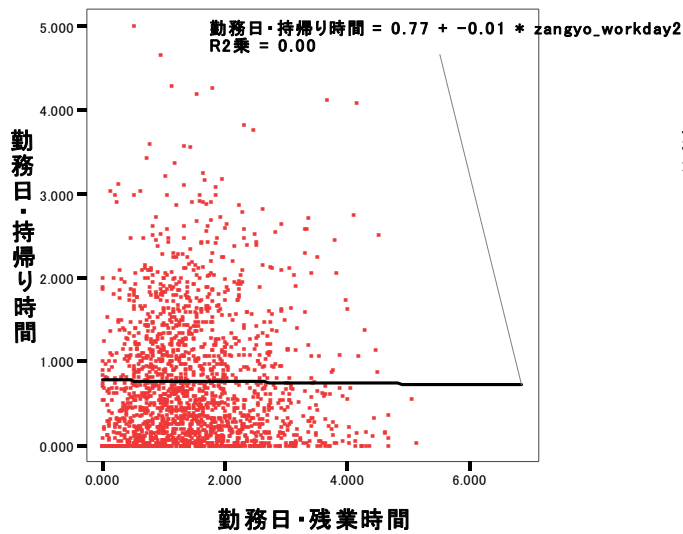


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・小学校・31～40歳教諭)

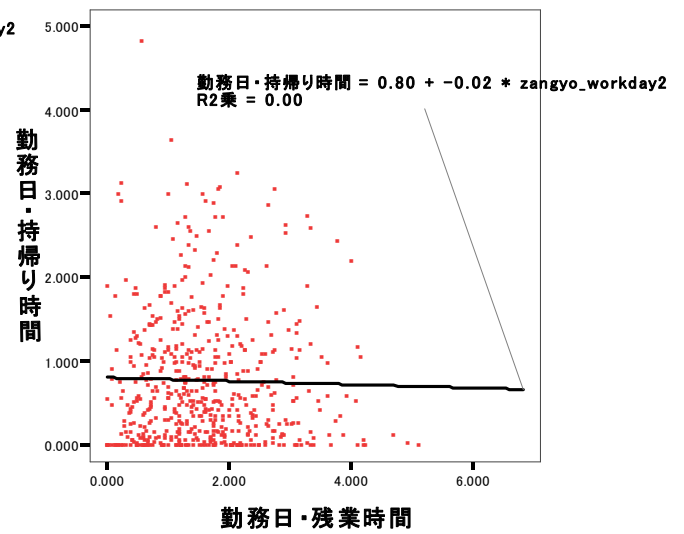


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・小学校・30歳以下教諭)

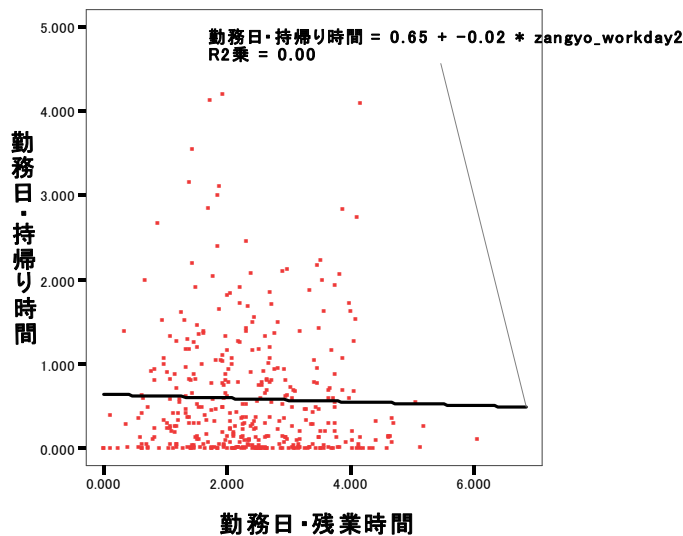


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・小学校・41～50歳教諭)

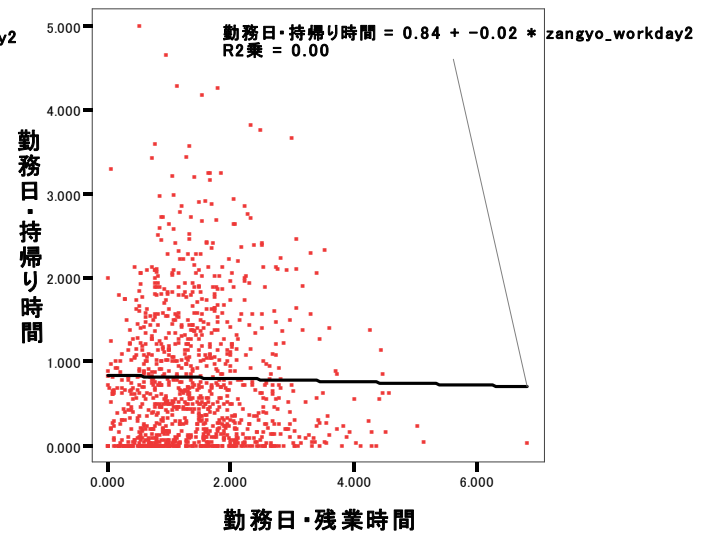
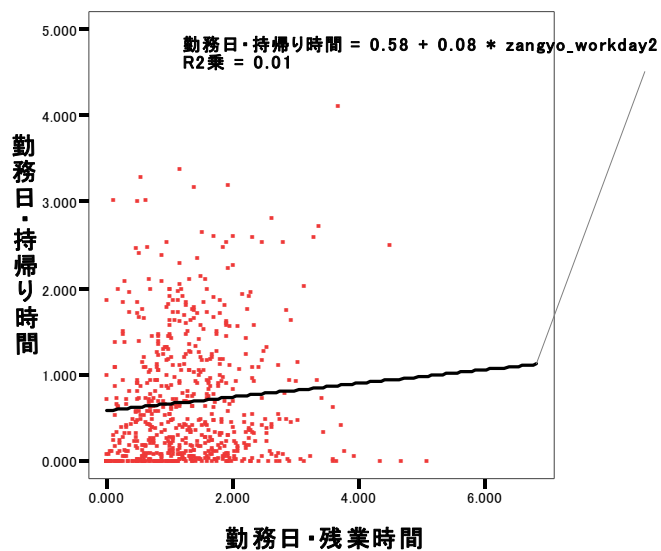


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・小学校・51歳以上教諭)



【中学校】

図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・中学校・校長)

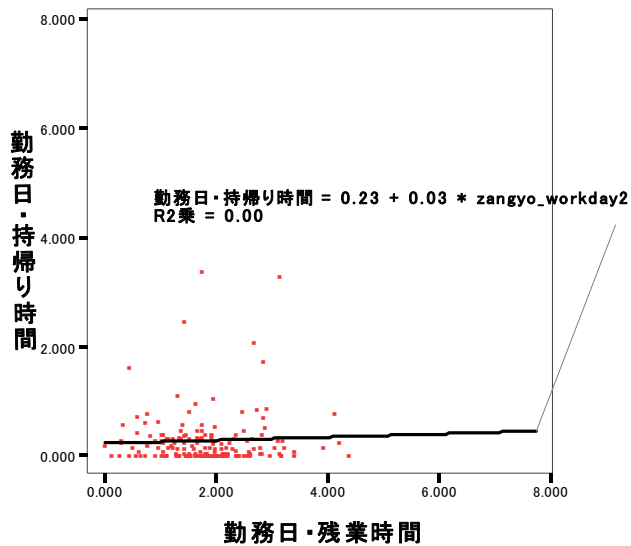


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・中学校・教諭)

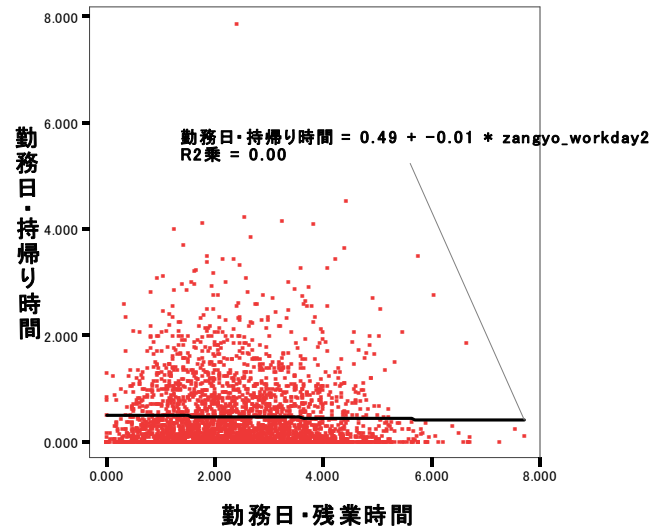


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・中学校・教頭/副校長)

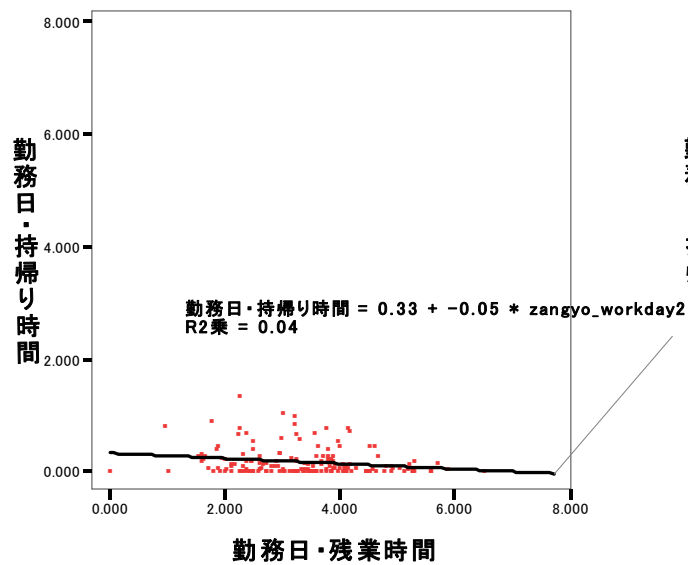


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・中学校・男性教諭)

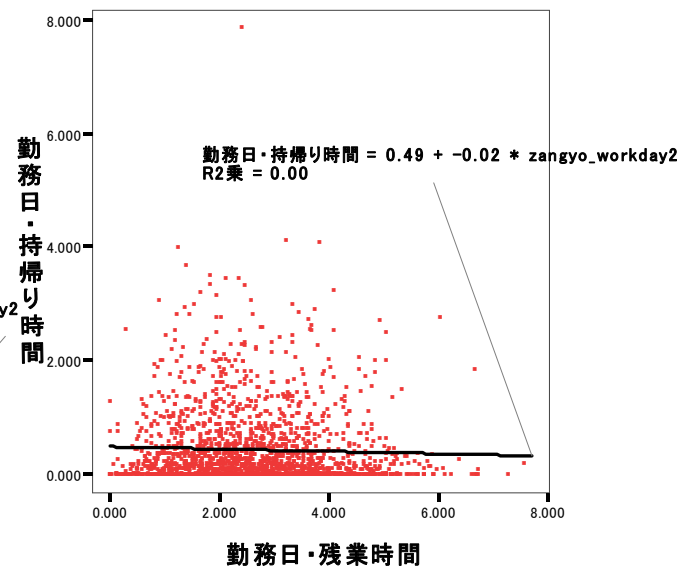


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・中学校・女性教諭)

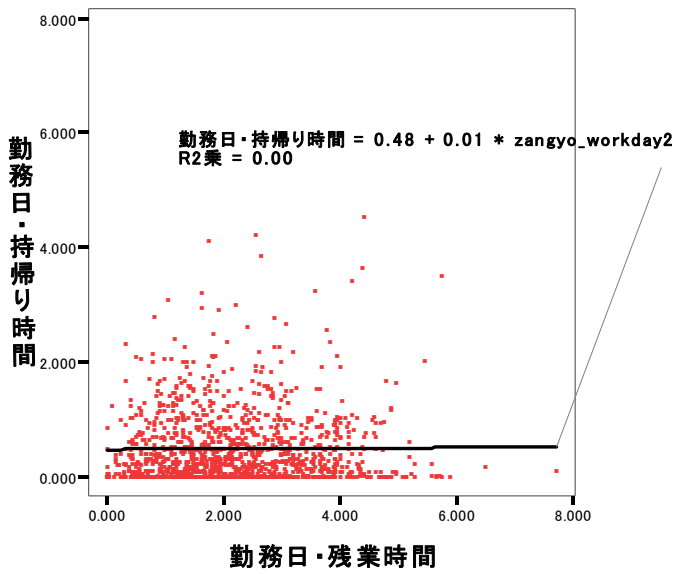


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・中学校・31～40歳教諭)

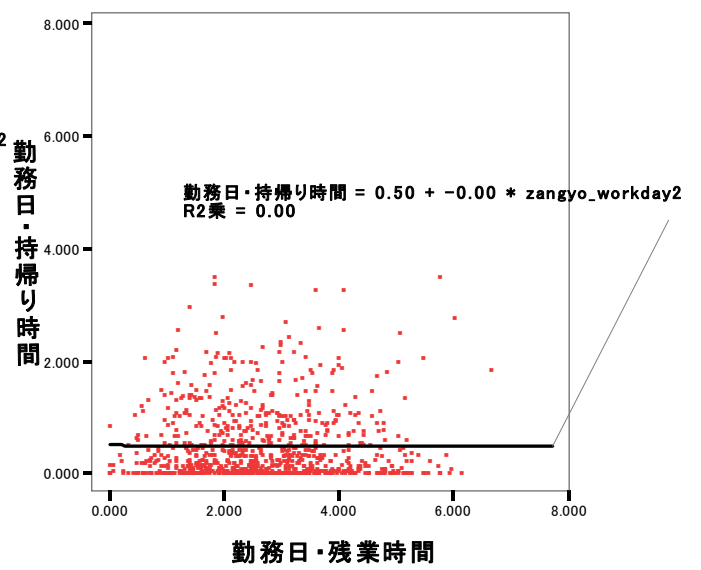


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・中学校・30歳以下教諭)

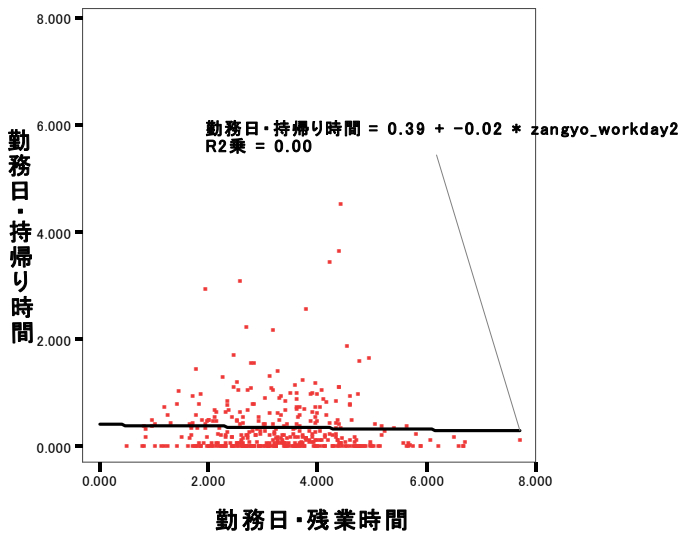


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・中学校・41～50歳教諭)

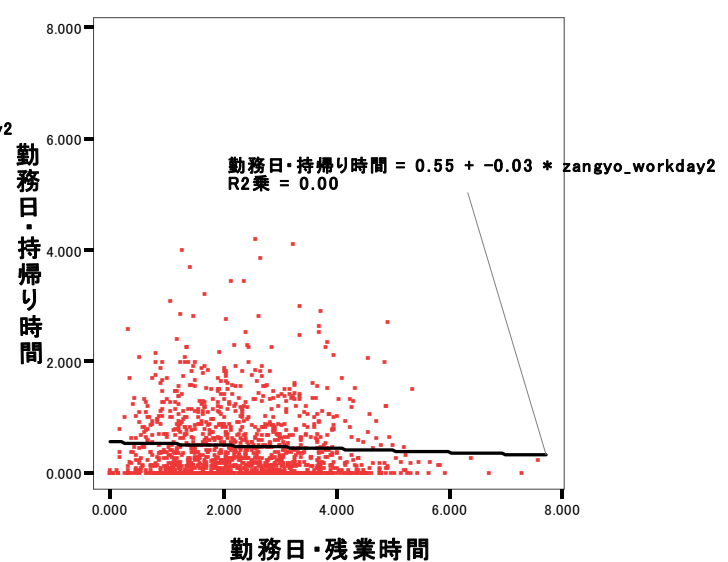


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第1期・中学校・51歳以上教諭)

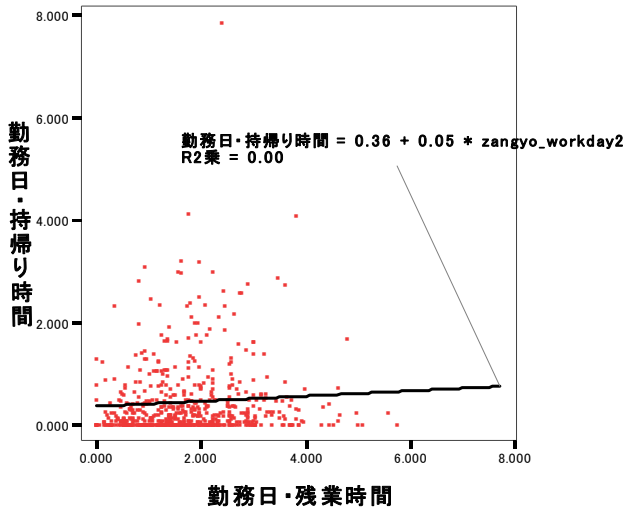


図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・中学校・校長)

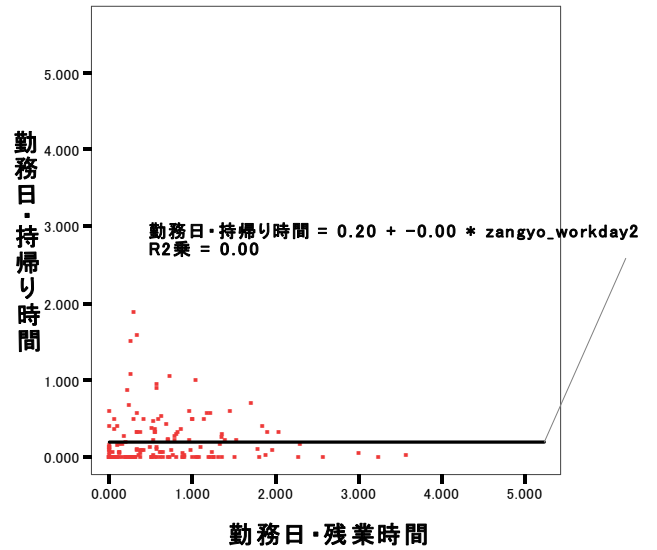


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・中学校・教頭/副校長)

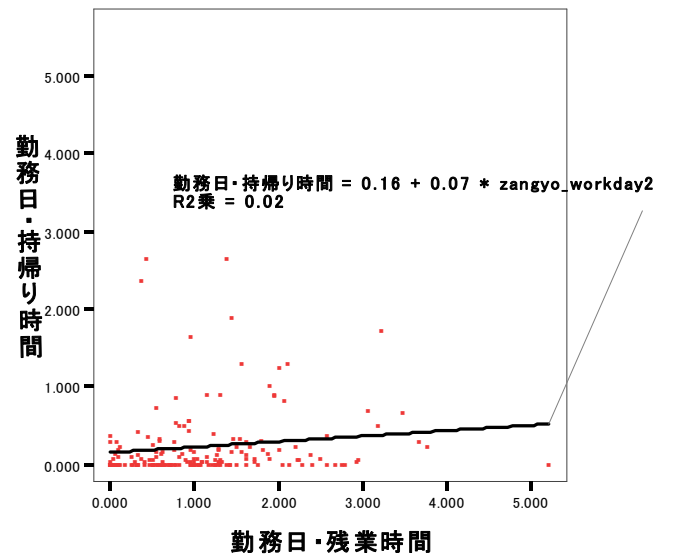


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・中学校・教諭)

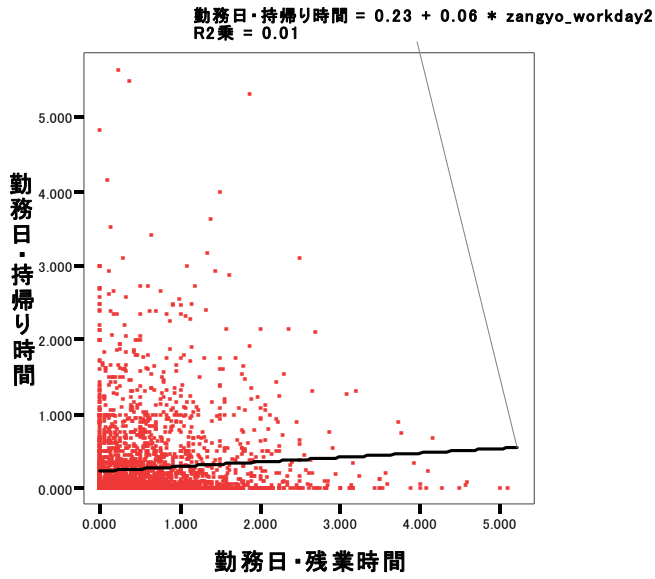


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・中学校・女性教諭)

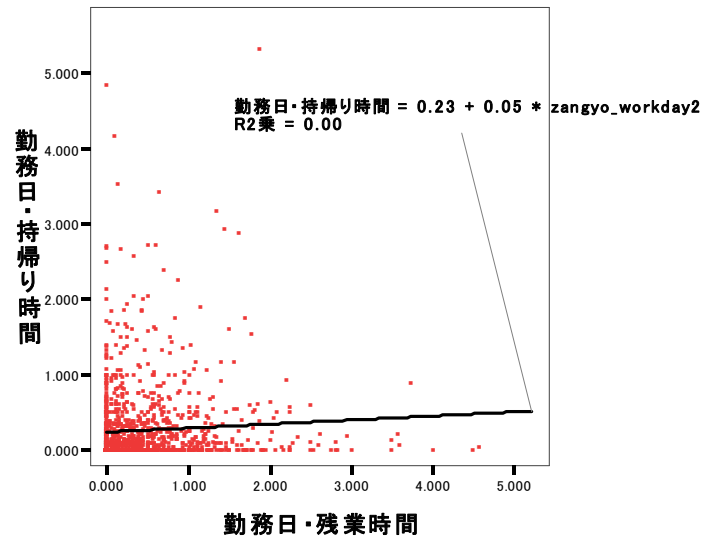


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・中学校・男性教諭)

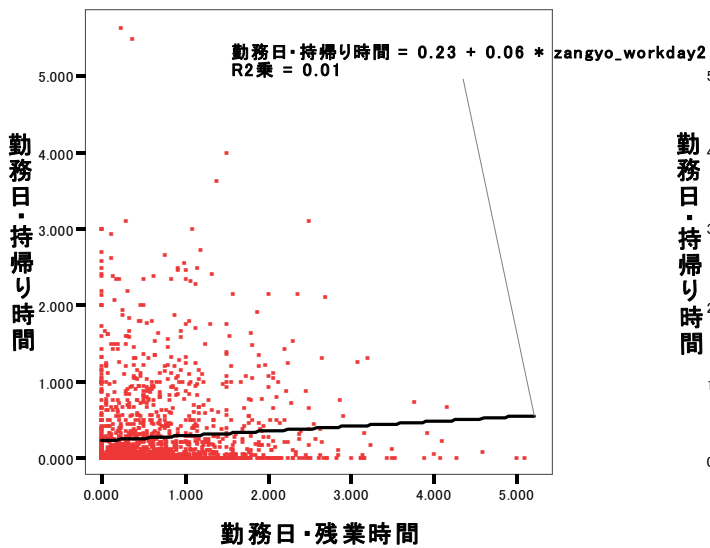


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・中学校・30歳以下教諭)

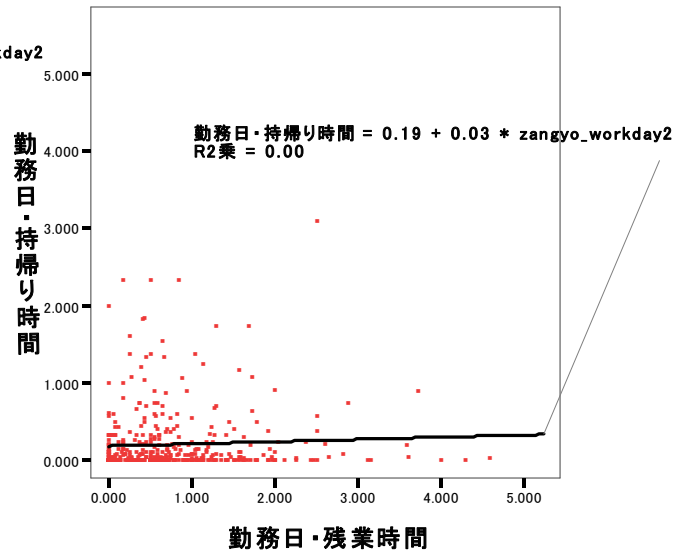


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・中学校・31～40歳教諭)

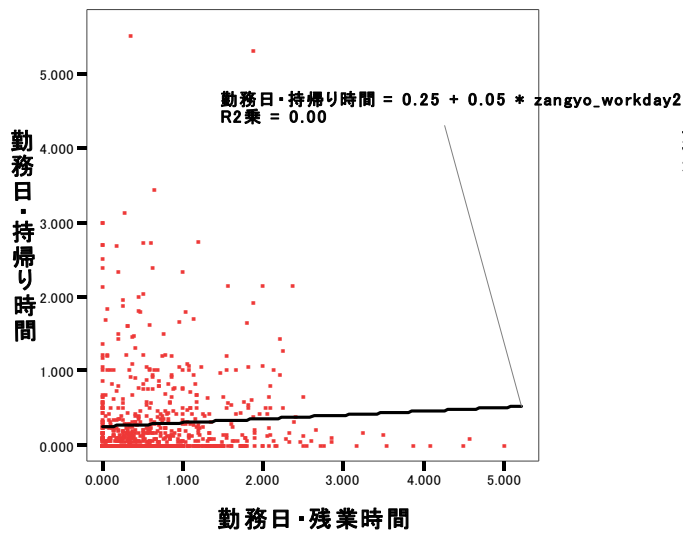


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・中学校・51歳以上教諭)

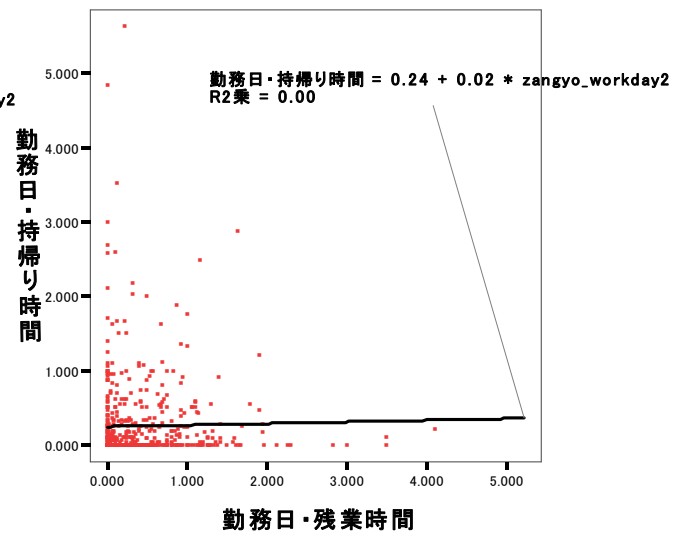
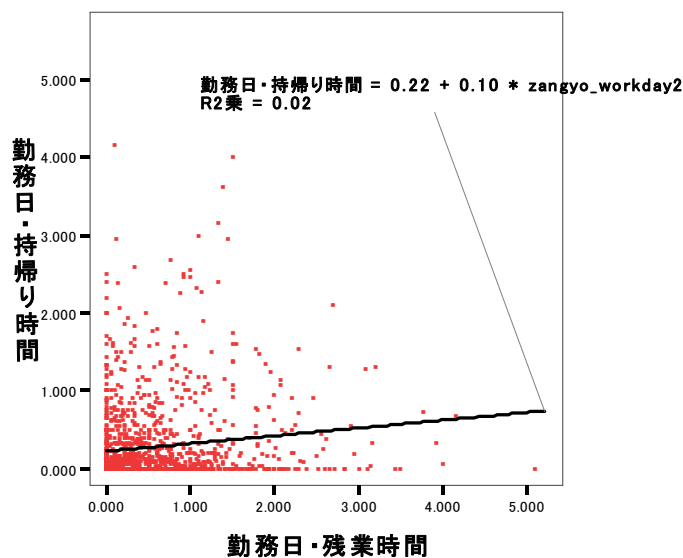


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第2期・中学校・41～50歳教諭)



第3期・中学校

図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・中学校・校長)

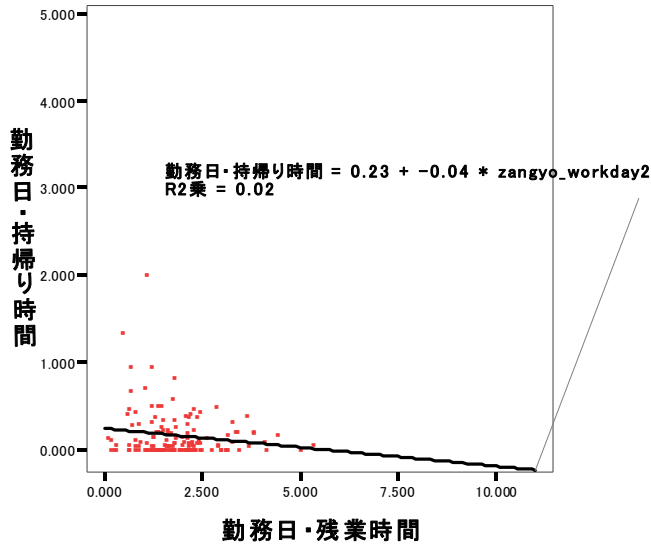


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・中学校・教諭)

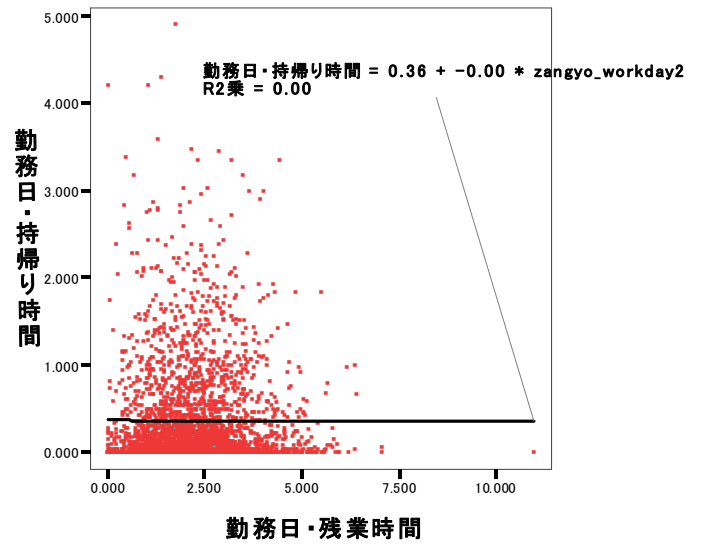


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・中学校・教頭/副校長)

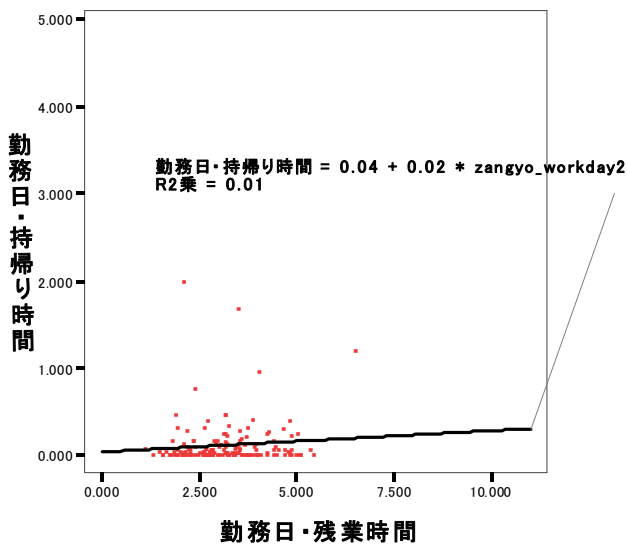


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・中学校・男性教諭)

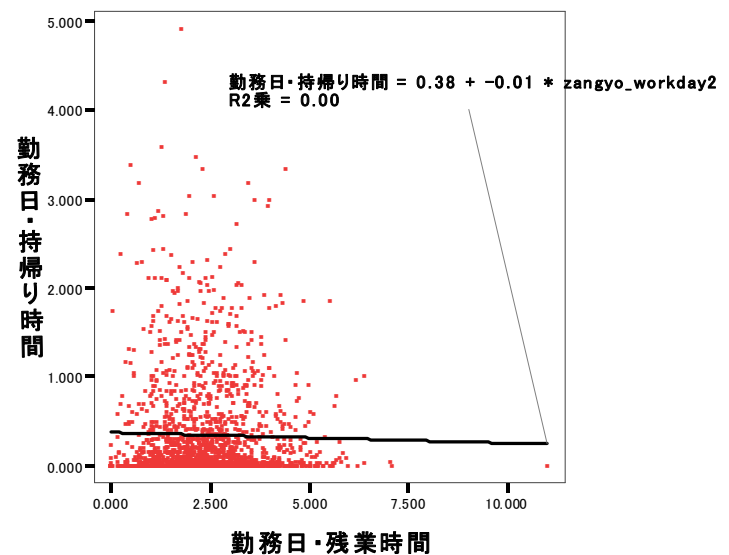


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・中学校・女性教諭)

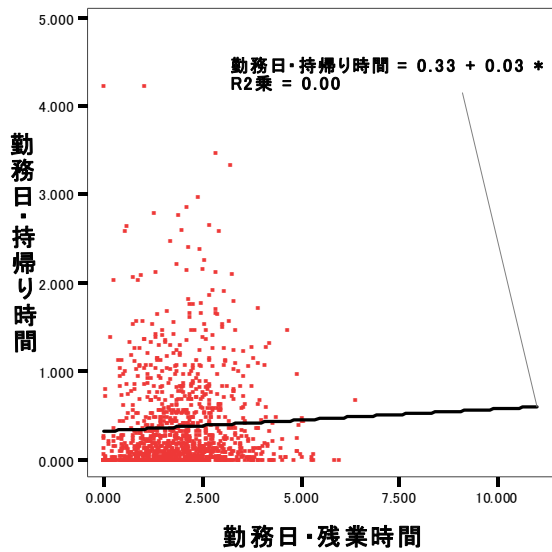


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・中学校・31～40歳教諭)

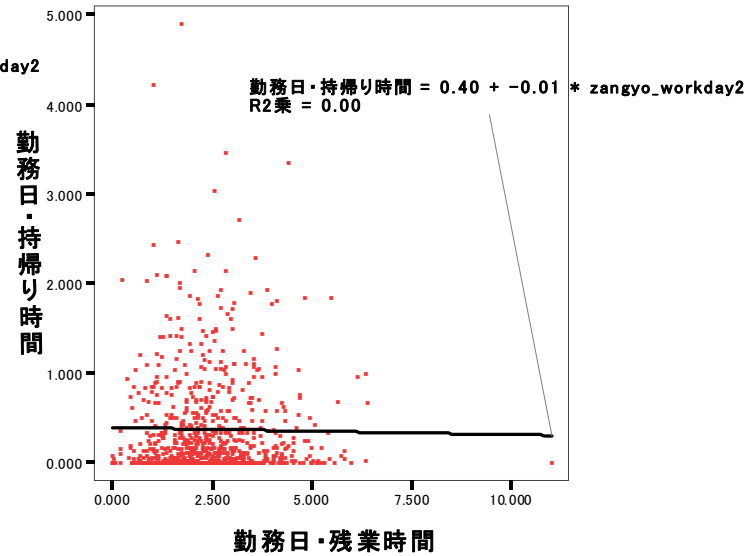


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・中学校・30歳以下教諭)

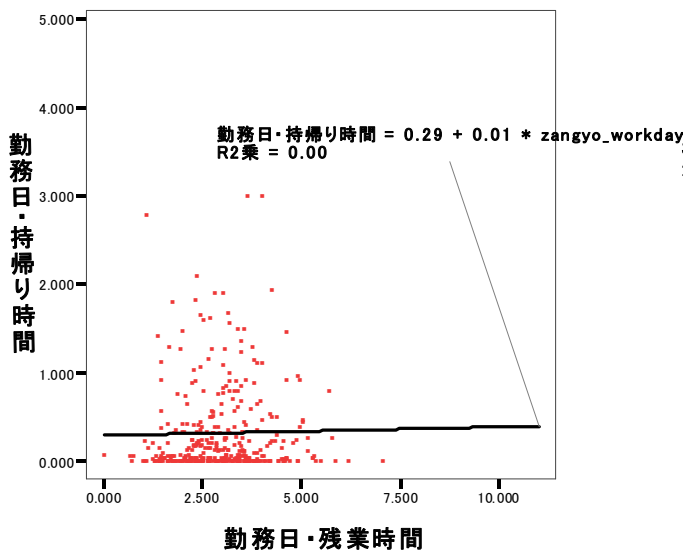


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・中学校・41～50歳教諭)

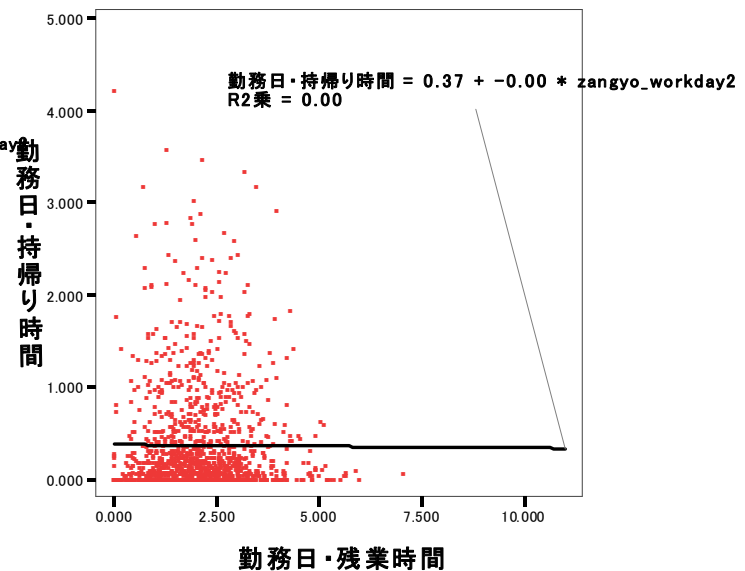


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第3期・中学校・51歳以上教諭)

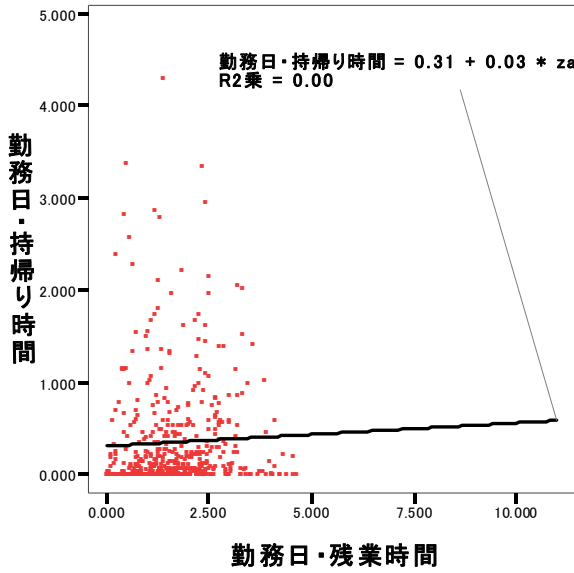


図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・中学校・校長)

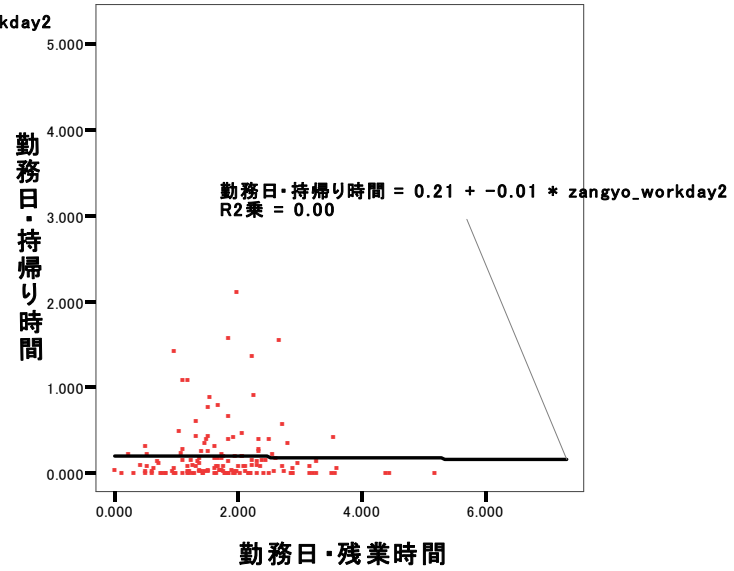


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・中学校・教頭／副校長)

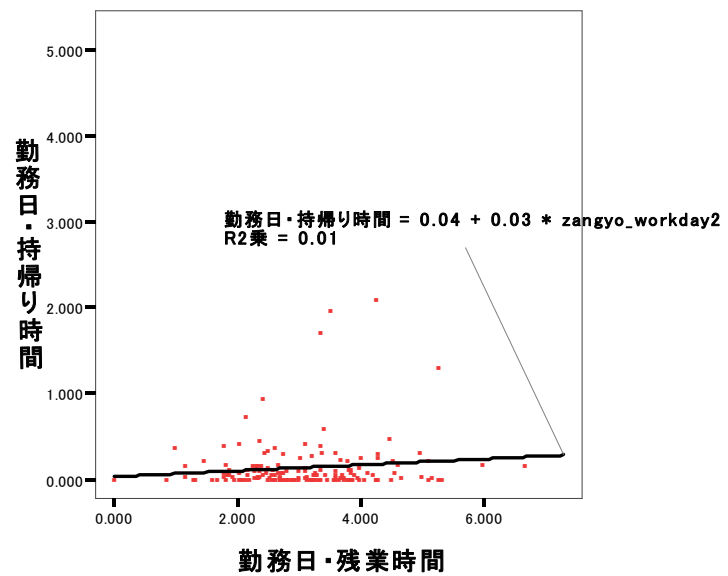


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・中学校・教諭)

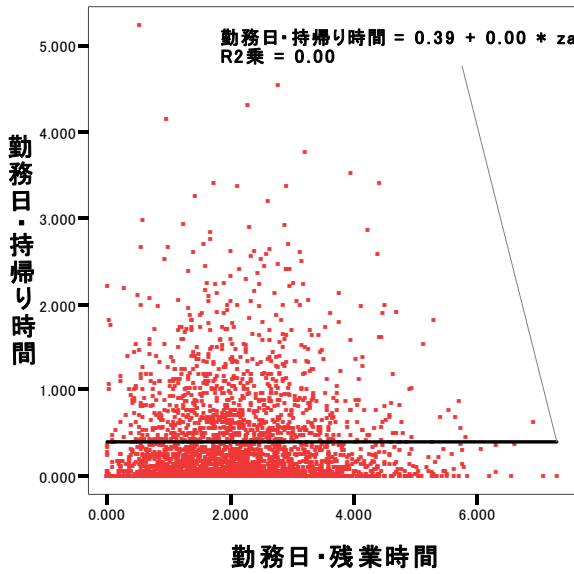


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・中学校・女性教諭)

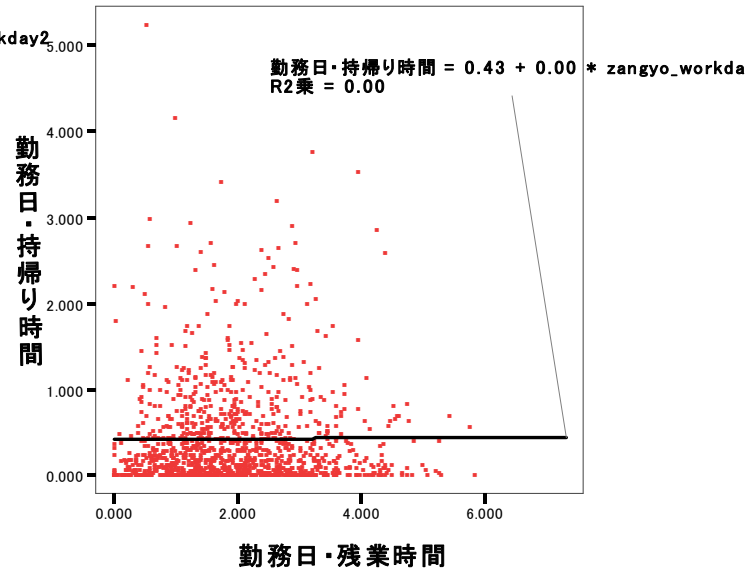


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・中学校・男性教諭)

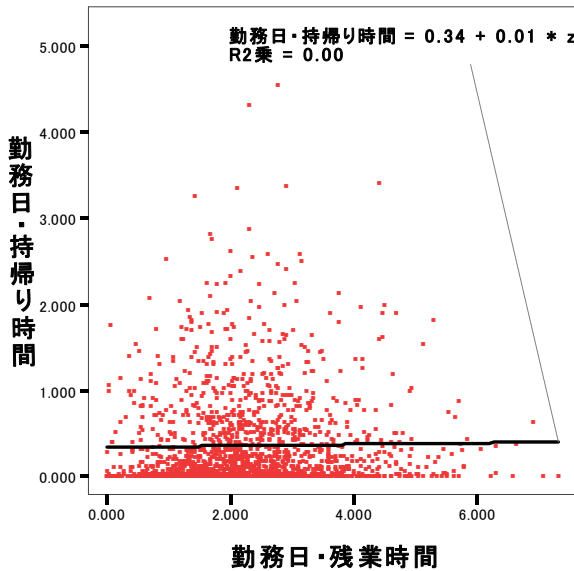


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第4期・中学校・30歳以下教諭)

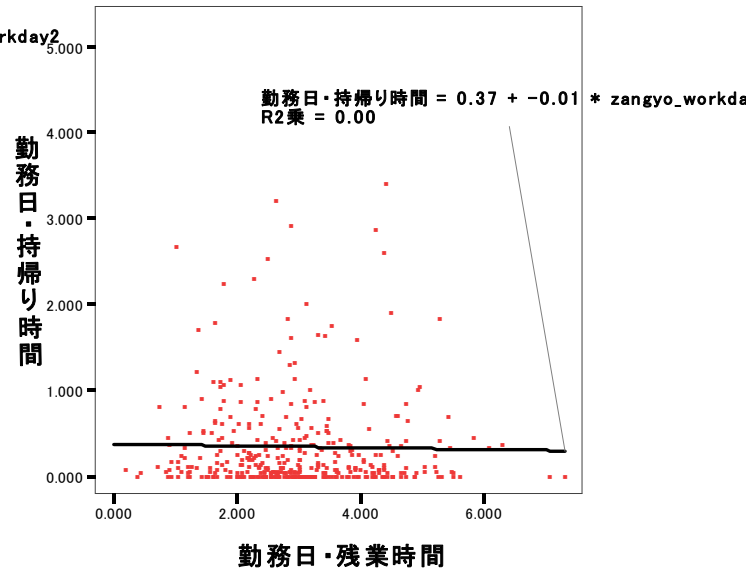


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
 (第4期・中学校・31～40歳教諭)

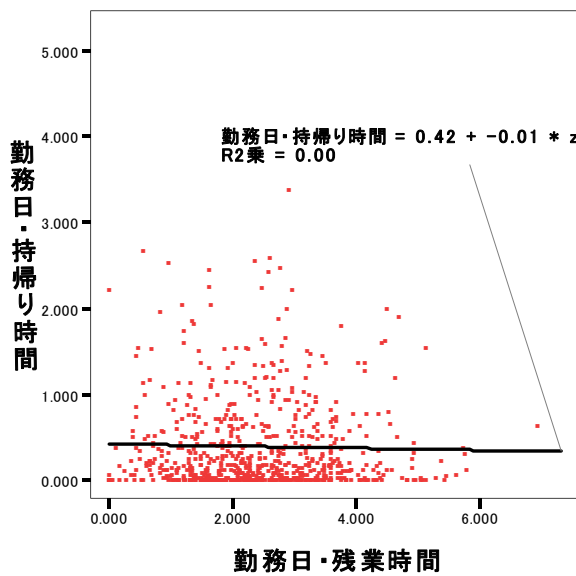


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関
 (第4期・中学校・51歳以上教諭)

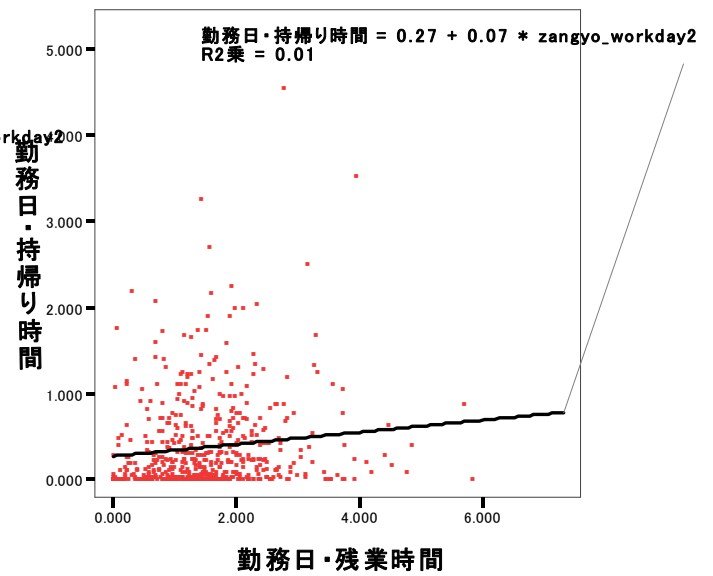


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
 (第4期・中学校・41～50歳教諭)

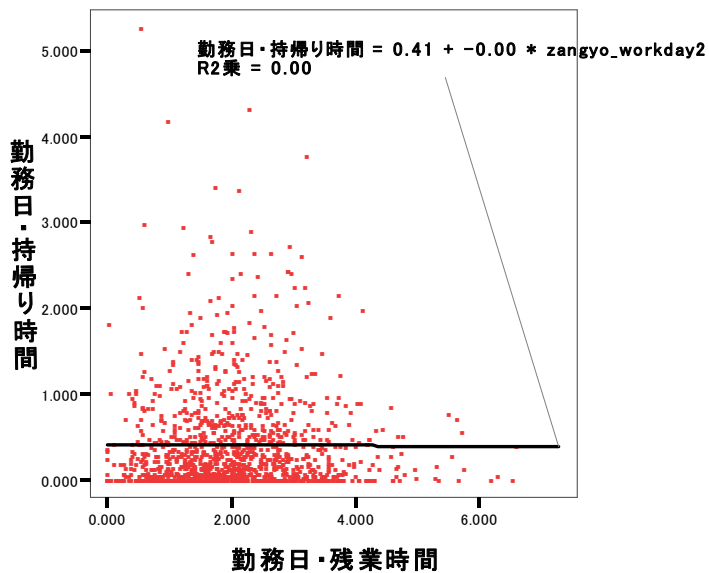


図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・中学校・校長)

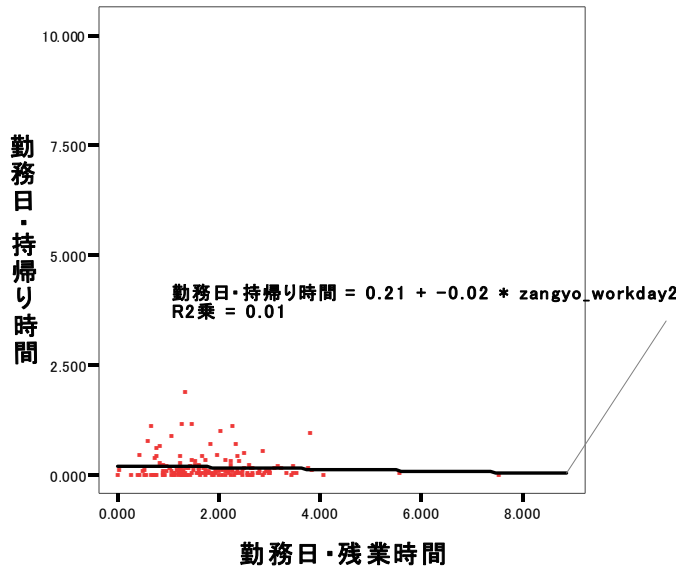


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・中学校・教諭)

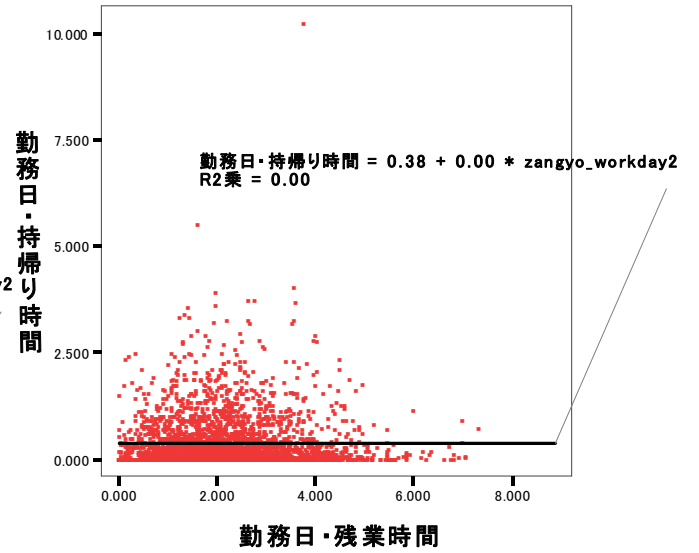


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・中学校・教頭/副校長)

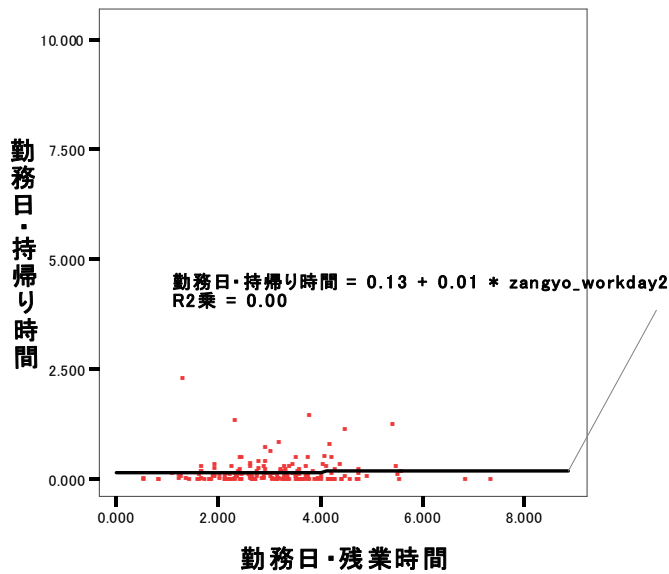


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・中学校・男性教諭)

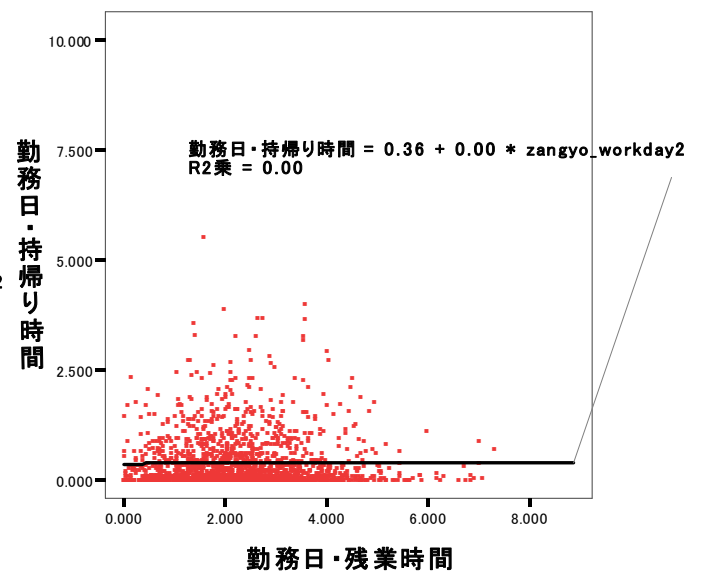


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・中学校・女性教諭)

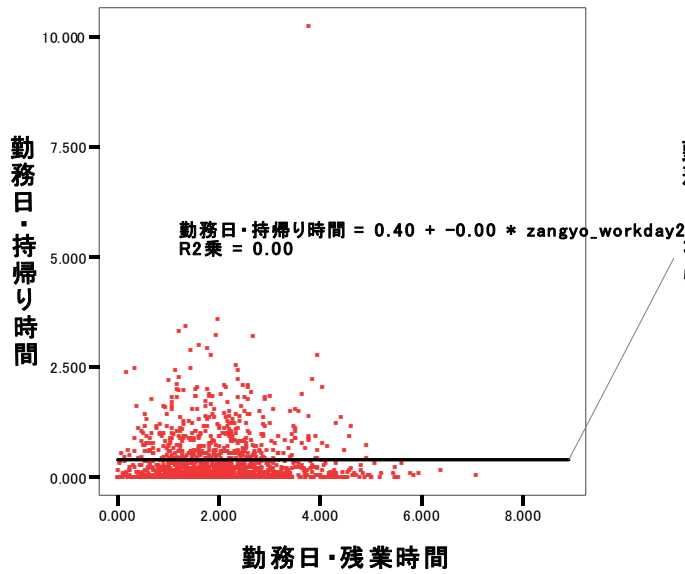


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・中学校・31～40歳教諭)

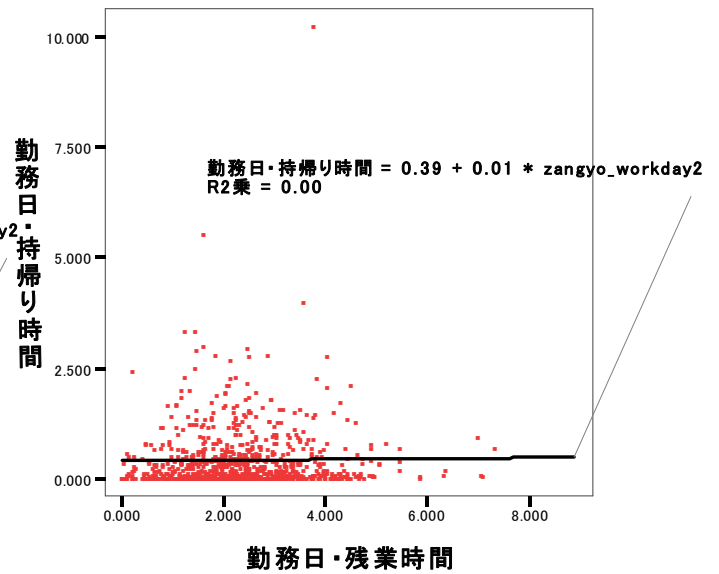


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・中学校・30歳以下教諭)

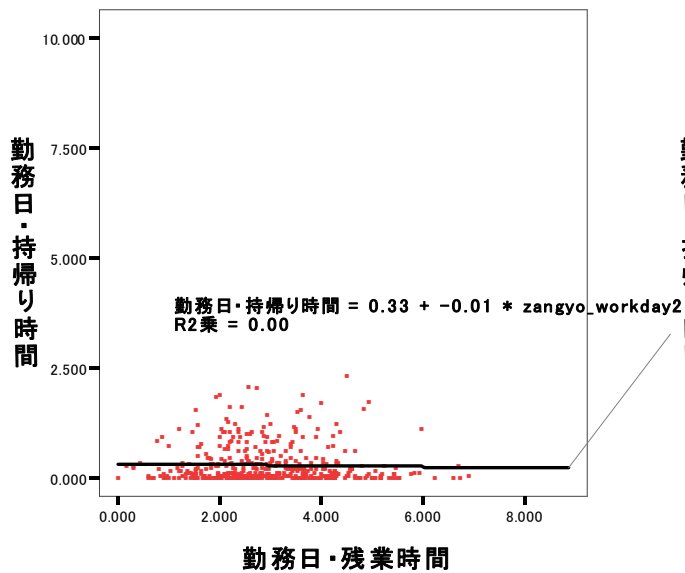


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・中学校・41～50歳教諭)

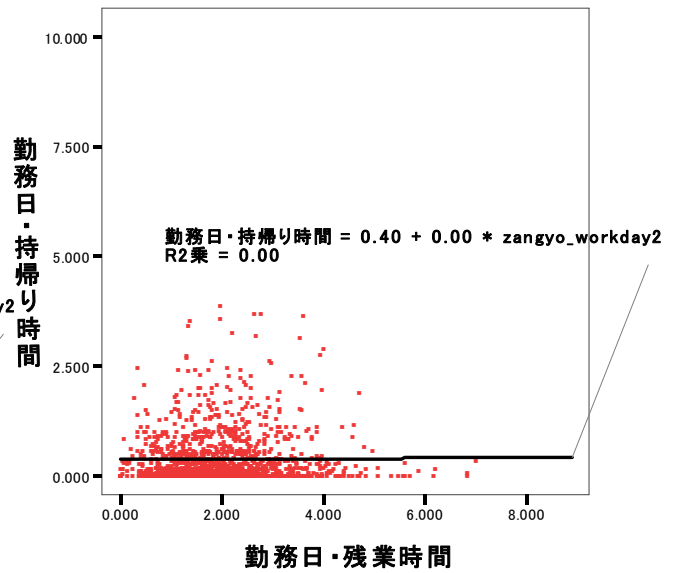


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第5期・中学校・51歳以上教諭)

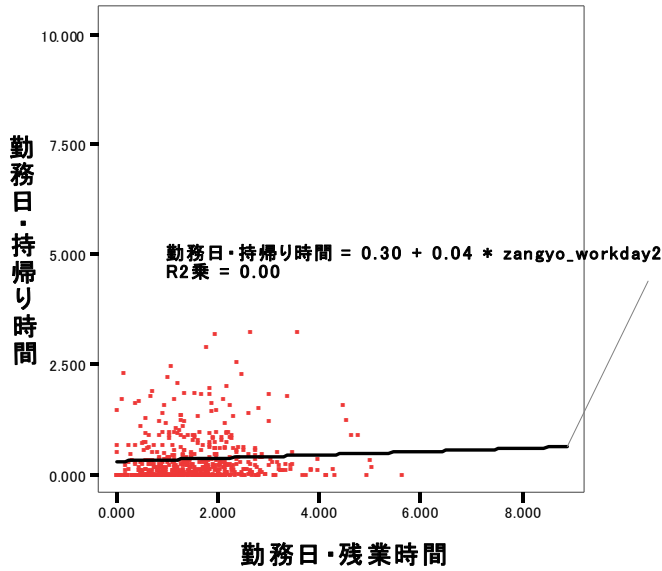


図1 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・中学校・校長)

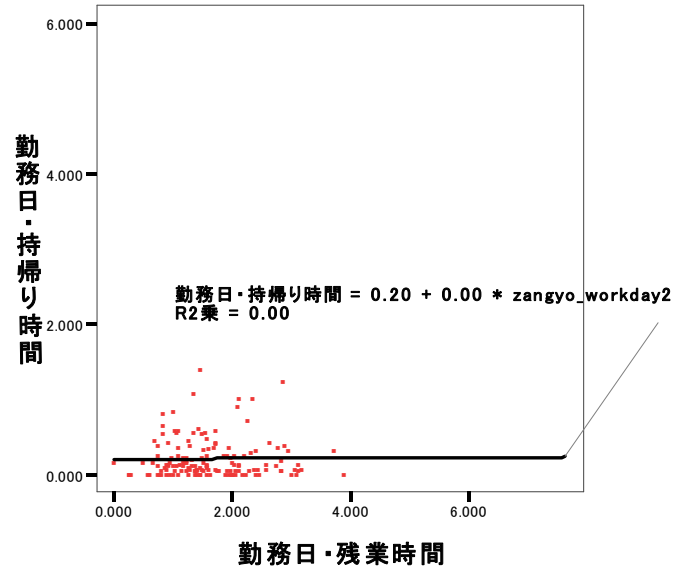


図2 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・中学校・教頭／副校長)

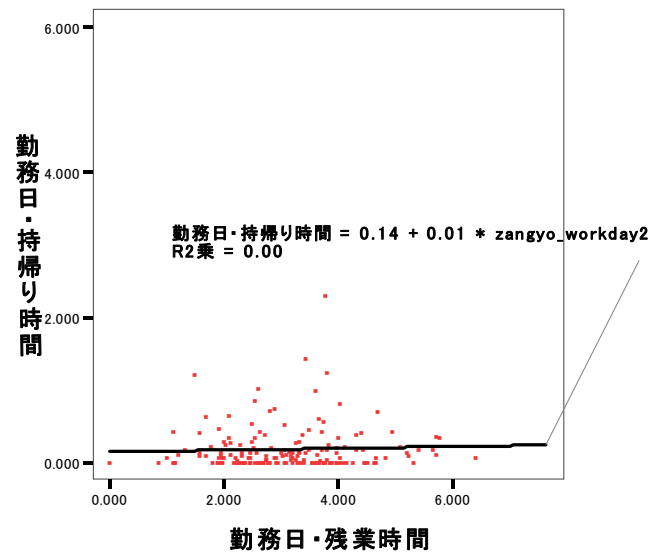


図3 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・中学校・教諭)

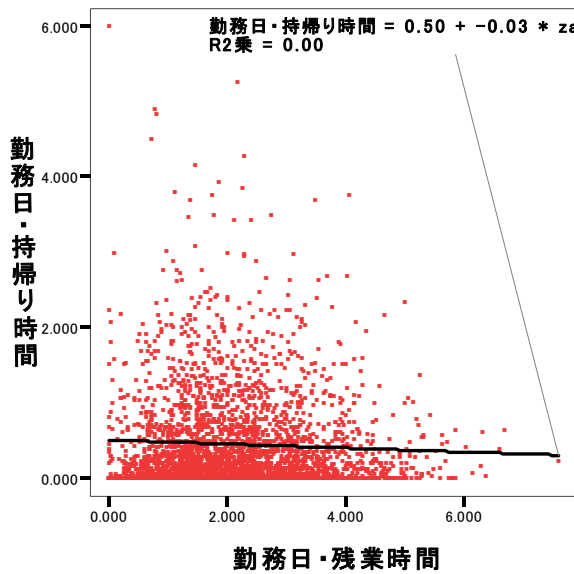


図5 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・中学校・女性教諭)

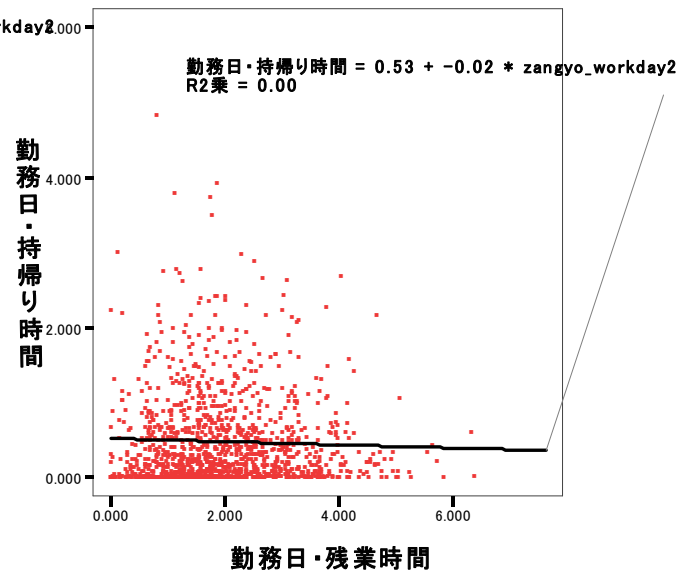


図4 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・中学校・男性教諭)

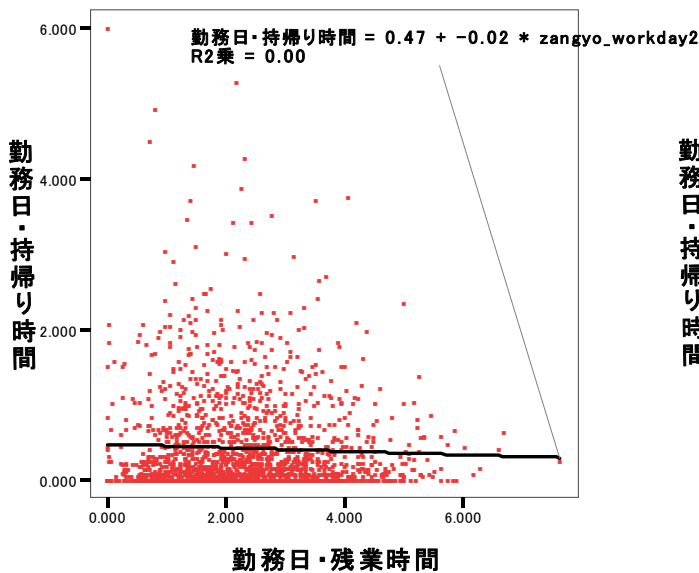


図6 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・中学校・30歳以下教諭)

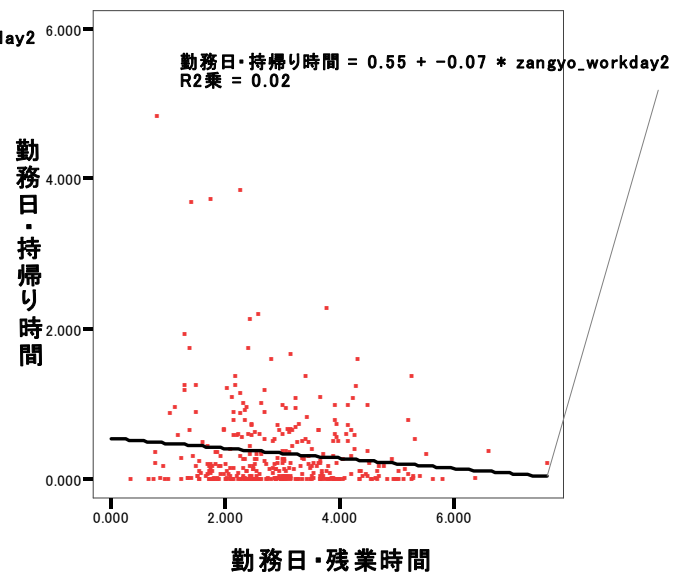


図7 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・中学校・31～40歳教諭)

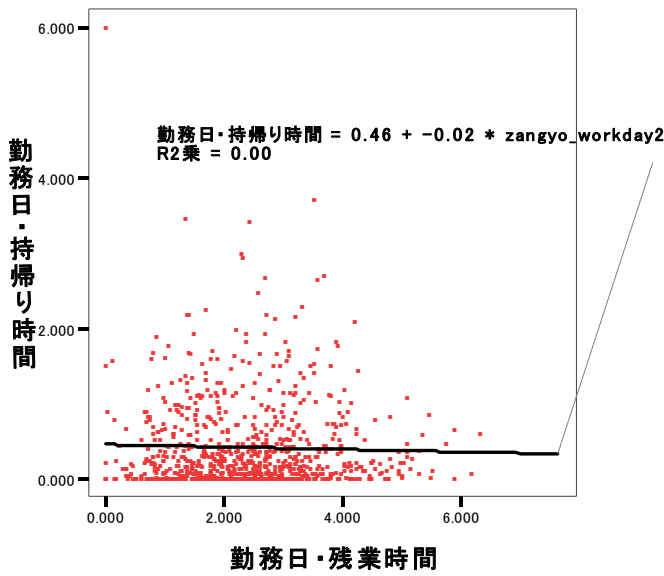


図9 残業時間量と持帰り時間量の相関 (第6期・中学校・51歳以上教諭)

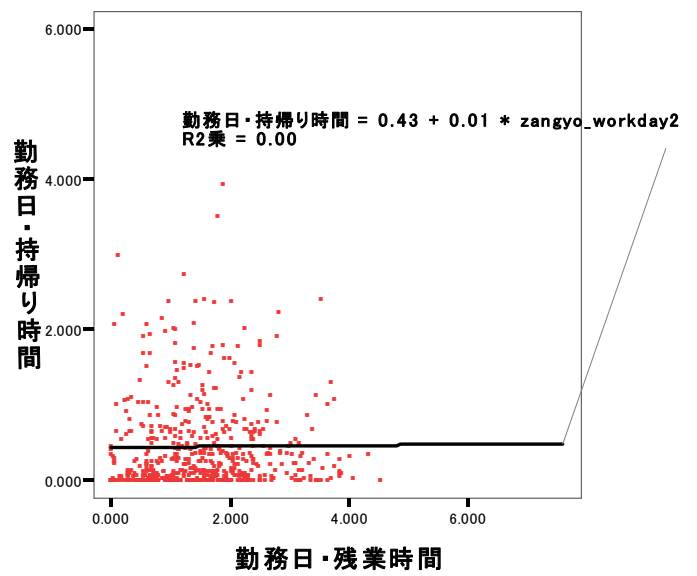
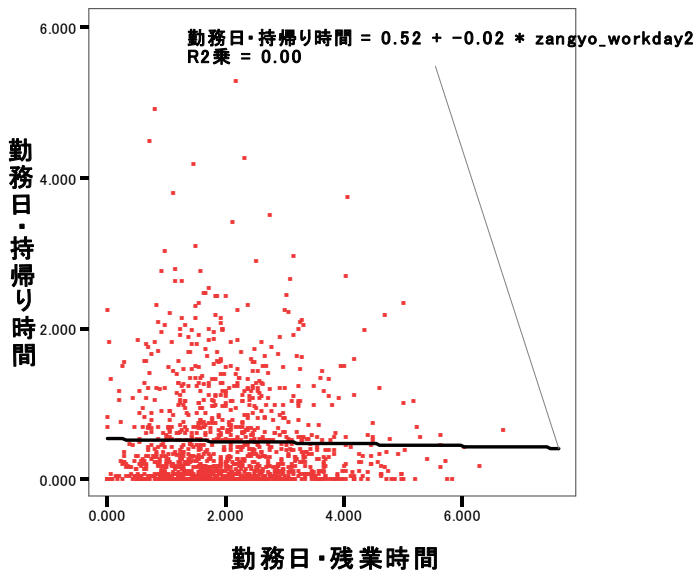


図8 残業時間量と持帰り時間量の相関
(第6期・中学校・41～50歳教諭)



■概要

平成19年度報告書で明らかにした第5期（11月）における教員の勤務実態に対し、長期休業期間中（第2期—8月）の勤務実態や学校行事の時期（第4期—10月）の勤務実態や期末業務の時期（第6期—12月）の勤務実態がどのようになっているのか、それぞれ比較した。比較は学校内の役割別（校長、教頭・副校長、教務主任）と教諭の担当業務別（学級担任の有無、運動部顧問・文化部顧問・顧問なし）に行った。第2期については平日のみ、第4期と第6期については平日と休日の勤務実態をそれぞれ比較した。

■結果

①期間別（第2期と第4期と第6期）にみた特徴

第2期：午前中や午後の業務に特徴があった。研修関係（「校内研修」や「校務としての研修」）や部活動や授業準備といった業務の行為者率が他の時期よりも高い。また他の時期よりも夕方や夜間の行為者率が高くなり、勤務時間内に業務が消化できている様子が観察された。

第4期：小学校…学校行事の時期であることが業務の特徴を導き出しており（「学校行事」など）、他の業務はその影響を受けていた。

中学校…部活動の大会シーズンであることや、中間考査の時期であることが、業務の特徴を導き出しており（「部活動」や「成績処理」など）、他の業務はその影響を受けていた。

第6期：小・中学校とも、学期末であることが業務の特徴を導き出しており（「成績処理」など）、他の業務はその影響を受けていた。

※第4期と第6期は、通常期であり授業が行われているため、勤務日であれば午後や夕方や夜間に、また休日にも業務の特徴が観察された。

※第4期や第6期で期間限定的に発生している業務の影響は、「授業準備」や「学校行事」の行為者率低下を生み出していると考えられる。特にこれは小学校では顕著である。

※第4期や第6期における業務の特徴は休日に及んでおり、平日に消化しきれない業務が休日に押し出される状況や、休日の部活動が活発化している様子などが観察された。

②学校内での役割別にみた特徴

管理職層：職位が高くなるほど、教諭に比べて時期に応じた業務の変化がゆるやかであった。主に「学校経営」や「事務・報告書作成」の行為者率が時期に応じて変化していたが、それぞれの時期の特徴との対応関係の類推は難しかった。

教諭：時期に応じて業務内容が大きく変化していた。また、それぞれの時期の特徴（第2期（8月）は「授業」がないことと「部活動」、第4期（10月）は「学校行事」と「部活動」と「成績処理」、第6期（12月）は「成績処理」と直結する形で特徴が現れていた。

※すでに平成 19 年度の報告書では、教頭や教務主任の業務が学校管理職としての特徴と一般の教諭としての特徴の両方を併せ持っており、業務の種類が多様であることを指摘していたが、今回明らかになった知見は、教頭や教務主任の業務がより複雑であることを示唆している。すなわち教頭や教務主任は、時期に応じて学校管理職に特徴的な業務（「学校経営」や「事務・報告書作成」）の変化に対応するだけでなく、一般の教諭に特徴的な業務（「授業」「授業準備」「成績処理」「部活動」など）の変化にも対応しなくてはならないからである。

③小学校と中学校での特徴

小学校：学級担任制をとっているため、学級担任か否かで業務の特徴が異なってくる。

中学校：教科担任制をとっているため、担任の有無ではあまり業務の構成に差はなく、むしろ部活動の顧問をしているか否かによる影響が大きい。運動部顧問と文化部顧問と顧問なしの教諭では、授業時間以外の時間帯において部活動の占める割合が異なっている（「運動部顧問」>「文化部顧問」>「顧問なし」）。そのため、期間限定的に発生する業務をどの程度午前中から夕方までの時間帯で消化できるのかという状況にも違いを生むため、それが夜間や休日といった時間帯の勤務になって表れていると考えることができる。

※結果的に、小学校では学級担任の教諭が、そして中学校では運動部顧問の教諭が、期間限定的な業務の影響をより強く受けている状況が観察された。

はじめに

昨年度（平成 19 年度）の報告書（『教員業務の多様化・複雑化に対応した業務量計測の開発と教職員配置制度の設計—教員と教員サポート職員による業務の適切な分担とアウトソーシングの可能性—』）では、長期休業期間や学校行事や期末行事の影響を受けない時期を想定して第 5 期（11 月）を取り上げ、教員の勤務実態を整理した。具体的には学校での職位（校長、教頭・副校長、教諭）や役割別（教務主任）に業務を整理したほか、教諭についてはさらに学級担任の有無（小・中学校）と部活動の顧問（中学校）という観点から業務を比較し、それらの特徴を指摘した。

そこで今年度の報告書では、そうした昨年度の成果を踏まえ、教員の業務が特徴的になると想定される期間を取り上げて第 5 期（11 月）と比較する。これによって、時期に応じた教員の業務の特徴を整理するのがねらいである。教諭に関しては、既に昨年度の報告書においても

個々の業務項目に着目した比較が行われているが、期間によってどのような業務が増えて代わりにどのような業務が減るのか、そして職位や役割によってその特徴に違いはあるのかといった観点での比較はまだ十分でない。

以下では、まず長期休業期間中の業務として第 2 期（8 月）の特徴を記述する。続いて学校行事の多い時期として第 4 期（10 月）を取り上げる。そして最後には、期末業務の多い時期として第 6 期（12 月）を取り上げる。それぞれの時期について、第 5 期（11 月）と比較したときの特徴を指摘し、これによって時期の変化に応じて教員の勤務実態がどのように変化しているのかを明らかにする。

第 1 節 第 5 期と第 2 期（平日のみ）の比較

ここでは、第 5 期（11 月）と第 2 期（8 月）の比較を行う。第 2 期は長期休業期間中にあたり、教員の業務の様子が大きく変わることは既に昨年度（平成 19 年度）の報告書でも一部指

摘されている(「第1部教員の業務別の分析」『教員業務の多様化・複雑化に対応した業務量計測の開発と教職員配置制度の設計—教員と教員サポート職員による業務の適切な分担とアウトソーシングの可能性—』5~51頁)。以下では授業を実施しない期間中、学校内での役割に応じて教員の業務がどのように変化しているのかを整理する。

第1項 校長の職務比較

(1) 小学校校長(第2期勤務日は(図表27)、第5期勤務日は(図表1))

まず朝の時間帯(7時~9時)についてみると、「学校経営」「事務・報告書作成」の行為者率が高くなっており、第5期に比べると「朝の業務」および「生徒指導(集団)」の行為者率が低い。普段行われている「朝の業務」の内容が、その日に授業など教育活動が行われることを前提としているためであると考えられるほか、朝の「生徒指導(集団)」についても登校してくる児童を対象としているためであると考えられる。

次に午前中(9時~12時)についても「学校経営」「事務・報告書作成」の行為者率が高く、第5期に比べると「学校行事」と「校内研修」の行為者率が低い。その代わりに「会議・打合せ」と「校務としての研修」の行為者率が高くなっている。第5期と違い午前中に授業が行われないことから、「会議・打合せ」や「校務としての研修」の時間を確保しやすく、逆に「学校行事」については準備等の必要性が薄いという状況を読み取ることができる。また、「行政・関係団体対応」の行為者率の高い時間が、第5期に比べて短いという点も指摘できる。

昼(12時~13時)については、第5期よりも「休憩・休息」の時間を確保している校長が多いという点を指摘することができる。

午後(13時~17時)をみると、引き続き「学校経営」「事務・報告書作成」の行為者率が高い。第5期に比べると「学校行事」と「校内研修」の行為者率が低く、代わりに「事務・報告書作成」と「校務としての研修」の行為者率が高くなっている。これらも授業が行われず、児童が登校しないという第2期の特徴が現れたものと考えられる。また「会議・打合せ」の行為

者率の高い時間帯については、第2期に比べて前倒しになっているという点が指摘できる。通常期(第5期)であれば児童への教育活動が優先されるため、児童の下校後の時間帯において「会議・打合せ」の行為者率が上昇しているが、ここにも第2期の特徴が現れている。

最後に各項目の行為者率の合計、すなわち何らかの業務に当たっている者の割合についてみると、第2期は第5期に比べて早い時間に低下していることが指摘できる。残業・持ち帰りなどによる負担についても、通常期より少ないものと考えられるだろう。

(2) 中学校校長(第2期勤務日は(図表28)、第5期勤務日は(図表3))

まず朝の時間帯(7時~9時)についてみると、「学校経営」「事務・報告書作成」の行為者率が高い。第5期に比べて「朝の業務」および「生徒指導(集団)」の行為者率が低く、この点は小学校長と共通している。中学校においても、通常期の「朝の業務」や「生徒指導(集団)」が生徒の登校と授業の実施を前提としており、そのため生徒の登校が部活動等に限定される第2期ではこれらの業務の行為者率が高くないと考えられる。

次に午前中(9時~12時)についてみると、引き続き「学校経営」「事務・報告書作成」の行為者率が高い。第5期に比べると「学校行事」と「校内研修」の行為者率が低く、代わりに「校務としての研修」の行為者率が高くなっている。この点も小学校長と共通している。ただし「会議・打合せ」の行為者率はそれほど高くない。第2期の午前中は、小学校と違い中学校では部活動などを行う教諭がいるために(詳しくは後述)会議や打合せの時間として適していないことが考えられる。

昼(12時~13時)については、第5期よりも「休憩・休息」の時間を確保している校長が多いという点を指摘することができる。この点も小学校長と共通である。

午後(13時~17時)についても引き続き「学校経営」「事務・報告書作成」の行為者率が高い。第5期に比べた傾向も午前中と同様(また小学校長とも同様)で、「学校行事」と「校内研修」の行為者率が低くなっている。これに加

え、「会議・打合せ」の行為者率も低くなっているが、やはり午前中と同様の理由が考えられる。また、これらの業務の代わりに「事務・報告書作成」と「校務としての研修」の行為者率が高くなっており、授業が行われないという第2期の特徴が現れているものと考えられる。

最後に各項目の行為者率の合計、すなわち何らかの業務に当たっている者の割合をみると、小学校長と同様に第2期は第5期に比べて早い時間帯に低下している。こちらも残業・持ち帰りなどによる負担が通常期より少ないものと考えられることができるだろう。

第2項 教頭の職務比較

(1) 小学校教頭（第2期勤務日は（図表29）、第5期勤務日は（図表5））

第2期の小学校教頭の業務を全体的にみると、第5期と違ってさまざまな業務（「授業」「生徒指導」「学校行事」「学校経営」「会議・打合せ」「事務・報告書作成」「校内研修」「校務としての研修」「会議」）に業務は分散していない。行為者率の集中する業務が全体的に絞られ、「学校経営」「会議・打合せ」「事務・報告書作成」「校務としての研修」などに集中する様子が観察された。

まず朝の時間帯（7時～9時）についてみると、「学校経営」と「事務・報告書作成」の行為者率が高い。第5期に比べると「朝の業務」や「生徒指導（集団）」の行為者率が低く、校長の特徴と共通していた。

次に午前中（9時～12時）についてみると「事務・報告書作成」の行為者率が高い。第5期と比べると、長期休業期間であることを反映して「授業」と「学校行事」の行為者率が低くなっている。代わりに「会議・打合せ」「事務・報告書作成」「校内研修」「校務としての研修」の行為者率が高くなっている。このうち「会議・打合せ」と「校内研修」については、第5期であれば午後に行行為者率が高くなっていたが、これが前倒しされる形で午前中に行われている。これらは午前中・午後と授業が行われないという第2期の特徴を受けた勤務の特徴と指摘できよう。

昼（12～13時）については、第5期よりも「休憩・休息」の時間を確保している者が多い。

第5期であれば「生徒指導（集団）」や「事務・報告書作成」等を行っているが、児童が登校せず、授業を実施していないことで、これらの業務を昼の時間に行う必要がないものと考えられる。

午後（13時～17時）をみても「事務・報告書作成」の行為者率が高く、午前中と同様に長期休業期間であることを反映して「授業」や「生徒指導（集団）」の業務は行われていない。また先に述べたとおり、第5期であれば午後に行われていた「会議・打合せ」や「校内研修」の行為者率も低い。代わりに「事務・報告書作成」と「校務としての研修」の行為者率が高くなっている。

次に夕方（17時以降）や夜間（19時以降）をみると、第5期ではこうした時間でも「事務・報告書作成」や「学校経営」の行為者率が高かったが、第2期ではこれらの行為者率は比較的早い時間帯から低下している。また、第5期には午後や夜間の一部で確認された「保護者・PTA対応」の行為者率の高い時間帯は、第2期では観察されなかった。

最後に各項目の行為者率の合計、すなわち何らかの業務に当たっている者の割合をみると、校長と同様に、第2期は第5期に比べて早い時間に低下している。小学校教頭についても、残業や持ち帰りなどによる負担が通常期より少ないと考えることができるだろう。

(2) 中学校教頭（第2期勤務日は（図表30）、第5期勤務日は（図表7））

まず第2期の中学校教頭の業務を全体的にみると、小学校教頭の場合と同様に、さまざまな業務（「授業」「生徒指導」「学校行事」「学校経営」「会議・打合せ」「事務・報告書作成」「校内研修」「校務としての研修」「会議」）に従事する様子は見られず、「学校経営」「会議・打合せ」「事務・報告書作成」「校務としての研修」などに行為者率が集中する様子が観察された。

朝の時間帯（7時～9時）と午前中（9時～12時）についてみると、「事務・報告書作成」の行為者率が高い。第5期と比べると「朝の業務」の行為者率が低く、続いて長期休業期間であることを反映して「授業」「学校行事」の行為者率が低くなっている。代わりに「事務・報告書

作成」「校務としての研修」「部活動」の行為者率が高くなっている。中学校については長期休業期間は単に授業が行われないのではなく、代わりに部活動などが行われているということが行為者率にも反映されていると考えられる。

昼（12～13時）については、小学校教頭と同様に第5期よりも「休憩・休息」の時間を確保している者が多い。小学校教頭と同様に中学校教頭も第5期では「生徒指導（集団）」や「事務・報告書作成」等を行っているが、第2期は生徒が登校せず授業を実施していないため、それが行為者率に反映されているものと考えられる。

午後（13～17時）についても「事務・報告書作成」の行為者率が高い。第5期では行為者率の高かった「生徒指導（集団）」「学校行事」「会議・打合せ」の行為者率が下がり、代わりに「事務・報告書作成」「校務としての研修」の行為者率が高くなっている。小学校教頭と同様に、長期休業期間であることが業務に反映されていると考えることができる。

次に夕方（17時以降）や夜間（19時以降）をみると、第5期に比べて第2期では「事務・報告書作成」「学校経営」の行為者率が比較的早い時間帯から低下している。また、第5期には夜間（19時以降）に「保護者・PTA対応」の行為者率が高かったが、第2期ではそうした傾向は観察されなかった。

最後に各項目の行為者率の合計、すなわち何らかの業務に当たっている者の割合をみると、小学校教頭と同様に第2期は第5期に比べて早い時間帯に低下している。小学校教頭と同様に、長期休業期間中は通常期と比べて残業や持ち帰りなどによる負担が少ないと考えることができるだろう。

第3項 教務主任の職務比較

(1) 小学校教務主任(第2期勤務日は(図表31)、第5期勤務日は(図表9))

まず第2期の小学校教務主任の業務を全体的にみると、第5期では午前・午後にはわたる主要業務であった「授業」に代わり、「学校経営」と「事務・報告書作成」が主要業務になっている様子が観察された。

朝（7時～9時）をみると、「学校経営」の行

為者率が高い。第5期と比べると「朝の業務」「生徒指導（集団）」「授業準備」といった業務の行為者率が低くなり、代わりに「学校経営」「会議・打合せ」の行為者率が高くなっている。児童が登校せず、授業がないという第2期の特徴を反映していた。

次に午前中（9時～12時）をみると、「学校経営」と「事務・報告書作成」の行為者率が高い。第5期に比べると「授業」「学校行事」の行為者率が低くなり、代わりに「学校経営」「会議・打合せ」「校内研修」「校務としての研修」の行為者率が高くなっている。また第5期では「授業準備」の行為者率が高い時間帯は朝だったが、第2期ではこうした時間帯は午前中となっている。これらも児童が登校せず、授業が実施されないという第2期の特徴を反映していると考えられる。

昼（12時～13時）については、校長や教頭・副校長と同じように「休憩・休息」の時間を確保している者が多い。代わりに「生徒指導（集団）」の行為者率が低くなっており、児童が登校しておらず、給食指導等を必要としない状況が読み取れる。

午後（13時～17時）についても「学校経営」と「事務・報告書作成」の行為者率が高い。午前中や昼と同様に、第5期よりも「授業」「学校行事」「生徒指導（集団）」の行為者率が低く、代わりに午後を通して「学校経営」や「事務・報告書作成」のほか「校務としての研修」の行為者率が高くなっている。

夕方（17時～）や夜間（19時～）についてみると、第5期には「授業準備」の行為者率の高い時間帯が見られるが、第2期ではそうした時間帯が午後（13時～17時）になっていた。同様に「校内研修」や「会議・打合せ」の行為者率の高い時間帯も第5期に比べ若干前倒しとなっている。

最後に各項目の行為者率の合計、すなわち何らかの業務に当たっている者の割合に注目すると、第2期は第5期に比べて早い時間帯からの数値が低下している。校長や教頭・副校長と同様に、長期休業期間中は通常期と比べて残業や持ち帰りなどによる負担が少ないと考えることができるだろう。

(2) 中学校教務主任(第2期勤務日は(図表32)、第5期勤務日は(図表11))

第2期における中学校教務主任の業務を全体的にみると、小学校教務主任とは違い、通常期の「授業」および「授業準備」に代わり、「部活動」が一日の主要業務になっている様子が観察された。「学校経営」や「事務・報告書作成」の行為者率も比較的高い水準で推移するが、第5期と比べて顕著な変化があるわけではなかった。

朝の時間帯(7時～9時)をみると「部活動」の行為者率が高い。第5期と比べると「朝の業務」「生徒指導(集団)」「授業準備」「会議・打合せ」といった業務の行為者率が低くなり、代わりに「部活動」の行為者率が高くなっている。

午前中(9時～12時)も「部活動」の行為者率が高い。第5期と比べると「授業」「授業準備」「学校行事」の行為者率が低く、代わりに「部活動」「事務・報告書作成」「校務としての研修」の行為者率が高くなっている。また「学習指導」や「会議・打合せ」の行為者率の高い時間帯が発生している点が特徴的である。このうち「授業準備」の行為者率については、小学校教務主任とは逆の傾向(中学校では第2期の方が行為者率が低下し、小学校では第2期の方が行為者率が上昇する)を指摘することができる。また第5期と比べて「校内研修」「学校経営」の行為者率が上がっていないという点も(小学校教務主任と比較したときの)中学校教務主任の特徴といえる。

これは中学校では夏休み期間に部活動の指導時間が発生するため、そこに時間を割かれていること、小学校と違って教科担任制をとるために授業準備の負担が幅広くなること、さらには通常期にも空きコマが発生するために授業準備の余地が確保されていることなどが背景として考えられる。

昼(12時～13時)については、校長や教頭・副校長と同じように「休憩・休息」の時間を確保している者が多い。代わりに「生徒指導(集団)」「学校行事」「学年・学級経営」の行為者率が低くなっており、授業が行われず、学級単位の活動が行われていないという第2期の状況を読み取ることができる。

午後(13時～17時)をみると、「部活動」と

「学校経営」の行為者率が高い。第5期に比べると、昼と同様に「生徒指導(集団)」の行為者率が低くなっているほか、「授業」「授業準備」「学校行事」も同様の傾向を示している。代わりに「部活動」「校務としての研修」「会議」の行為者率が高くなっており、午前中と似た傾向となっている。いっぽう「学校経営」「事務・報告書作成」については、第5期とあまり変わらない状況であった。

夕方以降(17時以降)については、第5期に比べて「会議・打合せ」「学校経営」「事務・報告書作成」の行為者率の下がる時間が早い。したがって各項目の行為者率の合計、すなわち何らかの業務に当たっている者の割合についても、第2期は第5期に比べて早い時間から低下している。校長や教頭・副校長と同様に、長期休業期間中は通常期と比べて残業や持ち帰りなどによる負担が少ないと考えることができる。ただし「部活動」などの影響があるため、小学校教務主任と比べると行為者率が低下する時間は遅い。

第4項 教諭の職務比較

(1) 小学校教諭

a. 学級担任(第2期勤務日は(図表33)、第5期勤務日は(図表13))

小学校の教諭のうち、学級担任について第2期の業務を概観すると、通常期(第5期)の業務が「授業」と「授業準備」と「生徒指導(集団)」などに集中しているのと比べ、第2期はそれら以外に業務が分散する傾向にあると言える。

まず朝(7時～9時)については「その他の校務」の行為者率が高い。第5期と比べると「朝の業務」の行為者率が低くなり、代わりに「授業準備」「事務・報告書作成」「その他の校務」などの行為者率が高くなっている。

次に午前中(9時～12時)は「校務としての研修」「授業準備」の行為者率が高い。通常期(第5期)においてきわめて行為者率の高かった「授業」について行為者率が低くなり、代わりに「授業準備」「学習指導」「学校経営」「会議・打合せ」「事務・報告書作成」「校内研修」「校務としての研修」といった業務に行為者率が分散している。児童が登校せず、授業を行わ

ないという第2期の特徴が行為者率に反映されていると考えられる。

昼（12時～13時）については、第5期において行為者率の高かった「生徒指導（集団）」の行為者率が下がり、これによって「休憩・休息」の時間を確保する者が多くなっている状況を読み取ることができる。

午後（13時～17時）も「校務としての研修」「授業準備」の行為者率が高い。第5期と比べると、午前中や昼と同様に「授業」および「生徒指導（集団）」の行為者率が低くなっている。また「学校行事」の行為者率も低くなっている。代わりに「学校経営」「事務・報告書作成」「校務としての研修」の行為者率が高くなっている。また通常期であれば夕方以降（17時以降）深夜に及んでいた「授業準備」の行為者率の高い時間帯が前倒しになり、第2期では午後に一定の行為者率を示している。ほかにも通常期であれば16時前後に集中していた「会議・打合せ」や「校内研修」の行為者率が拡散し、午後に一定の行為者率を示している。

そして通常期には夕方以降（17時以降）に高い行為者率を示していた「授業準備」の行為者率が、第2期では夕方以降低下することもあり、各項目の行為者率の合計、すなわち何らかの業務に当たっている者の割合も、他の職員の教員と同様に第2期は第5期に比べて早い時間から低下している。

b. 担任なし（第2期勤務日は（図表34）、第5期勤務日は（図表15））

小学校教諭のうち学級担任を持たない者についても、通常期（第5期）の業務が「授業」「授業準備」「生徒指導（集団）」「学校行事」「学校経営」などに集中するのに比べ、第2期はそれら以外に業務が分散する傾向にあると言える。

まず朝（7時～9時）については「その他の校務」の行為者率が高い。第5期と比べると「朝の業務」「生徒指導」の行為者率が低くなり、代わりに「事務・報告書作成」「その他の校務」の行為者率が高くなっている。

次に午前中（9時～12時）は「学校経営」「事務・報告書作成」「校務としての研修」の行為者率が高い。通常期（第5期）において行為者率の高かった「授業」や「学校行事」について

行為者率が低くなる。代わりに「学習指導」「会議・打合せ」「事務・報告書作成」「校内研修」「校務としての研修」といった業務の行為者率が高くなる。学級担任と違うのは、通常期も第2期も「授業準備」や「学校経営」について一定の行為者率が観察されるという点である。

昼（12時～13時）は第5期において行為者率の高かった「生徒指導（集団）」の行為者率が下がり、これによって「休憩・休息」の時間を確保する者が多くなっている状況を読み取ることができる。これは学級担任と同様の傾向である。

午後（13時～17時）についても「学校経営」「事務・報告書作成」「校務としての研修」の行為者率が高い。第5期と比べると、午前中や昼と同様に「授業」「生徒指導（集団）」「学校行事」の行為者率が低くなっている。学級担任との違いとしては、「会議・打合せ」や「成績処理」の行為者率も低くなっている点が挙げられる。そして「校内研修」や「校務としての研修」の行為者率が第5期よりも早い時間帯から高くなり、高い行為者率を示す時間も長くなる。同様に「事務・報告書作成」の行為者率の高い時間帯も前倒しになっており、授業が行われていないという第2期の特徴を反映している。

また通常期には、「授業準備」の行為者率が21時以降という遅い時間帯に上昇していたが、第2期ではその傾向は見られなかった。このため各項目の行為者率の合計、すなわち何らかの業務に当たっている者の割合も、他の教員と同様に第2期は第5期に比べて早い時間から低下している。

(2) 中学校教諭

a. 学級担任（第2期勤務日は（図表35）、第5期勤務日は（図表17））

中学校教諭のうち学級担任の業務を全体的にみると、通常期（第5期）において主な業務であった「授業」「学校行事」「学年・学級経営」「生徒指導（集団）」などの行為者率が下がり、代わりに「部活動」や「事務・報告書作成」の行為者率が高くなるという傾向が観察された。

まず朝（7時～9時）については「部活動」の行為者率が高い。第5期と比べると「朝の業務」「授業準備」の行為者率が低くなり、代わ

りに「部活動」の行為者率が高くなっている。

次に午前中（9時～12時）も「部活動」の行為者率が高い。通常期（第5期）において行為者率の高かった「授業」「学校行事」「学年・学級経営」などの行為者率が低くなる。代わりに「部活動」「事務・報告書作成」「校務としての研修」「学習指導」といった業務の行為者率が高くなる。「部活動」の行為者率が目立って高まっているという点が、小学校の学級担任との大きな違いである。

昼（12時～13時）は、第5期において行為者率の高かった「生徒指導（集団）」の行為者率が下がり、これによって「休憩・休息」の時間を確保する者が多くなっている状況を読み取ることができる。これは小学校と同様の傾向である。

午後（13時～17時）も「部活動」の行為者率が高い。第5期と比較すると、午前中や昼と同様に「授業」「生徒指導（集団）」「学校行事」「学年・学級経営」の行為者率が低くなっている。代わりに行為者率が高くなっているのは「部活動」「事務・報告書作成」「校務としての研修」で、これも午前中と同様の傾向となっている。

夕方以降（17時以降）については、通常期では「授業準備」の行為者率が夜間に及ぶまで高くなっていたが、第2期ではそうした傾向は見られない。同様に「成績処理」や「会議・打合せ」も通常期では夕方以降に一定の行為者率が観察されたが、第2期ではそうした傾向が見られなくなってきた。

そして、こうした夕方以降の傾向を反映して、各項目の行為者率の合計、すなわち何らかの業務に当たっている者の割合については、他の教員と同様に第2期は第5期に比べて早い時間から低下している。

b. 担任なし（第2期勤務日は（図表36）、第5期勤務日は（図表19））

中学校教諭のうち担任を持たない者の業務を全体的にみると、通常期（第5期）において主な業務であった「授業」「学校行事」「生徒指導（集団）」などの行為者率が下がり、代わりに「部活動」や「事務・報告書作成」や「校務としての研修」の行為者率が高くなるという傾向が観察された。

まず朝（7時～9時）は「部活動」の行為者率が高い。第5期と比較すると「朝の業務」「授業準備」「生徒指導（集団）」の行為者率が低くなり、代わりに「部活動」の行為者率が高くなっている。

次に午前中（9時～12時）も「部活動」の行為者率が高い。通常期（第5期）において行為者率の高かった「授業」「学校行事」の行為者率は低くなるが、代わりに「部活動」「事務・報告書作成」「校務としての研修」「学習指導」といった業務の行為者率が高くなる。「部活動」の行為者率が目立って高まっているという点は学級担任と同じで、小学校との大きな違いである。また中学校教諭のうち学級担任は「学年・学級経営」の行為者率も第5期に比べて高くなっていたが、学級担任ではない中学校教諭ではその傾向が確認できず、代わりに「学校経営」の行為者率が上がっていた。

昼（12時～13時）は、第5期において行為者率の高かった「生徒指導（集団）」の行為者率が下がり、これによって「休憩・休息」の時間を確保する者が多くなっている状況を読み取ることができる。これは小学校と同様の傾向である。

午後（13時～17時）も「部活動」の行為者率が高いが、その水準は学級担任より若干低く、代わりに「校務としての研修」の行為者率が若干高い。第5期と比較すると、午前中や昼と同様に「授業」「生徒指導（集団）」「学校行事」の行為者率が低くなっている。代わりに行為者率が高くなっているのは「部活動」「事務・報告書作成」「校務としての研修」で、これも午前中と同様の傾向となっている。

夕方以降（17時以降）については、通常期では「授業準備」の行為者率が高くなっていたが、第2期ではそうした傾向は見られない。同様に「成績処理」や「会議・打合せ」も通常期では夕方以降に一定の行為者率が観察されたが、第2期ではそうした傾向が見られなくなってきた。これらは学級担任の教諭と同様の傾向である。このほかに「学校経営」の行為者率が高い時間も前倒しになっており、学級担任を持たない教諭の特徴となっている。

そして、こうした夕方以降の傾向を反映して、各項目の行為者率の合計、すなわち何らかの業

務に当たっている者の割合については、他の教員と同様に第2期は第5期に比べて早い時間から低下している。

※ 中学校・部活顧問の職務比較については、第2期と第5期の比較を昨年度（平成19年度）報告書（「第10章 部活顧問」91～105頁）において取り扱っている。したがって、今回の報告書では記述しない。なお図表については、第2期勤務日のものを（図表37）（図表38）（図表39）に、第5期勤務日のものを（図表21）（図表23）（図表25）に記載している。

第2節 第5期と第4期の比較（平日と休日）

ここでは、第5期（11月）と第4期（10月）の比較を行う。昨年度（平成19年度）の報告書（「第1章 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務」7～20頁）によると、9月や10月は通常期の中でも学校行事の多い時期であるということが、教諭の勤務実態に関するデータから示されている。こうした状況に対応することが、学校行事以外の業務にはどのような変化となって現れるのか、また校内の役割に応じて変化の様子は異なっているのか、といった点を検証する。このため第4期（10月）における勤務の状況を第5期と比較し、特徴を明らかにする。ただし第5期も第4期も「通常期」に分類されるので、全体としての勤務実態は昨年度（平成19年度）の報告書で整理したものと似ている。したがって第5期と第2期を比較したときほどの違いは確認されなかったが、いくつかの点では勤務実態の違いが確認できた。

第1項 校長の職務比較

(1) 小学校校長

①平日（第4期は（図表40）、第5期は（図表1））

まず全体を概観すると、第5期と第4期ではどちらも通常期ということもあり、小学校長の勤務実態が劇的に異なるというわけではない。

朝（7時～9時）については大きな差はなく、「生徒指導」「学校行事」の行為者率が若干第5期よりも上がる程度である。また午前中（9時

～12時）についても「事務・報告書作成」の行為者率が第5期より若干上がる程度である。いずれも代わりに「その他の校務」の行為者率が若干低くなっている。

昼（12時～13時）については大きな違いはなく、午後（13時～17時）をみると「学校行事」「事務・報告書作成」「行政・関係団体対応」の行為者率が第5期よりも若干高まっている。いっぽうで「校内研修」については行為者率が若干低くなっている。また夕方（17時以降）については「学校経営」「会議・打合せ」の行為者率が上がる一方で「その他の校務」の行為者率が低くなっている。

このように、いずれの時間帯においても、学校行事が校長の勤務に大きく影響するような様子を観察することはできなかった。

②休日（第4期は（図表41）、第5期は（図表2））

休日についても、第5期と第4期でそれほど大きな差を発見することはできなかった。午前中の「地域対応」の行為者率が上がり、学校行事やその準備といった業務の影響を類推することができるほかは、夜間（21時前後）に「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなっている点が指摘できる。その影響もあり、20時から22時にかけては「学校の運営にかかわる業務」の行為者率が高くなっているが、これについては勤務日では消化しきれない業務が発生しているという状況が発生しているとも考えられる。

(2) 中学校校長

①平日（第4期は（図表42）、第5期は（図表3））

平日の勤務実態を概観すると、小学校長の場合と同様に劇的な違いはみられなかった。ただし、小学校とは違って「学校行事」の行為者率は高くなっておらず、逆に第4期は第5期よりも「学校行事」の行為者率が低くなる傾向が見られた。

朝（7時～9時）については大きな差がない。そして午前中（9時～12時）については「学校行事」と「会議・打合せ」の行為者率が第5期に比べて若干下がり、代わりに「その他の校務」の行為者率が若干上がっている。

昼（12時～13時）については「会議」の行為者率が第5期に比べて若干低く、代わりに「その他の校務」の行為者率が若干上がっている。午後（13時～17時）は「学校行事」「会議・打合せ」「校務としての研修」の行為者率が第5期に比べて若干低く、代わりに「学校経営」「その他の校務」の行為者率が若干高くなっていた。ただしいずれにしても大きな違いではなかった。

②休日（第4期は（図表43）、第5期は（図表4））

休日についてみると、第5期と比べて第4期では午前中から昼にかけて部活動の行為者率が上がっている。その他については大きな違いはない。

このようにみると、中学校にとって第4期（10月）は学校行事のシーズンというよりも、部活動で大会等の活動が盛んになるシーズンとして校長の業務に影響を与えているということが考えられる。

第2項 教頭の職務比較

(1) 小学校教頭

①平日（第4期は（図表44）、第5期は（図表5））

小学校教頭の業務を第5期と第4期で比較すると、校長よりも多くの点で違いが見られる。

朝（7時～9時）については第5期よりも「朝の業務」と「学校経営」の行為者率が高くなっている。そして午前中（9時～12時）については、「保護者・PTA 対応」の行為者率が若干上がっている以外はあまり違いを確認することはできなかった。

昼（12時～13時）についてもあまり目立った違いはないが、午後（13時～17時）になると「学校行事」と「学校経営」の行為者率が第5期に比べて高くなる。代わりに「校内研修」「校務としての研修」「会議」の行為者率が下がり、学校行事の影響を観察することができる。また「学校経営」については、ある程度行為者率の高い時間帯が、第5期に比べて長くなり、夜間に及んでいることも指摘できる。

②休日（第4期は（図表45）、第5期は（図表6））

休日については、午前中（9時～12時）に「保

護者・PTA 対応」の行為者率が高くなっているという点が第4期の特徴として挙げられる。また午後については「事務・報告書作成」が一定の行為者率となる時間帯が第5期に比べて長くなり、夜間に及んでいる。これは平日の勤務実態と合わせて考えると、平日では消化しきれない業務が発生しているということも考えられる。

(2) 中学校教頭

①平日（第4期は（図表46）、第5期は（図表7））

中学校教頭の業務を第5期と第4期で比較すると、学校行事に関連する行為者率は低くなっていた。これは中学校長の場合と同様の傾向であった。

朝（7時～9時）は「生徒指導(集団)」と「会議・打合せ」の行為者率が第5期と比べて若干高く、代わりに「その他の校務」の行為者率が若干低くなっている。そして午前中（9時～12時）では「学校行事」の行為者率が第5期に比べて若干下がっている。

昼（12時～13時）について目立った違いはないが、午後（13時～17時）には午前中に続いて「学校行事」の行為者率が若干下がるほか、「行政・関係団体対応」「校務としての研修」「会議」といった項目でも行為者率が低くなっている。代わりに行為者率が高くなっているのは「授業」や「事務・報告書作成」である。

夕方以降（17時以降）については、第5期よりも「会議・打ち合わせ」の行為者率が若干早い時間から低くなっているが、それ以外では大きな違いが認められなかった。

②休日（第4期は（図表47）、第5期は（図表8））

第5期と第4期で中学校教頭の業務を比較しても、あまり目立った違いは見られなかった。午前中から昼にかけて「部活動」の行為者率が若干高くなるほかは、午後に「外部対応」に関連する項目（特に「地域対応」）の行為者率が高くなる程度である。

第3項 教務主任の職務比較

(1) 小学校教務主任

①平日（第4期は（図表48）、第5期は（図表

9))

朝(7時～9時)については、第5期に比べて「会議・打合せ」や「生徒指導(集団)」の行為者率が若干低くなり、代わりに「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなっている。午前中(9時～12時)には「学校行事」と「事務・報告書作成」の行為者率が第5期より若干高くなり、代わりに「その他の校務」の行為者率が若干下がっている。

昼(12時～13時)も第5期に比べて「学校行事」の行為者率は高くなっており、午後(13時～17時)も同様であった。午後は代わりに「校務としての研修」や「その他の校務」の行為者率が低くなっている。

夕方前後(17時前後)については、「学校行事」「会議・打合せ」「事務・報告書作成」といった行為者率が高くなっている。いっぽう「校内研修」「その他の校務」については第5期よりも行為者率が低くなっている。これら以外については、あまり大きな違いを発見することはできなかった。

②休日(第4期は(図表49)、第5期は(図表10))

休日については、第5期と第4期で大きな違いは見られない。午前中や昼に「学校経営」の行為者率が若干上がるほか、夜間の「授業準備」の行為者率が低くなる程度である。

(2) 中学校教務主任

①平日(第4期は(図表50)、第5期は(図表11))

朝(7時～9時)には第5期に比べて「生徒指導(集団)」「部活動」「事務・報告書作成」の行為者率が高くなり、代わりに「学校経営」の行為者率が低くなっている。続いて午前中(9時～12時)にも「事務・報告書作成」の行為者率が第5期よりも高くなっているが、代わりに行為者率が低くなっているのは「学校行事」である。

昼(12時～13時)は「学校行事」や「学校経営」の行為者率が第5期よりも下がり、代わりに「生徒指導(集団)」の行為者率が若干高くなっている。続いて午後(13時～17時)は「生徒指導(集団)」の行為者率が第5期と比べて高くなり、代わりに「校務としての研修」

「授業準備」といった項目の行為者率が低くなっている。

また夕方(17時～19時)に前後して「成績処理」の行為者率が高くなっているほか、「部活動」の行為者率も高くなっている。代わりに「学校行事」や「学校経営」や「授業準備」の行為者率が下がっており、小学校とは異なる傾向を示している。夜間(19時以降)は「学校経営」の行為者率が第5期よりも若干低くなっている一方で、「事務・報告書作成」の行為者率は高くなっている。

校長や教頭・副校長とは異なり「成績処理」の行為者率の高い時間帯が出現している点からは、中学校にとって第4期が学校行事の時期というよりも2学期の中間考査等が行われる時期としての性質を備えており、それが勤務実態にも反映されたと考えられる。

②休日(第4期は(図表51)、第5期は(図表12))

第5期と第4期では、あまり大きな違いはない。朝、午前中、昼、午後と「部活動」の行為者率が高い時間が続くが、第4期の方が若干遅い時間までこれが続いている。また夜間における「成績処理」の行為者率も上がっている。こうした点が第5期と第4期の相違となっている。

第4項 教諭の職務比較

(1) 小学校教諭

a. 学級担任(第4期は(図表52)、第5期は(図表13))

①平日

小学校教諭のうち学級担任を持つ者については、第5期も第4期も学級での授業が行われるため、朝(7時～9時)も午前中(9時～12時)も昼(12時～13時)も、業務状況はあまり変わらない。ただし午前中については「授業準備」の行為者率が若干低くなり、代わりに「学校行事」の行為者率が高くなっている。

午後(13時～17時)になると、「学校行事」「生徒指導(集団)」「会議・打合せ」の行為者率が第5期に比べて高く、代わりに「授業」「校内研修」「授業準備」の行為者率がそれぞれ若干低くなっている。

夕方(17時～19時)にも「授業準備」の行為者率は第5期と比べて若干低くなり、代わり

に「会議・打合せ」の行為者率が若干高くなっている。また夜間（19時以降）についても「授業準備」の行為者率が第5期よりも若干低くなっている。

学級担任制の下で授業を行うことは変わらないため、業務内容に違いが出るのは主に午後以降であったが、学校行事のものと思われる影響を観察することができた。

②休日（第4期は（図表53）、第5期は（図表14））

平日とは異なり、休日の業務の状況には大きな違いはみられなかった。

b. 担任なし

①平日（第4期は（図表54）、第5期は（図表15））

学級担任を持つ教員とは異なり、小学校教諭でも午前中から業務の状況に違いが観察された。これは、学級を担任していないため午前中から「空きコマ」が存在するからであると考えられる。

朝（7時～9時）については業務に違いは見られないが、午前中（9時～12時）では第5期に比べて「授業準備」の行為者率が低くなり、代わりに「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなっている。

昼（12時～13時）の業務には大きな違いは見られないが、午後（13時～17時）は第5期に比べて「校務としての研修」や「校内研修」の行為者率が若干下がり、代わりに「事務・報告書作成」や「成績処理」の行為者率が高くなっている。学級担任とは異なり、「学校行事」の行為者率には大きな差は認められなかった。時期に合わせて学校行事に関する行為者率が変化する場合というのは、校務分掌などで長期的・計画的に行われる業務ではなく、学級を単位に進められるような性質の業務であることが考えられる。また夕方（17時～19時）においても、「事務・報告書作成」の行為者率は第5期と比べて高くなっていた。

②休日（第4期は（図表55）、第5期は（図表16））

第5期に比べ、午後と夜間にそれぞれ「授業準備」の行為者率が高くなっており、学級担任を持つ教諭よりも第4期との違いが確認できた。このことから、平日に終わらなかった業務が

休日に押し出されているという可能性を考慮することができる。

(2) 中学校教諭

a. 学級担任

①平日（第4期は（図表56）、第5期は（図表17））

朝（7時～9時）も午前中（9時～12時）も大きな違いはないが、第5期と比べると朝の時間における「生徒指導（集団）」の行為者率が若干高くなっている。

昼（12時～13時）については「学校行事」の行為者率が第5期よりも若干低くなっている。また午後（13時～17時）は「生徒指導（集団）」「生徒指導（個別）」の行為者率が第5期よりもそれぞれ低くなっている。

夕方前後（17時前後）には第5期よりも「部活動」の行為者率が高くなっており、代わりに「学校経営」と「学年・学級経営」の行為者率が低くなっている。

このように小学校教諭とは違い、学校行事の影響と思われる勤務実態の変化を読み取ることではできなかった。

②休日（第4期は（図表57）、第5期は（図表18））

休日の勤務実態には大きな違いを認めることはできない。第5期と比べると、午前中から昼にかけて「部活動」の行為者率が若干高くなっており、夕方にも同様の傾向がみられるという程度である。

b. 担任なし

①平日（第4期は（図表58）、第5期は（図表19））

朝（7時～9時）は「朝の業務」の行為者率が第5期よりも低くなり、代わりに「生徒指導（集団）」や「部活動」の行為者率が若干高くなっている。午前中（9時～12時）の業務には大きな違いは認められない。

昼（12時～13時）は「学校行事」の行為者率が第5期よりも低くなっている。午後も「学校行事」の行為者率が第5期よりも若干低く、「学校経営」や「生徒指導（集団）」の行為者率も同様の傾向を示している。代わりに「授業」と「成績処理」の行為者率が高くなっており、学校行事の影響と思われる変化を確認するこ

とはできない。

夕方前後（17時前後）からは第5期と比べて「部活動」や「事務・報告書作成」の行為者率が高くなっており、代わりに「学校行事」の行為者率が低くなっている。

②休日（第4期は（図表59）、第5期は（図表20））

学級担任を持つ中学校教諭と傾向は似ており、朝と午前中に「部活動」の行為者率が若干高くなっている。それ以外には大きな差は認められなかった。

第5項 中学校・部活顧問の職務比較

(1) 運動部顧問

①平日（第4期は（図表60）、第5期は（図表21））

朝（7時～9時）は「朝の業務」や「部活動」の行為者率が第5期と比べて若干高くなる程度で、大きな違いは見られない。また午前中（9時～12時）についても、第5期より「授業準備」の行為者率が若干高くなり、代わりに「学校行事」の行為者率が若干低くなる程度の違いしか見られない。

昼（12時～13時）については第5期と比べて「学校行事」の行為者率が若干低く、続く午後（13時～17時）も同様の傾向がみられた。ほかにも午後は「生徒指導（個別）」「生徒指導（集団）」「校内研修」といった業務の行為者率が若干低くなっている。

夕方前後（17時前後）からは「成績処理」と「部活動」の行為者率が高くなっており、午後が続いて「事務・報告書作成」の行為者率は若干低くなっている。なお、「成績処理」の行為者率が高い時間帯も第5期より長くなり、夜間（19時以降）に及んでいる。

②休日（第4期は（図表61）、第5期は（図表22））

午前中や午後に「部活動」の行為者率が第5期よりも高くなっている。これは第4期（10月）が部活動の大会等のシーズンとなっていることが影響していると考えられる。一方で「授業準備」や「成績処理」の行為者率も若干高くなっている。平日にこれらの業務が消化し切れていない状況が推察される。

(2) 文化部顧問

①平日（第4期は（図表62）、第5期は（図表23））

朝（7時～9時）は「生徒指導（集団）」の行為者率が第5期に比べて若干高くなっているが、それ以外には大きな違いは見られない。また午前中（9時～12時）も同様に、第5期との大きな違いはみられない。

昼（12時～13時）については第5期に比べて「授業準備」や「学校行事」の行為者率が若干低くなっている。「学校行事」の行為者率は午後（13時～17時）も第5期より若干低くなっており、他には「生徒指導（集団）」「生徒指導（個別）」といった行為者率も若干低くなっている。代わりに「成績処理」「部活動」「学年・学級経営」といった項目の行為者率がそれぞれ若干高くなっている。

夕方（17時～19時）も「成績処理」と「部活動」の行為者率は第5期に比べて若干高くなっている一方、「会議・打合せ」や「学校行事」や「事務・報告書作成」の行為者率はそれぞれ若干低くなっている。

②休日（第4期は（図表63）、第5期は（図表24））

運動部顧問と違い、「部活動」「授業準備」「成績処理」やそれ以外の業務の行為者率に大きな違いはみられない。運動部顧問の方が、期間の違いの影響を受けていることがわかる。

(3) 顧問なし

①平日（第4期は（図表64）、第5期は（図表25））

朝（7時～9時）には第5期より「生徒指導（集団）」と「授業準備」の行為者率が高くなっている。しかし午前中（9時～12時）には第5期との大きな違いは認められない。

昼（12時～13時）も「学校行事」の行為者率が若干低くなる程度で、第5期との大きな違いはない。午後（13時～17時）は第5期に比べて「成績処理」の行為者率が高くなり、代わりに「生徒指導（集団）」と「生徒指導（個別）」と「学年・学級経営」の行為者率が低くなる。

夕方（17時～19時）も第5期に比べて「学年・学級経営」の行為者率が低くなるほか、「会議・打ち合わせ」の行為者率も若干低くなって

いる。

②休日（第4期は（図表65）、第5期は（図表26））

文化部顧問同様、第5期と第4期で業務の状況にちがいはみられない。期間の違いの影響は、あまり及んでいないようである。

第3節 第5期と第6期の比較（平日と休日）

ここでは、第5期（11月）と第6期（12月）の比較を行う。12月は通常期の中でも成績処理等の期末業務が集中する時期であると考えられる。そこで、そうした条件に教員がどのように対応しているのか、また校内での役割に応じて対応の様子に違いはあるのか、といった点について検証する。ここまで取り上げた第2期や第4期と同様に、第5期との違いを取り上げて特徴を整理する。第5期も第6期も「通常期」に分類されるので、全体としての勤務実態は昨年度（平成19年度）の報告書で整理したものと似ている。したがって第5期と第2期を比較したときほどの違いは確認されなかったが、いくつかの点では勤務実態の違いが確認できた。

第1項 校長の職務比較

(1) 小学校校長

①平日（第6期は（図表66）、第5期は（図表1））

朝の時間帯（7時～9時）の業務については、第5期と第6期では大きな違いは認められないが、午前中（9時～12時）では第5期に比べて「学校行事」の行為者率が低くなるほか「行政・関係団体対応」の行為者率も若干低くなる。代わりに「会議・打合せ」と「事務・報告書作成」の行為者率が高くなっている。

昼（12時～13時）の業務には大きな違いがないが、午後（13時～17時）については午前中と同様に「学校行事」の行為者率が第5期に比べて低くなり、代わりに「事務・報告書作成」「行政・関係団体対応」の行為者率が高くなっている。

また夕方前後（17時前後）からは「会議・打合せ」「学校経営」の行為者率も第5期より高くなっている。

このように小学校長の期末業務については、

「会議・打合せ」「事務・報告書作成」「行政・関係団体対応」といった項目の行為者率の上昇として現れることが類推される。

②休日（第6期は（図表67）、第5期は（図表2））

第5期と比べ、第6期では午前中の「地域対応」の行為者率が若干低くなり、代わりに「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなっている。また「事務・報告書作成」の行為者率は午後にも若干高くなっており、平日と似た傾向を観察することができた。

(2) 中学校校長

①平日（第6期は（図表68）、第5期は（図表3））

朝の時間帯（7時～9時）は第5期に比べて「会議・打ち合わせ」や「事務・報告書作成」の行為者率が高くなっている。また午前中（9時～12時）は第5期に比べて「学校行事」の行為者率が低くなり、代わりに「事務・報告書作成」の行為者率が高くなっている。

昼（12時～13時）には「学校経営」と「事務・報告書作成」の行為者率が第5期よりも若干高くなっている。続いて午後（13時～17時）には「学校行事」と「校内研修」と「校務としての研修」の行為者率が第5期に比べて低くなり、代わりに「事務・報告書作成」の行為者率が高くなっている。

夕方（17時～19時）は第5期と比べて「会議・打合せ」と「事務・報告書作成」の行為者率が第5期より若干高くなっており、代わりに「保護者・PTA対応」の行為者率が低くなっている。なお「保護者・PTA対応」の行為者率は第5期と比べ、夜間（19時以降）も低い。

②休日（第6期は（図表69）、第5期は（図表4））

第5期と比べ、第6期では午前中の「地域対応」の行為者率が低くなっており、これは小学校長と共通している。ただし代わりに行為者率の高くなった業務項目はなく、他の項目を含めた全体の行為者率も低くなっている。

第2項 教頭の職務比較

(1) 小学校教頭

①平日（第6期は（図表70）、第5期は（図表

5)

朝の時間帯（7時～9時）は、第5期に比べて「朝の業務」や「生徒指導（集団）」や「学校経営」の行為者率が高くなり、代わりに「会議・打合せ」の行為者率が低くなっている。午前中（9時～12時）は第5期に比べて「学校行事」と「事務・報告書作成」の行為者率が低くなり、代わりに「学校経営」の行為者率が高くなっている。

昼（12時～13時）は第5期に比べて「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなっている以外に大きな違いはないが、午後（13時～17時）は第5期に比べて「学校行事」「校内研修」「保護者・PTA対応」の行為者率が若干低くなり、代わりに「学校経営」の行為者率が若干高くなっている。

夕方（17時～19時）も第5期に比べて「学校経営」の行為者率が高くなっており、代わりに「保護者・PTA対応」の行為者率が若干低くなっている。

こうした傾向を小学校長と比較すると、小学校教頭の期末業務は「学校経営」の行為者率の高まりとして現れることが推察される。

②休日（第6期は（図表71）、第5期は（図表6））

第5期と比べ、第6期では午前中の「保護者・PTA対応」の行為者率が若干短くなり、代わりに「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなっている。午後も「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなっているが、第5期とは違い夜間（19時以降）には行為者率がそれほど上がらなくなっている。平日に「学校経営」を行うことで、「事務・報告書作成」の業務が休日に押し出されたこととらえることもできる。

(2) 中学校教頭

①平日（第6期は（図表72）、第5期は（図表7））

朝の時間帯（7時～9時）は、第5期に比べて「会議・打合せ」や「事務・報告書作成」の行為者率が高くなり、代わりに「朝の業務」の行為者率が低くなっている。続いて午前中（9時～12時）も第5期に比べて「事務・報告書作成」の行為者率が高くなっており、代わりに「学校行事」の行為者率が低くなっている。

昼（12時～13時）も午前中に引き続き「事務・報告書作成」の行為者率が第5期よりも高くなっており、この傾向は午後（13時～17時）も同様である。代わりに「学校行事」の行為者率が第5期に比べて低くなっており、この傾向も午前中と同様である。他には「授業」と「会議・打合せ」の行為者率が高くなっており、代わりに「生徒指導（集団）」や「校務としての研修」の行為者率が低くなっている。

夕方（17時～19時）にも「会議・打ち合わせ」の行為者率が第5期より高くなっており、代わりに「保護者・PTA対応」の行為者率が低くなっている。この傾向は夜間（19時以降）も同様である。

②休日（第6期は（図表73）、第5期は（図表8））

第6期と第5期の休日を比較すると、平日ほどの違いはみられなかった。わずかに午前中の「部活動」の行為者率が第5期に比べて若干低くなり、代わりに「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなる程度である。

第3項 教務主任の職務比較

(1) 小学校教務主任

①平日（第6期は（図表74）、第5期は（図表9））

朝の時間帯（7時～9時）は、第5期に比べて「生徒指導（集団）」の行為者率が若干下がり、代わりに「学校経営」と「会議・打合せ」と「事務・報告書作成」の行為者率が高くなっている。続いて午前中（9時～12時）は、第5期に比べて「授業準備」と「学校行事」の行為者率が低くなり、代わりに「学校経営」と「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなる。

昼（12時～13時）には「事務・報告書作成」の行為者率が第5期よりも若干高くなるが、他の点では大きな違いは認められない。午後（13時～17時）には第5期に比べて「学校行事」や「その他の校務」や「授業準備」の行為者率は若干低くなり、午前中と同様に「会議・打ち合わせ」や「事務・報告書作成」や「成績処理」の行為者率が若干高くなっている。

夕方（17時～19時）にも、第5期に比べて「学校経営」「事務・報告書作成」「成績処理」の行為者率が高くなっており、「授業準備」の

行為者率が低くなっている。ちなみに「授業準備」の行為者率の低下は、夜間（19時以降）にも及んでいる。

このように、校長や教頭・副校長と違い、教務主任になると「成績処理」が期末業務に加わっていることが観察された。

②休日（第6期は（図表75）、第5期は（図表10））

休日の業務には、第5期と第6期でほとんど違いが見られない。午後に「成績処理」の行為者率が第5期よりも若干高くなっている程度である。

（2）中学教務主任

①平日（第6期は（図表76）、第5期は（図表11））

朝の時間帯（7時～9時）は、第5期と比べて「会議・打合せ」と「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなるほかは、大きな違いは認められない。続いて午前中（9時～12時）には、第5期と比べて「学校行事」の行為者率が低くなり、代わりに「成績処理」の行為者率が高くなるほか「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなる。

昼（12時～13時）では第5期に比べて「授業準備」と「成績処理」の行為者率が高く、午前中同様「学校行事」の行為者率は低くなっている。午後（13時～17時）は午前中・昼に続いて「学校行事」の行為者率が第5期より低くなり、「事務・報告書作成」と「成績処理」の行為者率が高くなっている。このほかには「会議・打ち合わせ」の行為者率が高くなり、「部活動」と「校務としての研修」の行為者率が低くなっている。

夕方以降（17時以降）も第5期と比べて「成績処理」の行為者率が高くなっている。一方で「部活動」は第5期よりも早い時間から行為者率が低くなり、「学校経営」の行為者率も午後の時間帯と同様に低くなっている。

このように校長や教頭・副校長と異なり、教務主任については「成績処理」が期末業務として大きく影響していることが観察された。

②休日（第6期は（図表77）、第5期は（図表12））

休日の業務については、午前中から午後にか

けて「部活動」の行為者率が第5期よりも低くなっている。また午前中、午後と「成績処理」の行為者率が高くなっており、平日に業務が消化できていない様子が観察された。

第4項 教諭の職務比較

（1）小学校教諭

a. 学級担任

①平日（第6期は（図表78）、第5期は（図表13））

朝の時間帯（7時～9時）については、第5期と比べて「授業準備」の行為者率が低くなっている程度で、大きな違いは認められない。また午前中（9時～12時）についても大きな違いは認められない。小学校の学級担任にとっては「授業」の時間帯であるため、時期が変化しても業務内容が変わる様子は観察されなかった。

昼（12時～13時）も同様で、第5期と第6期では業務に違いは認められない。ただし午後（13時～17時）になると、第5期と比べて「授業準備」と「学校行事」と「校内研修」の行為者率が低くなり、代わりに「保護者・PTA対応」と「成績処理」の行為者率が高くなっている。

夕方（17時～19時）についても第5期に比べて「成績処理」の行為者率が高くなるほか、「保護者・PTA対応」の行為者率も高くなる。代わりに「授業準備」や「学年・学級経営」や「会議・打合せ」の行為者率が低くなる。こうした傾向は夜間（19時以降）についても観察され、「授業準備」の行為者率は低くなっている一方で「授業準備」の行為者率は高くなっており、そうした時間帯は深夜に及んでいる。

このように、教務主任と同じく学級担任を持つ教諭にとっても「成績処理」が期末業務として大きく影響している様子が観察された。

②休日（第6期は（図表79）、第5期は（図表14））

平日同様、「成績処理」の行為者率が大きく影響している。午前、午後、夜間のそれぞれについて第5期よりも「授業準備」の行為者率が低くなっており、代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。またこうした傾向が深夜に及んでおり、平日の業務では処理し切れていない様子が確認された。

b. 担任なし

①平日（第6期は（図表80）、第5期は（図表15））

朝の時間帯（7時～9時）については第5期と比べて「生徒指導（集団）」の行為者率が若干低くなっている程度で、大きな違いは認められない。続く午前中（9時～12時）については第5期と比べて「学校行事」の行為者率が若干低くなり、代わりに「事務・報告書作成」の行為者率が若干高くなっている。

昼（12時～13時）については「学校行事」の行為者率が第5期に比べて低くなる程度の違いしか認められないが、午後（13時～17時）になると、午前中と同様に「学校行事」の行為者率が第5期より低くなり、代わりに「成績処理」と「事務・報告書作成」の行為者率が高くなっている。また「校内研修」や「校務としての研修」の行為者率も第5期より低くなっている。

夕方（17時～19時）にも「成績処理」の行為者率は第5期に比べて高くなっているが、学級担任ほどではない。また「授業準備」の行為者率は第5期よりも低くなっており、夜間（19時以降）についても同様の傾向である。

このように、学級担任をもつ教諭ほど極端ではないが、学級担任のない教諭にとっても「成績処理」が期末業務として影響している様子が観察された。

②休日（第6期は（図表81）、第5期は（図表16））

「授業準備」の行為者率が下がり、代わりに「成績処理」の行為者率が上がるという傾向は学級担任のある教諭と同じであったが、その差はそれほど極端ではなかった。

(2) 中学校教諭

a. 学級担任

①平日（第6期は（図表82）、第5期は（図表17））

朝の時間帯（7時～9時）については、「授業準備」と「部活動」の行為者率が若干低くなる以外には大きな違いは認められない。午前中（9時～12時）には第5期に比べて「学校行事」の行為者率が低くなり、代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。

昼（12時～13時）も同様に「学校行事」の

行為者率が第5期よりも低くなる代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。この傾向は午後（13時～17時）も同じだが、さらに「授業準備」と「学年・学級経営」の行為者率も低くなり、代わりに「保護者・PTA対応」の行為者率が高くなっている。

夕方（17時～19時）も、第5期に比べて「授業準備」や「学年・学級経営」の行為者率が低くなるほか、代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。また「部活動」の行為者率も第5期に比べて低くなっている。第5期に比べて「授業準備」の行為者率が低くなり、代わりに「成績処理」の行為者率が高くなるという傾向はその後の時間帯も続き、夜間や深夜にも及んでいる。

このように、小学校の学級担任と同様に中学校の学級担任も「成績処理」が期末業務として影響している様子が観察された。

②休日（第6期は（図表83）、第5期は（図表18））

午前中、昼、午後と「部活動」の行為者率が高いという点で第5期と第6期には違いはないが、その行為者率が第6期の方が低い。また午前中、午後、夜間と「成績処理」の行為者率が高くなっており、平日では業務を処理し切れていない様子が観察された。

b. 担任なし

①平日（第6期は（図表84）、第5期は（図表19））

朝の時間帯（7時～9時）は、第5期と比べて「部活動」の行為者率が若干低くなっている以外には、大きな違いは認められない。午前中（9時～12時）は第5期と比べて「学校行事」の行為者率が低くなり、代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。

昼（12時～13時）や午後（13時～17時）も同様に、第5期と比べて「学校行事」の行為者率が低くなる代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。また「会議・打合せ」の行為者率も高くなっている。

夕方（17時～19時）は第5期と比べて「部活動」の行為者率が低くなる一方で「成績処理」の行為者率は高くなっている。そして「成績処理」の行為者率の高い時間帯は、夜間や深夜に

及んでいる。

このように、学級担任を持つ中学校教諭と同様に（また小学校教諭と同様に）、「成績処理」が期末業務として大きく影響している様子が観察された。

②休日（第6期は（図表85）、第5期は（図表20））

第5期に比べ、午前中と午後の「部活動」の行為者率が低くなっている。また午前中、午後、夜間と「成績処理」の行為者率が高くなっているが、その状況は学級担任を持つ教諭ほどは極端ではなかった。

第5項 中学校・部活顧問の職務比較

(1) 運動部顧問

①平日（第6期は（図表86）、第5期は（図表21））

朝の時間帯（7時～9時）は、第5期と比べて「学校行事」の行為者率が低くなり、代わりに「成績処理」の行為者率が若干高くなる以外に、大きな違いは認められない。午前中（9時～12時）は「学校行事」の行為者率が低くなり、代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。

昼（12時～13時）も同様の傾向で、第5期と比べて「学校行事」の行為者率が低くなる代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。この傾向は午後（13時～17時）にも続いているが、午後にはこれに加えて「学年・学級経営」と「事務・報告書作成」と「校内研修」の行為者率も若干低くなっており、代わりに「保護者・PTA対応」の行為者率が高くなっている。

夕方（17時～19時）でも、午前中、昼、午後を引き続いて「学校行事」の行為者率が低くなって「成績処理」の行為者率が高くなる傾向は続いているが、これに加えて「部活動」と「授業準備」の行為者率も第5期より若干低くなっている。また「成績処理」の行為者率が高い傾向は夜間、深夜に及んでいる。

このように、運動部の顧問についても「成績処理」が期末業務として大きく影響している様子が観察された。

②休日（第6期は（図表87）、第5期は（図表22））

第5期と比べて、午前中、昼、午後と「部活

動」の行為者率が全体的に低下する。代わりにそれぞれの時間帯で「成績処理」の行為者率が高くなっており、深夜に及んでいる。主に「成績処理」について、平日では処理が終わっていない様子が観察された。

(2) 文化部顧問

①平日（第6期は（図表88）、第5期は（図表23））

朝の時間帯（7時～9時）は、第5期と比べて「部活動」と「学校行事」の行為者率が低くなり、代わりに「成績処理」の行為者率が若干高くなっている。続いて午前中（9時～12時）は第5期に比べて「学校行事」の行為者率が低くなり、代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。

昼（12時～13時）も午前中と同様で、第5期と比べて「学校行事」の行為者率が低くなる代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。この傾向は午後（13時～17時）にも続いているが、午後にはこれに加えて「保護者・PTA対応」の行為者率が若干高くなっている。

夕方（17時～19時）も、午前中、昼、午後を引き続いて「学校行事」の行為者率が低く、代わりに「成績処理」の行為者率が高くなる傾向は続いている。またこれに加えて「部活動」と「授業準備」の行為者率も第5期より若干低くなっている。そして「成績処理」の行為者率が高い傾向は夜間、深夜に及んでいる。

このように、文化部の顧問についても「成績処理」が期末業務として大きく影響している様子が観察された。

②休日（第6期は（図表89）、第5期は（図表24））

第5期と比べて、午前中、昼、午後と「部活動」の行為者率が全体的に低下する。代わりにそれぞれの時間帯で「成績処理」の行為者率が高くなるが、特に夜間については運動部顧問よりも行為者率が高い点が特徴的であった。

(3) 顧問なし

①平日（第6期は（図表90）、第5期は（図表25））

朝の時間帯（7時～9時）は、第5期と比べて「生徒指導（集団）」の行為者率が低くなり、

代わりに「成績処理」の行為者率が若干高くなっている。運動部顧問や文化部顧問と違い、「部活動」の行為者率には違いがみみられない。続いて午前中(9時～12時)は第5期に比べて「学校行事」の行為者率が低くなり、代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。

昼(12時～13時)も午前中と同様で、第5期と比べて「学校行事」の行為者率が低くなる代わりに「成績処理」の行為者率が高くなっている。この傾向は午後(13時～17時)にも続いているが、午後はこれに加えて「会議・打合せ」と「保護者・PTA対応」の行為者率が若干高くなっている。

夕方(17時～19時)も、午前中、昼、午後に引き続いて「学校行事」の行為者率が低く、代わりに「成績処理」の行為者率が高くなる傾向は続いている。また「学校経営」の行為者率が若干高くなっている。なお、「成績処理」の行為者率が高い傾向は夜間、深夜に及んでいる。

このように、運動部や文化部の顧問ほどではないが、第6期は「成績処理」が期末業務として大きく影響している様子が観察された。

②休日(第6期は(図表91)、第5期は(図表26))

部活動を担当していない教諭についても、第5期に比べて午前、午後、夜間と「成績処理」の行為者率が高くなっている。平日に部活動を担当していない教諭についても、期末業務の影響が休日に及んでいるという状況が観察された。

第4節 まとめ

これまでの結果について、期間別(第2期と第4期と第6期)の比較、学校内での役割別の比較、小学校と中学校の比較というそれぞれの観点からまとめると、以下のようなことを指摘することができる。

まず期間別の比較からは、学校ではそれぞれの時期に応じて、業務に特徴があるということが判明した。第2期(8月)は長期休業期間中であり、児童・生徒を集めて授業を実施していないということが、そのほかの業務にも影響を与えていた。午前中や午後の業務に特徴があり、研修関係(「校内研修」や「校務としての研修」)

や部活動や授業準備といった業務の行為者率が他の時期よりも高かった。また夕方や夜間についてはほかの時期よりも行為者率が高くなり、勤務時間内に業務が消化できている様子が観察された。

これに対して第4期(10月)や第6期(12月)は通常期であり授業が行われているため、期間の特徴が出てくるのは、午後、夕方、夜間が中心であり、場合によっては休日にも特徴が表れていた。このうち第4期(10月)については、小学校では学校行事の時期であることが、その準備をはじめとする諸業務に影響を与えていた。いっぽう中学校については学校行事の影響はそれほど観察されず、むしろ部活動の大会シーズンであることが影響を与えていたほか、中間考査の時期であることから考えると考えられる特徴(成績処理等の行為者率の変化)が観察できた。また第6期(12月)については、小学校においても中学校においても、学期末であることからくる特徴(成績処理等の行為者率の変化)を観察することができた。そして第4期においても第6期においても、これらの業務の行為者率が高まる影響は「授業準備」や「学校行事」の行為者率が低くなる現象を生み出していると考えられる傾向を示しており、特にこれは小学校で顕著であった。

また、第4期(10月)も第6期(12月)も、業務の特徴は休日にまで及んでおり、平日に消化しきれない業務が休日に押し出される状況や、休日の部活動が活発化している様子などが観察された。平成19年度報告書において扱った第5期(11月)が、そうした期間限定的な業務の発生しにくい「普通の時期」であることに對し、学校行事や部活動の大会や成績集計といった期間限定的な業務は、それぞれの期間において教員の業務総量の増加を引き起こしているということを読み取ることができた。

なお、小学校も中学校も、教諭に関して学校行事の行為者率が最も高くなるのは第3期(9月)であった。学校行事の時期における教員の勤務実態の特徴をよりはっきりさせるには、第3期(9月)に関しての検証が必要と考えられる。これは今後の検討課題である。

次に学校内での役割別に着目した比較からは、時期に応じて業務の変化する様子が、管理

職層と一般の教員では異なるということが判明した。すなわち管理職層は教諭に比べて時期に応じた業務の変化がゆるやかであり、この指摘は職位が高い教員ほど該当していた。校長よりも教頭・副校長の業務の方が時期に応じて変化しており、教頭・副校長よりも教務主任の方が時期に応じて業務内容が変化していた。そして最も時期に応じて業務内容が変化していたのは教諭であった。

またそうした役割に応じて、時期ごとに变化する業務も異なっていた。校長や教頭・副校長などは時期に応じて「学校経営」や「事務・報告書作成」の行為者率が変化していたが、これらはそれぞれの時期の特徴との対応関係が類推しにくいものであった。これに対して教諭の業務はそれぞれの時期の特徴（第2期（8月）は「授業」がないことと「部活動」、第4期（10月）は「学校行事」と「部活動」と「成績処理」、第6期（12月）は「成績処理」と直結する形で変化していた。

すでに平成19年度の報告書では、教頭・副校長や教務主任の業務が、学校管理職としての特徴と一般の教諭としての特徴の両方を併せ持っており、業務の種類が多岐にわたることを指摘していたが、今回明らかになった知見からは、教頭や教務主任の業務がより複雑であることも示唆している。すなわち教頭や教務主任は、時期に応じて学校管理職に特徴的な業務（「学

校経営」や「事務・報告書作成」）の変化に対応するだけでなく、一般の教諭に特徴的な業務（「授業」「授業準備」「成績処理」「部活動」など）の変化にも対応しなくてはならないからである。

最後に、小学校と中学校の教諭について業務の特徴の現れ方を比較すると、小学校については学級担任制をとっているためか、学級担任か否かで業務の特徴が異なってくる。いっぽう中学校については、教科担任制をとっているためか担任の有無ではあまり業務の構成に差はなく、むしろ部活動による影響が大きいと考えられる。すなわち運動部顧問と文化部顧問と顧問なしの教諭では、授業時間以外の時間帯において部活動の占める割合が異なっている（「運動部顧問」>「文化部顧問」>「顧問なし」）。そのため、期間限定的に発生する業務をどの程度午前中から夕方までの時間帯で消化できるのかという状況にも違いを生むため、それが夜間や休日といった時間帯の勤務になって表れていると考えることができる。その結果、小学校では学級担任の教諭が、そして中学校では運動部顧問の教諭が、期間限定的な業務の影響をより強く受けている状況が観察されるのである。

(図表5-5) 第5期勤務日 小学校 教頭

第5期【小学校】

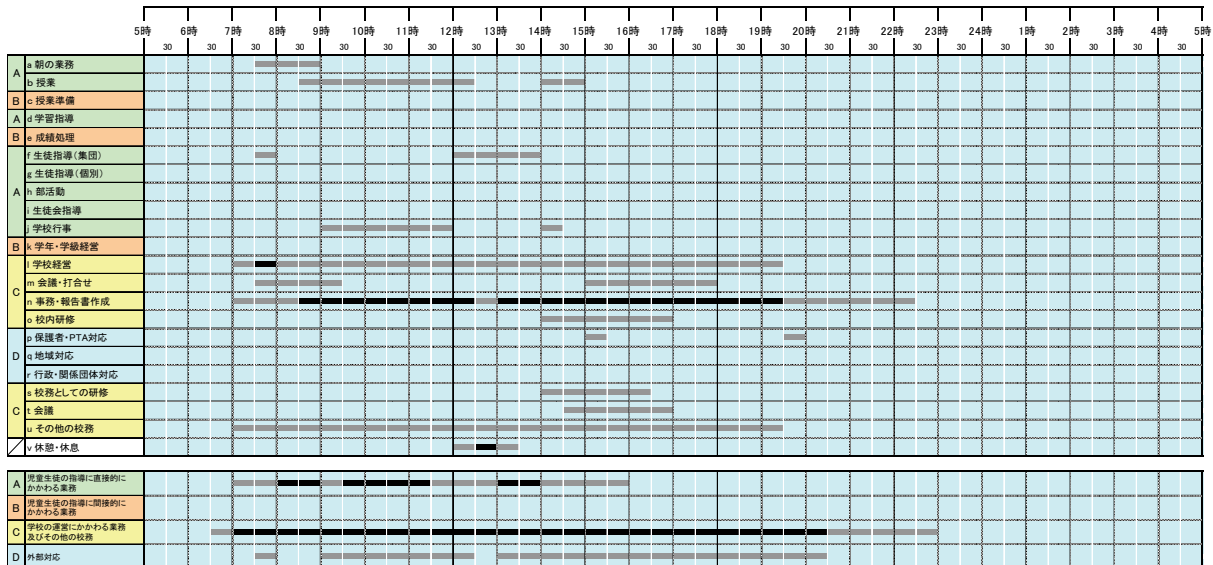
勤務日・教頭・副校長

母数 = 2,874

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時		
A	朝の業務																										
A	b 授業																										
B	c 授業準備																										
A	d 学習指導																										
B	e 成績処理																										
f	生徒指導(集団)																										
e	生徒指導(個別)																										
A	h 部活動																										
生徒会指導																											
学校行事																											
B	k 学年・学級経営																										
学校経営																											
m	会議・打合せ																										
n	事務・報告書作成																										
校内研修																											
保護者・PTA対応																											
D	地域対応																										
行政・関係団体対応																											
校務としての研修																											
C	会議																										
u	その他の校務																										
v	休憩・休息																										
A	児童生徒の指導に直接的にかかわる業務																										
B	児童生徒の指導に間接的にかわる業務																										
C	学校の運営にかかわる業務及びその他の校務																										
D	外部対応																										

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-6) 第 5 期休日 小学校 教頭

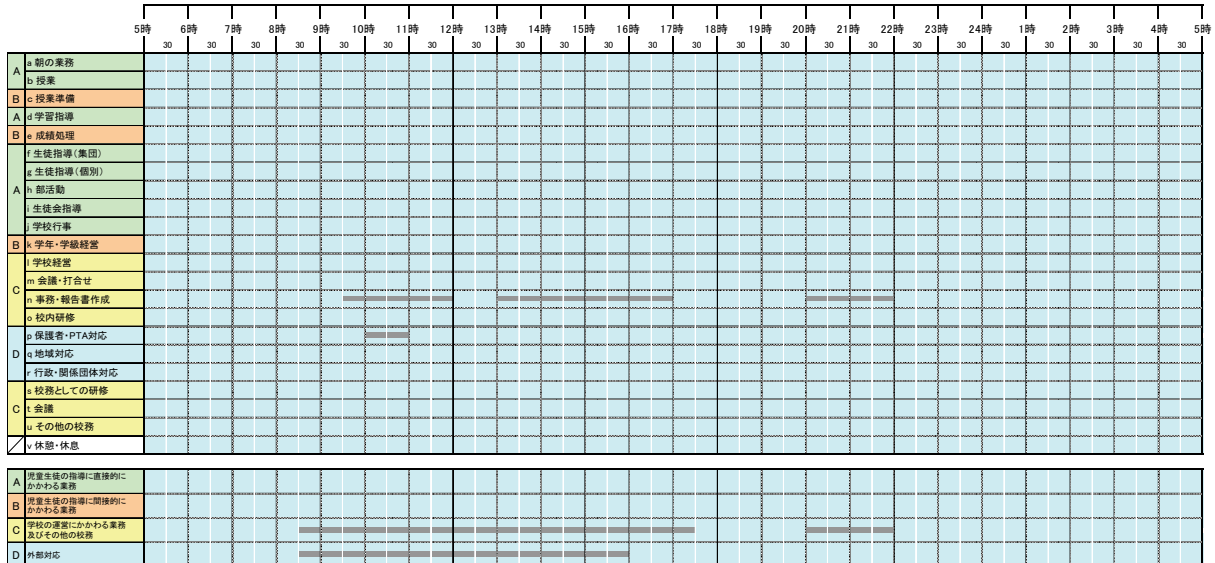
第5期【小学校】 休日・教頭・副校長

母数 = 1,431

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B c 授業準備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3	0.4	0.5	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.9	1.0	1.2	1.3	1.2	1.3	1.0	0.8	0.7	0.8	0.7	0.6	0.6	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校経営	0.0	0.0	0.1	0.2	0.6	0.6	1.0	1.1	1.0	1.3	1.0	1.4	1.3	0.6	0.7	1.2	1.1	0.7	0.6	1.0	1.0	0.9	0.7	0.8	0.6
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C n 事務・報告書作成	0.1	0.1	0.1	0.3	0.8	0.8	1.5	2.2	4.6	5.6	6.6	7.1	7.3	6.6	3.9	4.3	6.2	6.7	7.8	7.6	7.3	6.8	5.7	5.2	3.4
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	1.7	3.2	4.0	4.6	4.9	5.0	5.0	4.8	4.5	3.5	3.8	4.1	4.0	3.8	3.7	3.5	3.4	3.0	2.5	1.5
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.8	1.5	2.0	3.4	3.5	3.8	3.9	4.1	3.8	2.6	2.3	1.9	2.0	2.2	2.0	1.8	1.6	1.5	1.0	0.7
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5	0.6	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5	0.7	0.8	1.0	1.0	1.0	0.8	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.6	0.9	1.0	1.0	0.7	0.3	0.3	0.4	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0
u その他の校務	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	2.0	2.7	3.4	3.1	3.4	3.5	3.4	3.4	3.1	2.5	2.4	2.9	3.0	3.1	2.7	2.2	1.9	1.9	1.5	1.0
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5	1.0	1.3	1.3	1.6	1.7	1.6	1.3	0.9	1.0	1.2	1.1	1.0	0.9	0.7	0.4	0.3	0.2
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.3	0.4	0.6	0.6	0.2
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.1	0.1	0.1	0.5	1.3	2.0	4.5	6.3	10.0	10.8	12.3	13.8	12.5	8.3	9.1	11.3	12.1	13.3	12.9	13.2	12.1	9.9	8.3	6.4	4.9
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.9	2.7	4.8	5.9	8.3	8.8	9.1	9.4	9.2	8.7	6.6	6.3	6.0	6.2	6.2	5.9	5.5	5.0	4.5	3.5	2.3

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-7) 第 5 期勤務日 中学校 教頭

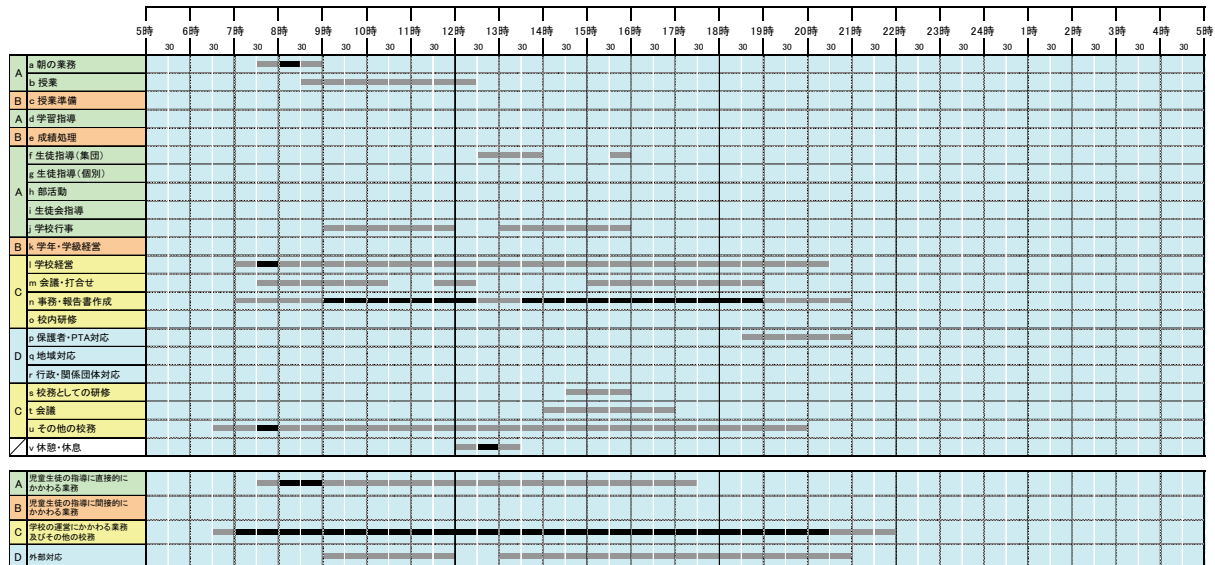
第5期【中学校】 勤務日・教頭・副校長

母数 = 2,977

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.1	0.5	0.7	2.4	10.0	42.8	15.1	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.5	0.3	0.1
c 授業準備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.6	2.4	4.2	3.0	3.5	2.5	3.1	1.5	0.9	0.5	1.2	1.3	1.3	1.1	0.7	0.6	0.6	0.7	0.8
d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.5	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.4	0.7	0.9	0.8	0.6	0.6	0.2	0.7	0.9	0.8	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.7
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.9	3.9	7.1	1.4	0.5	0.3	0.2	0.4	0.3	0.9	3.3	9.3	7.8	5.1	2.0	2.9	4.0	6.2	2.5	1.7	1.9
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.9	1.1	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.1	1.9	1.6	1.7	1.3	1.4	1.6	1.4	1.1	1.0	0.6	0.8
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.9	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.6	1.2	2.9	3.3	2.8	1.5	0.4	0.1	0.0	0.0
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.1	0.2	0.4	0.6	0.9	1.4	1.6	3.9	5.1	5.2	5.4	5.4	5.3	3.9	3.1	5.0	6.5	7.4	7.9	7.1	5.9	4.5	3.7	2.3	1.7
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校経営	0.0	0.1	1.9	3.6	18.4	28.4	10.1	19.4	19.0	17.6	17.4	17.6	18.2	19.1	15.7	10.5	15.5	17.9	18.1	18.2	15.5	15.7	16.0	17.6	18.8
C m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	8.9	19.7	14.0	8.4	6.6	5.5	4.1	3.8	5.9	6.0	3.1	3.4	4.2	4.3	3.9	6.0	9.0	11.9	10.4	8.4
n 事務・報告書作成	0.1	0.1	0.3	1.6	6.8	9.0	5.7	19.1	30.7	31.8	31.1	30.8	28.9	28.5	24.1	14.8	19.5	25.2	27.4	27.1	26.9	24.6	23.8	25.9	28.1
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.1	2.7	3.0	2.6	2.6	2.6	2.4	1.8	0.6	1.0	2.3	3.2	2.8	2.3	2.3	2.2	1.7	0.8	0.4	0.3
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	1.3	3.4	2.5	2.9	2.5	2.1	2.3	2.3	2.5	2.4	2.3	1.8	2.6	3.1	3.2	3.8	3.5	3.8	3.6	3.4	4.2	4.5
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.6	0.5	0.9	0.7	1.2	1.1	1.0	0.9	0.5	0.7	1.1	1.1	1.2	1.5	1.4	1.3	1.0	1.2	1.1	1.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.8	2.3	3.1	3.7	4.2	3.7	3.0	2.0	2.1	3.4	4.0	4.1	3.8	3.7	3.7	3.8	3.7	2.4	1.7
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.6	1.2	2.0	2.6	2.7	2.7	2.6	2.7	1.5	1.2	3.2	4.4	4.8	5.1	5.1	5.0	4.6	3.1	1.1	0.6
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	1.1	2.1	3.0	3.7	3.6	3.5	3.6	1.9	1.6	3.5	4.8	5.9	6.4	6.8	6.6	6.4	5.5	3.1	2.1
u その他の校務	0.0	0.1	1.0	7.8	18.7	25.1	8.6	7.6	8.5	8.0	7.3	8.4	8.8	9.7	12.2	14.0	13.8	10.7	9.8	10.2	9.6	9.7	10.8	12.0	14.8
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	0.3	0.4	1.5	1.19	33.3	13.9	1.3	0.3	0.3	0.7	1.7	1.3	0.7	1.1
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.1	0.3	0.9	1.6	4.6	18.6	48.3	27.8	15.1	17.1	17.1	17.9	17.1	17.4	14.2	16.1	18.1	16.6	16.8	16.4	15.8	11.9	10.4	8.2	4.7
B 児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.6	2.7	4.5	3.4	4.3	3.5	4.0	2.4	1.6	0.8	1.9	2.3	2.2	1.6	1.2	1.1	1.1	1.2	1.3	1.2
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.1	0.3	3.3	13.0	45.0	89.5	63.9	73.3	72.5	70.1	69.8	69.5	71.6	71.8	72.1	72.5	77.7	75.2	72.3	65.9	57.0	48.1	31.2	20.8	14.1
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	3.7	3.3	4.2	5.7	5.9	7.2	7.6	7.3	6.3	4.8	4.6	7.1	8.2	8.6	8.6	8.7	8.6	9.0	8.4	6.9

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-8) 第 5 期休日 中学校 教頭

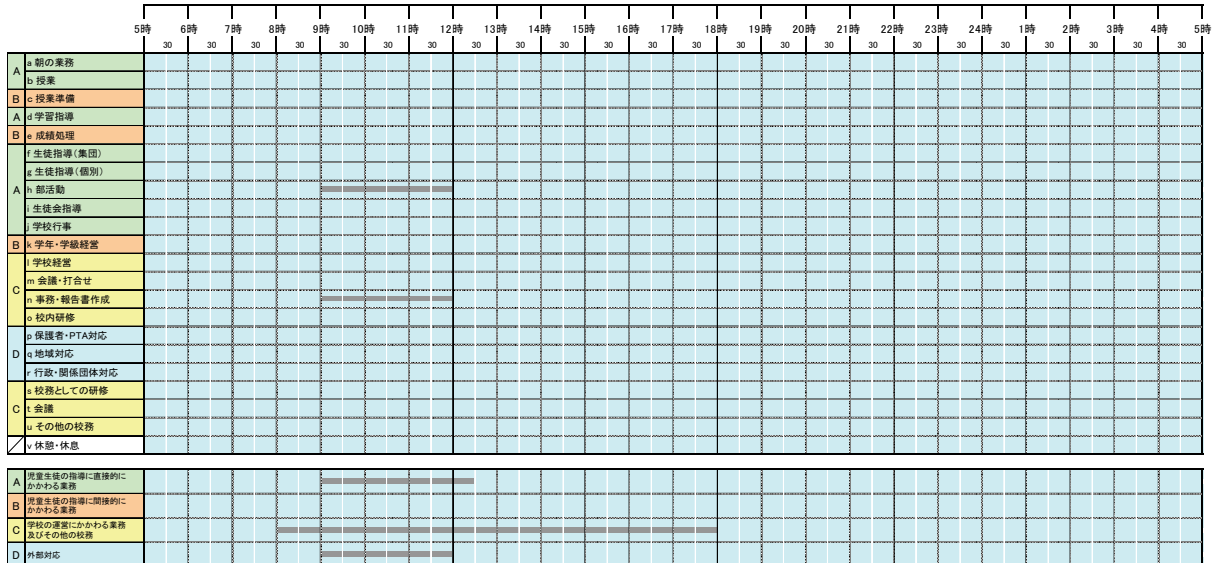
第5期【中学校】 休日・教頭・副校長

母数 = 1,573

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B c 授業準備	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A h 部活動	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6	1.4	2.9	4.3	5.4	5.7	6.3	6.2	6.2	5.8	4.7	3.6	2.9	2.7	2.2	2.2	2.0	1.8	1.4	1.0	0.4
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校経営	0.0	0.0	0.1	0.4	0.4	0.3	1.0	1.5	1.8	1.6	1.8	1.7	1.3	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	1.0	1.1	1.0	0.8	0.2	0.1	0.1
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
C n 事務・報告書作成	0.0	0.0	0.1	0.1	0.7	1.1	1.7	2.6	5.1	6.2	6.9	6.6	5.4	5.3	3.6	3.6	4.1	4.1	4.7	4.0	4.5	4.8	3.6	2.8	2.5
校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
D p 保護者・PTA対応	0.0	0.1	0.1	0.3	0.6	1.1	1.9	2.0	2.9	3.3	3.4	3.6	3.1	2.8	2.4	2.2	2.0	1.8	1.5	1.3	1.1	1.0	0.7	0.4	0.4
地域対応	0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	1.1	1.7	2.5	2.7	3.2	3.2	2.6	2.2	1.7	1.6	1.7	1.6	1.6	1.1	1.0	0.8	0.5	0.5	0.4	0.4
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.6	0.9	0.9	1.0	1.0	0.8	0.8	0.3	0.4	0.7	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1
g 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0
C i 会議	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.4	0.2	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.7	1.0	0.7	0.6	0.4
u その他の校務	0.1	0.2	0.1	0.3	0.6	1.3	3.0	3.1	3.4	3.6	4.1	4.6	4.3	3.9	2.9	2.4	2.7	3.1	3.4	3.4	2.4	1.8	1.8	1.3	1.1
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.4	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.1	0.1	0.2	0.3	0.7	1.7	3.3	4.7	5.8	6.1	6.7	6.5	6.7	6.3	5.2	3.9	3.2	3.1	2.7	2.6	2.4	2.0	1.5	1.0	0.5
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.4	0.4	0.4	0.5	0.1	0.1	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	0.2
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.1	0.2	0.3	0.6	1.8	2.9	6.1	7.8	11.4	12.5	14.1	14.3	12.5	11.8	8.8	7.9	8.9	9.0	9.9	9.3	9.2	8.1	7.6	6.5	5.1
D 外部対応	0.0	0.1	0.1	0.3	1.0	1.9	3.2	4.3	6.2	6.9	7.6	7.6	7.0	6.2	4.8	4.3	4.7	4.5	4.1	3.8	3.1	2.7	2.0	1.6	1.3

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-17) 第 5 期勤務日 中学校 教諭 (学級担任)

第5期【中学校】

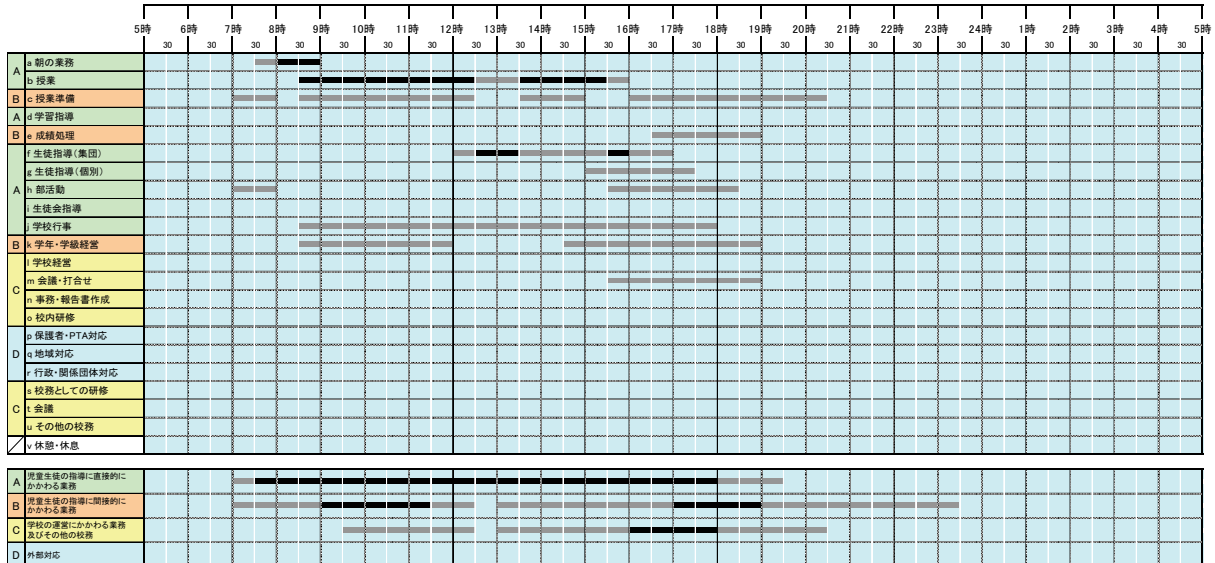
勤務日・教諭 学級担任

母数 = 32,634

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.4	1.7	16.1	76.4	304	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	1.0	39.8	63.8	83.4	61.8	69.8	60.8	53.6	9.6	12.5	47.8	52.2	38.0	27.8	7.8	1.4	0.4	0.2	0.3	0.3	0.0
c 授業準備	1.0	1.1	0.9	1.4	5.0	44.4	4.8	8.2	12.8	12.3	13.1	12.1	10.0	10.3	9.2	2.9	4.2	7.5	7.4	5.1	4.4	3.6	5.5	9.5	12.3	14.1
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.3	0.9	0.5	0.4	0.5	1.1	1.7	2.4	2.3	1.3	0.8	0.6	0.5
B e 成績処理	0.3	0.4	0.2	0.1	0.3	0.9	0.3	1.4	2.1	2.3	2.6	2.9	3.0	3.2	3.0	0.9	1.5	2.4	2.3	2.0	2.4	2.6	3.9	5.0	6.4	6.9
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	3.5	2.6	2.3	0.5	0.4	0.4	0.5	0.7	2.3	11.7	69.6	52.8	10.8	5.4	16.1	14.3	23.6	11.3	5.1	3.1	1.7
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.6	0.9	1.3	1.5	1.5	1.8	1.9	1.7	1.7	1.4	3.8	3.1	3.2	4.4	7.0	8.8	10.7	9.6	6.7	4.9	3.6
A h 部活動	0.0	0.1	0.2	0.8	6.2	13.1	2.7	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.7	3.6	7.2	14.9	18.1	16.4	10.9
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
学校行事	0.2	0.2	0.4	0.6	1.5	3.6	2.9	5.3	6.4	6.5	6.6	6.8	7.0	7.0	6.0	5.1	7.6	10.1	12.1	12.4	11.4	10.1	9.6	6.6	5.8	4.5
B k 学年・学級経営	0.3	0.4	0.4	0.6	1.4	4.0	1.7	5.0	5.5	5.7	5.7	5.6	5.6	5.3	4.8	1.5	3.7	4.6	4.1	5.2	6.6	6.6	6.6	5.1	6.0	6.2
学校経営	0.0	0.1	0.0	0.1	0.3	0.6	0.2	0.4	0.6	0.5	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8	0.2	0.3	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	1.1	1.6	2.2	2.3
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.2	0.7	0.9	0.9	0.8	0.8	0.9	1.2	1.1	0.4	0.6	0.8	0.9	1.3	3.8	7.9	11.4	13.4	12.5	10.3
C n 事務・報告書作成	0.1	0.2	0.2	0.3	0.9	0.2	0.6	0.9	0.9	1.1	1.0	1.0	0.9	0.3	0.5	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	1.6	2.4	4.0	4.9	4.6	4.3
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.7	1.0	1.3	1.9	2.0	1.6	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.5	0.8	1.6	2.1	2.6	3.0	3.2	3.4	3.5	3.6	3.4	3.6	3.2
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	0.8	1.0	1.0	1.1	1.1	0.8	1.0	1.8	2.5	2.9	3.1	3.3	3.0	2.3	0.7	0.3	0.2	0.2	0.1
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.4	0.5	1.0	1.3	1.6	1.9	2.3	2.6	2.7	2.4	1.4	1.0	0.7
u その他の校務	0.0	0.1	0.2	0.4	1.1	1.4	0.8	0.9	0.9	1.0	0.9	1.1	1.2	1.3	1.3	1.3	1.6	1.5	1.4	1.5	1.5	1.6	2.2	2.8	3.3	3.5
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	1.5	2.8	3.4	1.3	0.5	0.2	0.2	0.4	0.7	1.0	0.9	0.8	0.6
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.2	0.4	0.7	1.9	10.5	38.6	86.4	80.4	73.8	73.2	71.8	72.2	71.6	73.1	74.4	67.3	78.5	74.0	73.9	74.1	69.8	63.5	64.2	47.6	35.7	25.2
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	1.7	1.8	1.5	2.1	6.7	19.2	6.9	14.8	20.2	20.3	21.3	20.6	20.6	18.8	16.8	4.7	9.3	14.5	13.7	12.3	13.3	12.9	16.1	18.5	24.7	27.3
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.2	0.3	0.4	0.8	1.8	3.5	2.9	3.5	4.7	5.0	5.2	5.4	5.7	6.3	5.8	3.7	6.1	8.2	9.2	10.1	13.8	18.9	24.0	28.7	24.7	22.8
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.7	1.1	1.8	2.4	2.9	3.3	3.7	3.8	3.9	4.0	4.1

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-20) 第 5 期休日 中学校 教諭 (担任なし)

第5期【中学校】 休日・教諭 学級担任でない

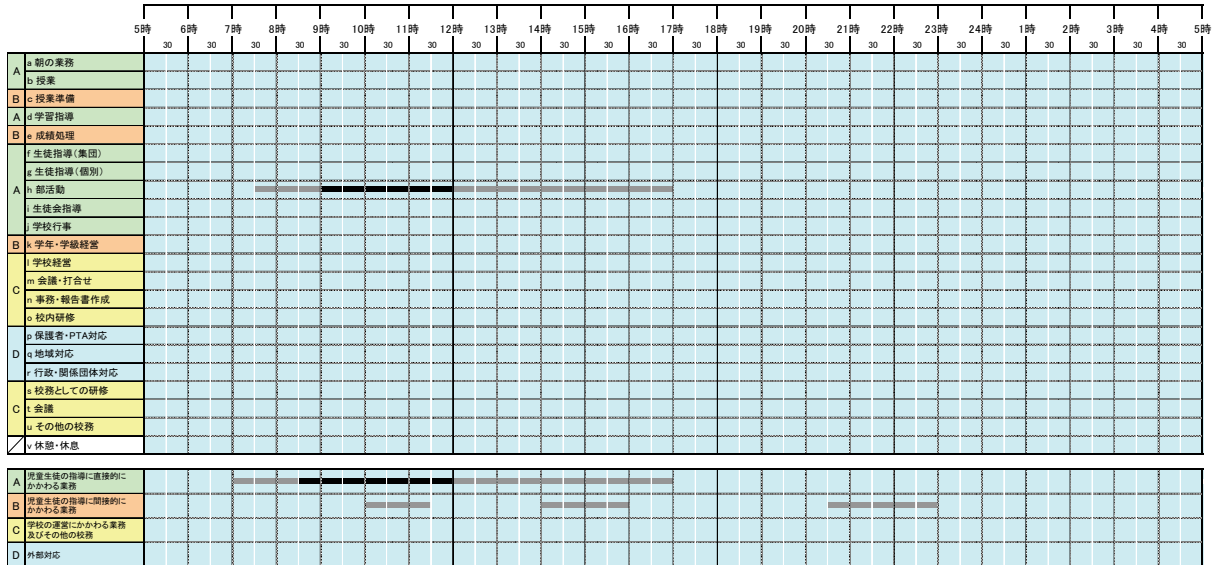
母数= 10,011

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B c 授業準備	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.6	1.3	1.5	2.2	2.3	2.2	1.8	1.3	1.2	1.8	2.0	2.6	2.5	2.8	2.7	2.2	2.1	1.7
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B e 成績処理	0.1	0.2	0.2	0.1	0.3	0.4	0.7	0.9	1.7	1.9	2.5	2.6	2.3	2.0	0.9	0.8	1.5	1.8	2.4	2.5	2.6	2.5	2.1	1.9	1.4
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A h 部活動	0.1	0.3	0.7	1.8	4.8	8.4	15.4	19.9	22.5	22.8	22.8	22.3	21.9	17.5	15.4	13.8	13.1	12.4	11.7	10.5	9.7	8.0	6.3	3.7	2.4
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.7	0.6	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2
B k 学年・学級経営	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
学校経営	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.7	0.8	1.0	1.0	0.9	0.8	0.6	0.7	0.9	0.8	1.0	1.0	1.0	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
C n 事務・報告書作成	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.8	0.9	1.0	1.1	1.1	1.0	0.8	0.8	1.1	1.2	1.3	1.3	1.2	1.1	1.1	0.6	0.5	0.5
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.7	0.8	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1
u その他の校務	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.7	1.0	1.1	1.3	1.5	1.5	1.5	1.4	1.3	1.5	1.4	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	0.8	0.7	0.5
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.1	0.3	0.8	1.9	5.0	8.7	16.1	20.8	23.8	23.7	24.0	23.8	23.5	23.0	18.5	18.4	14.8	14.1	13.4	12.7	11.4	10.4	8.7	8.8	4.2
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.4	0.5	0.4	0.6	0.9	1.2	1.6	3.3	3.8	5.1	5.3	5.0	4.3	2.4	2.3	3.6	4.1	5.4	5.3	5.8	5.6	4.7	4.3	3.3	2.8
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.1	0.2	0.3	0.4	0.9	1.4	2.2	2.7	3.5	3.9	4.4	4.5	4.4	4.2	3.5	3.5	4.5	4.5	4.9	4.9	4.7	4.5	4.1	3.8	2.8
D 外部対応	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.6	1.0	1.3	1.6	1.7	1.8	1.7	1.6	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.8	0.6	0.6	0.4	0.3

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-23) 第 5 期勤務日 中学校 教諭 (文化 部顧問)

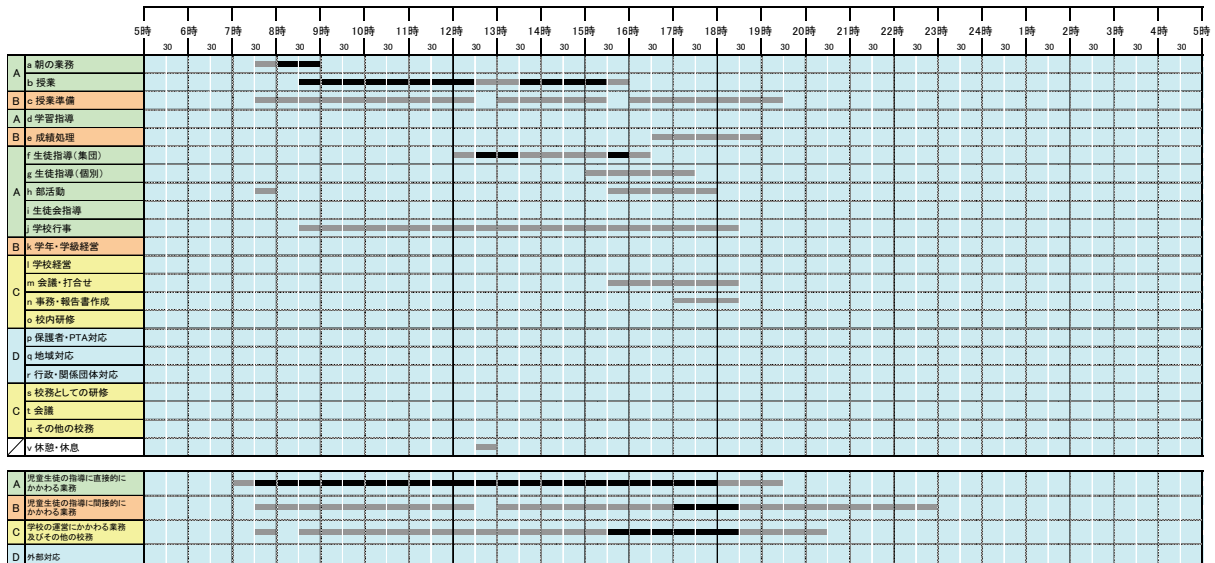
第 5 期【中学校】 勤務日・教諭 文化 部顧問

母数 = 11,055

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	
	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.2	0.6	1.5	13.5	73.7	26.5	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
B b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.9	39.5	81.3	83.0	52.2	82.9	62.0	62.3	54.9	9.2	12.8	48.8	49.8	35.3	25.2	6.3	1.1	0.5	0.2	0.2
C c 授業準備	0.7	0.8	0.7	0.7	3.3	13.4	5.6	10.3	14.0	12.3	12.4	11.2	11.3	9.4	8.3	2.9	5.7	7.5	7.2	5.5	5.3	4.8	6.2	8.7	11.9	13.2
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.2	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6	0.4	0.3	1.1	0.7	0.5	0.7	1.2	1.9	2.6	2.4	1.5	1.0	0.6
B e 成績処理	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1	0.7	0.3	1.3	2.0	2.4	2.8	2.9	2.9	3.4	2.9	1.0	1.9	2.9	3.0	3.5	3.8	4.8	6.0	7.3	7.4	6.4
f 生徒指導 (集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	3.2	3.4	3.5	0.4	0.3	0.3	0.4	0.6	2.0	10.6	61.7	44.8	9.3	5.3	15.2	14.0	21.7	9.4	4.7	2.8	1.5
g 生徒指導 (個別)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.5	0.7	1.3	1.2	1.2	1.6	1.7	1.3	1.2	1.6	3.7	3.0	2.6	3.4	5.1	6.3	7.2	6.9	5.1	3.4	2.5
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.4	2.4	5.8	1.3	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8	0.8	1.0	1.9	4.0	8.1	15.3	17.7	13.7	8.7	3.4	1.7
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	3.2	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.9	1.7	0.5	0.5	1.3	2.2	2.8	2.8	1.8	1.0	0.6	0.3
学校行事	0.2	0.4	0.6	0.8	1.6	3.5	2.6	6.4	7.9	7.8	7.8	8.1	8.4	6.2	7.2	6.3	8.1	11.9	12.9	14.2	14.1	13.1	11.9	10.2	8.2	6.9
B k 学年・学級経営	0.3	0.3	0.2	0.1	0.5	1.6	0.7	3.5	3.7	3.8	3.8	3.4	3.3	3.0	2.6	0.8	2.4	3.2	3.0	3.5	4.7	4.3	4.7	3.6	4.6	4.8
学校経営	0.1	0.1	0.1	0.3	0.5	1.4	0.5	1.2	1.4	1.3	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.0	1.6	1.8	1.8	1.9	2.1	2.1	2.9	3.5	4.4	4.5
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.6	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.3	1.2	0.8	0.8	0.9	1.0	1.5	3.8	8.4	12.5	14.5	13.0	10.6	7.6
C n 事務・報告書作成	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	1.5	0.6	1.1	1.3	1.4	1.1	1.2	1.2	1.3	0.4	1.2	1.4	1.4	1.6	2.0	1.9	2.8	3.2	5.1	5.5	5.3
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.0	0.6	1.0	1.0	1.3	1.7	1.9	1.5	0.6	0.3	0.2	0.1	0.1
D p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.2	0.3	0.6	1.1	1.5	1.8	2.1	2.2	2.3	2.4	2.6	2.3	1.7
地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
g 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.7	0.8	0.8	0.9	0.9	0.8	0.5	0.7	1.6	2.3	2.6	2.9	3.1	3.1	2.9	2.3	0.8	0.3
C i 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6	0.5	1.0	1.4	1.8	2.2	2.6	2.8	3.1	2.8	1.8	1.2	0.9
u その他の校務	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	1.5	1.3	1.2	1.2	1.3	1.4	1.6	1.7	2.9	3.0	2.0	1.9	2.1	2.2	2.4	2.8	3.5	4.0	3.5	2.8	1.9
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	2.5	6.1	3.8	0.9	0.2	0.2	0.3	0.3	0.5	0.5	0.7	0.7	0.6	0.5
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.3	0.5	0.9	1.9	6.3	27.5	83.8	77.5	72.5	73.4	72.6	74.1	73.8	75.1	75.0	80.8	74.9	72.9	72.6	71.9	65.8	60.2	60.4	44.2	32.5	22.4
B 児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	1.2	1.3	1.0	0.8	4.0	15.7	6.9	15.1	19.7	18.6	19.1	17.4	17.4	15.8	13.8	4.7	10.0	13.8	13.2	12.0	13.5	12.9	15.8	18.4	23.8	25.4
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.3	0.3	0.2	0.5	1.8	5.2	4.4	5.5	6.4	6.5	6.6	6.7	7.1	7.4	7.1	6.4	9.3	10.2	11.6	13.1	17.0	22.6	28.7	31.3	29.7	26.4
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.5	0.5	0.5	0.6	0.7	0.7	0.4	0.7	1.0	1.4	1.9	2.2	2.6	2.8	2.9	3.0	2.7	2.7

時間別行為者率 (30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-25) 第5期勤務日 中学校 教諭 (顧問無し)

第5期【中学校】 勤務日・教諭 顧問なし

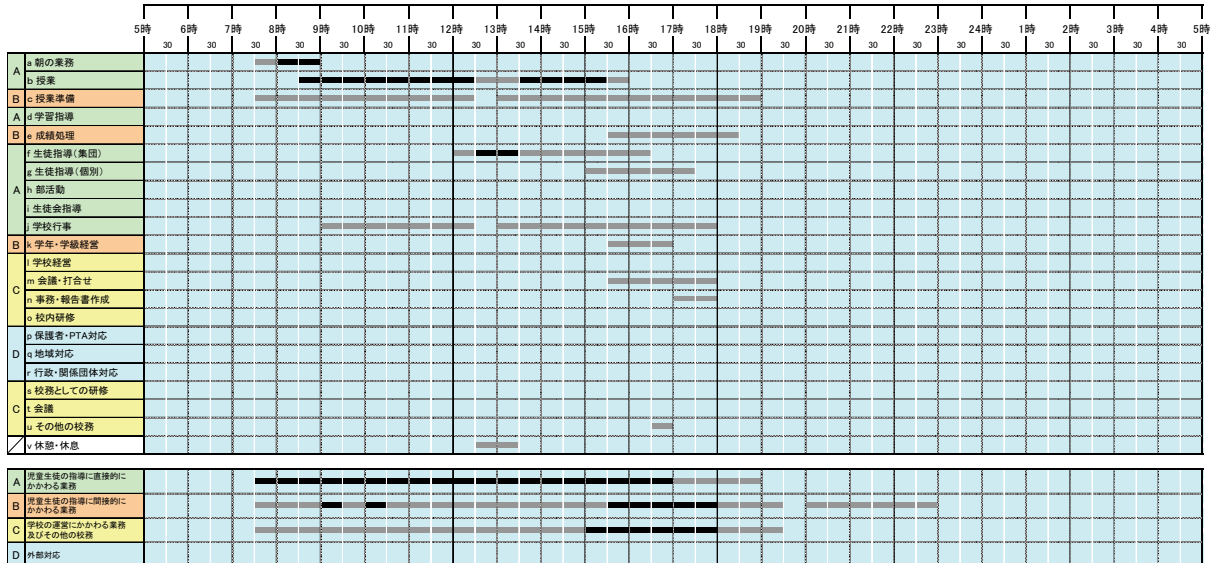
母数= 3,615

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.2	1.3	14.6	63.5	33.4	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.3	0.9	3.5	59.4	59.9	59.1	59.2	58.2	58.8	52.8	14.8	15.8	48.1	43.7	34.4	24.5	7.7	2.2	0.8	0.4
c 授業準備	1.4	1.3	0.6	0.5	2.2	8.1	10.2	9.4	14.5	13.2	14.4	12.9	11.6	10.2	3.7	5.3	9.8	10.5	8.2	8.1	9.0	12.8	15.3	14.6	12.2
d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.7	0.8	0.7	0.6	0.6	0.9	0.8	0.8	0.5	1.2	2.4	2.9	2.8	1.2	1.0
e 成績処理	0.1	0.2	0.2	0.1	0.4	1.0	1.3	2.4	2.8	3.0	3.2	3.4	3.9	4.0	1.8	2.3	3.7	3.6	3.9	4.9	6.9	9.0	9.4	8.9	6.7
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.2	0.8	3.4	4.4	3.8	1.2	0.9	1.0	0.7	0.9	2.2	9.3	56.1	45.8	11.2	7.1	15.0	13.1	17.5	8.4	3.8	2.0
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.4	1.3	1.7	1.9	2.1	1.9	2.0	1.8	1.5	1.7	2.8	3.0	2.6	3.3	5.7	7.7	8.4	7.1	5.1	3.9
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.5	1.1	1.1	0.6	0.4	0.0	0.0	0.0
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	1.8	0.9	0.9	1.4	2.3	2.4	2.4	1.7	1.0	0.5	0.2
学校行事	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	2.4	2.1	3.9	5.2	5.6	5.8	6.0	6.3	6.3	5.5	4.5	6.5	8.6	9.2	10.4	11.4	10.5	9.1	8.4	6.5
B k 学年・学級経営	0.8	0.7	0.4	0.2	0.5	1.5	2.3	2.9	3.1	3.2	2.9	3.6	3.2	2.5	2.5	1.1	2.1	3.7	3.0	3.6	4.3	5.4	6.5	6.0	4.9
学校経営	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	0.6	0.7	1.2	2.4	1.7	1.3	1.5	1.9	1.9	2.1	1.0	1.2	2.0	2.3	2.2	2.7	3.3	4.2	4.8	4.2
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	1.4	1.9	1.4	1.1	0.9	0.7	0.6	1.0	1.0	0.4	0.5	0.9	1.4	2.0	4.8	8.6	12.3	13.7	12.0
C n 事務・報告書作成	0.1	0.2	0.1	0.6	0.3	1.5	0.9	0.9	1.1	1.9	1.7	1.8	1.5	1.6	1.5	0.5	1.2	2.0	1.9	2.1	2.4	2.9	3.8	4.9	5.6
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	0.7	0.7	0.7	0.4	0.2	0.1	0.3	1.0	1.3	1.3	1.9	2.2	2.1	1.6	0.6	0.3	0.1	0.1
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	0.2	0.1	0.2	0.6	1.1	1.3	1.4	1.5	1.7	1.7	1.9	1.8
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.2	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	1.4	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.1	0.7	1.8	2.8	3.5	3.6	3.8	3.7	3.1	2.5	0.9	0.5	0.3
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.8	1.4	1.8	2.2	2.6	2.7	2.8	2.3	1.5	0.6
u その他の校務	0.1	0.1	0.1	0.6	1.3	2.6	1.2	1.2	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.7	2.0	2.7	3.2	2.5	2.7	2.5	2.6	2.7	3.8	5.0	4.6
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3	2.4	7.2	6.0	3.1	1.2	0.2	0.2	0.1	0.7	2.3	0.9	0.5

A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.2	0.3	0.4	1.0	3.7	21.6	72.5	75.9	68.8	68.1	68.7	68.8	68.5	70.0	70.8	78.3	73.8	64.7	64.4	65.2	58.5	48.7	34.5	25.4	17.0
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	2.4	2.2	1.1	0.7	3.1	10.8	13.4	13.6	20.0	19.1	20.3	19.7	19.6	18.1	16.7	6.5	9.7	17.2	17.1	15.7	17.2	21.3	28.3	30.7	28.4
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.4	0.4	0.2	1.4	2.3	5.9	5.6	7.3	8.8	8.7	8.1	8.4	8.5	8.8	8.2	5.8	9.1	12.6	14.7	15.8	20.7	28.2	32.1	34.8	29.8
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.7	0.7	0.7	0.8	0.9	0.5	0.1	0.3	0.7	1.3	1.5	1.7	1.9	2.0	2.1	2.1	2.3

時間別行為率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-27) 第 2 期勤務日 小学校 校長

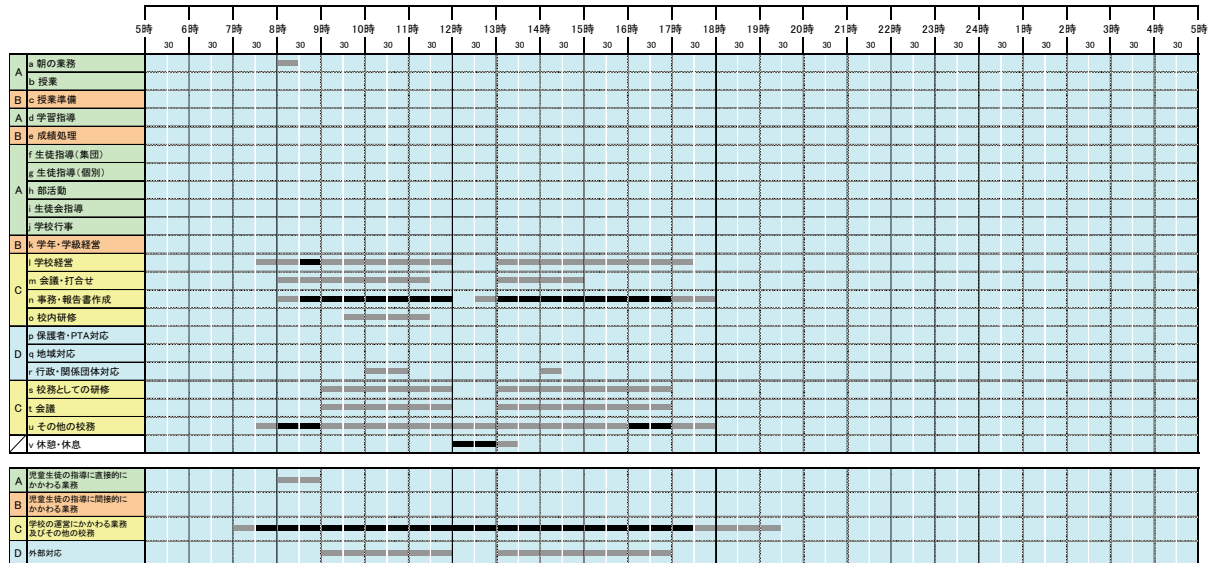
第2期【小学校】

勤務日・校長

母数 = 1,723

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
朝の業務	0.0	0.0	0.1	0.1	1.8	5.3	2.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
授業準備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.6	0.3	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1	0.3	0.5	0.4	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.5	0.5	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
生徒指導(個別)	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
部活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.3	0.5	0.6	0.6	0.5	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.1	0.1	0.6	0.9	1.9	2.4	2.7	2.5	2.6	2.2	2.1	1.3	1.5	1.7	1.8	1.9	1.7	1.7	1.6	1.3	1.2	1.1	0.8	0.5	0.9
学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校経営	0.0	0.0	0.2	0.7	5.1	18.5	20.5	17.4	16.6	19.9	19.8	13.7	13.5	4.2	4.2	14.2	14.8	14.3	14.4	13.8	13.9	16.0	16.9	9.6	3.4
会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.1	1.9	11.5	12.5	8.2	6.3	6.2	5.7	5.2	4.8	1.1	1.2	5.2	5.5	5.0	5.3	4.2	4.2	3.6	3.7	2.3	1.1
事務・報告書作成	0.1	0.1	0.1	1.7	4.2	15.8	21.2	24.8	24.9	23.0	23.2	23.1	23.6	4.5	5.5	20.7	21.8	22.5	22.2	21.4	22.9	24.0	24.4	13.3	5.7
校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.7	4.9	5.2	5.7	5.6	5.2	4.9	0.8	0.2	2.5	4.1	4.9	4.5	3.8	3.8	2.5	1.5	0.2	0.2	0.1
保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.6	1.0	1.3	1.6	1.7	1.7	1.6	0.8	0.3	1.6	1.7	1.6	1.6	1.0	0.9	0.6	0.5	0.6	0.6
地域対応	0.0	0.0	0.5	0.1	0.2	0.3	0.5	1.6	1.6	1.7	1.9	2.4	2.0	0.5	0.5	1.5	1.8	1.7	1.9	2.6	2.1	1.6	1.3	0.7	0.6
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.8	2.5	3.6	4.2	5.9	5.3	4.9	3.9	1.1	1.1	4.0	4.6	5.2	4.5	4.9	4.3	3.7	3.3	2.2	0.9
校務としての研修	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	1.6	3.9	8.2	10.0	10.9	11.0	11.0	10.2	1.7	1.4	9.3	11.8	13.5	13.8	13.2	12.6	9.8	6.8	2.4	0.8
会議	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	1.5	3.5	6.8	8.6	10.3	10.4	10.3	9.3	2.1	1.9	8.4	10.5	11.7	11.5	11.4	11.5	10.7	8.1	3.0	1.1
その他の校務	0.0	0.0	0.3	1.0	3.5	11.5	23.4	23.9	18.8	18.0	14.4	15.0	17.3	18.0	7.8	13.7	19.1	17.6	15.1	18.0	17.8	18.6	20.3	24.3	17.2
休憩・休息	0.0	0.0	0.2	0.6	0.5	0.9	0.1	0.2	0.1	1.2	1.4	0.7	3.1	71.0	84.8	8.8	13.3	0.3	0.6	1.9	0.8	1.9	0.6	0.5	0.9
児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.1	0.2	0.9	1.1	1.1	3.5	7.5	5.9	4.4	4.0	4.1	4.0	3.3	2.8	1.7	1.8	2.6	2.8	2.8	2.3	2.3	2.1	1.6	1.6	1.4
児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.5	0.6	0.5	0.2	0.2	0.1
学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.1	0.1	0.3	1.4	6.3	23.7	27.3	27.2	87.6	84.4	84.7	86.0	85.3	22.2	28.0	79.5	85.2	88.8	87.6	85.5	87.5	86.8	85.4	48.1	19.8
外部対応	0.0	0.0	0.0	0.5	0.4	0.6	1.4	3.7	6.2	7.1	9.2	8.9	9.1	7.5	2.4	1.9	7.0	8.1	8.5	8.0	8.5	7.3	6.3	5.4	3.5

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



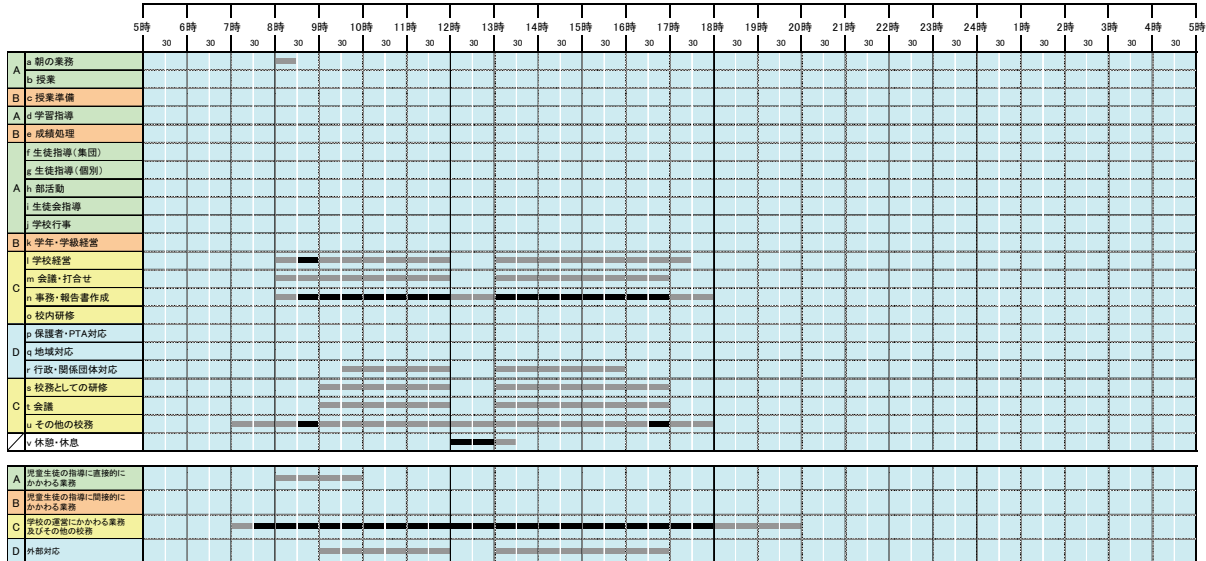
(図表 5-28) 第 2 期勤務日 中学校 校長

第2期【中学校】 勤務日・校長

母数 = 1,786

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	
A a 朝の業務	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3	2.6	7.1	3.1	1.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
B c 授業準備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.4	0.4	0.3	0.3	0.0	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	0.6	0.6	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	
A h 部活動	0.0	0.1	0.0	0.2	0.7	1.5	2.1	2.2	2.4	2.4	2.5	2.2	1.3	1.1	1.7	1.7	1.5	1.7	1.6	1.6	1.3	0.9	0.5	0.2	0.2	
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
学校行事	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.4	1.0	1.6	1.2	1.1	0.9	0.6	0.6	0.1	0.2	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
学校経営	0.0	0.0	0.1	0.3	4.9	18.7	22.8	11.8	17.8	16.4	16.2	15.9	4.3	4.8	14.1	14.2	14.5	14.6	14.9	16.3	15.6	14.8	4.3	2.6	1.6	
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.1	0.3	2.8	13.0	12.3	9.9	8.9	8.2	7.2	7.3	6.9	1.5	1.5	5.7	5.8	5.0	5.3	5.1	5.5	5.4	2.8	1.5	1.0	
C n 事務・報告書作成	0.0	0.0	0.2	0.3	1.0	4.3	15.2	23.0	25.1	25.0	23.9	22.8	23.3	5.8	6.5	20.7	23.5	23.6	23.8	23.1	23.7	24.1	23.7	13.8	8.3	4.4
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	1.0	3.9	4.2	4.7	4.5	4.1	3.3	0.6	0.3	2.5	3.4	3.9	3.7	3.5	2.9	1.9	1.5	0.4	0.0	
d 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.7	1.0	1.7	2.9	1.7	0.6	0.2	1.0	1.4	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	0.7	1.0	0.6	0.6	
D e 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	1.0	1.6	2.1	2.0	1.9	1.7	0.3	0.3	1.5	1.8	1.5	1.2	1.0	1.1	1.2	1.1	0.7	0.9	
f 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.7	1.7	4.5	5.7	6.2	6.2	1.7	1.6	5.1	5.9	6.6	5.4	5.6	5.1	4.6	4.4	2.6	1.5	1.0	0.7	
g 校務としての研修	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	1.6	3.5	7.0	8.3	8.8	9.1	9.0	8.7	2.4	1.6	7.8	9.7	10.6	10.6	10.4	10.3	9.1	6.9	2.1	
C h 会議	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	1.2	3.1	6.8	8.5	10.3	10.5	10.1	9.4	3.2	2.5	9.4	11.8	13.4	13.9	13.3	13.7	12.3	9.6	4.4	2.7	
i その他の校務	0.1	0.2	0.7	1.1	5.6	11.8	17.2	20.4	14.7	12.1	11.0	12.2	13.6	14.7	7.2	10.2	17.6	15.9	14.4	14.4	14.5	16.5	18.4	22.7	17.2	
休息・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.7	0.7	0.2	0.1	0.6	1.3	0.7	1.0	2.9	67.0	84.8	9.9	2.0	0.8	0.8	2.9	0.6	1.0	0.8	1.6	
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.1	0.1	0.1	0.2	0.7	3.8	9.4	7.2	6.4	5.2	4.9	4.5	4.1	3.8	1.7	1.6	2.7	2.9	2.7	2.9	2.6	2.5	2.4	2.0	1.4	
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.1	0.2	1.1	1.7	7.4	24.3	47.5	45.9	48.1	44.7	52.7	53.8	52.9	25.0	27.4	77.8	84.2	85.4	86.4	84.8	89.5	87.0	84.5	49.7	25.7	
D 外部対応	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.7	1.3	2.4	6.2	8.2	10.0	9.9	11.1	9.6	2.7	2.1	7.6	9.1	9.6	8.2	8.1	7.1	6.9	6.6	4.4	

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



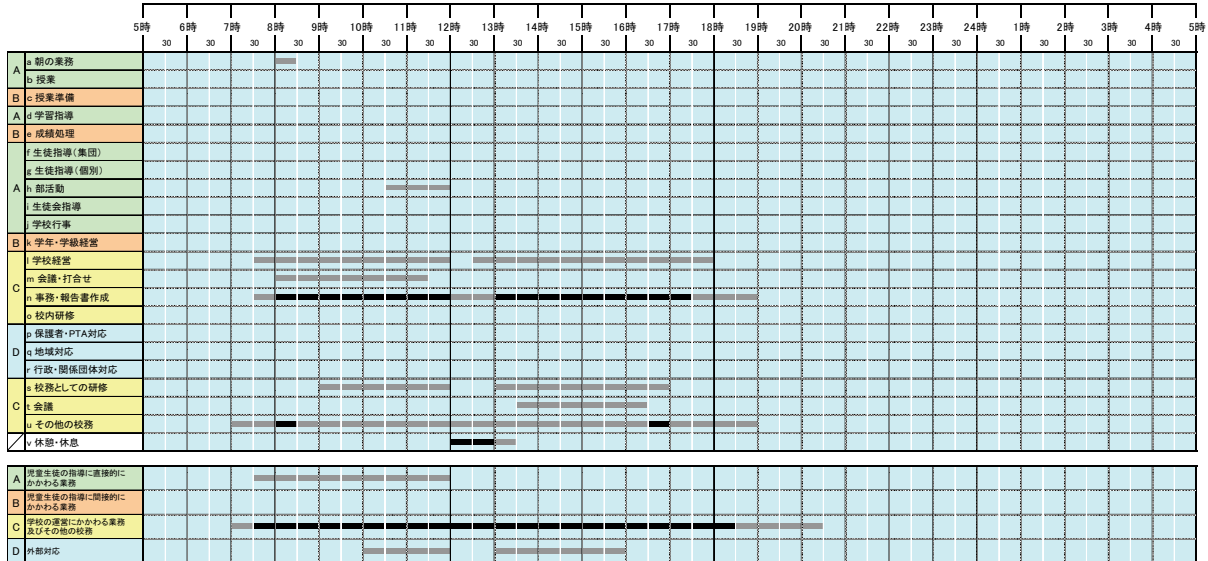
(図表 5-30) 第 2 期勤務日 中学校 教頭

第2期【中学校】 勤務日・教頭・副校長

母数 = 1,983

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A 朝の業務	0.0	0.0	0.1	0.1	0.9	3.9	6.4	2.5	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B c 授業準備	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.5	0.6	0.5	0.2	0.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.4	0.1	0.1
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.6	0.6	0.7	0.7	0.5	0.2	0.1	0.0	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.4	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
A h 部活動	0.0	0.1	0.3	0.3	0.5	1.1	2.1	3.1	4.0	4.4	4.9	5.0	5.1	3.0	2.1	2.8	2.5	2.6	2.4	2.4	2.1	1.8	1.5	1.0	0.7
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	1.2	1.7	1.4	1.0	0.8	0.6	0.5	0.2	0.1	0.6	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.0	0.0
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校経営	0.0	0.1	0.2	3.6	10.6	18.1	17.0	14.9	14.0	13.0	12.9	12.8	13.2	4.5	7.1	12.7	14.3	13.7	14.1	14.4	14.3	14.8	14.8	9.5	6.6
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.1	0.3	2.7	8.5	7.3	7.4	5.8	6.1	6.2	5.6	4.9	1.5	1.8	4.4	4.3	4.3	4.1	3.7	3.4	3.3	2.6	1.5	0.9
n 事務・報告書作成	0.2	0.4	0.6	1.0	4.3	12.0	28.2	36.0	36.7	38.9	34.9	34.7	38.1	38.2	12.5	14.4	29.3	31.9	30.9	31.8	31.1	33.0	35.2	34.9	24.8
o 校内研修	0.4	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	0.6	2.4	3.1	3.2	3.2	3.1	3.0	0.9	0.5	2.2	3.2	3.6	3.4	2.8	2.3	1.6	1.0	0.4
D p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	1.0	1.0	1.5	1.4	1.2	0.6	0.4	0.9	1.0	1.4	1.5	1.4	1.3	1.2	1.3	1.3	1.1	1.2
q 地域対応	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	0.5	0.8	0.9	0.6	1.0	1.0	0.5	0.5	0.8	0.8	1.0	1.2	0.9	0.8	0.8	1.2	1.2
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	1.1	1.6	2.9	3.2	4.0	4.4	3.8	2.9	1.5	1.5	3.6	4.0	4.7	4.1	3.8	3.4	2.3	2.4	1.7
r 校務としての研修	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.6	2.1	4.2	6.9	8.1	8.8	8.8	7.9	2.2	2.5	8.6	10.1	11.1	11.2	11.2	11.5	8.8	6.6	1.9	1.0
C s 会議	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.9	1.9	3.7	4.1	4.6	4.4	4.4	4.1	1.7	1.9	4.4	5.6	6.1	6.6	6.9	6.5	5.4	4.1	2.1	1.2
t その他の校務	0.2	0.3	0.4	1.6	7.9	17.9	23.5	19.3	14.7	14.2	12.8	13.8	14.4	6.5	8.6	16.6	18.3	16.0	15.9	16.2	17.5	19.5	22.5	19.5	14.0
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.1	0.1	0.0	0.3	1.6	0.9	0.9	3.3	80.3	54.1	104	2.9	1.2	0.8	2.2	1.0	0.8	1.2	2.2	1.9
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.1	0.2	0.4	0.4	1.5	5.4	9.0	7.7	6.8	7.1	7.2	7.1	6.6	6.3	3.4	2.3	3.7	3.4	3.5	3.3	3.2	2.8	2.6	2.2	1.5
B 児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.6	0.5	0.6	0.6	0.2	0.1	0.6	0.6	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.4	0.1	0.1
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.7	1.0	1.6	3.2	15.5	43.9	77.7	68.3	68.6	61.5	53.3	40.0	47.7	33.8	29.9	38.9	39.3	35.7	35.9	37.1	38.2	38.0	36.6	37.2	24.6
D 外部対応	0.0	0.0	0.1	0.2	0.6	1.6	2.4	4.3	4.9	6.4	6.4	6.2	5.1	2.5	2.4	5.3	5.8	7.1	6.5	6.1	5.6	4.7	4.6	3.8	2.8

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



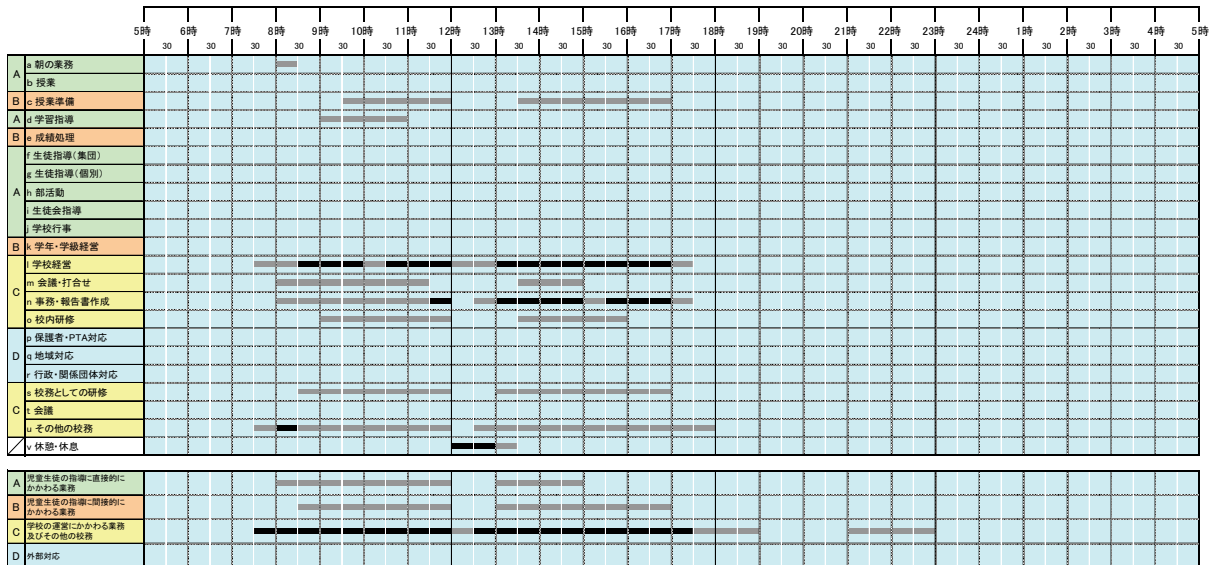
(図表 5-31) 第 2 期勤務日 小学校 教務主任

第2期【小学校】 勤務日・教諭 教務主任

母数= 1,329

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.2	1.0	6.8	3.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B c 授業準備	0.0	0.0	0.0	0.2	2.2	4.3	4.7	5.0	5.0	5.1	0.5	1.2	4.8	5.3	5.3	5.3	5.1	5.3	2.3	1.1	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.0	3.3	5.6	6.2	6.0	5.3	4.5	3.0	0.8	0.5	2.0	2.5	2.2	1.1	0.5	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.3	0.5	0.5	0.7	0.7	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.5	0.6	0.6	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A h 部活動	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.6	1.0	2.0	2.6	2.7	2.4	1.6	0.5	0.5	0.8	0.9	1.0	1.0	1.0	0.7	0.4	0.4	0.2	0.1
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.2	0.5	0.9	1.1	1.2	1.9	2.8	3.5	3.8	4.0	3.9	3.9	3.5	3.5	2.3	1.7	2.7	2.4	2.6	2.6	2.3	2.2	2.1	1.6	1.1
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.8	0.8	0.9	1.1	1.0	0.8	0.7	0.2	0.8	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	0.8	0.2	0.0
学校経営	0.0	0.0	0.2	0.7	2.2	7.8	19.3	24.3	22.1	21.1	19.9	20.6	22.4	23.6	5.6	8.7	22.1	22.3	21.5	21.3	22.3	24.2	24.3	24.2	16.1
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	5.4	6.2	5.8	5.9	6.2	5.7	4.7	1.1	0.4	4.4	5.6	5.4	5.0	4.4	4.4	4.2	3.5	1.1	0.6
C n 事務・報告書作成	0.3	0.2	0.3	0.5	0.4	2.4	11.3	17.5	18.2	18.4	17.7	18.0	19.5	20.4	3.8	7.5	20.8	20.9	20.0	20.5	19.4	20.7	21.4	21.2	11.4
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	2.7	6.5	7.0	7.8	7.5	7.2	6.3	0.8	0.3	3.5	5.1	6.7	7.1	6.2	5.9	4.2	3.4	1.4	0.5
D p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.4	0.5	0.8	0.8	0.9	0.8	0.6	0.2	0.3	0.4	0.6	0.5	0.3	0.2	0.5	0.4	0.2	0.4	0.6	0.5
q 地域対応	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.2	0.4	0.3	0.3	0.5	0.6	0.3	0.3	0.4	0.5	0.1	0.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.5	0.6	0.8	0.8	0.9	0.8	0.7	0.6	0.4	0.4	0.5	0.7	1.0	0.8	0.5	0.7	0.8	0.5	0.2	0.2
s 校務としての研修	0.5	0.5	0.2	0.1	0.2	0.8	2.6	6.1	10.9	12.3	12.9	12.7	12.0	2.9	3.2	10.8	13.7	15.3	15.3	15.0	15.0	15.0	9.0	2.8	1.1
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	1.7	2.5	2.9	3.3	3.2	3.2	3.1	0.8	1.1	3.1	3.6	4.1	4.1	4.3	4.3	3.8	3.2	1.6	0.9
u その他の校務	0.0	0.1	0.2	0.2	0.5	8.7	20.8	19.9	11.9	10.1	7.5	8.3	9.2	10.5	4.4	6.8	12.7	12.3	10.9	10.8	10.9	12.0	13.7	17.4	11.5
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.0	0.1	0.0	2.6	0.6	0.5	1.8	7.0	7.1	6.0	0.6	0.5	3.2	0.7	1.3	0.9	1.7	0.6	0.8	0.5
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.2	0.6	1.0	1.2	1.7	3.6	11.5	11.8	12.9	13.8	13.5	12.7	11.0	8.7	4.0	2.8	5.8	6.0	6.1	5.8	4.4	3.4	3.1	3.1	2.1
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	2.8	5.0	5.8	6.2	6.6	6.5	6.5	6.5	0.8	2.0	6.0	6.7	6.4	6.4	6.8	6.7	6.4	6.5	3.2	1.3
C 学校の運営にかかわる業務 及ぶその他の校務	0.8	0.8	1.0	1.4	3.2	20.6	19.9	11.9	10.1	7.5	8.3	9.2	10.5	4.4	6.8	12.7	12.3	10.9	10.8	10.9	12.0	13.7	17.4	11.5	5.2
D 外部対応	0.0	0.0	0.2	0.7	0.5	0.6	1.1	1.4	1.8	2.0	2.1	2.0	1.7	1.1	0.8	1.3	1.6	1.9	1.8	1.5	1.0	1.4	1.6	1.2	0.6

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



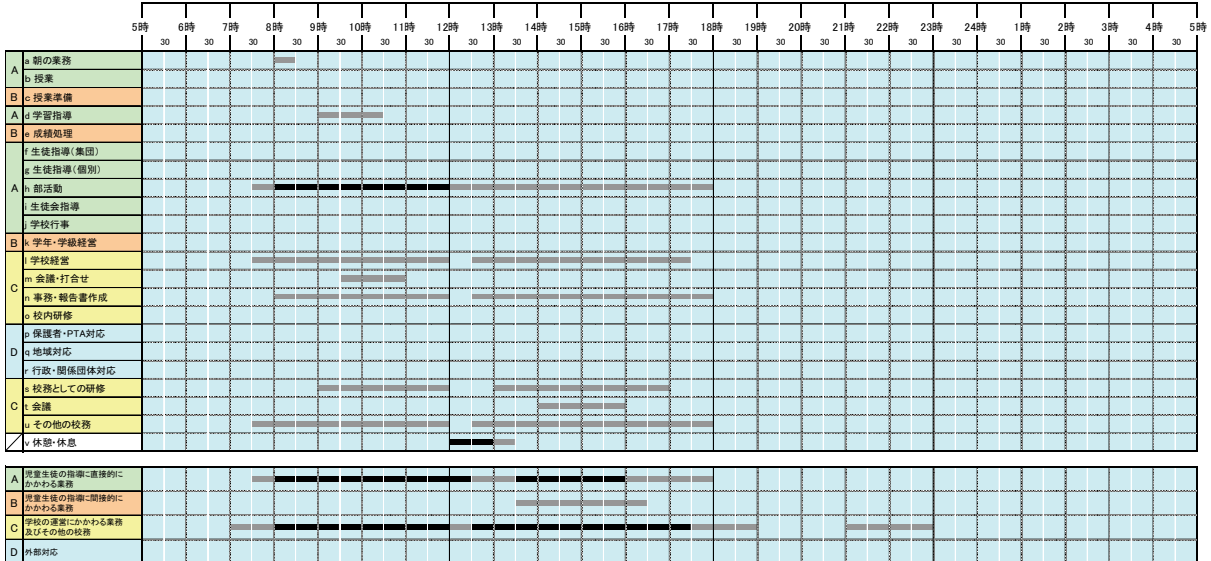
(図表 5-32) 第 2 期勤務日 中学校 教務主任

第2期【中学校】 勤務日・教諭 教務主任

母数= 1,629

Table with columns for time intervals (5時 to 5時) and rows for various tasks (A, B, C, D, etc.) and cumulative totals. The table contains numerical data representing work hours or counts for each task at each time interval.

時間別行為率率(30分ごとの平均) 5~19% 20%以上



(図表 5-34) 第 2 期勤務日 小学校 教諭 (担任なし)

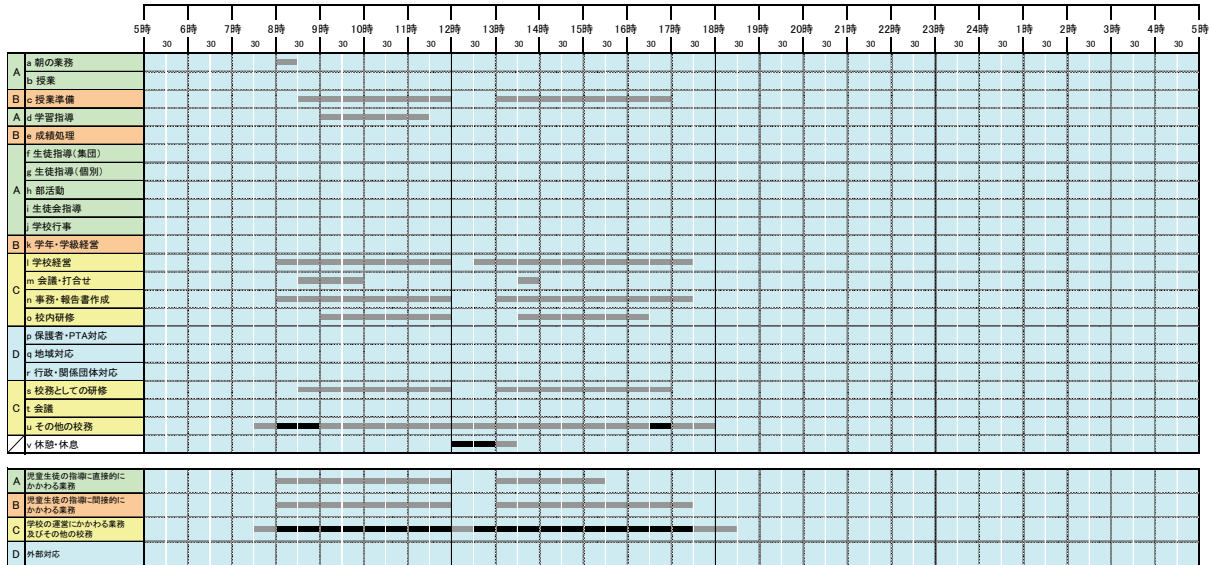
第2期【小学校】 勤務日・教諭 学級担任でない

母数= 3,157

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.4	1.4	7.3	3.9	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	6.6	0.6	0.4	0.4	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B c 授業準備	0.1	0.1	0.1	0.3	0.8	4.8	8.7	9.1	9.2	9.7	10.1	10.5	10.3	2.3	2.1	9.8	11.1	11.3	11.3	11.7	12.2	11.7	11.0	4.6	1.4
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	3.2	8.3	8.8	8.9	8.1	5.2	4.4	1.3	0.8	2.2	2.5	2.4	2.1	1.4	0.8	0.3	0.3	0.2	0.0
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.1	0.2	0.2	0.7	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	1.8	2.8	4.1	4.5	4.5	4.4	4.4	3.7	1.3	0.9	1.8	1.9	1.9	1.6	1.4	1.0	0.7	0.6	0.4
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
学校行事	0.1	0.3	0.4	0.5	0.6	1.0	1.8	2.5	2.9	3.0	2.8	2.6	2.4	2.2	1.1	1.0	1.9	2.0	2.2	2.4	2.0	1.9	1.9	1.8	1.0
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.5	0.8	0.8	0.7	0.7	0.8	0.1	0.1	0.6	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.3	0.1
学校経営	0.0	0.1	0.3	0.5	1.2	4.8	12.3	15.8	15.2	15.0	13.8	14.5	15.0	15.3	3.9	5.2	14.0	14.3	14.3	14.1	14.3	15.3	15.0	14.6	9.2
C m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	4.6	5.6	5.2	5.0	4.7	4.8	4.5	4.2	0.9	1.1	4.1	5.0	4.9	4.6	4.6	4.8	4.2	1.6	0.7
n 事務・報告書作成	0.2	0.1	0.2	0.2	1.5	8.4	13.6	12.7	12.8	12.6	13.1	13.3	13.7	2.8	4.5	13.5	13.7	13.3	13.5	12.8	13.4	14.0	14.6	7.1	2.7
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.8	4.1	8.3	8.7	9.2	9.1	8.6	7.9	1.0	0.6	4.7	6.9	8.4	8.3	7.2	6.9	5.2	4.3	1.1	0.3
D p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.6	0.7	0.6	0.3	0.2	0.3	0.6	0.4	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.3	0.2	0.3	0.6	0.7	1.0	1.1	0.7	0.3
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
r 校務としての研修	0.0	0.0	0.1	0.1	0.7	3.5	6.5	12.1	14.1	15.0	15.1	15.2	14.6	4.1	3.5	13.5	17.6	18.8	18.1	18.8	18.7	16.1	11.8	3.6	1.2
C s 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	1.6	2.7	3.1	3.5	3.5	3.4	3.4	0.9	1.0	3.5	4.1	4.4	4.5	4.8	4.9	4.5	4.1	1.9	0.9
t その他の校務	0.1	0.2	0.2	1.4	6.9	20.8	23.4	15.9	13.5	11.2	11.8	12.4	13.1	5.1	6.6	15.2	14.8	13.5	13.6	13.9	14.7	18.0	20.9	11.9	5.0
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.6	0.3	0.1	0.0	1.5	0.6	0.5	2.3	88.3	85.9	10.5	1.5	0.5	2.1	0.4	0.9	0.9	1.4	0.4	0.5

A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.1	0.4	0.5	0.6	1.2	3.2	12.0	13.2	14.7	15.4	15.1	14.1	12.8	11.2	4.1	2.9	6.2	6.7	6.8	6.6	5.3	4.4	3.5	3.0	1.9
B 児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	0.1	0.1	0.1	0.3	0.9	5.5	9.8	10.8	10.8	11.5	11.8	12.3	12.0	2.6	2.3	11.1	12.7	12.7	12.7	12.9	13.3	12.7	11.8	5.0	1.6
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.3	0.4	0.8	1.0	2.8	14.9	52.2	70.7	72.1	71.9	70.1	71.6	72.5	18.7	22.4	88.5	76.5	77.6	77.8	78.7	78.4	77.6	74.4	36.3	13.1
D 外部対応	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.4	0.7	0.8	1.1	1.2	1.4	1.3	1.4	1.2	0.8	0.7	1.1	1.4	1.2	1.3	1.3	1.3	1.7	1.8	1.1

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



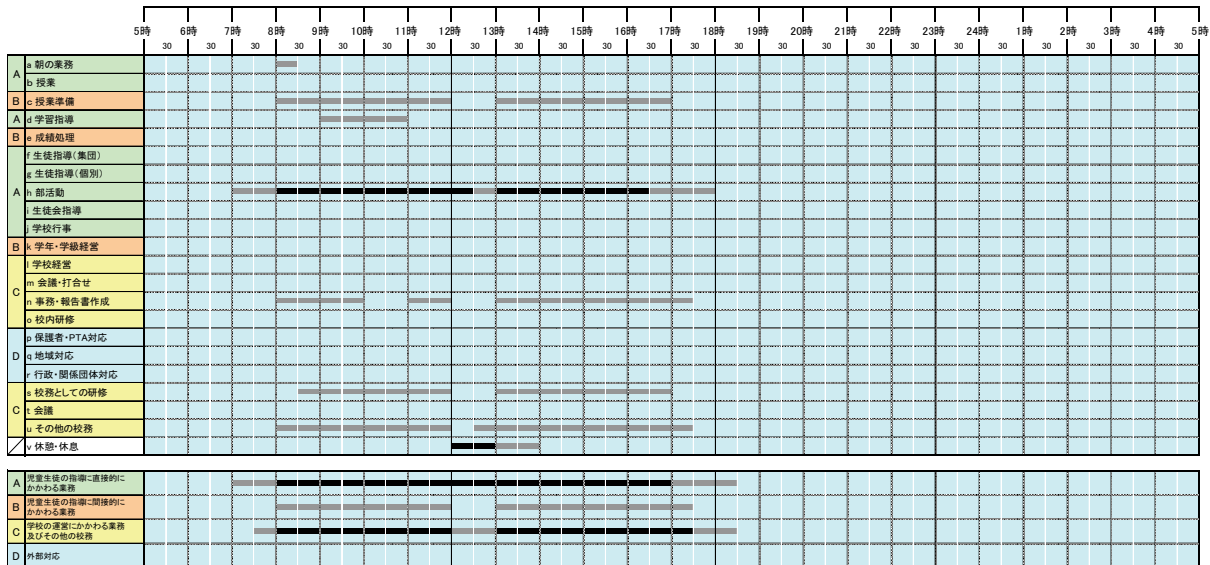
(図表 5-35) 第 2 期勤務日 中学校 教諭 (学級担任)

第2期【中学校】 勤務日・教諭 学級担任

母数＝ 18,685

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	2.2	7.8	4.1	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	1.7	2.4	2.5	2.3	2.1	1.7	1.1	0.5	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
B c 授業準備	0.1	0.2	0.1	0.2	0.5	1.9	5.6	7.6	6.1	5.9	5.7	5.6	5.8	5.8	2.0	2.9	7.6	8.6	9.0	9.4	9.5	10.0	10.4	9.8	4.4
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	2.1	3.5	5.7	5.8	5.8	5.4	4.4	3.5	1.2	0.8	2.5	3.1	3.6	3.5	3.1	2.6	1.8	1.3	0.5
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	1.1	1.7	1.6	1.7	1.8	1.9	2.1	2.1	0.8	1.0	2.7	3.1	3.2	3.4	3.4	3.6	3.4	3.2	1.5	0.6
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	1.1	1.0	0.9	0.6	0.6	0.6	0.8	0.7	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	0.9	1.5	1.5	1.6	1.6	1.7	1.5	0.9	0.7	1.4	1.7	1.8	1.7	1.8	1.7	1.5	1.0	0.7	0.5
A h 部活動	0.2	0.5	1.5	3.2	6.3	12.3	25.1	32.7	37.2	37.3	38.1	38.5	38.3	36.8	23.8	19.5	22.3	22.7	22.8	22.5	22.4	21.8	20.2	18.3	12.4
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.6	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.4	0.4	0.7	0.8	1.0	0.9	0.8	0.8	0.5	0.3	0.2	0.1
学校行事	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.7	2.0	2.9	3.4	3.3	3.1	2.9	2.9	2.7	1.2	1.4	3.3	3.6	3.8	3.9	3.6	3.7	3.2	3.1	1.7
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	1.8	2.4	2.2	2.2	2.2	2.0	1.7	0.8	1.0	2.0	2.4	2.3	2.2	2.3	2.4	2.7	2.6	1.2	0.6	0.3
学校経営	0.0	0.0	0.1	0.2	0.7	2.3	2.8	2.4	2.4	2.3	2.4	2.4	2.5	1.1	1.5	3.1	3.4	3.3	3.3	3.5	3.7	3.8	1.9	1.0	0.6
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	2.2	2.6	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.5	1.2	0.9	2.7	3.7	4.0	3.9	3.7	3.3	3.1	2.7	1.4	0.8
C n 事務・報告書作成	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	2.2	8.2	5.5	5.1	4.8	4.7	5.1	5.4	2.2	3.0	7.2	7.5	7.3	7.5	7.6	8.5	9.6	10.4	5.6	2.8
校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	1.3	3.7	4.1	4.4	4.5	4.2	3.8	0.8	0.4	2.5	3.7	4.3	4.2	3.5	3.0	2.2	1.6	0.4	0.1
D p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.6	1.0	1.1	1.2	1.2	1.1	1.0	0.5	0.4	1.3	1.6	1.8	1.9	1.9	1.7	1.2	0.8	0.5	0.5
地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.4	0.2	0.2
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0
校長としての研修	0.0	0.0	0.1	0.4	0.8	3.0	5.3	9.0	16.4	11.0	11.1	11.2	10.8	3.4	3.0	10.2	12.0	12.8	12.9	13.0	12.7	11.0	8.1	2.5	1.0
C 会議	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	1.0	1.6	2.5	2.7	2.8	2.9	2.8	1.3	1.3	3.1	3.7	4.1	4.1	4.3	4.3	4.0	3.4	1.7	1.0	0.6
その他の校務	0.1	0.1	0.3	0.5	1.5	4.4	11.3	12.4	8.0	7.1	6.3	6.5	7.1	7.5	4.3	5.6	9.4	9.5	9.4	9.6	10.4	11.0	13.1	15.1	8.8
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.4	0.3	0.1	0.1	0.4	0.4	1.1	4.3	49.2	51.9	14.0	5.2	1.9	1.4	1.2	0.7	1.0	1.3	0.9	0.6
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.3	0.6	1.7	3.6	7.1	18.2	38.1	47.4	42.4	42.4	42.5	42.4	42.0	40.3	47.3	28.6	22.9	30.9	32.8	33.8	33.4	32.4	31.4	28.2	25.3
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.2	0.2	0.2	0.8	2.7	8.5	11.7	10.0	9.9	9.8	9.7	9.9	9.6	3.6	4.9	12.2	14.1	14.8	15.0	15.3	16.1	16.4	15.7	7.1	2.8
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.2	0.3	0.5	0.9	2.7	9.0	27.8	34.2	34.5	35.1	35.7	36.6	36.3	14.3	15.8	38.3	43.5	45.5	45.8	46.3	46.7	45.1	22.2	11.1	6.2
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.7	0.9	1.4	1.5	1.7	1.6	1.6	1.4	0.7	0.6	1.8	2.3	2.5	2.5	2.7	2.7	1.7	1.1	0.8	0.8

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



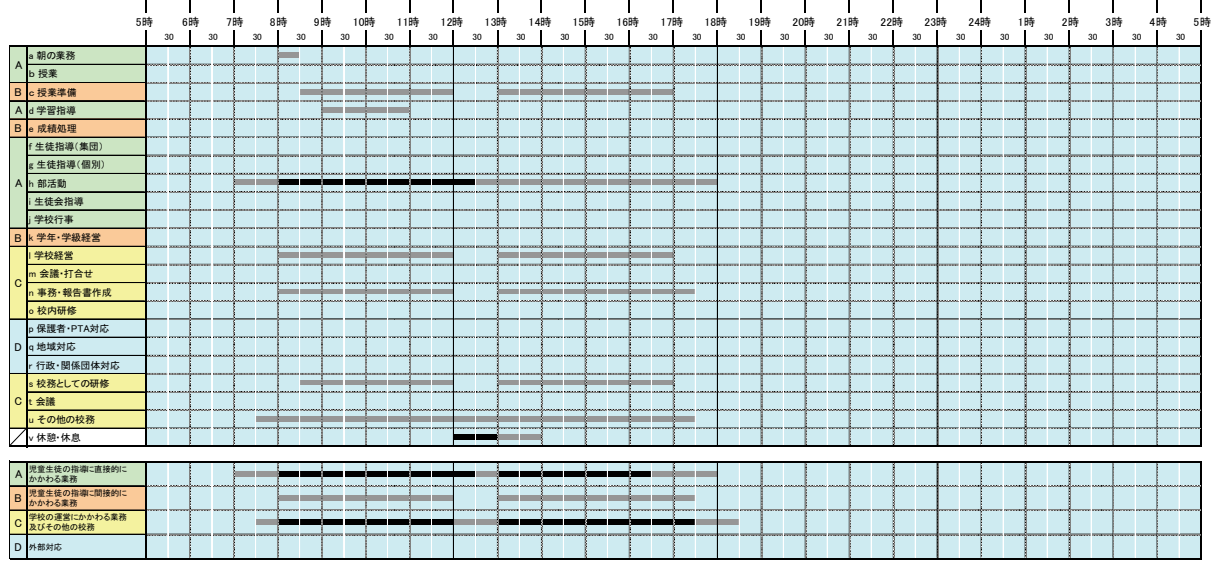
(図表 5-36) 第 2 期勤務日 中学校 教諭 (担任なし)

第 2 期【中学校】 勤務日・教諭 学級担任でない

母数＝ 11,096

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	1.5	7.2	3.7	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.8	1.5	1.4	1.2	1.0	0.8	0.7	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B 授業準備	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	1.6	4.8	7.6	7.0	7.1	6.9	7.3	7.6	7.3	2.1	3.2	8.4	9.5	10.1	10.4	10.8	11.1	11.2	10.4	3.8
d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.4	3.2	5.7	5.8	5.8	5.4	4.0	3.2	0.8	0.9	2.3	2.9	3.1	3.1	2.8	2.3	1.4	1.1	0.4
e 成績処理	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	1.2	1.8	1.9	2.1	2.2	2.2	2.4	2.3	0.7	1.0	2.5	3.1	3.2	3.3	3.2	3.4	3.3	3.0	1.2	0.5
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.7	1.1	1.1	1.0	0.8	0.7	0.6	0.9	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.4	0.3	0.5	0.6	0.7	0.6	0.6	0.5	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2
A 部活動	0.1	0.3	1.0	2.2	5.3	8.6	21.7	29.9	33.9	34.1	34.3	34.8	24.5	33.5	20.5	14.4	16.7	17.8	17.9	17.4	17.3	15.8	14.3	9.4	5.9
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5	0.3	0.2	0.5	0.6	0.9	0.9	0.8	0.8	0.6	0.5	0.2	0.1
学校行事	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	1.1	2.1	2.8	2.9	2.6	2.4	2.3	2.0	1.0	1.0	2.1	2.5	2.8	2.6	2.5	2.2	2.0	0.8	0.4	0.2
B 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.9	1.1	1.0	1.1	1.2	1.2	1.2	1.0	0.4	0.4	1.1	1.2	1.2	1.2	1.3	1.4	1.3	0.6	0.2	0.1
学校経営	0.0	0.0	0.1	0.2	0.8	2.5	5.9	6.8	5.5	5.4	5.5	5.5	5.6	5.7	2.1	2.6	6.6	7.3	7.6	7.8	8.1	8.5	8.5	8.3	4.1
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.1	3.4	4.0	3.8	4.0	4.0	4.1	3.7	1.3	1.0	3.1	3.9	4.1	3.8	3.7	3.5	3.5	2.9	1.6	0.9
n 事務・報告書作成	0.1	0.2	0.2	0.3	0.5	2.0	8.1	9.3	7.1	6.8	6.5	6.6	7.1	7.3	2.4	3.4	8.8	9.4	9.7	9.8	10.7	12.1	12.5	6.3	3.1
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	1.5	3.8	4.1	4.5	4.6	4.4	4.0	0.9	0.6	3.0	4.2	4.7	4.6	3.8	3.2	2.2	1.7	0.5	0.2
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.2	0.2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.7
D 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.1	0.1	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
t 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.7	2.8	5.2	9.4	10.5	11.1	11.1	11.0	10.7	3.8	3.0	10.1	12.4	13.2	13.4	13.1	12.9	11.4	8.7	2.6
C 会議	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.8	1.4	2.0	2.3	2.5	2.5	2.5	2.3	1.1	1.0	2.8	3.3	3.8	3.9	3.9	3.7	3.5	3.1	1.2	0.5
u その他の校務	0.0	0.1	0.5	1.0	2.0	5.3	13.0	13.9	8.4	8.3	7.4	7.5	8.1	8.5	5.0	6.4	11.2	11.7	11.1	11.2	11.4	12.1	14.1	15.4	8.5
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.6	0.7	0.4	0.2	0.2	0.8	0.4	0.9	3.6	5.8	5.0	4.9	5.1	5.1	1.5	1.0	1.9	0.9	1.0	1.2
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.1	0.3	1.1	2.4	5.9	12.2	33.0	41.8	46.8	45.9	45.9	43.5	41.6	23.8	17.4	22.9	24.8	28.1	25.9	24.8	23.8	21.0	19.0	11.8	7.1
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.4	0.4	0.3	0.6	2.1	6.9	10.6	10.0	10.3	10.2	10.8	11.1	10.7	3.2	4.6	12.1	13.8	14.5	14.9	14.9	15.8	15.9	14.7	5.5	1.9
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.2	0.3	0.9	1.7	3.9	11.2	34.3	41.4	41.1	41.3	41.5	41.7	42.8	42.2	16.5	18.0	45.4	52.3	54.2	54.5	53.9	54.7	55.3	52.3	24.6
D 外部対応	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.6	0.9	0.9	0.9	1.1	1.1	1.0	1.0	0.4	0.5	1.1	1.3	1.3	1.3	1.6	1.7	1.7	1.9	1.1	0.7

時間別行為率(30分ごとの平均) 5～19% 20%以上



(図表 5-40) 第 4 期勤務日 小学校 校長

第4期【小学校】 勤務日・校長

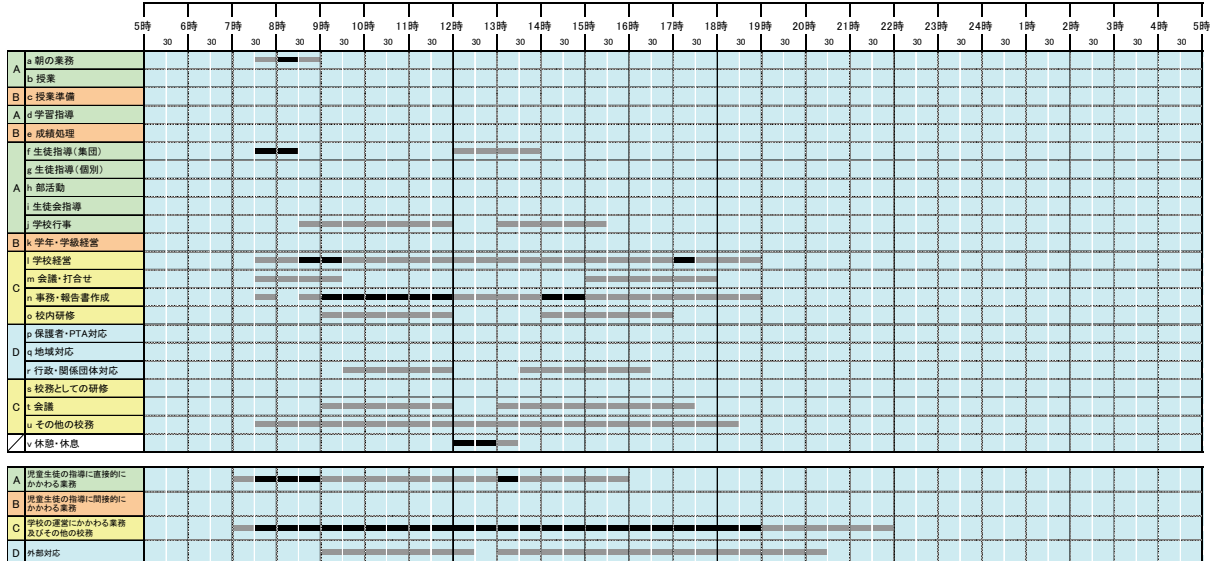
母数= 2460

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	7.3	22.2	12.7	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
c 授業準備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.7	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	0.9	1.1	1.1	0.9	0.7	0.4	0.0	0.3	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	2.6	30.7	20.3	3.7	0.5	0.4	0.9	1.2	0.4	2.4	9.0	11.7	12.9	10.4	2.0	1.2	2.0	1.3	0.6	0.2	0.2	0.0
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	1.0	1.5	1.4	2.1	2.0	1.7	1.7	1.5	0.9	1.1	0.9	0.8	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.2	0.2	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	0.4	0.3	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.6	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.1	0.3	1.0	1.4	2.1	2.6	4.0	7.5	9.5	8.2	9.8	9.1	8.7	7.8	4.8	4.7	6.4	7.1	7.9	7.2	6.0	4.4	3.1	2.4	1.7	1.4
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校経営	0.0	0.0	0.0	0.2	2.7	12.8	17.9	22.4	21.9	17.5	15.4	16.4	18.1	19.0	14.7	19.0	17.2	18.0	18.8	17.7	14.9	15.5	15.7	17.2	20.1	16.7
m 会議・打合せ	0.1	0.2	0.1	0.2	1.1	8.1	13.6	14.4	6.7	4.2	3.7	2.9	3.1	3.3	2.3	2.9	4.1	3.6	3.7	4.4	9.3	13.1	17.7	19.4	13.4	7.4
C n 事務・報告書作成	0.5	0.9	0.4	0.1	1.5	5.3	4.8	13.7	22.0	23.5	21.2	21.3	22.5	23.4	11.0	8.7	12.6	16.7	20.9	22.0	19.1	18.3	15.8	15.8	14.3	10.5
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.6	7.9	10.1	9.2	7.7	8.6	6.0	1.7	0.5	1.5	4.4	7.6	7.1	7.2	7.4	7.8	6.4	2.5	1.3	0.5	0.4
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.4	0.9	2.0	2.8	3.8	3.4	2.7	2.4	1.5	1.4	2.5	2.5	2.6	3.0	3.1	3.4	2.9	2.3	2.4	2.6	2.8
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.3	0.6	0.5	1.3	1.3	1.6	1.6	1.6	1.4	0.8	0.5	1.6	1.8	2.2	2.0	2.0	1.6	1.3	1.2	1.0	1.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.7	1.9	4.8	5.4	7.0	7.5	6.8	5.9	3.0	2.8	4.9	5.9	6.1	6.0	6.6	5.8	5.7	4.8	3.7	2.3	1.3
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	1.1	2.4	2.7	3.2	3.3	3.3	3.4	1.5	1.5	3.2	4.0	4.7	4.8	4.8	4.2	3.3	1.3	0.4	0.3	0.2
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.9	2.9	6.7	9.1	10.8	10.8	10.2	9.0	4.3	3.4	6.3	8.8	9.7	10.4	11.3	11.0	10.3	9.7	5.7	3.1	2.3
u その他の校務	0.2	0.5	0.6	0.6	3.2	7.1	8.0	10.3	8.5	8.2	7.4	7.3	8.3	10.0	14.9	14.4	13.7	12.1	9.9	10.3	9.6	8.2	10.0	11.5	12.8	9.6
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.6	0.0	0.0	0.1	1.1	1.8	0.3	1.2	2.5	3.0	9.7	1.8	0.4	0.5	0.9	1.0	2.2	2.6	2.0	1.2

A 児童生徒の発達に直接的にかかわる業務	0.1	0.3	1.1	1.5	5.7	41.4	48.0	28.7	13.7	13.5	15.0	14.8	13.5	13.8	15.5	17.8	21.1	19.8	10.2	10.2	9.7	8.8	4.8	3.5	2.6	1.9
B 児童生徒の発達に間接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.7	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.2	0.0	0.1	0.3	0.2	0.4	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.8	1.5	1.2	1.1	8.6	33.6	46.1	68.3	76.1	75.3	70.6	69.6	74.1	74.1	50.4	44.4	58.7	67.6	75.3	76.8	76.1	79.2	81.5	83.3	71.8	52.9
D 外部対応	0.0	0.0	0.1	0.0	0.6	3.9	1.7	3.3	8.1	9.5	12.4	12.4	11.1	9.6	5.3	4.8	9.0	10.2	10.9	11.1	11.7	11.2	10.2	8.4	7.5	6.1

時間別行為率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



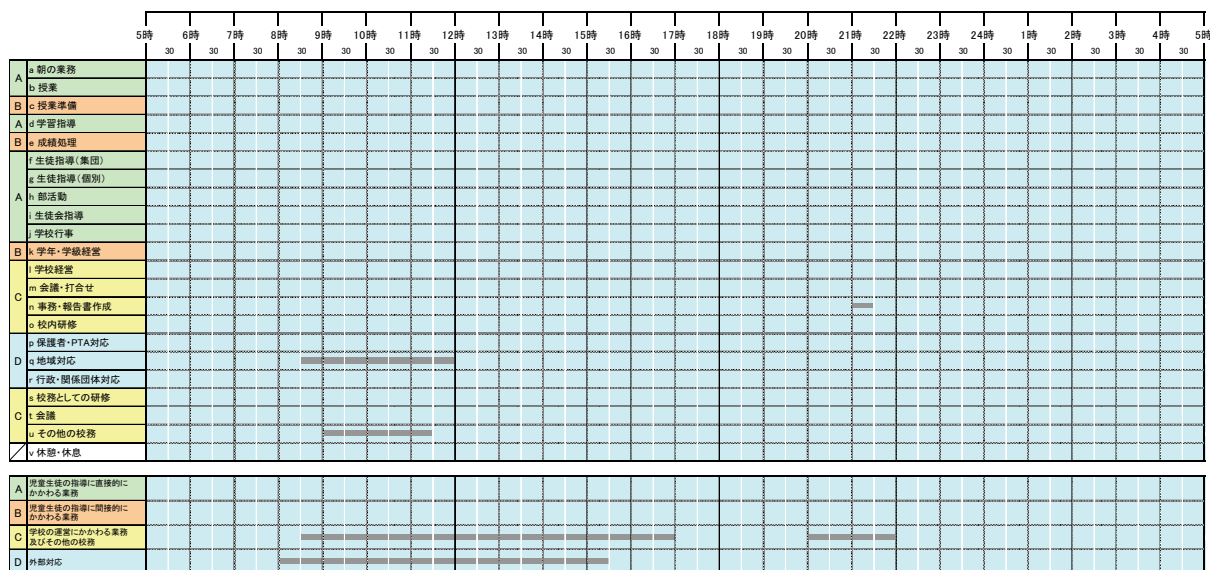
(図表 5-41) 第4期休日 小学校 校長

第4期[小学校] 休日・校長

母数= 1,295

Table with columns for time intervals (5時 to 5時) and rows for activities (A, B, C, D, etc.).

時間別行為者率(30分ごとの平均) 5~19% 20%以上



(図表5-43) 第4期休日 中学校 校長

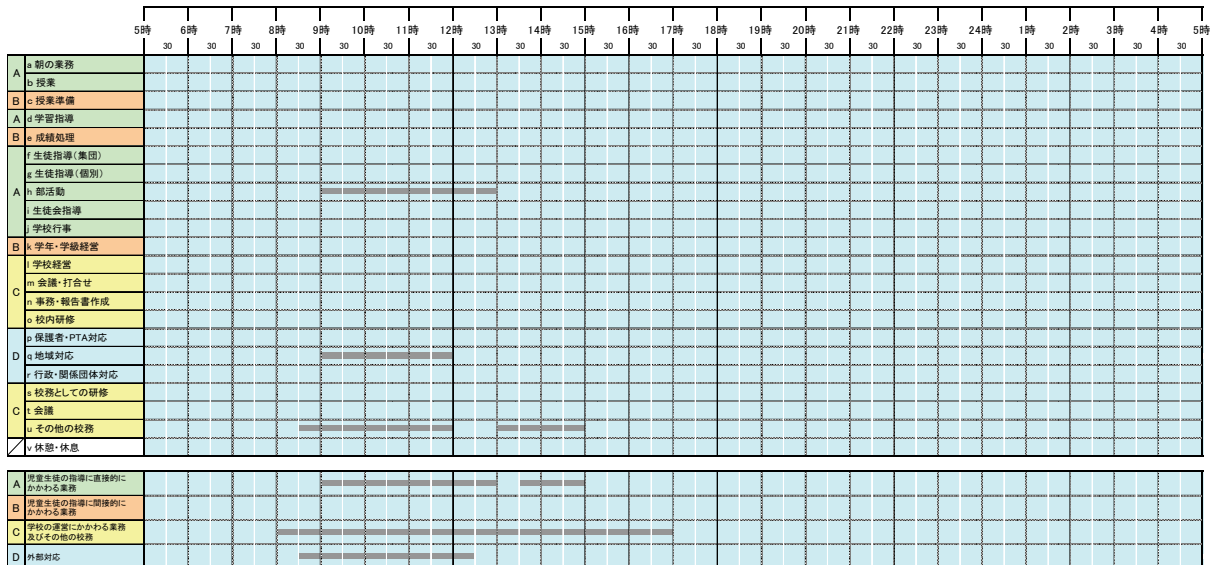
第4期【中学校】 休日・校長

母数= 1,297

		5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
A	a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B	c 授業準備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A	d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B	e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
	g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A	h 部活動	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.7	3.2	4.5	7.3	8.1	8.2	7.9	7.6	7.4	5.9	5.6	4.5	4.8	4.8	4.6	3.5	2.7	1.8	1.2	0.6
	i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	学校行事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B	k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学校経営	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5	0.6	0.8	0.3	0.5	0.6	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.8	0.5	0.4	0.4	0.2	0.2	0.6	0.4	0.5	0.4
C	l 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	m 事務・報告書作成	0.5	0.6	0.2	0.0	0.3	1.0	1.9	3.5	3.9	4.1	4.2	3.9	3.7	2.0	1.9	2.6	2.6	2.9	3.2	3.0	2.7	2.2	1.4	1.3	1.2
	n 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	o 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	1.0	1.6	2.3	2.5	3.0	3.0	2.9	2.5	1.5	1.5	1.5	1.7	1.4	1.5	0.9	0.8	0.6	0.6	0.5
D	p 地域対応	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	1.0	2.9	4.0	6.9	6.8	6.9	6.4	6.1	5.8	4.1	2.9	2.8	3.0	2.9	2.6	2.0	1.2	1.0	0.8	0.8
	行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
	q 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C	r 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.8	1.1	1.5	1.5	1.4	1.1	0.8	1.3	1.5	1.5	1.5	1.3	0.9	0.5	0.2	0.2	0.3	0.2
	s その他の校務	0.2	0.2	0.1	0.2	0.7	1.4	3.3	5.0	6.2	6.9	6.9	6.7	6.6	4.3	4.1	5.3	5.7	5.8	4.4	4.2	3.2	2.9	1.9	1.5	0.9
	v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.5	2.5	2.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A	児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	1.0	3.5	4.9	7.6	8.4	8.5	8.2	7.8	7.7	6.2	5.9	4.9	5.2	5.2	5.0	3.9	3.2	1.9	1.4	0.7
B	児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C	学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.8	0.9	0.3	0.5	1.2	2.4	5.6	7.9	11.5	13.0	13.7	13.9	13.2	12.6	8.4	7.6	10.0	10.6	11.3	10.3	9.7	8.2	6.3	6.7	4.3
D	外部対応	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	1.5	4.2	6.2	9.9	10.1	10.7	10.3	9.6	8.9	5.9	4.7	4.6	4.9	4.9	4.3	3.7	2.4	1.8	1.7	1.5

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-44) 第 4 期勤務日 小学校 教頭

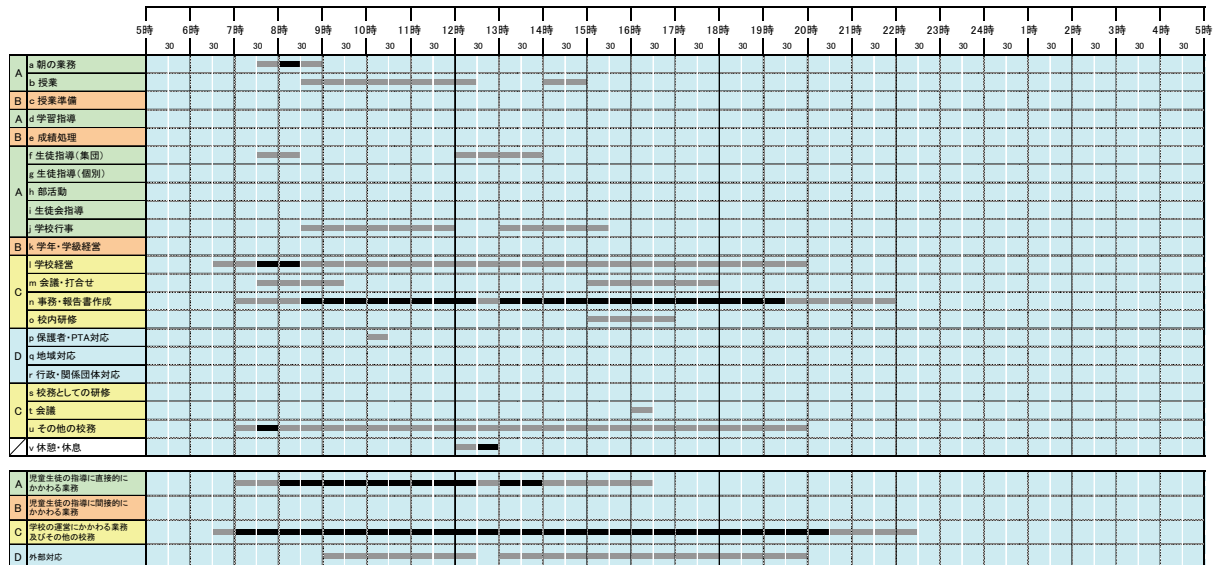
第4期【小学校】 勤務日・教頭・副校長

母数= 2,537

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	
A																										
a	0.0	0.0	0.1	0.2	3.9	9.5	21.0	19.4	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
b	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	5.3	8.2	13.8	13.0	13.1	13.8	10.8	7.4	0.3	0.7	3.7	7.7	5.0	1.9	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0	
c	0.3	0.7	0.0	0.0	0.1	0.4	0.8	1.8	3.0	2.0	2.5	1.4	1.1	0.9	0.6	0.2	0.5	0.8	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	
d	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.8	1.1	1.3	1.1	1.8	1.6	1.3	0.8	0.1	0.6	0.6	1.2	1.0	0.4	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	
e	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.5	0.4	0.8	0.5	0.6	0.6	0.1	0.2	0.4	0.5	0.4	0.3	0.2	0.4	0.4	0.2	
f	0.0	0.0	0.0	0.1	1.5	7.2	5.4	1.7	0.9	0.6	1.4	1.8	0.6	0.8	8.9	12.8	15.9	12.7	1.7	2.0	2.9	1.1	0.5	0.3	0.4	
g	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	1.2	1.9	2.1	2.0	2.7	2.7	2.8	2.4	1.5	3.2	2.2	1.5	1.2	0.8	0.5	0.4	0.2	0.4	0.4	
h	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.5	0.5	0.6	0.4	0.1	0.1	0.0	
i	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.2	0.3	0.4	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	
学校行事	0.0	0.3	0.9	1.5	1.9	2.0	2.4	6.3	7.4	7.2	7.4	7.0	6.7	5.8	4.5	4.1	5.7	6.1	6.6	6.3	5.6	4.8	3.7	2.5	1.9	
B																										
k	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
学校経営	0.0	0.2	0.7	5.0	16.9	27.3	21.0	18.8	16.8	13.1	12.5	13.0	12.3	14.5	11.9	10.6	16.0	16.4	13.9	14.4	14.4	14.1	14.9	18.2	19.4	
m	0.1	0.1	0.1	0.4	8.0	18.1	12.4	5.6	3.0	3.0	2.9	2.6	2.5	3.3	3.5	2.8	2.5	3.0	3.6	7.6	10.8	16.2	18.3	18.8	6.5	
n	1.5	1.8	1.5	2.3	8.7	12.7	24.5	34.0	32.8	30.8	30.5	33.1	35.7	24.1	15.3	24.3	27.9	33.5	34.5	31.3	31.3	27.0	28.2	35.0	36.0	
o	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	1.1	1.9	3.2	3.4	3.1	3.4	2.5	1.0	2.2	3.9	3.9	5.1	6.4	7.1	5.8	1.7	1.0	0.5	0.4	
p	0.0	0.0	0.1	0.4	2.8	2.5	1.3	3.1	4.4	5.0	4.5	4.7	3.8	2.6	2.1	3.0	3.5	3.5	3.2	3.9	4.2	4.5	3.5	4.0	3.8	
保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	1.4	0.7	0.7	1.1	1.1	1.6	2.1	1.9	1.7	1.0	1.1	1.9	1.8	2.1	2.6	2.8	2.9	2.2	2.2	1.9	
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.8	2.0	3.2	3.4	4.7	4.4	3.8	3.0	1.7	1.4	3.3	3.5	4.5	4.3	4.3	4.1	3.9	3.2	2.1	1.2	
q	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	1.1	1.2	1.2	1.3	1.4	1.3	0.3	0.3	1.6	2.4	2.9	3.1	3.1	3.2	3.2	2.7	0.9	0.7	
r	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.8	2.0	2.4	2.6	2.6	2.6	2.2	1.1	1.1	2.0	2.8	3.4	3.6	4.5	4.8	5.0	4.4	2.7	1.3	
s	0.4	1.0	1.4	4.8	18.8	21.7	11.7	8.1	7.3	6.9	6.3	5.8	6.6	8.0	12.0	11.4	11.5	9.5	8.6	9.1	8.6	8.5	8.6	9.7	12.5	
t	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4	0.0	1.1	1.64	3.28	4.7	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3	0.8	0.7	0.7	0.8	0.4	
v	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4	0.0	1.1	1.64	3.28	4.7	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3	0.8	0.7	0.7	0.8	0.4	
休息・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4	0.0	1.1	1.64	3.28	4.7	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3	0.8	0.7	0.7	0.8	0.4	
A																										
児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.3	1.1	1.8	7.7	19.7	31.3	28.4	20.0	25.4	25.2	26.6	25.6	21.8	22.5	18.9	28.4	25.8	18.2	16.2	12.4	8.1	5.5	3.6	2.8	
B																										
児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.5	0.9	0.0	0.1	0.3	0.6	0.9	2.2	3.3	2.4	2.9	2.3	1.7	1.5	1.2	0.2	0.7	1.0	0.9	0.9	0.9	0.7	0.6	0.8	0.7	
C																										
学校の運営にかかわる業務及びその他の職務	2.0	3.0	3.7	12.4	43.2	69.2	62.2	66.0	68.5	62.4	58.8	59.3	62.1	66.7	53.7	42.4	59.3	63.7	69.1	72.1	74.9	79.1	81.8	85.2	82.8	
D																										
外部対応	0.0	0.0	0.1	0.0	1.4	4.5	4.0	3.9	7.4	8.9	11.3	11.0	10.2	8.5	5.3	4.6	8.1	8.6	10.1	10.1	11.0	11.2	10.8	9.0	8.0	

時間別行為者率(30分ごとの平均)

■ 5~19% ■ 20%以上



(図表 5-45) 第 4 期休日 小学校 教頭

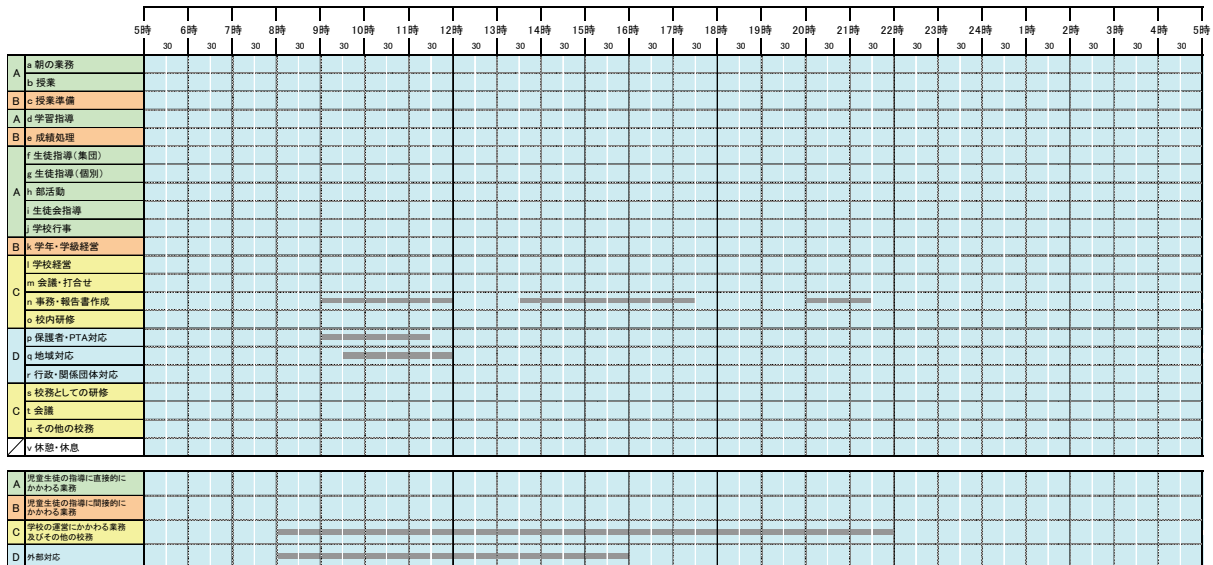
第4期【小学校】 休日・教頭・副校長

母数 = 1,335

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B c 授業準備	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.4	0.4	0.3	0.3	0.5	0.6	0.4	0.6	0.7
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	0.7	0.9	0.9	0.8	0.8	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
学校行事	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校経営	0.0	0.0	0.2	0.4	1.6	2.7	1.7	1.9	1.5	1.7	1.5	1.9	1.7	1.5	1.6	2.2	1.6	1.3	1.4	1.4	1.2	1.1	0.9	1.4	0.9
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0
C n 事務・報告書作成	0.3	0.3	0.5	0.6	1.0	1.6	2.5	3.3	6.1	6.9	8.9	8.8	8.1	7.2	4.3	3.7	4.9	5.6	6.6	6.9	7.6	7.4	7.2	6.4	5.0
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
p 保護者・PTA対応	0.1	0.1	0.1	0.3	0.9	1.6	3.1	4.3	5.0	5.1	5.3	4.8	3.5	2.7	2.6	2.8	2.4	2.0	1.9	2.1	1.9	1.1	0.6	0.5	0.6
D q 地域対応	0.0	0.0	0.1	0.3	1.1	2.1	3.2	4.3	4.7	5.7	5.6	5.9	5.7	5.2	3.5	3.6	3.5	3.7	3.4	3.5	3.2	2.8	2.5	1.9	1.0
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.7	1.1	1.0	1.0	1.2	1.0	1.0	0.8	0.5	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.2	0.2
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
C t 会議	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.6	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8	0.4	0.3	0.7	0.8	0.9	0.9	0.7	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1
u その他の校務	0.1	0.1	0.4	0.8	1.2	1.3	2.0	2.5	3.4	3.5	3.9	3.7	3.7	3.4	2.8	2.2	2.5	2.4	2.2	2.9	2.9	2.2	2.1	1.4	1.0
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.5	2.7	2.8	1.5	0.7	0.5	0.4	0.2	0.2	0.2	0.3	0.4
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	1.0	1.4	1.4	1.6	1.6	1.1	1.2	1.0	0.7	0.9	0.7	0.8	0.5	0.4	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.7	0.8
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.4	0.4	1.3	2.8	4.8	7.6	7.9	12.4	13.0	15.7	15.4	14.8	13.6	9.2	8.1	10.6	11.1	11.6	11.7	13.1	12.7	11.5	9.8	8.0	6.4
D 外部対応	0.1	0.1	0.3	0.6	2.0	3.8	6.9	9.2	10.9	11.8	11.9	12.5	12.1	11.1	7.6	6.8	6.7	7.0	6.7	6.4	5.6	5.1	4.9	4.3	2.4

時間別行為率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-46) 第 4 期勤務日 中学校 教頭

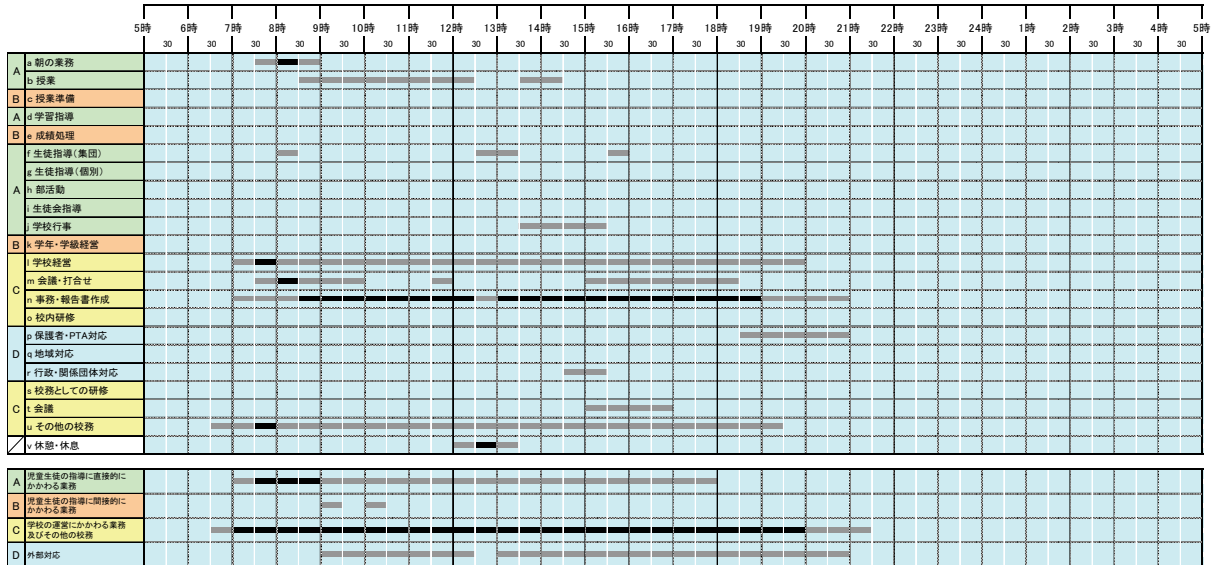
第4期【中学校】 勤務日・教頭・副校長

母数＝ 2,687

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
30 30																									
A	朝の業務																								
B	授業																								
C	授業準備																								
D	学習指導																								
E	成績処理																								
F	生徒指導(集団)																								
G	生徒指導(個別)																								
H	部活動																								
I	生徒会指導																								
J	学校行事																								
K	学年・学級経営																								
L	学校経営																								
M	会議・打合せ																								
N	事務・報告書作成																								
O	校内研修																								
P	保護者・PTA対応																								
Q	地域対応																								
R	行政・関係団体対応																								
S	校務としての研修																								
T	会議																								
U	その他の校務																								
V	休憩・休息																								
A	児童生徒の指導に直接的にかかわる業務																								
B	児童生徒の指導に間接的にかわる業務																								
C	学校の運営にかかわる業務及びその他の校務																								
D	外部対応																								

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-47) 第 4 期休日 中学校 教頭

第4期【中学校】

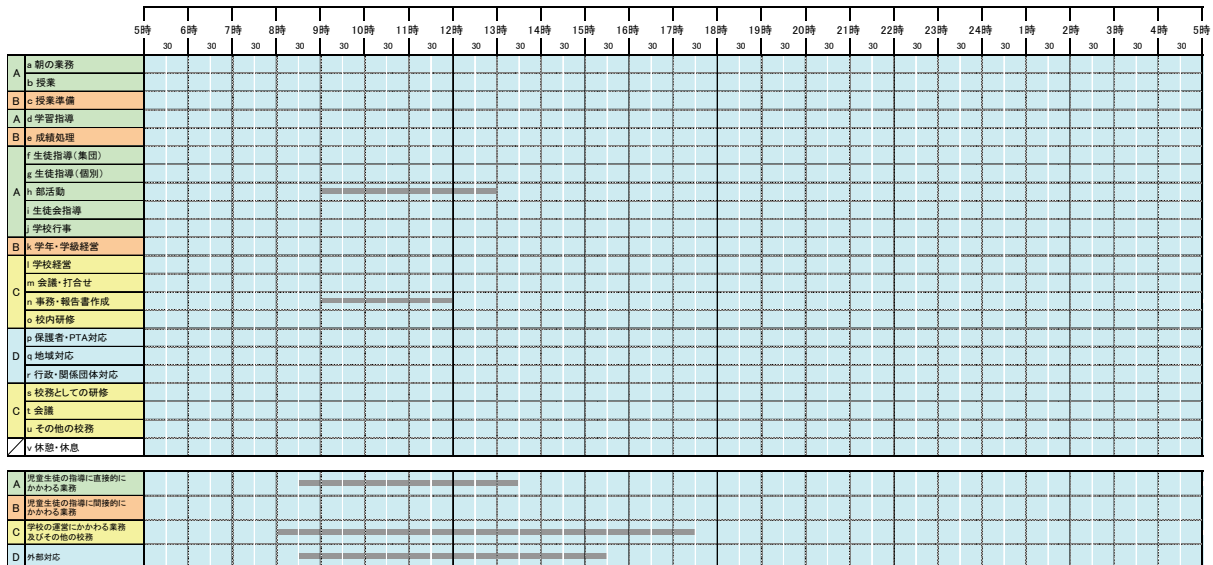
休日・教頭・副校長

母数 = 1,360

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B c 授業準備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A h 部活動	0.0	0.0	0.1	1.5	2.1	3.8	4.8	5.6	6.0	6.4	6.4	6.3	6.3	5.4	5.1	4.5	4.3	4.0	3.9	3.3	3.2	2.3	1.8	1.3	0.5
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校経営	0.0	0.1	0.1	0.2	0.6	1.1	2.3	2.1	2.1	1.8	1.5	1.5	1.3	1.4	0.8	0.9	1.1	0.9	0.9	0.8	0.7	1.1	1.3	1.4	1.1
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.2	0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
C n 事務・報告書作成	0.1	0.1	0.0	0.1	0.4	0.7	2.0	3.7	6.3	7.6	8.0	7.9	7.4	6.8	3.5	3.7	4.2	4.6	4.9	4.8	4.5	3.8	3.8	2.8	2.3
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	1.0	2.1	2.9	3.7	3.8	4.0	3.8	3.0	2.9	2.6	2.3	2.6	2.5	2.4	2.3	1.6	1.5	1.0	0.5	0.6
D q 地域対応	0.0	0.0	0.1	0.2	0.7	1.0	2.3	2.9	3.7	3.8	3.5	3.5	3.1	2.1	2.8	2.5	2.7	2.3	2.3	2.4	1.9	1.8	1.8	0.9	0.8
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.7	0.8	0.8	0.8	0.7	0.5	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1
u その他の校務	0.0	0.0	0.1	0.6	1.2	1.9	2.6	4.3	4.4	4.7	4.9	4.7	4.0	3.0	2.9	3.7	3.8	3.6	3.5	3.0	3.2	2.3	2.1	2.1	1.3
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.6	2.8	2.0	0.6	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.2	0.7	1.8	2.5	4.3	5.3	6.1	6.5	6.9	7.0	6.8	6.6	5.9	5.7	5.0	4.8	4.4	4.1	3.5	3.4	2.4	1.9	1.5
B 児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.5	0.4	0.3	0.3	0.0	0.1	0.2	0.4	0.7	0.7	0.6	0.8	0.8	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.4
C 学校の運営にかかわる業務 及びその他の校務	0.1	0.2	0.1	0.5	1.6	3.3	6.6	9.4	14.0	15.2	15.6	15.7	14.6	13.5	8.1	8.2	9.7	9.9	10.3	10.1	9.1	8.5	6.1	7.9	6.7
D 外部対応	0.0	0.0	0.1	0.3	1.3	2.1	4.6	6.0	7.5	7.8	8.1	7.5	6.9	6.4	5.0	5.6	6.0	5.1	5.1	5.0	4.5	3.6	3.5	1.9	1.4

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



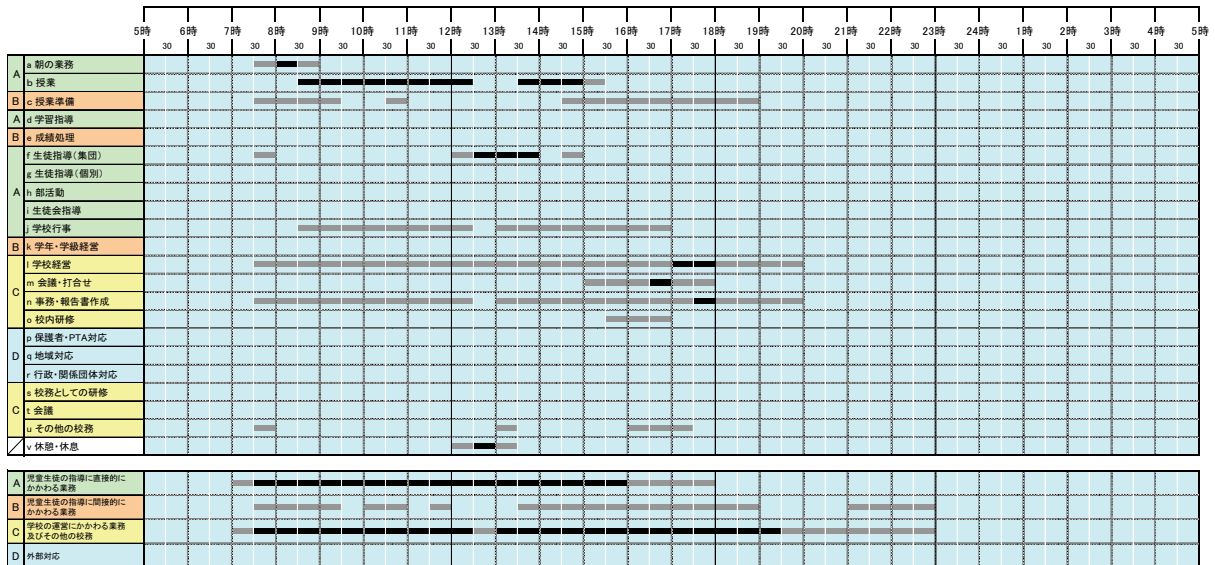
(図表 5-48) 第 4 期勤務日 小学校 教務主任

第4期【小学校】 勤務日・教諭 教務主任

母数＝ 2,246

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.4	2.3	16.4	44.1	17.1	0.4	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
c 授業準備	1.4	1.6	1.4	1.2	3.0	13.3	12.7	9.2	9.9	3.9	4.8	5.7	3.0	3.1	2.7	0.7	2.9	3.5	4.6	5.3	5.4	6.9	7.9	8.0	8.4
d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3	1.2	1.7	2.4	2.3	1.6	2.1	2.4	1.8	1.1	1.6	1.4	2.1	2.3	1.8	2.4	2.2	1.5	0.7
e 成績処理	0.3	0.2	0.0	0.1	0.1	0.2	1.1	1.3	1.4	1.1	1.2	3.0	1.4	1.6	1.2	0.5	1.1	1.6	2.7	3.3	3.8	4.2	3.7	3.8	4.3
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.1	0.3	1.2	9.2	4.7	0.7	0.1	0.2	1.3	1.3	0.2	0.7	1.2	4.7	4.3	3.3	2.3	6.1	4.9	4.2	2.0	0.8	0.7
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.7	1.0	1.2	1.2	0.9	0.9	0.9	1.4	1.2	0.8	1.2	1.7	1.4	0.6	0.5	0.5	0.4
h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	1.2	1.1	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	1.0	0.8	0.8	1.7	3.2	2.9	2.6	2.0	1.6	1.4	1.2
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	0.4	0.3	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	0.8	0.9	0.9	2.0	3.0	1.9	0.5	0.2	0.0	0.0
j 学校行事	0.3	0.6	0.9	1.2	1.9	3.3	4.8	8.5	6.5	7.3	7.5	7.5	7.2	6.5	5.5	4.6	6.3	7.0	6.9	7.4	6.8	6.1	5.0	4.0	3.0
k 学年・学級経営	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.4	0.7	0.3	0.4	0.1	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.0	0.4	0.3	0.4	1.0	0.9	1.4	1.0	1.0	1.3
l 学校経営	0.1	0.2	0.1	1.7	4.9	13.3	12.6	12.3	11.4	8.9	8.6	10.7	9.8	11.3	10.0	5.3	12.0	9.3	12.9	14.2	14.1	16.3	17.1	17.5	21.8
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.7	3.1	2.6	1.8	1.0	0.8	0.8	0.7	0.6	1.3	1.8	1.2	1.3	2.0	3.2	7.3	11.4	17.6	20.7	19.9
n 事務・報告書作成	0.9	1.0	0.6	1.0	2.7	8.0	7.9	8.5	10.0	8.1	7.7	7.7	7.7	9.3	7.3	4.4	7.6	7.5	10.0	11.0	10.7	12.0	12.4	13.8	18.8
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	1.1	1.2	1.4	1.6	1.1	0.5	0.1	0.4	1.3	2.1	2.2	4.8	6.8	8.1	6.5	2.9	1.5
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5	0.3	0.6	0.8	0.7	0.9	0.6	0.6	0.4	0.9	1.2	0.8	1.1	1.2	1.4	1.6	2.3	1.7	1.8	1.8
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.4	0.3	0.5	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.3
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	0.8	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.1	0.2	0.5	0.4	0.4	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5	0.3	0.1	0.2
s 校務としての研修	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	0.6	0.7	0.6	0.7	0.9	0.7	0.7	1.5	2.4	2.7	2.9	3.1	3.1	3.1	2.7	1.0	0.4
t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.5	0.4	0.2	0.4	0.9	1.4	2.0	3.0	3.9	4.0	3.6	2.1	1.7
u その他の校務	0.3	0.5	0.6	1.2	3.5	5.0	2.0	2.2	1.9	1.6	1.7	2.5	1.9	2.2	2.2	4.5	5.4	3.9	3.3	4.5	4.8	4.9	5.3	6.1	6.1
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	0.0	0.3	0.4	6.1	21.2	7.3	0.7	0.2	0.2	0.4	0.9	1.2	1.3	0.5
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.3	0.7	1.2	2.1	5.7	31.4	58.6	61.4	60.2	72.0	70.3	84.2	70.9	87.4	85.2	56.0	58.4	85.0	58.8	47.8	48.7	38.3	24.5	14.3	10.1
B 児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	1.7	2.0	1.4	1.2	3.3	13.9	14.5	10.8	11.8	4.7	8.4	9.1	4.8	5.0	4.1	1.2	4.4	5.3	7.8	9.6	10.2	12.5	12.6	12.8	14.0
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	1.5	1.9	1.4	4.0	11.8	27.2	26.0	28.4	28.2	21.8	21.1	24.3	22.9	28.0	22.5	17.0	28.7	26.5	34.4	40.0	47.8	58.4	67.6	70.9	64.7
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.9	0.7	1.4	1.1	1.2	1.4	1.0	1.0	0.6	1.2	2.0	1.5	2.0	2.4	2.5	2.9	2.6	2.7	2.4

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



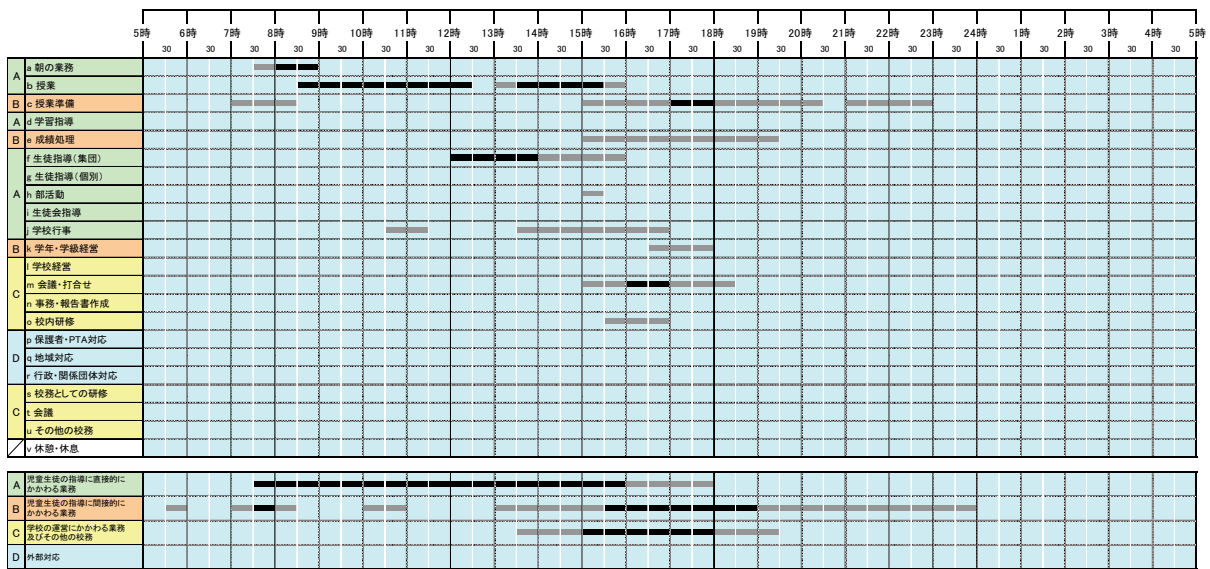
(図表 5-52) 第 4 期勤務日 小学校 教諭 (学級担任)

第4期【小学校】 勤務日・教諭 学級担任

母数 = 33,975

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.2	1.4	18.8	85.4	33.2	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	3.0	58.2	88.3	88.4	89.9	72.7	87.1	87.0	61.5	2.8	5.0	36.2	69.4	48.8	25.9	10.0	0.4	0.3	0.3
B c 授業準備	2.8	3.3	2.3	2.0	5.2	17.9	12.0	1.4	1.5	1.8	3.7	4.8	1.8	1.7	1.5	0.2	1.9	2.4	2.7	4.2	7.1	11.0	15.3	18.5	22.1
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.2	1.1	0.3	0.4	0.5	1.4	1.8	0.5	0.5	0.4	0.3	2.6	1.4	1.2	1.7	3.0	4.0	3.8	2.1	1.0
B e 成績処理	1.2	1.3	0.7	0.4	0.5	2.2	1.9	0.5	0.8	1.3	2.4	3.9	1.5	1.6	1.3	0.7	3.9	2.2	2.9	4.3	7.5	11.1	13.1	14.3	16.2
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.8	3.1	0.9	0.1	0.1	1.5	3.8	0.4	1.2	27.1	87.8	89.0	41.0	5.3	13.6	12.2	8.1	3.2	0.8	0.6
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.7	0.2	0.1	0.2	0.4	1.0	0.1	0.1	0.2	0.5	1.6	0.9	0.4	0.9	1.3	1.3	1.2	0.7	0.6	0.5
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	2.0	1.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.6	0.5	0.7	2.6	5.1	4.2	3.1	2.2	1.2	0.8
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.6	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.9	0.8	0.6	1.8	3.8	2.7	0.6	0.2	0.1	0.1
学校行事	0.1	0.3	0.5	0.7	1.5	2.7	3.0	4.5	4.9	4.6	4.9	5.2	5.0	4.5	3.4	3.2	4.7	5.4	5.7	6.0	6.5	6.7	6.4	5.6	4.7
B k 学年・学級経営	0.7	0.9	0.8	0.4	0.4	2.0	1.8	0.3	0.3	0.4	0.8	2.0	0.5	0.5	0.4	0.4	2.9	1.7	1.4	2.9	3.2	4.5	4.9	5.2	5.9
学校経営	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.7	0.3	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.4	0.3	0.3	0.6	1.1	2.0	3.2	3.5	3.7	3.2
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.4	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.5	0.7	1.3	2.7	8.1	14.4	20.8	22.7	18.1	10.0
C n 事務・報告書作成	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.5	1.0	1.5	2.2	3.3	4.1	3.8	3.1	2.4	1.5
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	0.5	0.5	0.6	0.4	0.2	0.0	0.1	0.9	1.9	2.1	4.2	6.6	7.7	6.5	2.8	1.5
D p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.7	1.4	2.0	2.2	2.3	1.9	1.6	1.4	1.3
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.5	0.4	1.4	2.0	2.4	2.5	2.7	2.8	2.7	2.1	0.8	0.3
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.4	0.6	0.9	1.1	1.6	2.0	2.3	2.1	1.2	0.7
u その他の校務	0.1	0.1	0.1	0.2	0.6	1.7	0.7	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4	0.5	0.7	1.2	1.3	1.1	1.4	2.0	2.4	3.0	3.6	3.0	2.2
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6	1.2	0.0	0.1	1.2	1.6	1.9	0.6	0.1	0.2	0.4	0.9	1.1	1.0	1.0	0.7

時間別行為率(30分ごとの平均) 5~19% 20%以上



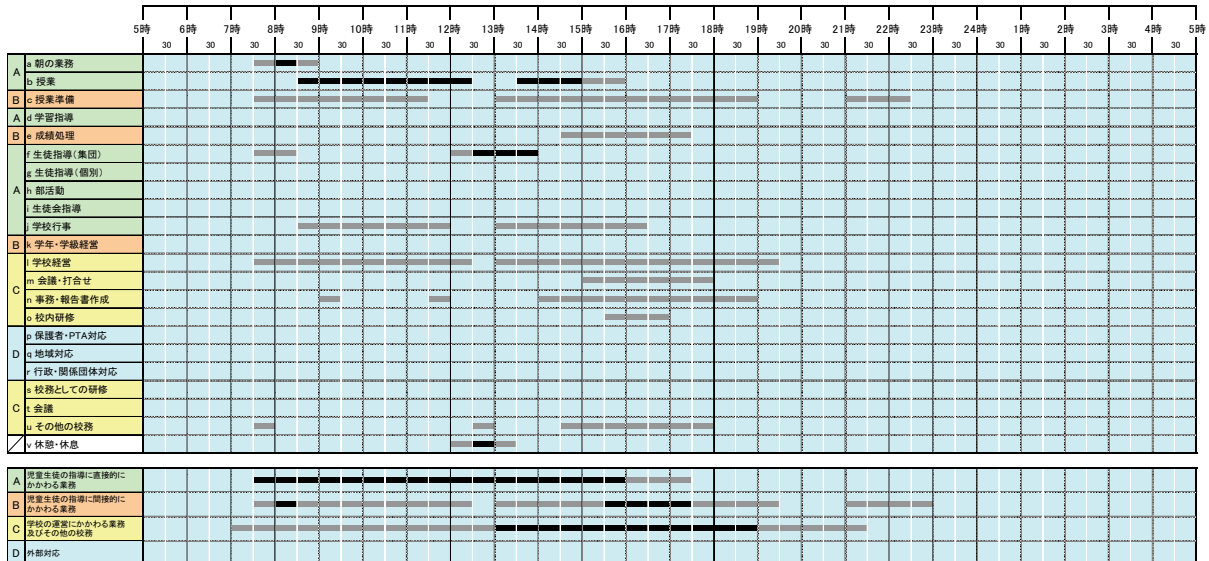
(図表 5-54) 第4期勤務日 小学校 教諭 (担任なし)

第4期【小学校】 勤務日・教諭 学級担任でない

母数 = 5,974

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	
朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.2	1.1	7.6	37.9	17.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.4	36.8	58.2	66.9	62.4	56.4	45.1	42.2	2.0	2.9	22.8	45.0	31.2	17.7	7.3	1.7	0.9	0.5	0.4	0.3	0.1
授業準備	0.7	0.9	1.1	0.6	3.5	14.9	19.5	13.7	12.8	5.6	7.3	7.4	5.2	4.4	3.9	1.3	5.2	6.5	8.4	10.8	11.0	13.2	14.1	16.0	16.5	13.9
学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	1.6	1.6	2.2	2.6	2.9	3.0	2.2	2.4	1.7	1.4	3.7	2.4	2.2	2.4	2.1	2.5	2.0	1.4	0.7	0.5
成績処理	0.1	0.2	0.2	0.1	0.5	0.7	1.0	1.0	0.8	0.8	1.8	1.3	1.4	1.2	1.4	2.2	1.7	3.5	5.1	5.7	6.6	6.4	5.9	5.2	4.2	2.7
生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.1	0.2	0.7	7.7	5.2	0.8	0.2	0.2	1.2	2.1	0.2	0.7	1.6	4.1	43.9	32.8	17	3.5	4.7	3.1	1.5	0.5	0.4	0.3
生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.7	0.8	0.8	0.8	0.9	1.2	0.8	0.8	0.9	1.3	1.5	1.5	0.8	0.6	0.9	0.6	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2
部活動	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	2.0	1.8	0.3	0.2	0.2	0.4	0.6	0.3	0.3	0.3	0.6	1.6	0.8	0.7	2.3	4.3	4.5	4.7	3.7	1.5	0.6
生徒会指導	0.1	0.1	0.1	0.0	0.9	0.9	0.3	0.1	0.0	0.2	0.6	0.1	0.1	0.6	1.3	1.6	0.9	0.6	1.8	2.8	1.9	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0
学校行事	0.1	0.3	0.6	0.8	1.4	2.7	4.2	6.9	6.8	6.1	6.3	6.5	6.2	5.7	4.7	4.2	5.7	6.3	6.8	6.7	6.8	5.8	5.3	4.1	2.8	2.1
学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	1.0	0.8	0.6	0.3	0.3
学校経営	0.3	0.3	0.4	0.7	2.8	6.8	7.5	7.0	6.7	5.5	5.4	6.3	6.0	6.8	6.3	3.3	7.1	6.0	8.4	9.2	9.5	11.1	11.5	12.4	13.4	12.3
会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	2.3	2.0	1.2	0.6	0.5	0.8	0.8	0.8	1.5	1.8	1.3	1.3	1.8	2.8	7.0	10.8	16.1	17.5	11.1	8.8	4.1
事務・報告書作成	0.6	0.7	0.2	0.3	1.1	3.9	4.3	4.8	5.7	4.4	4.2	4.2	4.7	5.3	4.2	2.0	4.3	4.8	6.1	6.9	7.8	8.3	9.1	12.2	11.8	9.4
校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5	1.3	1.2	1.4	1.5	1.2	0.8	0.3	0.5	1.3	2.4	2.4	4.6	6.4	7.6	6.5	3.2	1.8	1.1	0.7
保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.4	0.5	0.8	0.7	0.9	1.0	1.2	1.2	1.2	1.1	1.2	1.0	0.8	0.8
地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.9	0.4	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.2	0.1	0.2
校務としての研修	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.3	0.7	1.2	1.3	1.3	1.3	1.4	0.8	0.7	1.7	2.6	3.0	3.4	3.8	3.7	3.5	2.9	1.1	0.6	0.4	0.3
会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.8	1.2	1.6	2.2	3.0	3.4	3.1	2.0	1.3	1.0	1.0	0.8
その他の校務	0.1	0.2	0.3	0.5	2.4	5.0	4.2	3.2	2.5	2.1	2.2	2.5	2.3	2.5	3.1	5.2	4.7	4.0	4.2	5.1	5.4	6.0	6.9	8.1	8.6	8.2
休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.7	1.8	0.1	0.4	5.5	28.1	7.8	0.6	0.2	0.2	0.6	1.3	1.8	1.4	1.4	0.8	0.6
児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.2	0.4	0.8	1.3	3.6	22.1	53.6	65.2	66.6	76.8	74.4	70.3	74.9	74.1	70.4	53.8	60.9	67.5	57.7	48.5	39.3	25.7	16.0	11.0	6.4	4.2
児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	0.8	1.0	1.3	0.8	3.7	15.7	20.4	14.9	13.7	6.5	8.3	9.4	6.6	5.9	5.2	2.8	7.7	8.5	12.2	16.4	17.1	20.3	21.2	22.8	22.6	18.6
学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	1.1	1.3	0.9	1.6	6.7	16.4	18.7	18.2	18.0	15.1	15.1	16.8	17.2	18.5	17.0	13.6	20.4	21.2	27.8	32.3	30.9	49.2	57.2	59.5	51.6	40.5
外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.1	0.8	0.5	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8	0.6	0.8	1.4	1.2	1.5	1.5	1.8	1.9	1.9	2.0	1.5	1.2

時間別行為者率(30分ごとの平均) 5~19% 20%以上



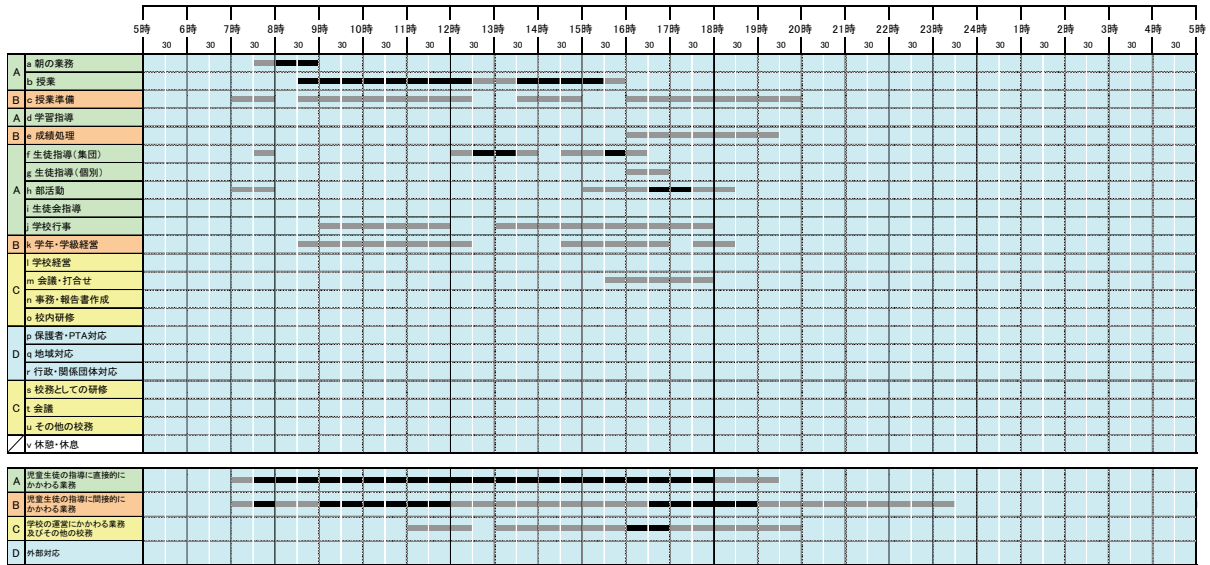
(図表 5-56) 第 4 期勤務日 中学校 教諭 (学級担任)

第4期【中学校】 勤務日・教諭 学級担任

母数 = 30,341

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.3	1.8	14.7	78.4	28.8	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B a 授業	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.9	48.5	42.8	82.3	69.7	89.9	80.7	69.3	54.2	10.1	9.9	45.9	54.8	42.0	31.8	25.3	1.3	0.4	0.2	0.1
B b 授業準備	0.8	1.1	0.9	1.4	5.9	14.8	4.8	8.0	12.2	12.2	13.4	12.0	12.1	10.8	9.5	2.3	3.8	7.6	7.9	5.3	4.4	3.7	5.5	7.8	10.3
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.0	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.2	0.9	0.6	0.4	0.4	0.9	1.2	2.2	2.4	1.5	0.9	0.5
B e 成績処理	0.6	0.7	0.4	0.3	0.7	1.4	0.3	1.8	2.6	3.1	3.5	3.7	3.8	3.9	3.5	1.4	2.0	3.3	3.4	3.1	3.6	4.2	6.0	7.6	8.5
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	5.4	3.7	2.8	0.4	0.2	0.2	0.4	0.5	2.1	10.0	88.8	55.8	12.3	3.9	15.1	14.8	25.5	12.0	3.9	2.8
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.3	0.8	0.4	0.9	1.1	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.3	1.1	2.9	2.4	1.7	1.9	2.8	4.1	5.9	6.0	4.5	3.5
A h 部活動	0.0	0.1	0.6	1.4	6.5	13.7	3.4	2.5	2.6	2.6	2.6	2.7	2.7	2.6	2.6	3.0	3.0	3.1	3.7	5.2	9.2	18.1	25.2	25.5	19.0
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
学校行事	0.2	0.3	0.6	0.8	1.8	3.7	2.7	4.7	5.7	5.4	5.5	5.8	5.8	4.8	4.1	6.3	8.6	9.2	10.1	10.2	9.6	9.3	8.1	6.6	5.6
B k 学年・学級経営	0.3	0.3	0.2	0.3	1.4	3.7	1.4	5.3	6.6	6.4	6.4	6.5	6.1	5.7	5.4	2.0	3.8	4.7	4.3	5.1	7.0	7.4	8.1	5.1	4.7
学校経営	0.0	0.1	0.1	0.3	0.4	0.6	0.1	0.5	0.7	0.7	0.7	0.9	0.8	0.8	0.8	0.2	0.5	0.7	0.7	0.6	0.7	0.8	1.2	1.5	1.9
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.8	0.8	1.0	1.1	1.0	0.7	0.7	1.1	1.2	0.5	0.6	0.9	1.0	1.4	3.7	5.0	10.9	11.8	9.2
n 事務・報告書作成	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.9	0.2	0.6	0.8	0.7	0.7	0.9	0.9	0.9	0.8	0.3	0.4	0.8	0.8	0.7	0.8	0.9	1.4	2.1	2.8
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.5	0.7	0.8	1.4	1.9	1.8	1.4	0.5	0.4
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.7	0.9	1.1	1.3	1.4	1.7	1.8	2.0	2.1
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.5	0.7	0.8	0.9	0.8	0.7	0.7	1.3	1.8	2.1	2.2	2.4	2.4	2.3	1.8	0.6	0.3	0.1
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	1.0	1.4	1.7	2.1	2.6	3.0	3.1	2.8	1.6	1.0	0.7
u その他の校務	0.1	0.2	0.3	0.8	1.2	1.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	1.0	1.1	1.1	1.5	1.4	1.3	1.4	1.5	1.8	2.2	3.0	3.3	3.2	2.8
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	1.7	2.9	3.4	1.5	0.3	0.2	0.3	0.3	0.5	1.1	0.8

時間別行為者率(30分ごとの平均) 5~19% 20%以上



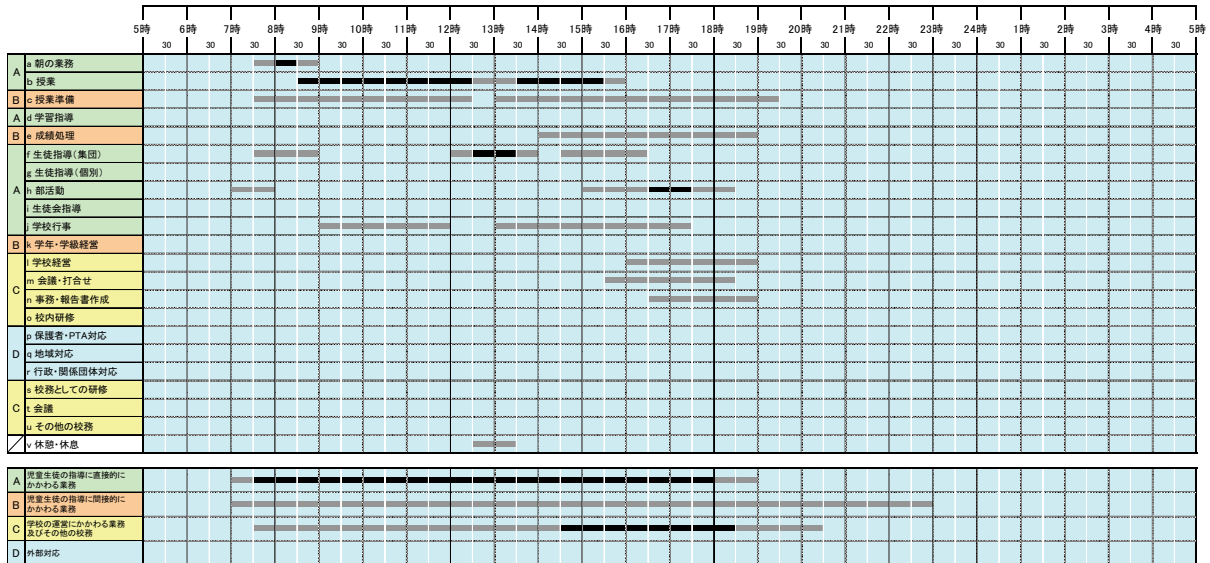
(図表 5-58) 第 4 期勤務日 中学校 教諭 (担任なし)

第4期【中学校】 勤務日・教諭 学級担任でない

母数 = 16,402

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
a 朝の業務																									
b 授業																									
B c 授業準備																									
A d 学習指導																									
B e 成績処理																									
f 生徒指導(集団)																									
g 生徒指導(個別)																									
A h 部活動																									
生徒会指導																									
学校行事																									
B k 学年・学級経営																									
学校経営																									
C m 会議・打合せ																									
n 事務・報告書作成																									
o 校内研修																									
D p 保護者・PTA対応																									
q 地域対応																									
行政・関係団体対応																									
r 校務としての研修																									
C s 会議																									
t その他の校務																									
v 休憩・休息																									
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務																									
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務																									
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務																									
D 外部対応																									

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



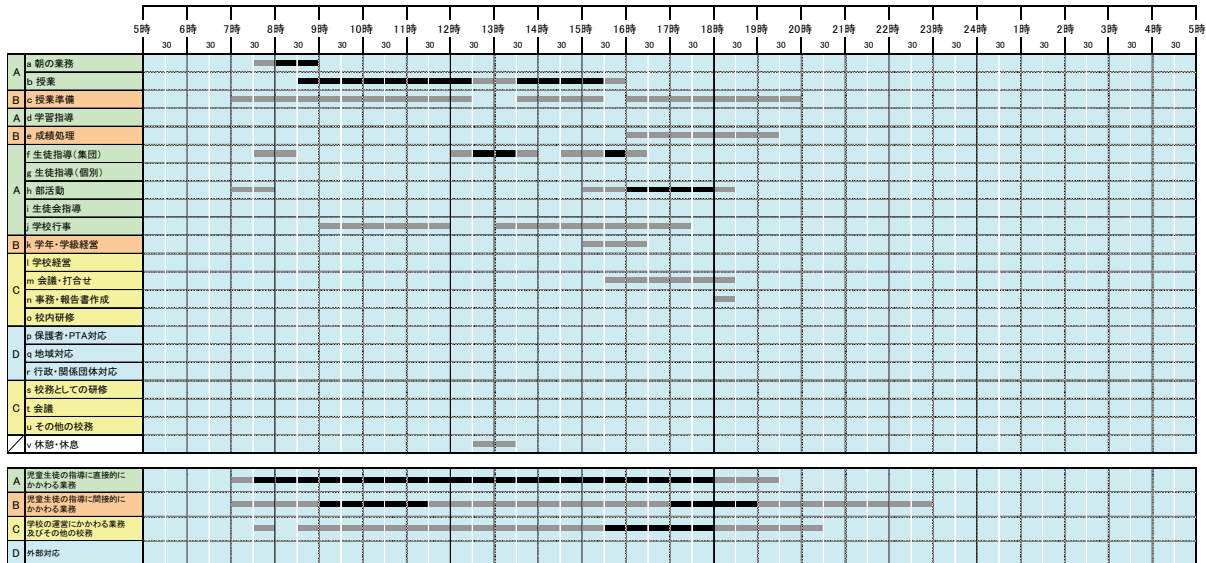
(図表 5-60) 第 4 期勤務日 中学校 教諭 (運動部顧問)

第4期【中学校】 勤務日・教諭 運動部顧問

母数 = 34,607

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.2	1.6	14.1	72.1	24.7	0.4	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B a 授業	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.8	39.8	58.7	80.4	59.9	59.2	58.9	58.3	52.4	9.4	9.7	42.6	50.4	38.5	28.9	7.8	1.2	0.3	0.1	0.1
B b 授業準備	0.7	1.0	0.9	1.5	5.8	14.5	5.1	9.8	13.4	12.5	13.0	12.4	12.5	10.8	9.4	2.5	4.8	8.1	8.4	6.1	5.3	4.1	5.4	6.8	9.1
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.2	0.9	0.6	0.5	0.5	1.1	1.2	2.3	2.4	1.5	0.8
B e 成績処理	0.5	0.5	0.4	0.3	0.8	1.4	0.4	2.0	2.7	3.3	3.4	3.8	3.9	4.0	3.7	1.5	2.4	3.6	3.8	3.6	4.0	4.4	5.8	6.9	7.6
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	7.1	5.9	3.5	0.4	0.3	0.2	0.4	0.5	2.0	8.9	81.6	48.3	11.8	4.1	14.0	13.1	23.8	10.2	3.4	3.1
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.3	0.9	1.1	1.1	1.1	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	2.8	2.2	1.6	1.8	2.6	3.5	4.8	4.7	3.7	3.0
A h 部活動	0.0	0.2	0.7	1.9	8.0	16.5	4.3	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.7	3.7	3.8	4.4	6.2	10.5	10.5	28.1	28.1	21.2	10.0
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	1.7	0.8	0.9	1.7	3.2	4.0	3.9	2.8	1.6
学校行事	0.1	0.3	0.5	0.7	1.7	3.2	2.8	4.7	5.6	5.3	5.4	5.6	5.7	5.7	4.7	4.2	6.4	8.5	9.1	10.0	10.9	9.2	8.6	7.5	5.9
B k 学年・学級経営	0.2	0.2	0.1	0.2	1.2	2.8	1.0	3.9	4.8	4.8	4.8	4.9	4.6	4.4	4.1	1.4	2.8	3.6	3.3	4.0	5.3	5.6	6.3	4.0	3.7
学校経営	0.1	0.1	0.1	0.4	1.0	2.1	0.8	1.3	1.7	1.6	1.6	1.7	1.6	1.7	1.7	0.9	1.5	1.7	1.9	1.9	2.1	2.1	2.6	2.8	3.4
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	1.6	1.4	1.6	1.5	1.2	0.9	0.9	1.4	1.5	0.7	0.7	1.1	1.1	1.5	4.0	8.2	11.2	11.9	9.2
n 事務・報告書作成	0.2	0.3	0.2	0.2	0.8	1.4	0.5	1.2	1.5	1.4	1.4	1.5	1.6	1.7	1.5	0.7	1.0	1.7	1.8	2.2	2.8	3.6	4.4	5.1	4.7
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.1	0.1	0.5	0.9	1.0	1.5	2.0	1.9	1.5	0.6	0.4	0.3
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.5	0.7	0.9	1.1	1.1	1.4	1.5	1.7	1.9
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.5	0.7	0.8	0.9	0.9	0.9	0.7	0.8	1.4	2.0	2.3	2.4	2.6	2.8	2.4	1.9	0.6	0.3	0.1
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.7	1.1	1.6	2.1	2.5	3.1	3.5	3.2	1.8	1.1	0.7	0.7
u その他の校務	0.1	0.1	0.3	0.8	1.5	2.3	0.9	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1	1.3	1.4	1.7	2.3	2.0	1.7	1.9	1.9	2.2	2.6	3.2	3.5	3.5
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	2.5	7.0	5.5	1.8	0.4	0.3	0.3	0.4	0.5	1.1	0.7	0.8

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



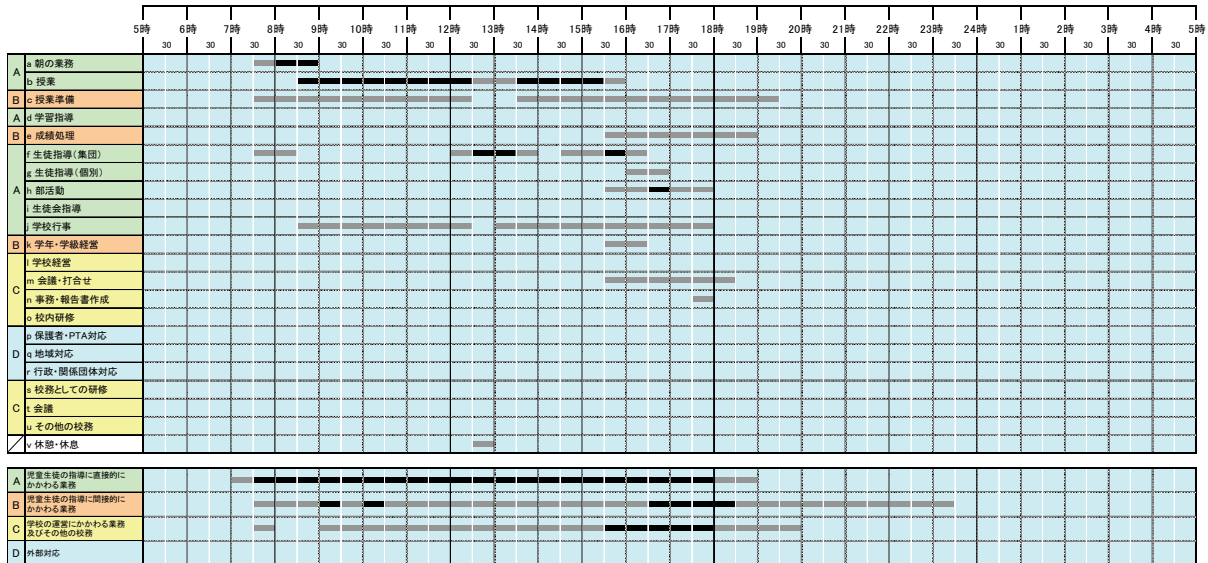
(図表 5-62) 第 4 期勤務日 中学校 教諭 (文化庁顧問)

第4期【中学校】 勤務日・教諭 文化庁顧問

母数 = 9,827

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A 朝の業務	0.0	0.0	0.1	0.3	1.5	14.5	73.1	27.3	0.7	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
a 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	1.0	48.5	42.9	64.6	63.2	63.7	61.3	55.0	11.2	45.6	52.1	38.6	27.8	68.0	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
B b 授業準備	1.1	1.4	0.8	1.1	3.7	19.7	6.0	9.7	13.1	12.5	13.5	11.4	11.3	10.2	9.5	3.1	4.8	8.0	8.0	5.9	5.3	5.2	7.1	9.4	11.2
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	1.3	0.9	0.5	0.6	1.0	1.4	2.4	2.7	1.9	1.3	0.6
B e 成績処理	0.7	0.7	0.5	0.3	0.4	1.0	0.5	2.0	2.9	3.3	3.8	3.8	3.7	4.4	4.1	1.9	2.2	3.6	4.0	4.0	4.8	5.3	7.0	8.4	9.0
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	5.1	6.3	4.1	0.6	0.3	0.3	0.5	0.5	2.4	9.0	60.9	50.9	10.9	4.0	14.9	14.1	22.9	9.9	3.4	2.9
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.2	0.7	1.1	1.1	1.2	1.2	1.4	1.3	1.2	1.5	3.0	2.0	1.7	1.8	2.7	3.8	5.3	5.0	3.6	2.6
A h 部活動	0.0	0.0	0.1	0.1	1.7	4.3	1.0	0.5	0.5	0.5	0.6	0.7	0.9	0.8	0.7	1.3	1.4	1.7	2.6	4.8	9.0	17.2	22.0	19.6	12.4
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	1.0	1.7	1.3	1.1	1.8	3.4	4.4	4.4	3.2
学校行事	0.1	0.2	0.4	0.7	1.7	3.3	2.7	5.1	6.2	5.7	5.7	6.1	6.3	6.2	5.1	4.2	6.7	9.5	9.9	10.8	10.5	9.7	8.6	7.9	6.7
B k 学年・学級経営	0.2	0.2	0.1	0.3	0.7	2.9	1.0	3.3	4.2	3.9	3.8	4.1	4.1	3.8	3.6	1.4	2.6	2.9	3.1	3.6	4.8	5.1	5.6	4.0	4.2
学校経営	0.1	0.1	0.0	0.2	1.1	1.8	0.7	1.1	1.5	1.2	1.2	1.4	1.4	1.5	1.4	0.7	1.0	1.6	1.8	1.7	1.8	1.9	2.4	3.1	3.4
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.3	0.8	1.1	1.1	0.9	0.8	0.8	1.1	1.3	0.8	0.8	1.3	1.3	1.7	4.4	8.4	11.1	11.5	9.0	6.6
C n 事務・報告書作成	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	1.4	0.3	1.3	1.5	1.4	1.5	1.6	1.8	1.7	0.7	1.2	1.7	1.8	1.9	2.1	2.1	2.8	3.7	4.4	5.0
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.6	0.9	1.0	1.5	2.0	1.8	1.4	0.5	0.4	0.3
D p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.1	0.2	0.6	0.7	0.9	1.1	1.3	1.4	1.5	1.6	1.8	2.0	2.5
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
r 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.5	0.6	0.7	0.6	0.7	0.4	0.5	1.0	1.6	1.9	2.0	2.1	2.2	2.0	1.5	0.5	0.2	0.1
C s 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	1.0	1.6	2.0	2.5	3.2	3.8	4.1	3.8	2.0	1.1	0.8
t その他の校務	0.1	0.1	0.0	0.5	1.2	1.5	0.7	1.1	1.1	1.2	1.2	1.1	1.3	1.5	1.8	2.1	2.3	2.6	2.5	3.2	3.9	4.0	4.1	3.4	2.8
休息・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	2.4	6.7	4.9	1.5	0.2	0.2	0.4	0.3	0.4	0.8	0.6

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



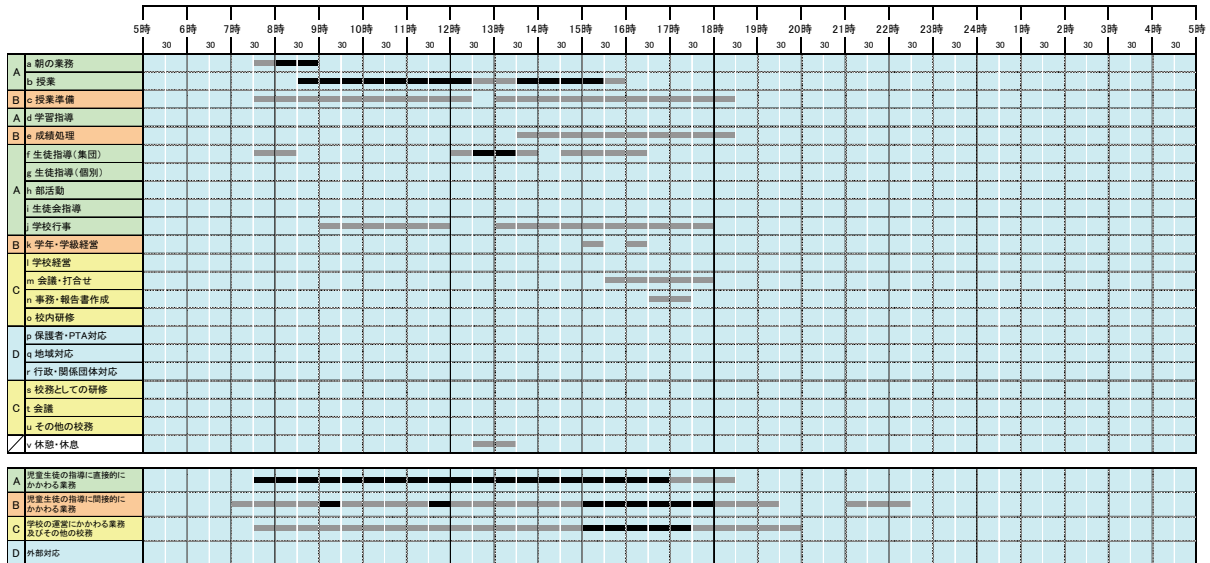
(図表 5-64) 第 4 期勤務日 中学校 教諭 (顧問無し)

第4期【中学校】 勤務日・教諭 顧問なし

母数 = 3,559

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A 朝の業務	0.0	0.0	0.0	1.2	11.2	83.2	32.2	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B a 授業	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	1.1	32.8	60.2	63.4	61.4	62.4	61.8	59.0	52.3	11.5	10.2	38.1	48.8	33.8	22.8	5.4	1.7	0.3	0.3	0.1
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.5	0.6	0.4	0.4	0.6	0.4	0.8	0.9	0.6	0.8	1.3	2.1	2.7	3.0	1.8	0.9	0.6	0.3	0.3
B e 成績処理	1.2	1.1	0.5	0.2	0.5	1.5	0.7	2.2	3.0	3.3	3.7	4.3	4.6	4.9	4.5	2.0	3.2	5.3	5.7	6.1	6.9	8.5	12.2	13.1	11.9
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.1	1.2	6.2	6.9	3.7	0.4	0.4	0.1	0.3	0.5	1.6	8.1	57.7	48.1	13.5	4.2	13.2	13.7	18.2	8.5	3.5	2.6	2.4
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	1.3	1.4	1.5	1.6	1.5	1.3	1.2	0.8	1.5	2.5	2.1	2.3	2.3	3.0	3.4	4.3	3.6	2.6	1.5
A h 部活動	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.7	0.8	0.8	1.0	0.9	0.8	1.1	1.7	2.1	1.7	1.3
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.1	0.4	0.5	0.6	1.0	2.2	2.2	3.9	5.7	5.3	5.2	5.4	5.1	4.6	4.1	6.7	8.9	10.2	10.7	12.1	11.7	11.5	10.4	9.5	5.8
B k 学年・学級経営	0.1	0.1	0.1	0.8	1.1	0.8	3.3	2.8	1.9	1.9	1.9	1.8	2.4	2.9	2.0	3.5	3.4	2.5	3.8	5.3	4.6	5.8	3.3	2.6	2.0
学校経営	0.0	0.1	0.1	1.0	1.7	1.3	2.6	2.9	2.5	2.8	3.1	3.0	3.1	2.6	0.9	1.6	3.1	3.1	2.9	2.9	3.9	4.6	4.9	4.3	3.8
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.1	0.9	3.0	1.4	1.0	1.2	1.2	0.8	0.8	0.9	1.1	0.7	0.8	1.2	1.6	2.0	4.7	5.0	10.3	11.2	7.3	5.0
n 事務・報告書作成	0.3	0.4	0.3	0.2	0.6	2.2	2.2	2.2	1.9	1.9	2.2	2.1	2.2	2.0	0.6	2.2	2.9	3.1	2.7	3.2	3.0	4.2	5.2	4.3	3.8
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.0	0.2	0.5	0.8	0.9	1.6	2.1	1.9	1.3	0.5	0.3	0.2	0.2
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
r 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8	0.7	1.0	1.0	1.0	1.1	0.9	0.6	1.0	1.9	2.2	2.3	2.4	2.6	3.0	2.6	0.6	0.2	0.1	0.1
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	1.5	2.0	2.5	3.1	3.9	4.2	4.0	3.2	1.9	1.1	0.5	0.4
u その他の校務	0.0	0.1	0.2	0.2	0.7	2.4	1.7	1.1	0.9	0.8	0.9	1.1	1.2	1.4	1.6	2.1	2.4	2.2	3.2	4.3	4.8	3.4	2.9	2.1	1.4
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.3	0.7	3.3	9.6	5.1	1.8	0.6	0.7	1.1	3.3	1.7	0.9	1.0	0.4	0.3
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.2	0.5	0.7	1.0	4.0	21.1	74.3	75.1	69.5	72.1	69.7	70.8	70.2	68.1	67.5	75.8	70.4	65.4	65.3	62.9	54.7	47.9	32.7	26.1	19.8
B 児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	2.6	2.8	1.5	1.0	5.2	18.4	11.8	15.8	20.6	18.6	19.8	18.4	18.9	20.1	19.0	8.0	12.9	18.0	17.4	18.5	20.8	21.9	30.8	31.8	28.8
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.3	0.6	0.5	0.4	2.3	7.3	7.2	8.5	8.5	8.1	8.7	9.2	9.2	9.7	9.2	5.6	9.7	13.1	14.9	16.1	21.1	28.1	31.2	32.6	24.6
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4	0.6	0.7	1.3	1.7	1.8	2.3	2.5	2.9	2.0	1.6	1.4

時間別行為者率(30分ごとの平均) 5~19% 20%以上



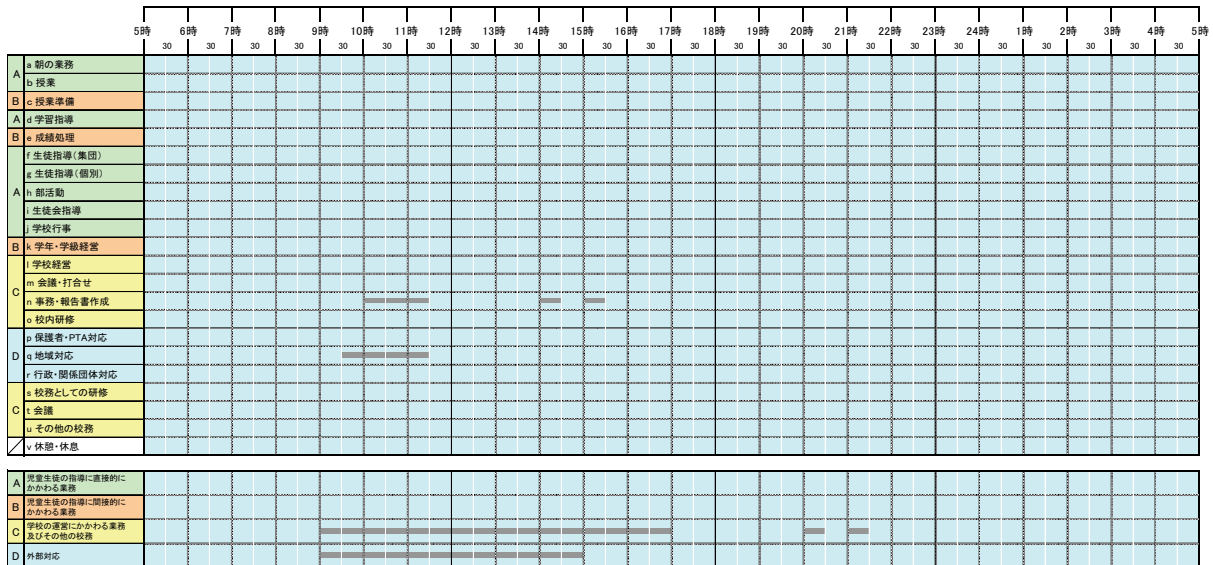
(図表 5-67) 第 6 期休日 小学校 校長

第6期【小学校】 休日・校長

母数＝ 1,421

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
B c 授業準備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
e 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.7	0.8	1.0	1.0	0.9	0.7	0.6	0.4	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
j 学校行事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
l 学校経営	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	0.2	0.3	0.4	0.4	0.6	0.7	0.6	0.6	0.3	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
C n 事務・報告書作成	0.2	0.2	0.1	0.2	0.4	0.3	0.4	1.1	3.0	3.2	5.8	5.5	5.3	4.3	1.8	1.9	3.2	4.1	5.1	4.9	3.6	2.7	1.6	1.3	0.6
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	1.3	1.9	2.7	3.7	4.0	3.8	4.0	3.6	2.7	2.2	2.5	2.4	2.3	2.3	2.0	1.9	1.4	1.2	0.8	0.5
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	1.5	2.3	4.4	5.0	5.7	6.0	5.2	4.7	3.0	2.9	3.9	3.8	3.5	3.1	2.4	1.8	1.6	0.9	0.5	0.4	0.7
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.5	0.4	0.6	0.4	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.4	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.6	1.2	1.3	1.3	1.4	1.3	1.1	0.6	1.6	2.0	2.3	2.1	2.0	1.8	1.5	1.1	0.7	0.6	0.5
u その他の校務	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	1.1	2.3	1.8	2.0	2.2	2.3	2.3	2.5	1.9	2.2	1.8	1.8	1.7	1.8	1.5	1.4	1.0	0.5	0.6	0.5
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	1.2	0.9	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	0.6	0.9	1.1	1.3	1.3	1.2	1.0	0.8	0.6	0.7	0.6	0.6	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.2	0.2	0.1	0.3	0.6	1.4	2.1	4.2	6.5	7.5	10.3	10.5	10.1	9.1	5.7	5.4	7.8	6.8	10.2	9.8	10.4	9.4	7.5	6.0	3.7
D 外部対応	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.8	2.9	4.2	7.5	9.0	10.2	10.2	9.8	8.7	5.9	5.3	6.6	6.5	6.1	5.7	4.9	4.1	3.4	2.3	1.5

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



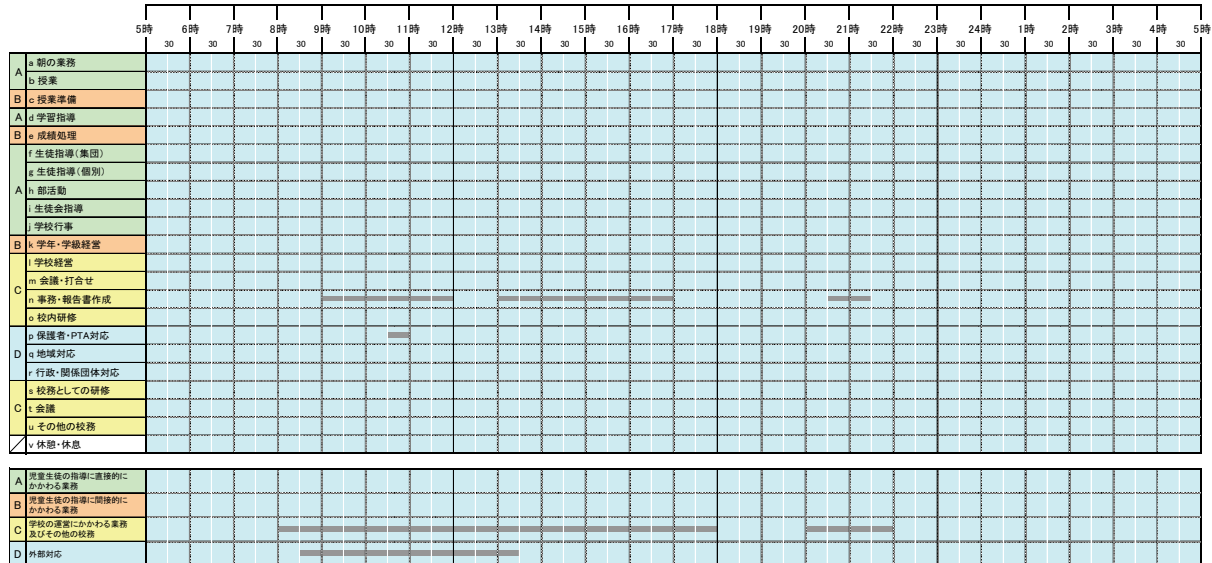
(図表 5-71) 第 6 期休日 小学校 教頭

第6期【小学校】 休日・教頭・副校長

母数＝ 1,499

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B c 授業準備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.8	0.8	0.5	0.5	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.5	0.4	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
e 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A h 部活動	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
学校経営	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	1.1	0.5	0.9	1.0	1.1	0.9	0.7	0.9	1.5	0.7	1.2	1.3	1.4	1.2	0.9	1.3	1.0	0.9	0.7	0.5
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
C n 事務・報告書作成	0.1	0.3	0.5	0.5	1.2	1.7	2.5	3.7	6.3	7.3	8.1	8.4	7.2	5.8	3.8	4.2	5.1	5.6	7.8	8.1	7.7	7.2	6.5	4.4	3.7
校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.3	0.6	0.9	1.5	2.3	3.0	3.5	4.1	4.9	5.1	4.9	4.9	3.2	2.9	2.8	2.4	2.4	2.5	2.5	2.1	1.5	1.2	1.1
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.3	0.8	1.5	2.1	3.3	3.2	3.1	3.2	3.0	2.9	2.5	1.9	1.9	1.8	1.6	1.4	1.1	0.9	0.7	0.5	0.3	0.3
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.6	0.7	0.7	0.5	0.5	0.5	0.3	0.5	0.5	0.5	0.4	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.5	0.9	0.9	0.7	0.8	0.5	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.9	0.9	1.4	1.4	1.3	1.0	0.9	0.8	0.6	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0
u その他の校務	0.1	0.1	0.1	0.1	0.8	2.2	2.5	2.4	2.5	3.1	3.0	2.9	2.9	2.3	2.2	2.4	2.5	2.4	2.7	2.6	2.9	2.5	1.5	0.9	0.4
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.8	0.8	0.5	0.3	0.3	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.7	0.9	0.9	0.8	0.7	0.8	0.7	0.6	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.5	0.4	0.5	0.3	0.2	0.1
B 児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	1.0	1.1	0.9	0.8	0.2	0.3	0.5	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.2	0.1
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.1	0.3	0.6	0.7	1.7	3.1	6.5	7.3	11.1	12.3	14.2	14.2	12.6	11.1	8.9	8.5	10.8	11.6	13.7	14.0	13.7	12.8	11.1	7.3	5.8
D 外部対応	0.0	0.0	0.3	0.6	1.2	2.4	4.1	5.7	7.5	8.0	8.5	8.9	8.3	6.1	5.1	5.1	4.7	4.5	4.3	4.0	3.5	2.7	2.1	1.6	1.1

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5～19% 20%以上



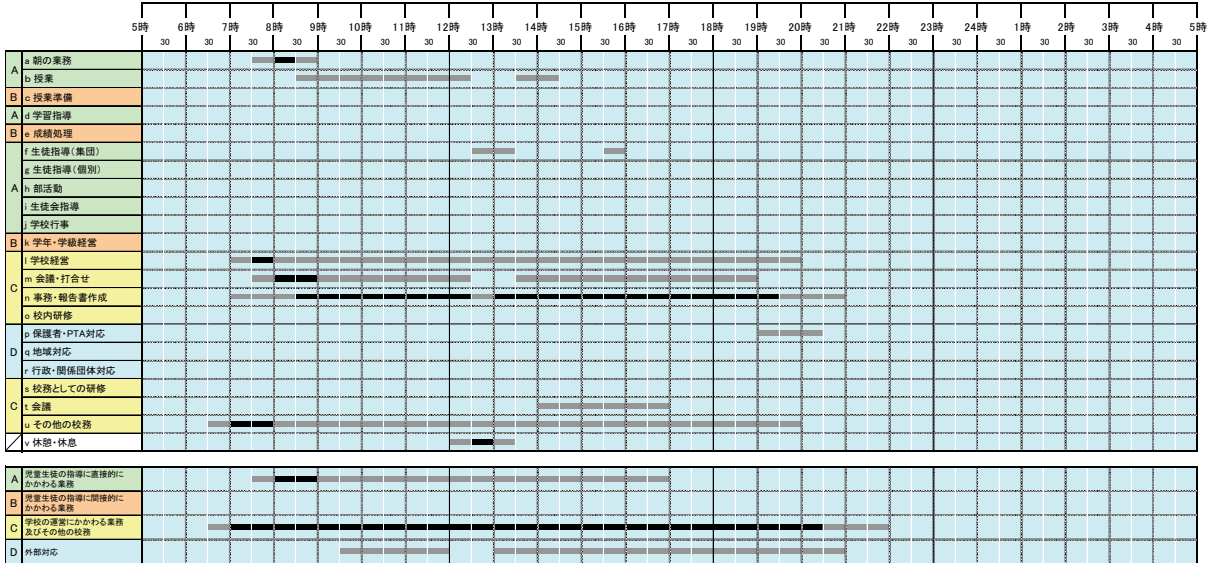
(図表 5-72) 第 6 期勤務日 中学校 教頭

第6期【中学校】 勤務日・教頭・副校長

母数 = 2,818

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	
a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	2.4	13.9	34.4	10.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	6.8	8.7	11.0	11.8	11.7	11.8	9.8	8.4	0.4	1.8	6.5	6.5	3.9	2.7	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
c 授業準備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	2.0	2.2	2.9	2.3	2.0	0.8	0.5	0.4	1.0	0.9	0.9	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0
d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	0.9	0.9	0.6	0.5	0.2	0.2	0.0	0.2	0.6	0.7	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
e 成績処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.7	0.8	1.1	1.1	1.4	1.4	1.7	1.5	0.5	1.0	1.1	1.2	1.0	1.1	1.2	1.4	1.5	1.6	1.4	1.3
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.5	2.7	4.0	2.7	0.2	0.0	0.1	0.2	0.2	0.5	2.0	1.7	7.8	2.4	1.5	2.9	2.7	5.4	2.5	1.7	0.9	0.2	0.3
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.7	0.2	0.1	0.9	1.4	1.7	2.0	1.8	1.5	1.3	1.1	1.0	1.4	1.8	2.2	2.0	2.4	2.3	2.7	2.3	1.1	0.9	
h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.6	1.0	1.6	2.1	1.9	1.1	0.3	
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.4	0.4	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
j 学校行事	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.3	0.8	1.0	1.2	1.2	1.1	1.2	1.4	1.2	0.8	1.0	1.8	2.6	2.8	2.3	1.6	0.9	0.6	0.3	0.2	
k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
l 学校経営	0.0	0.0	0.1	2.0	14.8	24.4	10.6	15.7	18.5	16.7	16.0	15.8	16.5	13.7	10.1	15.0	16.1	16.0	15.0	16.0	14.4	14.0	14.2	17.1	17.8	
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	1.2	10.8	29.8	21.1	12.3	7.2	6.1	6.6	6.5	6.5	5.8	3.1	4.3	5.4	6.1	5.8	9.5	12.9	16.0	16.2	12.6	9.2	
n 事務・報告書作成	0.1	0.5	0.7	2.1	9.7	13.5	8.9	25.9	35.7	37.8	35.9	37.4	36.5	38.1	31.1	18.5	28.2	33.8	33.3	34.9	32.5	30.6	30.0	31.3	34.4	
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	2.0	3.1	3.7	3.1	3.1	2.5	1.5	0.5	1.5	2.7	3.5	3.4	2.9	2.7	2.6	1.8	0.7	0.6	0.6	
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	3.4	2.7	1.3	1.7	1.7	2.4	2.4	2.6	2.4	1.9	1.4	2.3	3.2	3.5	3.4	3.3	3.4	3.1	3.2	2.7	
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.4	0.7	1.0	1.1	1.0	0.9	0.4	0.4	0.9	1.0	1.1	0.9	1.0	0.9	0.8	0.9	0.8	1.0	1.3
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.6	2.0	2.9	3.7	3.0	3.4	2.8	2.1	1.3	3.3	3.7	3.6	3.4	3.5	3.6	3.2	3.0	2.0	1.7	
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	1.3	1.5	1.8	1.9	1.8	1.7	1.0	0.9	2.3	3.3	3.7	3.7	3.9	3.9	3.9	3.2	1.1	0.6	
t 会議	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.8	2.4	3.0	3.6	3.5	3.1	1.7	1.6	2.6	4.0	5.0	5.7	6.5	6.8	6.4	5.8	2.7	1.8	1.7	
u その他の校務	0.1	0.2	0.9	6.2	22.4	21.4	6.2	6.2	6.1	5.7	5.1	5.2	6.3	7.8	10.3	13.0	10.5	8.2	7.2	8.2	7.1	7.6	8.3	9.8	12.7	
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.9	1.40	3.35	15.6	2.1	0.1	0.2	0.2	0.5	0.9	1.0	0.6	0.6	
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.1	0.2	4.0	17.6	38.2	22.3	12.7	15.0	15.9	15.8	15.3	13.6	13.0	13.1	12.5	13.7	14.3	13.0	11.4	11.1	8.2	7.0	4.3	
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	2.7	4.0	4.0	3.7	3.4	2.6	2.1	0.9	2.0	2.1	2.0	1.8	1.6	1.3	1.6	1.7	1.9	2.1	2.1	
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.2	0.7	1.8	10.4	48.2	70.2	56.0	71.2	84.4	75.0	72.3	73.5	73.6	78.3	65.0	47.5	62.3	73.2	74.7	76.8	78.4	78.8	81.3	62.4	81.3	
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.6	3.0	2.3	4.2	5.3	7.0	6.5	7.0	6.1	4.4	3.1	6.5	7.9	8.2	7.7	7.8	7.9	7.5	6.8	6.1	

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



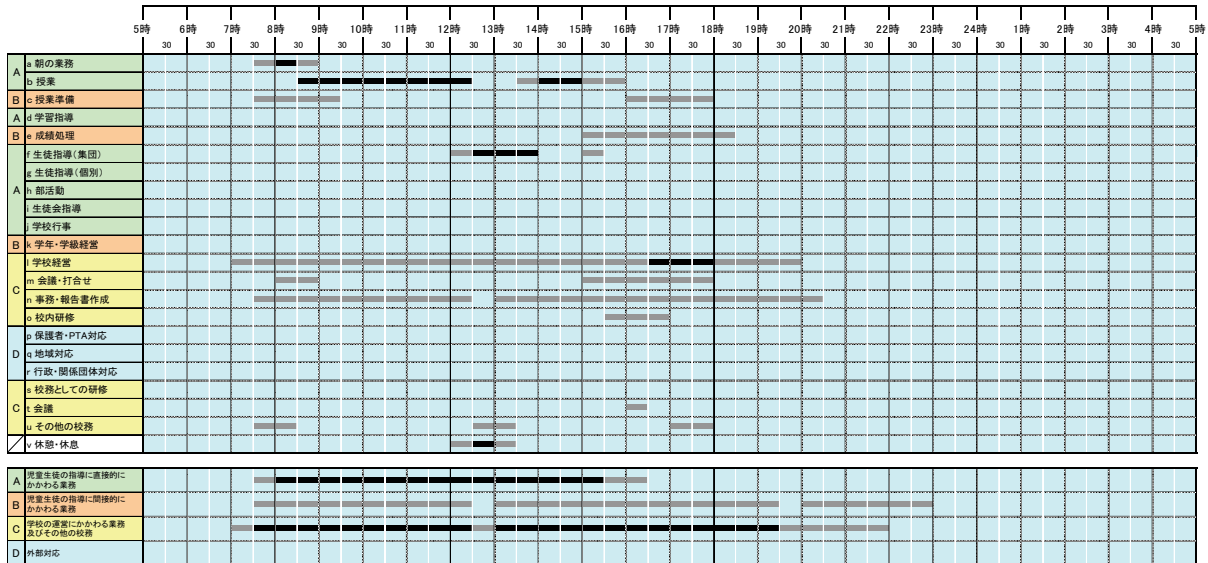
(図表 5-74) 第 6 期勤務日 小学校 教務主任

第6期【小学校】 勤務日・教諭 教務主任

母数 = 2,428

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	9.8	39.3	18.5	0.6	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B a 授業準備	1.9	1.8	0.5	0.5	2.6	19.3	9.3	6.0	7.6	4.2	4.4	4.9	3.8	3.1	2.1	0.9	3.0	2.3	3.8	3.6	3.7	4.2	5.3	5.8	7.1
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	0.5	1.3	1.9	2.1	2.4	3.3	2.3	2.1	1.7	0.5	1.8	1.4	1.6	1.7	1.8	2.8	1.5	0.2	0.2	0.1
B e 成績処理	1.0	1.3	0.3	0.1	0.0	0.7	1.3	0.9	1.8	2.1	2.3	3.5	2.8	3.5	3.2	0.9	2.6	2.1	3.3	3.7	5.2	6.8	7.5	7.7	8.9
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	4.7	3.7	1.2	0.2	0.2	1.0	1.6	0.3	0.9	1.1	48.6	44.1	34.5	3.1	4.5	5.4	3.7	1.9	0.5	0.2
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.7	0.8	0.7	0.6	1.1	0.6	0.6	0.7	0.9	1.2	1.0	0.7	1.4	0.6	0.9	0.8	0.4	0.1	0.2
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.1	0.3	1.5	2.9	1.9	0.6	0.5	0.3	0.1	0.0
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.3	0.4	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.2	0.2	0.4	1.6	0.9	0.6	1.6	2.0	1.1	0.1	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	0.9	1.2	1.9	2.5	3.3	3.5	3.9	3.7	3.2	2.2	1.2	2.0	2.6	2.5	2.4	2.4	2.0	1.5	1.3	1.1
B k 学年・学級経営	0.2	0.2	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.1	0.0	0.0	0.4	0.2	0.2	0.1	0.4	0.9	0.6	1.4	0.9	1.4	0.7	1.0	1.1	1.0	0.9
学校経営	0.1	0.1	0.5	0.7	5.4	17.4	18.9	12.4	11.6	10.5	10.7	9.7	10.2	10.9	9.8	8.5	12.6	11.3	15.2	16.2	17.2	15.1	19.8	21.7	23.4
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	2.8	5.9	6.2	2.8	1.2	0.9	0.9	0.7	0.9	0.9	0.6	1.0	1.4	1.6	2.8	7.4	13.3	19.4	19.9	11.2
n 事務・報告書作成	0.3	0.5	0.5	0.3	3.4	6.1	7.2	8.7	10.2	8.8	8.7	9.8	10.0	11.0	9.6	4.3	8.6	8.6	11.5	12.2	13.1	13.8	14.7	16.1	19.4
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	1.6	1.6	1.5	1.9	1.0	0.6	0.0	0.1	1.0	2.3	2.4	4.2	6.1	6.5	5.2	1.4	0.6	0.6
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.2	0.3	0.7	1.1	2.2	2.8	3.1	3.5	3.8	3.6	2.3	1.9	2.0
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.6	0.7	0.4	0.4	0.4	0.2	0.1	0.4	0.6
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.4	0.5	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.5	0.7	0.6	0.7	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.5	0.8	1.0	1.2	1.2	1.1	0.5	0.3	1.7	2.5	3.2	3.5	3.8	4.0	4.0	3.3	1.0	0.2
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	0.8	0.9	0.9	0.9	0.8	0.5	0.3	0.9	1.4	2.2	2.6	4.2	4.7	5.0	4.1	1.9	1.1
u その他の校務	0.1	0.1	0.0	0.2	3.3	7.0	6.4	2.6	1.8	1.0	0.9	1.2	1.1	1.5	2.2	6.1	5.2	3.7	2.9	2.9	2.7	2.5	3.1	4.5	6.7
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.5	0.4	0.4	0.4	0.1	0.1	0.0	0.7	1.5	0.0	0.9	7.5	24.2	7.7	0.9	0.0	0.1	0.3	0.8	0.7	0.7	1.7	0.8
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.1	0.5	2.5	17.6	48.9	60.0	58.4	67.0	66.0	62.9	65.8	63.7	61.4	53.3	60.2	48.8	43.4	31.9	17.4	6.8	3.1	2.0	1.7
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	3.2	3.3	0.9	0.6	2.7	11.0	10.9	7.1	9.5	6.3	6.8	8.7	6.8	6.8	5.5	1.9	6.0	5.4	7.7	8.7	9.8	12.4	13.5	14.5	17.1
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.5	0.8	1.2	1.3	12.5	33.5	38.8	30.7	29.9	24.9	24.4	25.1	26.0	27.3	24.2	18.2	30.2	29.9	38.9	42.5	52.8	72.8	74.7	85.0	84.6
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	2.0	0.6	0.8	0.9	1.1	1.0	0.9	0.8	0.5	0.5	1.4	2.4	3.5	4.0	3.9	4.2	4.4	4.0	3.0	2.7

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



(図表 5-75) 第6期休日 小学校 教務主任

第6期【小学校】 休日・教諭 教務主任

母数 = 1,300

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B c 授業準備	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	1.0	1.1	1.7	1.4	1.3	1.0	0.2	0.5	1.3	1.2	1.5	1.4	1.8	1.6	1.5	1.2	0.8	0.7	0.5
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B e 成績処理	0.8	1.1	0.8	0.9	1.0	1.2	1.3	1.5	2.7	2.9	4.4	4.4	3.6	2.5	1.8	1.2	1.1	2.1	3.7	3.8	4.9	5.0	3.9	3.4	2.3
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5
学校経営	0.2	0.2	0.3	0.2	0.6	0.8	1.0	1.0	1.5	1.8	2.5	2.7	2.4	1.9	1.6	1.2	1.4	1.6	1.9	2.3	2.2	2.0	1.4	1.3	0.5
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
C n 事務・報告書作成	0.4	0.5	0.7	0.8	0.5	0.7	1.0	0.9	2.2	3.0	3.5	3.8	3.7	3.4	1.7	1.5	1.8	1.6	2.6	2.5	3.5	3.1	3.2	3.2	2.1
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
D p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.8	1.2	1.6	1.7	1.6	1.5	1.2	1.4	1.2	1.0	1.3	1.3	1.4	1.5	1.3	1.0	0.8	0.5	0.2	0.2
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.7	1.3	1.7	1.7	1.8	1.5	1.3	1.2	0.8	0.8	0.7	0.6	0.8	0.8	0.7	0.7	0.5	0.4	0.2	0.2
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
r 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.5	0.5	0.4	0.3	0.1	0.0	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0
C s 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1
t その他の校務	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.4	0.6	1.0	1.1	1.2	1.4	1.4	1.1	1.2	1.7	2.1	1.8	1.7	1.5	1.2	0.9	0.8	0.5	0.3	0.4
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	0.8	0.4	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.8	0.8	1.1	1.1	1.2	1.3	1.3	1.2	0.6	0.7	0.5	0.7	0.8	0.8	0.6	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1
B 児童生徒の指導に間接的に かかわる業務	1.0	1.3	1.2	1.2	1.3	1.6	1.8	1.9	4.0	4.3	6.4	5.8	5.1	3.6	2.1	1.8	2.5	3.5	5.4	5.2	6.9	6.8	5.6	4.8	3.2
C 学校の運営にかかわる業務 及びその他の校務	0.8	0.9	1.1	1.2	1.5	1.9	2.5	2.8	5.2	6.5	8.0	8.8	8.2	7.2	4.6	4.0	5.4	6.1	7.2	7.3	7.9	7.2	6.1	5.7	3.3
D 外部対応	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	0.8	1.6	2.7	3.5	3.6	3.2	2.5	2.7	2.0	1.8	2.1	2.0	2.3	2.5	2.0	1.7	1.1	0.8	0.4	0.4

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務																									
b 授業																									
B c 授業準備																									
A d 学習指導																									
B e 成績処理																									
f 生徒指導(集団)																									
g 生徒指導(個別)																									
A h 部活動																									
i 生徒会指導																									
学校行事																									
B k 学年・学級経営																									
学校経営																									
m 会議・打合せ																									
C n 事務・報告書作成																									
o 校内研修																									
D p 保護者・PTA対応																									
q 地域対応																									
行政・関係団体対応																									
r 校務としての研修																									
C s 会議																									
t その他の校務																									
v 休憩・休息																									
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務																									
B 児童生徒の指導に間接的に かかわる業務																									
C 学校の運営にかかわる業務 及びその他の校務																									
D 外部対応																									

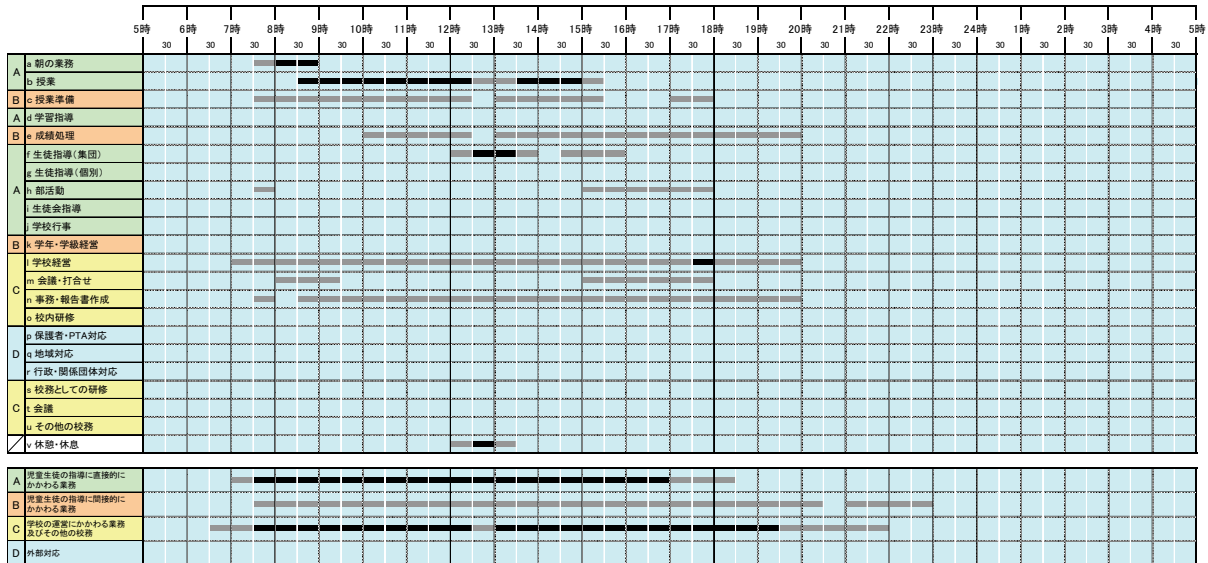
(図表 5-76) 第 6 期勤務日 中学校 教務主任

第6期【中学校】 勤務日・教諭 教務主任

母数 = 2,291

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.8	2.8	18.7	57.9	21.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B a 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	32.2	48.7	58.8	69.1	57.3	55.0	51.5	42.8	7.5	8.9	34.0	35.9	22.3	18.1	3.4	0.8	0.0	0.0	0.0
B b 授業準備	1.0	0.8	0.5	1.0	1.7	6.7	5.2	10.8	14.1	9.8	9.9	8.8	9.7	7.5	8.2	4.1	6.9	7.0	5.8	5.4	5.5	3.5	3.1	4.2	5.5
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.4	0.4	0.6	0.7	0.6	0.6	0.3	0.3	0.8	0.7	0.6	0.7	0.9	1.4	2.1	1.7	0.9	0.3
B e 成績処理	0.3	0.4	0.3	1.1	2.1	1.3	3.1	4.3	4.9	5.5	5.8	6.5	6.9	6.2	3.3	6.0	7.4	8.2	8.9	9.9	10.8	10.4	11.0	11.7	12.6
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	3.4	4.7	2.9	0.3	0.1	0.1	0.2	0.3	1.8	7.0	35.1	25.9	8.9	4.1	11.3	7.1	13.0	3.7	1.7	2.1	0.7
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.3	0.6	0.6	0.5	0.5	0.8	0.8	0.7	2.3	1.7	1.8	1.9	2.3	2.3	2.2	1.3	1.1	0.9
A h 部活動	0.0	0.0	0.2	0.4	2.2	6.0	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.6	1.2	1.8	2.5	5.0	5.6	16.3	19.3	13.8	9.0
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.0	0.0	0.1	0.1	0.6	1.0	1.2	1.4	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	0.9	1.0	1.6	2.7	3.1	3.1	2.6	1.8	1.4	1.2	1.0	0.8
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.5	0.6	0.4	0.2	0.6	0.5	0.8	0.3	0.3	0.5
学校経営	0.1	0.5	0.8	2.1	6.5	18.7	10.3	9.3	10.3	9.9	9.1	10.9	10.9	11.4	10.7	5.9	10.1	14.4	14.7	15.5	16.1	14.8	16.1	17.2	19.7
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.1	0.3	3.5	9.4	6.9	6.1	3.4	2.6	2.1	2.4	3.5	3.7	1.0	1.0	2.0	2.5	3.5	6.4	12.0	18.0	15.4	10.5	7.1
n 事務・報告書作成	0.5	0.4	0.4	1.4	2.0	7.5	4.4	7.0	8.5	6.9	6.5	7.4	7.6	9.0	7.9	5.5	9.9	9.9	9.8	11.3	11.5	10.5	10.0	11.3	14.1
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.4	0.5	0.3	0.3	0.1	0.3	0.8	1.3	1.4	2.0	2.2	2.1	1.5	0.3	0.1	0.1
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	0.7	1.0	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.4	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.7	0.9
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.5	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.6	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.5	0.9	1.5	2.1	2.8	3.1	3.4	3.5	3.1	2.6	0.9	0.3
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.5	0.6	0.6	0.7	0.6	0.4	0.3	1.0	1.4	2.3	2.8	3.7	4.1	4.1	3.4	1.9	1.0	1.0
u その他の校務	0.5	0.7	1.0	1.6	1.5	3.2	1.6	2.4	1.2	1.0	0.8	1.0	1.1	1.1	1.5	3.4	3.8	2.1	1.7	2.1	2.4	3.1	3.2	3.8	4.4
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	1.3	6.7	27.8	14.8	2.1	0.4	0.2	0.5	0.3	0.4	0.4	0.8	0.7	1.0

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



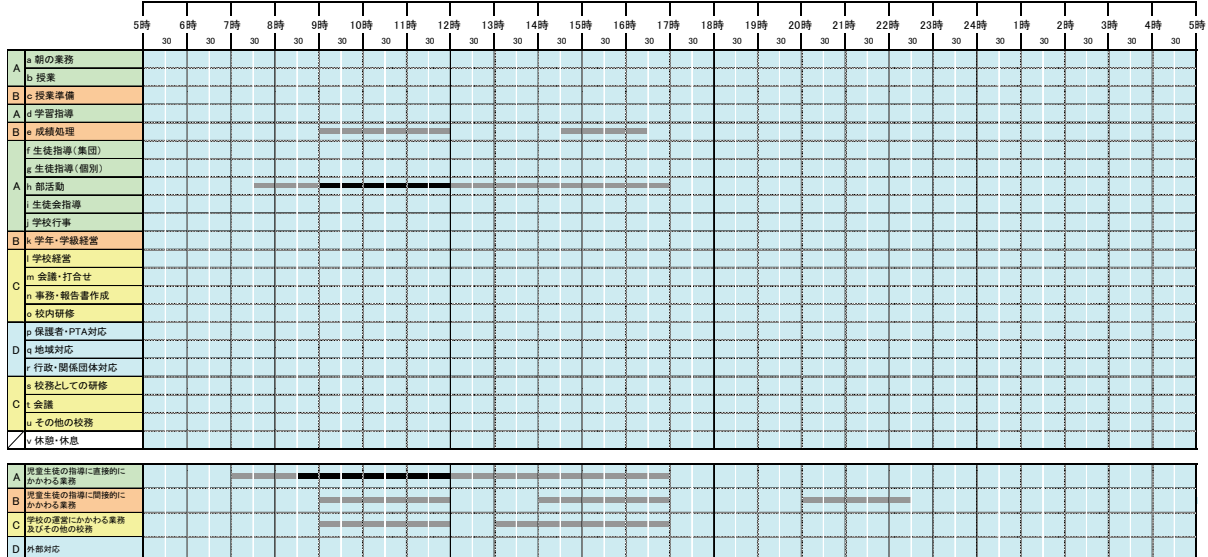
(図表 5-77) 第 6 期休日 中学校 教務主任

第6期【中学校】 休日・教諭 教務主任

母数 = 1,218

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.4	0.5	0.7	0.7	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
B c 授業準備	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.6	1.1	1.6	2.0	1.7	1.6	1.5	0.7	0.7	1.1	1.1	1.4	1.5	1.3	1.2	1.2	1.0	0.7	0.5	0.5
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
B e 成績処理	0.1	0.1	0.4	0.6	1.1	1.4	1.6	2.7	5.9	5.3	6.6	8.4	5.9	5.2	2.6	2.3	3.1	3.5	4.8	5.2	5.1	5.3	5.0	4.4	2.5
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A h 部活動	0.2	0.3	1.1	2.1	4.8	8.3	13.5	19.8	22.8	23.2	23.5	23.7	23.3	22.9	18.4	14.9	12.8	13.2	12.3	12.0	11.1	10.3	8.7	7.0	4.8
生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校行事	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
学校経営	0.2	0.5	0.6	0.6	0.7	0.7	1.1	1.6	2.2	2.0	2.1	2.2	1.4	1.5	1.5	1.5	1.8	2.0	2.1	2.5	2.4	2.2	2.2	1.6	1.2
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
C n 事務・報告書作成	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	1.0	1.1	1.1	2.5	2.9	3.3	3.0	2.3	2.1	1.3	1.1	1.8	2.2	2.1	2.2	2.1	1.9	1.8	1.1	1.0
校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0
D p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.7	0.8	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.0	0.7	0.4	0.7	0.7	0.6	0.7	0.4	0.3	0.2	0.2	0.5	0.6
地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	0.5	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.5	0.8	0.9	1.0	0.9	0.8	0.7	0.5	0.2	0.1	0.1
C h 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.5	0.8	0.9	1.0	0.9	0.8	0.7	0.5	0.2	0.1	0.1	0.0
会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.5	0.3	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
u その他の校務	0.0	0.0	0.4	0.4	0.5	0.6	1.1	1.1	1.6	1.8	1.4	1.4	1.1	1.3	0.7	0.5	0.5	1.0	1.1	1.1	0.8	0.9	1.0	0.7	0.6
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	1.3	0.7	0.2	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.2	0.3	1.1	2.1	5.1	8.8	14.1	20.5	23.6	24.2	24.6	25.0	24.4	23.7	19.1	15.5	13.3	13.7	12.9	12.5	11.4	10.6	8.9	7.0	4.9
B 児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	0.3	0.2	0.6	0.7	1.5	1.8	2.0	3.3	7.1	6.9	8.6	8.2	6.9	6.7	3.4	3.0	4.2	4.6	6.3	6.7	6.6	6.7	6.2	5.3	3.2
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.4	0.7	1.1	1.1	1.6	2.3	3.4	4.2	6.7	6.7	7.9	7.0	6.3	5.4	3.9	4.1	5.1	5.3	6.6	6.5	7.1	6.7	6.2	5.7	3.9
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	1.2	1.3	1.7	1.8	2.0	2.1	2.1	1.9	1.1	0.7	1.0	1.1	1.1	1.1	0.8	1.0	0.7	0.5	0.4

時間別行為者率(30分ごとの平均) 5~19% 20%以上



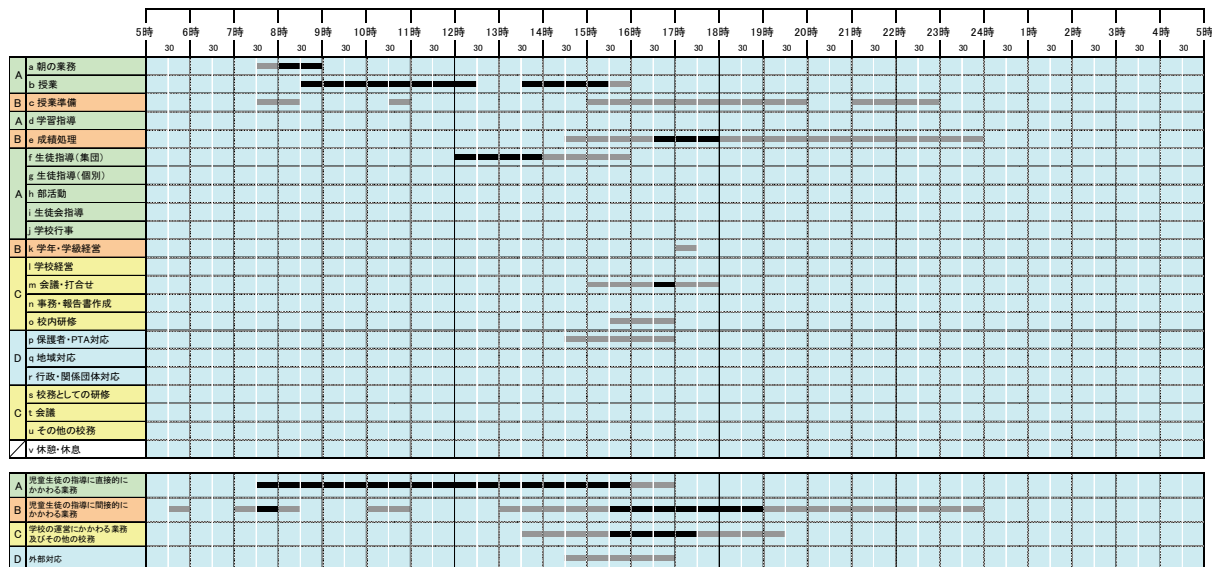
(図表 5-78) 第 6 期勤務日 小学校 教諭 (学級担任)

第6期【小学校】 勤務日・教諭 学級担任

母数 = 37,162

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	1.0	13.9	67.5	38.4	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	2.7	56.8	83.2	82.0	88.3	78.3	89.8	89.8	2.7	4.9	34.0	88.5	48.3	25.9	10.3	0.8	0.3	0.2	0.1	0.1
c 授業準備	2.4	2.8	1.9	1.4	4.1	17.8	12.8	1.1	1.3	1.7	2.8	5.4	1.8	1.5	1.4	0.2	1.7	2.7	2.6	3.7	6.2	9.6	13.1	15.7	18.9
d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	0.5	0.5	0.5	1.3	2.2	0.5	0.5	0.3	2.5	1.8	1.4	2.2	3.7	4.3	3.0	1.2	0.7	0.6	0.5
e 成績処理	1.8	1.9	1.2	0.6	0.5	2.2	1.8	0.5	1.0	1.5	2.5	4.0	1.8	1.7	1.7	0.9	4.8	3.4	3.4	5.4	9.6	14.4	19.5	23.3	28.3
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.1	3.4	0.9	0.2	0.1	1.3	2.9	0.2	1.3	2.4	9.8	74.4	42.0	6.7	12.9	12.9	7.9	4.1	0.7	0.5
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.6	0.3	0.2	0.2	0.4	1.2	0.1	0.1	0.2	0.5	1.7	1.5	0.8	1.4	1.9	2.1	1.9	1.2	0.7	0.5
h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.5	2.0	4.6	3.6	2.1	1.3	1.2	0.8	0.4	0.2
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.7	0.3	0.1	0.1	0.3	0.7	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
j 学校行事	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	0.6	1.2	1.5	1.7	1.9	2.3	2.0	1.7	1.2	0.7	1.2	1.7	1.8	1.8	1.9	1.8	1.7	1.5	1.2	1.0
k 学年・学級経営	0.7	0.7	0.5	0.4	1.9	1.7	0.3	0.2	0.3	0.7	1.4	0.4	0.4	0.2	1.9	2.7	1.2	3.2	2.5	4.1	4.0	4.7	5.2	4.8	3.6
l 学校経営	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.9	0.4	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.5	1.1	1.8	2.9	3.4	3.5	2.8	2.1
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8	0.5	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.9	2.3	7.2	14.0	19.8	20.5	13.3	7.8	4.3
n 事務・報告書作成	0.2	0.3	0.1	0.1	0.4	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.2	0.2	0.4	0.8	1.4	2.3	3.1	4.4	4.0	3.1	2.1	1.3
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	0.5	0.7	0.4	0.3	0.0	0.1	0.9	1.9	2.1	3.9	6.1	6.9	5.4	2.1	0.9	0.5	0.3
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6	2.4	4.2	5.4	7.0	7.5	7.1	5.8	3.9	2.4	1.6
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
s 職務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.5	1.1	2.0	2.5	2.8	3.1	3.3	3.3	2.8	0.9	0.3	0.2	0.1
t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.5	0.8	1.0	1.4	1.8	2.0	1.8	1.0	0.5	0.4	0.4
u その他の校務	0.1	0.1	0.1	0.4	1.3	0.6	0.3	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.3	0.5	1.0	1.0	0.8	0.9	1.3	1.5	2.2	3.0	3.4	2.7	1.9
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9	0.0	0.1	0.4	0.7	1.4	0.7	0.2	0.2	0.4	0.4	0.9	1.3	1.1	0.7	0.5
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.1	0.1	0.1	0.3	2.0	20.4	76.4	86.2	86.3	84.7	91.8	85.6	83.8	84.5	84.3	88.0	85.7	82.0	80.2	71.3	54.1	32.3	14.0	6.3	4.5
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	4.9	5.3	3.6	2.4	5.0	21.8	18.3	1.9	2.5	3.5	5.9	10.8	4.0	3.6	3.5	1.3	8.4	8.8	7.2	12.2	16.4	28.1	36.5	43.8	49.8
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.4	0.4	0.3	0.8	3.0	2.1	1.2	0.9	1.5	1.7	2.2	1.9	1.6	1.4	1.3	3.3	5.3	7.5	10.0	18.9	29.8	39.2	40.1	28.8	19.1
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6	2.5	4.3	5.5	7.2	7.8	7.5	6.2	4.2	2.6	1.7

時間別行為者率(30分ごとの平均)
 5~19% 20%以上



(図表 5-80) 第 6 期勤務日 小学校 教諭 (担任なし)

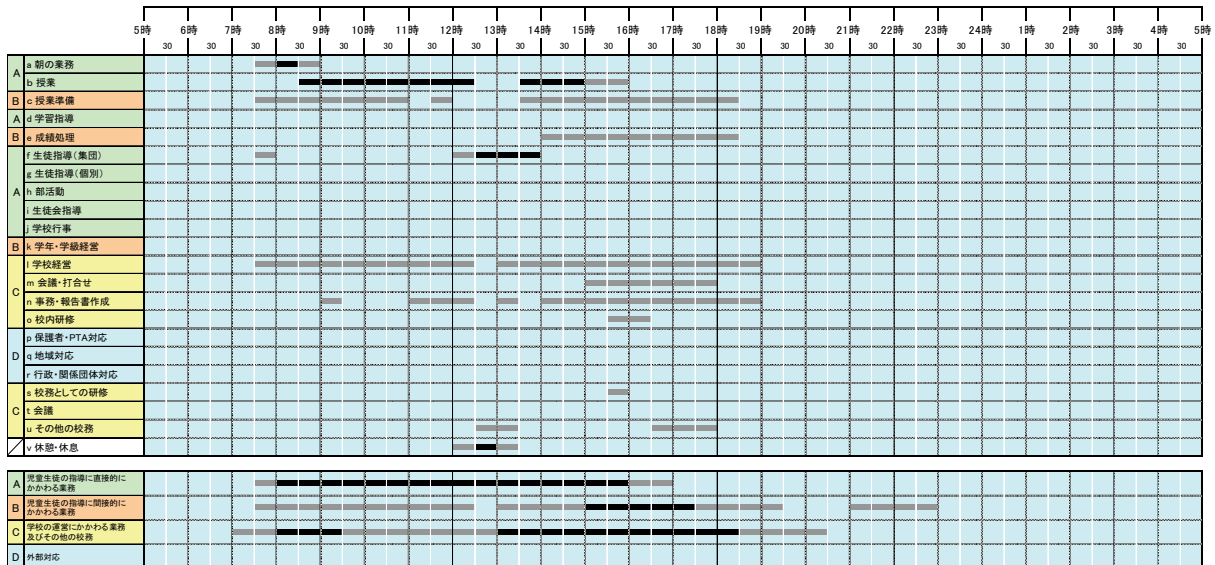
第6期【小学校】 勤務日・教諭 学級担任でない

母数 = 6.145

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.7	7.1	42.8	195	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.3	38.5	59.9	87.7	65.3	61.0	67.8	65.0	54.9	1.1	3.1	21.0	42.7	31.7	16.8	6.5	1.6	0.7	0.3	0.1
c 授業準備	0.8	1.0	0.5	0.2	1.6	9.2	16.4	13.1	12.5	5.9	6.7	6.7	4.8	5.0	4.5	1.8	4.4	7.0	8.1	9.3	11.1	13.3	12.4	9.0	6.3
d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.9	1.2	1.3	1.5	2.6	1.7	1.3	1.2	0.8	3.1	2.1	1.4	1.6	1.9	2.5	1.7	1.1	0.4	0.2
e 成績処理	0.4	0.5	0.2	0.0	0.1	0.6	0.7	1.6	2.4	2.3	2.3	2.6	2.3	3.8	3.5	2.0	4.2	4.8	6.5	8.9	11.3	13.1	13.8	13.9	13.3
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	5.1	4.0	0.9	0.2	0.2	0.6	1.0	0.2	0.5	8.1	46.7	45.8	31.0	3.5	3.1	3.5	2.9	1.9	0.5	0.2
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.7	0.8	0.6	0.5	0.6	0.3	0.5	0.6	0.7	1.2	1.1	0.9	1.0	0.7	0.9	0.6	0.5	0.2	0.1
h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	1.4	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4	1.0	1.3	0.6	2.3	4.6	3.9	2.8	1.8	1.0	0.5
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.1	0.4	0.2	0.3	0.4	0.6	0.3	0.3	0.4	2.0	2.1	0.9	0.5	1.6	2.6	1.6	0.3	0.1	0.1	0.0
j 学校行事	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.7	1.2	2.3	2.6	2.9	3.2	3.5	3.1	2.7	2.0	1.2	2.0	2.6	2.5	2.6	2.4	2.1	1.6	1.4	1.0
k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3	0.3	0.2	0.2	0.4	0.5	0.4	0.5	0.3	0.3	0.1
l 学校経営	0.2	0.1	0.1	0.5	3.1	8.9	9.5	8.3	9.2	7.0	6.9	6.7	7.1	7.7	7.1	4.9	7.9	8.7	11.2	12.2	12.4	12.7	13.8	14.6	15.5
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.1	0.9	2.8	3.7	2.1	1.0	0.7	0.8	0.6	0.7	0.7	1.1	0.9	1.3	2.3	6.6	11.2	15.4	16.7	9.6	5.1	3.2
n 事務・報告書作成	0.2	0.3	0.4	0.1	1.2	2.8	3.7	4.9	5.6	4.5	4.4	4.8	5.0	5.8	5.0	2.5	5.0	4.4	6.2	7.2	7.9	8.4	9.7	10.7	12.4
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	1.2	1.2	1.1	1.4	0.9	0.6	0.0	0.2	1.1	2.2	3.9	5.6	6.0	4.7	1.7	0.7	0.5	0.2
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.5	0.3	0.2	0.2	0.3	0.5	0.7	0.8	0.9	1.1	1.2	1.0	0.9	0.7
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.3	0.2	0.4	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	0.8	1.3	1.5	1.5	1.6	1.6	1.2	0.8	2.1	3.2	4.1	4.5	4.9	5.1	4.9	4.0	1.9	0.4	0.4
t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	0.6	0.7	0.7	0.7	0.5	0.4	0.9	1.4	2.0	2.5	3.4	3.8	4.0	3.5	1.9	1.1	1.0	0.9
u その他の校務	0.0	0.0	0.0	0.2	1.9	4.6	4.7	2.3	2.0	1.5	1.6	1.4	1.7	2.5	7.9	5.2	4.2	3.4	4.1	3.9	3.7	4.2	5.8	6.7	5.0
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.2	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.7	2.0	0.0	0.6	5.5	22.8	8.4	1.6	0.2	0.3	0.4	0.9	1.4	1.3	1.8	0.8	0.7
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.1	0.2	1.8	18.0	52.8	63.2	62.4	73.3	71.8	69.7	73.6	70.4	67.4	53.0	58.4	60.0	52.1	44.0	32.6	20.5	10.5	6.1	3.2
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	1.3	1.5	0.7	0.2	1.6	10.1	17.3	14.8	15.0	8.3	9.2	9.5	7.3	9.1	8.3	3.9	8.9	12.1	14.8	17.9	20.8	24.7	26.1	27.8	28.2
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.4	0.5	0.6	0.8	6.3	17.5	21.3	20.5	21.1	17.3	16.9	17.3	17.9	19.2	17.5	22.4	24.1	30.5	35.1	42.9	50.5	58.0	60.0	49.5	36.4
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.0	0.3	0.5	0.5	0.7	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3	0.7	1.1	1.4	1.4	1.5	1.6	1.9	1.7	1.4	1.1

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-81) 第 6 期休日 小学校 教諭 (担任なし)

第6期【小学校】

休日・教諭

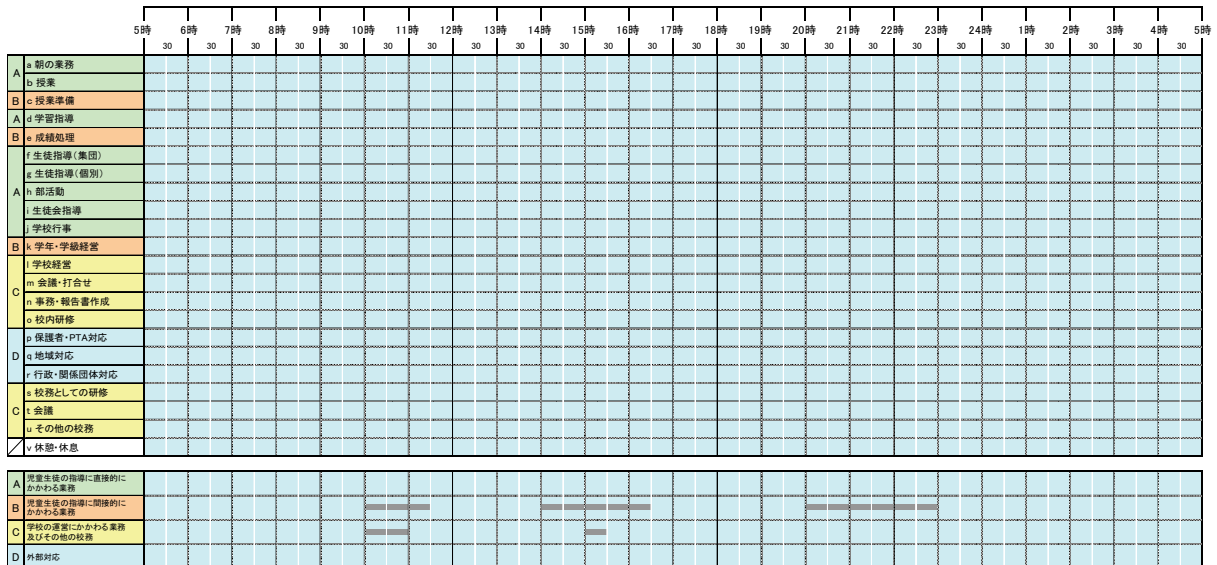
学級担任でない

母数 = 3,414

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業準備	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.4	1.7	1.9	2.8	2.8	2.3	1.8	0.8	1.8	2.1	3.1	3.0	2.9	2.3	1.9	1.3	1.0	0.8	1.4	1.7
d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
e 成績処理	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.6	0.8	2.2	2.5	3.7	3.6	2.9	2.3	0.8	0.8	1.7	2.1	3.1	3.3	3.3	2.7	2.4	1.8	1.4	1.1
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
e 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	0.8	1.1	1.2	1.2	1.1	1.1	0.7	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
j 学校行事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
k 学年・学級経営	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
l 学校経営	0.2	0.2	0.2	0.1	0.5	0.5	0.6	0.7	1.0	1.1	1.7	1.8	1.5	1.1	0.8	0.5	0.7	0.9	1.2	1.3	1.3	1.2	0.9	0.9	0.4
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
n 事務・報告書作成	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.5	1.2	1.5	1.8	2.0	1.8	1.5	0.7	0.6	0.8	1.1	1.6	1.7	2.3	2.1	2.2	2.0	1.4
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.6	0.9	0.9	1.1	1.1	1.0	1.0	0.8	0.7	0.9	0.8	0.8	0.6	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.7	0.9	0.9	1.1	1.0	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.4	0.3	0.3	0.1	0.1	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
u その他の校務	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.8	0.9	1.1	1.1	0.9	0.8	0.7	0.9	0.9	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8	1.0	1.4	1.5	1.8	1.4	1.4	1.0	0.7	0.6	0.4	0.6	0.6	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	1.0	1.1	3.9	4.5	6.7	6.7	5.4	4.2	1.5	1.6	3.5	4.2	6.2	6.1	6.7	6.4	5.2	4.5	3.1	2.5
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.4	0.4	0.5	0.5	0.9	1.0	1.4	1.5	3.2	3.7	5.0	5.2	4.7	4.0	2.4	2.0	2.8	3.5	4.4	4.5	5.0	4.8	4.2	3.8	2.5
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.8	1.4	1.9	2.0	2.4	2.3	2.0	1.9	1.5	1.3	1.5	1.4	1.5	1.1	1.0	0.7	0.5	0.2	0.2

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上

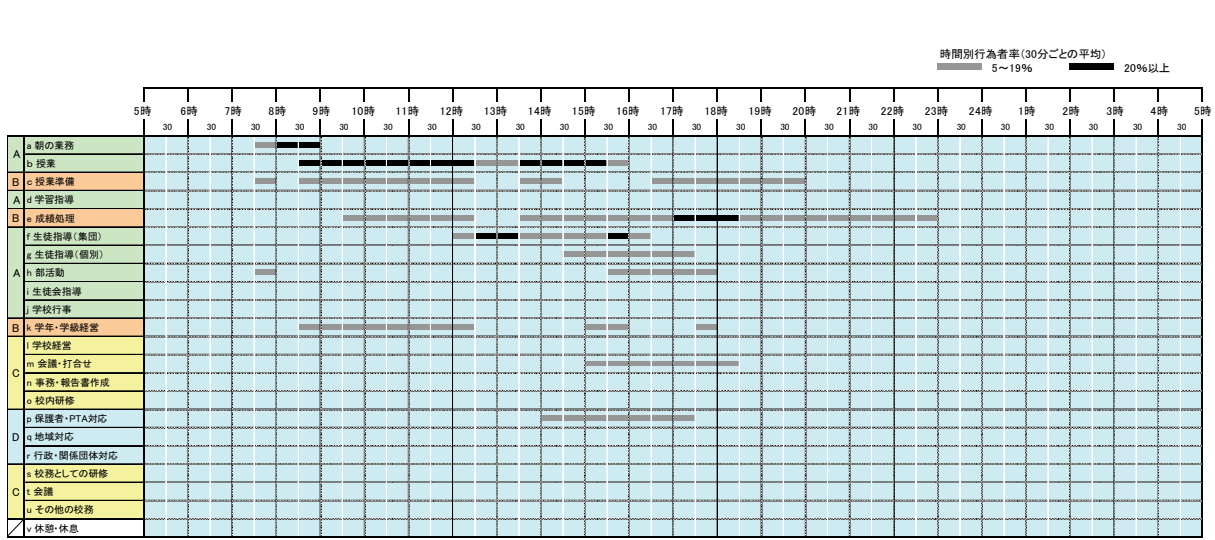


(図表 5-82) 第 6 期勤務日 中学校 教諭 (学級担任)

第6期【中学校】 勤務日・教諭 学級担任

母数= 31,004

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
a 朝の業務	0.0	0.0	0.1	0.4	2.1	18.0	82.5	39.5	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.7	4.5	89.7	87.8	85.5	85.9	86.4	85.1	84.8	82.1	87.3	27.4	5.4	1.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
c 授業準備	0.7	0.8	0.6	1.2	3.9	13.5	4.6	6.9	11.1	11.5	12.3	11.7	11.2	9.6	8.5	2.5	4.1	6.9	6.3	4.5	4.2	3.2	4.9	7.3	10.5
d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.9	0.6	0.4	0.5	1.0	1.9	2.8	2.2	1.1	0.7	0.5
e 成績処理	1.0	1.1	0.8	0.6	0.9	2.0	0.6	3.0	4.8	5.8	6.7	8.8	7.0	6.8	6.4	2.9	4.5	7.6	7.8	7.2	7.8	8.8	12.1	16.7	22.0
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	4.6	2.4	2.9	0.3	0.2	0.2	0.4	0.4	3.4	14.7	71.5	56.7	10.8	5.4	1.8	1.6	2.6	2.1	1.1	0.5
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.3	0.8	1.1	1.2	1.2	1.3	1.4	1.4	1.4	1.5	4.2	3.9	4.5	5.3	7.1	8.8	10.5	9.3	6.9	4.8
h 部活動	0.0	0.0	0.4	3.3	10.0	1.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.6	0.7	1.0	1.5	3.4	7.1	15.0	18.4	11.4	6.3	3.0	1.3
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	1.4	0.9	0.7	1.2	2.4	2.8	3.0	2.2	1.0	0.5	0.2
j 学校行事	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.6	0.5	0.9	1.2	1.3	1.4	1.4	1.4	1.2	1.0	1.4	2.6	2.9	3.1	2.8	2.0	1.6	1.4	1.5	1.4
k 学年・学級経営	0.2	0.2	0.2	0.3	1.3	2.8	1.2	5.1	6.1	6.2	6.2	6.1	5.7	5.7	5.1	2.0	3.7	4.4	3.5	4.2	5.5	5.3	4.5	3.7	4.9
l 学校経営	0.0	0.0	0.1	0.2	0.6	0.5	0.1	0.4	0.6	0.6	0.7	0.8	0.6	0.6	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	1.2	1.5	1.9	2.2
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.2	1.0	1.0	1.0	1.2	0.8	0.7	1.0	1.1	0.5	0.8	1.4	1.9	2.4	5.4	10.9	14.0	14.8	11.9	9.2
n 事務・報告書作成	0.1	0.2	0.1	0.2	0.3	0.9	0.2	0.4	0.7	0.7	0.8	0.9	0.9	0.9	0.3	0.5	0.8	0.7	0.7	0.8	0.9	1.5	2.2	3.5	3.9
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	0.7	1.0	1.5	1.9	1.7	1.3	0.5	0.2	0.1	0.1
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	1.1	3.8	5.9	6.5	7.1	7.3	7.5	7.3	5.9	4.2	3.3
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4	0.5	0.9	1.4	1.8	1.9	2.0	1.8	1.4	0.4	0.2	0.1
t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.7	1.0	1.3	1.5	1.8	2.1	2.2	2.0	1.1	0.7	0.5	0.4
u その他の校務	0.1	0.1	0.1	0.2	0.7	1.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7	0.9	1.3	1.2	1.0	1.1	1.3	1.4	1.8	2.4	2.8	2.5
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	1.6	3.4	4.1	1.7	0.4	0.3	0.3	0.4	0.5	1.0	1.2	1.0



A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.1	0.2	1.0	6.7	35.0	87.9	80.9	73.4	71.1	69.0	68.8	70.5	72.1	73.1	64.9	78.5	67.5	67.1	67.0	60.3	53.5	44.2	38.1	24.2
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	1.9	2.1	1.6	2.1	6.1	18.2	6.4	15.1	21.9	23.5	25.2	24.8	23.8	22.1	20.0	7.4	12.3	18.7	17.6	15.9	17.6	17.2	21.5	27.7	37.4
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.2	0.3	0.3	0.6	1.6	3.5	2.2	2.8	3.6	3.9	4.1	4.0	3.9	4.2	4.0	2.9	4.8	7.0	8.0	9.1	13.5	18.9	24.2	25.3	22.0
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	1.2	4.0	6.1	6.7	7.3	7.6	8.0	7.7	6.3	4.6	3.6

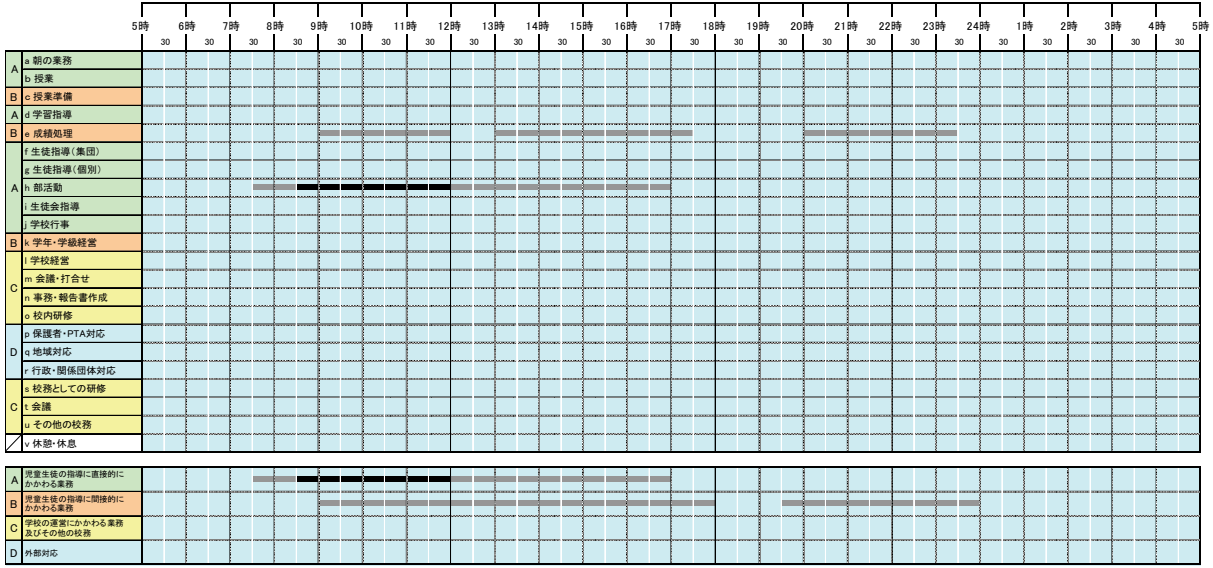
(図表 5-83) 第6期休日 中学校 教諭 (学級担任)

第6期【中学校】 休日・教諭 学級担任

母数= 16,617

	5時		6時		7時		8時		9時		10時		11時		12時		13時		14時		15時		16時		17時		18時		19時		20時		21時		22時		23時		24時		1時		2時		3時		4時		5時			
	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30					
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
c 授業準備	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.5	0.7	1.5	1.6	2.2	2.2	2.0	1.8	1.2	1.9	1.9	2.0	2.3	2.4	2.3	2.1	1.9	1.8	1.5	1.3	0.9	0.9	1.2	1.2	2.2	2.3	3.0	2.9	2.7	2.3	1.5	1.2	0.6	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
e 成績処理	0.5	0.6	0.7	0.8	0.8	0.9	1.8	2.3	5.2	6.0	8.1	8.5	8.1	7.3	4.7	4.5	6.6	7.3	9.2	9.2	9.5	9.2	8.0	7.2	5.2	4.5	3.3	2.9	3.3	3.4	5.8	5.8	8.1	8.0	7.6	7.1	5.4	4.6	2.8	2.1	1.3	1.0	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6				
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
A h 部活動	0.2	0.3	0.8	1.9	4.8	8.8	15.9	21.0	23.6	23.7	23.6	23.3	22.7	18.8	16.0	14.0	13.5	12.7	12.1	11.1	10.4	8.7	7.1	4.2	2.7	1.4	0.8	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
j 学校行事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.7	0.8	0.8	0.7	0.5	0.5	0.6	0.6	0.8	0.7	0.9	0.8	0.8	0.7	0.5	0.5	0.4	0.3	0.5	0.5	0.7	0.8	1.1	1.0	1.0	1.0	0.7	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
l 学校経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
C n 事務・報告書作成	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.5	0.5	0.8	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
u その他の校務	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	1.0	1.2	0.7	0.4	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.2	0.3	0.8	1.9	4.7	9.0	16.5	21.7	24.5	24.7	24.8	24.6	24.4	23.8	19.6	18.8	16.8	14.4	13.6	13.0	12.0	11.2	8.3	7.6	4.6	3.1	1.7	1.1	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.5	2.6	3.3	7.1	8.2	11.0	11.4	10.9	9.8	6.5	6.3	6.1	9.9	12.3	12.3	12.6	12.1	10.8	9.7	7.3	6.2	4.5	4.0	4.9	5.2	8.5	8.8	12.1	11.9	11.2	10.4	7.6	6.2	3.6	2.7	1.6	1.2	0.8	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7				
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.1	0.2	0.2	0.3	0.5	0.9	1.2	1.5	1.6	2.1	2.1	2.0	2.0	1.7	1.7	2.1	2.2	2.4	2.4	2.3	2.2	1.9	1.5	1.3	1.0	0.8	0.8	1.1	1.2	1.6	1.6	1.5	1.3	1.0	0.8	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.5	0.6	0.8	0.9	1.0	1.0	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

時間別行為率(30分ごとの平均) 5~19% 20%以上



(図表 5-85) 第 6 期休日 中学校 教諭 (担任なし)

第6期【中学校】 休日・教諭 学級担任でない

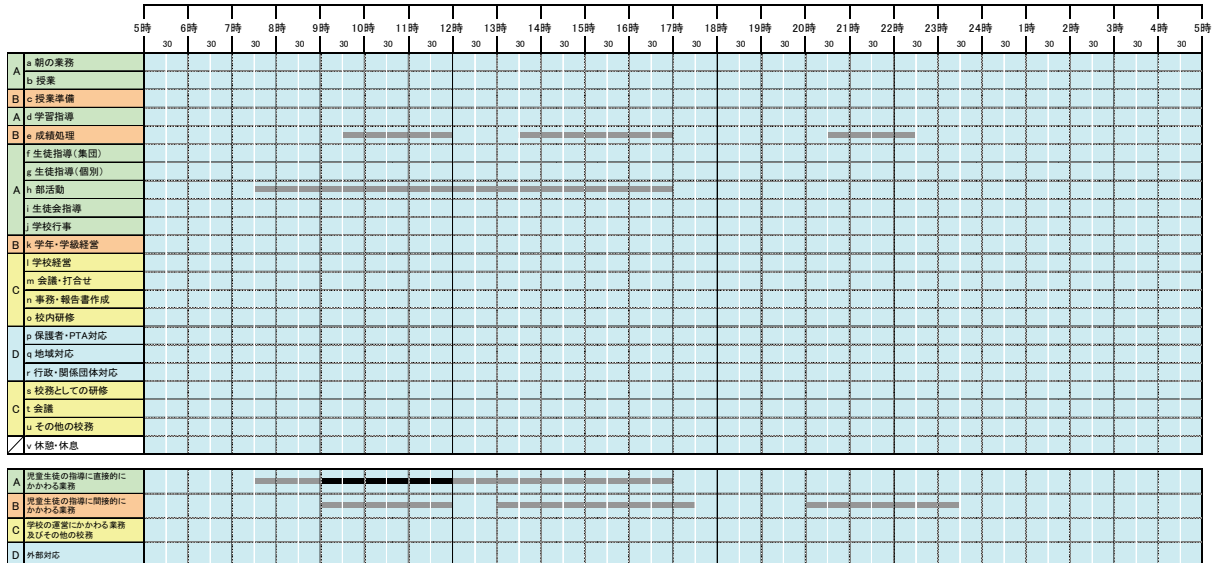
母数= 9,399

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
c 授業準備	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.6	1.5	1.7	2.3	2.5	2.2	1.8	1.0	0.8	1.4	1.7	2.1	2.1	2.2	2.1	2.0	2.0	1.7	1.4
d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
e 成績処理	0.3	0.3	0.4	0.6	0.7	1.3	1.9	4.5	5.0	7.2	7.4	6.7	5.9	3.1	3.2	4.9	5.4	6.8	6.6	6.9	6.7	6.0	5.4	3.8	3.1
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
h 部活動	0.1	0.2	0.7	1.4	3.6	6.7	12.6	18.3	19.3	19.7	19.7	19.6	19.2	15.4	13.0	11.5	11.0	10.3	9.8	9.0	8.4	6.9	5.6	3.3	2.3
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
j 学校行事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1
l 学校経営	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.8	0.7	1.0	1.0	1.0	0.8	0.7	0.7	0.8	1.0	1.0	1.2	1.2	1.0	0.9	0.6	0.6	0.4
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
n 事務・報告書作成	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.5	1.1	1.2	1.5	1.2	1.1	0.8	0.7	1.0	1.2	1.4	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	0.8	0.6	0.5	0.4
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1
q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
u その他の校務	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.6	0.8	0.9	1.0	1.0	1.1	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	1.1	1.2	0.6	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.1	0.3	0.7	1.4	3.8	7.0	13.4	17.5	20.3	20.5	20.8	20.8	20.5	20.1	18.2	18.8	18.1	11.7	11.0	10.6	9.8	9.0	7.4	6.1	3.7
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.4	0.4	0.5	0.6	0.8	1.0	1.8	2.6	6.3	7.0	9.9	10.3	9.1	7.9	4.2	4.3	6.6	7.3	9.3	9.1	9.6	9.2	8.5	7.8	5.7
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.1	0.1	0.3	0.5	0.8	1.5	2.1	3.2	4.4	4.3	4.0	3.7	2.9	2.7	3.4	3.7	4.3	4.2	4.3	4.3	3.6	3.3	2.3	1.9	1.4
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.8	0.9	1.1	1.2	1.2	1.1	1.1	0.8	0.7	0.6	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



(図表 5-87) 第 6 期休日 中学校 教諭 (運動部顧問)

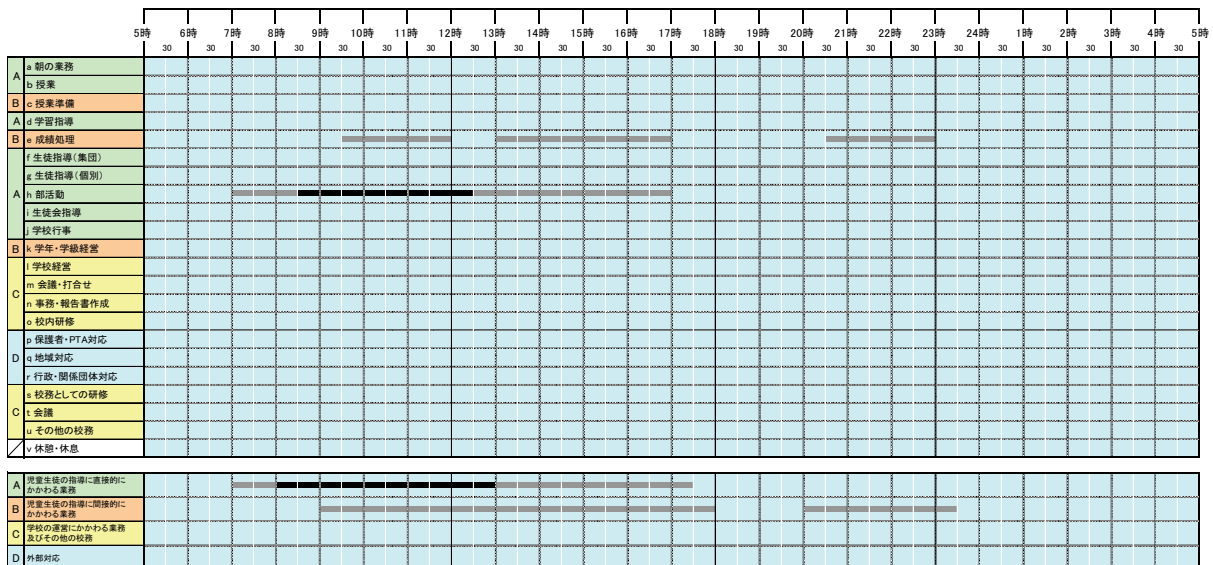
第6期【中学校】 休日・教諭 運動部顧問

母数= 18,736

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B c 授業準備	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	0.7	1.4	1.5	1.9	2.0	1.8	1.7	1.1	1.1	1.7	1.8	2.0	2.1	1.9	1.8	1.5	1.3	1.0	1.0
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
B e 成績処理	0.3	0.4	0.6	0.7	0.8	1.0	1.7	2.2	4.8	5.5	7.2	7.4	7.0	6.4	4.3	4.2	5.8	6.3	7.7	7.6	7.7	7.6	6.8	6.1	4.5
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
e 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
A h 部活動	0.2	0.4	1.1	2.4	5.8	10.9	19.6	25.3	28.3	28.5	28.5	28.4	28.0	27.4	22.5	19.3	16.9	16.1	15.1	14.5	13.2	12.4	10.4	8.4	4.9
d 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
学校行事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
B k 学年・学級経営	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1
学校経営	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.8	0.7	0.7	0.6	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C n 事務・報告書作成	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.6	0.8	0.8	0.7	0.6	0.5	0.8	0.9	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3
校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.5	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
u その他の校務	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	1.1	1.2	0.8	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.2	0.4	1.1	2.4	5.8	11.1	20.2	28.1	29.3	29.6	29.7	29.5	28.1	28.3	23.4	20.1	17.7	16.8	16.0	15.3	14.1	13.1	11.0	8.9	5.4
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.5	0.6	0.8	0.8	1.1	1.4	2.5	3.2	6.5	7.4	9.7	10.0	8.4	8.7	5.8	5.9	8.0	8.7	10.3	10.2	10.4	10.1	9.2	8.4	6.4
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.8	1.3	1.7	2.2	2.3	2.9	2.9	2.7	2.5	2.2	2.3	2.7	2.9	3.1	3.1	3.1	3.0	2.7	2.4	1.8
D 外部対応	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.1	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4

時間別行為者率(30分ごとの平均)

5~19% 20%以上



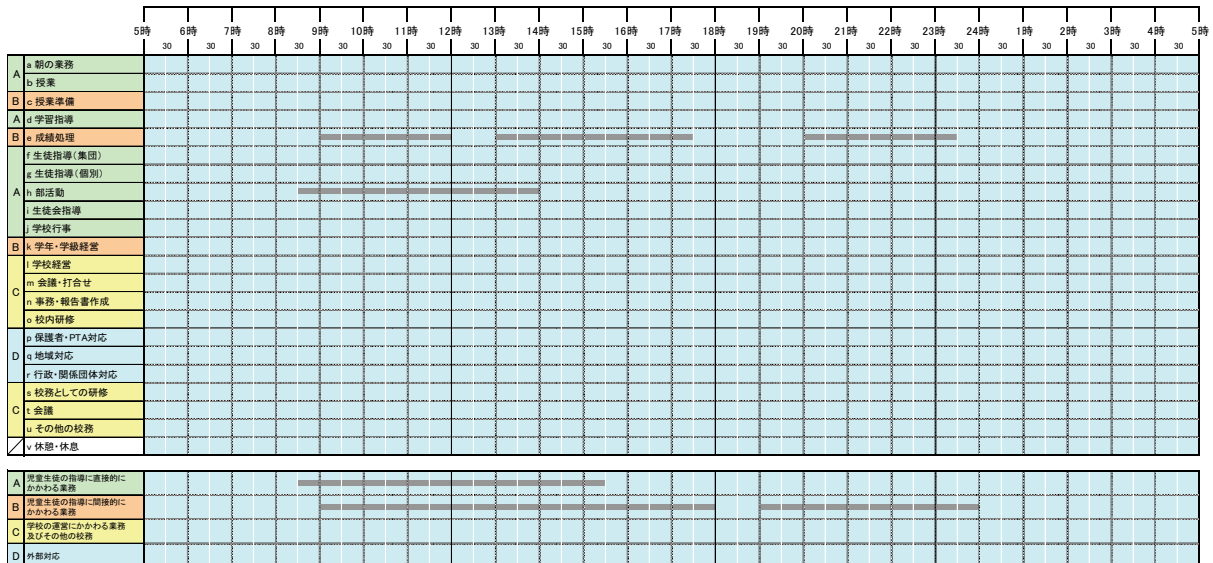
(図表 5-89) 第 6 期休日 中学校 教諭 (文化 部 顧 問)

第6期【中学校】 休日・教諭 文化 部 顧 問

母数= 5,840

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
c 授業準備	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.6	1.8	2.0	2.7	2.6	2.4	2.0	1.2	1.1	1.8	2.0	2.7	2.6	2.2	2.1	1.6	1.3	1.0	0.9
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
B e 成績処理	0.5	0.5	0.7	0.7	0.8	0.8	1.6	2.1	5.3	6.1	8.9	9.5	8.7	7.3	3.9	3.8	6.7	7.6	10.1	10.3	10.7	10.2	8.9	8.0	5.8
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
A h 部活動	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	1.4	3.9	7.2	9.2	9.5	9.7	9.7	9.6	7.5	5.8	5.2	5.1	4.7	4.6	4.3	4.0	3.1	2.6	1.8	1.4
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
l 学校行事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
B k 学年・学級経営	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.6	0.7	0.8	0.7	0.3	0.3	0.5	0.5	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.5	0.4	0.3
l 学校経営	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3
m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
C n 事務・報告書作成	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.7	0.8	1.1	1.0	0.9	0.9	0.4	0.4	0.6	0.7	0.9	0.8	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.7	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0
u その他の校務	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5	0.7	0.7	0.8	1.0	1.1	1.0	1.0	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	1.1	1.3	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	1.5	4.5	7.9	10.1	10.4	10.7	10.7	10.8	10.5	8.2	6.4	5.8	5.8	5.5	5.2	5.0	4.6	3.7	3.0	2.1
B 児童生徒の指導に間接的にかわる業務	0.7	0.8	0.8	0.9	1.2	1.3	2.1	2.9	7.4	8.5	12.2	12.8	11.9	9.9	5.4	5.2	8.9	10.0	13.6	13.7	14.2	13.5	11.8	10.9	7.9
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	0.1	0.1	0.3	0.2	0.3	0.4	0.9	1.3	2.0	2.3	3.0	3.1	2.8	2.7	1.9	1.7	2.5	3.0	2.9	3.0	2.8	2.6	2.1	1.6	1.2
D 外部対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.4	0.7	0.8	0.9	1.0	1.0	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1

時間別行為者率(30分ごとの平均)
5~19% 20%以上



本稿は部活動顧問の部活動における勤務実態を、活動日数および活動時間に関する顧問の分布を分析することによって明らかにしている。

本稿では顧問の部活動従事の実態を検討するために「部活動活動率」「部活動活動日数」および「1日当たり部活動活動時間」を指標として用いた。「部活動活動率」とは特定の期の顧問の勤務日の合計日数を分母とし、部活動に最低30分従事した日数（活動日）の合計を分子としたものである。「部活動活動日数」とは特定の期の顧問が休日に部活動に最低30分従事した日数である。「1日あたり部活動活動時間」とは特定の期の顧問の活動日を分母とし、活動時間の合計（業務^h）の数の合計を2で除した値）を分子としたものである。

分析では、運動部顧問および文化部顧問の「活動率」「1日当たり活動時間」を全6期の勤務日、休日ごとに算出、グラフ化した。全6期を通じて運動部顧問の勤務日の活動率および休日の活動日数は文化部顧問よりも多く、特に休日の活動日数では大きな差が発生している。しかし、1日当たり活動時間では最も多い活動時間数は運動部と文化部で変わらず、文化部であっても活動日は運動部と同程度の時間の活動を行う顧問が多く、かつ長時間の活動を行う部活動も多数存在することが示されている。また全6期を通じた比較からは冬季にむけて活動率や活動時間が減少していることから、部活動が最終下校時刻による活動時間の短縮のみならず、中間・期末考査や学校行事などの影響を受け、勤務日では減少した活動率や活動時間を利用して顧問が他の業務に従事している可能性があることを示した。

第1節 問題関心と課題設定

本稿は部活動顧問の部活動における勤務実態を、顧問の「部活動活動日数」および「1日あたりの活動時間」という指標を用いて明らかにすることを目的とする。

部活動に関する議論は、政策的にはスポーツ振興と関連して、学校運営の視点からは生徒指導のための有効な手段としての部活動運営という視点が主流であった。そのため、部活動研究では基本的に部活動に関して肯定的であり、スポーツ振興のための部活動の在り方（中学生・高校生のスポーツ活動に関する調査研究協力者会議 1997）や部活動の生徒指導上の意義を前提とした部活動運営のあり方（山口 1986）についての関心が高く、顧問は生徒の部活動をどのようにサポートするかという点が議論の対象となっていた。

上記の観点から、中学生・高校生のスポーツ活動に関する調査研究協力者会議（1997）

では主に1学期における活動日数や活動時間について調査がなされており、週6日間活動し、1回当たり2、3時間の活動時間が部活動の中でも標準的な活動形態となっていることが示されている。しかし、活動日数の多さや活動時間の長さは「勝利至上主義」を目的とした「行き過ぎた活動量」が生徒に対して悪影響を与えることから問題視されており、顧問に関する問題については部活動の実技指導の能力不足という観点が中心となっているため、顧問の労働環境について言及されていない。

しかし、昨今になって教員の精神疾患を原因とした休職が増加した要因の一つとして部活動などによる多忙化が挙げられるようになる（読売新聞 2008年12月26日）など部活動が教員の負担を増加させる一因となっているという認識が増加し、部活動も教員の多忙化問題の一つとして認識されるようになった（群馬県教育委員会 2008、pp.163-167）。また、運動部顧問への意識調

査から特に土日の活動時間自体が負担となっているということも明らかにされており（毎日新聞 2007 年 11 月 19 日、西島他 2008）、活動時間が長い部活動顧問への就任を忌避する教員が増加傾向にあることも指摘されてきている（佐賀新聞 2008 年 11 月 19 日、東京新聞 2009 年 1 月 11 日など）。

顧問の部活動負担に関する分析に共通しているのは運動部の負担の大きさに注目したものであり、文化部の顧問に関する問題意識が描かれていないこと、活動日数や時間についての調査も特定の時点での調査であり、1 年間を通じた全体像が把握できていないという課題を持っている。特に中学校段階では季節によって最終下校時刻が異なるため、部活動の活動状況は年間に変動が生じることが推測される。年間を通じた部活動の活動状況について概観する必要があると言える。

また、平成 18 年度に実施された「教員勤務実態調査」のデータをもとに再分析を行った小入羽（2008）では、中学校の部活動顧問の属性および顧問の勤務形態に着目し、各顧問の 28 日間の労働時間の平均値を用いて分析を行っている。まず、部活動顧問の属性を検討することで顧問に就く教員の性別や年齢層など基礎的なデータを示し、その上で顧問の有無や担当する部活動の種類による勤務形態の差異を検討している。通常期である第 1 期および夏季休業期である第 2 期の運動部顧問、文化部顧問、顧問に就いていない教員の 1 日の労働時間配分を比較した結果、顧問未就任の教員と顧問の労働時間の差は部活動従事時間とほぼ一致し、顧問の残業時間の多くが部活動となっており、その傾向は特に運動部顧問に顕著に表れていること、顧問は休日であっても部活動に従事している状況が示されている。また、同様のデータを用いて、川上（2008）では、「行為者率」および「平均行為時間」という概念を使用して顧問の業務項目別の行為者率や平均行為時間を算出し、一日の中で部活動に従事している顧問の割合や顧問が部活動に従事した時間の平均値を算出している。

勤務実態調査のデータを用いた先行研究の特徴として、平均値を扱った議論になって

いる点が挙げられる。顧問の勤務実態を明らかにする上で東京大学（2007）や東京大学（2008）で扱われてきたような平均値をもとにした分析は各期における勤務の傾向を分析する上では有効であった。本稿ではそれを踏まえて、顧問が月間で部活動に従事した日数（活動日数）や、一回の部活動に従事した時間数（活動時間）など、顧問の部活動における勤務実態を詳細に分析することによって、顧問の勤務実態の全体像を明らかにする。

上記の課題を検討するために次の 2 点に着目している。1 点目は活動日数や活動時間における顧問の分散に着目した点であり、2 点目は 6 期を通じた分析に着目した点である。

まず顧問の活動日数および活動時間について、本稿では顧問が 1 ヶ月に部活動を実施した日数の合計であり、最低 30 分間部活動に従事した日を「活動日数」として定義する。1 日当たり活動時間は、月間の活動時間の総和を月間の活動日数で除した値と定義する。また、顧問の分散に着目した分析について、先行研究では小入羽（2008）が顧問の労働時間の平均値を算出して分析を行い、川上（2008）においても項目別行為者率と平均行為時間に着目した分析を行うなど顧問が部活動に従事した平均時間の長短を分析対象としてきた。しかし、東京大学（2007）の結果などからも明らかなように労働時間の分布には大きなばらつきが存在するため、顧問の部活動従事状況の全体像を明らかにするためには、平均値と標準偏差以外に部活動の活動時間や活動日数に関する顧問の分布などを分析する必要がある。最後に、6 期を通じた部活動実施日および活動時間の分析に着目することによって、季節や学校行事など他の要因が複合的に影響する中での部活動の勤務実態について概観することが可能となる。

第 2 節 活動日数と活動時間分析

第 1 項 データの定義と分析指標

データは東京大学（2007）で行われた「教員勤務実態調査」の個票を用いる。中学校の部活動顧問のデータを個票より抽出して運

動部と文化部に分け、さらに勤務日と休日のみを抽出している⁴。勤務日と休日の定義については、東京大学（2007）での定義を踏襲する。勤務日は「①業務記録の日にちの区分が「1.勤務日」であり⁵、②出勤時刻・退勤時刻の記入があり、③1日のうち最低でも5時間分の記入がある（48マスのうち10マス）日」の条件をすべて満たした日と定義されており、休日は業務記録の日にちの区分を「2.休日」選択した日と定義されている（東京大学2004：p.56-57）。本稿では勤務日と休日の顧問の部活動従事状況について検討することを目的としているため、年休利用者は分析の対象外としている。

また、勤務日の定義が上記の3条件を満たしている必要があるので顧問によって分析対象となる勤務日の日数が異なる。本稿で着目する部活動実施日数を検討する際に単純な日数の合計値を指標としてしまうと、その指標が分析対象となっている勤務日の合計日数の多寡に依存してしまうという問題点を持つため、顧問間の比較には適さない。そこで、本稿では比較するための指標として「活動率」を用いる。「活動率」は各顧問の勤務日を分母、部活動実施日数を分子としてその割合をパーセンテージで表したものである。分析では20%単位で区切っており、100%であれば出勤日はすべて部活動に従事していることを表している。勤務日を平日として週5日と仮定した場合、活動率80%であれば週4回、60%であれば週3回部活動に従事しているという目安になる。なお、休日は上記のようなデータに関する条件制約がないため、①顧問であること、②休日であることの双方を満たしたデータを分析対象としている。

1日当たり活動時間も本稿で検討する指標である。従来の先行研究では1ヶ月間の平均値として活動時間を定義していたが、本稿で

は部活動1日当たりの活動時間の顧問ごとの平均値を「活動時間」と定義する。実際に部活動に従事した日の活動時間のみを抽出してその平均値を取っている。

これら二つの指標について運動部、文化部と分けて比較検討を行っているが、顧問の母集団自体が運動部と文化部で大きく異なるため、図示する際には軸をパーセントにし、グラフの中にある数字を実数としている。

最後に、分析に用いた顧問の人数を表す。図表6-1は各期の分析対象とした顧問の人数を表にしたものである。

図表6-1：本分析で用いた顧問の人数

		第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
運動部	勤務日	2,377	1,919	2,336	2,241	2,525	2,028
	休日	2,377	1,917	2,334	2,236	2,509	2,057
文化部	勤務日	737	570	642	668	749	642
	休日	733	576	644	668	748	641

単位(人)

第2項 通常期の顧問の活動率と活動時間

(1) 第1期

第1期は平成18年7月3日から平成18年7月30日である。7月下旬より夏季休業期に入るため、夏季休業期中のデータは除去した上で分析を行っている⁶。第1期は夏季休業期に入る直前期であるため、通常の授業以外の行事が多いことも特徴として挙げられる。行事の例としては3学期制の中学校であれば学期末試験、2学期制であれば学期末面談の実施、終業式などが挙げられる。試験期間中は基本的に部活動が禁止されている一方で、試験終了日から終業式までの間、学期末面談の実施中などは授業自体が短縮されて実施される可能性があり、部活動の活動率や活動時間に学校間で差が発生すると推測できる。また、中学校総合体育大会（以下中総体）の地区予選が7月下旬より始まることが多く、さらに日照時間が長いために学校の最終下校時刻も遅い時間帯に設定されていることから、部活動の活動時間も比較的長

⁴ 「教員勤務実態調査」教員個人調査票、質問8「あなたは部活動顧問をしていますか」で運動部、文化部と答えた顧問を抽出した（東京大学2004：p.205）。

⁵ 「教員勤務実態調査」業務記録の質問②「今日の勤務は1～4のどれにあたりますか」の回答欄「1. 勤務日、2. 年休（終日）、3. 年休（部分）、4. 休日」の選択肢の一つ（東京大学2004：p.207）。

⁶ 夏季休業期の開始時期については東京大学（2007）参照。

くなると推測される。

このように第1期では夏季休業期の開始日が各学校によって異なるという点、勤務日であっても行事の実施が行われている点、中総体の予選が近い点、最終下校時刻が他の期と比較しても遅い点を考慮して活動率および活動時間について検討する必要がある。

①勤務日

まず、勤務日の活動率について概観する。図表6-2は第1期の顧問の活動率をグラフ化したものである。本分析で対象とした顧問の人数は運動部2,377人、文化部737人である。運動部の約9割(2,143人)、文化部の約8割が第1期の通常期の期間中に最低1回の部活動に従事している。最も大きな特徴は活動率80%を超える顧問の割合である。運動部は半数を超えている(1,217人)のに対し、文化部では約3割(245人)である。顧問に就いているが、部活動に従事しない顧問が運動部・文化部双方で確認されるが、文化部の方が約2割(138人)とその割合は運動部と比較しても高い⁷。

次に、勤務日の活動時間について概観する。図表6-3は各顧問の部活動1日あたりの活動時間をグラフ化したものである。図表6-2で部活動活動率が0であった顧問は除去しているため、運動部顧問2,143名、文化部顧問599名を分析対象とした。運動部、文化部の双方とも約7割が部活動に2時間から3時間従事している実態がこの表から読み取れる。それ以外の従事時間は、運動部では長時間従事者が多く、文化部では1時間以内の短時間従事者が多いという特徴がある。長時間従事者の状況については、4時間を超えて部活動に従事する顧問が運動部で約2割(415人)、文化部では1割未満(46人)であるが存在している。

活動率のみを比較すると、運動部は文化部よりも活動する日数が多い顧問が多いこと

が読み取れるが、文化部で実際に活動している顧問の大半の部活動従事時間は運動部と大きく変わらない。また、両方で最も大きな差となって表れたのは短時間および長時間従事者であるが、運動部で長時間従事する顧問が全体の2割を占めており、文化部の約2倍の比率となっている背景には前述したような夏季の中総体直前期であることや、夏季休業期直前期の諸行事等の影響があると考えられる。

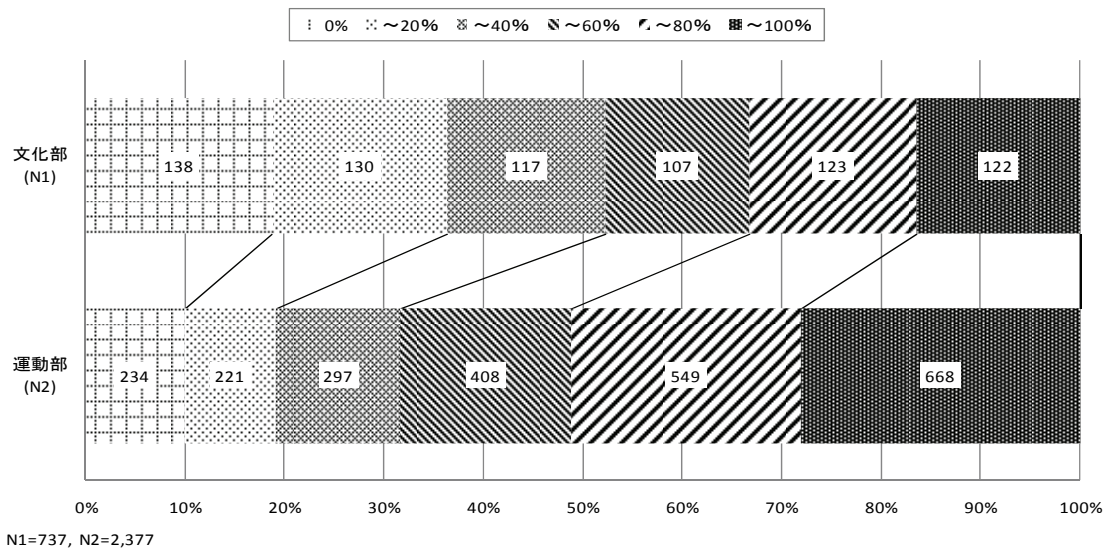
②休日

休日の活動日数について概観する。図表6-4は月間の部活動実施日数を表にしたものである。第1期では夏季休業期以降の休日を分析対象から除外しており、通常期としての休日が他の通常期と比較しても少ない。そのため、全体として実施日数が少ない傾向にある。分析対象とした顧問の人数は運動部2,377人、文化部733人である。

最も大きな特徴は休日に部活動に従事することの有無が運動部と文化部で分かれていることである。運動部で休日に部活動を実施しない顧問は全体の約2割(490人)であるのに対し、文化部では同様の顧問は全体の7割近く(488人)を占めている。部活動を実施している顧問に着目すると、第1期通常期の休日のうち運動部は実施日数が「2日」もしくは「3日」である顧問が最も多く、ともに全体の約2割(2日:447人、3日:463人)を占めており、実施日数「4日」が16%(371人)と続いている。運動部では第1期の活動日数が「2日」「3日」「4日」でほぼ同数になっており、毎週土日のうちいずれかを活動日に充てている顧問が多いことが表から推測できる。文化部では活動日数「1日」が全体の約1割(68人)と最も多く、他の活動日数はすべて全体の5%程度である。第1期では休日に活動する文化部顧問は少ない傾向にあることがこの表から読み取ることができる。

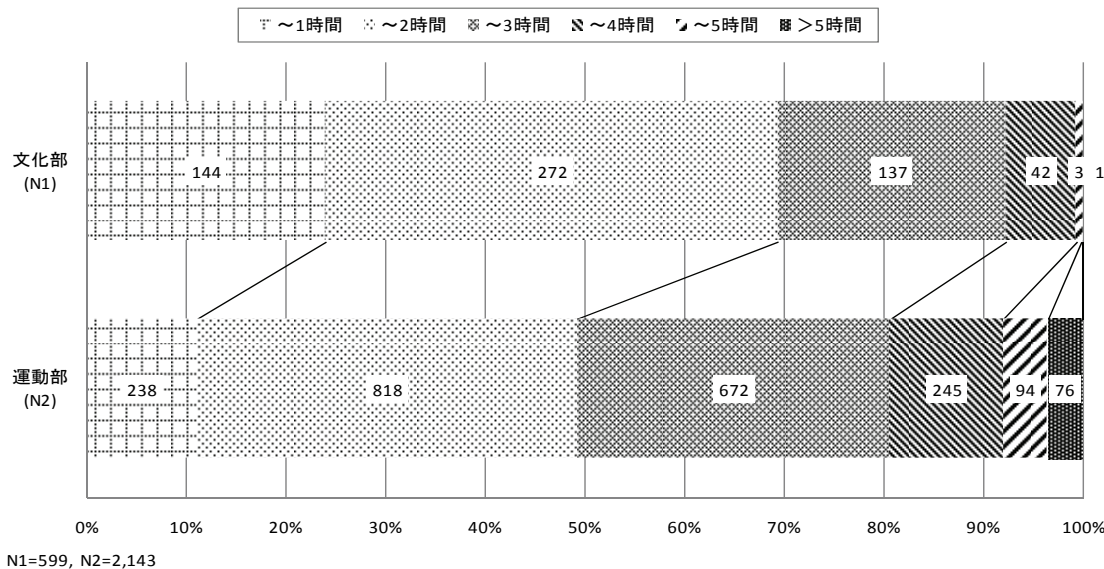
⁷ 従事率「0%」は部活動に全く従事していないことを示している。「0%」となる顧問は2人顧問体制の部活動の副顧問であることが考えられる。副顧問は正顧問が会議等で部活動に参加できない場合に指導を行うが、それ以外は基本的に部活動に参加しないケースが多い。正副顧問については、第8章を参照。

図表 6-2：顧問の部活動活動率（第 1 期・通常期・勤務日）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 6-3：顧問の 1 日当たり部活動活動時間（第 1 期・通常期・勤務日）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

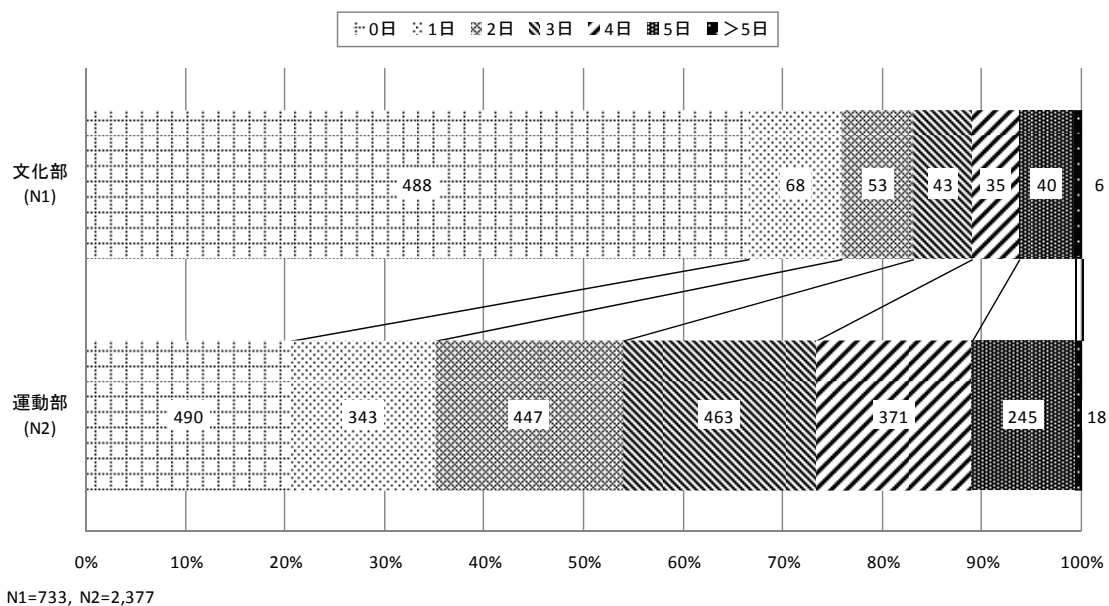
次に、休日の活動時間について概観する。図表 6-5 は第 1 期通常期の休日の活動時間をグラフ化したものである。勤務日と同様に、活動日が 0 である顧問は分析対象から除去しているため、分析対象となる顧問の人数は運動部で 1,887 人、文化部で 245 人となっている。運動部では従事時間が「4~6 時間」であ

る顧問が全体の約 4 割(710 人)と最も多く、「6~8 時間以内」が 24% (447 人)、「2~4 時間以内」(410 人)が 22%と続いている。また、全体の約 1 割が「8 時間~10 時間以内」、全体の 15%の顧問が 10 時間を超えて部活動に従事していることが読み取れ、休日の大半を部活動に従事する顧問も少数ではあるが

確認できる。また、文化部でも運動部と同様に活動時間が「4～6時間以内」(68人)である顧問が最も多いが、「2～4時間」(63人)および「6～8時間」(63人)である顧問も割合的には約25%とほとんど変わらず、上記3つの時間帯に顧問が均等に分散している。また、休日の活動時間が「2時間以内」の顧問が6%(15人)と運動部よりも多く、「8～10

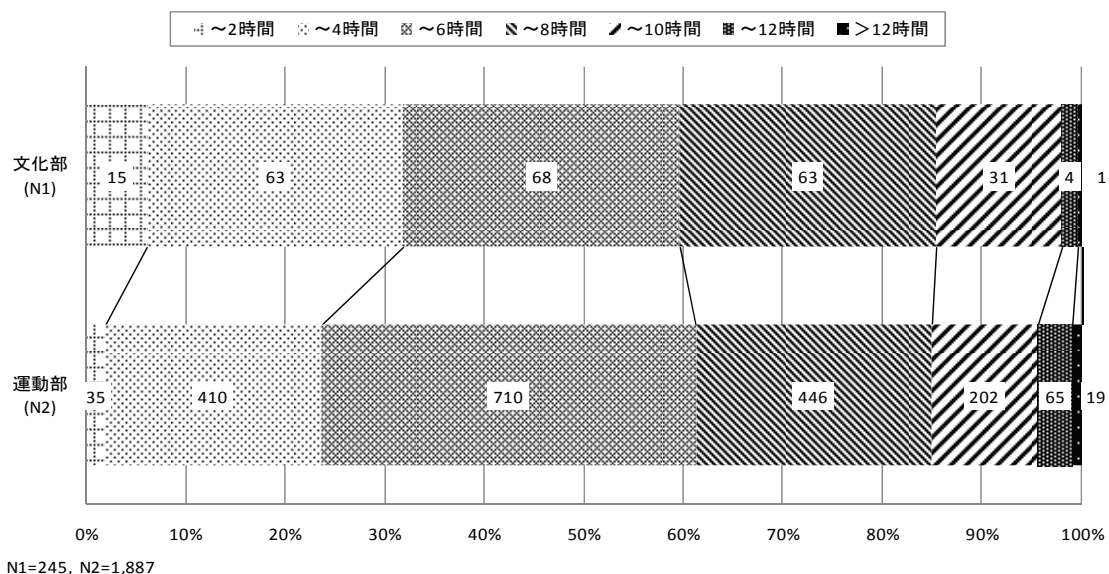
時間以内」の顧問が13%(31人)と運動部とほぼ同程度の割合を占めている。休日に全く活動しない部の顧問と長時間活動する部の顧問との差が顕著であり、従事時間が比較的短いとされてきた文化部においても運動部以上に従事している顧問が一定程度存在することがこの表からは読み取れる。

図表 6-4：顧問の部活動活動日数（第1期・通常期・休日）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 6-5：顧問の1日当たり部活動活動時間（第1期・通常期・休日）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

(2) 第3期

第3期は平成18年8月28日(月)から9月24日(日)までの4週間である。8月28日時点では夏季休業期中の学校が多いため⁸、夏季休業期に含まれる日を除去した上で通常期のみを抽出して分析を行っている。夏季休業期が終了すると、文化祭や体育祭を初めとする学校行事が行われるようになる。本期は全6期の中でも最も学校行事の行為者率が高く、中学校ではその準備や練習に多くの時間を割いていると考えられ(樋口・鈴木2008:p.11-12)、運動部および文化部顧問の学校行事業務の平均従事時間が顧問に就いていない教諭と比較しても高かったことから(小入羽2008:p.38)、学校行事が活動率や活動時間に影響を与える可能性を考慮に入れる必要がある。

①勤務日

まず、勤務日の活動率について概観する。図表6-6は顧問の活動率についてグラフ化したものである。勤務日における分析対象とした運動部顧問は2,336人、文化部顧問は642人である。運動部では週3、4日の活動日に相当する「60~80%」が全体の24%(552人)と最も多く、週2、3日に相当する「40~60%」の19%(448人)、週4、5日に相当する「80~100%」の18%(424人)と続いている。全く部活動に従事しなかった顧問は全体の12%(279人)である。一方、文化部では「40~60%」が全体の23%(145人)と最も多く、「20~40%」が19%(122人)、「60~80%」が18%(116人)と同程度の割合になっている。

両者を比較すると、活動率が20%~80%である顧問の比率は運動部、文化部ともにほとんど変わらないが、活動日が0日である「0%」および週4、5日の活動日に相当する「80~100%」で両者の差が発生している。前者では文化部顧問の比率が高く、後者では運動部顧問の比率が高いことが読み取れる。

次に、勤務日の活動時間について概観する。

図表6-7は顧問の部活動1日当たりの活動時間についてグラフ化したものである。活動確率が0であった顧問を除去した運動部顧問2057人、文化部顧問545人を分析対象とした。運動部、文化部ともに活動時間「1~2時間」の顧問が最も多く、運動部50%(1,025人)、文化部58%(314人)となっている。

「1~2時間」に次いで顧問の割合が高い時間帯は、運動部では「2~3時間」の26%(527人)、文化部では「1時間以内」が20%(111人)となっている。また、3時間を超えた時間従事している顧問の割合は運動部が全体の約1割(205人)と高く、5%(28人)の文化部を大きく上回っている。

活動率、活動時間ともに第1期と比較しても両顧問で低い傾向になっており、学校行事の影響も関係していると考えられる。

②休日

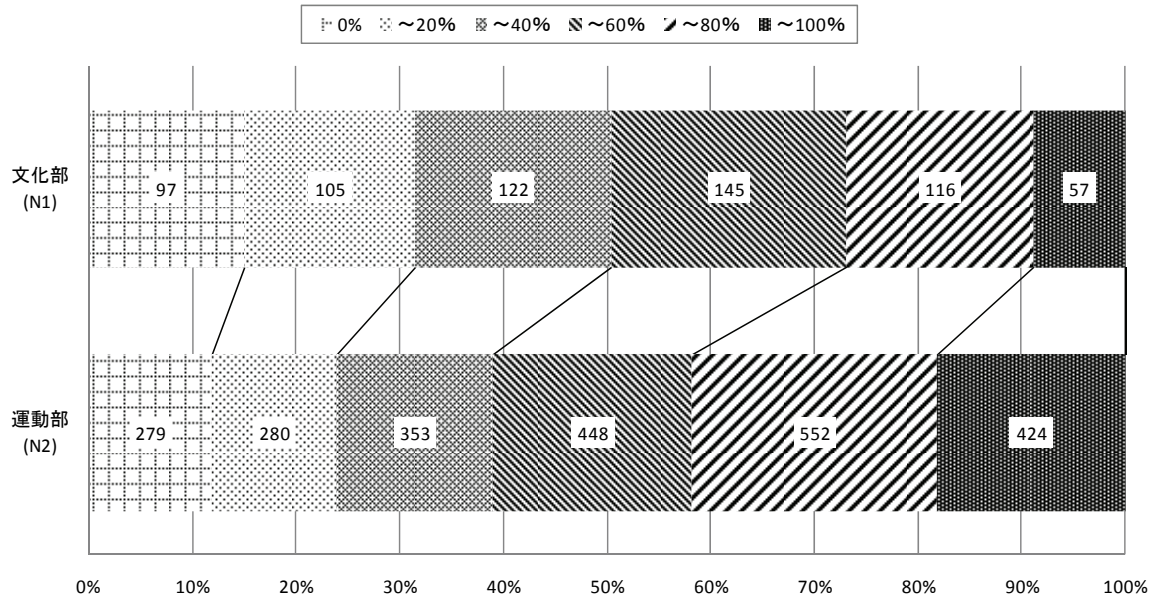
休日の活日数について概観する。図表6-8は休日における顧問の活動日数についてグラフ化したものである。分析対象とした顧問の人数は運動部2,334人、文化部644人である。運動部と文化部では活動日数の分布に大きな差が出ており、運動部が「2~4日」および「4~6日」が双方とも全体の約25%であるのに対し、文化部では活動日数が「0日」の顧問の割合が全体の63%(403人)を占めている。第3期中で最低でも1日活動している顧問は文化部では全体の4割であるのに対して運動部では全体の8割を占めており、運動部と文化部の活動頻度は休日に表れていることが読み取れる。

次に休日の活動時間について概観する。図表6-9は第3期通常期の休日における顧問の1日あたり活動時間の分布である。活動日数が「0日」である顧問を除去しているため、分析対象となっている顧問は運動部1,890人、文化部241人である。運動部、文化部ともに「4~6時間」従事している顧問が最も多く、運動部では43%(803人)、文化部では31%(75人)となっている。しかし、「4~6時間」に次いで顧問の比率が高い時間帯では担当する部活動による差が発生しており、運動部では「6~8時間」が26%(490人)、文化部

⁸ 第3期の夏季休業期の終了日については東京大学(2007:p.103)を参照。

が「2～4時間」で28%（68人）となっており、文化部の方が従事時間の短い顧問が比較的多いことが読み取れる。

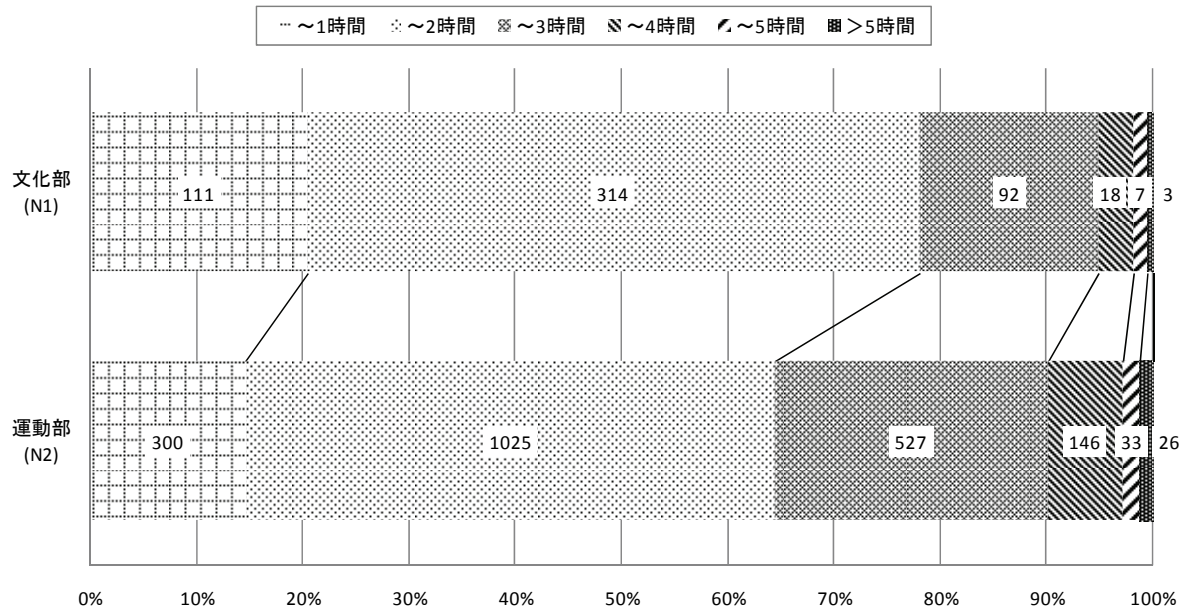
図表 6-6：顧問の部活動活動率（第3期・通常期・勤務日）



N1=642, N2=2,336

出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

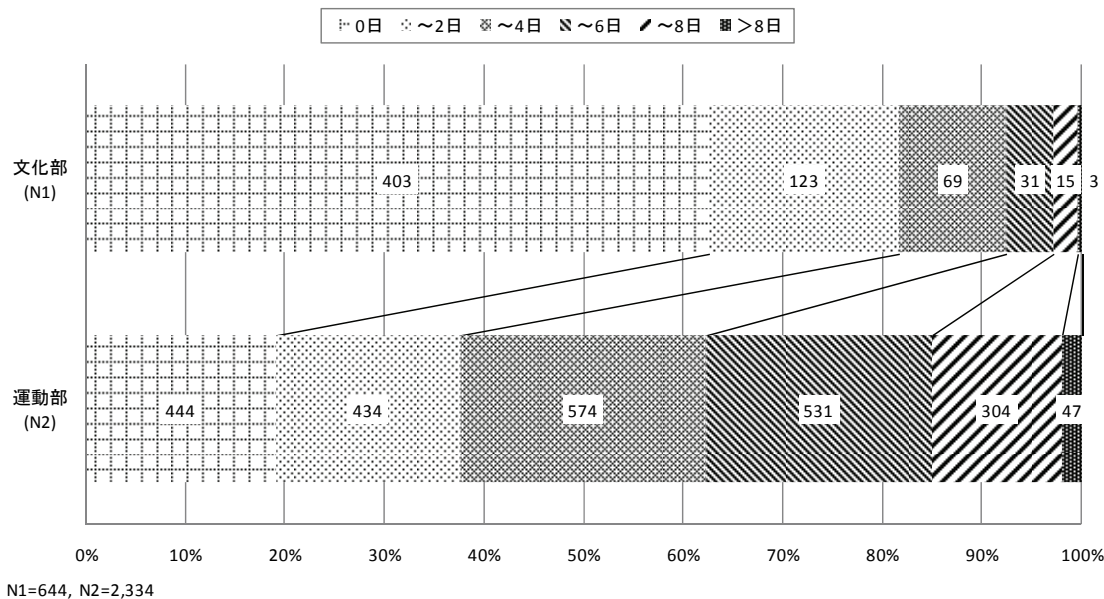
図表 6-7：顧問の1日当たり部活動活動時間（第3期・通常期・勤務日）



N1=545, N2=2,057

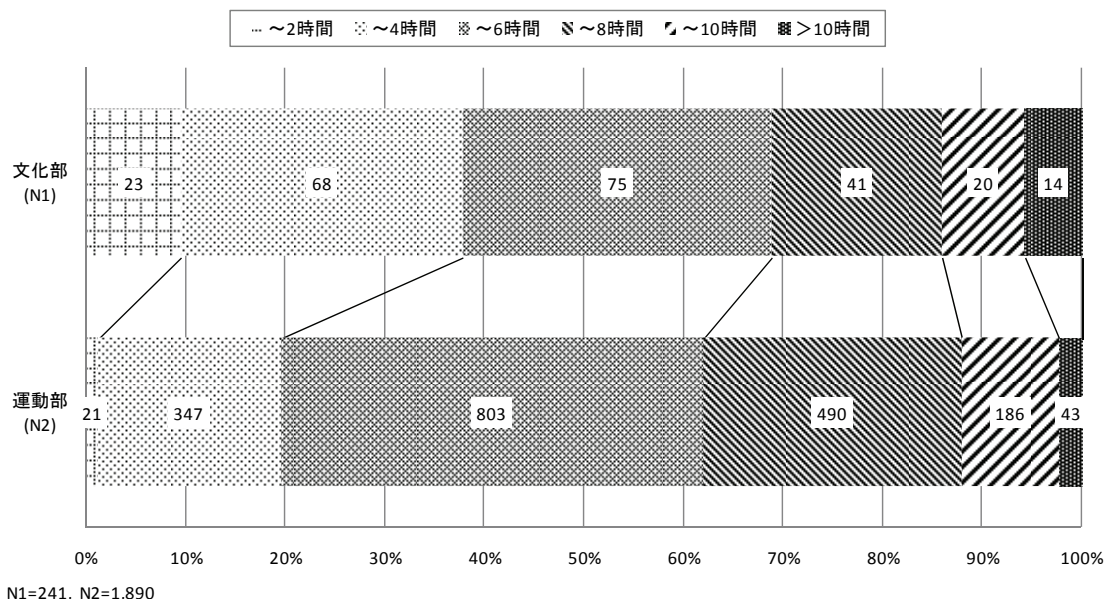
出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 6-8：顧問の部活動活動日数（第3期・通常期・休日）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 6-9：顧問の1日当たり部活動活動時間（第3期・通常期・休日）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

(3) 第4期

第4期は平成18年9月25日（月）から10月22日（木）までの4週間である。本期の特徴として、2学期制の学校で秋期休業期

を含んでいる点が挙げられる⁹。本項では通常期を分析対象としているため、秋期休業期に該当する日を除去した上で分析を行っている

⁹ 秋期休業期の時期については東京大学(2007:p.123)参照。

る。その他の特徴として、学校行事が比較的多く行われている点、中間考査の時期を含んでいる点、全国的に「県新人体育大会（以下新人戦）」が開催されている点を挙げることができる。中間考査実施時期であれば部活動は原則行わない。また、新人戦に出場する運動部の活動時間は長くなると推測される¹⁰。

①勤務日

まず、勤務日の活動率について概観する。図表 6-10 は顧問の勤務日活動率についてグラフ化したものである。本分析の対象となっている顧問は運動部 2,241 人、文化部 668 人である。運動部では週 3、4 日相当となる「60～80%」に従事する顧問が全体の 23%（484 人）、週 2、3 日相当となる「40～60%」に従事する顧問が全体の 22%となっており、両方で全体の約半数を占めている。また、週 1、2 日相当となる「20～40%」が 17%、週 4、5 日相当となる「80～100%」が全体の 16%と続いており、「0%」は全体の 10%（229 人）である。文化部では活動率は低い割合に多く集まっており、全く活動時間を取っていない顧問が 15%（100 人）おり、「0～20%」「20～40%」「40～60%」が約 20%とほぼ同じ割合である。従事率が 60%を超えている顧問は文化部顧問のうち 20%を占めている。

両者を比較すると、週 3～5 日に相当する 60%を超えた活動率が、運動部では顧問全体の 40%を占めるのに対し、文化部では約 20%を占めている点を違いとして挙げることができる。

次に、勤務日の活動時間について概観する。図表 6-11 は第 4 期勤務日の部活動 1 日当たりの活動時間をグラフ化したものである。活動時間を分析する上で扱った顧問の人数は運動部 2,012 人、文化部 568 人となっている。

¹⁰ 県新人体育大会は 1 年生および 2 年生を対象とした大会であり、県大会に出場するために市町村レベルの予選を勝ち抜く必要がある。例えば千葉県では 2008 年 9 月下旬から 12 月中旬にかけて新人戦が行われており、大半の競技は 10 月の下旬から 11 月に集中している（千葉県小中学校体育連盟ホームページ、<http://www.shochutairen.com/schedule/h20/sinjin.html>、最終閲覧日 2009/03/05）。また、県大会に出場するための市町村レベルでの予選大会は 9 月下旬から 10 月下旬にかけての期間に最も多く行われることが多い。

運動部は 1 日の活動時間が「1～2 時間」である顧問が最も多く、全体の 43%（864 人）を占めている。次に 23%（460 人）の「2～3 時間」、17%（336 人）の「1 時間以内」と続く。3 時間を超えて部活動に従事する顧問は全体の 17%（352 名）である。文化部も運動部と同様に「1～2 時間」に従事する顧問が 56%（320 人）と最も多く、「1 時間以内」が 29%（164 人）と続く。文化部では 2 時間を超えた時間部活動に従事する顧問が全体の 15%となっており、大半の顧問の従事時間が運動部と比較すると短いことがこのグラフから読み取れる。

本期は第 1 期と比較すると活動率、活動時間ともに減少しているが、第 3 期と比較すると文化部のみ活動率の高い顧問や従事時間の長い顧問が減少しており、運動部は大きく変化していない。活動率の減少は学校行事、活動時間の減少は最終下校時刻が影響していると考えられるが、運動部が第 3 期と変わらない理由として新人戦の予選大会のための活動を挙げることができる。大会直前期は最終下校時刻の延長が可能となるため、最終下校時刻が早くなっても第 3 期とほぼ変わらない活動時間の確保が可能となる。

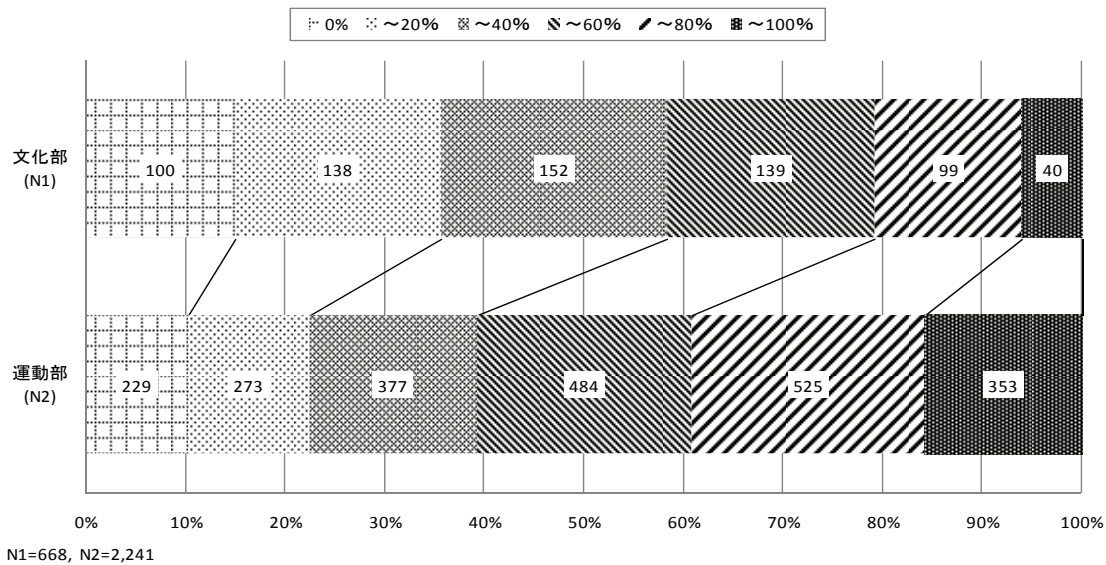
②休日

休日の活動日数について概観する。図表 6-12 は休日における顧問の活動日数についてグラフ化したものである。分析対象となった顧問の人数は、運動部 2,236 人、文化部 668 人である。運動部では「3～4 日」が 26%（577 人）と最も多く、「1～2 日」「5～6 日」がそれぞれ 23%（511 人、509 人）と続いている。全体の約 1 割が月間で 7 日以上部活動に従事しており、これはほぼ毎週土曜日および日曜日に部活動を行っていることに相当する。文化部では月間で部活動に従事しない「0 日」が最も 61%（406 人）と最も多く、「1～2 日」が 18%（120 人）、「3～4 日」が 11%（77 人）と続く。月間で 5 日以上部活動に従事している顧問は全体の 10%であり、運動部と比較すると文化部の休日活動日数は大幅に少ない。次に休日の活動時間について概観する。図表 6-13 は休日の部活動 1 日当たりの活動時間

をグラフ化したものである。分析対象となった顧問の人数は運動部 1,856 人、文化部 262 人である。運動部は「4～6 時間」が 38%（702 人）と最も多く、「6～8 時間」が 30%（565 人）となっている。「2～4 時間」に従事する顧問が 17%（306 人）の割合を占めている一方で、8 時間を超えて部活動に従事する顧問も

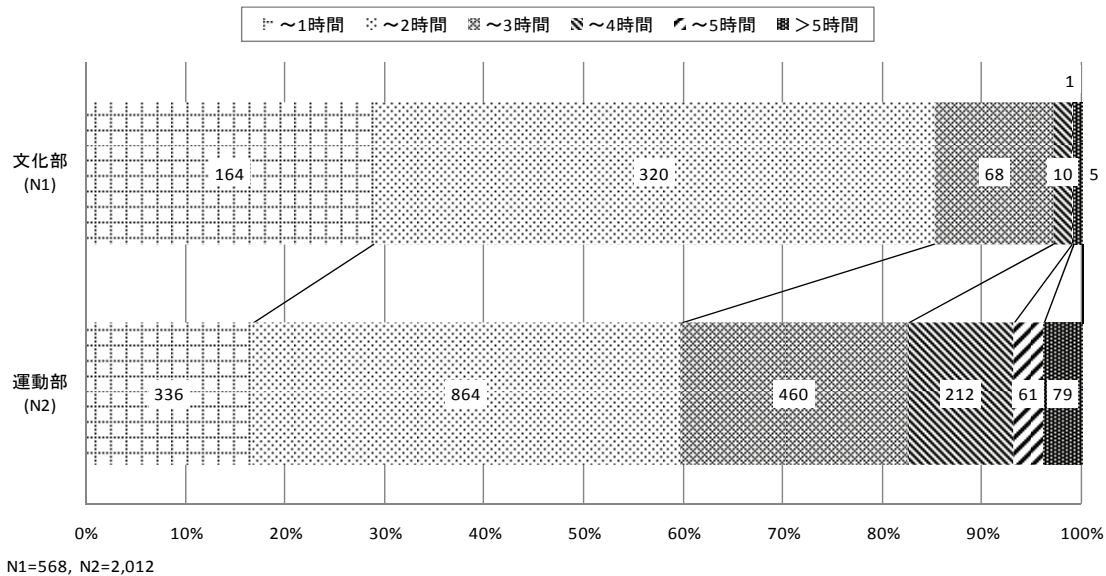
全体の約 15% いる。文化部では「2～4 時間」および「4～6 時間」に従事する顧問がほぼ同数であり、双方共に全体の約 3 割ずつを占めている。文化部の特徴は長時間部活動に従事する顧問が運動部と比較して少ない点であり、「6～8 時間」が 21%（55 人）、6 時間を超えて従事する顧問が全体の約 1 割となっている。

図表 6-10：顧問の部活動活動率（第 4 期・通常期・勤務日）



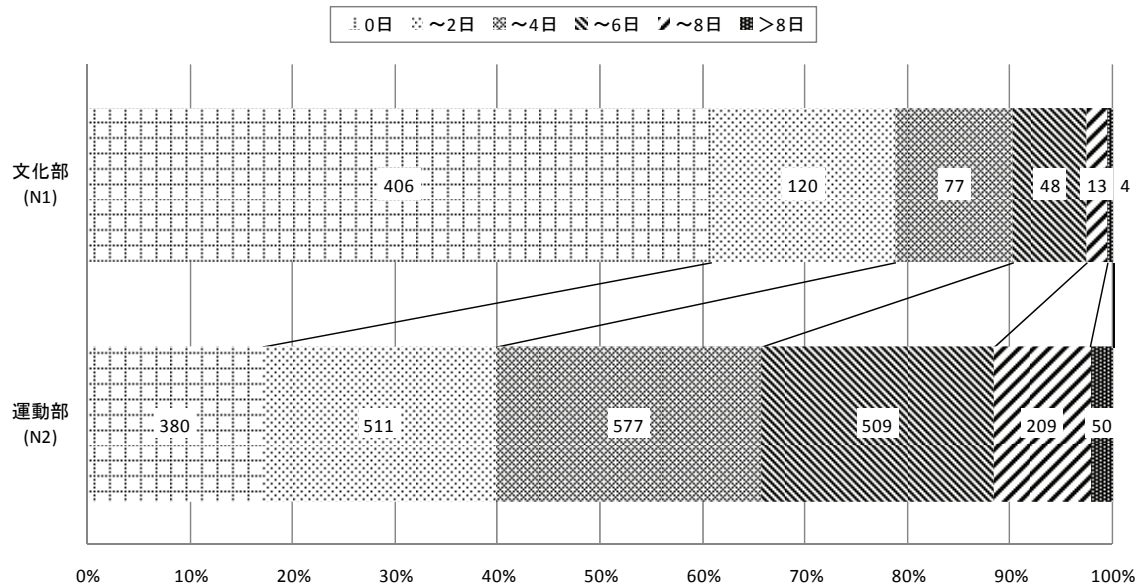
出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 6-11：顧問の 1 日当たり部活動活動時間（第 4 期・通常期・勤務日）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

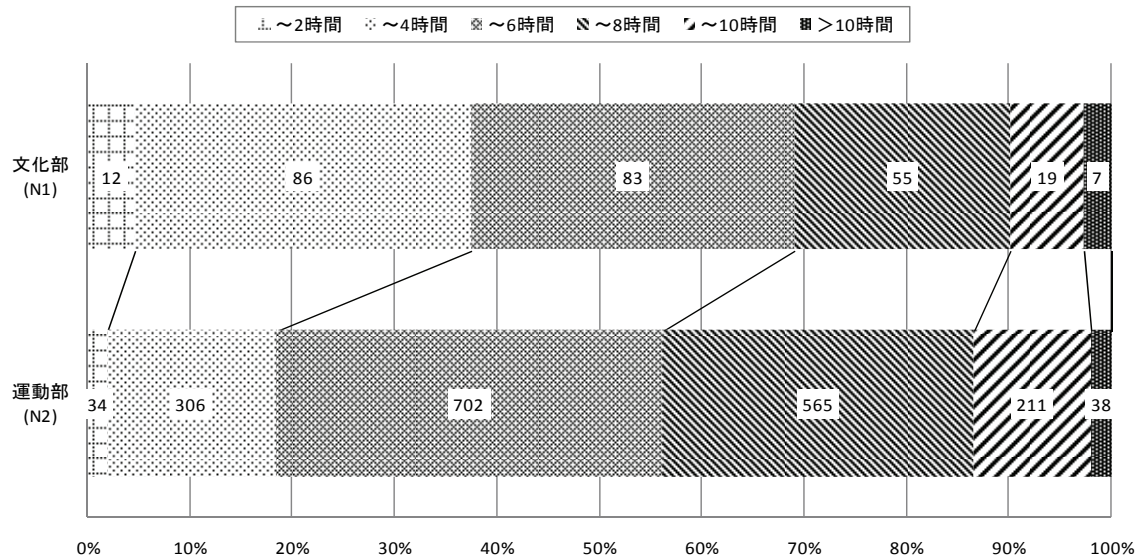
図表 6-12：顧問の部活動活動日数（第4期・通常期・休日）



N1=668, N2=2,236

出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 6-13：顧問の1日当たり部活動活動時間（第4期・通常期・休日）



N1=262, N2=1,856

出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

(4) 第5期

第5期は平成18年10月23日（月）から11月19日（日）までの4週間である。本期中で秋期休業期の期間と重なっていた中学校はないため、すべてのデータを通常期として

分析を行っている。第4期でも述べたように、新人戦の県大会がこの時期に実施されているが、県大会出場は予選大会の上位チームにのみ可能であるため、大会出場のための活動

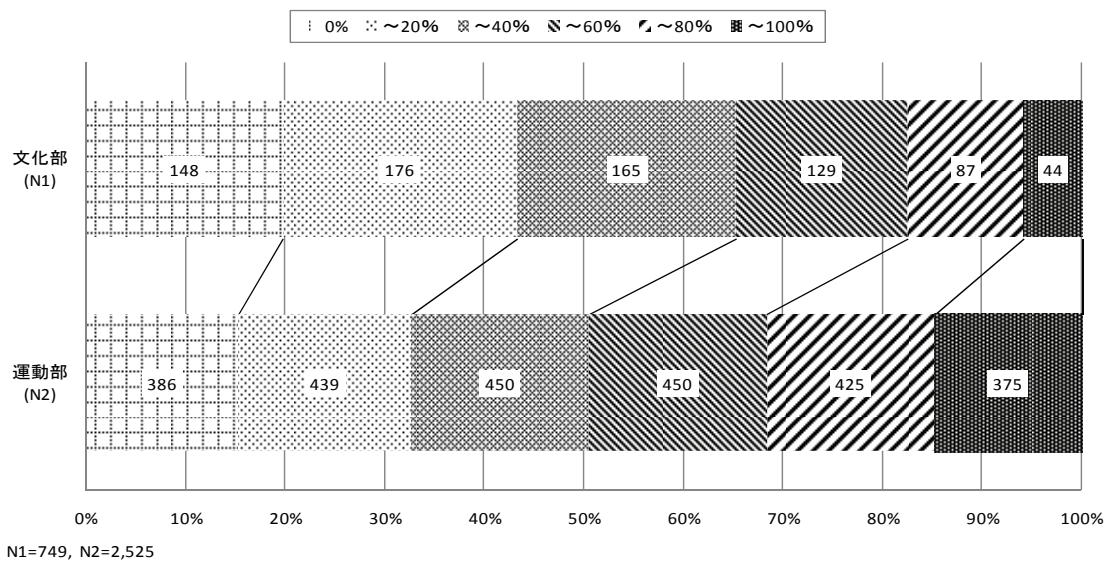
に關係している顧問は予選大会時と比較すると少ないと推測できる。

①勤務日

まず、勤務日の活動率について概観する。図表 6-14 は顧問の活動率をグラフ化したものである。分析対象となった顧問の人数は運動部 2,525 人、文化部 749 人である。運動部顧問は特定の活動率に偏って顧問が分布していることはなく、各活動率が 16%前後を

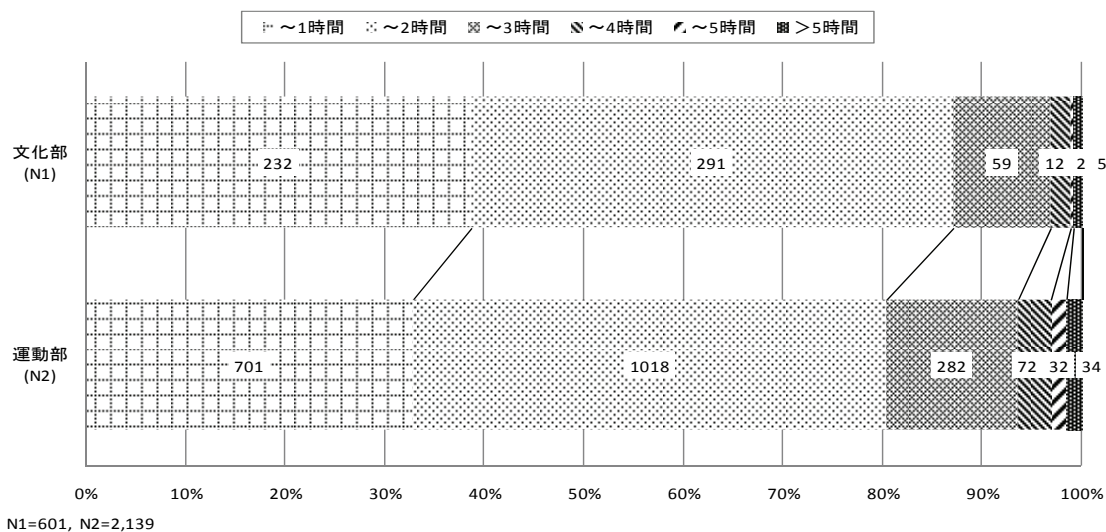
占めている。文化部では、60%を超えた活動率が運動部と比較しても低く、週 3、4 日相当である「60~80%」が 12% (87 人)、週 4、5 日相当である「80~100%」が 6% (44 人) となっている。大半の顧問は活動に全く従事しなかった「0%」(20% : 148 人) および活動に従事しても 1 週間当たり 3 日以下相当となる 60%以下であり、全体の約 8 割を占めている。

図表 6-14 : 顧問の部活動活動率 (第 5 期・通常期・勤務日)



出所 : 「教員勤務実態調査」 データより筆者作成

図表 6-15 : 顧問の 1 日当たり部活動活動時間 (第 5 期・通常期・勤務日)



出所 : 「教員勤務実態調査」 データより筆者作成

次に勤務日の活動時間について概観する。図表 6-15 は顧問の部活動一日あたりの活動時間をグラフ化したものである。分析対象となった顧問は運動部 2,139 人、文化部 601 人となっている。運動部、文化部共に同様の分布をしており、従事時間が「1～2 時間」である顧問が運動部、文化部ともに 48%（運動部 1,018 人、文化部 291 人）となっており、次に割合が高い活動時間が双方共に「1 時間以内」（運動部 33%：701 人、文化部 39%：232 人）となっている。「2 時間～3 時間」従事する顧問も運動部・文化部共に約 10%であり、割合は大きく変わっていない。1 日に 3 時間を超えて従事する顧問は運動部 6%、文化部 3%であり、比率は低い。本期では日照時間が短くなった影響が活動時間の短縮に反映されていると考えることができる。

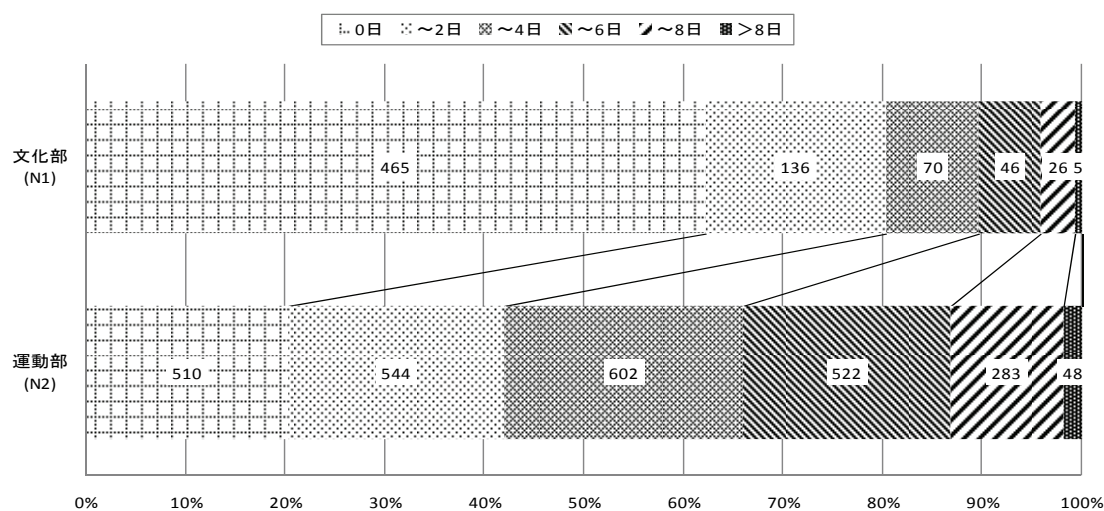
②休日

次に、休日の活動日数について概観する。図表 6-16 は休日における顧問の活動日数である。分析対象となった顧問の人数は運動部 2,509 人、文化部は 748 人である。運動部では 4 週間で「3～4 日」従事する顧問が 24%（602 人）と最も多いが、「0 日」「1～2 日」「5～6 日」従事する顧問もそれぞれ約 20%

であり、大きな差は無い。文化部では 62%（465 人）が「0 日」と休日には活動しておらず、次に多い割合となっているのは 18%（136 人）を占めている「1～2 日」の活動日である。3 日以上活動している顧問は全体の約 2 割であり、運動部と比較しても活動日数に差が出ていることが読み取れる。

休日の活動時間について概観する。図表 6-17 は休日の部活動 1 日あたりの活動時間をグラフ化したものである。分析対象となった顧問の人数は運動部で 1,999 人、文化部で 283 人である。運動部では「4～6 時間」従事する顧問が最も多く、全体の 40%（793 人）を占める。次に多い割合を占めているのは 27%（549 人）を占めている「6～8 時間」であり、「2～4 時間」の 19%（382 人）と続く。8 時間を超えた従事時間の顧問は全体の 1 割存在している。文化部では、運動部と同様に「4～6 時間」が 32%（92 人）と最も多いが、「2～4 時間」も 30%（85 人）とほぼ同様の割合を占めている。次に多くの割合を占めているのは 22%（61 人）を占める「6～8 時間」であり、以上の 3 時間帯で全体の 85%に相当する。8 時間を超えて従事する顧問も約 1%（5 人）ではあるが、確認されている。

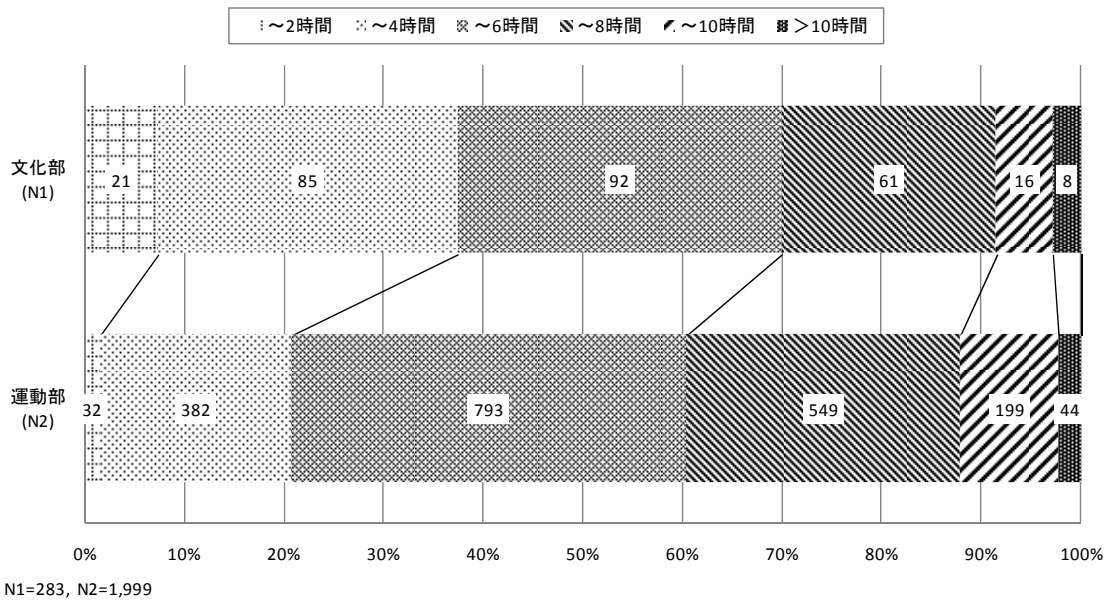
図表 6-16：顧問の部活動活動日数（第 5 期・通常期・休日）



N1=748, N2=2,509

出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 6-17：顧問の 1 日当たり部活動活動時間（第 5 期・通常期・休日）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

(5) 第 6 期

第 6 期は平成 18 年 11 月 20 日（月）から 12 月 17 日（日）までの 4 週間である。本期は長期休業期を含んでいないが、冬期休業期の直前期となるため、他の期とは異なる業務形態となっていることが推測される。冬期休業期の開始日を概観すると、大半の中学校では 12 月 25 日（土）が冬期休業期の開始日となっており、最も早い開始日が 12 月 23 日（木）である¹¹。

① 勤務日

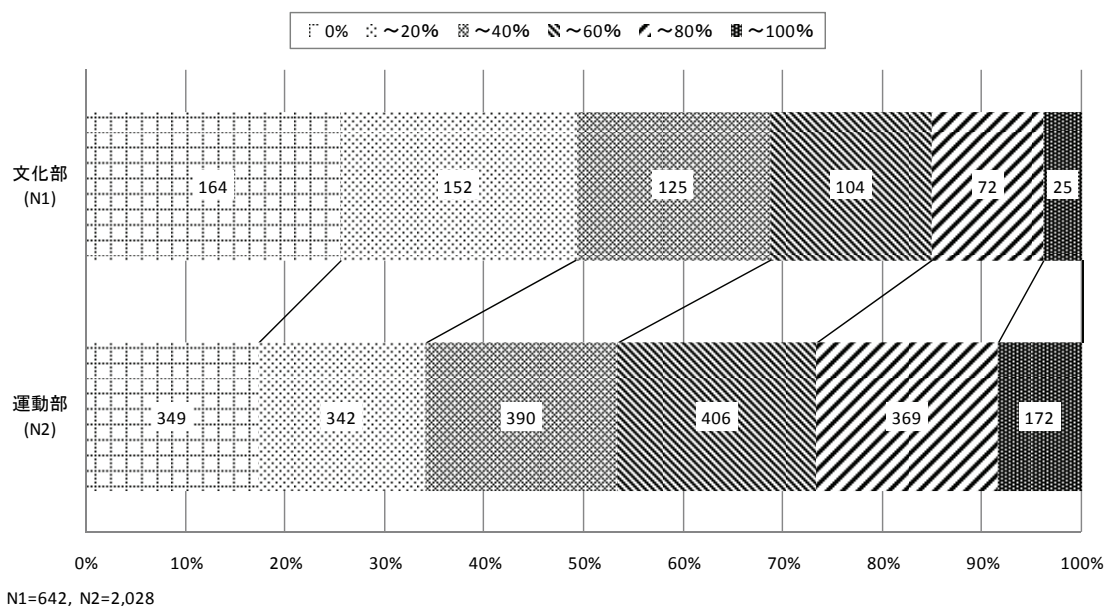
まず、勤務日の活動率について概観する。図表 6-18 は顧問の活動率をグラフ化したものである。本分析で対象となった顧問は運動部 2,028 人、文化部 642 人である。運動部では週 4、5 日相当である「80～100%」が全体の 9%（172 人）と最も少なく、他の活動率はすべて 17～20%の割合を占めており、活動率に大きな差は見られない。文化部では 1 日も活動を行わない「0%」および週 1 日相当の「20%以内」がそれぞれ約 25%と最も大きい割合を占めており、活動率が 60%を超える顧問が全体の約 15%となっている。運

動部、文化部ともに活動率の高い顧問が少ない傾向にあるが、その理由として期末考査期間を含んでいる点が挙げられる。特に期末考査実施期間中の部活動は禁止されていることが一般的であり、それが本期における活動率の減少に影響を与えていると推測される。

次に勤務日の活動時間について概観する。図表 6-19 は顧問の部活動 1 日あたりの活動時間についてグラフ化したものである。本分析で対象とした顧問の人数は運動部 1,679 人、文化部 478 人である。ここでは、運動部と文化部の間で大きな差が発生していないことが読み取れる。運動部、文化部ともに最も多い時間が「1～2 時間」（運動部 52%：866 人、文化部 48%：227 人）であり、次に多い割合を占める時間も「1 時間以内」で共通している。「1 時間以内」の顧問は運動部では全体の 39%（647 人）、文化部では 44%（212 人）を占めている。2 時間を超えた従事時間は運動部・文化部ともに全体の 1 割以内に収まっており、活動時間が総じて短く抑えられていることがこのグラフから読み取れる。

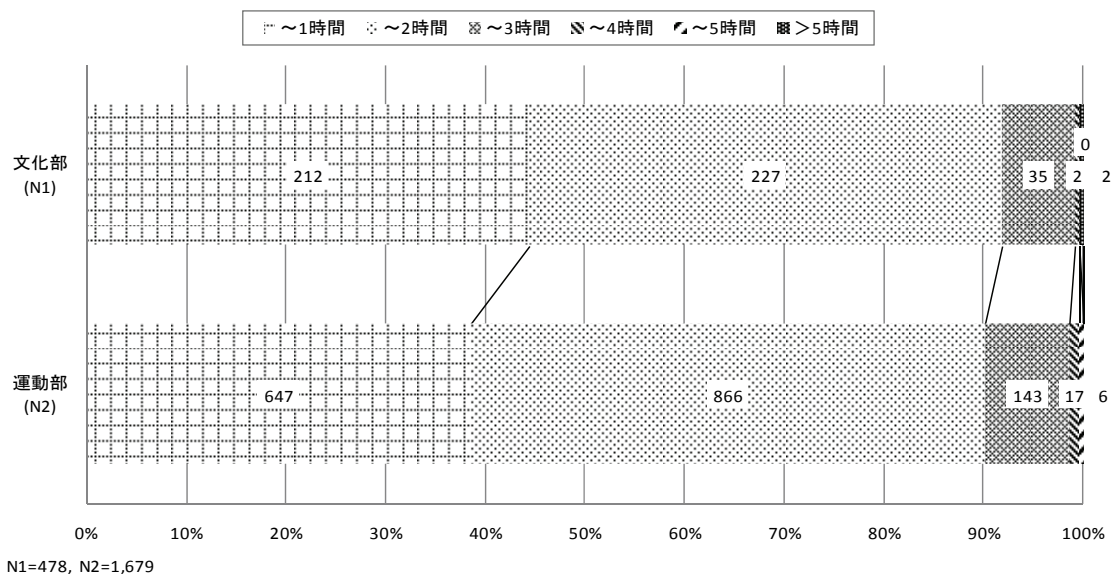
¹¹ 「勤務実態調査」個票データより筆者が算出した。

図表 6-18：顧問の部活動活動率（第 6 期・通常期・勤務日）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 6-19：顧問の 1 日当たり部活動活動時間（第 6 期・通常期・勤務日）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

②休日

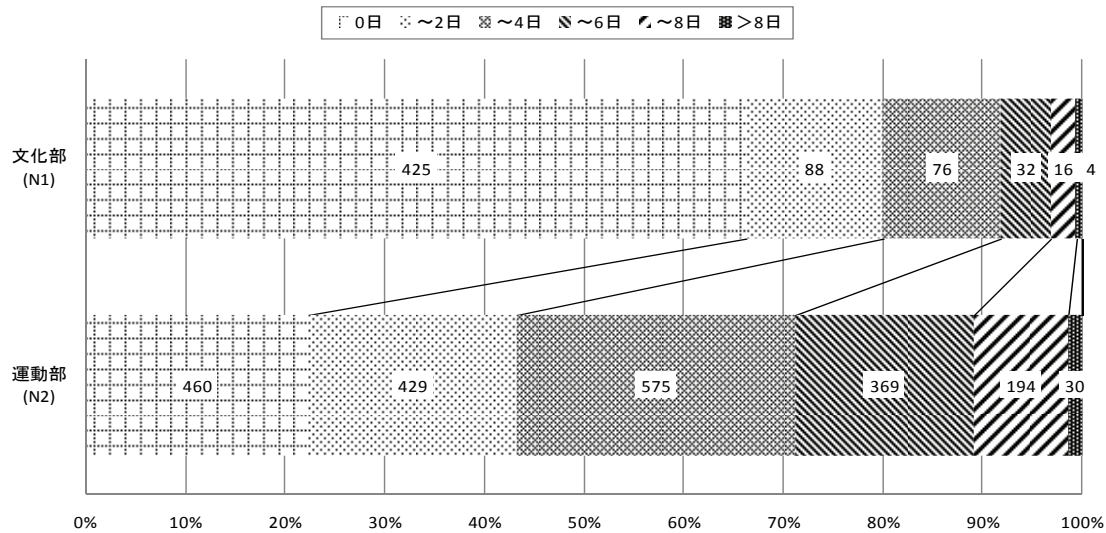
まず、休日の活動日数について概観する。図表 6-20 は休日の顧問の活動日数についてグラフ化したものである。分析対象となった顧問の人数は運動部 2,057 人、文化部 641 人となっている。運動部では最も多い顧問の活動日数は「3~4 日」であり、全体の 28% (575 人) を占めている。次に多い割合を占

めているのは「0 日」(22% : 460 人) および「1~2 日」(21% : 429 人) であり、ほぼ同様の比率である。休日における運動部の活動日数が少ない顧問が多いのが第 6 期の特徴であり、特に「0 日」の占める割合は他の期と比較しても高い。文化部は活動日数が「0 日」である顧問が全体の 66% (425 人) を占めており、次に多い活動日数は「1~2 日」(14% :

88人)、「3~4日」(12% : 76人)でほぼ同様の比率となっている。勤務日の活動率が低く抑えられていたように、期末考査等の影響

が活動日の少なさに表れていると推測できる。

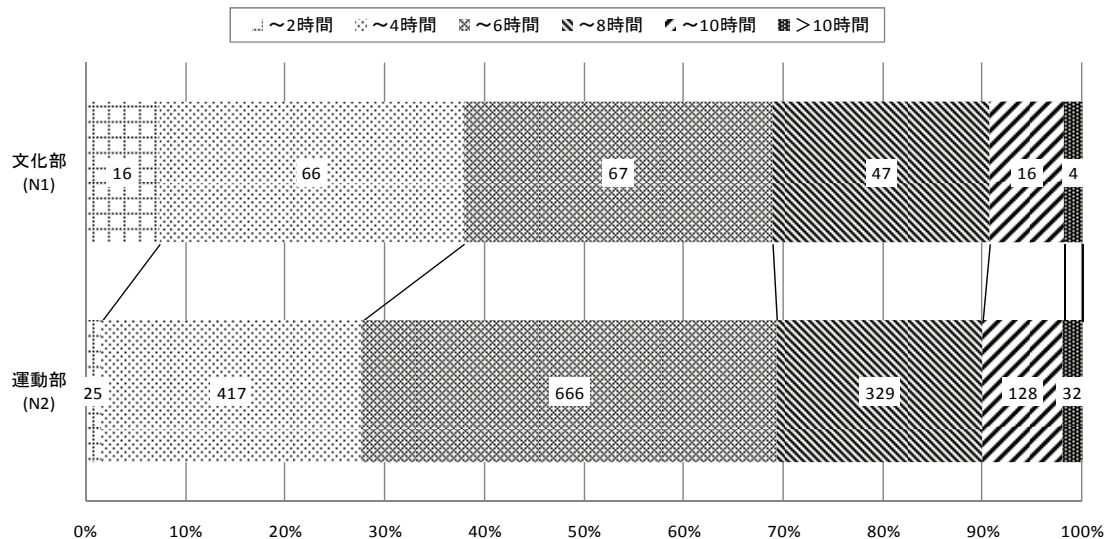
図表 6-20 : 顧問の部活動活動日数 (第6期・通常期・休日)



N1=641, N2=2,057

出所 : 「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 6-21 : 顧問の1日当たり部活動活動時間 (第6期・通常期・休日)



N1=216, N2=1,597

出所 : 「教員勤務実態調査」データより筆者作成

次に、休日の活動時間について概観する。図表 6-21 は休日における顧問の部活動1日あたりの活動時間についてグラフ化したものである。分析対象となった顧問の人数は運動部 1,597人、文化部 216人である。運動部、

文化部ともに活動時間が「4~6時間」が最も多く(運動部 42% : 666人、文化部 31% : 67人)、次に多い比率は活動時間が「2~4時間」の顧問であり、運動部では 26%(417人)、文化部では 31%(66人)となっている。ま

た、「6～8時間」についても運動部 21% (329人)、文化部 22% (47人) とほぼ同じ比率であり、活動時間の長い顧問の比率は運動部および文化部の間で大きな差は無いことが読み取れる。

第3項 夏季休業期

本項では夏季休業期である第2期に着目して分析を行う。夏季休業期中は通常期と異なり、授業がないために長時間の部活動が可能となる。一般的に特別休暇として休みを取得することは可能だが、それ以外の日は学校にて勤務をする必要がある。

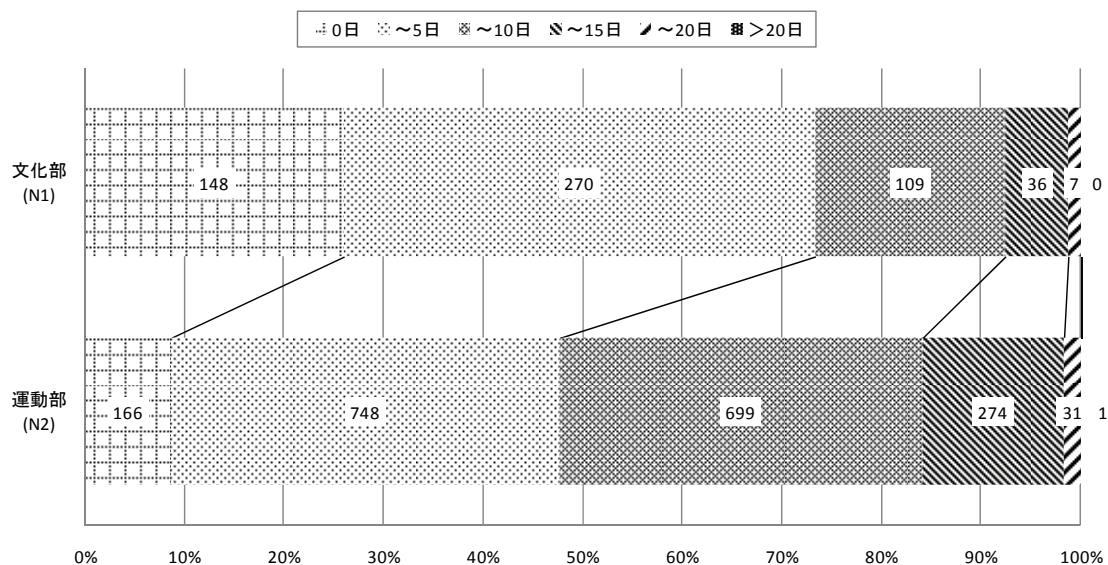
第2期は平成18年7月31日(月)から8月27日(日)までの4週間で扱っており、本稿で分析対象となった中学校の中には8月27日以前に夏季休業期が終了する学校も確認されている。しかし、本項は夏季休業期中の顧問の部活動従事時間や日数に着目することを目的としているため、夏季休業期中のみを分析対象としている。

①勤務日

まず、第2期長期休業期の勤務日について概観する。図表6-22は顧問の活動日数についてグラフ化したものである。分析対象となった顧問の人数は運動部 1,919人、文化部 570人である。通常期の分析では勤務日の活動率を検討してきたが、夏季休業期である本期では活動日数を指標に用いて分析を行う。

運動部で最も多い活動日数は「5日以内」であり、全体の約4割(748人)を占めている。次に多い割合が約35%(699人)の「5～10日」である。また、全体の1割強(274人)が「10～15日」となっている。文化部も運動部と同様に「5日以内」が約45%(270人)と最も多く、「0日」が全体の約25%(148人)と続いている。また、「5～10日」の活動日数が運動部と比較しても少ないのが夏季休業期中の文化部の特徴であり、文化部は運動部と比較しても少ない活動日数に抑えられていることが読み取れる。

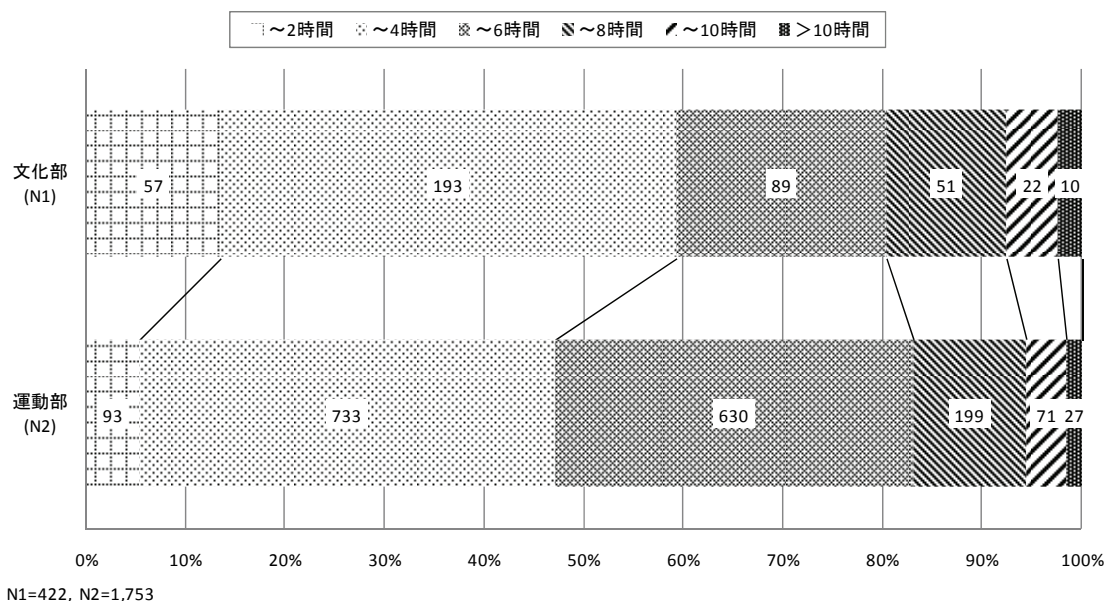
図表 6-22 : 顧問の部活動活動日数 (第2期・夏季休業期・勤務日)



N1=570, N2=1,919

出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 6-23：顧問の1日当たり部活動活動時間（第2期・夏季休業期・勤務日）

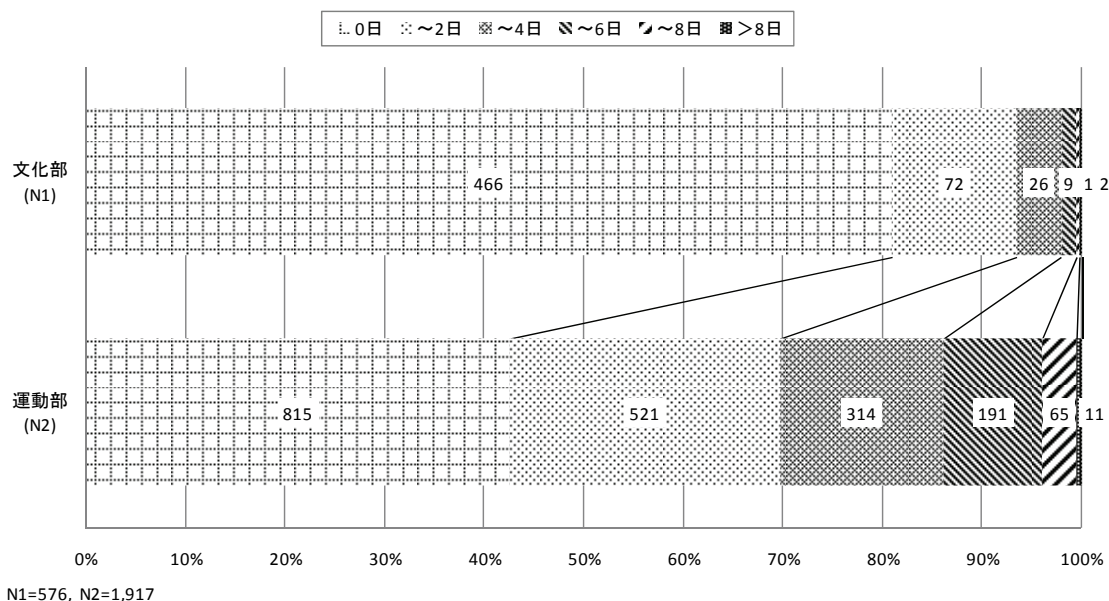


出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

次に活動時間について概観する。図表 6-23 は顧問の活動時間についてグラフ化したものである。分析対象となった顧問の人数は運動部 1,753 人、文化部 422 人である。運動部では「2～4 時間」が最も多く約 4 割（733 人）を占めており、「4～6 時間」の約 3 割強（630 人）と続く。6 時間を超えて活動している顧問も全体の 2 割弱を占めている。文化

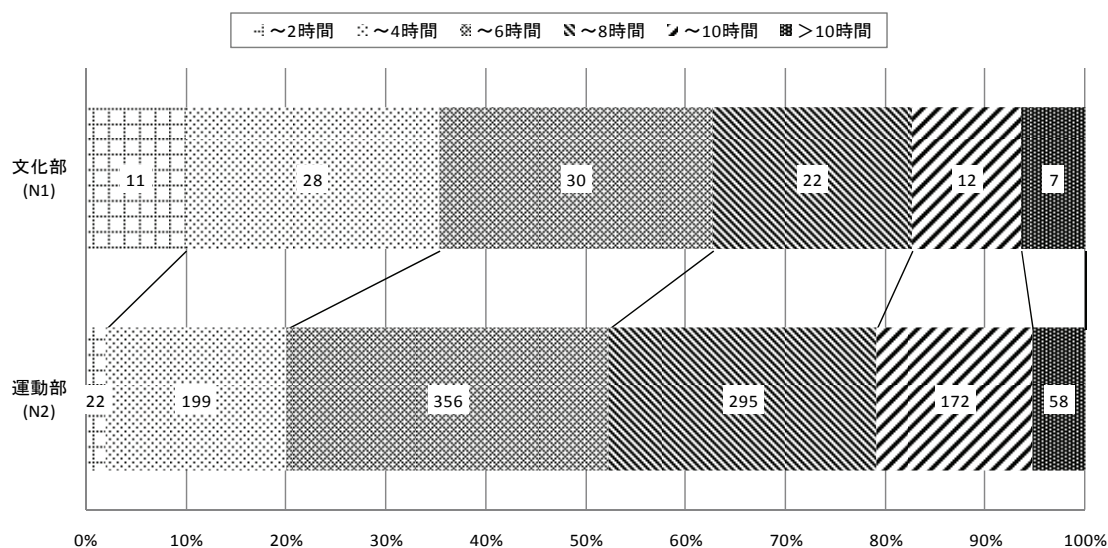
部も運動部と同様に「2～4 時間」（193 人）、「4～6 時間」（89 人）となっている。しかし、「4～6 時間」の割合は運動部の 3 分の 2 であり、「2 時間以内」である顧問が 1 割強（57 人）、6 時間を超えて従事する顧問も全体の 2 割を占めている。6 時間を超えている顧問の割合が運動部を上回っていることが本期の特徴である。

図表 6-24：顧問の部活動活動日数（第2期・夏季休業期・休日）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 6-25：顧問の 1 日当たり部活動活動時間（第 2 期・夏季休業期・休日）



N1=110, N2=1,102

出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

②休日

夏季休業期中の休日について概観する。図表 6-24 は休日における顧問の活動日数をグラフ化したものである。分析対象となった顧問は運動部 1,917 人、文化部 576 人である。運動部、文化部ともに「0 日」が最も多く、運動部では全体の 43%（815 人）、文化部では全体の 81%（466 人）となっている。夏季休業期中は勤務日である平日に長時間の活動が可能であるため、休日に活動しない部活動が多いと推測される。しかし、運動部では「1~2 日」が全体の 27%（521 人）、「3~4 日」が全体の 16%（314 人）となっており、休日であっても活動する顧問は運動部であれば多数存在する。

次に、活動時間について概観する。図表 6-25 は休日における顧問の部活動 1 日あたりの活動日数をグラフ化したものである。分析対象となった顧問の人数は運動部 1,102 人、文化部 110 人である。運動部では「4~6 時間」従事する顧問が最も割合が多く、32%（356 人）であり、27%（295 人）の「6~8 時間」と続いている。文化部では運動部と同様に「4~6 時間」従事する顧問が最も多かったが、「2~4 時間」「6~8 時間」と同程度の割合が続いている。

このように、休日では顧問の活動日は少なかったものの、活動している顧問については

他の期と同様に一定の時間部活動に従事している実態がこのグラフから読み取れる。

第 3 節 考察と今後の課題

以上、第 1 期から第 6 期までの顧問の部活動における活動率や活動時間に着目して分析を行った。本稿では基本的に各期における運動部顧問と文化部顧問の比較を行うことによって期による特徴や担当する部活動の種類によって活動形態の変化を概観してきた。

まず、期ごとの特徴について、期が変わることによって顧問の部活動における活動形態は異なることが示された。特に勤務日での活動率や活動時間にその傾向は顕著に表れており、日照時間の短縮が活動時間に反映され、期末試験などの試験実施期間を含む期においては活動率の減少傾向を確認することができる。このように顧問の部活動における勤務実態はその時期によって大きく異なっており、一日あたりの活動時間や活動率を検討する上で分析を行った時期は非常に重要になってくる。どの時期であっても長時間、ほぼ毎日部活動に従事する顧問は運動部および文化部に関係なく一定程度の割合は確認できるが、期による最も特徴的な差異は活動率の高い顧問や活動時間の長い顧問の割

合の増減にみることができる。この結果から読み取れることは、冬季に近づくにつれて部活動の活動時間自体が短縮化される傾向にあるため、一日の勤務の中での部活動に割く時間の割合が低下している点である。夏季と比較して部活動従事時間が少ない顧問が増加していることは、部活動以外の業務を行う顧問が増加している可能性があることを示している。実際、学校行事が多く行われると推測される第3期～第5期では、第1期と比較して部活動従事時間の平均値が減少する代わりに「学校行事」などに従事する時間が増加していることが確認されており（小入羽2008：p.38）、減少した部活動活動時間分で他の業務を行っている可能性を考えることができる¹²。

運動部と文化部の顧問での差異について、活動率で概観する限りは全期を通じて運動部に、より高い活動率の顧問が多いことが確認できた。しかし、実際の勤務日における活動時間を概観した際は全ての期において運動部および文化部で比率が最も高かった活動時間数は同じであったことから、文化部であっても活動している一部の顧問の活動時間は運動部とほぼ変わらないことが確認された。その一方で、文化部は活動率や活動時間が低い顧問の割合も多く、高い活動率の顧問が多い運動部に対して、文化部は担当する部活動によって顧問の活動率や活動時間が大きく異なってくると考えられる。

以上のように、6期を通じた顧問の部活動の活動率および活動時間についての分析を行ってきたが、部活動顧問の全体像を明らかにする上で、本稿では検討していないケースとして以下のものが挙げられる。1点目は活動率と活動時間の関係である。本稿では活動率と活動時間を分けて検討したが、最終的には活動率と活動時間を2軸とした枠組みによって顧問を分類することが可能であると考えている。2点目は勤務日と休日の関係である。勤務日に活動している顧問が休日ほどの程度活動しているのか、明らかにする必要が

ある。これら2点の課題を明らかにすることによってより精緻な部活動顧問の勤務実態を描き出すことができると考えられる。

【参考文献】

- 内海和雄（1998）『部活動改革－生徒主体への道』不昧堂出版
- 川上泰彦（2008）「第10章 部活顧問」東京大学（2008）『教員の業務の多様化・複雑化に対応した業務量計測手法の開発と教職員配置制度の設計－教員と教員サポート職員による業務の適切な分担とアウトソーシングの可能性－報告書（第2分冊）』pp.91-106
- 群馬県教育委員会（2008）『教員の多忙化を解消する』学事出版
- 小入羽秀敬（2008）「第3章 部活動の労働時間の分析」東京大学（2008）『教員の業務の多様化・複雑化に対応した業務量計測手法の開発と教職員配置制度の設計－教員と教員サポート職員による業務の適切な分担とアウトソーシングの可能性－報告書（第1分冊）』pp.23-42
- 佐賀新聞「さが子ども白書 第5章 教師と教育行政⑦」2008年11月19日
- 中学生・高校生のスポーツ活動に関する調査研究協力者会議（1997）『運動部活動の在り方に関する調査研究報告書』
- 東京新聞「部活動の休止、食い止める 都、外部指導者の報酬に補助金」2009年1月11日
- 東京大学（2007）『教員勤務実態調査（小・中学校）報告書』
- 西島央・矢野博之・中澤篤史（2008）「中学校部活動の指導・運営に関する教育社会学的研究」『東京大学大学院教育学研究科紀要』第47巻
- 毎日新聞「新教育の森 部活動指導員」2007年11月19日
- 山口満（1986）『教師からみた中学校のクラブ活動と部活動（筑波大学学内プロジェクト研究一般研究報告書）』
- 読売新聞「「心病む先生」15年連続

¹² 部活動従事時間が減少した分、どの業務が増加している傾向にあるかについては、小入羽（2008）や第5章を参照。

本稿では小学校教諭の給食時間から昼休みに至るまでの勤務実態について分析を行った。分析対象の時間帯を11時30分から13時30分までとし、この時間帯において、「授業」および「生徒指導（集団）」のみの業務に従事していた教諭を検討した。

勤務日において、上記の分析を行うために「生徒指導（集団）」従事率および「休憩時間取得率」を指標として用いた。「生徒指導（集団）」従事率とは教諭の勤務日の合計日数を分母とし、教諭の「授業」「生徒指導（集団）」の合計が2時間となる日数の合計を分子としたものであり、分析対象である2時間を「授業」及び「生徒指導（集団）」のみに従事した教諭の比率と定義している。また、「休憩時間取得率」とは、教諭が勤務日のうち最低30分の休憩時間を取得した日の比率であり、分母を「勤務日」の合計、分子を「休憩時間取得日数」としている。「生徒指導（集団）」従事率および「休憩時間取得率」の分布について、担任の有無、および担任が担当する学年別に分けて検討を行った。

分析の結果、「生徒指導（集団）」従事率は担任が11時30分から13時30分までの時間帯で「生徒指導（集団）」のみに従事する日が週4、5日であり、一方で、担任を持たない教諭で2時間すべてを「生徒指導（集団）」に従事することはほとんどないことが示された。次に担当する学年別に検討したところ、低学年は2時間すべて授業と生徒指導（集団）のみに従事する日が週4、5日相当となっており、学年が上昇するにつれてその日数が減少していることが示されている。また、休憩時間取得率に関しては、基本的に他休憩時間を取得できない教諭が大半ではあるが、担任を持っていない教諭は比較的休憩時間を取得可能な環境にあると考えられる。担当する学年間では休憩時間取得率に大きな差は見られず例外なく取得が出来ていない現状が明らかになった。

第1節 問題関心と課題設定

本稿では小学校教諭の給食時間から昼休みにかけての勤務実態について明らかにすることを目的とする。給食時間および昼休みの時間に限定して、給食指導時間の長さや、給食指導を行う日数について検討を行う。

小学校教諭は原則的に学級担任制を導入しているため、学級担任がほぼ全ての授業を行っている。これは小学校教諭の「授業」の時刻別行為者率からも明らかであり、朝8時30分の始業以降児童の下校時刻まで大半の教諭が授業を行っており、例外的に10時30分前後の長い休み時間に行為者率が微減し、給食時間から昼休みにかけての時間帯授業の行為者率が大幅に低下していた（樋口・鈴木 2008：p.8-9）。給食時間から昼休みにかけての時間帯はほぼ全ての小学校で給食指導が行われており、業務

としては「生徒指導（集団）」に分類される（東京大学 2007：p.58）。

給食指導は現行の学習指導要領の「学級活動」に位置づけられており、担任の業務であることが明記されている（文部省 1999：p.27）。2004年の中教審答申「食に関する指導体制の整備について」が出されて以降、食育の要望が高まるにつれて、給食指導の持つ意味も重要になってきている。答申は2005年に新しく設置された栄養教諭との連携・協力によって食育を行うことを提唱しているが（永嶋 2006）、実際には栄養教諭が全校に配置されずに複数校の兼任となっている学校も多いことから、教諭との連携が行われていないケースが多く、結果的に食育指導が担任への負担となることもあるという（村上・荒井 2006）。

さらに前述したように小学校は学級担任制であるため、教諭は授業終了時まで授業準備を

初めとする他の業務に従事できない。例えば、食育に関心が無い教諭は「時間的制約」を理由として挙げており、現状の勤務実態では教諭が食育指導の準備を行うことが難しいことを示唆している（渡邊・上田 2005：p.455）。また、給食指導の時間であっても教諭は児童の給食指導のみに専念することができない。小学校教諭は給食時間のうち、教諭が実際に喫食時間としているのは5分前後であり、残りの時間では児童の宿題や日記などにコメントを書いていることが多く、昼休みであっても当日中に児童に返却が必要となる提出物のチェックを行いつつ、必要に応じて児童を指導していることが多いという（群馬県教育委員会 2008：pp.45-47）。

群馬県教育委員会（2008）の例からは、小学校教諭が給食時間から昼休みにかけて給食指導以外にも様々な業務に従事している実態が読み取れる。また、この時間帯の勤務実態は、教諭が担任を持つか否か、担任であれば担当する学年によっても異なっており、学年が上がるほど「生徒指導（集団）」業務に要する時間が減少し、担任を持っていない教諭は担任を持っている教諭と比較して「生徒指導（集団）」に従事している時間が少ないことが示されている（小入羽 2008）。また、給食指導に関する実践書も学年ごとに異なる給食指導の在り方を提唱しており、特に低学年では給食の配膳から片付けまでの流れの「システム化」を図ることが給食時間の延長を防ぐ手立てとして紹介されている（甲本 2005）。

これらの現状から、教諭が給食時間から昼休みにかけて休憩時間を取得しているとは考えづらい。実際に東京大学（2007）や樋口・鈴木（2008：p.46-47）からも明らかなように、教諭の大半は休憩時間を取得していない。このことは先述した群馬県教育委員会（2008）や本報告書第8章の給食指導の調査報告からも推測できる。しかし、担当する学年によって勤務実態が異なるとするならば、担任の有無や担当する学年によって休憩時間取得の可否は異なるとも考えられる。

このように、担任の有無や担当する学年による勤務実態の差異という観点は重要であり、小入羽（2008）でも同様の問題意識で分析を行っていたが、この先行研究には2点の課題が残さ

れている。1つ目は、給食指導が「勤務実態調査」の項目では「生徒指導（集団）」に包含されており、「生徒指導（集団）」には清掃など給食指導以外の集団指導も含まれている点である。そのため、「生徒指導（集団）」に従事した合計時間を分析対象としてしまうと清掃や登下校指導などの他の業務を含んだ分析となってしまう。もう一つは平均値を算出した分析であった点である。各学年の教諭が「生徒指導（集団）」に従事した時間の平均値を比較したことで、小学校の給食時間から昼休みにかけての教諭の全体的な傾向は示されたが、東京大学（2007）からも明らかなように、教諭が「生徒指導（集団）」に従事する時間にはばらつきがあり、それぞれの学年における従事時間の分散を考慮に入れた分析がさらに必要となる。

上記の課題を考慮に入れ、本稿では「昼の時間帯」に限定した、教諭一人当たりの給食指導従事時間や日数の分析を行う。まず、「生徒指導（集団）」が様々な業務を含んでしまう危険性を除去するために、「昼の時間帯」に行われた「生徒指導（集団）」のみに着目する。これによって「生徒指導（集団）」をより給食指導に近い業務として解釈することが可能となる。昼の時間帯は以下のように定義する。小学校教諭の時刻別行為者率平均分析から、12時～13時30分までの間に「生徒指導（集団）」に従事する教諭が多いことが示されているため（樋口・鈴木 2008：p.10）、本稿では12時前から給食準備を始める可能性および13時30分頃より掃除¹³が始まる可能性が高いことを考慮して、11時30分～13時30分までの2時間を教員の「昼の時間帯」とする。

次に、従事時間の分散を考慮するために、教諭一人当たりの給食指導従事日数や給食指導従事時間を分析する。従事時間の平均値では学年の上昇によって従事時間の変化が見られたが、教諭ごとの従事時間で分析を行った際に学年ごとでどのような差が発生するのかという観点から分析を行う。さらに、休憩時間の取得について、同様の観点から分析を行い、担当する学年などによる勤務実態の差異を検討する。

¹³ 例えば、群馬県教育委員会（2008：pp.45-47）で示されている「小学校教員の1日」の例では、13時30分から掃除の時間となっている。

具体的には、教諭の勤務日のうち、2時間のうち授業と「生徒指導（集団）」に従事した時間を合計して2時間すべてを授業および「生徒指導（集団）」に従事した教諭の人数を概観する。以上の分析を行うことによって、給食から児童の昼休みにかけて「生徒指導（集団）」以外の業務に従事できるか、ということを明らかにする。

データは東京大学（2007）で行われた「教員勤務実態調査」の個票を用いる。小学校教諭のデータを学年ごとに分け、さらに通常期の勤務日のみを分析対象としている。通常期および勤務日の定義については、東京大学（2007）での定義を踏襲する。通常期は長期休業期を除いた日であり、調査期間中に夏季休業期や秋季休業期などの長期休業期が含まれた場合は当該日を除外した上で分析を行っている。また、勤務日は「①業務記録の日にちの区分が「1.勤務日」であり¹⁴、②出勤時刻・退勤時刻の記入があり、③1日のうち最低でも5時間分の記入がある（48マスのうち10マス）日」の条件をすべて満たした日と定義されている（東京大学2007：p.56-57）。データは勤務日の条件を満たし、かつ検討する時間帯の業務内容および担当している学年¹⁵を記入していた教諭をサンプルとして扱った。

第2節 通常期勤務日における教諭の給食指導の実態

本節では通常期（第1期、第3期、第4期、第5期、第6期¹⁶）の勤務日における教諭の勤

¹⁴ 「教員勤務実態調査」業務記録の質問②「今日の勤務は1～4のどれにあたりますか」の回答欄回答欄「1. 勤務日、2. 年休（終日）、3. 年休（部分）、4. 休日」の選択肢の一つ（東京大学2004：p.207）。

¹⁵ 担任を持っていない教諭については、教員個人調査票の「5）あなたは学級担任をしていますか。担任している学年に○をつけてください」の「11. 担任はしていない」をサンプルとして扱い、「10. それ以外」を除外した上で分析を行っている。（東京大学2007：p.205）

¹⁶ 各期の調査期間について、第1期は平成18年7月3日（月）から7月30日（日）まで、第3期は平成18年8月28日（月）から9月24日（日）まで、第4期は平成18年9月25日（月）から10月22日（日）まで、第5期は平成18年10月23日（月）から11月19日（日）まで、第6期は平成18年11月20日（月）から12月17日（日）

務実態について概観する。特に小学校教諭が4時間目終了後の給食時間から昼休みに至る時間帯でどのような勤務実態であるかについて、担任の有無および担当する学年による差異を検討する。さらに、この時間帯に休憩時間を取得できているか否かについて、担任の有無および担当する学年の差を検討するために、第1期に限定して分析を行っている。なお、本稿では通常期の勤務日を分析対象としているため、長期休業期や休日は分析対象から除外している¹⁷。

第1項 分析指標の設定

本節では、前述したように各教諭の11時30分から13時30分までの2時間の勤務時間を対象とした分析を行う。これらの時間帯で「生徒指導（集団）」業務は大半が給食指導であると考えられる。給食時間および昼休みのすべての時間帯において「生徒指導（集団）」に従事している教員が全体に占める割合を調べるために以下のような分析手続きを取っている。

まず、各期の教諭の11時30分から13時30分までの時間帯において、「授業」および「生徒指導（集団）」の合計時間が2時間となっている日数を抽出して教諭の勤務日の合計日数¹⁸で除し、パーセント表示にした。分析対象である2時間を「授業」及び「生徒指導（集団）」のみに従事した教諭の比率を算出しており、本稿ではこの値を「生徒指導（集団）」従事率と定義している。「授業」の時間数を指標に含めているのは、給食時間の開始および昼休みの終了時間が学校によって異なることを考慮したためである。「授業」と「生徒指導（集団）」の合計値を「従事率」の指標の分子として用いることで給食の開始時間と終了時間が異なる学校間の比較が可能となる。

この作業によって、特定の期において教諭が11時30分～13時30分までの2時間のうち給食時間から昼休みに「生徒指導（集団）」のみに従事していた日は、勤務日の何割を占めてい

までである。

¹⁷ 例えば、第1期、第3期、第4期、第5期では夏季休業期や秋季休業期を分析期間に含んでいるが、それらの期間はサンプルより除外している。詳しくは東京大学（2007）を参照。

¹⁸ ここでの「勤務日」は前節で述べた3条件を満たす勤務日である。

るのが明らかになる。例えば、値が 100%であれば、その教諭は勤務日の 11 時 30 分から 13 時 30 分にかけての時間帯では毎日「授業」および「生徒指導（集団）」のみの業務に従事しているという解釈になる。

また、「休憩時間取得率」とは、11 時 30 分から 13 時 30 分の範囲で、教諭が勤務日のうち最低 30 分の休憩時間を取得した日の比率であり、分母を「勤務日」の合計、分子を「休憩時間取得日数」としている。本分析ではあくまで休憩時間取得の有無のみに着目しており、休憩時間の長さについては分析から除外している。

これらの作業によって作成された指標を用いて、それぞれ「担任の有無」および「担任学年間での差異」に着目して分析を行っている。

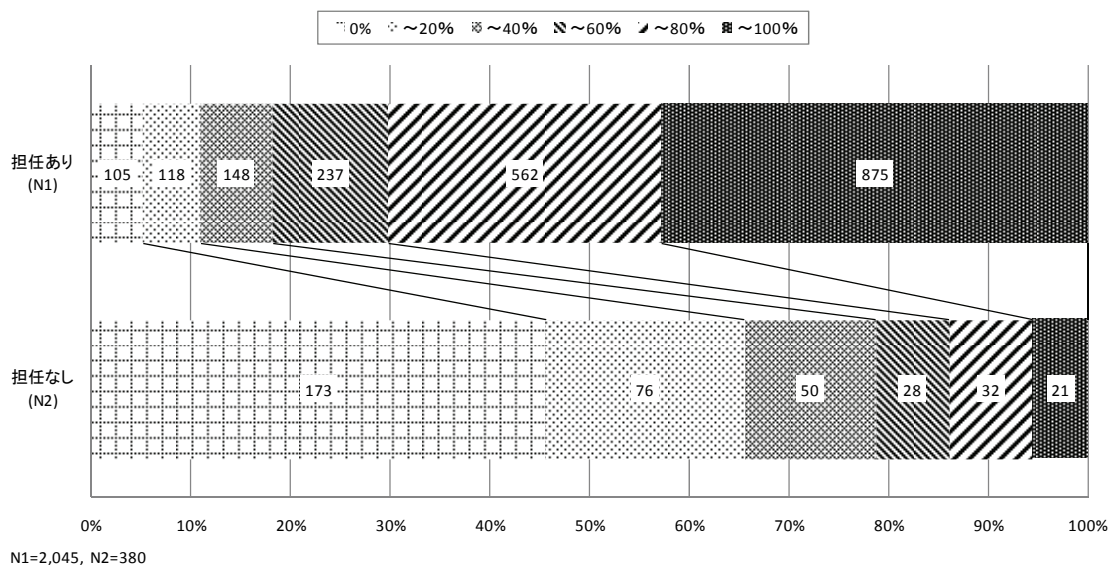
第 2 項 担任の有無

本項では担任の有無に着目して分析を行う。第 1 期から第 6 期までの差異を検討することで、各期の担任の有無による「生徒指導（集団）」従事率の差異や全 6 期を通じた変化の考察を行

う。

図表 7-1 は第 1 期の担任の有無による「生徒指導（集団）」従事率の差異をグラフ化したものである。担任の有無で最も大きな差が出ているのは「0%」と週 4、5 日相当の「80~100%」である。「0%」は分析対象となっている 2 時間の間に「授業」「生徒指導（集団）」以外の業務に最低 30 分は従事しているという意味であり、11 時 30 分から 13 時 30 分までの時間帯において給食指導以外の業務を行っていることを示している。担任を持たない教諭の 4 割 5 分近くが 2 時間の全てを授業および給食指導に要していないという結果から、小学校の給食指導における担任の役割の大きさを読み取ることができる。一方で平日のうち週 4、5 日に相当する「80~100%」では担任を持っている教諭が全体の 4 割強を占めていることが読み取れる。つまり、担任を持っている教諭の約 4 割強が週 4、5 日は給食時間から昼休みまでの間に「生徒指導（集団）」、つまり給食指導にのみ従事しているという解釈になる。

図表 7-1：担任の有無による差異（第 1 期）



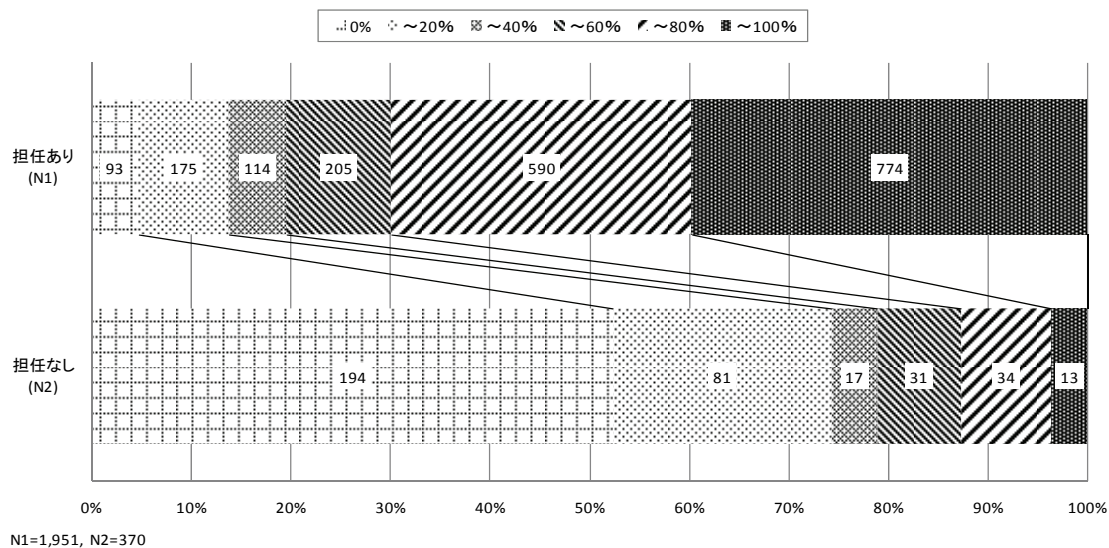
図表 7-2 は第 3 期の担任の有無による「生徒指導（集団）」従事率の差異をグラフ化したものである。本期においても担任の有無による大きな差は存在し、担任を持たない教諭が「生徒指導（集団）」従事率は低い傾向に

ある。特に「0%」の割合も 5 割強と高くなっている。一方で担任を持っている教諭は全体の 4 割弱が「80~100%」を、約 3 割が「60~80%」を占めており、多くの担任が毎日給食指導を行っている現状が読み取れる。ここ

でもやはり、「生徒指導（集団）」従事率の低い担任は少なく、週 2 日以下相当の従事率

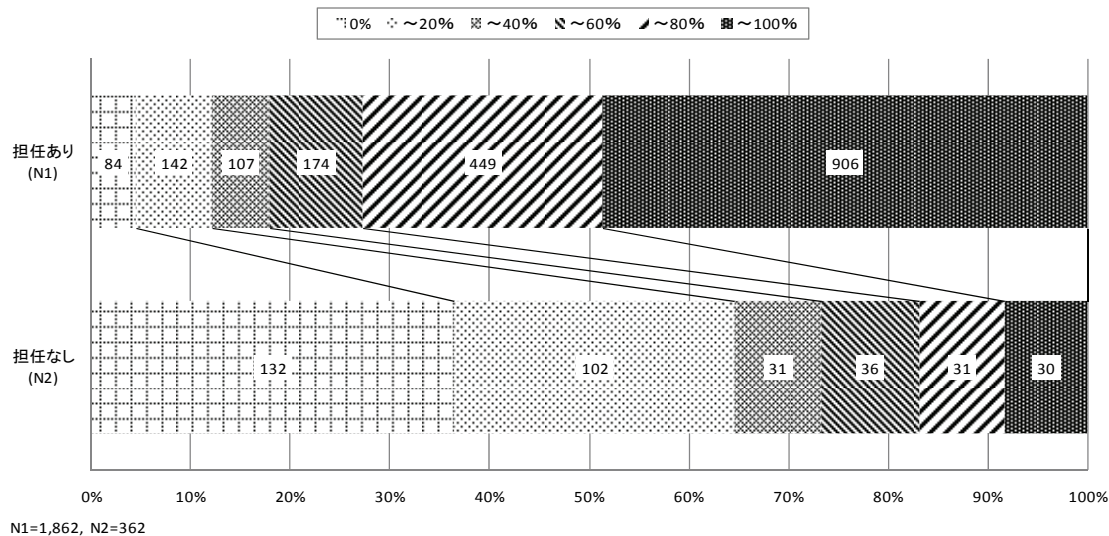
40%以下の担任は全体の 2 割にとどまっている。

図表 7-2：担任の有無による差異（第 3 期）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 7-3：担任の有無による差異（第 4 期）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 7-3 は第 4 期における担任の有無による「生徒指導（集団）」従事率の差異をグラフ化したものである。本期でも前 2 期と同様に担任の有無による差は「生徒指導（集団）」従事率の差となって表れている。担任を持たない教諭は全体の約 40%が「0%」、週 1、2 日に相当する「20%以下」が全体の

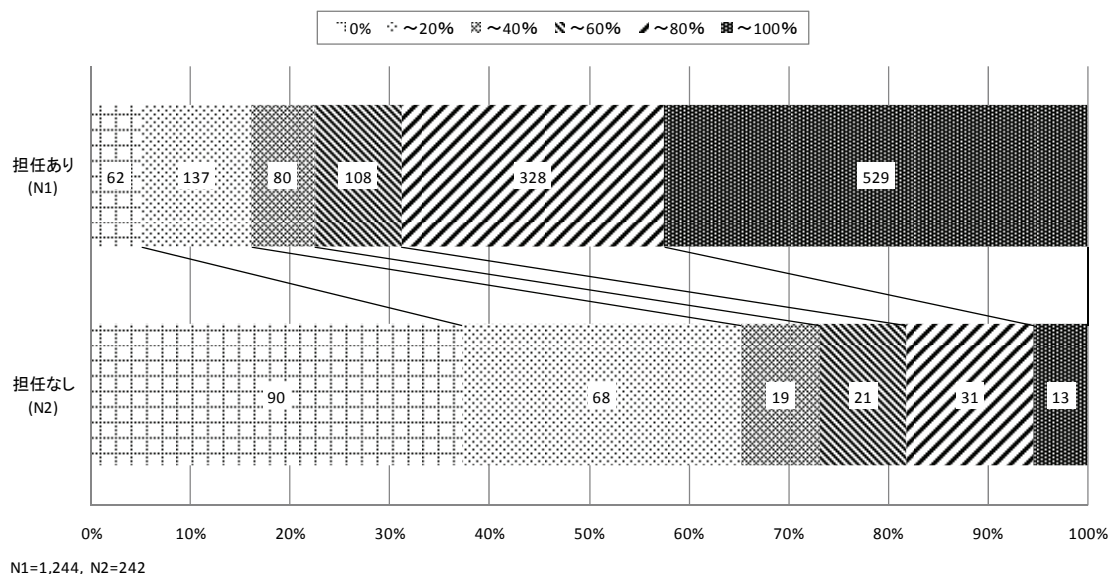
2 割強となっており、両者で全体の約 6 割 5 分を占めている。それに対して週 4、5 日相当となる「80~100%」は全体の 1 割未満となっており、担任を持たない教諭が給食指導に従事することは少ないということが読み取れる。一方で担任を持っている教諭は全体の 5 割弱が「80~100%」、2 割強が週 3、4

日に相当する「60～80%」となっており、両者で全体の7割強となっていることから多くの担任が給食時間から児童の昼休み時間にかけて「生徒指導（集団）」に従事している状況が読み取れる。

図表 7-4 は第 5 期における担任の有無による差異をグラフ化したものである。本期でも他期と同様に担任を持たない教諭は「0%」が最も多く全体の 4 割弱を占め、次に多い

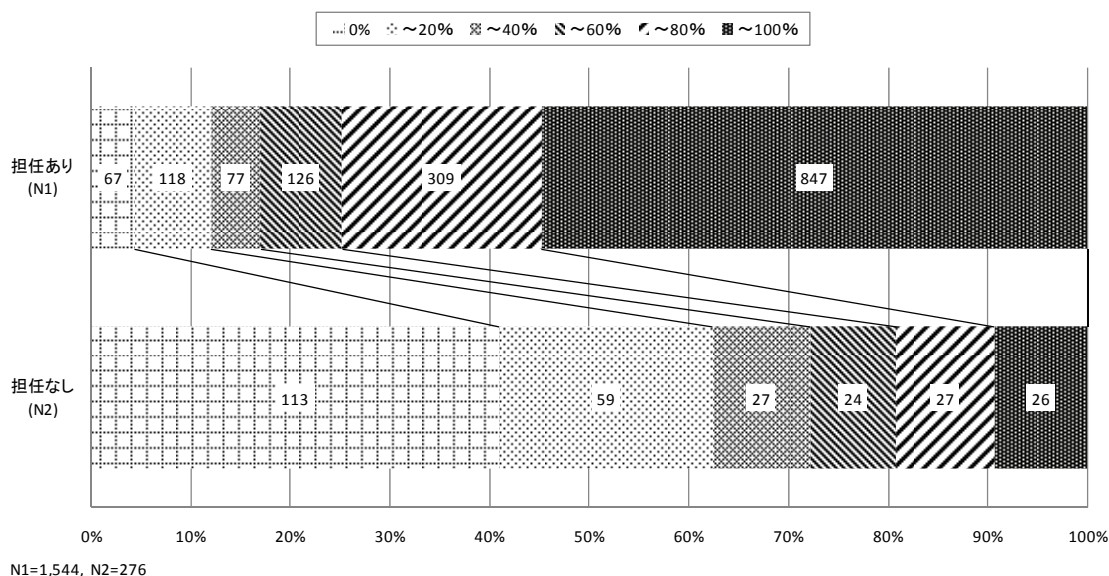
「20%以下」が全体の 3 割弱を占めており、双方で全体の 7 割弱となっている。週 3、4 日に相当する「60～80%」では全体の 1 割強であり、依然として「生徒指導（集団）」従事率は低い。一方で担任を持っている教諭は他期と同様に週 4、5 日相当の「80～100%」が最も多く、全体の 4 割強を占め、次に多い「60～80%」（週 3、4 日相当）の約 25%を合わせると全体の 7 割弱を占めている。

図表 7-4：担任の有無による差異（第 5 期）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 7-5：担任の有無による差異（第 6 期）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 7-5 は第 6 期における担任の有無による差異をグラフ化したものである。担任の有無による傾向は他期と変わらず、担任を持たない教諭は「0%」が最も割合が高く全体の約 40%を占めており、週 1 日相当である「20%以内」が全体の約 20%を占めている。週 4、5 日に相当する「80~100%」では一方、担任を持っている教諭は週 4、5 日に相当する「80~100%」が全体の約 55%、週 3、4 日に相当する「60~80%」は全体の約 2 割を占めており、両者で全体の約 75%を占めている。

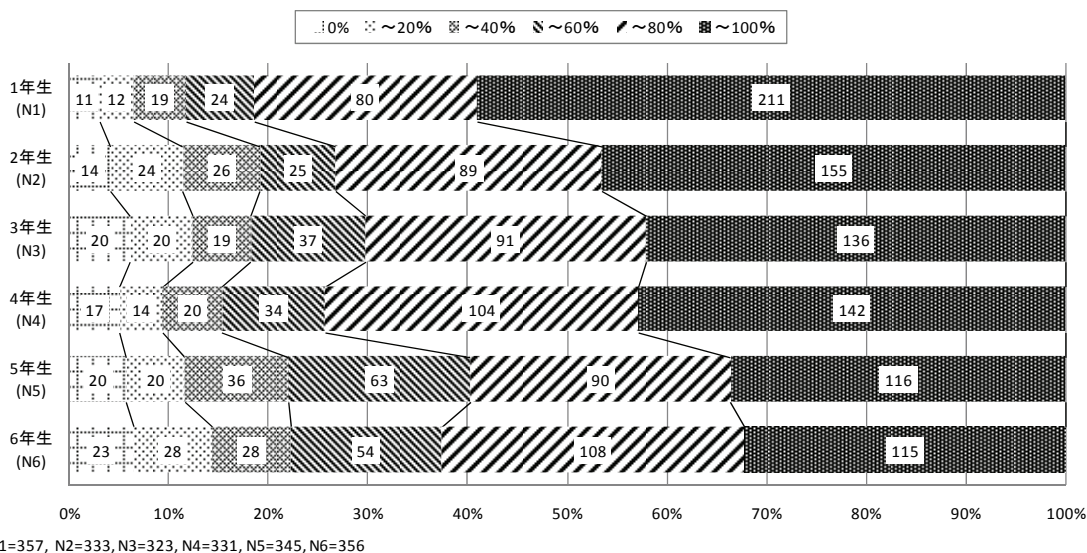
以上、第 1 期および第 3 期より第 6 期までの通常期の勤務日に着目して分析を行ってきたが、すべての期において同様の傾向が見

られた。担任を持たない教諭の「生徒指導（集団）」従事率は担任を持っている教諭と比較すると低いケースが多く、基本的に給食指導が担任によって行われ、給食時間が終了して昼休みが開始しても担任が給食指導を続けている可能性が高い現状が読み取れる。

第 3 項 担当学年による差異

前項では、給食指導を昼休みまで延長している教諭は担任を持っていると傾向にあることを示した。そこで、本項では担任を持っている教諭に着目して、担当する学年によって「生徒指導（集団）」従事率に差異が発生するののかについて分析を行う。第 1 期から第 6 期までの通常期をすべて概観することで時系列的な差異も合わせて検討する。

図表 7-6：担当学年による差（第 1 期）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 7-6 は第 1 期における担当学年による「生徒指導（集団）」従事率の差異をグラフ化したものである。1 年生の担任では「80~100%」を占めている全体の 6 割弱の教諭がほぼ週 4、5 日の割合で給食時間から児童の昼休みの時間にかけて給食指導のみに従事していることが読み取れる。特に第 1 期では 7 月という時期であり 1 年生は入学してから数ヶ月しか経過していないため、給食指導に他学年よりも長い時間が必要となってい

ると考えられる。「80~100%」の割合は学年が上昇するにつれて減少し、他の学年ではすべて 5 割を切っている。特に高学年になると、その傾向はさらに減少し、週 4、5 日の割合で給食指導のみに従事する担任は学年の 4 割を切るようになり、6 年生では週 3、4 日相当である「60~80%」とほぼ同程度の割合となっている。

一方で、週 3 日以下に相当する「0%」から「~60%」に当てはまる担任の割合は学年

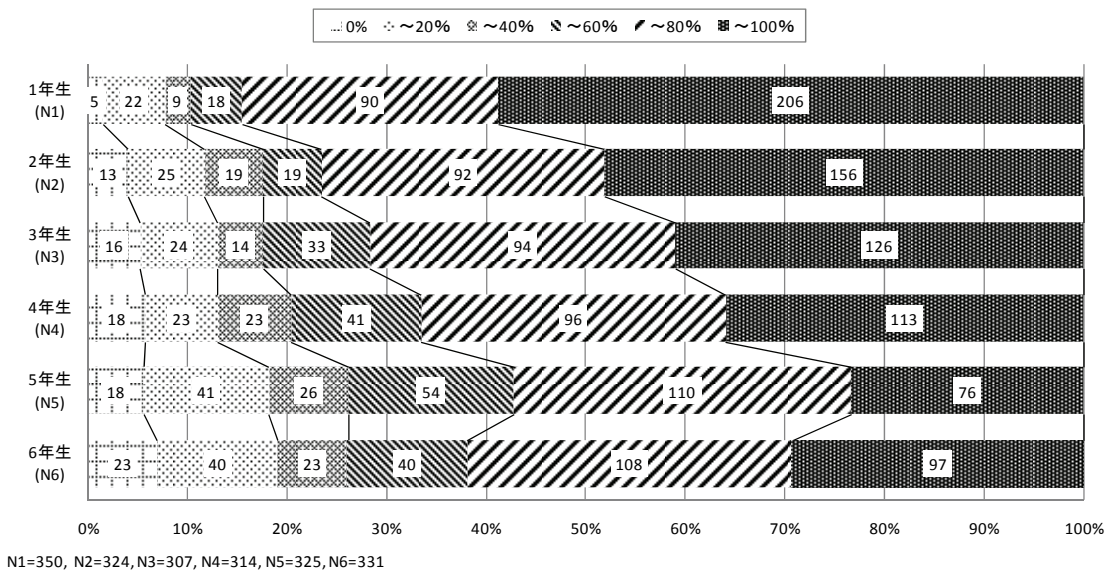
が上がるに伴って増加しており、やはり高学年である5、6年生では全体の約4割を占めるなど最も高くなっている。高学年の担任であれば毎日教室にて給食指導を行う必要性はなく、他の業務に従事できる時間が低学年と比較しても多い可能性があることがこのグラフからは読み取れる。

次に第3期について概観する。図表7-7は第3期における教諭の担当学年による「生徒指導（集団）」従事率の差異をグラフ化したものである。第1期と同様に担当する学年の上昇とともに従事率「80～100%」の教諭の割合は減少し、従事率「60%以内」である教諭の割合が増加していることが読み取れ

る。ほぼ毎日昼休みの時間も給食指導に従事している1年生の担任は全体の6割弱を占めており、週3、4日相当となる従事率「60～80%」を合わせると全体の8割5分近くを占めている。

また、本期の特徴として高学年における従事率「60～80%」の教諭の割合が第1期と比較して高いことが挙げられる。特に5、6年生では従事率「60～80%」である教諭の割合が従事率「80～100%」の教諭の割合を上回っており、これは児童が昼休みである時間帯に給食指導以外の業務に従事している日数が1週間あたり1、2日である教諭が多いことを示している。

図表 7-7：担当学年による差（第3期）

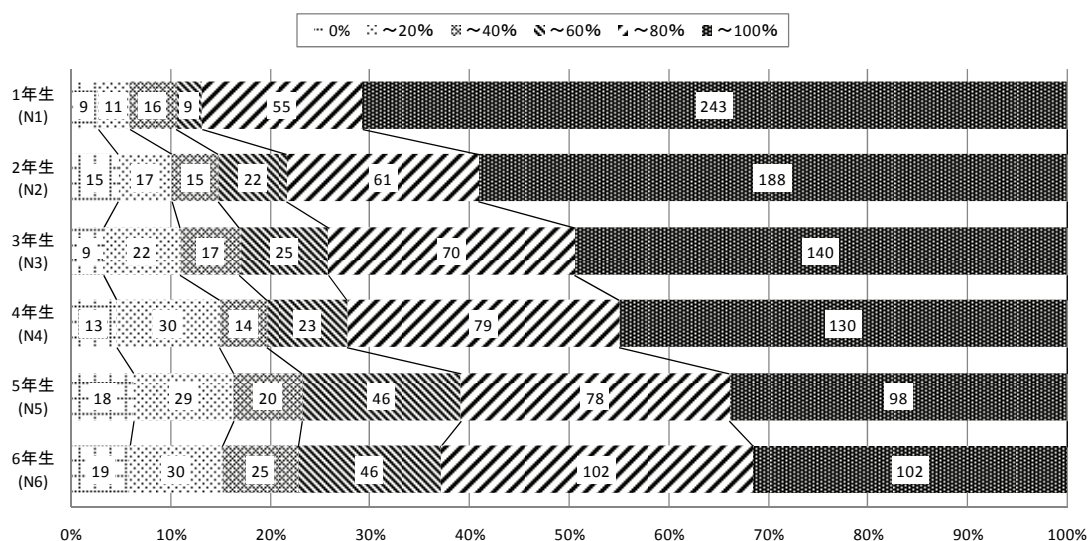


図表7-8は第4期における担当学年による「生徒指導（集団）」従事率の差である。本期においても第1期や第3期と同様に学年の上昇とともに従事率「80～100%」の割合が減少し、従事率「60%以内」である教諭の割合が増加している。ただし、従事率「80～100%」が学年ごとに占める割合は第1期や第3期よりも高くなっており、例えば1年生では7割強が週4、5日相当の従事率であり、

6年生であっても3割強の割合となっている。

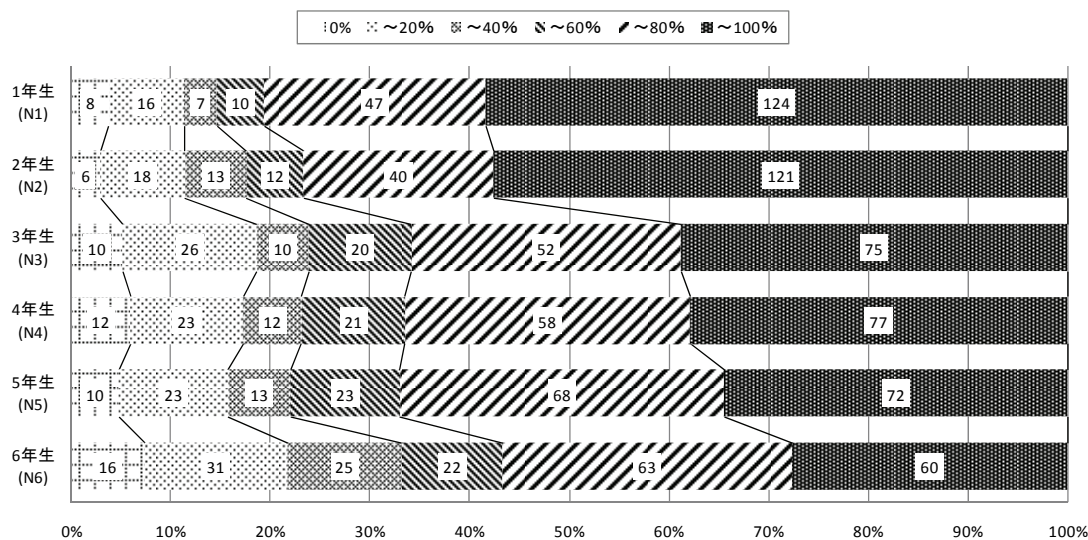
本期では「60%以内」の割合自体は他期との差がないため、従事率「80～100%」が増加した教諭の割合は「60～80%」に該当する教諭が吸収している。そのため、第3期では5、6年生で「60～80%」に該当する教諭の割合が最も高かったのに対し、第4期ではすべての学年において「80～100%」が最も多い従事率となっている。

図表 7-8 : 担当学年による差 (第 4 期)



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 7-9 : 担当学年による差 (第 5 期)



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 7-9 は第 5 期における担当学年による従事率の差である。第 1 期から第 4 期までと同様に、学年の上昇に伴って従事率「80~100%」である教諭の割合が減少し、従事率「60%以内」である教諭の割合が増加している。「80~100%」の教諭が低学年では 6 割弱であるのに対して、高学年である 5 年生では 3 割 5 分、6 年生では 3 割弱となっており、従事率「60~80%」とほぼ同程度の割合とな

っていることが読み取れる。

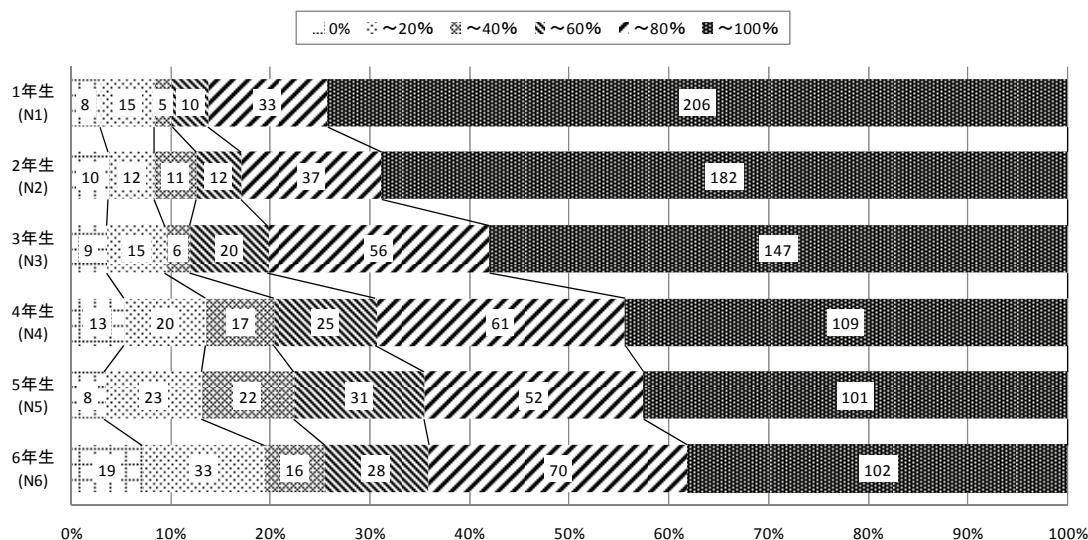
従事率「60~80%」の割合が「80~100%」と同程度となるのは第 4 期と同じ傾向であり、また、一方で従事率「60%以内」の割合が 6 年生になると全体の 4 割強を占めるようになることから、学年が上がると「生徒指導(集団)」にのみ毎日従事する必要がなく、最低でも週に 1、2 日は他の業務に従事することが可能となっている教諭が増加していること

推測できる。

図表 7-10 は第 6 期における担当する学年による従事率の差である。本期においても他期と同様に従事率「80～100%」である教諭の割合の減少と従事率「60%以内」である教諭の割合の増加が読みとれる。第 4 期と同様に「80～100%」である教諭の割合は各学年で第 1 期や第 3 期などと比較して高くなっており、そのために従事率が「60～80%」である教諭の割合は全学年を通じて 2 番目に多い割合となっている。「60%以内」である教諭

の割合は低学年および高学年については他期との大きな差は無く、低学年で 1 割強～1 割 5 分、高学年では 3 割 5 分前後の割合を持っている。本期の中学年は 4 年生で従事率「60～80%」の教諭の割合が 4 年生全体の 3 割強を占めているという、他期と比較して割合がやや多いことが特徴的ではあるが、他期と同様に全体としてほぼ毎日生徒指導（集団）に従事する教諭が学年に関係なく多いことが読み取れる。

図表 7-10：担当する学年による差（第 6 期）



N1=277, N2=264, N3=253, N4=245, N5=237, N6=268

出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

第 4 項 教諭の休憩時間の取得率

前項までは、教諭の「生徒指導（集団）」従事率に着目した分析を行ってきたが、本項では、11 時 30 分から 13 時 30 分の間における教諭の休憩時間の取得率について、担任の有無および担当する学年ごとに検討する。

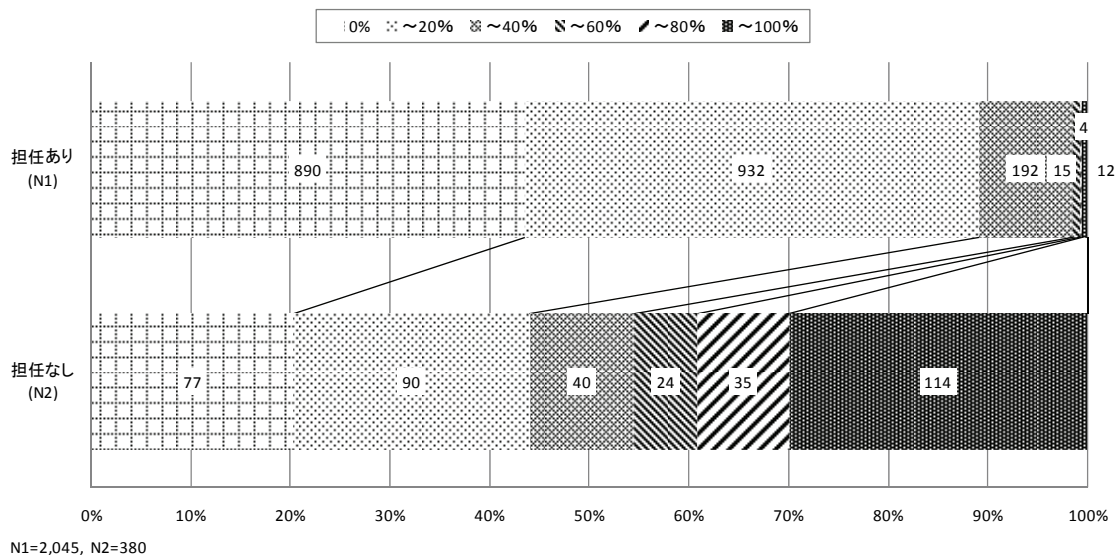
本分析における「休憩時間取得率」とは、教諭の勤務日の合計日数のうち、休憩時間を最低 30 分取得できた日の比率を算出したものである。前項までの分析において、6 期を通じた比較での差が大きく出ていなかったことから、本項では第 1 期のみに着目する。通常期であれば、第 1 期の結果とほぼ同様の結果が出ると考えられる。これは休憩時間を取得できた日が週 1 日相当と

まず、担任の有無について概観する。図表 7-11 は担任の有無による休憩時間取得率の差である。担任を持っている教諭の休憩時間取得率で最も多いのは最低 30 分の休憩時間を週 1 日取得できていることに相当する「20%以内」で担任の約 45%であり、次に多いのは全く休憩時間を取れていない「0%」となり、担任の約 4 割強を占める。両者の合計で全体の 9 割弱となり、担任が休憩時間を取得できていない状況がこのグラフから読み取れる。一方、担任を持っていない教諭は最低 30 分の休憩を週 4、5 日取得できていることに相当する「80～100%」の教諭が最も多く、全体の約 3 割を占めている。次に多いなる「20%以内」で約 2 割強、そして全く休

憩時間が取れていない「0%」が約2割と続いている。担任を持っていない教諭も大半が休憩時間を取得できていないものの、その一方で毎日必ず休憩時間を取得できる教諭が

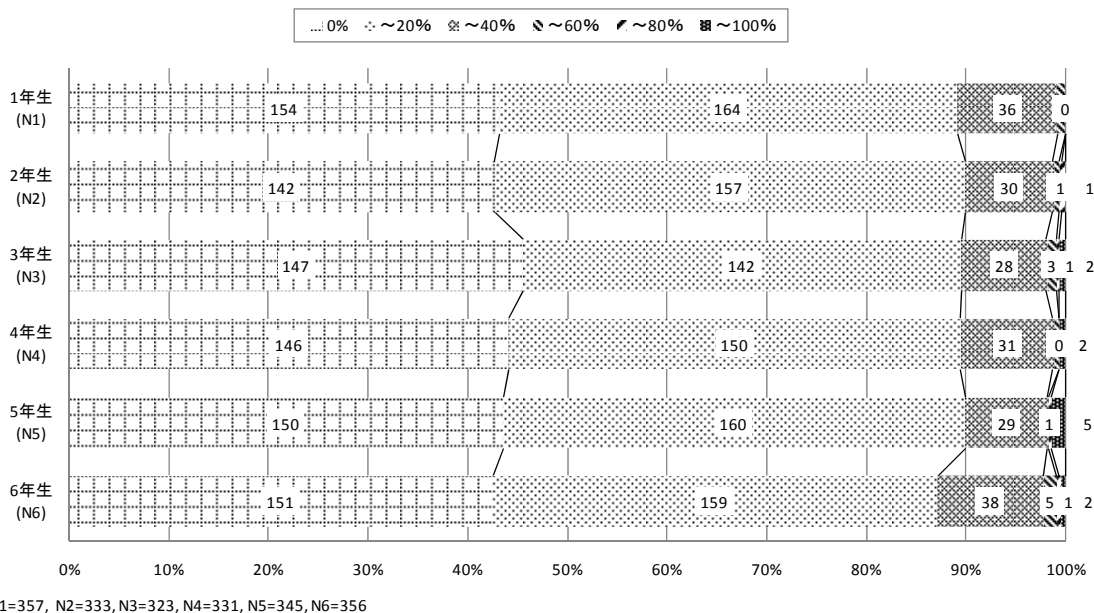
約3割確認できており、学級を持っていないことが給食指導と昼休みの時間に教諭の自由となる時間を作りやすい環境になると考えることができる。

図表 7-11：担任の有無による休憩時間取得率の差異（第1期）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

図表 7-12：担当学年による休憩取得率の差（第1期）



出所：「教員勤務実態調査」データより筆者作成

次に学年ごとの傾向について概観する。図表 7-12 は学年ごとの休憩取得率の差異で

ある。全ての学年において、取得率は週1日程度に相当する「20%以内」および休憩を全く取得できていない「0%」がほぼ同人数であり、両者を合計すると担任の9割近くになる。次に多い取得率も全学年で共通で週1、2日相当となる「20～40%」であり、担任の1割前後となっている。それを越えた休憩時間取得率の担任はほとんど確認されず、担任が11時30分から13時30分までの時間帯において休憩時間を取得せずに業務を行っている現状が読み取れる。

第3節 考察と今後の課題

以上、11時30分～13時30分までの2時間での「生徒指導（集団）」のみの従事率および休憩時間の取得率を担任の有無、担当する学年別で分析を行った。担任の有無については、全期において担任を持っている教諭の「生徒指導（集団）」のみの従事率が例外なく高く、担任は分析対象となった時間帯を教室で過ごしていることが多いと推測される。

担当する学年別の分析では、すべての期において教諭が「生徒指導（集団）」に多くの時間を割いている状況が示された。全学年において最も高い割合を占めたのは従事率「80～100%」であり、これは週4、5日に相当する。つまり、担当する学年に関係なく、1週間のうちの大半を給食時間の開始から児童の昼休みが終了するまで「生徒指導（集団）」に従事している教諭が小学校では多いと言える。

全学年において従事率「80～100%」の割合が最も高いものの、学年による高従事率者の割合の差異は大きく、学年が下がると11時30分から13時30分までの2時間に授業以外は「生徒指導（集団）」業務のみに従事する教諭の割合が増加することが読み取れる。低学年の「生徒指導（集団）」業務に時間がかかる理由として以下のことが考えられる。一つは給食の配膳や食器の片付けに時間がかかり、教諭が常に立ち会っている必要がある点である。低学年であっても配膳や片付けは児童が中心となって行うことが多いが、高学年と比較すると時間は多く必要とな

る。しかし、授業時間の終了は学校全体で共通であるために喫食の開始時間が遅れる可能性を持っている。二つ目は喫食時間が他学年と比較しても長いことである。喫食時間は学年が下がるほど長くなると考えられ、低学年では本来学校が定めている給食時間を超えて喫食をしている児童がいると考えられる。担任教諭はクラスルームに喫食している児童が残っていれば教室に残って給食指導を行うと推測され、それが「生徒指導（集団）」従事時間自体を長くしている可能性がある。

上記の理由から担任の給食指導が給食時間の終了時刻を超えて児童の昼休みに入ってしまう可能性が高い。また、学年が下がるほど教諭が児童の昼休み中であっても教室で指導を行う必要があることが推測できる。

また、給食時間から昼休みにかけての時間で教諭が30分を超える休憩時間を取れていない現状が明らかになった。第1期のみの分析ではあるものの、全期もほぼ同様の傾向にあると考えられる。担任を持っていない教諭は休憩時間を取得することが可能であるのに対して、担任を持っている教諭は学年に関係なく休憩時間を30分以上取得できることが少ない。

しかし、上記の分析はあくまで30分単位の勤務実態に関する分析である。給食時間から昼休みにかけての教諭の勤務実態はさらに細かい時間に分ける必要があると考えることができる。特に、低学年では児童が提出した連絡ノートなどを「帰りの会」までに記入して返却する必要があり、これらの業務は給食時間から昼休みの間にかけて行われることが多いものの、その業務は調査票に反映されていない可能性もある。例えば、担任は児童よりも早めに喫食を終えて机に戻り、返却物の記入業務に従事しながら児童の給食指導を行うという状況も考えられるのである。勤務実態調査は30分ごとの業務を記録したものであり、30分間で「最も負荷が大きかった業務を1つだけ選んで」記入している（東京大学 2007：p.206）。そのため、他の業務と並行して給食指導を行っていると考えられる時間帯の勤務実態を詳細に示すことは難しい。ただし、本稿の分析結果からは

高学年になれば給食指導を終えてから別の業務に移行している担任が多くなっていることが示されており、学年が下がるほど並行して業務を行っていることが推測できる。本報告書の第8章において小学校の低学年、中学年、高学年の担任へのヒアリング調査を行ったが、給食時間および昼休みにおける担任の動きは分単位であり、30分の間に複数の業務を行っていることが明らかになっている。この傾向は特に低学年において顕著であり、連絡帳や宿題などのチェックは中学年や高学年よりも丁寧に記入することが求められているために時間を要する業務となっている¹⁹。

このように、並行した業務に従事しているという勤務実態を明らかにするためには教諭へのインタビュー調査が必要であり、学年ごとに分けて、特に低学年に着目する必要性が出てきていると考えられる。

【参考文献】

- 群馬県教育委員会（2008）『教員の多忙化を解消する』学事出版
- 甲本卓司（2005）『給食指導のシステムづくり小事典』明治図書
- 小入羽秀敬（2008）「第4章 公私比較にみる給食指導の課題とその対応策」
東京大学（2008）『教員の業務の多様化・複雑化に対応した業務量計測手法の開発と教職員配置制度の設計－教員と教員サポート職員による業務の適切な分担とアウトソーシングの可能性－報告書（第1分冊）』pp.43-56
- 東京大学（2007）『教員勤務実態調査（小・中学校）報告書』
- 永嶋久美子（2005）「栄養教諭の現状」『川村学園女子大学研究紀要』第17巻第2号 pp.115-133
- 樋口健・鈴木尚子（2008）「第1章 児童生徒の指導に直接かかわる業務」
東京大学（2008）『教員の業務の多

様化・複雑化に対応した業務量計測手法の開発と教職員配置制度の設計－教員と教員サポート職員による業務の適切な分担とアウトソーシングの可能性－報告書（第2分冊）』pp.7-20

- 村上亜由美・荒井紀子（2006）「栄養教諭の小学校配置による家庭科および学級活動への影響－平成17年度福井県における家庭科主任及び学級担任への調査をもとに」『福井大学教育地域科学部紀要V（応用化学・家政学編）』45号、pp.1-14
- 文部省（1999）『小学校学習指導要領解説 特別活動編』東洋館出版
- 渡邊宏美・上田信男（2005）「小学校教職員の食教育への認識、実践および課題」『宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要』第28号、pp.453-462,

¹⁹ 詳細については第8章の調査報告を参照。

第8章

教員・学校の業務の実態に関する訪問調査

—佐賀市立小中学校の事例—

小入羽 秀敬

小学校では低学年、中学年、高学年の担任に給食時間および昼休みの時間の勤務実態に関して2校のヒアリングを行った。その結果、学年が上昇するほど給食指導に要する時間的・精神的負担が減少することが明らかになった。1年生の4、5月に保護者の補助を依頼している学校があるが、保護者による補助の有無によって時間的・精神的負担の大きさが変わる。中・高学年は児童の給食準備までの態度が指導の対象になるなど学年ごとに給食指導に関する問題点は存在したが、低学年については給食準備から片付けの段階まで常に担任が関わることが求められている。

中学校では部活動の中でも比較的活動日数や活動時間が長く、かつすべての中学校で部活動が設置されていると考えられる軟式野球部および吹奏楽部について、顧問の活動状況や活動時間についてのヒアリングを行った。野球部および吹奏楽部ともに通常期では週4、5日が活動日となっており、休日はコンサートや大会が近い時期は土曜日および日曜日の両日活動を行っている学校が多い。活動時間は授業終了時から最終下校時刻まで（夏季であれば19時前後、冬期であれば17時30分前後）であり、休日は半日から1日中活動しているケースが大半であった。すべての部活動は正顧問および副顧問によって運営されているが、大半の部活動では正顧問が指導を行い、副顧問は正顧問のサポートに回ることが多い。

第1節 給食指導に関するヒアリング

第1項 神野小学校

神野小学校は児童数747名、学級数25である。給食時間は、12時20分～13時05分、昼休みは13時05分～13時50分までである。

低学年（2年生）は給食準備時間に15分から20分要する。12時40分に喫食を開始し、13時5～10分に終わるが、喫食を終わっていない児童が多いため、延長をして終了時刻が13時15分から20分になることも多い。実質的な給食指導の時間は1時間である。給食指導で最も時間を必要とするのは喫食時間である。配膳は1学期当初は約20分間必要としたが、慣れてくると平均して15分間程になり、担任も早く配膳を終えられるように「配膳パターン」を1学期に児童に教授する。また、配膳終了時間の目安を作り、給食当番に周知するなどの工夫を行っている。

基本的に担任1名でクラスの給食指導を担

当しているが、食事時の嘔吐、廊下で食器を破損する、パントリーへの片付けが行えない場合は他学級の教諭とともに複数名で対応することもある。

給食指導、食育等の一環で、できるだけ残菜を出さないようにすることから、給食は残さず食べるよう指導を行っている。給食時間の終了時刻から多少の時間を延長し、食べられるよう指導を行うこともある。最後の児童が喫食を終了するまで基本的に教室で児童を見ている状況となっている。

また、給食時間の担任は給食指導とともに他の業務を並行して行っている。具体的には児童と同じテーブルにて喫食開始後7分程度で食事を終了し、机に戻ってテストや連絡帳などの提出物のチェックを行う。最も集中して作業に従事できる時間帯は担任の喫食終了後から児童の喫食終了時刻までの時間であるが、定期的に教室内をチェックするなど児童の状況を把握できるようにしている。

中学年（4年生）では、配膳等の準備は児童も慣れているため実質的には10分程度で終了する。しかし、低学年と異なり、授業終了時から配膳準備が完了するまでに時間を要するケースが多い。喫食時間が終了すると児童は昼休みになるが、喫食を終了した児童は食器を所定の位置に戻させ、給食が終了していない児童に関しては継続して喫食させる。低学年と同様に食器の破損や食事時の嘔吐の際はその処理に専念せざるを得ないが、基本的に給食時間は教室で担任だけが担当していても大きな問題にはならない。

担任は、連絡帳や宿題など返却物の点検、記入を行うため、給食はグループで児童と一緒にいき、児童より早めに喫食を終了し仕事に取りかかる。児童の状況は仕事をしながら把握できるように配慮している。宿題のチェックや学級運営に必要な雑務などは担任の喫食終了後開始し、児童が昼休みの時間帯も併せてその業務に従事している。しかし1週間に1日は児童と屋外で遊ぶ日を設定する。

高学年（5年生）では、12時20分の授業終了後、10分前後で準備を行う。12時半前後に喫食を開始し、13時過ぎに喫食を終了している。高学年になると喫食時間自体はほぼ30分以内におさまり、大半の児童はこの時点で歯磨きを実施し、残りの児童には給食を継続させている。低学年や中学年と同じように、担任の机で連絡帳や宿題のチェックを行い、児童の帰宅時に返却できる状況にする。高学年ではほとんど食器も破損しないため、担任は机での仕事に集中することができる。

第2項 兵庫小学校

兵庫小学校は児童数684名、学級数22である。給食時間は12時05分から12時50分まで、昼休みは13時35分までである。

低学年（1年生）では給食の配膳を自分たちで行うことに不慣れなため、4月から5月中旬までは、保護者（PTAの給食委員）2名が配膳等の補助を行っている。1年生が配膳を行う上で大人が補助として必要な場面は2カ所あり、主菜や副菜の分配に2名、主菜や副菜が盛りつけられた食器を各机に運ぶための補助に1名必要となる。保護者2名と担任

が具体的に手本を示しながら、衛生的で安全な配膳の仕方を児童に教えている。1年生の給食開始当初は保護者の補助があっても準備に多くの時間を要するため、4時間目の授業を10分から15分ほど早めに終わることで30分間の喫食時間を確保できている。しかし、保護者の補助期間が終了する5月下旬からは配膳等の準備に時間がかかったり、授業の終わりを正常な時間に戻したりするために、喫食時間が20分～25分になってしまっている。

2学期には児童が配膳方法を覚えるため、児童のみで配膳等の準備が実施可能となる。配膳は安全上問題がなければできるだけ児童に任せ、担任は教室全体の児童を観察しながら必要に応じて指導・支援を行いつつ、担任の机で宿題のチェックや連絡帳の記入を行うこともある。喫食時間は児童のグループに入り会話をしながら共に食事をするが、早めに食事を終了させて机に戻って仕事を再開することもある。給食時間終了後の後片付けなどの補助に入った後、昼休みの残りの時間は基本的に教室で採点業務などに従事し、教室内などで問題が起こった際や話し合いが必要な児童が出てきた際については適宜対応している。

中学年（3年生）では、授業終了後に、担任が給食当番の児童と共に10～15分で配膳を行う。喫食時間を確保するために、配膳時間を短縮させる工夫を担任は行っている。例えば、汁物など均等に分配する必要のある副菜をつぎ分けるサンプルを作成することで給食当番が配膳の仕方に見通しがもてる環境を整えている。喫食時間は25分前後確保している。担任は児童とともに給食を食べるが、児童よりも早めに食事を終了させて机に戻り、宿題のチェックや連絡帳の記入、採点などの業務を行いながら、児童の様子を観察し、問題があれば指導を行っている。給食時間の終了後、児童は昼休みの時間になるが、担任は職員室に戻って学年活動や授業に関する打合せを行う場合を除いては、基本的に教室で採点業務等を継続的に行っている。そのため、教室での児童との会話も多い。

高学年（5年生）では、授業終了後に給食準備の開始を当番に促す。配膳の際、担任は

分配するためのサンプルを作成し、副食を食缶から食器に配分する給食当番児童の補助などを行う。準備に要する時間は副食次第であるが、喫食時間は20分前後確保することを目標としている。4時間目の授業を自分たちの教室以外で行った場合には、準備を始める時間が遅れてしまうので、給食時間の終了時間を遅らせることで対応している。担任は児童のグループで早めに自分の給食を終了させた後、担任用の席から児童の喫食の様子を把握しながら、プリントや宿題の採点業務などに従事している。給食時間の終了後、昼休みの時間帯であっても担任は教室で業務に従事するが、職員室に戻って事務処理や授業で使用する教材の準備を行うこともある。

第2節 中学校における部活動の状況

第1項 城北中学校

城北中学校は生徒数598名、学級数16の中学校である。軟式野球部は部長と顧問の2人体制である。役割分担はグラウンド外での保護者会対応は部長が担当し、グラウンド内の技術指導などを顧問が行っている。

部活動の活動日数は週6日間であり、火曜日から日曜日までを活動日とし、原則月曜日を休みとしている。部活動の活動時間については、平日の開始時間は16時であり、季節によって終了時刻が異なる。夏季は最終下校時刻が19時半までとなっており、約3時間の活動時間を確保することが可能である。一方、冬季は最終下校時刻が17時15分と早いいため、活動時間自体も1時間前後となる。土曜日および日曜日の休日は9時から17時ないしは18時まで活動しており、練習試合を行う場合が多い。2試合行う場合は朝から開始しても終了するのは夕刻になってしまう。長期休業期も基本的に部活動を行っており、例えば夏季休業期ではお盆期間の6日間活動停止はするものの、他の平日は基本的に毎日活動しており、活動時間も8時から13時までの5時間を確保している。朝の部活動の実施は季節によって異なるが、大会前になると6時45分から1時間前後活動を行っている。

基本的に顧問は毎日学校に出勤しており、

平日・休日の双方とも顧問が一人で指導を行っている。顧問が会議や出張、家庭の都合等によって時間を取ることができない場合は部長や野球経験者の保護者が代わって指導を行うが、基本的には顧問が指導を行うことになっている。また、軟式野球部は週1日外部コーチに指導を依頼しているが、外部コーチはあくまで顧問と一緒に指導を行うことを前提としており、顧問に代わって部活動の指導を行うことはない。

軟式野球部顧問の担当教科は数学であり、3年生の担任でもある。授業時間も1週間では約18時間と多く、授業の空き時間も1週間では約10時間である。そのため、基本的に授業準備をはじめとする業務については空き時間の他には生徒が部活動を終えて下校した後に行うことが多い。生徒下校後授業準備やその他業務に1~1.5時間従事している。最も業務に集中できる時間帯は生徒下校後であり、その短い時間で業務を終わらせている。活動時間の長い部活動を担当していても校務分掌や授業時間は、他の活動時間の短い部活動顧問に就いている教員と変わらない。

吹奏楽部は正副顧問の2人体制である。基本的に音楽教員である正顧問が指導を行っており、副顧問は正顧問が会議や出張等に参加できない場合に代わりに指導を行う。副顧問は音楽教員ではないため、技術指導は正顧問が行い、副顧問は部員の生徒指導の側面が中心となるなど役割分担がなされている。

活動日は大会やコンサートが行われる時期の前後によって異なる。吹奏楽部のコンサートは7月、9月、10月の大会、11月の文化祭、12月のアンサンブルコンサートとほぼ毎月定期的に行われており、その直前期になると活動日数や活動時間が増加する。7月の大会までは基本的に毎日活動を行っており、平日では16時半から18時半、休日は8時半から13時の活動を行っている。大会一ヶ月前では活動時間がさらに伸び、平日の終了時刻が19時半、休日の終了時刻が17時となる。夏季休業期には週1日部活を実施しない日があり、活動時間は8時半から18時半となっている。10月の大会に出場する生徒は基本的に毎日活動しており、放課後に加えて休日でも

あっても土曜日および日曜日の両日において8時半から15時まで活動を行っている。ソロの大会後にある11月の文化発表会が近づくと平日の放課後に加えて休日は土曜日の8時半から13時までの活動時間となっており、日曜日は活動を行わない。12月のアンサンブルコンサートが近づくと平日は放課後の活動に加えて朝7時半より30分程度の練習を行っている。これは放課後の活動時間が17時半までとなっているためである。また、休日では土曜日に8時半から15時まで活動を行い、日曜日は午前中のみ活動を行っている。12月のコンサートを終わると初めて大会のための練習ではない部活動となり、大会前ではない1月から3月までは基本的に平日の放課後と土曜日の午前中を活動日とした部活動となり、週に1日（日曜日）は部活動を行わない日を設定している。

吹奏楽部は学校外部への指導依頼を行っている。10月に行われる大会はマーチングバンドの大会であり、特に専門的な知識や指導を必要とするため、楽器店店員がボランティアで来校して指導を行っている。外部指導者が指導をしている時間も顧問は部活動に従事しており、外部指導者と2人体制での指導を行っている。

吹奏楽部顧問の担当教科は前述したように音楽であり、身分は講師である。音楽教員の授業の空き時間は少なく、1週間当たりで6、7時間であり、この時間帯に集中して授業準備などの業務を行う。音楽の授業は他の教科と比較すると1つの単元に長い時間を必要とするため、単元の授業準備を終えれば日々の授業準備時間を短めに抑えることが可能である。また、顧問が講師であるために校務分掌は比較的軽い負担のものを担当しているため、生徒が下校してから1時間前後の残業で帰宅することは可能である。自宅ではテスト作成などの業務を行っている。

第2項 金泉中学校

軟式野球部の顧問は正副顧問の2人体制となっており、基本的に2名で部活動の指導を行っている。両者の役割分担としては、2人体制の良さを生かすために、一方が父親役と

して接するときには一方は母親役をつとめ生徒の指導にあっている。

部活動の活動日は基本的に毎日である。平日の開始時間は授業終了後の16時15分開始であり、夏季であれば18時45分、冬季であれば17時15分が終了時刻となる。休日は土曜日および日曜日の両日活動を行っており、2月から11月の野球のシーズン中は練習試合が9時開始のため6時に集合することが多い。練習試合を2チームで行うときは13時まで、3チームで行うときは16時活動することが多い。顧問は試合後の生徒が居残り練習を終えて下校するまで学校に残っているため、帰宅時刻が17時となる。夏季休業期中は1週間のうち6日間活動しており、基本的に7時半から13時までの活動を行っている。2部制で活動する日もあり、その日は7時半から11時、12時半から15時に分けて活動を行っている。冬季休業期や春季休業期もほぼ同様の活動日数や時間となっている。

野球部は外部コーチを導入していないが、練習試合などへ保護者が応援に来た際に、技術面でアドバイスを依頼するなど保護者とのコミュニケーションを重視している。

顧問の担当教科は社会であり、1週間の空き時間は8時間ほどである。空き時間では授業準備や昼休みに行う実行委員会のための準備に従事している。授業準備など業務の大半は生徒が部活動を終了して下校を終えた後に開始しており、夏季のように最終下校時刻が遅い日は基本的に21時、もしくは22時まで学校に残って業務を行っていることが多い。最も遅いときでは23時前後まで学校で業務を行うこともある。また、授業準備上の工夫として、夏季休業期や冬期休業期などの長期休業期間中に授業準備を進めることを挙げている。

吹奏楽部は正副顧問の2人体制で活動を行っている。両者の役割分担は、正顧問は基本的に技術指導を行い、副顧問は養護教諭であり部員の健康面の支援をはじめ、生徒指導など活動を側面からサポートしている。副顧問は吹奏楽の未経験者である。本校では、このように教諭のみでなく教頭や養護教諭も加わって2人体制を保ち、部活動を通して健全

な育成に全職員であたっている。

活動日数は夏季では毎日活動しており、平日は 16 時 15 分から 18 時 45 分まで活動しており、休日では 5 月の連休明け以降は土曜日、日曜日の両日活動を行っており、6 月までは 8 時半から 15 時まで、それ以降は 8 時半から 17 時まで活動を行っている。夏季休業期中は基本的に週 5、6 日の活動日数であるが、活動時間はコンクール前後で異なっており、コンクール前では 8 時半から 17 時や 18 時まで活動を行う。コンクール終了後は午前中のみ、ないしは午後のみ半日のみ活動を行っている。

外部からは不定期にボランティアとして楽器演奏の経験者が来校し指導者は楽器店の店員に依頼している。外部指導者はボランティアで、正顧問とともに技術面の指導を行っている。また、保護者とのコミュニケーションも重視しており、発表会や練習の場に保護者の参加を依頼することで部活動と保護者との接点を作っている。

顧問の担当教科は音楽であり、授業の空き時間には授業準備や総合学習の準備等を行っている。学校で唯一の音楽教員であるため、すべての授業の授業準備を担当する。授業準備や校務分掌などの業務は部活動終了後の生徒が下校を終えた後に行う。夏季は 18 時 45 分に部活動を終了して 19 時が完全下校時刻となっているため、下校後 1、2 時間仕事を行い 20 時から 21 時の間に帰宅する。授業準備は自宅で作業可能であるものは自宅で行っている。また、夏季休業期中で午前中に部活動が終了した日は午後を授業準備や文書作成に使用するなど、業務を効率的に行っていく上で様々な時間の工夫を行っている。

第 3 項 昭栄中学校

昭栄中学校は生徒数 620 名、学級数 17 の中学校である。軟式野球部は 2008 年度の大会で九州で 2 位となり全国大会に出場している。顧問は監督・部長の 2 人体制である。基本的に 2 名が部活動に参加して指導を行っている。部長は教務主任であるので他の業務が遠征を行う際には保護者会から数名が補助として部員に同行する。また、保護者会で

入る際は監督のみで指導を行っている。

活動日数については、平日では月曜日は休みであり、火曜日から金曜日まで毎日行う。休日も両日活動を行っている。活動時間は、平日では 16 時 5 分に授業が終了後部活動を開始し、夏季では 19 時 15 分まで、冬季では 17 時 45 分まで活動を行う。休日では土曜日、日曜日の通常練習の日は 9 時から 12 時まで活動を行うが、練習試合のある日は 1 日に 3 試合を行うため、7 時半から 15 時まで活動を行っている。練習試合は基本的に毎週行っている。夏季休業期は 2008 年度については全国大会に出場していたため、8 月の最終週末までは通常とは異なる活動時間で動いている。通常の夏季休業期であれば、活動日数は 1 週間で 6 日間活動であり、活動時間は 8 時半より 11 時半まで練習、午後には 2 時間の学習会を開催して部員に宿題等を行わせる。シーズンオフになると休日のいずれかを休みとし、月曜日を活動休止とした週 5 日間の活動日数となっている。

顧問の担当教科は理科である。授業準備や校務分掌などの業務を行う上での工夫を行っており、例えば実験準備などは朝の早い時間（7 時半など）に出勤して終えてしまう。また、規模の大きい学校であるために理科教員も 2、3 人が 1 学年を担当しているので授業準備を分担して行うことができる。また、朝の会や朝の読書の時間、昼休みなど生徒に対して授業を行う必要が無い時間帯に採点や書類作成などを行うことで効率的に業務を行っている。基本的に長期休業期に授業準備を行っているが、夏季休業期中は午前中で部活動を終えているために午後の時間を授業準備等の時間に充てることことができる。仮に他の業務によって部活動の指導が行えない際は主将や副将に練習の指示を出している。

正顧問、副顧問の両名ともに野球の経験者であるため、外部コーチは依頼していない。また、野球部の保護者で構成されている保護者会の役割が部活動を行う上で大変大きい。保護者会の会長が部活動に参加することもあるなど積極的に部活動に関わり、大会など部費を集めて部活動のための消耗品購入を行うこともある。

昭栄中学校吹奏楽部はコンクールで3年連続金賞を受賞してきた。顧問は正副顧問の2人体制となっている。音楽教員である正顧問が技術面の指導を行い、副顧問が保護者会対応や部員の人間関係トラブルの対処など裏方的な役割を担っている。今回インタビューを行った顧問は新任教員でもある。

活動日数は、基本的にテスト期間以外は毎日活動を行っている。活動時間は平日では16時5分に開始し、夏季であれば19時15分、冬季であれば17時45分の最終下校時刻まで活動を行っている。休日も土曜日および日曜日に9時から13時まで活動を行っている。夏季休業期中はお盆および月末の週末2日間を活動休止にしているが、それ以外は毎日が活動日となっている。コンクール前後で活動時間が異なっており、コンクール前では8時半から15時半まで活動を行い、コンクール後では8月中は8時から13時、13時から17時までの半日の練習時間で活動を行うか、8時から15時まで活動を行っている。

吹奏楽部は3年連続コンクールで金賞を受賞しているが、顧問は吹奏楽が専門ではないので外部から講師を招聘している。例えば、部員の親戚で吹奏楽の経験者に依頼して1週間に一度指導をお願いすることもあり、また、市の吹奏楽連盟が行っている楽器別講習会などを生徒に紹介することによって生徒に対して必要となる専門的な指導を補って

る。保護者会も部活動に対して協力的であり、演奏会などの際に楽器の運搬を行い、夜の遅い時間の練習の際は送迎を行うこともある。

顧問は音楽を担当しており、新任教員である。そのため、担当する授業時間自体は他の教員と比較して短いものの、教材研究や担任業務、校務分掌などの業務を行う上で必要となる時間は他の教員と比較しても長くなる。生徒が下校した後に教材研究などの業務を行っているが、夏季では19時に部活動が終了するために22時半から23時前後まで学校で業務を行っていた日もあり、冬季は17時45分に生徒が下校するため21時前後まで学校で残業を行っている。

【付記】本調査を行うに当たって佐賀市教育委員会および訪問させていただいた小中学校の先生方には多大なご協力をいただいた。記して謝意を表したい。なお、本章の内容は各学校の掲載承諾を得ているものである。言うまでもなく、本稿に含まれる誤りはすべて筆者に帰すものである。

付表：本調査における訪問学校リスト

訪問日時	学校名	質問者	ヒアリング対象者
2008年11月18日	神野小学校	小入羽秀敬 川上泰彦（佐賀大学）	2年生担任 4年生担任 5年生担任
2008年11月19日	兵庫小学校	小入羽秀敬 川上泰彦（佐賀大学）	1年生担任 3年生担任 5年生担任
2008年11月20日	城北中学校	小入羽秀敬	軟式野球部顧問 吹奏楽部顧問
2008年11月20日	金泉中学校	小入羽秀敬	軟式野球部顧問 吹奏楽部顧問
2008年11月20日	昭栄中学校	小入羽秀敬	軟式野球部顧問 吹奏楽部顧問

第二部

研究会講演記録

第9章 教員の労働時間研究の到達点と課題

青木 栄一

平成 18 年度に実施された教員勤務実態調査（以下、勤務実態調査）の背景には教職調整額の在り方について検討の必要が生じたことがある。勤務実態調査の主たる目的は教員の残業時間を測定することであった。調査の結果、持ち帰り時間も含め学校の正規の勤務時間以外に、どういう仕事かどのくらい行われているのかが明らかとなった。小学校の教諭の残業時間は約 1 時間半、中学校については約 2 時間半であった。ただ、この数値を解釈する際には、勤務日にフルタイムで業務した人を前提としている点に留意する必要がある。実際には調査 1 期間あたり 28 日間のうち、8 日間土日（休日）があり平均して 1 日弱分の年休を取得しているため、1 日あたりの残業時間に 20 を乗じることが適切かどうかという問題がある。いずれにせよ、教員の業務に関する実証的な数値が得られたことが勤務実態調査の成果である。

勤務実態調査が明らかにしたのは教員の仕事の実態である。一般に、教員が「多忙」である、教員の仕事は「多忙化」した、教員は「多忙感」をもっているなどと指摘されるが、これらはいずれも実証的な根拠を伴ったものではなかった。

第 1 に、「多忙化」であるが、この概念はある時点と比べてより忙しくなったということを実証できないと意味をなさない。この点でいえば、信頼できる全国調査が昭和 41 年まで遡らないと見あたらないことにくわえ、今回の調査とはサンプルの取り方も異なるため、厳密には両者の比較は困難である。（今回は最新の理論に基づいてサンプリングを行った）

第 2 に、「多忙感」であるが、「感」という主観を含む質的な事柄を表現する概念であることに留意すべきである。これを具体的な数字で表現することは困難である。勤務実態調査の結果については各種報道等の反応を見る限り、実態を正確に析出したものであると受けとめられているものの、やはり「多忙感」というもの

を実証するというのは困難である。少なくとも、勤務実態調査のような調査の設計では教員の主観を測定することは困難である。

第 3 に、「多忙」であるが、勤務実態調査の結果からは残業時間が明らかになったので、この点に関する議論は可能となった。残業時間によどの程度業務に必要なことを行っているかどうかという点は数字からは明らかにならない。というもどのような職業や職場でも仕事のスタイルの異なる人間がいるからである。デッドラインを決めて仕事時間は集中するというスタイルの人間がいるが、その一方で多くの人間は必ずしもそうではない（吉越浩一郎著『デッドライン仕事術』祥伝社新書）。こういう問題がやはり「多忙」という概念についても指摘できる。

なお、勤務実態調査の数値の解釈については平均値のみで議論をしないことに留意した。そのために、勤務実態調査の報告書には平均値に加えて、中央値、標準偏差を示し、さらに箱ひげ図や残業時間を階層化した棒グラフなどを盛り込んだ。残業時間の長さには長短があることを読者に理解してもらうような工夫をした。中教審で研究代表者である小川先生が勤務実態調査の報告をなさった際にもこの点を協調していただくようお願いした。しかし、残念なことに新聞報道等を見るかぎりやはり平均値に注目した紹介のされ方であった。これは新聞などでは読者に伝わりやすいシンプルな数値を用いるからであろう。研究者の立場からは平均値のみを用いた議論を行わないように心がけていきたい。

平成 18 年度の勤務実態調査のミッションは、残業時間を実証的に明らかにすることで達成されたが、やはりこのデータは非常に重要なものであると判断したので、再分析を行う計画を立てた。そこで平成 19 年度に新教育システム（文部科学省新教育システム開発プログラム）へ申請し、採択されたのが教員業務量プロジェ

クトである（「教員の業務の多様化・複雑化に対応した業務量計測手法の開発と教職員配置制度の設計—教員と教員サポート職員による業務の適切な分担とアウトソーシングの可能性—」）。

平成 19 年度の分析で中心となったのは行為者率という概念である。新教育システム報告書（以下、19 年度報告書）の第 2 分冊の 62 頁〔図表 7-1〕には小学校の教員の勤務日における行為者率が示されている。30 歳以下の男性の場合、88.2%の人が朝の業務を行ったことが分かる。それらの教員はその業務を 45 分ぐらい行ったことが分かる。これが行為者平均時間である。一方で、42 頁では第 1 期に保護者 P T A 対応を行った小学校教諭は 14.1%であり、行為者平均時間は約 2 時間である。ところが、行わなかった教諭も含めた全体平均時間は 18 分となる。つまり、このように行為者平均時間と全体平均時間に差のある業務は、繁閑の差があるか、集団のなかで特定の人間に業務が集中しているかのいずれかの性質を持つといえる。教諭の多くが学期末の保護者面談を行った結果かもしれないし、ある教諭に保護者対応の業務が集中しているかもしれない。データからはいずれかの可能性があることまでは指摘できるが、それ以上の確定的なことはいえない。いずれにせよ、

全体的にはこのような状況であることが分かる。行為者率、行為者平均時間、全体平均時間は教員の仕事を分析する際に必要なデータである。

勤務実態調査では教員の業務を 4 類型化した。これは昭和 41 年の勤務状況調査の 4 類型を参考にしたものである。ここで問題となりうるのは「児童生徒の指導に直接的にかかわる業務」に部活動が含まれていることである。もちろん、部活動は児童生徒を直接指導する業務であるから、このカテゴリーに分類せざるを得ない。しかし、残業に占める部活動の割合は非常に大きいので、部活動を含めた時間と含めない時間を区別した議論が必要ではないかと考えている。

勤務実態調査が教員の労働時間研究に対する貢献の一つは教員の仕事を「可視化」したことである。経営学では「見える化」という用語法も存在する（遠藤功著『見える化—強い企業をつくる「見える」仕組み—』東洋経済新報社）。仕事の流れや量を可視化することで、業務改善のきっかけとする発想である。

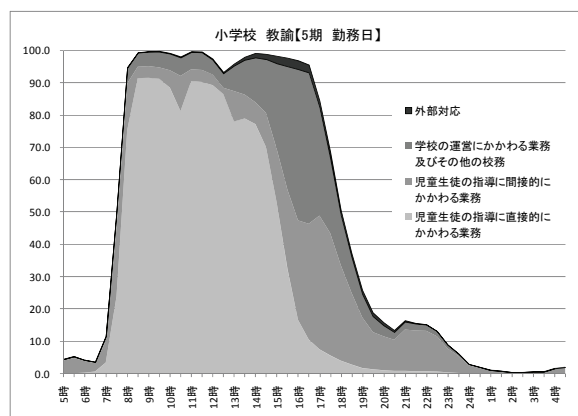
これを勤務実態調査の結果と照らし合わせてみよう。平成 19 年度報告書第 2 分冊の 81 頁〔図表 8-15〕では、昼休みの時間帯に約 10%の小学校の教諭は小学校でも昼休みをとれて

図表 7-1 小学校教諭 勤務日の行為者率・平均時間量【第 5 期(11 月)】

	男性												女性																			
	30歳以下				31~40歳				41~50歳				51歳以上				30歳以下				31~40歳				41~50歳				51歳以上			
	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)	比率	平均時間(B)				
A a 朝の業務	88.2	0:45	81.1	0:41	73.4	0:41	67.0	0:41	86.5	0:43	88.5	0:41	85.1	0:39	82.2	0:40																
b 授業	94.2	4:21	94.8	4:25	89.6	4:02	89.5	4:05	94.4	4:11	95.0	4:14	94.0	4:18	95.1	4:20																
B c 授業準備	84.9	2:27	76.5	2:15	64.8	1:56	63.9	2:03	82.6	2:28	74.0	1:55	69.2	1:52	68.6	1:51																
A d 学習指導	11.3	1:09	13.2	1:00	12.5	1:05	8.0	1:06	12.9	0:57	20.5	0:55	17.3	0:56	15.9	1:00																
B e 成績処理	45.6	1:38	39.6	1:30	32.2	1:25	31.0	1:35	54.3	1:41	49.8	1:27	48.8	1:28	46.6	1:37																
f 生徒指導(集団)	89.4	1:33	90.8	1:29	83.8	1:24	81.5	1:19	90.9	1:31	91.7	1:32	90.9	1:28	89.0	1:26																
g 生徒指導(個別)	9.9	1:10	11.4	0:55	7.5	0:58	6.9	0:58	8.0	0:52	9.5	0:49	9.3	0:58	8.1	0:58																
A h 部活動・クラブ活動	12.9	1:15	14.4	1:21	9.5	1:18	7.2	1:08	11.2	1:13	10.0	1:12	8.4	1:05	7.6	1:01																
i 児童会・生徒会指導	5.2	0:55	7.8	0:54	6.5	0:56	5.1	0:55	6.1	0:55	9.9	0:53	8.7	0:52	6.6	0:55																
j 学校行事	17.8	3:10	15.2	2:50	16.7	3:02	17.9	3:11	16.9	2:51	18.5	2:42	18.3	2:50	18.1	2:46																
B k 学年・学級経営	25.8	1:24	25.7	1:16	23.0	1:22	16.1	1:13	23.6	1:13	27.4	1:10	28.8	1:06	24.2	1:10																
l 学校経営	9.6	1:16	16.2	1:34	27.8	2:39	21.3	3:01	7.1	1:20	10.5	1:16	13.7	1:38	10.6	1:34																
C m 会議・打合せ	37.1	1:24	35.7	1:28	36.7	1:26	32.8	1:23	36.5	1:23	38.5	1:19	40.9	1:23	37.6	1:26																
n 事務・報告書作成	9.6	1:18	16.3	1:26	24.4	2:08	18.1	1:42	10.9	1:07	13.3	1:07	15.9	1:19	14.1	1:13																
o 校内研修	13.2	1:52	12.4	1:56	13.3	1:59	11.3	1:59	15.9	1:51	12.9	1:52	13.5	1:57	12.2	1:58																
p 保護者・PTA対応	5.8	1:35	6.7	1:41	8.0	1:31	6.0	1:32	9.2	1:22	9.0	1:15	7.8	1:20	7.3	1:24																
D q 地域対応	0.4	1:20	1.5	1:14	2.0	1:17	0.8	1:05	0.8	1:12	1.4	0:59	1.2	1:07	1.5	0:49																
r 行政・関係団体対応	0.7	1:14	1.3	1:02	2.5	1:18	1.4	1:35	0.6	1:18	1.4	1:09	1.2	1:26	1.0	1:24																
s 校務としての研修	8.8	3:51	5.9	4:15	6.5	3:38	6.3	4:40	10.5	3:38	5.6	3:45	5.6	3:27	5.0	3:03																
C t 会議	3.1	2:24	4.7	2:48	5.6	2:35	3.8	2:35	2.6	2:51	3.2	2:26	3.5	2:36	3.6	2:30																
u その他の校務	12.7	1:29	13.5	1:36	25.6	1:41	28.0	1:52	13.0	1:22	14.9	1:28	17.5	1:19	16.7	1:30																
v 休憩・休息	15.3	0:46	18.6	0:43	26.1	0:42	29.1	0:41	14.2	0:41	11.7	0:40	14.6	0:39	15.1	0:37																
A 児童生徒の指導に直接的にかかわる業務	98.8	7:15	98.5	7:08	97.9	6:20	96.4	6:17	98.1	6:57	98.8	7:06	98.9	6:56	99.4	6:51																
B 児童生徒の指導に間接的にかかわる業務	94.1	3:23	88.9	2:59	78.2	2:35	75.8	2:38	94.1	3:27	89.8	2:45	87.8	2:39	87.2	2:38																
C 学校の運営にかかわる業務及びその他の校務	66.1	2:26	70.1	2:38	79.1	3:37	74.0	3:26	68.7	2:24	69.2	2:13	73.1	2:26	69.4	2:19																
D 休廊対応	6.9	1:33	9.2	1:35	11.6	1:33	7.9	1:34	10.4	1:22	11.4	1:15	9.9	1:21	9.5	1:21																

いと推測できる。これは業務の行為者率の合計が90%程度であることから算出できる。小学校の場合、学級担任は給食指導を行う必要があるため、昼休みをとりにくいと指摘されていることを考慮すれば、この結果は専科教員が10%程度、あるいは担任をしていない教諭が10%程度各学校には存在していることを意味する。一般的な一校あたりの専科教員の人数をふまえると、この結果は現場感覚とおおよそ一致する。また、21時以降に再び行為者率の合計が上昇するが、これはいったん帰宅した教諭による持ち帰り仕事がこの時間帯に集中していることを示唆する。持ち帰り仕事の検証をするならばこうしたデータが必須であるはずだが、従来はここまで正確なデータが収集されることはなかった。かりに持ち帰り仕事の問題であるならば、それが持ち帰り仕事の量のことなのか、持ち帰り仕事をする時間帯のことなのか、それ以外の問題なのかを区別して議論することが必要であるし、今回得られたデータはそうした議論に耐えうるものである。このように教員の仕事を可視化することではじめて仕事のゴール設定も可能となる。

図表 8-15 小学校教諭の時間帯別行為者率 (業務分類別)



行為者率のデータを活用して教諭の仕事の削減や効率化を考えることができる。授業についていえば、午前中の時間帯はほとんどの教諭が授業に携わっているため、他の業務を行う余地がない。一方、昼休みの時間帯に注目すると行為者率の合計が90%近くに低下している。これは担任をしている教諭であれば給食指導があるために休憩をとることは困難であるが、専

科教諭の場合には昼休みの時間帯に休憩をとる余地が相対的にはあることを示唆する。このことから、業務の分担という観点から専科教諭に給食指導を分担させることが必要な場合もあるといえる。少なくとも週に1回程度は担任が給食指導から離脱し、専科教諭が給食指導を代替することがあってもよいのではないかと²⁰。もちろん、これは単なるアイデアであって、要するにマネジメントレベルである程度業務の負担の平準化を図る余地があることを再認識することが重要である。行為者率のデータから確実に指摘できるのは何らかの理由で給食指導に携わっていない教諭が10%程度存在することである。かりにこの時間帯の行為者率の合計が100%であれば業務の分担は不可能となるが、10%程度の余剰戦力があるのであれば、給食指導の分担は可能ではないかと推測できる。もちろん、本来は昼休みに休憩をとれることが最重要課題であるが、それが困難であるとするならば業務の分担を図るという手段を考える必要がある。

なお、行為者率について留意しなければならない点がある。今回出した行為者率のデータでは、データの定義上持ち帰り仕事と残業の区別ができない。これは仕事をした場所というもう1つの要素を入れると、分析がさらに複雑になってしまうための措置である。本調査が参考にしたのは生活時間調査の手法である。大規模調査で有名なNHKの生活時間調査では、誰と、どこで、何をしているかを調査するが、調査機関が数日間であるために可能である。本調査のように28日間という長期間調査ではデータ量が膨大となるために調査項目の次元を落とす必要がある。

本調査の再分析で可視化できたのは平均的な一日の仕事の姿である。これを拡大解釈して1週間、1ヶ月、1年の姿を推測するのはやや飛躍した推測となってしまう。教員の業務は時期により繁忙の差がある。月によって、あるいは週によって忙しさは異なる。7月のように学期

²⁰ 担任の業務の負担を教諭集団で分散させるという業務の効率化という観点以外にも、メリットはある。担任が給食を職員室で管理職や専科教諭などと一緒に食べる際に日常行うことのできない情報交換ができる。一般に担任は毎日教室で児童と食事を一緒にしているため、昼食の時間帯に校務に関する情報交換ができない。

末の時期には業務が膨大であるし、秋の行事のある週は準備等で多忙となる。これらの個別の事情を捨象したのが一日の行為者率のデータである。このデータの性質からして、特定の時期や属性の業務の実態から乖離している可能

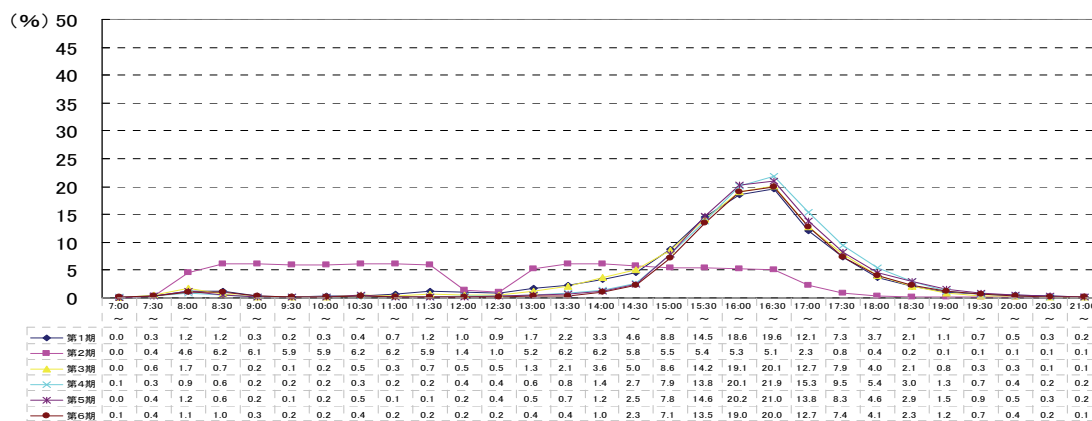
性があるのは当然である。

可視化することで業務の効率を上げることにつながるのではないかと指摘したが、ここで2つの個別業務の行為者率データを用いて説明したい。

図表 3-2 「会議・打合せ」の行為者率と行為者平均時間量（小中学校 教諭）

業務内容	学校種	第1期(7月)			第2期(8月)			第3期(9月)			第4期(10月)			第5期(11月)			第6期(12月)		
		行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体
		比率 %	平均時間 (B) 時間 分	平均時間 (A) 時間 分	比率 %	平均時間 (B) 時間 分	平均時間 (A) 時間 分	比率 %	平均時間 (B) 時間 分	平均時間 (A) 時間 分	比率 %	平均時間 (B) 時間 分	平均時間 (A) 時間 分	比率 %	平均時間 (B) 時間 分	平均時間 (A) 時間 分	比率 %	平均時間 (B) 時間 分	平均時間 (A) 時間 分
m 会議・打合せ	小学校	37.8	1:27	0:33	22.0	2:15	0:30	38.1	1:25	0:33	38.4	1:26	0:33	37.7	1:24	0:32	35.8	1:22	0:29
	中学校	30.9	1:31	0:28	14.4	2:09	0:19	28.8	1:29	0:26	28.2	1:28	0:25	32.4	1:33	0:30	33.5	1:40	0:34

図表 3-3 「会議・打合せ」の時刻別行為者率（7:00~21:30）上段：小教諭・下段中教諭



第1に、第2分冊の30ページの「図表3-2」と「図表3-3」は会議・打ち合わせの行為者率を示したものである。授業が終了し、放課後となる15時から15時30分周辺から会議・打ち合わせの行為者率が高い値を示す。これはそれ以前の時間帯は授業があるためにこの放課後の時間帯しか充てることができない

ことを示す。ただ、終業時刻であると思われる17時前後以降の時間帯にも一定の行為者率が確認できる点には注意を促したい。本来、会議・打ち合わせは情報の共有、合意形成、重要事項の決定を目的とするものである。その観点からデータを分析すると、そうした重要な機能を果たす会議・打ち合わせが正規の勤務時間帯

ではない時間帯に行われている、あるいは行わざるを得ない状況があるとすれば改善の余地があると思う。もちろん、正規の勤務時間の終了後に会議や打ち合わせが開始されることはまれであるかもしれない、それらが長引いた結果正規の勤務時間をこえた可能性が高い。しかし、それを考慮しても本来合意形成の場であるはずの会議や打ち合わせを行う時間帯としては再考の余地がある。現状を改善するならば、朝の授業前に情報共有を図るなどの対応が必要である。もちろん、これらの対応策はこれまでも繰り返し指摘されていたことであるが、一日の業務の流れを視覚化したこの時間帯別・業務別行為者率のデータをふまえることで、具体的な対策が可能となる。就業時刻までに会議や打ち合わせを終了するというゴールを設定することで、事前に何をすべきか、他の業務で削減すべきものは何かが浮かび上がってくる。

第2に、第2分冊の42頁〔図表4-2〕と〔図表4-3〕には保護者・PTA対応の時間帯別行為者率が示されている。この業務が発生する要因はいくつかあり、必ずしもいわゆるモンスターペアレント対応のみではない。第1期(7月)と第6期(12月～)には小中学校ともに共通して午後に山が確認できる。データからはここまでしか確実なことは指摘できないが、学期末にあたる時期であることを考慮すると、保護者面談、家庭訪問という業務が反映したものと推測できる。これは教員にとっては受動ではなく能動的な業務である。

一方で、特に中学校について指摘できるのは、上で指摘した繁忙期とはことなる時期に、2、3%の行為者率が特に夜の時間帯に確認できる。

推測の域を出ないが、生徒指導上の問題や給食費等の未納世帯への督促・徴収などの個別対応が反映した数値だろうと思われる。このような肉体的にも心理的にも負荷の大きい業務が存在することが明らかとなる。ただし、留意したいのは平均すれば教諭全体の数%の業務にとどまる点である。

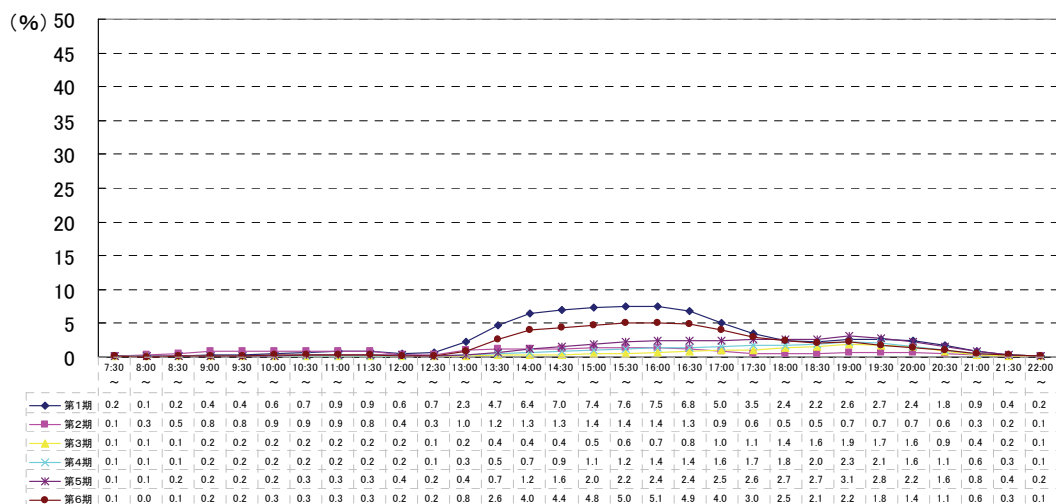
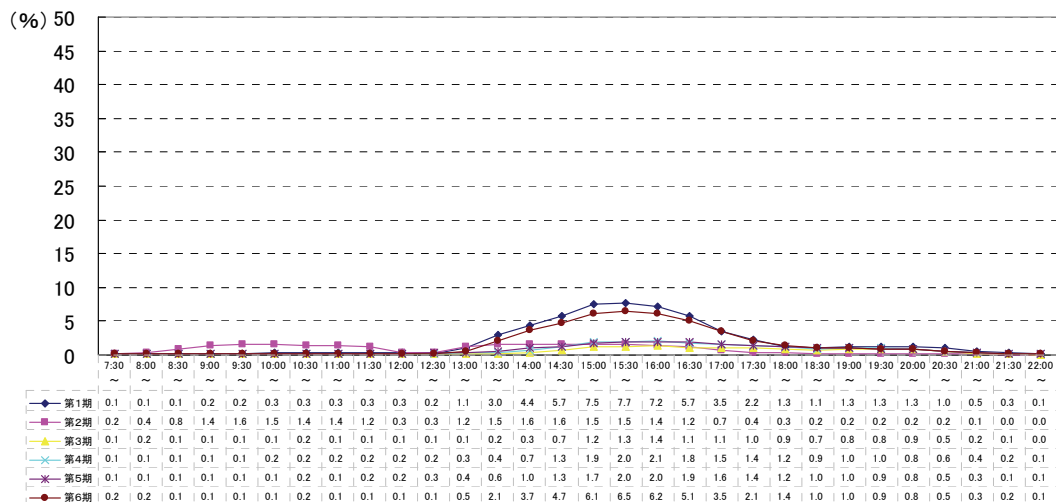
第2分冊15頁〔図表1-10〕および〔図表1-11〕は中学校の部活動の行為者率を第1期から6期について示したものである。このデータから指摘できるのは次の点である。第1に長期休業中(第2期)において、午前中に練習を行う率が高く午後も行為者率が高いことである。データの性質上、午前中から午後に連続して同一の教諭が練習の監督を行っているかどうかは不明であるが、全体として涼しい時間帯の午前中だけでなく、午後にも練習を行っていることが指摘できる。第2に、可視化の効用を実感できる知見であるが、12月に近づくにつれて部活動の終了時刻が早まることがわかる。第1期の7月は日没が遅く、18時30分前後が部活動の終了する時刻にあたる。もっともこの時刻でも7%ほどの行為者率があることも指摘しておかなければならない。第3期(9月)以降は日没が早まるため17時あるいは17時30分には部活動を切り上げることが一般的であることが分かる。かりに秋期、冬期における部活動の練習時間で夏季も切り上げることが可能であるならば、大幅な業務量の縮減につながると思われる。日没まで練習をするというこれまでの発想を転換し、必要な練習量はどの程度であるのかという発想に立ってもよいのではないかと。

図表4-2 「保護者・PTA対応」の行為者率と行為者平均時間量(小中学校 教諭)

業務内容	学校種	第1期(7月)			第2期(8月)			第3期(9月)			第4期(10月)			第5期(11月)			第6期(12月)		
		行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体
		比率	平均時間(B)	平均時間(A)	比率	平均時間(B)	平均時間(A)	比率	平均時間(B)	平均時間(A)	比率	平均時間(B)	平均時間(A)	比率	平均時間(B)	平均時間(A)	比率	平均時間(B)	平均時間(A)
保護者・PTA対応	小学校	14.1	2:06	0:18	5.1	2:26	0:07	6.2	1:12	0:04	7.8	1:22	0:06	7.7	1:24	0:06	12.4	1:58	0:15
	中学校	15.7	2:33	0:24	4.8	2:24	0:07	6.7	1:20	0:05	8.5	1:27	0:07	11.3	1:39	0:11	12.3	2:11	0:16

図表 4-3 「保護者・PTA対応」の時刻別行為者率 (7:30~22:30)

上段：小教諭・下段中教諭

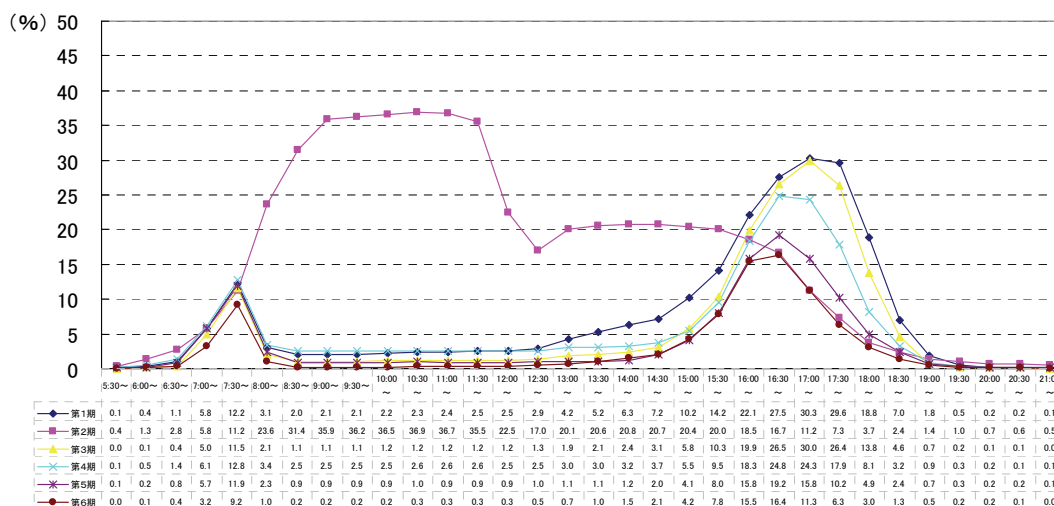
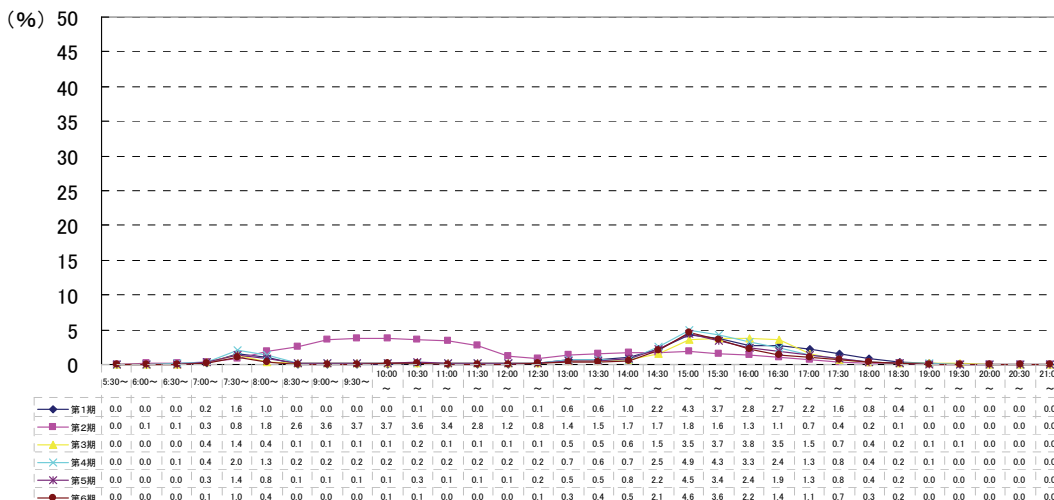


図表 1-10 「部活動・クラブ活動」の行為者率と行為者平均時間量 (小中学校 教諭)

業務内容	学校種	第1期(7月)		第2期(8月)			第3期(9月)			第4期(10月)			第5期(11月)			第6期(12月)			
		行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体	行為者		全体
		比率	平均時間(B)	平均時間(A)	比率	平均時間(B)	平均時間(A)	比率	平均時間(B)	平均時間(A)	比率	平均時間(B)	平均時間(A)	比率	平均時間(B)	平均時間(A)	比率	平均時間(B)	平均時間(A)
h 部活動・クラブ活動	小学校	9.9	1:20	0:08	5.5	3:49	0:13	9.2	1:17	0:07	11.0	1:16	0:08	9.6	1:11	0:07	8.5	1:08	0:06
	中学校	49.6	2:19	1:09	54.9	4:45	2:37	45.3	1:58	0:53	42.2	2:03	0:52	36.3	1:37	0:35	32.5	1:22	0:27

図表 1-11 「部活動・クラブ活動」の時刻別行為者率 (5:30~21:30)

上段：小教諭・下段中教諭



可視化されたデータを活用するためにどのような観点が必要だろうか。政策研究に学ぶところが大きい。

第1に、政策は目的と手段の連鎖として考えられることを強調したい。たとえば、交通政策を例にすると、都心部の交通渋滞の緩和という政策目的が設定されるとすると、複数の手段が想定できる。まず首都高への乗り入れ規制のような政策手段があるが、一方で一可能かどうかは別として一首都高の車線を増やすというような政策手段も想定はできる。政策手段は政策目的に対して複数想定できる。政策の目的と手段の関係性は連鎖しているから、ある政策手段

はその下位の政策手段の政策目的となる。先の例でいえば、都心部の交通渋滞緩和の手段であった首都高への乗り入れ規制を今度はより低次の政策目的とみなせば、曜日毎に乗り入れ規制を行ったり、大型車の恒常的な乗り入れ規制をおこなったりすることが政策手段となる。政策目的の達成のためには、複数の政策手段を組み合わせ、組み合わせの妙を發揮させたり、適切なものを1つ選んだりすることが必要である。目的のためには手段を選ばないというスタンスが必要である。ところが、学校の現状を観察する限り、この目的や手段の関係を理解していないばかりか、そもそも業務の目的が何かを

ほとんど意識していないのではないかと思える場面に遭遇することすらある。

第2に、政策目的の達成のために適切な資源を投入することが求められるが、その資源は有限であるという発想が必要である。

ところが、学校という世界ではこの発想が全く顧みられない。教職員は自ら活用しうる資源がどの程度あるのに気づかずに遮二無二業務に従事しているように思えてならない。これは教職に関する議論における教員の聖職者論と親和性の高い状況である。教員は子どものためなら全身全霊で仕事に励まなければならないといった考え方が根強い。そのため、有限である時間や資金等の資源を有効活用する、あるいは業務のゴールを設定するという発想から遠く隔たってしまう²¹。

この点でいえば、やはり校務分掌や行事の一部は改善する余地があると考えざるを得ない。勤務時間に業務が収まっていないということは、本来不要な業務を行っているとも考えることも重要である。端的に言って、学校の教育目的が達成できればよいという発想に立てばよい。運動会を例にすれば、次のように行事の必要性をゼロから問い直す必要がある。運動会は一般に学校行事のなかでも必要不可欠であると認識されている。運動会は歴史的に何らかの意味があって連綿と実施されているが、特定の時期に、莫大な練習時間を費やす必要があるかどうかを検討してもよいのではないか。運動会を実施することが不可欠だという結論を動かさなくても、準備にかかる時間を圧縮したり、種目を削減したりすることを改めて検討する時期であろう。教育界では現時点で行っている教育活動はすべてが重要で不可欠であると認識しているが、優先順位を意識することが重要であると指摘したい。

この点について付言するならば、やはり学校や教員が日常業務の改善に関して当事者性に欠けている側面があるのではないか。個々の学校は人件費を自前で賄う必要はない。さらに人

事異動も頻繁にあるため、この意味でも当事者性が根付く契機に乏しい。つまり、学校という組織は経営資源を外部に依存しているため、自ら業務改善に着手するインセンティブに乏しいという構造的制約下に置かれている。しかし、学校におけるマネジメントが今後重要であるというのが筆者の認識である。

そこで、マネジメントレベルについて指摘したい。

第1に、各業務の位置づけを再考する必要がある。例えば会議や打ち合わせの目的を再確認することも必要である。単なる資料配付や情報提供であれば朝の打ち合わせ時に配布すれば事足りる。ICT環境が整備された学校であればイントラネットを活用すればよい。また、部活動についても目的と手段の関係から再考することもできよう。部活動は生徒指導上の必要から削減は困難であるという指摘をよく耳にするが、この場合には生徒指導という目的が設定されていることになる。その手段として部活動を位置づけること自体には問題はない。ただ、重要なことは生徒指導という目的のためには部活動以外の手段もあると認識することである。そして、その目的のために膨大な時間資源を投入する必要があるかどうかは再検討の余地があると考えられるのではないか。

第2に、業務を行うタイミング、時間帯の重要性を認識することである。終業時刻後の時間帯に重要な意思決定をするような場を設けているとすれば、組織として問題あると言わざるを得ない。

第3に、業務の集中の度合いである。これは職員間での集中と時期による集中があるが、ここでは前者について指摘する。たとえばモンスターペアレントの対応をする職員は疲弊しているというようなことを報道等でよく見かける。たしかに、そうした対応のために深夜の時間帯に一部の教員が長時間勤務を強いられていることは事実であろう。しかし、マネジメントの立場からすると、そうした対応業務は学校における業務のごく一部である。本プロジェクトの再分析結果では行為者率は約2%である。仮に2%の業務負担が学校全体を疲弊させてしまっているとしたら、マネジメントの欠如や失敗があると考えべきである。マネジメントの

²¹ 一方で、古典的な教員＝労働者論も根強く存在している可能性もある。この考えからは労働者の権利追求を志向するため、定時終業を当然視する。それがたとえ重要な会議や打ち合わせが途中であっても、である。これはゴール設定による業務改善とは異なる帰結を招く可能性が高い。

観点からいえば、2%の業務は組織に対する付加も極力その2%に納めることが必要である。外部対応を招いた問題を悪化させないことも必要であるが、対応で疲労した教員に対しては翌日の業務の軽減等の代償措置を行うことも必要である。

このようにマネジメントレベルについて考察をすすめていくと、校長をはじめとする学校管理職がタイム・マネジメント上、重要な役割を期待されていることがわかる。一方、学校では対応しきれない問題や制約も存在することも確かである。ポリシーレベルの対応も必要となる。

教員や学校の業務について喫緊の課題は業務効率の向上と残業時間の縮減である。そのためポリシーレベルで対応可能なことは限られる。ポリシーレベルでの対応を行う主体は市町村や都道府県における教育委員会を想定している。

第1に、年次有給休暇の消化率の向上策である。毎年9月1日を年休取得の基準日にすれば夏休みにまとめ取りをする余地を高める。もちろん、現在は夏休み時期に各種業務が割り当てられており、多くの年休を取得しやすいとはいえないが、1月1日、4月1日の基準日より教員の年休取得率を高めるように思われる。

第2に、市町村教委は管下の学校を包括しているし、都道府県教委はその市町村教委を包括している。これらは広域的な調整機能を発揮することができる。効果的だと思われるのが部活動に関する取り組みである。部活動指導に要する時間を削減するとすれば、一日あたりの練習時間を効率化＝圧縮する方策と、部活動を行う日数を縮減するという方策が考えられる。後者はいわゆるノー部活デーのようなものであるが、こうした取り組みの実効性を高めるためには各校や各市町村で足並みを揃える必要がある。ある学校が単独でこのような取り組みをしても、他校との兼ね合いから生徒や保護者の合意を得ることが難しい。そのため、広域的に実行するにはポリシー＝教委レベルの対応が必要である。

第3に、重複する会議や研修会の精選である。学校にとって会議や研修会がなぜ負担となるかといえば、主催主体が複数存在し、類似した

会合が複数回開催され、そのたびに学校に派遣要請が出されるからである。薬物乱用防止教育でいえば、教育委員会の指導系統の部局、健康教育の部局、首長部局の保険部局などで別個に会議や研修会が主催されるとすれば、学校の立場からはいわゆる縦割りの弊害を感じるであろう²²。

第4に、学校財務面でもポリシーレベルの対応が可能な部分がある。最近、給食費をはじめとして学校が保護者から徴収する経費の未納問題が指摘される。多くの学校や自治体ではこの督促や徴収業務を教員が行っているようであり、学校事務職員が携わることはあまり見受けられないようである。学校事務職員が公的な経費を管理するという役割意識が慣例化した結果、私費関連の業務には従事しないことが一般化したと思われる。ところが、最近になり未納問題が悪化したため教員の負担が指摘されるようになった。そこで、一部の自治体では給食費等を公会計として位置づけるようになった。この対策により自治体は滞納金を債権として取り立てることが可能となる。群馬県での取り組みはこの点についてのリーディング・ケースである。

上述したポリシーレベル、マネジメントレベルにおける対応策にくわえて、上位組織による支援も検討してみたい。学校はその上位組織である教育委員会から支援を受ける立場にある。ところが、自律的な学校経営という規範意識が強まった結果、学校に対する教育委員会の支援という観点が希薄になってしまった。学校も自助努力しなければならないという意識が強くなっている。学校にも繁忙期が存在すると認識することが必要である。その時期に人手が足りないのであれば、外部に人的な支援を要請してもよいのではないか。管見の限り、このような学校の情報を持ち合わせていない。学校は、なぜ自らを管理する立場である教育委員会から事務局職員、指導主事等の一時的派遣を依頼し

²² なお、会議や研修会の実態調査には技術的に相当な困難が伴う。調査対象を教育委員会事務局にくわえて首長部局にまで拡大しなければならないため、膨大な情報の収集と整理が必要となる。むしろ、会合の精選事例を調べる方法の方が調査コストの節約となるし、実効性も高いと思われる。

ないのか。このような組織間の関係は学校業界以外ではよく見受けられることである。例えば運輸業界では、駅職員だけで対応しきれないトラブルが発生した際には、事務職員や事務部門の人員も乗客対応に従事するという。また、小売業でいえば本社で企画部門に所属する人員も、ゴールデンウィークの繁忙期などにはレジ打ちや商品整理で店舗の応援に出る。日常的に顧客（乗客、顧客）に接する部門に管理部門が人的に支援することは、管理部門にとっても現場の情報を直接入手するという点でメリットがある。このように組織間には相互に資源（マンパワー、情報）を依存しあっているとみることがもできる。

業務の改善主体として最後に教員個人のレベルを指摘したい。教員はストリートレベルの官僚として類型化される職種である。警察官、ケースワーカー、看護師等もストリートレベルの官僚の代表例である。これらは対人業務であるため日々の業務を定型化しようとしてもそこから逸脱する傾向にある。個別の対応が必要だからである。ストリートレベルの官僚研究によれば、これらの業種に携わる者は自らの業務をなるべくルーティン化しようとする。比喩的に言えば、自らを取り巻く世界をなるべくシンプルにとらえ、自分の仕事を自分でコントロールできる範囲に収めようとするのである。教員という職業は社会も本人も児童生徒に対する無限の奉仕を追求してしまいがちである。しかし、ストリートレベルの官僚研究をふまえていえば、ルーティン化のような生存戦略を採るのは逸脱ではなく、当然のことである。この点が教員も業務改善を行う可能性を与える。教員個々人のレベルで日常業務にゴールを設定するなどの試みが求められる。

さて、今後の研究の課題を指摘したい。

第1に、探索的調査が必要である。たとえば、残業時間が短く、かつ適切に業務を遂行する教員が存在するとしたら、そうした教員を発見しケーススタディーの対象とする²³。

第2に、多変量解析の可能性も検討した方が

よいだろう。上述したように、教員の業務時間の決定要因は教員個人、学校、教育委員会の各レベルに分散しているはずであり、それらを包括的に把握する分析モデルが必要である。その際、留意すべき点はデータの性質による制約を認識することである。教員の業務研究では平均値や圧縮データを主として用いている。テストの点数のようなシンプルな情報を用いる分析では因果関係の推定が比較的容易であるが、教員業務の研究では情報が変形しているためそれが比較的難しい。

第3に、次の大規模調査も検討しておかなければならない²⁴。昭和41年の調査以来、国レベルでの大規模調査が実施されなかったことがこのたびの勤務実態調査の際にも驚きを持って受け止められたことは確かである。教員に関する制度のモニタリングのためにも同様の調査を一定間隔で実施する必要性を強調しておきたい。そのためにまずしておくべきことは必要サンプル数の吟味である。今回は1期あたり150校を必要サンプルとして設定した。これは従来行われてきた国レベルの各種学力調査におけるサンプル数の設定方法に依拠したものである。学校間の分散があまり大きくなければもう少し対象校を減らすことができる。

全国の傾向を一般的に、平均的に析出する調査のほか、個別関心に即した調査もありうる。例えば、部活動に特化した調査、特定の規模の学校や特定の職位に着目した調査である。

より一般的には、教員の生活時間調査を志向してもよい。ある一定期間に教員が24時間何をしているのかを調べるのである。勤務実態調査は教員の業務を明らかにするという目的であったため、教員の業務以外の生活状況を明らかにすることはできない。睡眠時間、家庭生活、食事時間といったいわゆるワークライフバランスに関わる情報を取得するような調査も必要となる可能性が高い。

* 本稿は「教員業務軽減・効率化研究会」（2008年7月18日）の講演内容を記録したものである。

²³ さらに発展させて優秀教員として表彰された教員の業務を分析するといったことも考えられる。

²⁴ 個々の都道府県の調査も最近取り組まれつつある。これらの結果などを国としても把握しておいた方がよいだろう。

本日は、過去の調査の結果を踏まえた次回の調査での標本の大きさの決め方について、特に勤務実態調査でなされた標本抽出の方法と併せて説明する。

まず、標本の大きさについて、「何人に調査すればよいのか」、「何校に配ればよいのか」というように尋ねられることがある。そのような漠然としたものではなく、標本の大きさを決める際には、「この確率で、ある統計量の誤差を、この数値以内に収めたい」というような要請に基づく。

ここで、実態調査ではまず平均値を推定することが求められることが多いため、統計量は一般的には平均値となる。また、確率は95%ないしは99%とされることが多いが、ここでは95%とし、95%の確率で平均値の誤差のある数値以内に収めるための標本の大きさの見積もり方を概説する。また、その際には、まずは勤務実態調査での標本抽出の方法ではないが、まずは基礎となる単純無作為抽出法をまず想定する。なお、単純無作為抽出法では、それぞれの標本が等確率に、くじを引くようにランダムに抽出される。このため、後述する勤務実態調査で用いた標本抽出の方法のように、ある個体の標本が抽出されたことが別の個体の標本の抽出に影響することはない。この場合、それぞれの標本は互いに独立に抽出される。

母集団での算術平均（以下、平均とする）を母平均といい、母集団での分散を母分散という。母集団からある大きさの標本を単純無作為抽出し、その平均を求める（標本平均の推定）。標本平均の期待値は母平均と一致する。したがって、標本平均は母平均の不偏推定量である。このため、この標本平均の推定を模擬実験により無限回繰り返したとして、個々の標本平均は母平均よりも大きかったり小さかったりするであろうが、それを平均したものは母平均とみなせる。

標本平均の分布の形状は、標本の大きさが大きくなるほど、母集団の分布の種類によらず正規分布に近づくことが知られている。また、標本平均の分布（統計量の分布を標本分布という）の分散は、母集団の大きさ、標本の大きさ、および母分散から求められる。そして、標本分布の標準偏差（分散の正の平方根）を標準誤差と

いう。したがって、標本平均の分布に正規分布を仮定すると、標本平均のうち約95%は、母平均 $\pm 1.96 \times$ 標準誤差の区間に含まれることになる。このため、もし母集団の大きさと母分散が既知である場合、標準誤差は標本の大きさのみの関数となるため、（得られる推定値の）標本平均と（知りたい真の）母平均との差の絶対値を調査の誤差と定義して特定の値を設定すれば、その誤差が標準誤差の1.96倍よりも大きいという不等式を標本の大きさで解くことによって、約95%の確率で調査の誤差を設定した値に収める最小限の標本の大きさを求めることができる。

しかしながら実際は、母集団の大きさはともかく、母分散は未知のことがほとんどである。したがって、この場合、母分散を推定する必要が出てくるが、その期待値が母分散であるような分散（不偏分散という）を1度のデータから推定することができる。母分散をこの推定された不偏分散の推定値に置き換えることによって、標本平均の分布の分散、およびその標準偏差である標準誤差についても1度のデータから推定することができる。したがって、母分散が既知である場合と同様のロジックにより、母集団の大きさと既知とし不偏分散の推定値を母分散の代替として扱い、標準誤差（を推定する式）を標本の大きさのみの関数として扱い、この標準誤差の1.96倍よりも調査の誤差が大きいという不等式を標本の大きさで解くことによって、約95%の確率で調査の誤差を設定した値に収める最小限の標本の大きさを見積もることができる。ところで、母集団の分布が正規分布ではあるが母分散が未知である場合、標本平均の分布は正規分布ではなく t 分布にしたがう。この標本平均の分布の形状は、正規分布より裾野が広いものであり、標本の大きさが大きくなるほど正規分布に似てくるが、特に標本の大きさが小さい場合は両者の違いは大きい。実務上は、標本の大きさを見積もる際に、標準誤差の推定値の1.96倍のところを便宜的に2倍などに広げて、調査の誤差を設定することもある。

勤務実態調査の第1期の中学校教員の残業時間のデータを基にして、もしこの調査の標本が単純無作為抽出で抽出されたものとして、次回

の調査の誤差を約 95%の確率で 10 分に収めたいとする場合、230 人以上の教師を単純無作為抽出することになる（2 倍とした場合）。

しかしながら、勤務実態調査の標本は単純無作為抽出されたものではなく、集落抽出法による標本である。集落抽出法では、集落（ここでは学校）を標本抽出し、抽出された集落の成員（ここでは教師）全員を調査対象とする。各集落の成員の大きさが異なる場合、成員の大きさに比例して集落が抽出される確率を変えて復元抽出する。これを確率比例復元抽出という。全国の学校の教師を単純無作為抽出することはほぼ不可能であるため、また、学校をリストとした抽出法の方が現実的であるため、この抽出法が採られた。

集落抽出法での標本平均の不偏推定量は、集落ごとに平均したものを抽出された集落にわたってさらに平均したものとなる。なお、この抽出法で得られた標本の単純な平均では、成員が大きい集落の影響が相対的に大きくなるため、不偏性をもたなくなる。また、確率比例復元抽出による集落抽出法での標本平均の分布の分散、およびその標準偏差である標準誤差を推定する式も、単純無作為抽出でのものとは異なる。

標本の大きさを見積もる際は、標本平均の標本分布に正規分布を仮定すれば、標準誤差（を推定する式）を標本の大きさのみの関数として扱い、この標準誤差の 1.96 倍（ないしは 2 倍）よりも調査の誤差が大きいという不等式を標本の大きさに解くことによって、約 95%の確率で調査の誤差を設定した値に収める最小限の標本の大きさを簡便に見積もることができる。ただし、ここで見積もった標本の大きさは集落であることに留意されたい。

勤務実態調査の第 1 期の中学校教員の残業時間のデータを基にして、もしこの調査の標本が確率比例復元抽出による集落抽出で抽出されたもので、次回の調査の誤差を約 95%の確率で 10 分に収めたいとする場合、58 校以上の学校を確率比例復元抽出による集落抽出で抽出することになる（2 倍とした場合）。例えば、1 校あたりの教師の数を小さく 10 人と想定しても、単純無作為抽出を想定した場合よりも多くの教師を調査対象とする必要があることが分かる。

これまで、単純無作為抽出法および集落抽出

法における次回の調査の標本の大きさの見積もり方を概説してきた。ここまでの概説では、抽出された調査対象者は全校・全員が欠席もしくは回答の拒否なく調査に協力したことを前提にしてきた。しかしながら実際は、学校レベルおよび学校内の教師レベルでデータが欠測する。例えばある学校内の教師が何人かが偶々欠席したような場合は、そのぶんを重みづけで調整した標本平均や標準誤差を推定することが考えられる。また、調査目的の変数である勤務に関する時間（例えば残業時間）についてある特徴をもった学校や学校内の教師が回答を拒否している場合は、そのことをモデル化しない限り、推定値は妥当なものとはならない。ただし、実際にはそのようなモデル化は不可能に近い。したがって、次回の調査の標本の大きさを見積もるために以前の調査の情報を用いるくらいであれば、前述のような重みづけの調整をした上で必要な情報を推定するか、あるいはそれをせずに標本のデータからそのまま推定して、その後想定される非回収率のぶんだけ余分に標本を抽出することが実務上は考えられる。

これまでみてきた抽出法の他には、例えば、層化抽出法というものがある。これは、調査目的である変数の差異が、その中では小さく、その間では大きいような名義的な情報が既知ならば、その情報を抽出時に前もって用いて母集団を分割する抽出法であり、少しでも小さい標本の大きさで、あるいは同じ標本の大きさでもより精度が高い調査結果が得られる。また、集落抽出法のように、確率比例抽出された集落について、成員のすべてを対象にするのではなく、集落内の一定の大きさの一部の成員を無作為抽出する二段抽出法もある。さらに、層化抽出法と二段抽出法を組み合わせた層化二段抽出法というものもある。平均値や標準誤差を推定するための式はそれぞれ異なってくる。

今回概説してきた話題は、あるひとつの変数の、さらに平均値についての、標準誤差の観点からの標本の大きさの見積もり方であった。したがって、相関係数や分散といった別の統計量あるいは多変量の場合については別の求め方になる。さらに、例えば群間で平均値の差を検定したい場合の標本の大きさについては、帰無仮説を棄却できる確率である検定力の観点から見

積もる必要がある。それでも、今回述べた方法で今後の勤務実態調査の標本の大きさを見積もる場合は、最も重要な変数で計算するか、あるいは候補となる複数の変数で計算し、見積もった標本の大きさが最も大きかったものを安全策として用いる等の方法が現実的には採られるものと考えられる。

【質疑応答】

質問：重みづけは行うべきものか。

回答：行った方がよりよいであろうが、標本の大きさをおおまかに知りたい場合であれば、標本データからそのまま標準誤差等を推定して、標本の大きさを見積もってから、予想される非回収率のぶんだけ多めにすることは、実務上の選択肢としてはじゅうぶんに考えられる。

ただ、例えば、成員の大きさに応じた確率比例復元抽出による集落抽出法での標本平均の不偏推定量は、集落ごとの平均を全体で平均したものであるが、これは集落内の各成員について、抽出確率の逆数を重みづけとしてかけていることによって抽出されやすさを相殺しているということと考え方として知っておくこと、あるいは、諸外国のまたは国際的な教育に関する調査の多くは、重みづけ等を考慮して調査結果を公表していることを知っておくことはよいものと考えられる。

質問：集落抽出でデータを集めた後で、二段抽出のように集落内の成員を無作為抽出してもよいのか。

回答：ひとつの案だとは思いますが、せっかく集めたデータを一部しか使わないことになるため、現実的ではないかもしれない。

質問：悉皆調査をやればよいのか。

回答：悉皆調査は別の目的があって行われるものである。例えば、国勢調査のように他の調査の基礎となるものであり、この結果を利用して別の抽出調査の標本抽出を設計することができる。また、たしかに、悉皆調査のデータでは、標準誤差の考え方はなくなる。しかしこれは、誤差がゼ

ロになったということではなく、標準誤差のように計算で推定できる標本誤差ではない、計算によって見積もることの難しい非標本誤差は、調査にはつきものであり、それは悉皆調査をしたからといってなくなるものではない。むしろ、調査目的の変数に与える社会的な要請の影響が大きい場合、あるいは、回答者やそれにかかわる者がそうした影響が大きいと思いながら調査への回答が行われるような場合、悉皆調査の方がむしろ非標本誤差は増大する可能性がある。

重要なことは、どのような標本調査でも、先述の非標本誤差は多少なりとも混入してしまうけれども、それを少しでも排除するように、どのように調査を計画し実施したかを説明できるようにしておくことだと考えられる。その上で、結果を解釈したり評価したりする者に、結果はそう大きくは予想とは外れていないと、すんなりと受け容れてもらえるのならば、その調査はおおむねよかったものと判断できるだろう。我々も、調査結果をみる際には、それがあたかも真値であることを前提に議論するのではなく、結果には標本誤差やさまざまな非標本誤差が入り混じっているものだという、ある種の曖昧さへの寛容のようなものをもって臨むべきであろう。

質問：今回の勤務実態調査の標本の大きさ（180校）は、類似の調査結果の情報がない状態でどのように決めたのか。

回答：国際的な学力調査のひとつである、TIMSS で日本が抽出している学校の数（150校）を基にして、2割程度の非回収率を見込んで、180校抽出することにした。

今回の勤務実態調査の結果をみると、小学校の第1期の残業時間の標本平均の推定された標準誤差は、小学校では164校が対象で約2.3分、中学校では168校が対象で約2.9分であった。この点から、次回の調査を同様の条件で行ったとして、95%の確率での調査の誤差は、小学校で

は5分以内とおおまかに見積もることができるが、中学校では5分を超えるものと予想される。

質問：調査目的となっている変数を、全体の平均値ではなく、何らかの属性別に知りたい場合に、標本の大きさはどうするのか。

回答：今回話したことに限れば、やはり調査の主目的がどこにあるのかということを明確にして、その上でそれが例えば地域別にみた平均値だったりする場合は、地域ごとに標本の大きさを見積もることも考えられる。

質問：調査の誤差について、調査の結果得られた平均値 \pm 設定した調査の誤差の値のことをいっているのか。

回答：そうではなくて、未知の真値 \pm 設定した調査の誤差の範囲に、ある一定の標本の大きさを模擬実験として無限回の調査を繰り返したとして、無限個の推定値のうちおよそ何パーセントがその範囲に含まれるか、ということを見積もる方法について述べてきた。真値は未知であるにもかかわらず固定されたものとして考える一方で、推定値は調査から実際に知ることができた値にもかかわらず確率的に変動するものとして考えるため、分かりにくい話になっているのかもしれない。

質問：調査のたびに、それまでの調査結果を受けて、標本の大きさを変えていく方がよいのか。

回答：本来であれば、最初は予備調査を行い、その結果から本調査の標本の大きさを見積もってから、本調査を実施するものであろう。今回の場合、この調査は本調査であるが、次回の調査の標本の大きさを決めるといふ点からみれば、この調査は予備調査としての側面をもつことになる。このような場合、最初の2、3回は標本の大きさを少しずつ変えて調査を行い、その後はある程度同じ規模で調査を続けていくことになるのではないか。ただし、調査の目的や予算の規模が変わってしま

ったら、それに応じて標本抽出計画も変わることになるだろう。

質問：以前の調査結果と比較して、その増減を論じる際の標本の大きさの決め方はこれでよいのか。

回答：この場合は、各調査の平均値の推定というよりは、推定された平均値の有意差検定の話になる。この場合、有意差はないという帰無仮説を棄却できる確率である検定力を考慮して標本の大きさを決めることが望ましい。

質問：今回、調査目的である変数は時間についてであるが。

回答：母集団の分布によらず、標本の大きさが大きくなるほど、標本平均の分布は正規分布に近づくことが知られている。したがって、単純に標本平均の精度について論じる場合は、正規分布の性質を便宜的に利用することが多いと考える。このような標本分布に標準的な分布を想定することが難しい統計量の場合は、計算機を用いた別の方法でその精度を検討することになるだろう。

調査に必要な標本の大きさを検討する際に用いる情報も、真値ではなく、別の調査から得られた推定値であることがほとんどである。また、その調査自体にも、さまざまな理由によって、計算で見積もることが難しい誤差が混入している。このことを考えれば、計算上見積もられる次回の調査に必要な標本の大きさの情報は重要であるが、実際に標本抽出の設計を考える際には、この計算だけに依らない総合的な検討が求められるだろう。

* 本稿は「教員業務軽減・効率化研究会」(2008年11月13日)の講演内容を記録したものである。

第11章 時間帯別行為者率を用いた教員業務の集計結果と分析上の課題

川上 泰彦

1. 報告の目的・全体の概要

本報告の第一の目的は、平成20年3月の報告書「教員の業務の多様化・複雑化に対応した業務量計測手法の開発と教職員配置制度の設計（第2分冊）」（以下「第2分冊」と略記）にまとめた教員の勤務実態のうち、とくに時間帯別行為者率に着目した集計状況について報告することである。そして第二の目的は、ここで使用した「時間帯別行為者率」という指標について分析上の強みと弱みを整理し、次の調査

や今後の再分析などを考える際の検討材料を提示することである。

まず、時間帯別行為者率という指標について定義すると、「ある特定の時間帯に、何%の（該当種の）教職員が、ある特定の業務を行っているのかを示した数値」とすることができる。例として第2分冊の82ページに掲載してある〔図表8-17〕と〔図表8-18〕を見てみたい。

【第2分冊 82頁 図表8-17 小学校教諭の時間帯別行為者率（業務項目別）】

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.0	0.2	1.7	15.0	64.0	30.4	0.5	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	2.7	55.6	85.9	85.7	79.5	68.7	84.6	83.6	63.2	2.6	4.5	32.0	64.2	47.8
B c 授業準備	2.8	3.3	2.6	2.0	5.7	18.0	11.7	2.8	2.7	2.3	3.3	6.0	2.0	2.1	1.8	0.7	2.5	3.3	3.7	5.0
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.9	0.4	0.5	0.5	1.2	2.3	0.6	0.5	0.6	0.4	3.1	1.7	1.2	1.7	2.4
B e 成績処理	0.7	0.8	0.6	0.3	0.4	1.8	1.5	0.4	0.7	1.0	1.6	3.7	1.2	1.2	1.1	0.7	4.5	2.7	2.1	3.4
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.8	3.6	0.9	0.1	0.2	2.4	3.4	0.4	1.5	21.6	79.6	62.9	37.7	4.5	10.6
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.3	0.3	0.2	0.4	1.0	0.2	0.3	0.2	0.4	1.6	1.0	0.6	0.9	1.5
A h 部活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.4	0.8	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	0.5	0.8	2.2
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	0.2	0.1	0.1	0.2	0.5	0.1	0.1	0.1	0.3	1.2	0.9	0.6	1.3
l 学校行事	0.1	0.1	0.3	0.4	0.8	1.6	2.0	3.4	3.9	4.3	4.5	4.8	4.5	4.1	3.4	3.0	4.3	5.1	5.3	5.5
B k 学年・学級経営	0.5	0.6	0.4	0.4	0.5	1.5	1.1	0.2	0.2	0.3	0.5	1.1	0.3	0.4	0.4	0.5	2.4	1.5	0.9	2.0
l 学校経営	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6	1.6	1.3	1.2	1.3	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	1.0	0.5	1.1	1.3	1.6	1.9
C m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.2	0.6	0.2	0.1	0.2	0.5	0.1	0.1	0.2	0.4	0.5	0.7	1.2	2.5
n 事務・報告書作成	0.3	0.3	0.2	0.1	0.2	0.6	0.5	0.5	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.6	0.2	0.7	0.7	1.0	1.2
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	1.0	1.0	0.8	0.9	0.7	0.5	0.1	0.3	1.6	2.8	3.0
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.6	1.0	1.3
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.7	1.1	1.3	1.4	1.4	1.4	1.5	1.0	1.0	2.3	3.4	4.1	4.3
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.5	0.9	1.1	1.4
u その他の校務	0.1	0.1	0.1	0.3	0.7	2.1	1.3	0.9	0.7	0.6	0.7	0.7	0.9	1.1	2.0	2.3	2.2	2.0	2.2	2.6
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.5	1.3	0.0	0.2	2.1	5.8	3.1	1.0	0.1	0.2	0.6

【第2分冊 82頁 図表8-18 小学校教諭の時間帯別行為者率（業務項目別）】

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	
A a 朝の業務	0.0	0.0	0.1	0.3	1.8	15.2	71.6	26.6	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
b 授業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.9	39.3	60.7	61.6	60.9	60.5	59.9	59.0	52.4	9.4	12.3	44.0	47.6	34.3
B c 授業準備	0.9	1.0	0.8	1.4	4.4	13.1	5.4	9.8	13.8	12.6	12.9	12.0	11.9	10.2	9.1	2.6	5.2	7.9	7.8	5.8
A d 学習指導	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.3	1.0	0.6	0.5	0.6	1.2	1.7
B e 成績処理	0.3	0.3	0.2	0.1	0.3	0.9	0.4	1.5	2.1	2.4	2.6	2.9	3.0	3.3	3.1	1.0	1.7	2.8	2.9	2.8
f 生徒指導(集団)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	4.6	4.6	3.1	0.6	0.4	0.4	0.5	0.7	2.2	10.4	62.0	46.4	10.3	5.5	15.1
g 生徒指導(個別)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.6	1.1	1.6	1.6	1.5	1.7	1.8	1.7	1.6	1.6	3.5	2.9	2.8	3.6
A h 部活動	0.0	0.1	0.2	0.8	5.7	11.9	2.3	0.9	0.9	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	1.1	1.1	1.2	2.0	4.1	8.0
i 生徒会指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.8	1.4	0.7	0.7
l 学校行事	0.2	0.3	0.4	0.6	1.4	3.2	2.9	5.3	6.4	6.5	6.5	6.9	7.0	7.1	6.0	5.2	7.8	10.2	11.2	12.5
B k 学年・学級経営	0.3	0.3	0.3	0.5	1.1	2.9	1.2	3.5	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.6	3.2	1.1	2.6	3.3	3.1	3.9
l 学校経営	0.1	0.1	0.1	0.3	0.9	1.9	0.9	1.5	1.8	1.7	1.8	1.8	1.9	1.9	1.9	0.9	1.6	2.1	2.2	2.3
C m 会議・打合せ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	2.2	1.4	1.4	1.2	1.1	1.0	1.0	1.5	1.5	0.6	0.8	1.0	1.1	1.5
n 事務・報告書作成	0.1	0.2	0.2	0.3	0.6	1.5	0.5	1.2	1.6	1.7	1.7	1.8	1.8	1.6	0.6	1.2	1.8	1.9	1.9	2.1
o 校内研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.1	0.3	0.8	1.2	1.2	1.5
p 保護者・PTA対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.2	0.4	0.2	0.4	0.7	1.2	1.6	2.0
D q 地域対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
r 行政・関係団体対応	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3
s 校務としての研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	0.8	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.0	1.1	2.1	2.8	3.3	3.5
C t 会議	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.5	0.5	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6	1.2	1.7	2.1	2.5	2.9
u その他の校務	0.1	0.1	0.2	0.6	1.3	1.9	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	1.3	1.4	1.6	1.6	2.3	2.4	2.1	1.9	2.1
v 休憩・休息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	2.6	7.0	5.4	1.6	0.5	0.3	0.3	0.3

小学校教諭の勤務実態を集計した〔図表 8-17〕の上から 2 番目の行を見ると「授業」という項目が準備されている。このうち 14 時から 14 時半という時間帯に着目すると「64.2」という数値が示されている。それらが意味しているのは「第 5 期（つまり 11 月）の勤務日の午後 2 時から 2 時半にかけて、全国の小学校では教諭の 64.2%が『授業』に従事している」ということである。次に隣の欄（14 時半から 15 時）を見ると、「授業」の行為者率を示す数値が「47.8」に変化していることが分かるが、ここからは時刻が 30 分進んだことで授業をしている教諭が減っている状況を読み取ることができる。

このように、調査票のある特定の時間帯について特定の業務（たとえば授業）という欄に丸を付けたり、チェックを付けた人の比率を算出したのが「時間帯別行為者率」である。そのため「(特定の) ある学校が」もしくは「(特定の) ある個人が」という特定はできないものの（詳しくは後述）、時間帯別行為者率の推移を整理することによって、きわめて一般化された「日本の小学校」「日本の中学校」において、どの時間帯にどのような仕事が主に行われているのかという全体像を把握することが可能となっている。

そして、以上のような時間帯別行為者率という指標の特質を活かし、その推移を整理することで、学校内の職位や分掌に応じた業務内容の変化やタイムマネジメントの状況について観察することができる。具体的には、教諭の人たちはいつ、どういう仕事をしているのか、それは教頭や副校長、校長ではどうか（教諭とどのように異なるのか）、また教務主任はいつ、どういう仕事をしているのか（教諭や教頭・副校長や校長のうち、どの職位での仕事の様子に近いのか、それとも全く独立しているのか）という点などである。またそれぞれについて、小学校と中学校では違いがあるのか、あるとすればどのような違いがあるのか、といった点も観察が可能である。

平成 18 年度の集計段階（「平成 18 年度文部科学省委託調査研究報告書 教員勤務実態調査（小・中学校）報告書」）では、ある特定の業務が平均でどのぐらいの時間行われている

のかという点や、ある特定の職位にある者の勤務時間や残業時間がどの程度かという数値は判明していた。ただし、では具体的にどの種類の仕事が長時間にわたっているのか、どういう時間帯にどの仕事が集中しているのかといったことは明らかになっていなかった。そこで、平成 19 年度における再分析作業では、（時間帯別）行為者率という指標を用いて、それらの点を明らかにしてきた。

以下ではまず、この時間帯別行為者率について、職位や主任など校内の役職に応じて業務状況がどのように変化しているのか、部活動の顧問をしているか否かを比較したときの業務状況はどうか、学級担任を持っているか否かを比較したときの業務状況はどうか、といった点を整理する。これらを比較することで、学校の中での役割変化が仕事の中身にどう影響するのかということが、一般化された形で把握することができる。

そして次に、この時間帯別行為者率という指標の持っている限界について整理する。平成 19 年度の再分析作業を通じて分かってきたことは、（時間帯別）行為者率という指標が業務の「全体像」の把握に有効である一方で、業務の連続性や個別の事象を説明することが難しい指標だということである。例えば教員の中で「きわめて忙しい人」というのはどのような人か、といったような形で、勤務実態の特徴に関連づけて行為者の人物像を明らかにするような分析は難しいということが判明した。同様に、教員の日常的な業務の中で「忙しい日」とはどのような日なのか、といった形で、ある特徴を持った行為日を取り上げて勤務実態を分析することも難しい。したがって「忙しい日」と「忙しくない日」や「忙しい人」と「忙しくない人」がどのように分布し、どのような項目の業務に違いが見られるのかといった点を直接的に説明することも難しい。ほかに、ある特定の業務に中心的に関与している人がどのような人なのか、というように業務構成の特徴から人の姿を明らかにするような説明方法にも適していない。つまり、職位や主任といった校内の役職、部活動や学級担任といった、教員のカテゴリから業務状況を整理することは可能だが、逆に業務の状況から人物像を説明するという

「逆向き」の分析については、あまり適していないということが判明したのである。これらのことについて、以下で詳しく説明する。

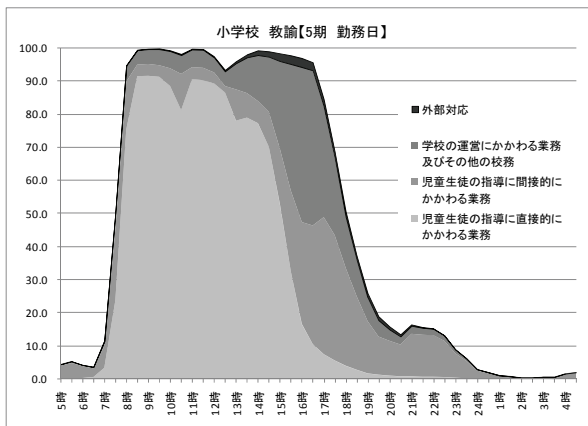
2. 平成 19 年度の再分析結果について

①職名・役職別の比較

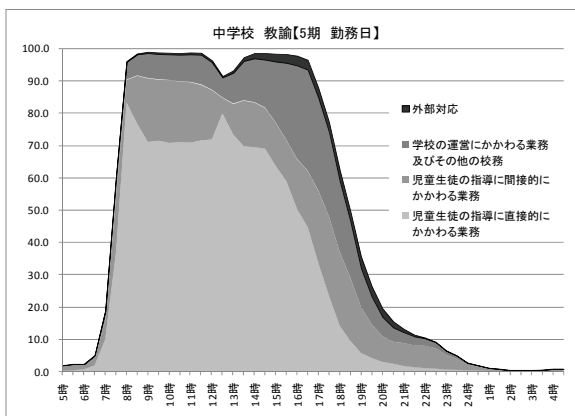
ここでは、昨年の集計結果について報告する。

まず第 2 分冊の 71 ページ以降にあるように、校内での役職別に業務状況を比較した。報告書では校長、教頭、副校長、教諭という順番で記述し、職位とは違うので章を改める形で（9 章）教務主任を記述したが、本報告では教員のキャリア変化に応じた説明を行う。具体的には、キャリアの初期から、教諭の特徴、教務主任の特徴、教頭・副校長の特徴、校長の特徴という順序に並べ替えて説明する。

【第 2 分冊 81 頁 図表 8-15】



【第 2 分冊 81 頁 図表 8-16】



教諭の行為者率の推移についての特徴を述べたのが、第 2 分冊の 80 ページから 84 ページにかけてである。小学校の状況を示す〔図表

8-15〕と中学校の状況を示す〔図表 8-16〕に示されている通り、教諭の業務は「児童生徒の指導に直接的にかかわる業務」が大半を占めている。また、12 時から 13 時にかけて行為者率の合計が減少している状況、グラフが凹んでいる状況からは、教諭が「昼休み」をほとんど取れていないという状況を読み取ることができる。

こうした教諭の勤務実態を小学校と中学校で細かく比較するために、第 2 分冊の 82 ページにある〔図表 8-17〕と〔図表 8-18〕を確認する。これは〔図表 8-15〕と〔図表 8-16〕で用いた業務の分類をさらに細分化したものについて、それぞれの行為者率の変化を示したものである。言い換えれば〔図表 8-15〕と〔図表 8-16〕は、〔図表 8-17〕と〔図表 8-18〕の業務分類 22 項目を 4 つの大項目に合計して、それをグラフにしたものということになる。したがって、〔図表 8-15〕と〔図表 8-16〕は〔図表 8-17〕と〔図表 8-18〕にあわせて 22 の帯に分けることもできるが、それでは判読しにくくなるので表の形態で数値を示している。

小学校と中学校を比較すると、部活動があるかないかという違いと学級担任制か教科担任制かという違いなどが勤務実態の違いに表れていた。まず部活動に関して小学校と中学校の教諭の仕事を比べてみると、16 時から 18 時にかけての項目 h（部活動）に差がみられる。中学校教諭の状況を示す〔図表 8-18〕では、この時間帯の部活動の行為者率が 15.8（16 時～16 時半）、19.2（16 時半～17 時）、15.8（17 時～17 時半）、10.2（17 時半～18 時）と推移しており、16 時から 18 時にかけては 2 割弱の教諭が部活指導にあたっているということが読み取れる。これは小学校教諭の状況〔図表 8-17〕では見られない。いっぽう、項目 c（授業準備）を小学校と中学校で比較してみると、中学校ではこの時間帯の行為者率が 5.9（16 時～16 時半）、8.1（16 時半～17 時）、11.5（17 時～17 時半）、13.1（17 時半～18 時）となっているが、同じ時間帯における小学校での行為者率は 16.8（16 時～16 時半）、20.1（16 時半～17 時）、23.6（17 時～17 時半）、21.8（17 時半～18 時）となっている。これらのことから、中学校では授業終了後（16 時～18 時）に部活指導を行っているため、小学校よりも授業準備ができて

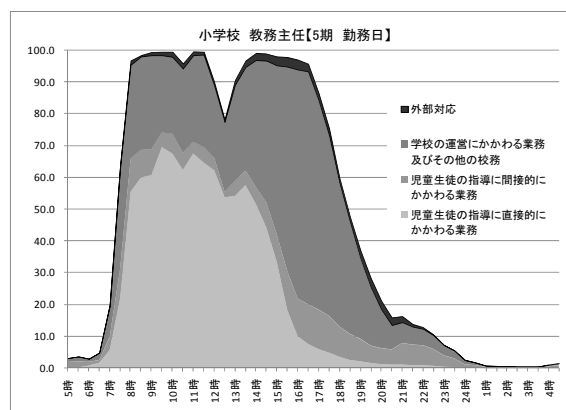
いないということが読み取れるのである。

同様のことが、項目o（校内研修）についても指摘できる。特に15時から17時までを比較すると分かりやすいが、中学校ではこの時間帯、校内研修の行為者率が1.5（15時～15時半）、2.0（15時半～16時）、2.1（16時～16時半）、1.7（16時半～17時）という非常に低い水準で推移している。いっぽう、同じ時間帯の小学校では、行為者率が5.1（15時～15時半）、8.1（15時半～16時）、8.9（16時～16時半）、7.0（16時半～17時）というように、比較的高い水準で推移している。つまり、中学校よりも小学校のほうがこの時間帯に校内研修が行えているという状況が読み取れるのである。以上のような観点で比較した結果からは、中学校では部活指導をしているために、小学校と比べて授業準備や校内研修といった業務が他の時間に圧迫されているか、それらの業務ができなくなっているという状況が推察された。

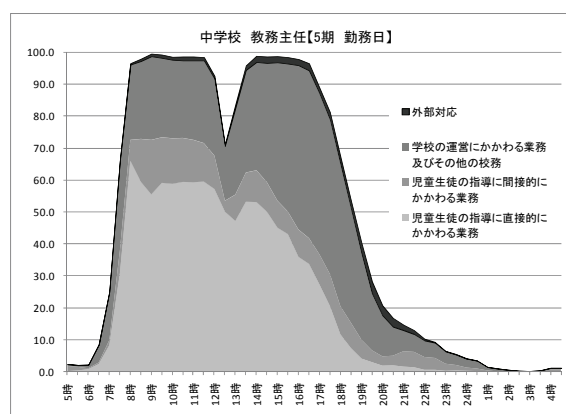
また、もう少し大きな傾向の違いとして指摘できる点に、項目b（授業）の行為者率が挙げられる。小学校教諭の業務状況を示す〔図表8-17〕を見ると、午前9時から12時くらいまでの時間帯では、授業の行為者率が非常に高い水準（順に85.9、85.7、79.5、68.7、84.5、83.6）で推移しているが、同じ時間帯の中学校では小学校よりも低い水準（順に60.7、61.6、60.9、60.5、59.9、59.0）で推移している。こうした違いは、学級担任制と教科担任制の違いが現れているものと考えられる。すなわち中学校では教科担任制を取るために、午前中であっても一定数の中学校の先生については「空きコマ」が生じているというような状況を推測することができる。このように、小学校と中学校を比較することで、部活の指導や担任制度の違いがどのような業務状況の違いに反映されているのかを明らかにすることができたのである。

以上のような作業を教務主任、教頭・副校長、それから校長と行った結果をまとめたものが、平成19年度の報告書の第2分冊である。

【第2分冊 86頁 図表9-1 小学校教務主任の時間帯別行為者率（業務分類別）】



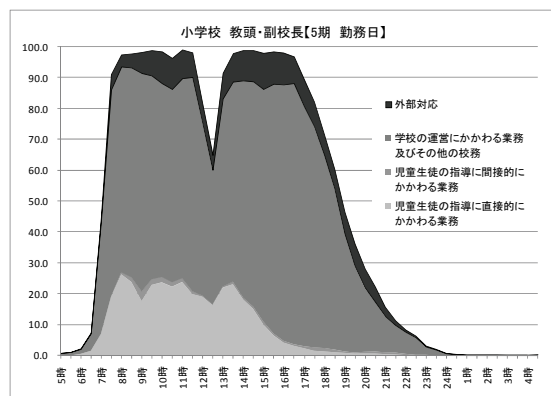
【第2分冊 86頁 図表9-2 中学校教務主任の時間帯別行為者率（業務分類別）】



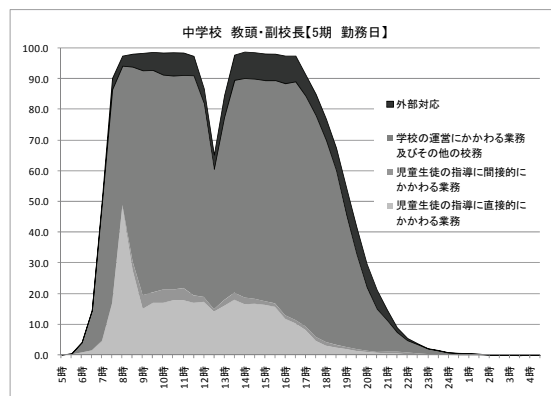
教諭のように実際の行為者率を参照しながらではなく、報告書の概要を説明すると、まず教務主任については、教諭の業務に「学校経営」や「事務・報告書作成」の業務が上乘せされているという状況が明らかになった。また学校経営関係の業務に特化している校長に比べ、教務主任（や教頭・副校長）というのは業務の種類が非常に多岐に渡っているということも行為者率の比較を通じて明らかになった。さらに教務主任の業務について小学校と中学校の比較をすると、中学校では部活指導が行われている一方、同じ時間帯において小学校では「会議・打ち合わせ」の行為者率が中学校よりも高くなっているというような差も明らかになった。先に整理した教諭の勤務実態に加え、教務主任についても部活指導の存在が午後や夕方の業務の在り方に大きく影響しているようだということが判明したのである。

次に教頭・副校長の業務状況についてみると、教務主任と比べて「事務・報告書作成」や「会議・打ち合わせ」や「外部対応」（保護者・PTA対応、地域対応、行政・関係団体対応）といった業務が増えていることが判明した。一方で教諭や教務主任と比べて「授業準備」「授業」「生徒指導」といった、児童生徒の指導に直接的にかかわる業務が減っているという状況も確認できた。また教諭や教務主任に比べ、小学校と中学校における業務状況の違いが目立たなくなってきた（「朝の業務」の状況を除く）という点も、もう一つの特徴として挙げることができた。

【第2分冊 77頁 図表8-9 小学校教頭・副校長の時間帯別行為者率（業務分類別）】



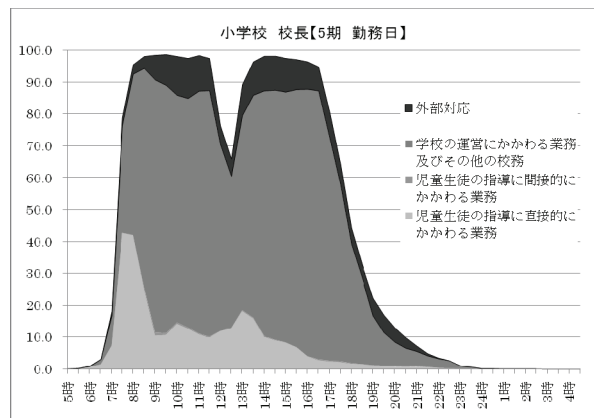
【第2分冊 77頁 図表8-10 中学校教頭・副校長の時間帯別行為者率（業務分類別）】



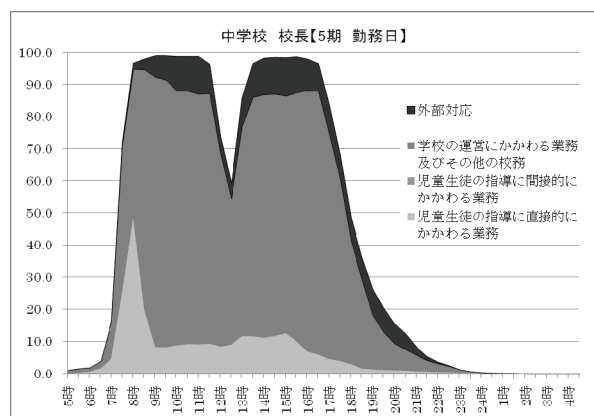
さらに校長になると、教頭に比べて「会議（学校外）」や「行政・関係団体対応」といった業務が増える一方、「事務・報告書作成」の業務は減少しているということが判明した。つまり学校の中で一番「事務・報告書作成」に時間を割いていたのは（校長ではなく）教頭・副校長のようだ、ということも明らかになった。なお、

午前8時前後における朝の業務と生徒指導（集団）などを除き、校長の業務に関しては小学校と中学校の差は目立たなくなっていた。

【第2分冊 72頁 図表8-1 小学校校長の時間帯別行為者率（業務分類別）】



【第2分冊 72頁 図表8-2 中学校校長の時間帯別行為者率（業務分類別）】



以上のように、教諭、教務主任、教頭・副校長、教頭という比較からは、教員のキャリアに応じた仕事の変化が看取された。

②部活指導（部活顧問）の有無による比較

職名・役職別の比較に続き、同様の作業を部活担当の有無で比較したものが、第2分冊の91ページ以降である。①（職名・役職別比較）や③（学級担任の有無）で行った比較とは違い、この②（部活指導）に関連した分析では三つの時期を扱った。一つ目は、他の分析と同じ第5期（11月）である。11月を選んだ理由というのは、期末業務もなければ、学校行事に追われることもなく、特に長期休業も入っていないということが推察されるからであり、最も何事も

ない、普通の1カ月が見えると考えられたからである。これに加え、部活指導の分析を行ううえで平日の勤務実態だけを考えても不十分であるため、同じく第5期(11月)における休日すなわち土曜日と日曜日の勤務実態を比較した。これが二つめである。そして、三つ目は第2期(8月)を扱い、夏休み期間中の勤務日についてもデータを比較した。

以上のような三つの時期に関して、教諭を「運動部顧問」と「文化部顧問」と「顧問なし」という三つの属性に分け、それぞれの時間帯別行為者率に関する状況を比較した。その結果として判明したのが、「運動部顧問」や「文化部顧問」については部活指導の時間が他の業務に単純に上乘せされているという状況であった。もちろん業務の状況について分析・議論をするときには、業務の「量」と「質」の問題を考慮しなくてはならない。すなわち勤務時間の調査からその「質」について調査することは難しく、「運動部顧問」と「文化部顧問」と「顧問なし」で同じ時間の仕事の質(集中してやっているかどうか、など)についての検証はできない。しかし、勤務時間という要素だけで「運動部顧問」と「文化部顧問」と「顧問なし」を比較すると、「顧問なし」に比べて部活指導の時間がそのまま上乘せされ、勤務時間が純増しているという状況が看取されたのである。

具体的に5期(11月)の勤務日、すなわち平日の勤務実態を見てみると、授業時間が終わる16時ぐらいまでの時間帯には、部活動の顧問をしているか否かであまり勤務実態には差が見られない。しかし16時以降について検討すると、部活指導に従事している人は、同じ時間帯に「授業準備」「成績処理」「学校行事(の準備)」といった業務の行為者率が若干低い傾向にある。このように部活指導が他の業務を圧迫する傾向は、文化部顧問よりも運動部顧問のほうが強い。したがって、部活指導が他の業務を圧迫しているという傾向が看取されるのは、運動部の顧問であるということが推察される。これに加え、同じく16時以降の時間帯について、運動部顧問や文化部顧問の方が顧問なしの教諭よりも「会議・打ち合わせ」の行為者率が高いということが判明した。時間帯別行為者率の指標を算出する際、部活指導のある日と部活指導

の無い日を平均して算出しているために解釈が難しくなっているが、これらのことから、運動部顧問や文化部顧問の教諭は部活動の行われる日はその指導に従事し、部活動がない日には会議や打ち合わせにこの時間帯を割いているのであろうということが推察される。そして、部活指導や会議・打ち合わせがなければ、これらの部活顧問の教諭は授業準備や学校行事(の準備)にこの時間を充てているのだらうというような業務パターンが類推できるのである。

次に第5期(11月)の土曜日および日曜日の出勤状況について検討したところ、部活顧問の有無にかかわらず、教諭の休日の過ごし方については、夕方以降にはあまり差がないことが判明した。しかしその一方で、昼間については行為者率に差のある業務が確認できた。特に休日の午前中に着目すると、「部活動」の行為者率が運動部顧問については40%強の水準に、また文化部顧問については25%程度の水準となっていた。これが意味していることは、運動部顧問は休日の2日に一度程度は部活指導に従事しているのだらうということである。すなわち土曜日と日曜日があれば、どちらか1日は午前中に部活をしているようだということを意味しており、文化部顧問についても2週間に1回程度は部活に休日の午前中を使っているようであるというようなことが判明した。

最後に検討したのが、第2期(8月)すなわち長期休業期間の勤務日における勤務実態である。この期間については、昼間の行為者率に大きな違いがあることが判明した。すなわち運動部顧問や文化部顧問が部活指導に従事している一方で、「授業準備」「学校経営」「事務・報告書作成」「会議」といった業務の行為者率が低いという傾向が明らかになった。夏休みのような長期休業期間を授業準備や教材研究等の時間に充てるといった教員の時間の活用法を想定した場合、部活動の顧問をしている教諭については、そうした時間があまり保証されていないのではないかとということも考えられるのである。

③学級担任の有無による比較

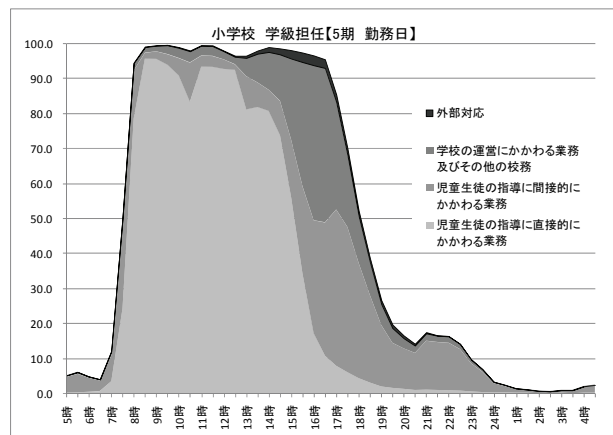
最後に平成19年度の分析作業では学級担任

の有無についても教諭を分類し、業務状況の比較を行った。この成果が第2分冊の107ページ以降である。ただし、分析結果を理解する前提として把握すべき状況として、小学校においては学級担任の教諭が担任なしの教諭よりも圧倒的に多いという点が挙げられる。さらに小学校で学級担任を持たない教諭の比率は、中学校において学級担任を持たない教諭の比率に比べても低いということも、理解しておく必要がある。そのうえで担任の有無による勤務実態の比較を行うと、中学校よりも小学校において大きな違いを観察することができた。

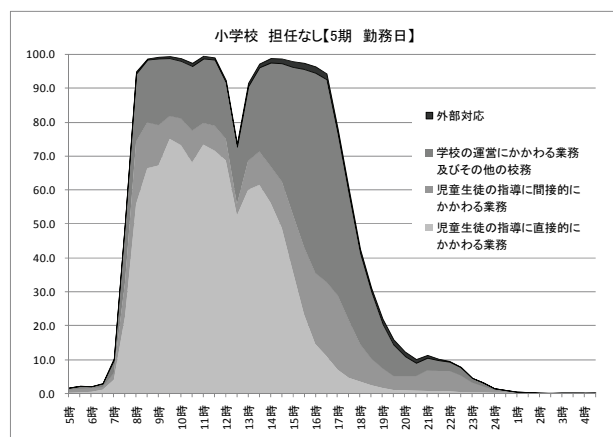
まず小学校について検討すると、学級担任の教諭は時間帯の推移に従って主要な業務が変化している、ということが推察できる。第2分冊の109ページに掲載した図を参照すると、縦で切った場合の厚みがその時点での行為者率を示しているが、小学校を示す〔図表11-1〕では、「児童生徒の指導に直接的にかかわる業務」の行為者率が15時や16時の周辺で急落する一方で、「学校の運営にかかわる業務及びそのほかの校務」や「児童生徒の指導に間接的にかわる業務」の行為者率を示す帯が分厚くなっている様子が観察できた。時系列を追って整理すると、「児童生徒の指導に直接的にかかわる業務」が終わったら「学校の運営にかかわる業務及びそのほかの校務」が分厚くなり、それが終わると「児童生徒の指導に間接的にかわる業務」すなわち授業の準備やノートを見たり採点したりという業務が分厚くなっていた。このように、小学校で学級担任を持つ教諭の仕事の中身については、時間帯の変化に応じて変化しているという傾向が明らかになった。

一方で小学校において学級担任を持たない教諭の傾向を整理すると、昼間の授業時間中でも授業の行為者率がそれほど高くないことが分かった。これは学級担任を持っていないことから、教科担任制を取る中学校の教諭の場合と同様に「空きコマ」が発生しているということが想像できる。また、そうした時間帯に授業以外の業務が行えるため、16時や17時以降の業務が時間帯の変化に応じてはっきり変化する、というような現象も起きていないことが確認できた。

【第2分冊 109頁 図表11-1 小学校「学級担任」の時間帯別行為者率（業務分類別）】



【第2分冊 109頁 図表11-2 小学校「担任なし」の時間帯別行為者率（業務分類別）】

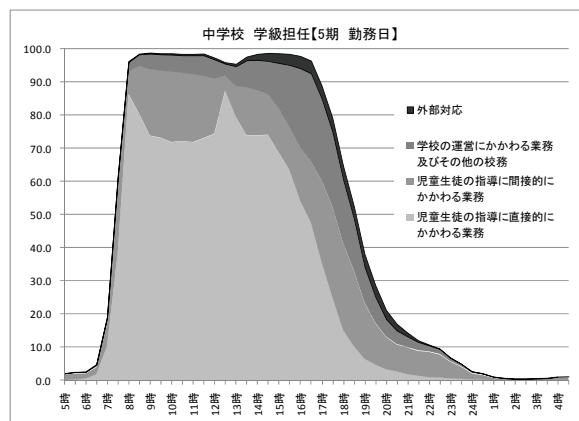


次に中学校で学級担任の教諭と担任なしの教諭を比較したものが、第2分冊の113ページである。ただしこの結果については、小学校における担任なしの教諭の勤務実態とあまり差がなく、行為者率の推移が似ているとまとめることができる。というのも、中学校の場合は学級担任を持っていても担任を持っていないでも、通常の授業が教科担任制を取っているため、授業に関する行為者率自体は小学校の学級担任ほどは高くない。差を指摘できる点としては、学級担任を持っている中学校教諭は担任を持っていない中学校教諭に比べ、朝と昼の時間帯に「児童生徒の指導に直接的にかかわる業務」の行為者率が高くなっているが、これは集団相手の生徒指導に従事していることで行為者率が高くなっていると理解することができる。

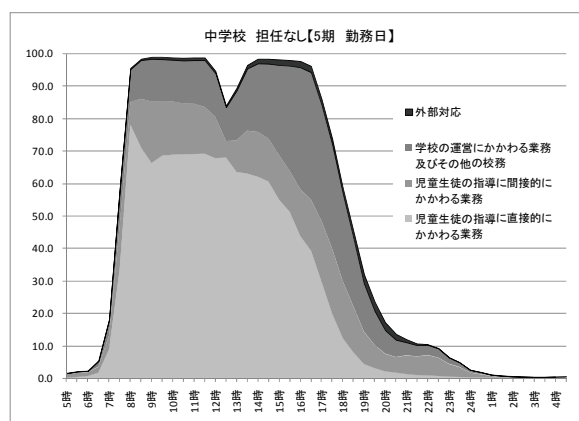
また、小学校と中学校に共通してもう一つ指摘できることとして、学級担任の有無によって

昼の時間帯に休憩が取れている比率が大きく異なるということが挙げられた。小学校・中学校どちらでも、学級担任を持っていると昼の時間であっても行為者率の合計は高い水準のままであった。これが意味することは、ほとんどの教諭が昼であっても何らかの業務に従事しているということで、昼休みが取れていないという状況が明らかになった。

【第2分冊 113頁 図表 11-8 中学校「学級担任」の時間帯別行為者率（業務分類別）】



【第2分冊 113頁 図表 11-9 中学校「担任なし」の時間帯別行為者率（業務分類別）】



3. 「時間帯別行為者率」を用いた分析上の課題

平成19年度の再分析作業からは、以上のような知見を得ることができた。これまで説明したように、(時間帯別)行為者率というデータを使って勤務実態を把握するという手法は、教諭や教務主任や教頭・副校長や校長というように、ある属性を持った集団全体の傾向を示すには優れている。そのため、キャリアに応じた(職位が上がるごとの)仕事の変化や、担任の

有無、部活顧問の有無といった属性に応じて、業務の状況が変化する傾向を明らかにすることができた。つまり、ある属性や教員のカテゴリーを先に決めて、それぞれの業務の状況を比較し、特徴と課題を明らかにするという研究方略には適合的であると言えるのである。実際、研修等で現職教員や教育委員会職員にこのグラフを提示すると、一種の「相場感」に合っているということで納得度は高い。教育現場における実感とはそれほどずれておらず、どこかの点で共通する部分があるということの意味していると考えられるのである。

しかし一方では、(時間帯別)行為者率という指標の持っている限界も明らかになった。

まず業務の連続性について説明が難しいという点が挙げられる。例えば、報告の最初に第2分冊の82ページに掲載した〔図表 8-17〕の上から二番目の行、すなわち「授業」の項目を検討したが、そこでは14時から14時半の時間帯に示された64.2%の後、行為者率は47.8%に低下している。しかし厳密に言えば、この62.4%の回答者と47.8%の回答者が重複しているのか否かは明らかになっていないというのが、まず注意を必要とする点である。つまり「勤務実態調査」の調査票のうち、どのくらいの率で14時から14時半にチェックが入っているかどうか、それから14時半から15時にチェックが入っているかどうかだけを見て(時間帯別)行為者率を算出しているため、必ずしも14時から14時半にかけて授業をしていた64.2%の教諭のうち17%ぐらいが授業を終え、14時半から15時にかけての行為者率が47%になったということを意味しているわけではないということが言えるのである。極端な話をすれば、64.2%の教諭が突然14時半に授業をやめ、新たに47.8%の教諭が授業を開始したとしても、この数字が示されるということである。

次に、ここで示した(時間帯別)行為者率の64.2%や47.8%は、全教諭のうち特定の64.2%や47.8%の教諭が、毎日この時間帯に授業をしていることを意味するというわけでもないことに注意が必要である。つまり20日間の「人の入れ替わり」を無視した上で「ごく平均的な1日」というものを算出した結果として64.2%や47.8%といった(時間帯別)行為者率が算出

されたということである。そのため、ある特徴を持っている者や、ある特徴のある日に着目した勤務実態の分析ということには制約が出てくることが指摘できる。例えば授業の持ちコマ数の多い人はどんな人なのか、という分析や、ある業務が突発的に発生して非常に忙しくなる日の勤務実態がどのようなものか、といった分析には適合的ではない、ということである。

これは換言すると、(時間帯別) 行為者率という指標は個別教員の忙しさが説明できないことでもある。昨年の研究会においても話題が出てきたが、保護者対応のような外部への対応に追われる教員というのが、他のどの業務をどのくらい圧迫しているのか、というようなことは観察できない。教諭の仕事を概観した場合、外部対応の行為者率はいずれの時間においても決して高くはない。これは毎日一定数の教員が外部対応に追われているということを示してはいないということになる。逆に言えば、ある特殊な日に、非常に時間にわたって外部対応を行うということが考えられるが、そうした勤務実態を抽出することはできない、ということである。

また、時間帯別行為者率のデータは 24 時間で構成されているが、どこでその業務を行っているのかというデータがないため、学校内で残業をしている者と持ち帰り仕事をしている者を抽出したり比較したりするというのも難しい。例えば第 2 分冊の 81 ページ上部にある小学校教諭の行為者率データをみると、20 時から 21 時周辺で行為者率の合計がいったん減少する。これは恐らく夕食を取るなどしてどの業務にも就いていない時間が発生していることを示しているが、これが夕食を取っているために業務を休んでいるのか、それとも持ち帰り仕事をするために帰宅している途中の時間帯なのかといったようなことは区別できない。行為者率の合計が減少し、グラフがくびれているということは観察できるが、これが個別の勤務で言えば何を意味しているのかを解明することはできない。そのため、これを明らかにするためには、どこで仕事をしていたかというような新しいデータを加味しなくてはいけないことになるのである。

これに加え、平成 19 年度の再分析で使用した範囲での(時間帯別) 行為者率は、ある属性の教員が(特定の時間に) 特定の業務をチェックした比率の平均を取っているため、ばらつきの説明が難しいという点も指摘する必要がある。例えば、部活動の顧問で行為者率が何十パーセントであるという指摘をしたが、実際は部活指導に従事する日としない日で勤務実態は大きく違うはずだが、平成 19 年度に使用したデータではそれを比較することができない。部活顧問について、部活指導のある日の平均的な仕事と、部活指導のない日の仕事を分けて分析するには、もともになるデータのさらなる分類が必要となる。さらに関連して、部活指導にきわめて長時間従事している教員と、部活動顧問ではあるものの、それほど部活指導には従事していない教員との違いやばらつきを分析するといったことも実は難しい。これらをまとめると、ある職位や特定の性別や年齢といった属性から仕事の中身を分析するということが可能である一方、業務の特徴から教員のプロファイリングをするというような分析作業には適していないであろうということが言えるのである。

そして、さらに指摘できるのが(時間帯別) 行為者率では個人ベースの分析となるために、学校組織に関連した分析ができないという点である。ある特定の業務を集中的に請け負うような教員が何人か組む形で業務を分担し、組織として動いているというような状況については分析ができない。これは、(時間帯別) 行為者率という指標が、あるカテゴリーにある教員の業務について、勤務日であれば 5 日×4 週間の 20 日間の勤務実態を平均して算出しているためである。そもそも(時間帯別) 行為者率というデータは、ある教員が毎日同じ職務構成で仕事に就いているという前提の下で算出されている。そのため、組織内で分業が行われているような状態、言い換えれば特定の教員に生徒指導の負担が集中している状態や、保護者対応が集中している教員がいる状況、他には特定の教員が部活指導に集中して従事している状況など、特定の教員にある種の業務が集中しているようなケースを観察することは難しい。管理職や主任クラスの教員であれば、それぞれの学校内でも該当する人数が限られているため、平

成 19 年度再分析のように教員の属性から分析を行った場合でも仕事の特徴をある程度把握することができた。しかし、一方で教諭同士での仕事の分担ということ想定するようときは、この指標での分析は難しくなってくる。おそらく、教員業務の効率化という政策課題を考えたとき、キーワードの一つとなってくるのが「分担」であると思われる。しかし、特に教諭間での分担などを考える上では、もう少しデータを加工する必要があるということが、平成 19 年度の再分析では判明した、ということである。

今後の再分析について、平成 19 年度の再分析では「最も普通の一ヶ月」ということで 11 月を取り上げた。しかし、学校は行事や期末業務などで「普通ではない月」のほうが多いとも言える。したがって平成 20 年度の再分析では、学校行事の多い月として 9 月、10 月のどちらかを分析したり、期末業務が想定される 12 月を分析したりして、時期的な事情に応じて業務構成がどのように変わっていくかということ进行分析する必要があるだろうと考えている。

* 本稿は「教員業務軽減・効率化研究会」（2008 年 7 月 18 日）の講演内容を記録したものである。

第12章 教員業務の研究動向および課題—社会学の立場に基づきながら—

居郷 至伸

本報告の目的は、平成19年度文部科学省新教育システム開発プログラムにおいて実施した学校訪問調査から得られたインタビューデータに基づき、教員が働きやすかつ能力を発揮しやすいマネジメントを担う立場にある管理職、とりわけ学校長に主に分析の焦点を当てて教員業務のあり方について分析・考察を進めることにある。

学校の教員が多忙である、長時間労働をしているという指摘がなされている中で、教員の仕事はそもそも企業に勤めるサラリーマンやビジネスマンに比べて特殊であるとも言われてきた。いわゆる教育業務の特殊性という話が説得力を帯びるほどに、適度な負担を伴いながら能力発揮ができる教員の業務遂行について議論を進めていくことが困難な状況にあったといえるだろう。では、教員の業務とはどのような点で「特殊」であるといえるのか。それは果たして本当に特殊な働き方なのであるだろうか。教育活動、教育実践はサービス活動であるということを押さえて、経済活動全般から見ていったときにどういった特徴が挙げられるのか、3つの視点から把握しておく。

1つめに、サービス活動の授受という点からすると、サービスはそれに相応しい金銭や何らかの対価が得られることが成立することで提供されるということが想定されている。この想定を踏まえると、教育サービスの提供、担い手は教員であり、サービスを提供する対象は言うまでもなく子どもである。しかし、子どもだけがサービスの受け手であるとは言えず、子どもを学校に通わせている保護者という存在もサービスの受け手に含めて考えなくてはならないだろう。さらには、学校が立地している地域住民の反応や要望というものも、教育サービスが提供されていく上では看過することのできない要素となるだろう。

このように受け手が多様であるという点は、教育サービスへの対価を直接に支払うものとして特定することが必ずしもできないという

点に起因するのであり、一般的なサービス活動をめぐる人々の取引関係とは少し異質なものがあるだろう。

2つめとして、サービスの授受、売買においてサービスの購入者にとって期待される効用についてである。通常、サービスを購入するという活動には、購入するサービスの効用が満たされるかどうかにある種の即効性を期待している側面があるというのが、経済活動におけるサービスのあり方として指摘できるだろう。しかしながら、教育サービスに関していえば、人間形成をめぐる営みということもあって、子どもの成長にとってよい教育活動が提供されているのかどうかというのは、購入したサービスの是非という観点からは判断できないことも少なくないということである。この二つめの点については、さまざまな例を提示することができる。たとえば高校野球において、野球というスポーツをめぐるゲームの勝敗が重要ではあるが、ただ目先の勝ち負けという結果にこだわるものではない、教育的な配慮が必要だという話は頻繁に聞かれる。これは、高校野球に教育的観点が介在し、プレーヤーを高校球児という形で子カテゴリー化して、今後社会に出て成長していく未成熟な対象として教員が関わっていくという構図が背後にあればこそ、ということができるだろう。

3つめとしては、サービスのあり方に対して批判と依存が併存しているという点があげられる。経済活動一般のサービスの授受においては、提供するサービスの質が劣悪であると批判されたときには、そのサービスを利用せず、他のサービスを購入する方向に向かう。しかし、教育サービスに関しては、今の教育は駄目だと、特に昨今においては教育のあり方が非常に問題視され、さまざまな言説によって批判に溢れている一方で、「このような教育をすればよくなる」と、どこかに教育に対する信頼というものも存在する。この点については広田照幸著『教育不信と学校依存の時代』（紀伊国屋書店、

2005年.)を参考されたいが、この書の中で氏は、人々は教育に対して手厳しく批判をしておきながら、教育の可能性とか効果に絶大な信頼を置いているという状況があることが指摘している。

この一見奇妙な状況は、上述した一つめと二つめの点とも実は関連がある。教育サービスに対してさまざまな方面から批判や提起がなされるというのは、一つめに述べた「教育サービスの受け手が多様」であり、誰でも教育に対しては一家言を持ち得るという状況がある。また、二つめの点を言い換えると、教育の効果は不可視的なものに満ちており、人間形成という常に未完のプロジェクトとして認識されるがゆえに、今ある教育のあり方というのは、どこか欠如している部分があると批判される。その批判のなかには、今ある現在の問題と因果関係を中には短絡的に結び付けて論考するものも少なくないが、目下進行している教育改革の流れの中でさまざまな実践が教育現場に導入されていく。そして、現場の教員はさまざまな業務を遂行していかなければならないという状況にあるといえよう。

II

では、これら3つの側面から提示した教育サービスに伴う特徴を踏まえて、実際に今多忙化にある教員の勤務実態は、どのような形で是正が図られるであろうか。

日本の教育活動、とりわけ義務教育段階における特徴は、指導という名のもとであらゆる側面から子どもへの働きかけをすることが望ましいとする点にあることが指摘されている。このような特徴を帯びた日本の教育活動に対して、あるべき教育、教師のあり方を模索しつつさまざまな教育実践、たとえば食育とか～教育、さらには人間力を身につけさせるというような取り組みが展開されている流れにあるといえるだろう。こういった動向において、先行研究においては教員の多忙化問題と絡めて多くの知見が提示されている。その知見に関して本報告に関連したものとして3つあげておく。

1つは、研究会のメンバーでもあった中村圭介氏と岡田真理子氏が共著で書かれた『教育行

政と労使関係』(エイデル研究所、2001年.)である。この書では、教育公務員としての教員における仕事と報酬をめぐる制度を、労使の関係という点から読み解いており、重要な知見が多く提示されている。焦点を絞って押さえておきたいポイントを以下に引用しておく。

仕事と報酬をめぐる基本ルール、基準の制定が学校で実際に働く教職員とは遠いところで行われるということによって、仕事に合致した合理的なルールをつくりあげることが妨げられる。(中略)「教員労働の特殊性」から、教員は労働基準法の枠外におかれ、原則として時間外勤務を命じないこととされた。にもかかわらず、事実上の時間外勤務手当に他ならない教員特殊業務手当が創設されているし、時間外勤務は事実として存在し、多忙化が問題となっている。(267-268)

引用文を踏まえて教員の多忙化問題を考えるならば、教育労働の特殊性というものが労働契約上のルールの点からみるといろいろと齟齬を来しており、実際に時間外勤務が事実として存在し、多忙化の一要因となっていることが理解できる。

2つめとして油布佐和子氏の論文「教師のバーンアウトと多忙」(荻谷剛彦・志水宏吉編著『学校臨床社会学』放送大学教育振興会、2003年、120-135頁.)をあげておく。この論文は教育社会学を研究している立場からのものであるが、教師の多忙問題を考える際、事実としての多忙という面と、教員当人の主観的な多忙感の両面があり、多忙化はこの両面から検討しなければならないという指摘である。この指摘のなかで氏は、現在の教員が多忙感としてある「手ごたえのなさ」や「むなしさ」は、社会における学校教育の存在意義の変容によりもたらされているとしている。以前であれば、学校は社会の発展にとってよき営みであり、先生の言うことをしっかり聞き、しっかり勉強しないと良好な職に就けないという流れが認識として共有された時代状況があった。しかし、高度経済成長の時代を経ていわゆる豊かな社会、物質的にも恵まれた状況が到来すると、学校に対する求心力が低下してしまった。学校教育に対する求心力が低下し、教師の存在意義が問われている状況下では、教員の抱える多忙感の側面

を問題の俎上に乗せる必要がある、というわけである。

先行研究の3つめとして、中学校の教科センター方式を取り入れた新しい学校建築様式を調査対象として学校にある教室や機材の空間的な配置の中で教員の行動の様子を観察したものがある(藤原直子・竹下輝和 2002 「教師の一日行動から見る中学校職員室に関する建築計画的考察」、『日本建築学会大会学術講演梗概集』)。観察の分析から得られた知見として、設計や機材の配置の仕方に起因する教員の無駄な移動が見出されるのであり、配置のあり方を工夫すれば時間のロスも緩和されるのではないかという提言がされている。

本報告では、3つめに提示した先行研究が提示した観点から教員業務量の負担軽減を考えていくスタンスは重要であるという認識は抱きつつも、昨今の教育改革の動向の中で、教員の働きぶりを適切に管理できる方途とは何か、検討することにある。教員の管理といっても、教員が担う業務の監視や統制といった側面からのアプローチではなく、教員の仕事ぶりに対する適切な働きかけが行われることで、教員は良好な働きぶりを発揮することができるだろうという視点が検討する際に必要なのではないかということである。

そこで注目するのが、管理職、とりわけ学校長の教員のマネジメントのあり方であり、学校訪問調査を実施してヒアリングを重ねていった狙いもこの点にある。教員の仕事ぶりは聖職論的な位置付けをされ、特殊なのだということを前提として議論される傾向にある。今回の報告でもIで述べたように、あながち否定することはできない側面があるが、しかし、特殊であるからといって、職務遂行のあり方にマネジメント、適切な仕事の管理のあり方という視点かの検討を不要とすることにはならないであろう。教員に対するマネジメントに対しては、校長が発揮するリーダーシップのあり方から論じられている文献はある。しかしながら、管見の限りでは、実際に校長が発揮するリーダーシップは教員のマネジメントの観点からすると具体的にはどのような点がポイントとなるのか、論じられているものはほとんど見出すことができないのである。

III

では、報告書で述べたB小学校の校長のマネジメントについて論じる前に、公教育制度における学校長の立ち位置を確認しておく。主に以下の3つが重要である。

1つめとして、家庭・地域との関係形成において保護者、学校が所属する地域住民に対する応答責任を校長は負う立場にあること。2つめとして、学校は都道府県教育委員会、市町村教育委員会という上層レベルからの指示を常に受ける存在であり、学校長は対応の責任者であり、時には折衝する主体でもあるということ。この点について先行研究を踏まえて補足しておく、労使関係論的な視点からは、上層レベルから見ると、学校長は労使関係の労務的立場にあって、いろいろ指導を受ける、指示を受ける立場にあるという位置付けがなされる。その一方で、これは3つめとなるが、学校組織内の教員との関係から見ると、教員の仕事ぶりをしっかり把握し能力向上やモラルアップが図れるような働きかけを行う主体としても校長は期待をされている。これは、教員にとっては使用者的立場にあるということ、教員の仕事管理という視点も必要であることを意味する。

これら3つの点を踏まえて学校長のマネジメントの実際を把握できるよう、学校訪問調査でヒアリングを重ねてきた。ヒアリング調査対象校の中に、B小学校では業務の適正化に向けて単に勤務時間を減らせばよいというだけではなく、保護者や地域住民との良好な関係づくりと教員の職務遂行能力の向上を結びつける手法を色々と考えながら行っている校長に接することができた。今回はその事例の紹介をすることにする。

まずB学校は、マクロなデータとして教員勤務実態調査(平成18年度文部科学省委託調査研究)では、特別勤務時間、残業時間、休日も含めた持ち帰り時間が特別少ないというわけではないが、全国平均、中央値よりは短くなっている。つまり、勤務時間からすると、教員は長時間働いているわけではないことが、客観的なデータから把握することができる。

教員勤務実態調査のデータを裏付ける形で、B小学校の校長が提示した日々の施錠時刻を見ても、前任の校長がいた平成17年度は午後7時半前後となっているのに対して、平成19年度、つまり調査実施年度のインタビューを行った12月までにおいては、教頭が施錠を行う時刻が平均して午後6時30分前後であり、一般教員は午後6時から6時15分の間で退校している（校長の話より）。このことを踏まえると、教員勤務実態調査のデータと大体符合しているといえ、教員の勤務時間はそれほど長くないような、校長の教員に対する仕事管理がなされていることが推察されるのである。

では、具体的にどのように教員の仕事管理をしているのであろうか。その特徴の要点をヒアリングから得られたデータをもとに列挙しておく。まず、この学校長ならではの手法といえるのであろうが、仕事管理を行ううえで、学校経営上の3つの戦略が組み込まれていることが把握できた。1つはB小学校の教育実践に関してこまめな情報発信を行うことで地域住民、保護者との信頼関係を形成し、学校の教育活動に対して不信感を低下させクレームを減少させたことが、教員の負担感、疲弊を防止する上で重要であるということ。2つめは、実際に情報発信できるだけの教育実践に関する取り組みとして、B小学校の校長が特に力点を置いているものとして文部科学省で行っている認定事業の積極的な導入を図りつつ特色ある教育実践を行っている点にある。認定事業による授業は、児童にとっても刺激となり、保護者や地域住民に対しては校長が作成する学校便りを通じて発信されるという流れにある。このような特色ある教育実践を展開することで、保護者や地域住民の評価を得るだけではなく、補正教員という形で人事編成に関して対外的にアピールできることにもなる。すなわち、教員がゆとりを持って仕事に取り組み、業務が重なったときにも他の教員でカバーし合えるような人員編成が可能となるよう、文科省の認定事業を活用しながらさらに充実した実践が可能となるためにも人員配分に配慮を願う、という戦略が見いだせるのである。

3つめとして、当然特色ある実践をやっていくには、通事業申請のための書類作成、実践計

画、担当者の割り当て、準備の打ち合わせなど、さまざま業務が生起することになる。それらの煩雑さを伴う業務を、管理職、特に校長がイニシアチブをとって、教頭に対して指示を出して行っているという点にも、教員の業務量への配慮を見出すことができる。この点に関しては、実際に教頭が時間と労力を割いているという部分があるため、教頭に負担がかかっていることは否めない。ただし、校長には一連の業務の遂行を通じて教頭を育てていく意図があるということも付言しておく。

以上の3点が教員の仕事管理に関わりのあるポイントの要点であるが、この要点を踏まえて教員が効率よく疲弊しないで日々の教育活動に取り組んでいるのか、続けて提示しておく。実際にこの学校長がB小学校に赴任してから、教員が学校でやらなければいけない行事だとかイベントの種類は増加している。このことはそのまま業務量の増加を意味しており、マネジメントの工夫がなければ勤務時間も増大していくというのが通常であろう。しかしながら、先ほどデータで示したように、勤務時間はこの学校長が赴任してからむしろ、以前より減少している。業務量は増加したが勤務時間は減少した理由として、校長へのヒアリングによって具体的に把握できた事柄が2つある。

1つは、教育実習生の受け入れに関する教員の職務遂行についてである。誰が、何を、いつまでに、どういったやり方で行うのか、教頭が作成した役割分担および実施計画表を3回書き直させ、より明瞭かつ特定の教員への負担とならないようなバランスの取れた役割分担のもとで実施できるような指導が展開していた。この点については当たり前のことのように思われるかもしれないが、学校現場においては実際になかなか実施できていない現状があるようだ。

いまひとつとして、教員は各自使命を持って教育活動に取り組み、やる気を持っているのであるが、ヒートアップするところがあり、それに対する抑制をうまくかけることが重要であるということである。これは、全体の教育活動の中でやらなければならないことの優先順位をつけ、ときにはセーブしなければならない局面を見極められるような、教員への働きかけを

するという事である。この点に関する具体的なエピソードとして以下に提示をしておく。

能力ある教員がいて長時間やれば、それは必ずなんらかの成果は出ますよ。でもね、教員の中には必ず病人も出ますよ。で、何が得られるかということですよ。子どもたちにとっての幸せとなっているのか、教師が疲れていていい仕事できてなければ、元も子もないですよ。 (中略) やり方にも歯止めの掛け方が重要ということなんです。それが管理職の仕事。学校組織のあり方を考えてみても、たとえば、体育主任を出張させてしまうと、学校の体育指導のレベルは落ち込んでしまうわけですよ。体育主任の代わりに者を出張させて、学校に体育主任を確保させていれば、ある程度のレベルが保てる、ということを考える。こういうことは他にもいっぱいあるんですよ。 (中略) で、何をやるか算段をつけるのは私。やるやらないを判断するうえでヒアリングを実施して判断するのも私。これをしっかりしないと、教員は多忙感というか、仕事に忙殺されてそのうち身動きがとれなくなって本業が疎かになる。それだけは避けなくちゃいけない。

以上、B小学校の校長へのヒアリングを通じて、教員に対するマネジメントのあり方、仕事管理のあり方の要点を述べた。ヒアリングという調査手法を用いたことで具体的かつ事細かな様相を把握できたという利点がある一方で、全国の小・中学校全般に対して一般化できるような実践として反映させるにはどうすればよいか、残念ながら、現段階では検討すべき点が出ているといわざるを得ないだろう。教員業務量負担の軽減に向けて、ある特定の学校をインテンシブに見ていくことでヒントが得られる一方で、着目した学校での実践を一般化させるうえでどのような点を考慮しなければならないのか、本報告の最後に幾つか言及しておく。

IV

ある学校における具体的な実践を一般化させることが難しい点として、まず考慮すべきは学校にとっての環境的な要因、具体的には学校規模や所在する地域の特徴、さらには教員編成のあり方が挙げられる。これらの要因は教員が能力を発揮するときの重要な外性的な変数であるだけに、一般化の議論においても重要な論点

となる。

実際に、B小学校は比較的少人数の規模であり、ほとんどが単学級で編成されている。B小学校で校務分掌を2人の教員に担当させたなかで機能しているのは、学校規模が比較的小さく、教職員数も少ない部類に入るからこそ可能である側面は否定できないだろう。また、B小学校が所在している地域性も、都心部と比べて古き良き地域性が保持されていること、無論地方であれば学校との関係は良好であるということの意味しないが、先述した校長の戦略が奏功する上ではプラスに作用する外在的要因であるといえよう。学校が置かれている地域社会のあり方、学校に来ている生徒の家庭的背景は、教員の勤務のあり方に関して及ぼす影響は決して小さくないだけに、この点を勘案した調査を今後も継続していかなければならない。

このような諸要素を踏まえて、教員の仕事管理を適切に行い得るマネジメント能力を有した学校長は、いかに確保できるのか、ある程度の共有可能なメソッドとしてできるものは何かということを考えていかなければいけないだろう。具体的には、研修という形で育成可能なものと、管理職として一般教員の段階からいろいろと経験を踏まえていながら習得していくものの中から検討していくことが必要であろう。

また、今後さまざまな学校をヒアリングしていったときに、非常に重要なポイントとして、必ずしも明文化できない形での教育実践の教員間での伝達継承に関して、30代の教員数が実際に不足しているという点をどうすればよいかという問題がある。30代の教員はバイタリティーがあり児童・生徒との関わりの面でも重要な役割を担っており、また、ある程度教員として先輩の教員からいろいろとノウハウを習得できている年代でもある。この30代の教員が学校に一定数確保されていることによって、経験不足の20代の教員の育成も学校内の実践を通じて展開できていける。30代の教員が果たす役割の重要性というのは、管理職の立場にある、校長、副校長、教頭、教務主任の教員から異口同音に聞かれる話であった。しかし、学校によっては30代の教員が不足していることによって業務の円滑な遂行の仕方が若手の教

員にうまく伝達できてない学校も存在していることが浮かびあがってきており、この点も、校長のマネジメントのあり方を検討する際にも重要な規定要因として考えていかなければいけないポイントであると考えます。

以上、散漫とした報告とはなったが、学校訪問調査を通じて浮かび上がってきた要点、ポイントを述べて報告とする。

* 本稿は「教員業務軽減・効率化研究会」（2008年9月3日）の講演内容を記録したものである。

第13章 イギリスの動向—学校再編に伴う人材育成プログラム—

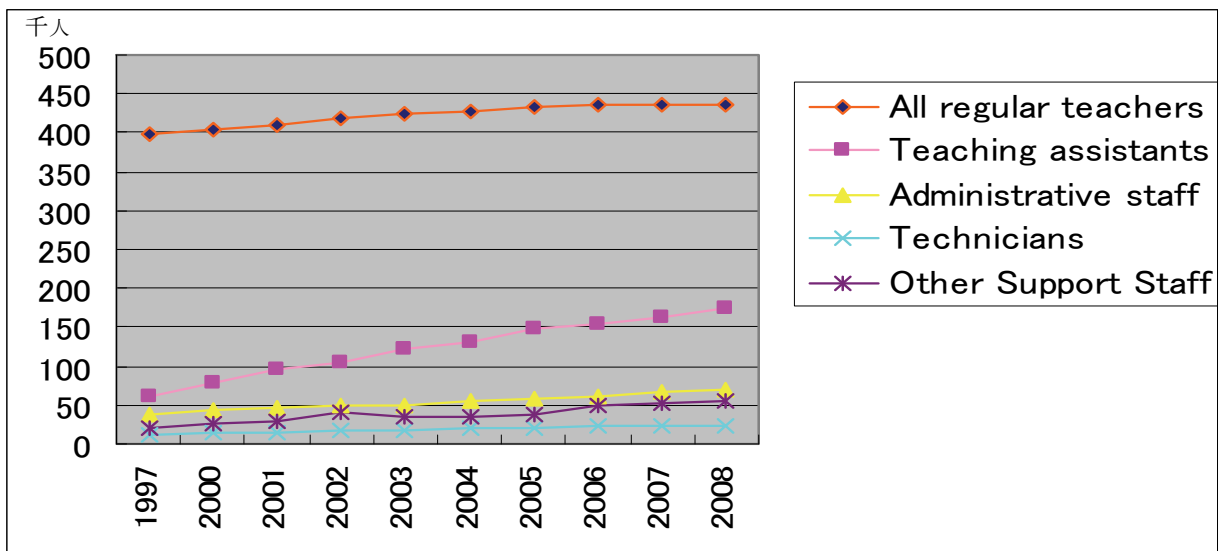
吉原 美那子

近年イギリスの学校では、学校従事者の職務が細分化され、学校従事者の中でも校長や教員、児童・生徒を支えるための学校支援員に対する責務と期待が拡大している。彼らが、教員の業務軽減や学校経営の効率化、加えて学校という場の役割の拡大に貢献していると言われている。そこで今回は、学校支援員に焦点をあて、彼らの役割や養成システムを通して、イギリス

の学校組織がどのように再編されているのか、また、学校支援員制度が抱えている現状と問題をみる。但し、今回の説明の中でのイギリスとは主にイングランドを示すことにする。

まず次の図表を見て欲しい。これは、この10年で教職員がどの程度増加したかを示している。

<図表1. イギリスにおける学校従事者数の推移>



DCSF, Statistical First Release, School workforce in England, 1/9/2008より報告者作成

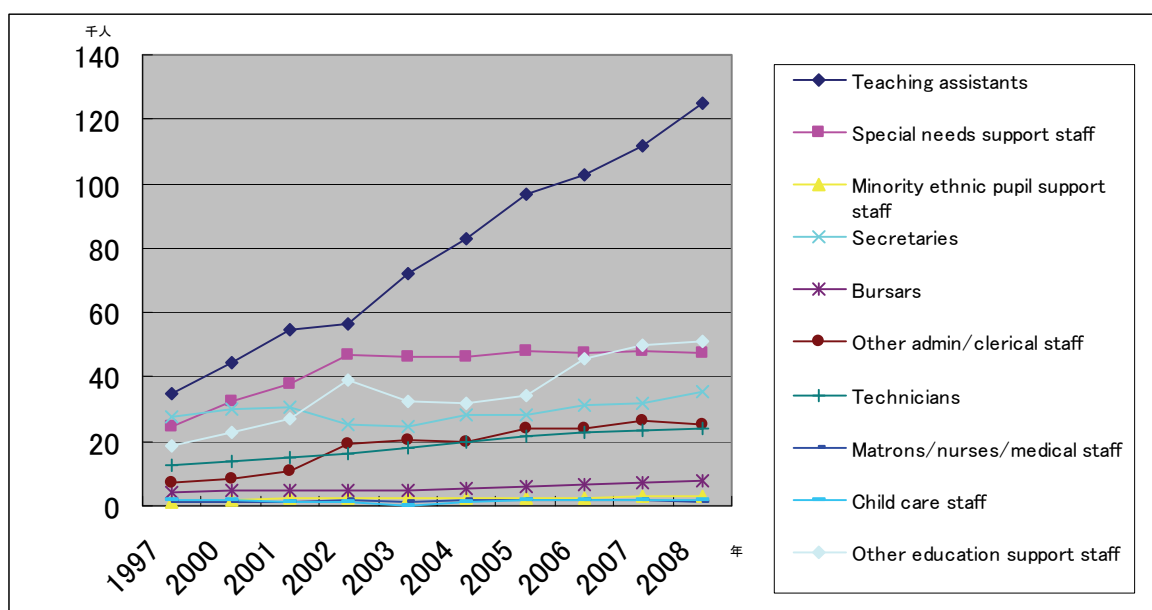
イギリスの場合、正規教員(All regular teachers)、つまり有資格者にはフルタイムだけでなくパートタイムも含まれる。1997年に発足した労働党政権の教員改革により養成システムの整備や地位の向上、教育予算の増加に伴い、正規教員の数はここ10年で4万人程緩やかに増加している。

しかし、それよりも注目すべきはTA(Teaching assistants)や日本の職員に当たる事務職員(Administrative staff)であろう。3倍近く伸びている。その他(Other support

staff)として子どもへの福祉サービスや施設管理の担当者も、若干ではあるが増加している。これらの人員に、技師・実習助手(Technicians)を加えたのが、学校支援員(School support staff)である。学校支援員は今や学校の従事する者の1/3ないし1/2を占める。

さらに、学校支援員だけに焦点を絞って人員増加の伸びをみてみよう。彼らの役割についての具体的説明を加えながら、学校にどのような職務の従業員が求められているのかを考える。

<図表 2. 学校支援員数の構成別推移>



DCSF, Statistical First Release, School workforce in England, 1/9/2008より報告者作成

TA の役割はティームティーチングや補習指導である。日本においても、従来の学校におけるティームティーチングや、今文部科学省が普及を目指しているコミュニティ・スクールでもこういった地域住民による学習補助スタッフがいる。しかし、日本の学校と比較するとき、留意しなければならないこととして、彼らは正規の教員資格を持っていない、その代わりに、TAとしての職能訓練とそれに伴う資格を取得することが求められている。また、経歴と資格保有数によって上級と一般に分けられる。子どもの視点からみた教育サービスの向上も学校支援員は担っている。今イギリスでは一人一人の子どもを大切にするため (Every Child Matters) の教育プログラム、つまりパーソナル・ラーニングを重視しており、その補習プログラム実施の支援を行っている。加えて、子どもを取り巻くあらゆる環境を改善するための福祉ケアや就労意欲を高めるためのキャリア教育を行う学校支援員は、行政、民間企業、ボランティア団体とのネットワークによる社会サービス提供者の一部として捉えられている。補足であるが、TAには、英語を母国語としない児童への教育、特別なニーズが必要な教育 (SEN)や日本の養護教諭にあたる養護教諭 (初

等学校のみ) や治療士も含まれる。

日本では教員免許状を取得している教諭が行っている学内外の引率や試験監督、給食指導 (朝食指導も含む)、家庭訪問なども学校支援員が担う。日本だと不登校の児童生徒がいた場合、専門の学校支援員が行う。特にマイノリティや問題を抱えた家庭の個々の子どもに対して、親の言語サポートや就労サポートも含めたパーソナルプログラムを作って対応する。また、現労働党政権による「教育の現代化」政策の一環として、教室を最新設備 (投影型ホワイトボード、データ管理システムなど) に交換しているため、その維持・管理のための専門職員をおき、彼らの援助のもと教員は最新のシステムを活用することができる。

「学校の自律性」が謳われて久しいイギリスでは、各学校には独自の経営能力も求められている。そのため、事務職員の加配やスキル向上が図られている。学校組織再編の現代化の成果がここに表れてきている。

このように学校支援員の職種や業務は多種多岐にわたっているが、校長や教員とのつながりはどうなっているのだろうか。校長、教務及び生活に関する主任教員が、地方自治体のコーディネーターとともに、相談や情報共有をしな

がら、児童・生徒の状況把握の情報を担任教員から聴き取り、児童・生徒一人一人の実行プランを作成し、実行に必要な学校支援員を配置する。つまり、校長はこうしたところにマネジメントのスキルが要求され、責務が大きい。その

ために、情報交換などをするための学校間ネットワークがあり、研究会を開いて「グッド・プラクティス」を開発している。したがって、教員の負担より、校長（及び管理職）の負担に注目すべきであろう。

<図表 3. 学校従事者の種類と職務内容>

有資格教員	校長／副校長／上級教員／優秀教員／一般教員
T A（補助教員）	上級T A／一般T A／S E N 専門T A／養護教諭（初等）／治療士
その他の児童支援	バイリンガル児童への支援／補習支援／学内外の引率／試験監督／給食指導監督／給食指導支援
事務職員	事務責任者／マネージャー／一般職員／会計担当職員／財務担当職員／試験管理担当職員／出席管理職員／データ管理職員／校長等秘書
技師・実習助手	I C T 管理者・技師／司書／理科実験助手／技術科・家庭科担当／助手／メディア（器具）／管理者
福祉領域担当	就職活動相談／（家庭）学習相談／家庭連絡係／ケア専門員／福祉補助員／養護教諭（中等/特別）
施設管理・維持	清掃員／給食担当／ヘルパー／校内施設管理者
拡張学校担当	グループ責任者／コーディネーター／保護者支援/相談

かくして、学校支援職員増加は、10年に渡るブレア政権が目指した「教育の現代化」政策によるものであり、その要因は、第1に、受益者である親や子ども、あるいは社会の現代的な教育ニーズに応えるため、つまり、学力の向上・労働意欲の向上・個人を大切に学習プログラムの達成すること。第2に、教育のみならず福祉・労働・医療・警察など隣接する社会サービス領域と統合化を図り、学校を基盤とするサービスを提供するためと集約できる。これは、行政改革（マルチ・エージェンシー化）の一つでもあり、地域住民を学校支援員として雇用することによる地域雇用創出にも繋げることができる。

こういった職種の雇用の拡大を図っているイギリスにとって、その養成は急務である。そこで次に、学校支援員はどのように養成されているのかを説明する。

現在イギリス国内には、学校支援員のような学校に従事する者を育成するにあたり、政府、エージェンシー、労働組合、雇用者のパートナーシップによって構成されている「学校人材育成委員会 (School Workforce Development

Board)」(以下、SWDB) という機関がある。SWDBは、学校マネジメントに関する国家資格やディプロマ及び学校支援業務に関する国家資格の整備を主な任務として2004年に設置された。「3ヵ年戦略」をもとに学校支援員の養成プログラムや養成システムのコーディネートを行っている。そこには、設置当時の教育技能省 DfES (現在の DCSF) や学校や教育行政の査察機関 Ofsted といった中央行政機関及び政策動向に関係する機関、教育内容の質の向上 (QCA) や教員の資質の向上を (TTA や TDA) 担う機関といった独立行政機関、学校リーダー育成機関 (NCSL) といった日本の英国教育研究の中でも周知されている機関だけでなく、学校支援員になるための充実した育成プランやキャリアプラン、彼らの身分保障の確立まで、全くの未経験者でも不安なく進路をとれるようにするための制度設計を整備するため、雇用促進団体(employer organisation)、公職対象者のための労働組合 (UNISON、GMA) も、パートナーとして関連団体として含まれている。

学校支援員育成プログラムには国家資格枠組み(NQF)があり、それに基づいて学校支援員

の種類別に獲得しなければならない知識とスキルが細かく定められている。おおよそ中等教育終了前段階から高等教育機関（大学のみならず職業訓練の継続学校も含む）の1年次履修プログラム程度のレベルに相当する。学校支援員から少し反れるが、正規教員には、現労働党政府が進めている教員政策にしたがって、少なくとも優秀学位もしくは修士の取得が求められ

ている。また、校長、副校長、優秀教員及び教育行政に携わっている者に対しては（専門職としての）博士取得が望まれている（図表4参照）。ちなみに、NQFは生涯学習の一環であり、現在EUが進めている職業資格及び高等教育機関で付与される資格や学位を意識して設定されえている。

<図表4. 国家資格枠組みNQFに基づく任用資格のレベル>

レベル8	大学院等での博士取得程度
レベル7	大学院等での修士取得程度
レベル6	大学等での優等学士取得程度
レベル5	大学等での基礎学位取得程度
レベル4	高等教育機関等での 1年履修証明取得程度
レベル3	中等教育終了職業資格（NVQ）取得程度
レベル2	中等教育終了職業資格（NVQ）取得程度
レベル1	日常生活雑務程度

育成プログラムのプロバイダーは主に民間団体、資格授与機関も同じ、つまり資格は民間委託という形である。地方自治体もプロバイダーの中に含まれているが、圧倒的に民間企業が多い。プロバイダーがレベルや学校支援員の種類とレベルの応じたプログラムを作成し、TDAが国内全体システムの調整を行っている。資格には有効期限があるが、勿論更新可能である。

ここで、地方自治体の研修に触れておきたい。民間団体が行う育成プログラムで充足はしているものの、TDAは地方自治体にも学校支援員の研修機関としての機能を有することを期待し、各地方自治体に対し育成プログラム作成を促し、またその支援・助言を行っている。地方自治体は学校支援員の雇用主であり（教員の多くは各学校採用）、加えて、学校支援員を目指す者にとってのパイプ役である。学校支援員に関連する資格を取得した者のなかには、学校ではなく地方自治体サービスの一部を担ってい

る支援員もいる。

例えば、学校支援員の育成について、A行政区では、これまで学校で従事したことがないが、福祉や厚生（医療・保健）、公安等の業務に従事した経験がある者もしくはそれらの関係する資格を有している者（日本での保健師、民生委員、ソーシャルワーカーにあたる者）を対象に研修会を開き、政府の政策動向や青少年施策の内容、当該地区の学校の状況などの説明をプロジェクト・リーダーから説明を受けた後、ワークショップを行っている。各自専門とする分野での経験と学校で何が自分出来るか、あるいは何をすべきかをディスカッションすることによって、学校に関わるまでの不安や知識のギャップを補う効果、また現場に入ったときの連携シミュレーションを狙っている。

一方、地方自治体の学校支援員の活用としてB行政区の例について、青少年局（ここは青少年の福利厚生だけでなく教育全般、つまり青少

年の成長全般の支援を行う部局である)は、学校支援員の人材バンクを置き、地区の中に支援を要する子どもあるいは青年を発見したならば、対象となる児童／生徒一人に対するチームをつくり、行政内にいるコーディネーターが人材バンクから対象者に必要なケアを与えるための支援員を人材バンクから選びチームを組んで、対象となる児童／生徒に段階に応じて必要な面談・ケアを施していく。

こうした例は、学校とは情報の連絡・調整だけの関係にあるが、間接的に学校ないしは教員の手助けにもなると言われている。また、現労働党政権が推し進めているパーソナル・ラーニングにとって、最たる実践例である。

ところで、こうした学校支援員制度がどこまで学校に、教員に貢献しているかという調査、学校支援員自身この業務に満足しているか等をDCSFとロンドン大学IoE教育研究所が行っている。それによると、80%以上の教員が支援職員の職務内容に満足、80%以上の学校支援職員が仕事内容に満足と結果があった。つまり、教員は、カリキュラム編成やきめ細かいプログラム作成や教材作成、学習進捗の確認に専念できる環境にある。教員は、当然日頃から児童・生徒の学習理解度・達成度だけではなく、生活環境や精神状態など様々なところから児童・生徒を観察し指導をしているわけだが、学習支援員の存在によって、日本の教員よりも多少なりとも負担が少なくなっていると言えるだろう。

一方で、その中で業務効率の向上のさらなる再検討も必要となっていることがわかった。つまり、全人格の育成を標榜し学校が主たる形成の場として学校に様々な役割を統合していくと、現場である学校での業務の効率化が問題となり学校マネジメントのさらなる強化が求められているのである。さらに、学校支援職員の勤務条件をどうするかという問題も生じつつある。現在、多くはないが残業を抱えている学校支援員がいるという実態がある。その対策として、残業部分をどのように明確化し、基本的に彼らは時間給であるが、手当等も含めて勤務条件の再検討を行っている地方自治体もある。残業をなるべく省くため、さらに雇用増加させる地方自治体もある。実際、求人を出して

もポストが埋まらない地方自治体もあると言われている。ゆえに、人材育成プログラムの最大限の活用を今後検討いかなければならない課題だといえるだろう。これを学校支援員制度の効果と課題として、本報告を結ぶことにする。

* 本稿は、日本教育行政学会第43回大会(2008年10月12日/於:東京大学)での共同発表「英国のネットワーク・ガバナンスによる教育支援システムの構築」(宮腰英一(東北大学)/若林直樹(京都大学)/吉原美那子(高崎経済大学))の一部に加筆してまとめたものである。

また、平成19年度(2007年度)基盤研究(B)「ネットワーク型ガバナンスによる教育支援システム再編に関する日英比較研究」(研究代表者 宮腰英一(東北大学教育学研究科 教授))における報告書の内容と一部重複することを明記しておく。

* 本稿は「教員業務軽減・効率化研究会」(2009年1月19日)の講演内容を記録したものである。

第14章 教職調整額見直しをめぐる論議

小川 正人

1. 日本の教員勤務実態の特徴と超過勤務常態化を下支えする給特法のしくみ

今回の主要な問題提起は、教職調整額の見直しにかかわる議論である。なぜ教職調整額の見直しにかかわる議論かというのは後でまた説明を加えるが、現在、「学校の組織運営の在り方を踏まえた教職調整額の見直し等に関する検討会議」において審議が行われている。これは、昨年の教員給与のあり方にかかわる中教審の答申を踏まえて、そこで継続審議の課題とされた教職調整額の見直し方策について、専門技術的な検討を踏まえて文部科学省内で検討の作業を進めて結論を出すという指示を受けて発足した検討会議である。

なぜ教職調整額の見直しの問題を今日テーマにして報告するかというところから入るならば、簡単には以下の通りである。「国立及び公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」（以下、「給特法」とする）では労働基準法第37条の例外規定を定めており、一般の公務員については時間外勤務した場合には時間外手当を支給するのに対して、教員の場合、特殊性、自発性、創造性という教師の仕事の特性を踏まえて、教師の勤務の内外を包括して時間外手当は支給しないことになっている。ただし、その代わりに一律4%の「教職調整額」という形でもって対応するという仕組みを採っている。ただ、時間外手当を支給しないといっても、この給特法の本質は時間外勤務を無制限に教員に命ずることができるということではなく、いわゆる「限定4項目」というように、法令によって時間外勤務を命ずることができるものが4項目に規定されている。基本的には、教員に対しても時間外勤務は命じないということを前提にしているのである。

よって、給特法と教職調整額が基本的には時間外勤務をさせない、あるいは抑制するということを前提とした法制度としてつくられたのは事実である。しかし問題は、給特法の本質にもかかわらず、なぜ実態として超過勤務が非常に増え、それが常態化しているのかということである。実際に

は上記のように給特法によって時間外勤務命令が厳しく限定されているにもかかわらず、なぜこのような状況になっているのか。その論理の1つを、まずは、この時間外勤務手当の請求事件の裁判判例を見ることで確認しておきたい。

ここでは、公立学校教員の時間外勤務手当請求事件の中から、近年の裁判判例として札幌高裁判決（平成20年9月27日）と京都地裁判決（平成20年4月23日）の二つを取り上げてみたい。前者は、北海道の公立学校教員が時間外勤務に対する時間外勤務手当支給を求めて提訴した事件であり、第一審の札幌地裁判決（平成16年7月）の原告請求棄却後に原告側控訴によって行われたもので一審支持の判決を出している。後者は、平成16年に京都市の公立学校教員9名により「損害賠償等請求事件」として提訴されたもので原告敗訴の判決を出している。

二つの判決は、ほとんど同じような論理の構成と展開を採っている。両判決は、まず、給特法の趣旨を確認する作業を行っている。給特法は、「教育職員の職務と勤務の特殊性に応じた給与体系を定める必要」から制定されたもので、特に、教員の職務は「本来的に教育職員の自発性、創造性に期待するところが大きいという面で、いわゆるプロフェッションの一員として、一般的な職業とは異なった特質を持つ」（札幌高裁判決）ことが強調されている。その上で、教員の勤務時間は以下のような特徴をもつことから他の行政職公務員と同様の時間管理は適切ではないと論じる（両判決とも同様の内容であるため、以下では京都地裁判決の内容を紹介する）。

教育職員の労働時間は、(中略—引用者)同職員の自主性、自発性、創造性に基づく職務遂行に期待する面が大きいこと、また、勤務形態が春季、夏季、冬季の学校休業期間における勤務実態が通常の行政職員とは大きく異なった形態であること、職務の内容も授業活動のように教育職員の本来の職務であることが明らかなものから教職員会議への出席や研修への参加等本来の職務に付随するもの、部活動の

指導等必ずしも本来の職務か否か明確でないもの、PTA活動等広義では教育活動といえるものの直ちには本来の業務ないし職務行為と言い難いものまで千差万別であり、また、時間管理ができるものと、それが困難なもの(例えば、自宅でのテストの採点や授業の準備等本来の職務であることは明らかであるが、勤務時間中に比して職務遂行の密度は高くはなく、仮に同時間を自己申告させたとしてもそのまま使用者の指揮監督下にある労働時間として扱うことはできない。)等、教育職員の仕事のうちどこからどこまでが本来の業務ないし職務であるのか、拘束されるべき時間ないし勤務なのか、単に教育職員の自発的、自由意思に基づいて行われているのか等明確に割り切ることが困難であるという特殊性を有していることを踏まえると、その勤務のすべてにわたって一般の行政事務に従事する職員と同様な時間管理を行うことは必ずしも適当でない。(京都地裁判決)

そうした教員の勤務の特殊性や職務内容の不明確性、時間管理の困難さ故に、「時間外勤務を命じることができる場合を例外的な場合に限定して、原則としてこれを禁止するとともに、労働基準法37条の適用を排除して(超過勤務手当制度に替わるものとして)、勤務時間の内外を問わず、包括的に評価することとして」、「教育職員に対して支払われるべき給与の金額として、適切な水準が定められているかどうかという観点から従前の俸給体系に再検討を加え、同職務等の特殊性を踏まえて給与の約4%に相当する教職調整額という俸給相当の性格を持つ給与」が支給されていると教職調整額の正当性を確認している(京都地裁判決)。そのため、教員が正規の勤務時間を超えて勤務した場合でも、時間外勤務等手当は支給されないと解するのが相当である、と結論づけている。

しかし、あらゆる時間外勤務が時間外勤務手当支給の対象にならないと断じている訳ではなく、時間外勤務に至った事情、職務内容、勤務の実情等では手当支給の対象になる場合もあるという考え方も示している。その点について、札幌高裁判決では、「時間外勤務等を行うに至った事情、従事した職務の内容、勤務の実情等に照らし、時間外勤務等を命じられたと同視できるほど当該教育職員の自由意思を極めて強く拘束するような形態で時間外勤務等がなされ、そのような時間外勤務等が常態化しているなど、給特法、給特条例が時間

外勤務等を命じ得る場合を限定した趣旨を没却するような事情が認められる場合には、給与条例14条、15条、労働基準法37条の適用除外を定めた趣旨も没却しているとして、その適用を認めるのが相当である」(下線一引用者)と指摘している。同様に、京都地裁判決でも、「同職員が当該時間外勤務を行うに至った事情、従事した職務内容、勤務の内容、実態等を踏まえて、校長等から時間外に強制的に特定の業務をすることを命じられたと評価できるような場合、すなわち、同職員の自由意思を強く拘束するような状況下でなされ、しかも、給特法7条、11条ないし本件条例37条において時間外勤務を原則として禁止し、それを命じる場合を限定した趣旨(同限定して命じる場合でも教育職員の健康と福祉を害することとならないよう勤務の実情について十分な配慮がなされなければならないとしている。〔給特法7条1項後文〕を没却するような場合には違法となる」(下線一引用者)という考え方を示している。即ち、校長等の具体的な職務命令があった場合や、無くてもそれと同じように教員の自由意思を強く拘束するような状況の下で時間外勤務が行われ常態化しているような場合で、しかも安全配慮も十分なされていない場合には時間外勤務手当支給は認められるべきであるとしている。

そうした立論の上に、両判決は、原告の教員一人一人が、どのような状況の下で時間外勤務に至ったかの事実認定を行っている。

札幌高裁判決では、その認定を以下のように行っている。

控訴人ら教育職員の担任するクラス、担当する校務分掌や部活動、年間教育計画などは、予め各教育職員の希望を徴したうえ、プロフェッションの集団である校長以下の全教育職員が出席する教職員会議で決定されるのであるが、各教育職員の割り当てられた職務を全て勤務時間内に処理してしまうことは極めて困難である。してみると、各教育職員は、必然的に時間外勤務等を行うことになることを前提として、教職員会議で職務分担等を決定しているというべきであるから、各教育職員が教職員会議の決定で割り振られた職務を行う必要上時間外勤務等に及んだとしても、そのような時間外勤務等は、教育職員が自らの意思に基づいて決定したところに基づくもの、すなわち自主的に行ったものと評価するのが

相当である。なお、校長が教育職員にひたすらお願いしてクラス担任や部活動の担当を引き受けてもらうことがあるが、このような場合も、教育職員がプロフェッションの一員であるとの自覚のもとにやむを得ず引き受けたものと考えることができるから、引き受けた教育職員の自主的な決定というべきである(中略—引用者)(控訴人らの上記期間中の時間外勤務等が時間外勤務等を命じられたと同視できるほど控訴人らの自由意思を極めて強く拘束するような形態でなされたことを認めるに足りる的確な証拠はない。)(下線—引用者)

同様に、京都地裁の判決でも、原告9名の1人1人の超過勤務の事実を踏まえて、どのような状況の下で超過勤務が生じているのか、原告の教員9名それぞれについて個別の事実認定を行っている。そこに共通する判断として、1)校長は、口頭及び書面で時間外勤務命令をしたことはなかった(判決の中では、例えば、原告の一人が、「職員会議の中で、教育職員が午前8時25分以前の登校指導、下校指導、土日の部活動の指導等をするのは時間外勤務ではないかと質問したことがあったが、登・下校指導に対して当時の当該中学校の生徒指導部長から当該中学校では平成9年、10年以降の生徒指導の困難さの中で、安定した教育活動、学習活動を成立させていくために登校指導、下校指導を行っている旨それに協力して欲しい旨の説明があり、土日の部活動の指導についても校長から特に強制ではない旨の説明があった」という説明をしている)、2)教員は一生懸命教育実践に取り組んでいたがそれらの行為は自主的自発的取り組みであり、校長が、授業の内容や進め方、学級の運営等も含めて個別の個々具体的な事柄について具体的な指示をしたことはなかった、3)部活動顧問は原告の希望どおりであった、4)校長もしくは教頭等の管理職が最後に退校することになっていた、等を指摘しながら、原告教員らの時間外勤務は彼らの自由意思を極めて強く拘束するような形態で行われていたと認めるに足りる証拠はない、と判断している²⁵。

²⁵ ただ、京都地裁判決は、安全配慮義務という観点から札幌高裁判決とは違った判断も一つ行っている点は注目したい。それは、原告教員の一人が、吹奏楽部顧問として平日でも午後8時頃退校し土日にも出勤していたこと、教育委員会指定の研究発表冊子のまとめ作業等、「時間外勤務が極めて長時間に及んでいたことを認識、予見できたことが窺われるが、それに対し

両判決とも、以上のような論の構成と展開によって原告敗訴の判断を示しているが、次節で取り上げるように筆者には幾つかの点で検討を要する問題があるように思われる。

2. 教員の超過勤務問題の改善に向けて—教職調整額の見直し論議と改革課題

公立学校教員も公務員として労働基準法を適用されており法定労働時間内で勤務することを原則としている。そのため、勤務時間内での仕事の割り振りをする際には、まずは限られた勤務時間の枠内で本務は何か、優先して割り振りをすべき業務は何かを確定して行うことが基本であるべきである。公立学校教員の場合には、業務の多様さもあってか本務は何か、何が最優先して割り振りされるべき業務かを厳密に検討することを避けてきたように思われる。事実、前節で紹介した二つの判決でも、教員の業務内容については、授業活動は本来の職務、本来の職務に付随する仕事として職員会議への出席や研修への参加等をあげる一方で、本来の職務かどうか明確でないものとして部活動、本来の職務ではないものとしてPTA活動などをあげている。判決では、そうした本務と本務に付随する業務、本務かどうか不明確な業務、本務ではない業務という区分けをしていながら、それらを一括して時間管理の適否、困難や教員の自発的・自由意思に基づくか否か等を明確に割り切ることが難しいという特殊性を有しているため一般の行政事務に従事する職員と同様な時間管理を行うことは必ずしも適当でないと判断している。限られた勤務時間内で優先的な割り振りの対象とされるべきは、本務である授業活動とそれに伴う間接的な業務(成績処理や基本的な授業準備、等)や本務に付随する業務(校務分掌、職員会議、研修、等)であり、それらを勤務時間の枠内にどのように割り振ることが可能か、また、どのような基本原則、ルール等を設けるなら時間管理が可能

てそれを改善するための措置等は特に講じていない点において適切さを欠いた部分があるというべきである。……校長は、同一の職場で日々業務を遂行していた以上、そうした状況を認識、予見できたといえるから、事務の分配等を適正にする等して原告の勤務が加重にならないように管理する義務があったにもかかわらず、同措置をとったとは認められないから同義務違反があるというべきである」として原告教員一人について安全配慮義務違反が認められると判断している。

なのかを検討してみることが先ずは重要ではないかと考える。また、部活動等の、本務かどうか不明確な業務や本務でない業務をどう扱うかは、ある意味、政策的判断によるものであり、その政策的判断により業務遂行のしくみを考えればよいことである。

前記判決にはもう一つ看過できない問題があるように思う。それは、教員が現在担っている様々な業務全てを勤務時間内に処理することは極めて困難と判断していながら、他方で、勤務時間外に及ぶことを認識しつつ教員は職員会議で決定したり管理職からの願い等で結果的に自主的、自発的に引き受けたりしているのだから、それら時間外勤務は自主的、自発的勤務と見なしうるため時間外勤務手当の支給対象にはならないという論法を採っていることである。判決は、本務、本務に付随する業務、本務かどうか不明確な業務、本務でない業務を区分して本務やそれに付随する業務以外の業務を可能な限り教員に割り振らないか負担軽減を図る等の体制づくりを考えるのではなく、そうした一切切の業務を教員がやむなく引き受けざるを得なくなっているという今日の学校が置かれている状況に対してあまりにも無理解であるように思われる。こうした無理解が教職調整額の下で広がった結果が教員の多大な超過勤務の常態化を生み出してきたと言ってもよいだろう。

教職調整額を制度化している「給特法」は、周知の様に教員の超過勤務を無制限とするものではないが、実態は勤務時間管理の意識を希薄化し長時間超過勤務を常態化してきたことは否めないし、長時間超過勤務に対する歯止めを図るインセンティブも有していない。その結果、あたかも学校には「無限」の時間的資源があるかのように見られ、様々な教育的要請から学校の仕事は肥大化してきた。今次の教員給与改革の論議を契機に、教員の勤務を法定労働時間の枠内で考えることを原則として、その勤務時間の枠内で学校・教員が実際担えるのはどこまでの業務かをプライオリティを設けて整理すべきであり、そこからはみ出した業務は外部・他職種に移行させることやそれを教職員に担わせるのであればそれに相当する時間外手当支給や教職員増員を真剣に考えるべきである。「給特法」下で潜在化させられてきた諸問題を教職調整額の廃止という原点から改めて照射し直して課題を再整理すべき時期にきていると考える。

給特法、教職調整額は、法の基本的な考え方からすると決して無限定に時間外勤務を容認するような法制度ではないはずであるが、なぜ超過勤務が非常に増えて、なおかつそれが常態化しているかという問題の原因として、給特法、教職調整額の仕組みの中に、あるいは給特法や教職調整額の運用を実質化していく政策環境に超過勤務を抑制するような内在的な諸条件が整っていなかったことがあると思われる。そうした状況の下で、ここまで見てきた2つの判決のような論理が生み出され、そのような解釈が定着してきたように感じられる。その意味では、教職調整額のしくみを創設した「給特法」の成立時に、「給特法」と教職調整額は曖昧さを残したままの妥協の産物であり課題は今後に残されたままであるという市川昭午氏の次のような指摘は、今日でもそのまま生きていると考える。

労働時間の問題は本来、時間外勤務を廃棄する方向において解決さるべきものであって、超勤に対する割増賃金の制度は、超勤そのものをできる限りなくしてゆくための手段にすぎない。教員がその仕事をすすめてゆく上で絶対不可欠な研修であるならば、それは当然所定内労働時間内で確保さるべきであり、採点、その他、教師が自宅に持ちかえる仕事も同様に所定時間内で消化さるべきである。そのためには定員増と雑務の排除という行政的措置と同時に、学校運営の効率化、特に各種委員会の整理と会議の能率化をはかってゆく内部的努力が大切である。行政当局と教員団体の双方にとって必要なのは、超勤そのものをなくしてゆくことであって、これに対する手当をどういう形で支給するかは第二義的な問題である。(中略一引用者)本法が教員の待遇改善になるという事実は否定できないが、教員給与の抜本的改善は本質的にそれとは別個の課題である。同様に本法が超勤に関する給与制度の不合理を是正し、永年の紛争に一応の終止符を打った意義は認められるが、教員の職務の専門性、勤務態様の特殊性を明確化する上では何ら実質的な進展はみせていない。これら三点はいずれも今後に残された問題といえよう。(市川 1971)

【参考文献】

市川昭午(1971)『「教特法」の問題点』(『ジュリスト』485号 1971年8月1日号 有斐閣)

宮地茂・文部省初等中等教育局内教員給与研究会
(1971)『教育職員の給与特別措置法解説』第一法規

* 本稿は「教員業務軽減・効率化研究会」(2008年9月3日)の講演内容を記録したものである。

*付記：

本報告書のうち意見にわたる部分は、執筆者各人の個人的な見解を表明したものであり、執筆者の所属機関ならびに文部科学省の公式見解ではありません。

■ 執筆者一覧

青木 栄一	国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部	研究員
樋口 健	ベネッセ教育研究開発センター 教育調査室	政策調査グループリーダー
鈴木 尚子	ベネッセ教育研究開発センター 教育調査室	研究員
川上 泰彦	佐賀大学 文化教育学部	講師
小入羽 秀敬	東京大学大学院 教育学研究科	博士課程
萩原 康仁	国立教育政策研究所 教育課程研究センター基礎研究部	研究員
居郷 至伸	横浜国立大学 大学教育総合センター	講師
吉原 美那子	高崎経済大学 地域政策学部	講師
小川 正人	放送大学 文化科学研究科	教授

* 敬称略、掲載順。所属・肩書は報告書刊行時のものです。

教員業務軽減・効率化に関する調査研究（報告書）

平成 21 年（2009 年）3 月 発行

編集発行者	国立教育政策研究所 〒100 - 8951 東京都千代田区霞ヶ関 3-2-2
代表者	近藤 信司
監修・作成	青木 栄一
